

貞操逆転アズールレー
ンに転移しちゃいました
た？

ナガチィ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

主人公がやり込んでいるアズールレーンというゲームの世界に転移して、イチヤイチャするお話です

ついでに貞操逆転世界というオマケ付きです。主人公がヒロインポジションになるのかな？

キャラ崩壊が沢山しています。許せる読者様向けです…ね？

「これってもしかして貞操逆転アズールレーン？」のタイトルから変えました。よろしくお願いますね

目次

転移前	
行方不明者多数	1
オープン基地で生活開始	
ようこそ！貞操逆転アズールレーンの世界へ！	17
えっ？えっ？	33
うわくく…	47
………はっ？分からない？	63
新たな扉を開いてしまった……	
83	
99	
???	
すみませんがどちら様ですか？	
おおく。絶景！絶景！	116
秘書KAN達	135
執務室行くわ	152
スツゲく	175
トレーニングうくくつ！	194
えええ…？	215
耳掃除するよ？	231
えっ？最高なんですけど♡	250
集チュー治療室？	266
これが、極悪癒し刑…。ゴクリ…っ	
291	
ほおあくくつ♡	311
ふうくん…。………えっ？今、なんて	

…?

キタコレっ♡

やっぱり凄いよ♡

…んっ? えっ? …? ちよっ…

ええ…? ここまで変わる?

なんだ? なんだ?

やつちやつたZE☆

うん、早いね…

ドエム基地

最高の景色だぜっ!

えっ? あっ、うん…

…:…:…:えっ? はっ?

レベル高つかうい!!!

うっわ

建造…? にや?

再びオープン基地

ウソでしょ!!?

うん。知ってたけど…。ねえ?

684

うお〜っ! やっぱりかあ〜っ!!!

709

元帥会議い〜?

マジかよ…

ウエーい!

廃墟基地

効き過ぎじゃないかなあ?

612

636

661

738

767

791

814

514

536

565

589

334

359

383

404

425

446

469

491

最終話

いよっしやっつ
!!!

836

これはこれは…

858

転移前

行方不明者多数

キンコンカンコンとチャイムが鳴ってツルツルの頭をした男性が出て行く。そんな男性を2人の美女が追うのを見る男性がいた

やり取りを見る。決着がついたのを見る。そしてズボンの右ポケットから携帯電話を取り出して、とあるゲームのアイコンをタッチした

背景は食堂でしょうか？に、美女が笑顔で待っていたようだ。ツルツル頭の男性を追う美女2人とは比べられない位、美しい

男性は習慣なのでしょうか？とある事を呟いたのだった。しかめっ面をした美女。こう返したのだった

『重婚しないプレイヤーがいる？そう……。重婚しないなんてユルセないよねえええええ!!』

「いやいや、そもそも重婚自体が許せないと思うのですが？ローン？」

やっべえ。声出しちゃった。大丈夫か？……よし。大丈夫だな

あつ？どうも？教室内で大好きなゲーム、アズールレーン、略称は『アズレン』をし

ている令司でえす。…つて誰に自己紹介してるんだろ？アホらし

アズレンってね？船を美少女や美女達に擬人化してるんだよ。そんな彼女らはKANSENって呼ばれているんだ。流石、変態の国の日本。凄いです。発想がね？それと服装もね？エチチなのよ…

敵さんがもちろん居てね？セイレーンって言われてる。色白な美女や美少女なんだよね。で、KANSEN達をポチポチして育成して戦闘させるんだよ。それ以外にも色々やり込み要素があるんだ

プレイヤーの俺は、指揮官や害虫、坊やとかご主人様とかとか。色んな呼ばれ方をしている。色々と刺さってます。はい。下半身にもね？はいb

ローンって本当に良い笑顔をするよね〜♡目の中のハイライトさ〜ん。仕事放棄しちゃダメじゃなく〜い？いや？もしかして仕事してるのか？可愛いから許す！キスやハグされてえ〜

ああ〜もう♡大鳳、赤城、隼鷹、ローン、ベルバ…ゲフンゲフン…。ベルファスト、アドミラルヒツパーなど…。全員美しいし、可愛い！癒されるうう！流石、妻達だぜ〜！

雑な編成しても毎回勝ってくるし？何でなん？無能の指揮してると思うんだけど？嫌な顔をされた覚え無いんだよねえ？

それと、大破状態になったらキラキラして生き生きしだすのはナゼ？

撤退ボタンが実装されてないし？撤退ボタンはある。ってサイトに書いてあったの
に？バグかな？しつかりとみんなのお胸様などを拝ませて貰ってますけどね？眼福で
すもん。ありがと

雑な編成の例。最大6人までの仕様です←

赤城、加賀、翔鶴、大鳳、アークロイヤル、プリンツオイゲン

綾波、夕立、ジャベリン、ラファイ、Z23、ユニコーン↑この時のアークロイヤル
は仏の顔をしていたとか？この編成を組んだ時、『主人公組、頑張ってるね』と言って編成
されたみんなは一斉に首を傾けた

睦月、如月、アークロイヤル、愛宕、神通、ジャンバル↑この時、アークロイヤル
が出撃前で大破状態になっていてキラキラしていた。「大丈夫！はあはあ……」と鼻血
を出しながら本人が言っていたのでそのまま出撃させた

→帰って来る頃にはアークロイヤルは小破状態になっていた。睦月を肩車していて
如月と手を繋いでいた。もうワケが分からなくなった主人公の令司であった

☆☆☆

ぎゃくく！…ぎゃくく！…ざわざわ……

もう、授業が無いようで騒がしい。そしてとある？事で盛り上がるのだった

「おい、また行方不明者が出たぞ！僕も異世界転生、行けるかもしれない！信じてる！」

「ええく？また？なんか多いね？間隔も短くなってるじゃん。えつ？異世界転生とか信じてる系なの？うつけるんですけどく。あつ、欲しかった素材ゲトwwwwありがと」

「えつ？ああ…、うん。アドバイス通りだったでしょ？」

「うん。でさ？続きはあんたの家でやる？耳貸して？」

「あつ、はい。……っ?!?!」

「にししく。顔赤い……。よろしくね？えつ？本気だよ？いいじゃん……。好きだし。

減ると思うけどね？あはっ」

そう最近、自分のクラスや他のクラスの連中が何故か行方不明になっている。カッブルさん（陽ギャルと陰キャラ）は夜戦でもするんかね？どっちが主導権？つて、ギャルだろうね？頑張りなよ？

そうしてポチポチしている際に親友が近づいてきて何か言ってきた

「令司く。異世界転生？転移？しようぜっ！なっ？信じてるから！」

「……はい？すまんが、もう一回言つて貰つていい？親友よ？」

携帯画面から親友の顔を見る令司。指揮官としてポチポチするのが終わったようだ。

ローンと呼ばれた美女が了解と言っていた。綺麗な敬礼をしていた

この親友、笑顔で変な事を言った……。絶対言った。もう一度聴こう……。クツソい笑顔だなあ！イケメン親友ううう！

「おう！異世界転生？転移？しようぜっ！って言ったんだよ」

「おっ？おう…。聞き間違いじゃなかったのね？」

「間違いじゃないよ。隣のクラスの爽やかイケメンが1週間前から行方不明になったのよ。で、そいつが行方不明になった理由つてのがどこかの異世界に行ってるって話さ！あつ、その異世界つて、そいつのやつてるゲームのどれかって話！どのゲーム内に行つたんだろうな？指定出来るかな？出来たらいいな！」

ドヤ顔をして早口で喋る令司の親友。頭、大丈夫じゃないね？令司はポカンとする

うん……。ナニイッテルノカワカラナイ……。頭沸いちやつてる？あゝ。そういう系の小説好きだったね？

えっ？ゲーム内に異世界転生？転移？そんな事起きないでしょ？あつ、生きたまま異世界に行くから異世界転移が正解かな？転生つて死んでるし……？

そのゲーム内に行けたとしてもさ？俺達つて不審者扱いされると思うんだけど？どう見ても異質じゃん？異邦人じゃん？

「ええ〜つと？何でそんな話になってるの？ゲーム内に行くつてあり得ないでしょ？分

かる？小説とか読み過ぎじゃない？そういうの好きだけどさ……。その世界では不審者扱いされるでしょ？」

「分かつてるよ？でもなあ？最近多いじゃん？んんん？不審者扱い？されないでしょ？特典とか付くと思うし？」

「あ、はい」

こいつ、マジで信じてるわ。目、キラキラさせてるし。読み込み過ぎたか？

「あつ、そうそう。2週間前にも行方不明になつてる奴がおるんよ。そいつと彼女さんも一緒に居なくなつてるし？ノートにそれっぽい事が書いてあつたし？ほれ、そのノートだけ！コピーした奴だけど。めっちゃばら撒かれてたwww」

「ふくん？どれどれ？タイトルは…『行きたいですっ！』ねえ？」

『ゲーム内の美少女や美女達と出会ってキヤツキヤウフしたいっ！神様達！お願いしやす！ゲーム内にイカして下さい！俺、強ええ！や、立て直し主人公とか、ヤンヤンデレツデレで修羅場キタ〜っ!!!とか？もう何でもいいんで！』

(別の日付)

ヤツタ〜！イケる！ありがとうございます！では、選べたら一番好きなゲームのアズールレーンでお願いしやす！立派なゴリラなんでwwwあつ、彼女さんも一緒にwww。コピーしてばら撒いてる頃には行方不明になつてるんじゃない？みんな〜？後

はよろしく!」

「いやいや!何がよろなの?!雑っ!!けど、字、めっちゃキレイ!うん、アズールレーンの世界に彼女さんと一緒に逝けたのかな?良かったね?頑張つて指揮官してね?それか指揮される立場かな?で、妻は誰なんです?語り愛たかった……」

雑っ!雑すぎるよっ?!達筆うしく!これ書道部部长だね?当然かな?

アホっ!ばい奴だったよな?で、イケメン。神様達?に願つて「良いよしくいっつてらしく!特典いるなら色々付けとくよしく!」つて事っ?!そういう展開のある小説、大好き!ご都合主義万歳!

艦息子とか流行つてるじゃん。それと女体化してブラック指揮官と対峙してみんなを魔の手から守る系とか。行方不明になつてのが多かったのはそういう事?みんながゲーム世界に?ふ……ふくん?

「だろだろ?おっ?興味沸いちやつた系?んしく?」

「うぐっ!」

「そう睨むなつて。そろそろ俺達もゲーム内にイケるんじゃないかな?クラスのもうほとんどが行方不明だしwww。クラス崩壊してるだもんwww。先生とかも数名行方不明だからwww。家帰つて寝たらゲーム内の世界にお邪魔してました!そこで色々謳歌してねしくつてね?」

「はいはい……。そうだね〜？カップルもその内。…かな？」

何に対してツボってるん？分からんなあ

「おっ？そうだな。…まあ？どのゲーム内に行くか分からないかもだけど？俺、強ええ！とか勘違いとか？不遇すぎて胃を痛めるキャラになったり色々するんじゃないかな？なんだ、令司も興味があるんじゃない？w w w」

「あつて悪いか？んっ？転生とか転移出来たらいいな！指定出来るならこのアホ部長と同じでアズールレーンの世界に行きたいなあ」

本当に出来たらいいな！出来たら何をしようかね？やっぱりイチヤイチャしたいかな？そんな時、考えようかね？

恨まれてて会って直ぐボッコボコにされるかもね？前？元？指揮官達に性的に色々されちやつて男性みんな大ッ嫌い！っていう理由とかで？うん。あり得るよね〜

「だな！やつてる4つのゲームのどれに行けるかなあ？指定しても行けるか分からんし？おっと？もう帰る時間じゃん……。一緒に帰ろうぜ！行方不明になるの楽しみだなあ〜」

「そうだね……。帰ろっか……。行方不明になるのが楽しみって良いのかね？…なあなあ、ゲームの妻達について喋りながら帰ろうぜ〜」

「良いねえ！アホイケメンのアズレンの妻でも予想すっか？立派なゴリラだったんだな

W

「そうしよ。こいつの残したコピーがまだあるなら読ませるよ?」

親友とゲーム内の妻達について色々お喋りしながら帰る。脳内でのシチュエーションとかもコソコソ喋った。他のコピーは無かったようだ

☆☆☆

「ただいま。っと……。洗濯機回して、ご飯作って、お風呂入ってアズレンの妻達を見てサツサと寝ますか。ふっふふくん……。いつ見ても美しいよね?みんな。委託とか色々お疲れさま。好きなだけ休んじやって。フッドはアークロイヤルとしっかりお話ししなさい?あつ、その服はエツチいですよ?プリントオイゲン。眼福です。ありがと。パイタッチ失礼しますね?くうく!柔かい!あつ、ヒツパーの顔が凄い事になってますって……。お酒は程々にね?はい、乾杯」

一方的に携帯の向こう側に色々とお喋りしている令司。シニールです。でもな?令司?気付かないの?会話が何か成立しちやってるんだよ?

☆携帯の向こう側の食堂☆

「デツカいテレビにででん!と主人公、令司の生活が映っている。盗撮、盗聴?ちよつと何言ってるのか分からない。明石と不知火、夕張、ヴェスタルの愛の力で完成させました。一部の会話を聴きましょう」

「はあはあ♡ああ、いつ見ても素敵ですわ〜♡毎回毎回毎回、優しく囁いてくれて♡大鳳は♡大鳳は♡沢山イツてしまますう♡んん♡はあはあ♡あ〜♡子作りしたいですわ〜♡お待ちしますわ〜♡」

「サプラ〜♡イズ♡たいほ……。ぐええ〜♡ギ、ギブギブつ!!!」

「大鳳〜?指揮官様は私のですが?邪魔者は排除したいですが。ハア…、出来ないのよね……。指揮官様と子作り♡うふふふふ♡燃えますわ〜♡どんなシチュエーションなら指揮官様は燃えるのかしらねえ?加賀あ〜?」

「……………姉様、まだご飯を食べてるので手を尻尾でペチペチしないで…。ああ、床をビショビショにしないで。濡れ過ぎ。掃除がたいへ…」

「せ・ん・ぱ・い・方♡」

「ちよつと!翔鶴姉え〜♡?!変なお酒を飲み過ぎい!」

「……………あ〜もう!パクパク…ごくん。赤城姉様、翔鶴、瑞鶴は廊下で正座しろお!!!」

「オイゲン!お酒臭い!うぐぐぐ……。重いっ。きやく〜♡」

「ヒック……。あひやひやひや♡姉さ〜♡うひひ♡むにむに♡ヒック……」

「ど、どこ触ってっ?! んっ♡…はっ?! ち、ちがうっ?! 指揮官だけの物なのにくく! うがくっ?!」

「誰が重いですつてっ?!」

「フォーミダブルさんの事じゃないのです。パクパク…。 んぐん。…鳳翔さん。お代わりなのです。酔い過ぎて草」

「あはは……。 オイゲンさん。 エッチって言われて喜んで…。 ガン見してたもんね。 私でも欲情してくれるかな……。? 巨乳や爆乳でもないけど…」

「お兄ちゃん……。? …… ユニコーンじゃダメ? 結婚指輪ちゃんと左手薬指に嵌めてるよ?」

「ジャベリン、ユニコーン……。 大丈夫……。 ラファイ……。 おう……。 えんする……。 Z z z z z z z z」

「ご馳走様でした。 綾波に薦められた鳳翔さんの料理美味しかった。 ラファイ! ここは部屋じゃないの。 引きずって部屋へ行きます! あっ、インディさん……。 手伝って下さい」

「う、うん。 ちょっと待ってて?」

「ありがとうございます。 はい。 待ってます」

「インディちゃんの素晴らしさを語り愛たい! 指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡イン

「デイちゃん♡指揮官♡インデイちゃん♡指揮官♡インデイちゃん♡ごっはくくっ!!」
 「うん。これで良し。ほら、行こう?」

「ご主人様、夜伽の勉強はバツチリでございます。元メイド長のニューカツスルと一緒に実戦経験を積ませて下さいませ♡元彼女さんより気持ち良いと思いますので、ハツスルして下さいませ♡」

「がいち……。ダーリンがお休みになる前の行動に入ったわね♡……ケダモノね……。
 濡れちゃった……。こんの」

「ええくく♡そうよね?オサナナジミ♡寝る前にいつも私の水着姿や下着姿等で欲情して抜いてるものね♡それを私は見てるだけ。なのに押し倒されるノ♡毎日毎日♡力
 は私の方が強いハズなのに……。アアくく♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナ
 ジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡スキスキスキスキスキスキスキスキスキスキ
 キスキスキスキスキ♡あつ、イツクうううくく♡はあはあ♡……えっ?もう一戦?
 まっ!くくくくっ!!!」

隼鷹残念。今、司令の令司君はセントルイスでハツスルしてるゾ♡それを見てたセン
 トルイスが顔を真っ赤にしてクネクネして喜んでるゾ♡

「ヴェスタルの料理美味しかった…。今日はセントルイスで抜いてるのか…。本人、喜
 んで沢山イッてる。ホノルルが顔真っ赤で介護してる…。…っで?……ねえく?飛鷹

「? 止めたら? あんた、あれの姉でしょ?」

「……ゴツくん……。川内……。いつもの発作よ? 放って置いたほうが良いわ……。ハイライトが仕事してるもの……。あんなんで傷付けないようにしてるから凄いわ……。私は弄ろうとは思わないけど」

「あらそう?」

「閣下……!! 是非! 是非! その捨ててしまうのを私の下の口に注いで……! うえ?! 駆逐艦のみんなの前でしたい?!? 是非! はあはあ♡公開授業♡ああくっ♡漲ってくるうっ」

「♡」

「「あーくろいやるしやん。あのね? あのね? いっしょにねよう♡」」

「ぐぼああああくっ!! 睦月型駆逐艦は最高だぜくっ! はいつ! 一緒にお寝んねしよっ!」

「決め顔してても鼻血で台無しですよ? 出し過ぎです。血足りてる? あつ、如月からハシカチで拭き拭きされて成仏してる?」

「にや〜♡にや〜♡にや〜♡にやへ♡うにやにや〜♡」

「よしよし。大うつけの為に頑張つて神様にちよつかいかけてありがとうございます。高級マタタビ茶を一気に飲まなくてもいいのですよ……。沢山有るので。流石シリアスです。今頃尻叩きされて喜んでる所でしょうか? あつ、ヴェスタル。どうぞ。飲みや

すいと思うお酒です」

「ありがとう。ゴクゴク……。はあく。あらか？ホントに飲みやすい……。はあく、賑やかよねくく♡エツチな指揮官だもの。発情するの分かるわ……。……って、明石？ぎゅくく♡ヨシヨシ♡」

「くらくく！愛宕っ！お座りっ！摩耶っ！鳥海っ！縛るよっ！ああくもう！嬉しそうにしないでよ！私の性癖じゃないから！」あらか♡」

一部を除く全員が手で目を隠して隙間から見たり、隠さずにガン見していたり。令司の令司君はバツチリ見られていた。オープンなんですね？

令司の基地の食堂は賑やかです。あつ、ここの基地の名前はオープンです。オープン基地です

「あらか？やり疲れたみたいですわ♡もうお休みになられます♡」

食後に紅茶を飲んでいたイラストリアス。テーブルの上にたわわな物を2つ乗つけてそう眩いたら、ぎやくぎやくしていた雰囲気ガラッと変わって？

「「「お休みなさい!!!そして目が覚めた時はこのオープン基地によろこそ!!!色々楽しみましょう！ウヘ♡」」」

……とまあ？そんなこんなで？快樂？主義？な神様達？の餌食？になつて令司は行

方不明者の仲間入りを果たしたのだった

☆遠い遠い暗い場所☆

「~~~~~♡」

「ふっふふっ♡ 良い仕事したあ♡ おや？ オブちゃん？ ご機嫌だね〜？ 観察対象に動きでもあった？」

「ピュリちゃん……。別世界線のカップル成立させて来たんだって？ ヘタレ彼氏とヘタレ彼氏だっけ？ よくやるわ。そうよ？ ようやく行方不明者リストに拳がったわ♡ 名前は四季令司。私の初めてを捧げる運命の相手♡ がここに来るかもしれないわ♡ うふ♡」

「そうそう。ヘタレ彼氏とヘタレ彼女を無事結合させて来たよ♡ 彼氏が私に言い寄って来たけどまだ純血♡ ピュリちゃんと竿姉妹になりたいから♡ おう……。タコ足が絡んで来た……。絶妙な締め付けだよ……。あひやひや♡ これこれ♡ ヌルヌルいっばい♡！ あつ、テスターも頑張ってるよ。神々にちよつかいかけたんだってさ」

「令司くん♡ この貞操逆転世界にいらっしやい♡ 男女比とかはお仲間がきつと説明するでしょ？ 仲良くパーティー（意味深）をしましょ♡ ずっとずっと待ってるわ♡」

「あふう〜。聞いてないのね…。まあ知ってたけど。あ〜、気持ち良い〜」

どうやら令司は敵であるセイレーンのお二人に目を付けられていたようだ。2人の目の中が♡マークである。仕事熱心な目の中さんだ事

あつ、もしかして行方不明者が多かったり、戦争をしている理由って男性の下半身の件だったりする？それぞれのゲーム内の女性達ってすごく溜まってるの？それ、何てエロゲーム？

令司が朝起きた時、どんな反応をするのでしょうか？楽しみですね？

オープン基地で生活開始

ようこそ！ 貞操逆転アズールレーンの世界へ！

「んっ…。むにやむにや…。んが…。んごご…。すくすく。んっ…」

「ハアハア♡やつと…やつと♡会えた♡んっ♡スンスン…あ…本物♡ハアハア♡良い寝顔♡ダメ。襲っちゃダメ…ああん♡我慢我慢…」

無事、行方不明者の仲間入りをして異世界転移を果たしました。そう、令司がひたすらプレイしていたアズールレーンの世界にね

眠っている隣で添い寝をしている女性がいた。息を荒々しくして眺めている。下半身をモゾモゾしているのには目を瞑った方が良いでしょう…。えっ？女性のパジャマがどんなのか知りたい？それは…

「んがっ。はっ！起きなきや…。…っつて、あえ？んっ？んんん？ローン？」

Why? Why? 夢の中で誰かとお喋りしてて起きたら…！起きたら…！なんとローンが全裸でお迎え…♡添い寝されてた！あゝりゝがどう…ごさい…ま…ずっ！可愛い過ぎます！

「ハアハア♡んっ♡あっ、起こしちゃった？おはよう♡あなた♡愛するあなたの寝顔を

生で見ないなんてユルセナイよねええええ?!」

「ローン♡あゝ。遂に幻覚が見えちやつたかゝ。やり込んでいるアズールレーンの妻達の中で正妻のローンが喋べっ(むにゆん)ふがつ…」

ふおおおおお!ローンのハグ!ローンのハグですぞ〜!ポキッゴキヤッとしてるけど、痛気持ち良い♡ひやつふ〜!スベスベ〜♡やわらか〜♡すごい!うん、信じるわ。行方不明者になれてありがとう

「ハアハア♡やつとあなたにハグ出来た♡あつ、忘れてたわ…これを忘れるなんて…ユルセないわ…」

「はあ…はあ…。えっ?なに…んむうう?!」

おほっ!キス!キスです!ベロキス!わ〜。あつまいわ!ご馳走様です!おん?お尻触つて来てる?それするの逆じゃない?

そう言う事でお尻触りま〜。結婚してるしヘーキヘーキ。こんなんで嫌われたらそれまでで〜す!やつべ、モッチモチ!良いの持つてんねえ!?

「んちゅ…。ちゆるちゆる…。んつくんつく。ん?!ぷはっ…。ハアハア…。ああ♡ファーストキスを捧げちやつた♡お尻触つてごめんさいね?んっ…もつとお尻触つてローンの事、確かめて?」

ローンさんの目の中さんや…。♡マークを出しちやつて…。お仕事お疲れ様です!

常にブラックな仕事をしてるの？ふむふむ。ブラックつと…。えつ？楽しんでるの？そつか〜…。一応お薬出しときますね？令司というお薬をね…？

「充分確かめたよ。ローン。ありがとう。気持ち良かった。これはゲーム世界に転移しちゃった系で合ってる？ここつてもしかして俺が指揮してるオープン基地？」

えつと？尻尾をぶんぶん振り回してる幻覚ががが…。しかもサキユバスの♡マークの尻尾…。もう…もう…最高かよ♡

『俺の正妻ローンが最高にエロ可愛くて生きるのが辛い件について』。うん。異世界転生や転移最高。ありがとう。神様、ありがとう…。てえてえ…

「そう？…どういたしまして。合ってるわよ。ええ、そうよ。ここはあなたが指揮してるオープン基地よ。行方不明者が多い件も多くのアズールレーンの世界線とかに行ってる感じよ。不審者扱いとかわれないわ。ここがあなたの家だもの♡あつ、こつちの世界で同姓同名に憑依したつて言う話はないわ」

知りたかつた事をペラペラと。でもお尻は触るのね？

「へえ？行方不明者がゲーム世界に行くのつて本当だつたんだな？まさか目が覚めたら「異世界転生？転移しました♡てへっ♡」とか思わなかつたけど…。ここが家なのか…。おつふ…ロ、ローン？ど、どうしたの？」

「ハアハア♡朝から元気ね？アツつい…。んっ♡昨日の夜、セントルイスで沢山抜いて

たのに…」

「うっ!」

頑張つて平常心保つてたけどダメだったああ〜! そうだよな? チラチラ見てもんね?

ふお〜♡息子よ! 暴発はするなよ! ぜってーするなよ! フリじゃないから〜! ヨシっ! という現場猫はご退場ください〜!

心の中でぎや〜ぎや〜騒いでいる令司。キリっとしたキメ顔をしてたのに鼻の下伸ばしちやつて台無しにしてません? ローンは気にしてないご様子ですね…。良かった…。のか?

「ついでにホノルルにも手出してたものね? 2人とも喜んでたわよ?」

「ごくっ…。見られてたのかよ…。何かアツツイ視線がずっと向けられてた事は知ってたけど」

だって次の日、抜いた娘達の背後から天使の羽根やサキュバスの羽根とかが生えてたもん。凄く眩しかった。キラ付け? っていうの? をしてあったね

「それで話を変えるけど私とやりましょ? その…、不束者ですがどうぞよろしく願いますね? あ・な・た♡元彼女さんの事なんか忘れちゃって?」

「あ…。彼女の事バレてたのね…。まあ、うん。こちらこそよろしく願います。

ローン。いや、こう言った方が良いのかな？もうずっとずっと愛して愛してハナサナイよねえええ!!」

「きやつ♡すつごくイケメンボイス♡ウフフ♡そうね♡準備は出来てるわよ♡ハアハア♡来て♡激しく愛して♡」

「えっ?でも…」

マジ?最初から激しくがオツケーなの?

「私達、KAN—SENってすつごく丈夫なのよ?それと人間とは身体の構造が違うわ。だって船だったんですもの…。あつ♡来る♡あ〜くんつ♡んつむ♡」

「くっ!なんだこれはっ?!」

表現出来なああい!?アアアっ?!持ってかれるううう?!?!?

こうして司令とローンは朝からハツスルのです。羨まけしからんですねっ!?

えっ?2人が居る場所を書いてない?そうでした…。指揮官専用の寝室でございませす

内装とかは必要最低限の物だけです。シンプルイズベストなんですっ!あつ、キングベットですよ?5人くらい連れ込めます

また、共用寝室やKAN—SEN専用の寝室がある。全寮制がしつくり来ると思う。風呂も色々な場所に色々あるよ!もちろん。露天風呂があります!

この指揮官専用の寝室には隠しカメラ等が何台もありますので、SHIKIVIDE
Osがどんどん増えていきますよ〜。愛の巣になったりするかも?

プレイバシーの侵害? 指揮官にプレイバシーなんてモノはナイナイ…。ヤベ〜い
奴から逃げられんのかな? プレイした時点でもう無いのかもしれない…?

それと寝室の隣は執務室でございます。総員起こしとかその日の起床時間のギリギリ
りまで寝られますね。ヤツタじゃないか…。仕事量はどうなってるのか分からないけ
どね?

☆☆☆

「~~~~~っ♡ヤツタ~~~~♡」

ふい〜く〜。ヤツタ…。ヤツちやったよ…。凄く気持ち良かった…。初めてつて
言う事は本当だった…。乱れまくってたけどな

後、すっげ〜お尻揉まれたけどね? そんなで何故か疲れが取れてるんよ…。ビツクリす
るわ。体調が凄く良好です♪

てつきりさ? こつちの世界の屈強な男性達ともうよろしくしてて、そこから立て直し
てイチヤイチヤすると思っただけどね? 違ってたわ…

あく…、締め付け最高だった…。思い出しても勃たないな…。ヨシっ！それで？指揮官専用の寢室の直ぐ隣に執務室があるのか…。ギリギリまで寝られるな！ヨシっ！

おや？令司にまだ男女比について喋ってないようですね？いつ喋るんでしょうか？聞いたらどんな反応をするのでしょうか？「あつ？ふくん？」とかですかね？

何処かへ向かつてる最中にとあるKAN—SENと出会う令司なのであつた

「どもども♡おはようございます。令司指揮官♡指揮官専用の青葉ですうー！」

「おはよう。青葉」

「あく♡生で見れた♡明石とかにお礼言わないと…。すっごく好きです♡結婚して下さい。あつ。もう指輪してましたね♡えへ♡いや♡♡お二人は朝からお盛んでしたね♡♡お二人とも凄くツヤツヤ♡♡ご馳走様ですう♡♡」

「ウフフ♡凄く盛り上がったわ♡私が気絶するとか思わなかったけど…。明石特製の飲まずんじやなかったわ…。効きすぎよ…。でもスツキリした♡まだポカポカしてる♡後でお礼として明石にハグしてこようかしら…」

「そうですか…。明石に聞いてどんな成分が入っているのか記事にしますね？はい。では私も指揮官にハグしますね♡ぎゅ♡♡クンクン…。スーハースーハー♡あく♡。幸せ♡。首筋に…。ちゅ♡♡」

「もう知ってるのかよ♡…。青葉新聞を作るくらいだから流石だよなあ♡♡…」

「えへへ〜♡口にキスを…。ンチュ♡」

甘いね〜。…あつ、お尻揉むんだね?揉み返すよ?あく。青葉の最高な桃尻だよ…。まあ?隠しカメラが何台も設置されてる小説とか色々あったし?気にしちや負けですぬね…

…なんかすつげ〜お尻をいやらしく揉まれてるんですけど?後、嗅ぎ過ぎじゃない?悪臭だよ?明石特製のだったんだ?美味しかった。ありがとう。楽しんだよ♪

青葉にローンとのアレコレが筒抜けでした。青葉、すつげー良い笑顔♡間抜け顔を撮られたよ…。それとローンのお胸様の谷間に右腕がスッポリ♡の腕組写真もバツチリ撮られた令司なのであつた

転移初日の朝からコレだぜ?わーい…。どうなるのでしょうかね〜?ヨクワカラナイな〜…。後、にや〜つ!!!つて明石の声が聞こえた気がする…。気のせい気のせいうんうん。やっぱ指揮官つていうのは四六時中見守られてるのね…。トツプだもんね?仕方ないね?もう広まるでしょうなあ〜

青葉つてクンカーなんですネ?すつごくハスハスしてる。ものすつごく悪臭を漂わせてると思うんですけど?うん。コレは赤城や大鳳、隼鷹と会ったら凄い事になるんだろなあ〜…。(注)なりませんっ!!!

「ええ…。気にしちや負けよ?あなたのお尻は最高つよ?魔性のプリ尻よ♡後、ずつと

嗅いでいたくなるの分かるわ♡最中に何度嗅いだ事か…♡それで…ウフフ♡みんなにバツチリ見られちやつてるのよね♡最高♡」

「ええ…う、俺の体臭つてそんな凄いモノなの？あつ、もしかして神様達の転移特典として『全身媚薬タツプリ♡』を贈られちやつた系？」

えっ？ナニソレスゴスギ…。神様達つて何を考えてるんだよ？神様達と面接した覚えはないんですけど？そういうのあるんじゃないの？ねえ？

あつ。でも、夢の中でそれっぽいのと会話をした気はするけどね？ヘラヘラしてたよ
うな…。…あつ、面接するのは死んだ転生者だけつて事？へえ？ふうん？

マジですかっつ?!?!神様達？それはやり過ぎですよ！まあ？ゲーム内に異世界転生や
転移をさせる方法があるから無茶苦茶なのは分かってたつもりだけど…。ええ…？え
え…？思いつきり小説の主人公してますやん。俺つてばさ？

神様達が何を考えてるのかつて？ゲームをしてるプレイヤーとゲームキャラの
キヤツキヤウフフ♡が見たいっ!!!

ただ、それだけです。なので、全力で色々な特典をタツプリつけて応援しちやいます
♡ラブ&ピース♡何か違うと思うけど…？

えっ？こんな世界でもチャラチャラなDQN達の存在が居るんじゃないか？つて？

大丈夫

DQN達には最高のステージを用意してそこに永久監禁してるので安心安心♡好き
なだけラブラブチュチュして下さいな♡

「『そうなの?それはそれでアリですっ!!!』」

急にキラキラしましたよ。スッゴ〜い

「まあ…。それでいいなら…。いつか…。…:朝食…:食べたいです。青葉とローン、食堂の場所分らないので案内よろしくお願い致します」

うつわ〜。良い音が鳴ったわ〜。顔、真つ赤だろ〜

「了解しました♪任務を遂行します♡ぎゅ〜♡」

おほ〜!両手が谷間に〜!マジか?!えっ?このまま食堂へ?えっ?マジか?えっ?

ええ。その通りですよ?堪能しろよな!

向かう最中に駆逐艦と遭遇する。肩車をしてあげた。そのままお喋りしながら無事食堂へ着く

赤城や大鳳、隼鷹などからの猛烈なアタックがなくてソワソワしちゃうのだった。また、アークロイヤルも静か過ぎて気持ち悪かった…。大丈夫?アークロイヤル、ちゃんと息してる?

食堂の入口付近で肩車を止めた。またしてねと予約されました。身体を鍛えるのに

丁度いいので許可してあげたのだった。筋トレするのが趣味だったりする

「はあはあ…。ふう…着いた〜」

駆逐艦達と遊んだらもつとお腹空いちやったよ…。うわ〜…すっげー広い…。パーティー会場？いや高級レストラン？なんか色々混じってる

「あらあら♪」

は〜…。おわっ！ようこそ！指揮官！そしてローンおめでどう！って弾幕があるう〜！

「青葉ああああ！やりやがったなあ〜っ?!」

「えっへへ〜♡張りきっちゃいました〜♡だつてようやくですもん♡」

「ちよつとっ！翔鶴姉え？無言で撮るのは…。それと連写止めなつて」

「……………。瑞鶴も撮れば?」

「はっ?…ま、まあ、私も撮るわよ?」

「まあまあ…。青葉に頼んだのよ。つで、ここの食堂つて重桜、鉄血、ロイヤル、ユニオン、サディアとか多国籍?つて言うの?だから、こうなるでしょ?」

「ア、ハイ」

「弾幕のサブライズされるなんて…。ありがと♡これでみんなも自由にイチヤイチヤし

て良いわよ♡頑張つてね♡無理させちゃダメだからね?」

食堂の入り口で口撃?をしていた令司。青葉は嬉しそうに身体を震わせた。もつと
して欲しいようだ

「大鳳♡♡サプラ♡♡イズ♡♡って、あわわ♡し、指揮官♡な、生つ?!きゆう♡♡:」
「ふ♡♡ん?ヨシっ!切り替えて朝食を摂るわ。んっ?あ、アルバコア?グルグル目で
倒れなくていいんじゃない?おーい?」

んっ?大鳳人形なんてあつたっけ?実装されてないような?ヨシっ、また切り替え
てつと…。えつとどれにしようかな…。ええ♡♡?種類豊富過ぎるわ…。これ、毎日が
パーティーだよ

「生指揮官…。…暖つかくて…。ラファイ…。また…。寝る…。ZZZZZZZ…」
「ラファイ?お♡♡い?」

メニュー選びに迷っていると、あつ、もう腕組は解除されたよ…。アルバコアがお目
目グルグルにしてボタンキュ♡♡。とラファイに抱きつかれました

うむ。ラファイ…。隠れ巨乳は反則じゃないの?寝る子は育つんだな…。?もつと
育つてね?ねっ?堪らん

もう一回サツサと切り替えて朝食朝食!迷うわ♡♡!失礼かもだけどリットリオつ
て料理作れるんだね?うん。スタイルさいつこうです。ただ全裸調理は辞めて欲しい

けどね？

リットリオは令司に気付いて笑顔でピースをした。令司はつられてピースを仕返してあげた。もちろん、笑顔付きだ。ポフンとなるリットリオだった。可愛いね？

料理が思っていたより豊富過ぎて何を食べるか迷っている所に声がかかりました。令司にとつては聖母の存在からです

「あら？指揮官様？お食事は如何ですか？」

「うひゃいつ?!えっ?その声は鳳翔?結婚して下さい!」

「はい♡もう指揮官様としてますね♡ほら、この様に左手薬指に♡もし選べなければ私がお召し物でも用意しましょうか?お腹が減つてはお仕事には集中出来ませんよ♡」

あつ、心の眩きが口に出てた。笑顔、最高くく!む、胸がチラリと!テーブル乗せてる!眼福でありますっ!

「そうだった…。鳳翔の料理、頂きます!」

「畏まりました♡どうぞ召し上がって下さいね?」

無事朝食を摂る事に成功した。鳳翔ママの料理は美味しかったようで、おかわりを3杯した

みんなも続々と朝食を決めて食べていく。船だから食べなくても良いんじゃないか

「?ここでは食事が補給を兼ねてたりしてます。まあ?娯楽つてのもあるかもしれないけど…」

「良い食べっぷりね…。料理、習おうかしら。講師は誰にしようかしら…。う〜ん」
 「ご馳走様でした。リットリオさんの作った料理。見た目はグロテスクでしたが味は最高でした…。あつ、指揮官、お伝えする事があります」

ローンは令司の隣で、青葉は令司の向かいに座って朝食を食べた。令司の食べっぷりを見てローンは作れるようになりたいと思ったようだ

令司はローンの作った消し炭でも残さず食べると思うよ?腹を簡単にトイレ?に捧げると思う

「ふう〜…。ご馳走様でした。美味しかった。…えっ?青葉の真剣な顔を見るとか中々ないなあ。どうぞ?」

「はい。それじゃズバツと言いますね…。このアズールレーンの世界の男女比が1・30なんです。男性が1で女性が30。大きく偏ってる世界なんです」

「うんうん。…うん?」

とりあえず頷いておく令司

「で、指揮官のアッチが凄いの基地のみんなは知っています。そ、それで、基地にいるみんなに素敵な体験させて下さいね♡もちろん、みんな初めてです!」

「……うん？」

首を傾げる令司。そして顔を真つ赤にして身体をクネクネして言いきる青葉なのだ。ローンはウンウンと頷いている。ちゃんと説明が出来たようだ

「「ようこそ！ 貞操逆転アズールレーン世界へ！」」

んっ？ んんっ？？？ はい？

「……………はい？ 男女比1・30？……………はい？ 女性過多の世界に転移した…。の？ ええ…？ 赤城、隼鷹、アークロイヤル、エンタープライズ。どっから湧いて来てんの？ 壁の修理しな…ってもう治ってるう?!」

うん？ えくく？ なんか凄い事になってるんですけどくく？ ちよつとくく？ オブザーバーにピュリファイヤー達？ なんて事してくれてんのく？

会ったらお話ししようぜ！ 会話出来るでしょ？ 物理会話はやめよう？ なっ？ まあ？ 無理かもだけど…？

そんな感想をもった令司なのだった

「「きゅくくん♡」」

ダイナミックな登場をしたみんな。赤城、隼鷹、アークロイヤル、エンタープライズの頭を撫でて落ち着かせたのだった。みんなハッハッして犬の様になっていた。良い娘でちゅねくく♡

☆遠い遠い暗い場所☆

「クシユん……。ああ……。これは令司くんが遂にこの世界に来たのね♡はあ……。会うのが楽しみ……。♡」

「オブちゃん。オブちゃん。ギブギブっ!締めすぎ!おい!聞いてる?ギブ!ギブ!本当にギブなんだってえ……。お……。い!あうんっ♡」

セイレーンのお二人、ピュリファイヤーとオブザーバーが令司の存在を確認したようです。凄いね?どうやって令司の存在を確認したの?ねえ?

令司と令司の部下達とお話する機会はあるのか?多分、あるんじゃないかな?その内にね?

えっ？？えっ？？

朝食を済ませたところで青葉の口から、このアズールレーンの世界の男女比が1・30と言われた令司。頭の上にポンポンポンと？マークがついていた。まあ……：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：？

ローンはローンでうっとり顔を決めていた。思い出したのだろう

壁をブチ破って登場した方々の頭を撫でて、落ち着かせたのだった。喜んでいた。良かったね？

☆☆☆

「！！！！ピヨ~~~~つ！！！！ピピヨ！！！！」 ↑ 饅頭語訳・指揮官！頂きます！

「えっ？？えっ？？女性過多世界であり？男性がメツツツチャ貴重な世界である？？だから素敵な体験をしたいと……」

「そうです！ローンの様にしてもいいし、リクエストに応えます。勉強はしてますので！」

「あつ、ふくん……。だから息子の様子がなんかおかしかったんか?なあ?ローン?」
いきなり話をふられるとは思わなかったローン。ビクうっ!?としていた。妄想から現実へ連れ戻されたようだ。お帰り

「えっ?ええ、そうよ／＼青葉の言う通りよ。まあ、転移初日だから混乱して当然だと思うけどね?その内慣れるわよ。私達、理性しつかり効く方だから。無理ヤリはユルセナイよねえええ!つて事……」

「ふくん……。あつ、ひよ……。じゃなかった。饅頭だね。饅頭さん達や?ハテナマークをバリバリポリポリ食すのはビックリしますよ?首を傾けてるつて事は伝わってるのかな?こっちはピヨピヨだけで意味が分からないけどね……」

令司は貞操逆転に男女比の崩壊している小説をあまり読んでなかったのかもしれない?読んででも好みじゃないし、作品自体がかなり少なかつたのかもしいですね?

饅頭達は令司の?マークをバリポリ食べていた。みんな、キラキラしている。令司からなんか美味しい成分が出てるんでしようね?

貞操逆転してるのかあ。へえ?真剣に伝えて来たからそうなんだね?頑張りますよ……。身体をそこそこ鍛えてて良かったあ!ヨシっ!唐突に現場猫登場。腕君してドヤ顔を決めている

わお。目に見えるし触れるよ。この?マーク……

あ、饅頭がすっごいワラワラ湧いてきたよ。ワイルドな饅頭、これは警備棒あるから警備員だね…。眼帯つけてるのはトップかもしれない。うっくん。こっちは整備士かな？や医療系などなど本当にいっぱいいるね

おつ、饅頭触れる。♪マーク出して喜んでますね。後、エプロン姿のもいるしせつせと？マークを厨房に持って行ってる…。♪マークも持っていくのね…

クリーブランドに渡して何かお願いしてる。コッチをチラチラ見てますね？手、振つとこ。おっ？目が合ったかな？

わあ、ボンツて音の表現が合ってるよ。真っ赤つか…。勢い良く顔を鉄板にぶつけたね。痛いでしょうよ…。手伝ってた妹達がお腹抱えて笑ってる…。何を言われたかは聞かないでおこつと…。さてと

「指揮官様あ…？青葉の言う通りなのお。急に言われて困惑するのは分かるわあ」

「おおう」

「正妻のローンの夜戦の様子からだともあ分かり辛かったでしょうけど…？はあはあ…あ…♡あ…♡害虫は駆除しなきゃなのに嗅いだらどうでも良くなってしまうたわ…♡」

「それは良かった」

右側に赤城、左側に大鳳が胸を押し当てている。というか、挟んでいる。2人とも超

ご機嫌である

「スーハースーハー♡指揮官様あ〜?大鳳は、朝のラブラブライブを見て濡れに濡れ
ましたわ〜♡」

「そ、そうか?うん。濡れてるね?」

「盛り上がってた途中でアルバコアがサプライズで部屋に入って来た時はビックリしま
したわ〜。背後から抱きしめ上げてダウンさせましたわ♡起きた後、一緒に事後処理
して貰いましたわ♡はあ:はあ:。本当にコッチの世界に、愛してる指揮官様が♡あう
ん♡また濡れてきちゃいましたわあ♡」

うむ。素晴らしいモノを本当にお持ちですよ。ありがとうございます!後でしっか
り胸を触っていいかい?それと、2人の目の中さんは今日も元気にハイライトオフ♡。
だけど♡マークを作る器用ぶり。お仕事おつ疲れ様で〜す!

「大鳳がアルバコアと仲良しで良かったよ。見るや聞くだけで気絶するって聞いたし」

ここの大鳳は変わってんだな?逆サプライズをかます良いお姉さんじゃないか。ア
ルバコアも嬉しいんだらうな?きつと

「そうなのですか?仲良しですわ。たまに私の部屋でお酒などを飲む仲ですわ。けど、
ビックビックされますわ。何なのか分かりませんでしたわ」

そりゃ〜〜ねえ?大鳳のムチムチ!の胸の最高の感触を味わってるからだろ?ハ

グで。ご馳走じゃないか

「そつか。あゝ？赤城、大鳳…？嗅ぎ過ぎじゃないかな？悪臭プンプンしてるだろうし…。後、2人もさりげなくお尻を揉むのね？」

「すぐ嗅がれてるしメチャメチャ揉まれてるう。そんなに良いんだ？あつ、鳳翔も嗅ぎたそうにしてる?!キラキラしてる。そんなキャラじゃなかったよね?!嬉しいです！」

「悪臭じゃないですわ！魔性のプリ尻！止まらないですわゝゝ♡」

「そつかゝゝ。赤城の尻尾触つても良いかい？鳳翔も俺の揉みたそうにしてたから揉みます♡」どうぞ…」

「どうぞですわぁ♡んっ♡ああああ♡指揮官様ぁ♡愛してますわゝゝ♡」

愛してるって言いたいけど首、締まってるう！力加減してえゝゝ!?

無事解かれて、そのお詫び？として赤城と大鳳による囁きを聴く事になった。右耳が赤城、左耳が大鳳である

「始めますわ。ふゝゝっ♡指揮官様ぁ♡愛してますわゝゝ♡うふふ♡」

あつ！同時囁きはなんかゾクゾクするう！息を荒げながらの艶やかボイスは息子に効いちゃいますっつゝゝっ！

2人とも囁きのASMRの出演希望？どうぞ！聴きたいです！クソう！貴重な男優さんが羨ましい！あつ、俺か？ひやつふゝゝっ!!!

でも赤城い?また締めてるってば!気持ち良いんだよなあ。んっ?おや?おや?おや?身体がポカポカに?うそん:まてまてい!

〔注〕 令司のみの出演希望です。2人とも令司と結婚してるのでガッツリ囁いてくれるでしょう:。貴重世界でそんな体験?が出来る男優は令司君?あなたしか存在しませんよ?そこんとこオツケー?]

「赤城に大鳳?そこまでよ?はあはあ:♡あか:しのお薬は:すぐく:効きますね:んっ♡おか:しくなっ:ちやう:。はあ:はあ♡」

「鳳翔さん:。分かってますわ♡指揮官様の身体をポカポカにするお薬を料理に混ぜて一緒に食べてた事を♡効くまでこうして楽しんでましたわ♡ウフフ♡ふくく♡あ・い・し・て・ま・す・わくくスクス♪」

赤城の尻尾責めから解放された令司。赤城は顔をほんのり赤くしていた。令司は身体の変化に対してまた?マークを出していた。饅頭達は必死に食べたり厨房に運んでいる。マイペースです。楽しそうですね?

また、撮影班らしき饅頭達が令司達をガッツリ撮影している。クネクネしているのもいた。饅頭がポーズをとって饅頭がそれを撮影しているのはなんなんでしょうね?

「うほおくく!ふう……。鳳翔?これは効き過ぎるよ?これじゃお仕事に集中出来ないな……」

「うふふふ」

「はあはあ……。す、すまんがスッキリしたい……。赤城、大鳳、鳳翔？頼む。青葉は……。どうする？」

「あつ、青葉はまだ平気ですよ〜！お誘いを断るのは悔しいですけどね？海の上でラブライブ見ながら敵と戯れて来ます！愛宕とか連れて行きますね〜！」

「「畏まりましたわ♡指揮官様あ♡」」

すっごく美味しかった料理に隠し味としてアッチが元気になるのが入っていたとか考えてなかったわ〜……。これは逆転してるからかもしれない？キまつてるのね？

鳳翔の姿、花魁だもんね？それすっごく唆っちゃうノ……。朝食貰うときガッツリ見ちゃったけども終始無言笑顔だったね……。心情はいかほどでしたか？↑すっごい大はしやぎしてたよb

これから聖母と……。うっ……。鼻血出ちゃうかも……。ちよつと出たかな？うん。出てたわ……。

「執務室で仕事しようとしてるの？そんな……。そんなの女性としてユルセナイよねえええ！」

「そ、そうなの？平気……。じゃないか？」

「んっ、平気よ？秘書KAN達がやるもの。私は充分に休憩を取った後で青葉と一緒に

壊してくるわ♡あつ、そうそう……」

「はあはあ……。お……おおう行つてら……んつむう!?!ぶはつ……はあ……。ロー……んつ!ちゆる……んつ……。あお……れるん……!ちよ……うむんつちゆ……。んつくんく……。、はあはあ……」

ふおおおおお!?!これで理性しつかり効いてんの?

ローンからのキスをキツカケに青葉、鳳翔、大鳳、赤城の順とシちやつたよ!あゝ!みんな甘いよ!美味しいよ!何で!これも貞操逆転の影響なの?マジで?スツゲ!しか言えないんですけど?貞操逆転世界万歳!

「二」フアーストキス♡捧げちやつた♡キャツ♡それではご案内しますわね♡」

なんか甘い雰囲気?が出てますけどこここつて食堂ですよ?メチャメチャ視線集めてますけど?お目目グルグル目になってたり、ガンガン頭を打ち付けてたり太ももを自分でつねったり、つねらせたりなど色んな奇行してますよ?

令司?おわかり?あんたトップでしょ?ダメじゃなあい?

「あかぎしやんのしつぽぶんぶん……!きゃ……!」

「ハアハア……。フツ……。閣下の戸惑う声などがエロ過ぎて漲つたが睦月……。それは……尊……死……だ……よ……。こつはあああ!」

睦月?赤城の尻尾にしがみついちやいけません!お父さん怒るよ!?

あゝ?アークロイヤル?鼻血出しながらガッツポーズして気絶してる?ヴェスタ

ル？そのヤカンで何をするの？かけたくく！なんか直つていくうくく？すぐくく！で、いつの間にか睦月達は尻尾から離れてる

「うはっ！ヴェスタル！ありがとう！単騎で遊んでくるぞ！さらばだ！」

「いえいえ…。修理で経験値溜まりますもの♡それはもうガッツリと……。ありがとうございますね？気をつけて行ってらっしゃい」

ヤカンで復活させたヴェスタルは良い笑顔をしていた。母親のような顔をして右手を振つてアークロイヤルを見送るのだった

単騎か。気をつけろよく？えっ？許可出してない？勝手に出撃はダメ？

いや、ゲーム上で単騎から6人までの自動編成を許可してるんでダメではないです。轟沈しないで帰ってくるもん。大破してからは本番だったりする。いやまあ、無傷で帰還するものもあるけどな？川内型の皆さんとか

「お、お兄ちゃん…。そ、そのね？スケ乳首は凄く……。破壊力……。があるの…。ネツ？そうだよな？ゆーちゃん？…。うんっ」

「こつちに来る前から見て分かつてたけどやっぱり清楚ビッチよね♡破壊力があつて最高よ♡害虫♡あつ、間違えたダーリン♡あくく♡喉仏にキスしたくくい♡」

「ご馳走様でした。リットリオさんの料理美味しくて草生えるです。それとシエフィールドさんが笑顔で草。……。ラフィーと一緒に敵をブツ潰して来るのです……。それ

じゃ、サツサと叩き起こさないと……」

「生令司指揮官♡やつふ♡是非是非インディちゃんと私、ポートランドを可愛がつて下さいね♡指揮官♡指揮官♡インディちゃん♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡好き好き好き♡ぐええ〜!」

「……………」

「あ、綾波ちゃん?無言で引きずらないでえええ〜!ねね?一緒に出撃するから許してえ〜!インディちゃん!」

「うっふふ♡加賀り火先輩を焚きつけるチャンス♡もういつそ、生令司指揮官に土下座して頼めば良いのに♡ねえ?ずいか…?…あれ?居ない?高雄?瑞鶴は何処にいるの?」

「パクパク…。ごっくん…。んあつ?ああ…。瑞鶴はヨークタウン、エンタープライズ、ホーネット、アドミラル・ヒツパー、ロドニーと一緒に敵と戯れてる最中じゃないかな?こっちは愛宕を締めてから朝食を取りに来たって訳だ……。シリアスの監視だから凄く大人しいかもな?」

「……ヤル事が凄いわ…。つで、敵を倒しても消化不良を起こしてエンタープライズと一騎打ちの演習をする感じね……。懲りないわねえ……。瑞鶴……」

「性欲の発散の仕方はそれぞれだから?加賀を弄つて楽しむお前の様に?」

…と、まあ、食堂は賑やかでした。平和ですね。令司を見て理性崩壊気味ですけど。結婚してるんだから沢山、ハッスルしましょうね〜？

☆☆☆

「ここが、鳳翔の部屋か……。お邪魔します」

「どうぞ♡…ハアハア♡」

令司達は無事に食堂から移動して鳳翔の部屋へたどり着ついた。移動中は右側に鳳翔の谷間に挟まれての移動だった。えっ？左側が空いているじゃないか？赤城か大鳳のどつちかが腕組みをするをするんじゃないや？って？

しないです。何故なら……

「(指揮官様と鳳翔さんのツーショット！実に良い！鳳翔さんの外側に向いてる、はねっ毛がピコピコしてて最高ですわあ！どんなライブを奏でるのでしょうか？ハアハア…♡)」

…と、脳内がお花畑になっていたから。きゅ〜くん♡ともなっている空母の母？でもあるからねえ？

2人は鳳翔と令司の後ろを歩いている。2人はヤベ〜い奴じゃなかったのかい？

確かに?理性はしつかりしてるね?ただ、3人が歩いている床が凄く湿っていくんですけどね?お漏らししているようだ

うおおお!聖母・鳳翔の部屋。スツゲく綺麗!甘い香りが凄くする……。お香焚いてるんだね……。うう……。嗅いだらポカポカ度が増しちゃったよ!よく耐えた!ヨシヨシ……

「…鳳翔?その…はっ…はあ…。もう始めようか?赤城も大鳳もよろしくね?」

「ハイくっつ♡ですわくっ♡指揮官様あ?ソレを思いつきり解放してくださいませ♡」

「ハイ♡激しく愛してくださいませ♡指揮官様♡もう我慢は…んむっ♡……アっ♡着たまま…♡」

「あ〜。鳳翔!鳳翔!」

こうして令司は鳳翔を可愛がり、その次に大鳳、赤城の順でライブを奏でていった。3人の血を確認しました!青葉の言う通りだ!

そして他のKANISEN達が見ている、床をビショビショに濡らしまくって清掃の達人?の饅頭達が張り切ってピッカピカにしたり、回収して饅頭専用プールを作って遊んだりしたのかなんとか?饅頭は自由に過ごしてます

えっ?何で行為を見れるのか?それはこのオープン基地の至る所に隠しカメラが設

置されてるからですよ？隠しカメラが設置されていない所はないんじゃないかな？

令司は多分、分かってると思う？そう言った小説を読み漁つたらしいから？見られたタイプなのかもしれない

☆遠い遠い暗い場所☆

「ふう…。スツキリしたかも…。締めすぎはビックリしちやつたけどね？ふふん。あつ、首の向き間違えた……。よいしょと……」

首スポンしてたのか？そのまま喋れるとか凄いね？首無し騎士さん？

「ごめんね？ピュリちゃん。興奮し過ぎちやつたわ…。ああ！これじゃ令司くんに嫌われるわ…。そんなの嫌よ……。ごめんなさい」

体育座りして床にノの字を書くオプザーバー。たわわっぱいが良い感じになつてい

る

「んんん？嫌いになるかなんん？」

「…で？テスターはどうしてるの？」

「んっ？じゃんじゃん量産して、令司くんのKANSEN達にじゃんじゃん破壊されてるからテスターはそれはもう大興奮だつてきゅじゅつくりや瞬殺とか色々な方法でね？令司くんの所って破壊数ブツギリのトップ♡他の所にもちよつかいかけて、そこそ

ここに破壊されてるけど満足しないってさ」

「へえ〜? そうなの? 他の世界線が滅んでここに集まってきたテスター1000人を大満足させるとか凄いわね? その元締めでもしてる? オリジナルとお話したいわね♡」

いじける? のをやめて、立ち上がり背伸びをするオブザーバー。ぶるんぶるんしている。令司が見たら押し倒してしゃぶるでしょうね?

「1000人だっけ? 1万じゃなかった? まあ? どっちでもいいけどね。オリジナルとお話し出来るかね? ああ〜、令司くんと会ってキャツキャウフフしたいな〜♡」

令司くんと会えるのはいつになるのでしょうか? 楽しみですね? テスターさんは破壊されたい系のDMかなにかかな? 数が多いよ……

うわゝゝ…

鳳翔の料理にお薬を盛られていたので発情状態になってしまった令司。また、鳳翔も料理を食べていて発情

お香の焚かれていた鳳翔の部屋にお邪魔した令司、赤城、大鳳。3人とのラブラブライブを基地全員にまたまたお届けした。お盛んですなあゝゝ

基地のどこかの床などは沢山濡れている事でしょう。枕を濡らしてたりするかもね？これには餓頭達にもっこりだとか？

「大うつけは餓頭達にとつて神様みたいな存在ですね？見た事がないくらいイキイキしてるからね……」

と、餓頭達を撫でながら呟いていたのが居たとか？その内に毒牙？にかかるんじゃないかな？フラグ？ポツキリへし折るか受け入れちゃうかのどつちかじゃない？結婚指輪をツンツンしていたから

☆☆☆

「ふう～～～。スツキリ。鳳翔、赤城、大鳳、ありがとう……。愛してるよ」

俺の身体ってどうなってるんよ……。ええ？神様達は何の特典をくれたのやら……。お話ししたいぜ……。でも、会ってお話しをしたとしても、多分記憶に残らないと思うんだよねえ？

「愛してますわ♡指揮官様あ♡赤城は指揮官様に満足して貰えて嬉しいですわ♡凄くタフで素敵でしたわあ♡それと鳳翔さんの貴重な乱れる姿でキュンキュンしちゃいましたわ♡うふふふ♡」

「大鳳も愛してますわ♡オールラウンダーだったのですね？みつともなく乱れに乱れちゃいましたわ♡うふふ♡鳳翔さんと絡みが出来て幸せですわ♡」

「愛してますわ♡指揮官様♡赤城に大鳳……//もう……思い出さないで……。その……指揮官様の、ち、乳首がみ、魅力的すぎるのがイケナイのです。休憩中にしていただきます？おーぷん？って言ったのにはビックリしましたけど……」

みんな、全裸で仲良くお喋りをする。みんな、スツキリした顔をしていた

令司は自身の両手を枕にしたかったようだが、右手は大鳳が、左手は赤城に占拠？されて腕枕を堪能していた。赤城は嬉しくて尻尾を振り回している。鳳翔は令司に乗っかっていた

「いや～～～？表示でもされるかなあ～～～と思ったけどダメだったよ……。チュートリアル

無しかあゝゝい！つて叫びそうだったね……」

「イケテルボイスで尻尾、ピーンってしてしまいましたわあ♡」

「そっかゝゝ。良かったな？赤城」

ふうゝゝ……。聖母が凄くエロ過ぎるのがイケナイ。赤城に大鳳のサポートも効果抜群で沢山ギシギシアンアンしちやっただじやないか！干からびるのを覚悟してたのになあゝゝ

マジかゝゝ。だったよ……。『全身媚薬人間♡』にされたかもしれん……。明石の所に寄って見て貰うか……。詳しくそうだし。赤城に大鳳は腕組み好きだね？頭スリスリしてるよ。腕枕してるのにな？器用だな？

「明石なら酒保にずっといますわ。この貞操逆転世界に指揮官様を連れて来る様に神々に沢山ちよっかいをかけてましたから……。褒めたりしてくださいね？後は……。明石とも励んで下さいね♪」

「……………顔に出てたかな？ありがとう、鳳翔。酒保ね？案内頼んでもいいかい？ほら、このオープン基地ってただっ広いじやないか……。？会えない可能性出ちゃうと思うし？言い訳になるけど転移初日で地形とか分からないし……。迷子になるよ」

本当にだっ広いのよ……。迷路のようだ。あつ、部屋の詳しい？説明したかな？全寮制ってこじんまりしてそんなイメージだけどね？ここって超高級マンションなの……

令司の言う通りでこの基地内に住み家がある

詳しく?説明すると、鳳翔の隣に『川内型』、その隣に『大鳳』、その隣に『翔鶴・瑞鶴』、その隣に『赤城・加賀』って感じになっている

後、二階建ての一軒家も複数存在を確認しております。誰の家なのでしょうね?

「嬉しいですが、お断わりします。プリンツオイゲンやポーラなどを捕まえた方がよろしいでしょう……。それとお話したいって思っているKANISENは多いですからブラブラして迷子になって相手をして下さいませ♪」

右耳囁き。ゾクゾクするうくく!!あつ、退いた……。もう一戦したかった……

「そっか……。ありがとう……。迷子になってくるよ。しつかり休んでね?赤城に大鳳もしつかり休んでね?それじゃ、行って来ます」

「行ってらっしゃいませ♡」

令司よ。だだっ広い基地で簡単にプリンツオイゲンやポーラなどといった酒スキ一の連中に会えるのかい?あつ、盗撮・盗聴されてるから簡単に会えるかな?

☆☆☆

何度でも言おう。我がオープン基地はやっばすっげくく広いっ!!!迷子になったっ!

でも、ここまでデカくし過ぎたっけ？よく覚えてないわ……。まあしたんでしような……。やり込んでたもん……。メツチャ応援してたなあ……。叱った記憶はございません。さてさて？酒スキーには会えるかな？

携帯電話の地図アプリ使えばいいじゃないかって思ってたよ？圏外だったから使えなかったよ……。役立たずっ！……。って、誰に言ってるのだろうか？んっ？あれは……？

令司は早速迷子になった。ナイスです。そして、第1KANSENを発見したのだった。盗撮・盗聴のお陰でしょう

「あら？がい……。んっんっ……。ダーリン♡明石のいる酒保へ向かうのですよね？頼まれた物を酒保へ届けるのでご案内しますね♡」

発見した。……。キヤラ違うくない？シエフィールド？袋に沢山入ってるねえ？……。親友の所と大違いだ。親友はシエフィールドと結婚してたっけかな？分かんないな……。まあ、いいか

これはコレでアリっ！なんだよなあ……。くう……。俺ら男性って奴はそういうギャップに弱いんよ……。わかってルウ！

「えっ？そう？頼むわ。シエフィールド。すっごく良い笑顔。大好きだぜ！」

「ふふ。ありがとうございます。がい……。ダーリン♡」

「知ってるかい？シエフィールドって本当は毒舌無表情キャラなんだぞ？銃をプレイヤードである俺らに突きつけたりするんだ……。うむ。素晴らしいな……」

し、しまったくっつ?! つい、ヤッてしまったくっつ?! 身体が勝手に……

「あら♡嬉しいわ♡ダーリン♡会って早々に下の口に挨拶するなんて♡」

セーフっ!!! よっしや! ……ふがっ?! おお♡ありがとうございますっ!!!

「んん♡無表情ならニューカッスルじゃないかしら? 毒舌は……いたかしらね? 銃を突きつけるのは1発で癒し刑にされるのでゴメンですね♪まあそういうプレイをご所望でしたら幾らでもしますよ♪そういう部屋が複数ありますので♪害虫♪あつ、間違えた……。ダーリン♡」

嫌し刑? 貞操逆転世界での女性に対する重めの刑かな? 聞かないでおこつと。興奮しちゃうかもしれないし? 複数あるんだ。毎日、誰かしら利用してそうですね? まあ、すごいからね? うん……

「はふくく。美味しかったよ。それじゃ案内よろしく頼む。シエフィールド。いや、フィーチャ……。んむんつ?!?!」

「んつく♡んちゆ……。ハア……。♡はい♪ダーリン♡くっくっくっ♪」

ペロキスされたぜ! あだ名が嬉しかったのか……。うんうん。恋人繋ぎで酒保へ行くんですね? わくく、鼻歌上手い!

酒スキーではないですが酒保と一緒に行ってくれるKANISENが見つかった良かったですね？恋人繋ぎをして鼻歌を聴きながら酒保へ向かうのだった

☆☆☆

「明石〜？お邪魔するぞ〜？」

「お邪魔します」

「あつ、大うつけとシエフィールド。いらっしやい。迷子になったのでしょうか？」

「にゃ〜♡にゃ〜♡にゃ〜♡にゃうん♡うにゃにゃ♡」

お〜、明石と不知火が尊い絡みをしているぞ。ありがとう

「はは。バレてたか。迷子になったよ。で、シエフィールドに発見されたんだ」

「発見して連れてきました。デート、楽しかったです。あんっ♡」

あ〜っ、フィーちゃんのお尻の感触、最高♪楽しかったよ♪

「ヨシヨシ。ラブラブだね？……大うつけが来たし、ウチが頼んだクリームをタツプリと塗られなさいな。高級マタタビ茶効き過ぎ……。ヒック。塗らないと……」

「ヒック♡ヒック♡ヒック♡しらにゆい〜♡もつとおしゃけちようらい〜♡あひやひや♡ヒッパ〜ねえしやんもによめ〜♡あひやひや♡」

「

「ヒツパー……。その……。忠告を無視してごめんね？ウチ強いから…。んっ……。だからごめんってば。抑えこんでるじゃん……。罰は後でしっかり受けるから。何の罰を受ければいい？」

「……リットリオの相手。シリアスの監視付きで……。半日」

「ひっ?!?!。わかったわ……。今後、ヒツパーがいない時にしっかりお酒の量調整させるからね？」

「わかったわ……。ヨロシク……」

「うわ～～」

「見ない振りしてたけど……。こっちはコツチで……。ねえ？凄い事になってたのね？」

「ええ？凄い事になってる。お酒臭い。ここまです……。頼まれた物を大量に持って来いはこういう事でしたか。しっかりと塗らせて頂きますね♪」

「ファイちゃん？頼まれた物を落っことしてやるんよ。何かのクリームを3つね？」

「シエフィールドのお尻を触るのを止めて拾った令司。商品名を見る」

『激痺れ薬☆マタタビエキスタップリ増量版』。……。うん。何か凄い。ずっと凄いしか言っていないような？ほう？1つの容量は120gね？

「不知火、明石、プリンツオイゲン、アドミラル・ヒツパーにプリンツハインリヒ？そのね？飲み過ぎだよ？計画的に飲もうね？限界まで飲もう！とかはしない方が良いよ？言っちゃなんだけど、家飲みで限界まで飲んでみて吐いたからね？俺。まあ？見守られてたんなら知ってると思うけど……」

酒保の中に飲める所があり、オイゲンが素晴らしくベロンベロンになっていてヒツパーに絡んでいた。ヒツパーは必死？に抵抗してても無駄だったようだ。目の中がハイライトオフである

ハインリヒがオイゲンの背中に跨って拘束している。オイゲンは大人しく拘束されている

ヒツパーとハインリヒは口約束を交わした。ハインリヒは凄い顔をしたが受け入れた。リットリオとシリアスは凄いのかね？

おいおい。飲み過ぎだよ！一升瓶10本はダメっ！絶対っ！……んっ？

「……………フィーちゃん？激痺れ薬☆のクリームを無言で1つと医療用の手袋を渡すのは何でだい？もしかしなくても一緒に塗れと？それで手袋を出した所についてはツッコんだほうが良いのかい？」

谷間から出てきたんだけど？ガッツリ見てたけど無かったよねっ？！

「ええ♪そうです♪一緒に塗りましょう♪あら、ヤダ♪突っ込む所が違うわダーリン♪

突っ込むのはココにしてよね？ダーリンのオイルマ……じゃない」

ほう？オイルマツサージなのね？もちろん、フィーちゃんのそこに突っ込むよ？準備出来てるじゃん？

「クリームマツサージ。ダーリンのテクニックで弱々、オイゲンちゃんを昇天させて下さいね♪鳳翔、赤城、大鳳以上に良い反応をしたいと思いますよ♪私は明石をしますねえ♪~~~~つ♪」

「ん、にや~~~~つ!!!じび…:じびれるにや~~~~つ!!!まつ……」

「ダメです♪しつかりーつ丸ごと塗り塗りします♪「う、にや~~~~つ!!!」~~~~つ♪」

ええ？効き過ぎじゃなあ~~~~い？本当に痺れてるんですけど？猫の尻尾がイナズママークになってるし毛が逆立つてる。ええ……。そんなのを丸ごとーつ使用するのは？んん~~~~？

ね 渡された商品を見まくる令司。そして説明書のようなのが書いてあった。手書きで

えっ?!丸ごと使わなきゃ効果出ないの?!マジですか?!あつ?あ~~~~?かなり酔っ払った方向けね?明石、良かったね

それじゃ、手袋を装着してオイゲンに塗っていきますか。どんな反応をするかな?弱々オイゲン?

「…………ウチ、限界まで飲まなくて良かった…。少し塗っただけでもかなりキテるから…。すっごくキラキラした目でオイゲンにマッサージしてる…。ご愁傷様…………」

令司のノリノリ？のマッサージを身体を震わせて見る不知火。目の中がハイライトオフ。だが、尻尾は早く振り回していた

「

「ヒツパー？無言で腕組んでドヤ顔するのは何で？あれ、妹でしょ？」

「時間」

「あつ？もう罰の時間？わかった。行くわ。夜伽の方は残念だけどね？ヒツパーはちゃんと楽しんでね？愛されなさいよ？」

（うっくん？オイゲンに揉まれて大っきくなつてない？）

「…………もちろん。上書きされてくるわ。あんたもちやつかり揉むのね？」

妹が令司に良いようにされてご機嫌なヒツパー。引き攣った顔をするハイインリヒ。なんとも言えない？図が出来上がっていた

☆クリームマッサージ終了☆

「はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡」

「いや〜♪オイゲンにマツサージするの楽しかった♪すっごくキタよ…。本当に…。ありがとう…。目の中さんが♡マークになってる。ヨシっ。ハインリヒは罰?とやらを受けに行ったのね?程々にね?内容は聞かないよ。トラウマなんですよ?」

いや〜♪ノリにノツテ、2つ使っちゃった♪1つで十分なのにね!

素晴らしい声を奏でてくれたよ♪ついでにリンパマツサージとかをして昇天してました♪オイゲン、フェロモン出し過ぎです♪流石だよ♪滾っちゃった♪

「やり過ぎました?お2人は完全に出来上がってますね……。引きずって部屋へ連れ込んでしましようか♪私はもう濡れ濡れです♪」

シエフィールドはそういつてメイド服のスカートを持ち上げて誘うのだった。もちろん、素晴らしい笑顔で

「ゴクリ……。そうだね……。明石に聞く事があつたけど後回しだわ。ヒツパー?失礼かもだけど胸、大つきくなつたよ」

「……そうなの?ハムっ」

「耳たぶ噛むんだ。おっし、おんぶしたまま行くぞ〜♪」

令司とシエフィールドによるマツサージで出来上がっちゃつた明石とオイゲン。涙を流しまくっている。それと2人は火照っていて下の口から燃料が沢山漏れていた。受け入れ体勢が整つたのだった

自分で塗って復活した不知火は明石を、シエフィールドがオイゲンを引きずって、障子のドアを開けて部屋へ入っていくのだった。令司はヒツパーをおんぶして部屋の中へ入っていく

また懲りず？にギシギシアンアンを始めたのだった。タフ過ぎませんか？四季令司？マツサージしただけなのに

魅力的な美少女や美女達がラブコールをじゃんじゃんか出してるんだぞ！それと貞操が逆転してるっほいし！最高だろう？シなきや失礼でしょうがっ!!!妻達だしなっ！
↑あつ、はい……

☆遠い遠い暗い場所☆

「ねえねえ？オブちやくくくん♪何かのクリーム拾ったくくくこれ読めるくく？」

外出していたようで？何かを発見したピュリファイヤー。読めないようでもオブザーバーに読んで貰いたいようだ

「はい…はい…。ヨロシクお願いしますね？」

電話をしていたオブザーバー。電話なのにペコペコと頭を下げていた。上司かな？

「んくく？」

(誰とだろう?まつ、どうでも良いんだけどね)

「では……。……ふう……。で?クリームが何?ピュリちゃん?貸して。えつと……。?」

終わってクリームを渡すピュリファイヤー。読んで貰えるようだ

クリームについて表記しますね

『☆痺れ薬ママシマタビエキス増し増し☆』

容量150g

使用方法

付属の手袋を着用して人差し指でひと撫でが適量です。それを両手で薄く伸ばし、疲れている場所に塗り塗りしましょう♪塗った場所がポカポカしますよ♪1時間放置したらスツキリします♪

「?????」

首を傾げるオブザーバー。頭の上に?マークがいつぱい出ていた

「なんて書いてあった?」

右手人差し指を口元へ置いて首を傾げるピュリファイヤー。あざと可愛い?仕草をしますね?

「分らないわ?とりあえず私の吸盤一本に全部塗って、痒い所に塗る事にするわ……。ピュリちゃんに塗るわよ?」

間違った使用方法なのですが？

「は〜い♪…んっ？…っあ…。〜っ〜っひゃん♡えっ？えっ？ちよつと？ちよつと？オブちゃん？ハアハア…。ア、アツつい〜♡」

「あ〜っ♡あ〜っ♡コレダメ〜♡ナンデ〜？すっごくポカポカするう〜♡あ
ん♡令司く〜♡来て〜♡」

あらら…、2人が凄く悶えていますね？本当に痺れている。ビリビリが見えています
もん

令司達の使用した激痺れ薬☆のクリームを、間違った使用方法で塗ったらどうなるの
でしょうかね？実験したくない？

……はっ？分らない？

酒保に居る明石に身体について聞いて、見て貰おうとした令司

ただっ広い基地で早速迷った。そして、フィーちゃんというあだ名を持つシエフィールドと出会い、一緒に酒保へ向った。シエフィールドはデートと思っていた。デートですよ？良かったですね？

酒保へ入ると、そこにはベロンベロンに酔っていたプリンツオイゲンと明石がいた

シエフィールドが不知火に頼まれていた『激痺れ薬☆マタタビエキス』増量版』のクリームを、令司とシエフィールドが使つてマツサージを決行

オイゲンと明石をトロットロに仕上げたのだった。軽度だった不知火は自分で治した

プリンツハインリヒは罰を受けにバイバイ。引きつっていたのでリットリオとシリアスの組み合わせはどんな罰なのでしょうかね？ヤベ〜いのかな？

半日と言っていたけど丸一日指定とかも出来ちゃうのかね？それ以上もあるかもしれない

ヒツパーが令司に抱きつき感想を述べた。そしてハインリヒ以外を部屋へ引きずり、

またまたラブラブを開始したのだった

おい、令司！執務室での仕事はどうしたっ！ローンにするなどは言われたけどさ？

あつ、もしかしてキャツキャウフフするのが仕事かい？貞操逆転で男女比1・30だもんね？それなら、うむ！頑張るしかないな！無理はすんなよ！身体を大事にしなさいな！

☆☆☆

「…大うつけのモフモフ攻撃は破壊力バツグン過ぎる……。フツサフサのツヤツヤになつた……。ありがとう。トロトロにされたら出来るとかビックリした」

「~~~~~♪」

右側にシエフィールド、左側にヒツパーが抱きついて頭をスリスリしています。令司は気にしていない様子です。大賢者になつたからでしょうか？んんん？何か2人から尻尾が見えたような？気のせいですね。目薬差しとこ

「……………はっ?分からない?不知火、どう致しまして。こつちもビックリしたよ……」

女体の神秘つて奴ですな。睦月型はアウトダゾ！アークロイヤルが黙っている訳がない！ゾツコンだし。まあ、駆逐艦全員ラブなんだよね

みんなのファーストキスご馳走様でした。全員とやり抜きましたよ。何でみんなの口は甘いの？逆転してるから？凄いゾ！この世界は！

いや〜明石い〜。まんま猫でしたよ。癒された〜♪可愛い〜！可愛い〜！大事な事なので

でっ！復活した後には身体について聞いたらさ？笑顔でね？分からないにや！つて言われんだ♪ええ…？見て貰ってたけど分からないってさ〜。自身なら良く分かるだろつて？良く分かんないのさ♪

「あ〜…。少し痺れてるにや〜…。そうにや！分からないにや！見て調べてもにや！神々にちよつかいをかけに行つたけどにや？直ぐ了解しました的な回答を貰つてポイにや！記憶も曖昧にされたと思うにや！ごめんによさいにや…。」

やっぱり？神様達つたらそういう事をしたがるよねえ？都合が悪いのかな？ちよつかいかけられるのかよ…。凄いなあ〜

「いやいや！謝んなくていいし。ゲームの世界に来れたのは明石がちよつかいかけてくれたからだと思うし？本当にありがとう。こうして画面越しでのお喋りじゃないからさ…？感動しちやつてるんよ。息子張り切つてたし？有難く頂戴したしな。量が少なくて良かったじゃないか」

「……励まし方が下手だと思いうけどありがとにや！そうだにや。結婚しても求愛し

ちやったからにや!それと…タフ過ぎるにや!ふにや〜♡気持ち良いにや〜♡」

明石と対面で会話してると思った?残念でした。令司があぐらをかいていて、その中にスツポリ収まって会話してるの。たまに明石の顎をコチヨコチヨして喜ばせていたりする

「ううう……。お酒好きなのに……。映像見せられたら凄かった……。ごめんなさい……。姉さん……。記憶が無いって罪ね……。罰はしっかり受けたし?罰の行為中で、姉さんの好意をしつかり感じたわ……。お酒の量とかハインリヒからしつかり学ぶわ」
 「うっ……。そうして頂戴。性長してるってウソつかれたと思っただけど、最中に測ったら本当に成長してたのよね……。ありがと……。感謝するわ」

「うふふ♡喉仏にキスが出来た♡最高♪育乳されてたのね?良かったじゃない♪……。あら?がい……。ダーリン?凄く立派な音ですわね♪」

くっそう……。尊い百合を見てたのに、空気が読めないお腹めえ〜
 「……。もうお昼じゃないか……。運動もしたし、お腹が空いて当然だろう?ヨシっ。ここに来たお礼として冷蔵庫を漁って料理作るとするよ……。台所借りるぞ〜」

「「手料理!ありがとうございます!ありがとうございます!ありがとうございます!」」

「うおわっ?!声、デッカっ?!」

ほんとに運動しましたよ?での、腰痛くならなかったの。不思議。なんか起き

てからヤツてばっかだけどね？復活が凄いと思う。本人が1番ビツクリしてる……

料理するって言ったら一齐にキリっ☆って、なって拜んで来るのは何でさ？この世界の男性は料理しない系ですか？それか料理はするけど、女性と一緒にたべないとかかい？

言葉より行動でドンドン知っていこうか。盗撮や盗聴されてるのにインターネットの方が使えない？とかはどうしてでしょうね？使えるかもだけどさ？聞いてもはぐらかされそうだから聞かないよ

「期待はしないでな〜♪見てたんならわかるだろう？」

「「大丈夫です！ありがとうございます！」「」」

「あつ、はい…。待つててな〜♪」

声、デツカ〜い。目、キラキラしてる〜。頑張りますよ〜

これらの会話が盗聴されているって事をさ？忘れてなあ〜い？基地内や出撃組などなどにさ？

〜一部の様子〜

「閣下の手料理！Fooooo→→」

「……何で目を反らすのですか？ねえ？ねえ？ねえ？」

表情には出ていないが背中に汗を掻く鳳翔と赤城。大鳳のハグを経験していたのかな？関わりたくないのかもしれない。アルバコア、ドンマイ

「ふう……。これで、100体討伐完了なのです。アークロイヤルさん、草生えるです。手料理おめでとうなのです。で？こっちは……はあ〜」

「ここをギュツと強く締め付けてね？仕上げに思いつきり引つ張つて離して♪はい、完成♪……つて、あら？倒しちゃったわ♪んもう♪お姉さん、高雄縛りの素晴らしさを教えてたのにく〜。これで200体目？300？朝から高雄からの締めとシリアスのコンボで絶好調だわ〜♡指揮官の手料理おめでとう♡」

「……………」

「…………?!クウ〜ン……。綾波〜。締め解かないでよ〜〜!ぎゃん?!」

愛宕の頭にタンコブが出来たがすぐ直った。駆逐艦のパワーでは無いらしい？綾波が凄いのかもしれないね？

「はいはい……。ゴメンなさいね？ササつと帰宅帰宅……。ラフィー？お〜い？……ラフィーの手料理食べた〜い！」

「えっ？なにになに?!食べてくれるの?!?は〜い♡帰ろう〜い！」

『ビリビリ☆コーラ』を飲みながら120体討伐したラフィー。飲み干したのはちゃん

と持ち帰るようだ。溜め息をついた綾波が食べたい宣言をしたらいきなり綾波に抱きついた

「では、私が盛り付けるお皿になりましょう……。ご安心を。何処でも皿になれるように、しつかり綺麗にしておりますので。どうぞ遠慮なく。次いでに私の全てを遠慮なく食べて下さいませ。……事務系?畏まりました」

「ニューカッスルさん?無表情でそういう事を言っちゃうのビックリ……。私もお皿、したいですう!」

「ジャベリン……。えっ?ゆーちゃん?ユニコーンはやらないよ……。お兄ちゃんの料理教室を開いて欲しいなあ〜」

こう言ってる。みんな一斉に拍手とかしてるんよ?涙流してるのもいるし。……この基地って何かズレてませんか?最初っからズレているのかもしれない

☆☆☆

「「「ご馳走様でした!美味しかった♡本当よ♡幸せだわ♡愛してるわ♡」」」

ほっぺたが落ちるって表現あるじゃん?本当に落ちてるんです。お代わりたつくさんしたし……。幸せな顔で食べてくれて幸せ!いっぱい食べる君達が好き

「良かった。どう致しまして。いっぱい食べる君達が好き。間違えた。愛してるよ」
「「「「うふふ♪」」」」

…… 饅頭達って何でも食べるんだなあ。大好物なのは何だろう？ ミミズかなあ？
？ あつ、フィーちゃんに饅頭達、後片付け手伝ってくれてありがとう

「どう致しまして♪がいに……ダーリン♪ 畑達のミミズを沢山食べてるのでそうでしょうね。ミミズの量が絶妙にされてるって話です♪」

「……顔に出た？」

「出ましたね」

「そっか」

「「「「んぴっ！ピピンッヨ~~~~っ♡ピンピ♡ピピッヨ♪」」」」 訳・どう致しまして。ササ
ミが1番好き♡2番にミミズ♡こういうのが仕事です♪

「畑達。まあ、あるよね〜。今度見に行こうつと……。いつ行けるかなあ？ まだ執務
室で執務してないけどね？ うん。饅頭語、分かんないや……」

明石がいるから聞こうか。翻訳機作ってそうだし？

「ねえ？ 明石？」

「んにゃ？ にゃんにゃ？」

「饅頭達の翻訳機って作ってたりする？ それか明石達なら何て言ってるのかわかる？ ホ

ラ、整備饅頭達とコミュニケーションを取ってるだろうし?」

翻訳機で分かれば大好物のフルコースを作るからねえ。コミュニケーション、大事ですよ

そうそう、食べ終わったら直ぐにはないけどオイゲンとヒツパー帰っちゃった。寄るところがあるんでしょね。不知火は令司がお皿などの片付け中に2階に行って寝ました

「作ってみたけど反応しなかったにや。何を言ってるのか分かんないにや。ごめんにや。んにや。」

令司が胡座をかいて座したら、明石がちよんこんと座りにきた。胸にノの字を書く明石。令司は尻尾をぎゅつと掴んで鳴かせたのだった。2人のスキンシップのようだ

「そっか。分らないか。ありがと。こっちの言葉は届いてるから別にいいか。楽しそうにしてるなあ。行こっか?フィーちゃん。それじゃ、バイバイ」

「はい♡がい…ダーリン♪お邪魔しました。行つてきますよ♪」

「バイバイにや!いつてらっしやいにや!また用事とかあつたら来てにや!!!」

両手をブンブン振り回すのとぴよんぴよん飛び跳ねながら見送る明石なのだった。お花や♡マークが咲いていた。令司は、右手で目をゴシゴシしてからその光景を刻んで散歩を再開したのだった

☆☆☆

迷子になるのを再開した令司とシエフィールド。恋人繋ぎを再開しています。シエフィールドは令司のお尻を1度も揉んでいない。移動中だけね。誰と会うのでしょ……んっ？

「あら？令司指揮官さまにシエフィールド……。ごきげんよう」
無事遭遇しました。良かったですね

「ごきげんよう。イラストリアス様」

「イラストリアス。ごきげんよう」

イラストリアスお嬢様のおなぐりぐり。って、何か混じってるけど気にしない事にする。やっぱりお嬢様ですわ。すっげーキラキラしちゃってるよ。スタイル良いわく。うん。同じ感想しか言ってないわく

「シエフィールド？指揮官さまの手料理を食べられて良かったですわね♪みんなして拍手しましたわ♡お皿になるって言った方々もいましたわ♡」

お皿になる方々?!そんなにいるの?!えっ?雑な料理なんだけどね?!右手が谷間に沈んでいく。ありがとうございます!

「有難うございます♪美味しかったですよ♪強制とかはしないようにしてくださいね? ……お皿ですか。ニューカッスルなら絶対に言うでしょうね?」

「しませんわ♡こうしてお喋り出来る時間を罰の時間にしたいくないですから♪ニューカッスルはしつかりと言っていましたわ♪

ニューカッスルが言ってた?!ヨシっ!会ったらヤルと伝えよう!ベルバストが釣れるゾ♪

「それで?指揮官さま?お腹を満たした後、どうされるのですか?」

「えっ?執務は?」

「終わりましたわ♡」

「えっ?そうなの?ありがとね?基地のマツピング!何、だけど俺に必要そうなのはなさそうなんだよな……。なら畑達の所か?でも休憩してたいな……」

「そうですか?」

「あ〜、畑に行った感想は、すげ〜、広い。しか言えないと思うのよ……。みんなのお部屋訪問か?一件一件?部屋……。多いんですけど?200以上はあるんだよ?う〜ん」

基地の全体図だけど、俺には関係ないのが多いと思うのよ……。KANSEN寮と自分専用の寝室、執務室、第1食堂。(食堂が5つあるって事後会話で聞いた)、酒保な

「~~~~つつつつ?!?!?!
~~~~つつつんアツツ ♡♡♡」

「……あるえ?」

「あらあら♪イラストリアス様だったら♪匂いを嗅いでお漏らしなんて♪笑顔でトドメを刺しましたね♪鍛えてた効果がありませんね♪お茶会、参加しますね♪メイドですもの♪」

「ええ?ビツクリなんですけど……?くっさいのかい?」

うん。フィーちゃん?言わないであげてよ……。コレは……うん『全身媚薬人間♡』説の可能性大だろ?まあ……?無いとサツサと枯れてたでしょうからね。助かるわあ???良い匂いですよ?臭くないです。何を言ってるんですか?」

マジの奴だね。そうですか。良かったよ。お茶会へゴーゴー!!

そうして令司はお茶会に参加するのだった。執務は絶対?にさせないようだ

☆☆☆

「来たわね!旦那様!お茶会を始めましょう!イラストリアスだったらうらやま……、けしからんのよっ!私にもお願いするわ!」

「……………つ。んむつ…。リア……」

お茶会の部屋を開けたら直ぐ目の目に腕組みをしていたクイーンエリザベスがいた。令司は固まった。だつてねえ？プルンプルん♡なんですよ。すつとーんじやなくてプルンプルん。エリザベスのお胸様が

で、イラストリアスと濃厚なキスをする。終わったら橋が出来た。エッチいですね？「……はあ♡うふふ♡分かつてると思いますが、リアのファーストキスですわ♡下ろして？」

「ありがとうございます。畏まりました。クイーンエリザベス。いや、エリちゃん。よいしよと…。「ひゃんっ」ふうふう…。いかがですかな？つて？「ふにや〜っ♡」……エリちゃん〜ん？お〜い？」

「あらあら♪エリザベス様ったら♪」

茹で蛸になるエリザベスなのだった。グルグル目である

「ご主人様のお姫様抱っこの破壊力は凄いですね……。特大抱き枕で鍛えてもダメとは…。やはり匂いですね」

いや〜。実つてるよ……。最高です。ニューカッスル？特大抱き枕つて……？全員持つてそうだなあ〜。↑いいえ？全員じやないです

「……羨ましいですわ♡（な♡）」

「誰が重いでつすつて?!ねえ？誰が重いですつて?!トレーニングでキープしてるわよ

?!果実が重めなのは認めますよ?後、指揮官?!生乳首、最高ですわっ?!」

グルグル目で、右手人差し指でピシツと令司を指して早口で最高と言うフォーミダブルなのだった。コツチも茹で上がっている。耐性が無いようだ

「ひゃいつ?!ありがとっ?!フォーミダブル!!」

背筋をピンとする令司。なんか色々可笑いすね?

「まあまあ……。フォーミダブル。落ち着いて……。陛下は頑張つて鍛錬してもダメでしたか……。まあウチも匂いでだいぶ脚がガクガクしてるんですけどね。メイド達は流石ね?」

「鍛え方が違うので。ご主人様はウォースパイト様とヴィクトリアス様の間で、陛下を抱っこしたままお座り下さいませ。それではお茶会を始めましょう」

畏まりました。うん。紅茶の種類沢山あるく。あつ、美味しい

喋ってないKANISEN達がいるが、このお茶会に参加しているのは

クイーン・エリザベス、ウォースパイト、プリンス・オブ・ウエールズ、イラストリアス、ヴィクトリアス、フォーミダブル、ニューカッスル、ベルファスト、シェフィールドである

令司達は紅茶を飲んでシリアス他が作ったクッキーなどを食べて談笑した。そしてお茶会が終わる時が来た。エリザベスはお茶会をしている最中、ずっと令司の乳首を思

いつきり見ていた。触らなかつたが

「お茶会終わつた……。いや〜色々喋つて、笑つた〜。誘いにノツテ良かつた〜。ありがと〜。それでね？やっぱり何かを盛つたよね？身体ポカポカしてただけど？」

シリアスのクッキー美味しかつたです。クッキー部門？つてのがメイド内にあつてニューカッスル、ベルファスト、シエフィールド、シリアスの順なんだつてさ

クッキーか紅茶に盛られてて、身体ポカポカし出したんだけど……。息子よ？出番ですよ？ロイヤルお嬢様方をガッツリ食しな？

「盛つてないわよ！旦那様！シリアスのクッキーは平気だつた？…んっ…ハア…♡キちゃつた♡」

「はあはあ…。ええ…。陛下の言う通り盛つてないわよ……。平気…そうですネ……。はあはあ♡」

「えつ？盛つてない？うん、平気だけど？みんな食べてたじゃん？それでみんなして発情しちやつたんだね？うん。シよっか……」

「ご主人様。身体の調子はいかがですか？」

「ベル？身体の調子？絶好調だから。奥の部屋がそういう部屋だつて事、分かつてるから。エリちゃんから美味しく頂いちゃいますね？」

「バレバレでしたか……。ご主人様、流石です」

クッキーや紅茶に盛られてなければ。って話はもうしないよ。ピンク部屋でラブラブする!以上!これは決定事項だ!

「はあはあ♡お願い…するわ……。ドロドロ…に愛して…ね?旦那様……。んっ♡」

「畏まりました。エリちゃん。みんなともスルからな?よろしくね?」

「ハイ♡」

「ははっ。全員、いい返事をするんだね」

エリちゃんからゴーサインが出たので我!夜戦に突入す!

ヤル気マンマンな令司達はピンク部屋にゾロゾロと入っていき、アンアンしまくったのだった

実は、お薬は盛られていなかったが、お香のような物が焚かれていたのだ。令司はそんなのには気付かなかった。まあ、結果オーライって事で♪

☆遠い遠い暗い場所☆

「おじゃま〜!!!!つて……」

「あ〜♡う〜♡♡ひゃんっ!?アツ♡アツ♡ひもちいい♡んっ♡ハアハア♡」

使用方法を守らず勝手に弱体化したオブザーバーとピュリファイヤー。2人の目の

中さんも働きの者ですね？♡マークですね。痺れてるのに快感が襲って？いるようだ  
板チョコのようなドアを蹴破って入ってきた美女が2人を見て引いていた。板チョコのようなドアは壊されなかった。頑丈だね？で、閉まったドアに自然と背中を合わせていたのだった

「……あんたら、何でビックンビックンしてるの？なんかさ？2人の声がエッチいんですけど？うん。これ知ってる。ロリボイスとウイスパーボイスって奴だ。ロリボイスがピュリっちで、ウイスパーボイスがオブっち」

落ち着いて2人に近づいて観察をしていき、指差しをしながら声の種類を告げた

「おなじなるてしゆたー♡しびれてうごけにやいっ♡たしゆけてっ♡あくっ♡」

「うん。そうだねっ。でも残念だね？オリジナルテストターじゃないんだあ。あたしは2番目なんだよ」

キョロキョロする2番目のテストター。ビクンビクンしてる原因の物を発見した

「あつ？原因はこれかな？うん？……クリームだね？空だね？説明っぽい事が書いてあるけど読めないなあっ。どうしよっ？どうすればいいかなっ？とりあえず2人を縛るところかな？えいっ♪」

読めないようにでクリームをポイ捨てした。で、突然現れた縄で2人を縛ったのだった。笑顔でね？拘束プレイがお好きなのかな？

「アアアアアア~~~~つつつ♡」

「うっわ~~~~…。良い声で鳴いたわ~~~~。緩かった?それならちよつとキツめに「~~~~」!?!?」 ええええ?」

これはこれは……。クリーム最強説明がありますね……。?令司よ?クリーム攻撃効くぞ!



新たな扉を開いてしまった……

酒保の奥の部屋で明石、不知火、プリンツオイゲン、アドミラル・ヒツパー、シエフィールドと肉体関係を結んだ令司。勿論？全員初めて♡しつかり血を確認した。ここに来て一番最初にヤツたローンも血を出していた

酒保が明石と不知火の家だと知った令司だった。その方が便利だからね？

昼食で手料理を振る舞ったら大喜びされ、盗聴していたKANISEN達から拍手で祝福される。あつたかいですね？

シエフィールドと一緒に酒保を出て行き、迷子という名の散歩をしていると『リア』というあだ名、いや愛称？のイラストリアスと出会い、立ち話をする

お茶会に誘われて、それに乗った令司。イラストリアスをお姫様抱っこして色々な部分の感触を堪能しながらお茶会の部屋へ向かった。

移動中のリアも令司の乳首を沢山触って興奮していたのだった。お互い発情していたのだ。それを笑顔で見守るシエフィールドだった

お茶会に参加していたのは、エリちゃん事、クイーンエリザベス。と、ウォースパイト、プリンス・オブ・ウェールズ、イラストリアス、ヴィクトリアス、フォーミダブル、

ニューカツスル、ベルファスト、シエフィールドだった

クイーンエリザベスのお胸様はプルンプルンであった。育乳に成功していたようだ。おめでとうございます

紅茶とシリアスや他のKANISENの作ったクッキーなどを食べて談笑していた。ホッコリしていて最高だね

お茶会が終了すると令司を含めた全員が発情。奥のピンク色の部屋に逝き、全員とラブラブしたのだった。ロイヤルお嬢様方の作戦通りだったのかな？まんまとハマったのだった

☆☆☆

うんうん。新たな扉を開いてしまった……。いや。バブみされるASMR作品を沢山聴いてきたんだけどねえ？まさかする側に回るとか。ビックリするしかなかったんだけど？

それで、寄せられるだけ寄せるポーズをキメたらメイド達以外、全員鼻血を出してお目グルグルさ。ハイライトさんは、オフ以外のお仕事も有ったようだ。給料良いのかね？天国へ沢山行っていましたね。綺麗な噴水だったね

それとお茶会では出されなかったシリアスのクッキー達でニューカッスルと盛り上がりました！

本当に、いつでもお皿になれるようにしてたんだね？ありがとね！無表情でも声が喜んでた。喜んで貰えて良かったよ。事務系も気持ち良かった〜♡た〜っぷりだったね

シリアスって分かった理由？それはシリアス作☆というダンボール箱があったから。10箱ある。令司とニューカッスルの2人で3箱を消費したそうです。シリアスルーレットでもしたのかな？何か当たったかい？

「いや〜。びっくりしたわ…。メイド達以外は乳首をねえ？バブバブもされたし。WIN-WINだよ。ほんとありがとう。ご馳走様でした。エリちゃん」

「うぐっ……。だ、旦那様の乳首は魔性なのよ！視線が吸い寄せられちゃうの！それとお尻もっ！悪くないわ！」

「悪くないよ?!きれないで?!からかってゴメン?!」

顔を真っ赤にして胸をポカポカしないで?!ちよつと痛いですつてば

結構激しくしてるのにちよつとで済む令司の身体は異常だと思っただけど？ポカポカじゃなくてポカポカなんだけど？

令司はエリザベスを抱っこして会話をしている。みんな、全裸で休憩をしている

「……ここに来るまでに会った全員に何度も揉まれてるじゃない! あ、頭をスリスリするのもしまらなかつたわよ?! ええ、気持ち良すぎよ! 匂い最高よ! 悪臭じゃないわ! 満足したわ! ありがと! 旦那様!」

「どういたしまして。エリちゃん♪早口なのはビックリ♪締め最高だったよ」

ちよつと、分けが分かつてない事を言うね?! エリちゃん?!

んっ? いいねえ〜♪エリちゃん。また腕組みをして谷間をアピールしてくれるなんて……。育乳しつかりしてたね。失礼だけど本物だったよ……。凄いね

他の基地のエリちゃん達と交流があるらしく、胸の事で凄く嫉妬されたんだってね? 揉まれもしたって? うむ。同じ人物同士か……。また新たな扉開けそうですね……

同じ人物ってオープン基地にいたかな? 居なかつたような……。分からね。いたら楽しみましようか? 感触は違うんじゃないかな? いや、同じかな?

「ウエールズの欲望を聴いて、それを楽しくヤツてのけた主人。ありがとう。気持ち良すぎたよ……。うっ…、思い出したらまた鼻血が……」

「息子が大変お世話になりましたウエールズ。ウォースパイトが良い感じに……。ぐふふ……」

「うっ……。くっコロもどきが……。指揮官、気持ち良かつたよ。ありがとう」

「お皿にして下さりありがとうございました。ご主人様。これからは、お皿同好会のみ

なさんにしていつて下さいませ。また、ベルファストのミルクもたっぷりつけて堪能とは流石ですね」

ニューカッスルのつてさ？なんかそつちのお店を開けそうだよね？程々に呼んで楽しみますよ。それが向こうが率先して皿になるかもね？知らんけど

「ベルのミルク、ご堪能ありがとうございます。ご主人様♡」

「ニューカッスルの事務系の方も楽しんで頂けたみたいで良かったです。勉強した甲斐がありました」

「うむ。報告書とし」

「こちらに……」

早いなあ。まあた、谷間からだよ……。どうなつてんのさ？流行つてんのかね？身体の構造が違う。で、簡単に済ませそうだな。ま、良いんだけど

「……ありがとう。それ……」

「どういたしまして。……あら？ヴィクトリア様？まだ搾り切れて無かったご様子ですネ？搾り切りましょう」

「はっ♡はっ♡…えっ？」

お茶会終了後にミルクティーの使用してたミルクがベルファストのつて聞いてびつくりした令司。後、ヴィクトリアスのも使用していた。プレイ中に楽しんだらしいです

よ？

飲んでる時、ヴィクトリアスの顔が真つ赤かで湯気が出てたのはそう言う事だったんですねえ……？？イヤンイヤンする仕草、ぐさつと刺さったよ？

くつそく、ヴィクトリアスの搾り切ったと思ったのに！ありがと！もつとイチャイチャを見せて？どうぞ

「はあ……はあ……。ありがとう（ですわ）」

「だいぶ鍛えられましたわ♡リア、幸せですわ♡後、フォーミダブルったらねえ？趣味、バレましたわね♡うふふ♡」

「うう………。誉め殺しは効いたわ……。トレーニングしてて良かった。それとみんなして撮……。ううう……。」

テーブルに重い果実を乗つけてグデングデンするフォーミダブル。頭から煙が出ている。沸かせそうだ。褒められる事に慣れて？いないようだ。慣れていきましようね？

「似合ってた（ましたわ）。青葉新聞に載る（りますわ）」

「……好きにして良いですわよ。これ、盗聴されてますからね」

フォーミダブルが全員から褒めまくられまくったようですね？令司、ウォースパイト、ヴィクトリアスが青葉新聞に載ると断言。後日、バッチリ青葉新聞に載る。そして

その趣味？とやらに参加するKAN—SEN達が増える事をまだ知らないのだった

☆☆☆

「旦那様！散歩再開よ！良いわね！何処に行くか迷ってるならね！時間と場所的に第2、第3食堂がオススメよ！ハイ！地図！貰ってないのでしょ！これを使って散歩すれば良いわ！」

「陛下の言う通りです。指揮官。ここから先は私達は付き添う事はしないので一人散歩を楽しんで下さい。他のKAN—SEN達を見つけて捕まえて散歩するのも良いですね」

「地図！そうだよなあ。最初から貰えば良かったんだよ！うん。ウォースパイト、ありがと。捕まえてみるね？それじゃ、行って来ます」

「行ってらっしゃい！（ませ・ですわ）。旦那様！（指揮官、ご主人様）」

令司よ。ローンと出会って会話した時点でね？そのね？このオープン基地の全体の地図を貰う発想をしなかったんだね？だだっ広いつて言つてたじゃん

ベンチに座つて地図を眺めている令司。真剣な表情をしている。この表情を見てキユンキユンするKAN—SENがいるんじゃないかな？

「はえ〜〜。ひつろ〜〜いつ！本当にひつろーい！饅頭農園、饅頭養鶏場☆ゴージャス☆、饅頭養豚場、饅頭牛放牧場、饅頭養殖場とか色々書いてある。饅頭スツゲ〜！経営者じゃん！」

うん。やっぱり広いね♡軍のテーマパーク♡って感じ。船が美少女や美女達に擬人化したんだもんね？そりやねえ？俺には関係ない施設がいっぱい♡

無差別KAN種級☆大会用海域って凄いなあ……。戦艦海域、重巡海域、空母海域とか色々あるね

工場も広い？よね？明石1人が回してるの？いや、ずっと酒保にいるって言ったな。ヴェスタルと夕張がいるから任せてるのかもしれない。他にも適性の方々もいるかもね？

饅頭達もいるから平気か？朝に工☆廠☆長！って書いてある法被を着た饅頭がいたからねえ？頭の上で跳ねてたなあ〜。楽しそうにしてたっけ

でき？饅頭養鶏場☆ゴージャス☆って何っ?!共食い?!……って、発想はないのかもしれないな。饅頭に鳥料理メツチャ振る舞おう!!!↑キリっ!!!

では、第3食堂に行きまーす！第2食堂は別の機会です！

☆☆☆



## 〈第3食堂〉

誰とも会わずに1人ブラリ旅を堪能しました。わくわくパチパチ。うん。第3だから銅のネームプレートだわ。確かに第1食堂は金色だったね。第2は当然、銀色をしてるね

「ふうふう…。ここが第3食堂だな…。うん。ここも広いじゃん。おっ？リットリオ、ザラ、ポーラがいる。リットリオはやっぱ全裸か。うむ。素晴らしい身体をしている。ありがとう」

料理表を見ないで、腕組みをしてリットリオとザラとポーラを見る令司。熱く見られていた3人は気付いたのだった

「くくくくつ♡あつ、令司(様)♡いらつしやい♡」

「やあやあ。来たよ。リットリオ、ザラ、ポーラ。料理の邪魔をして悪いね？」

「平気ですうく」

「第1食堂じゃないんだな？みんな愛してる。結婚してください。そしてその素晴らしいうりつとりオの褐色を食らせてくれないかい？ザラもポーラも勿論、食らせてくれ」

みんな、素晴らしいよ。リットリオはプリンツハインリヒの罰の相手をしてた筈なんだけど？ここにいてるって事は終了したんだな。アドミラル・ヒツパーとプリンツオイゲンが寄ったから早まったのかもね？

「ハイ♡喜んで♡って、結婚してますよ♡」

ほらっ。っと、言って左手薬指を見せる3人。熱い視線を浴びてキュンキュンしている。

「おっと。そうだったね。すまんすまん」

「ふふ。……サディア料理を食べてくれ（ませんか?）。はい♡この後、身体を貪ってくれ（ませ）♡」

「うん。サディア料理を頂こう。「どうぞ♡」…って。ポーラ?おっと。そうだったな。お皿同好会だったな……。それでは頂きます」

積極的に皿になった♡!!!本当に丈夫なんだねえ?ビックリ。熱いのに

「どうぞ♡召し上がれ♡」

「♡おめでどう♡ポーラっ!!!可愛い声を出すネ♡」

ポーラがお皿同好会のメンバーだったので料理とポーラの両方を美味しく頂くのだった。みんなから拍手で暖かく祝福されるポーラなのだった。リットリオとザラもニッコニコで見守っていた

「いや〜。令司の下半身は元気だね。知ってたけど。流石、清楚ビッチ♡ここに来る前に演習上がりのKANSEN達とヤツタというのにな。リットリオは濡れてるから♡あつ、襲っていいかい?理性が効かなくなつてき…んっ♡」

第3食堂内で始めた令司。食べ終わったからね。リットリオの言う通りで、来る前に演習大会上がりて服が破けてエッチイ姿のKAN—SEN達と出会っていた。そこでも始めていたのに復活していた凄いぞ！令司

☆第3食堂へ到着する前の回想☆

「~~~~~♪」

地図を見ながら、鼻歌を歌いながら1人ブラリ旅を堪能中の令司。そこに演習大会が終わって服が破けてエッチイ姿のKAN—SEN達と遭遇した

「どの食堂に行こ…て?!しししし、指揮官?!?!」

「んっ? エンタープライズ。それに瑞鶴や青葉達。演習お疲れ様。コッチの世界に転移されて来たぞ。もう知つてると思うけど」

演習お疲れ様です！カッコいい美女達がキタ〜っ！んもう。エンタープライズ、モジモジすんな。襲つちやうゾ！ダイナミック登場してたじゃん？

「いらつしやい♡しきか…ん? はい。どうしたの? 翔鶴姉え? うんうん…。えええつ?! やめてよねっ?! おねがいっ! あっ! ちよ?! もしもし?!」

「「「「ようこそ! 貞操逆転世界へ! 指揮官!」」」」

「んああ〜♡本物だあ〜♡やつと来た〜♡明石達に感謝だな! 高級マタタビ茶を



「キスありがとね♡ そうだよ？ あつ、勿論、これファーストキスよ♡ 言つとくけど指揮官以外の男性なんて見た事ないわ！ せいぜい見たのは指揮官のイケメン親友さん位かしら？ 指揮官の方がイケてるよ♡」

「瑞鶴、ありがとう。まだお尻揉むのね？ 止めないよ。みんなも演習お疲れ様。エッチイ姿が見れて大満足だ。それじゃみんな！ キスしようか！ お尻解禁。揉み合いしよう！ さあ、来いっ！」

「「「ハイ♡ 指揮官♡」」」」

「あ〜〜」

（ハアハア♡ あ〜〜っ♡ どうしよう♡ キスやお尻の揉み合いでムラムラが凄い事に♡ 何の為にエンタープライズと一騎討ちしてるか分かってるのっ?! こんの〜っ♡ 頭の中の翔鶴姉え…）。ドヤ顔でグツジョブするなあ〜〜！）

キスにお尻を揉むのを許可した令司。その中で瑞鶴がムラムラして発情状態に仕上がっていました。演習に参加していた全員とのスキンシップを終えたら？

「ぶはっ…。 はあはあ… はあはあ…。 うっ…。 これは…。 すぐく… キツイ…。 はあはあ…。 なあ」

おつかしいなあ?? スッキリしたんだけどお？ キツイよお？

「ど、どうした？ 瑞鶴？ おい？ 瑞鶴？ 様子が変だぞ？ それが発情状態って奴か？」



「んひやいつ！ンンン〜っ♡」

「「「えへへえ〜♡瑞鶴♡エンタープライズ♡青葉♡おめでと〜♡」」」

こんな事があつたのだつた。盛りまくりですね？まあ？みんな、笑顔で受け入れてるから良かったな？キラキラしまくりである

☆遠い遠い暗い場所☆

「あ〜♡う〜♡」

「なんか凄い下の口からなんか垂らしてる……。上の口から涎出てるし。これ、どうしようか？……垂れないようにもつと強めに縛ってみる？えいつえいつ♪」

縛つても回復しない様で、同じ所をグルグルと歩いている2番目テスター。縄が緩いと思つたようでキツめに縛り直したのだつた。それ、やっちゃいけない奴ですよ？

「かつつは♡んんん〜♡〜♡〜♡〜♡」

「え〜？もつと垂れてきたんだけど〜？かかつたしい〜？しよっぱい。ちよつと白くなってる？ピユリつちにオブつち〜？どうしちやつたの〜？仲間を呼ぼつと……」

分けが分からないようで、涙目になっていた。司令が見たら睨めるのかな？

携帯電話を取り出して仲間を呼ぶ事にした。電波、届いてるんですね？文字を読めな

いのにどうやってるんでしょうか？ オブザーバーも使ってたし。不思議ですね？

「もしもしゅ？ 35つち？ 2だよ？ ピュリつちとオブちの様子が変わさ？ 介護っぽい事したら悪化したの？ うん？ 縄で縛った？ だよね。合ってるよね？ でね？ 助けに来て？ お願い！ うん。待ってるよ？」

「~~~~~!?!?」

「連絡したからね？ うん。35つちが来るまで放置が良いのかも？ 何か食べよつと……。何かあるかなあ？」

35つちの応援が来るまでお腹を満たす事にしようだ。クリームの攻撃、凄いな？ もっと悶えてて下さいねえ？ 人類側のお願いだぞ？



???すみませんがどちら様ですか？

ロリ爆乳のクイーンエリザベスから地図を貰って色々へえ？ふくくん？となった令司。やり込みすぎてテーマパークみたいになっていた

それと饅頭達が経営者だったのでスグ〜となった。地図を見ながら1人ブラリ旅をして第3食堂へ向かうのだった

えっ？ロリ爆乳？えっ？プルんプルんって表記されてたよね？↑プルんプルんなんだけど爆乳だったのです！そう言う事にしておいてね！ガバつガバな作者からのお願いだゾ♪

向かう途中に演習が終わってエツチい姿になっていたエンタープライズ、瑞鶴、青葉達と遭遇

瑞鶴は翔鶴から何かを言われて、茹で蛸になった。エンタープライズとキスとお尻揉みを合図？に演習に参加していた全員とキスとお尻揉み合いをしたのだった

全員とのキスとお尻の揉み合いが終わったら令司と瑞鶴が発情したのだった。瑞鶴と始めて、エンタープライズ、青葉の順でラブラブしたのだった

青葉は見るだけで幸せを感じる勢だったようですが、ここは貞操逆転世界。なので実

は身体が仕上がっていた。駆逐艦達、ナイースアシストです。

で、人数が多い駆逐艦達とシタか？トップ3とシタのだった。軽巡や重巡、空母などともした。お盛んなのです

スツキリしてから第3食堂に到着。そこでリットリオ、ザラ、ポーラに会い、結婚を申し込んだ令司。笑顔ですぐ受け入れられた。既に全員、結婚指輪を貰っていたのだ。サディア料理を頼んだら突然ポーラがお皿になった。同好会に入っていたのである。そのまま料理とポーラを食す令司だった。周りから笑顔で拍手で祝福された

それを見守っていたリットリオが発情？して？いたのか襲う宣言をした。が、令司が襲ったのだった。リットリオの次にザラも食したのだった。更に駆逐艦や軽巡、重巡などどヤツてみんな大満足するのだった

☆☆☆

「ご馳走様。美味しかったよ。3人の身体も美味しかった。可愛い。ありがとう。愛してる。もちろん、食堂に居るみんなも愛してる。気持ち良くしてくれてありがとう」  
 「お粗末様♡愛してるわ♡令司（様）♡むっぎゅ〜♡スーハー♡スーハー♡」  
 「「「どういたしまして♡指揮官♡愛してます♡気持ち良かった♡」」」

ふう…、スツキリした〜。ハグ最高です♪リットリオのおへそ辺りに紋様が浮かぶってねえ？そんな事つてあるんだね？びっくりだよ

それでね？どうやら本当に俺のお尻は魔性のプリ尻みたい。挨拶代わりになるんだろぅなあ〜。ドンドン揉んでつて？こつちも揉み返すからね。胸も行くかもよ？

「うふふ♡紋様綺麗だ♡駆逐艦達や軽巡達とか数名に手出して数名紋様出たからな？本人達もびっくり。まあザラは出なかつたけどね？」

「そうね。出なかつたわね。あ〜あ。淫紋出て欲しかったわ〜」

リットリオとザラの絡みは尊い！ありがとう！もつときやつきやウフフしてっ！

令司の目の前で淫紋を撫でる2人。それを正座して見る令司。みんな全裸だ。なんという光景でしょうか

「違うのは沢山出したな。母乳とか。料理に使っていくわね？ベルファストとヴィクトリアスのミルクも使いたいなあ。重桜達のも使いたいなあ…。ああ♡使いたいのがいつばいいらう♡」

「そうなんだ？リットリオの紋様、凄く綺麗よね？褐色だから本当に凄いわ♡ええ♡令司とポーラに美味しく沢山搾られたから沢山使っちゃつて♡うふふ♡気持ち良かったわ〜♡ありがと、令司にポーラ♡」

「どうも。ザラのが美味しすぎるのがイケナイのよ！それと令司様の汗をたっぷり舐め

られたのとお皿に出来て幸せ♡ウフフ♡シたみんなもウンウン頷いてるわ♡ 本当はありがと♡令司様♡愛してるわ♡んちゅ♡」

「んはっ…。こちらこそありがとう。料理もみんなの身体も美味しかったよ。お腹いっぱいになった。ええ。ザラ達に美味しく頂かれましたよ。お粗末様」

いや〜、本当に枯れないなあ〜。神様達？は下半身のサポートをしつかりしてくれてたんだね？ありがとう！ドンドンラブって逝くよ！

ご馳走様でした。そうなの。ポーラ以外にもリストに載ってたから、おかわりする時にお皿になって貰ったのよ。喜んでた。そのまま下の口をパツクンしたぜ。みんなから「幸せですう♡」って言われた。良かったよ

リットリオの発言の重桜達のも使いたい？あ〜？母乳が出る体質は誰がいるんだ？まだ会ってないけど信濃、吾妻、辺りか？樫野もいたかな？樫野は出るだろ？偏見だけど。牛娘だし。…牛娘だよね？

それはそれは楽しみですな〜♪いや？そもそもミルク出るのかな？巨乳や爆乳じゃない可能性あるし？…会わなきゃ！）キリッ

勝手に？1人で盛り上がる令司なのだった

そう！そうです！ポーラの言う通りで、女体盛りがあるなら男体盛りがあるだろっ?! って事で体験したぜっ！男体盛りを！勢い良くパツクンされちゃったんだぜ♡これ

でまたまた新しい扉開いたゾ♡最高かよ!

新しい扉をまた開いて大興奮な令司であった。大興奮し過ぎでないかい?鼻血は出してない。鼻血出したら舐めて飲まれるんじゃないかな?

これからドンドン新しい扉を開いていく事になるでしょう?さて、これらのピロートーク?を盗撮、盗聴していた一部のKANSEN達の様子を見る事にしましょう

↳第3食堂の中を盗撮・盗聴していた一部の感想↳

「うふふふ♡令司つたらすつごく逝き逝きしちゃって♡そろそろお姉さん限界♡襲いたいわ♡高雄と一緒に襲いたいけど多分ダメよね。ああく♡もう襲っていいわよね♡襲う♡襲っちゃうわ♡今い…んぐっ?!…くうくうん♡」

「ひとまず安心。です……?高雄縛りもどきでも効くとか草です。草生え散らかしてて草草草。順番的なのがあるのに。このメスイヌ!」

暴走気味の愛宕をゲンコツと縛り上げて黙らした綾波。手際が良いので毎回やりとりをしているのでしょう。愛宕はトロトロ顔になっている。反省?してねえな?

「うつぶ……。ラフィーの手料理、凄く量多くてお腹いっぱい。美味しいんだけどさ……。うつぶ……。うえ……」



勢い良く服を脱ぎ散らかした女王様。腕組みをしてウォースパイトに見せつける

「無いですね。陛下の右乳に黒子なら有ります。エツチいですよ。指揮官は黒子をしつかり見てました。んんっ♡陛下♡ちよっと…な…ナニを?!」

「そうなの!ウォースパイトは紋様あるわね!良かったじゃない!感想言われなかったわね!会う口実出来たじゃない!おめでと!機会を作るか旦那様から呼ばれ?たらしつかりヤルのよ!」

エリザベスには無かったがウォースパイトにはあったようだ。おめでとう。令司に確認して貰いましょうね?

「…えっ???は、はいいい!!!陛下!あっ?くっココもどき!見るなあくく!!!んっ♡」  
「ウエールズは大丈夫だ!続けて?」

お茶を優雅に飲んでいたウエールズ。ホッコリ顔でお花を咲かせてエリザベスとウォースパイトのイチヤイチャを見ていた

「うがあくく!!!はあくくん♡」  
「……お茶会で散々見られたのに。なんでそうなるんだか……」

やれやれな感じを出して2人に向かつて歩き出した。混ざるのでしょうか?良いぞ!

「ねえ?ねえ?この姿になっちゃったね♡令司お兄様の所に突撃しよっか♡アークロ

イヤルも一緒に逝こう♡愛宕さん程ではないけどムラムラしてるのでしょ？うふふふ♡」

両手を恋人繋ぎをして頬ズリをし合っていた。仲が良いようだ

「はっ♡はっ♡ハアハア…♡い、いや…。こ…これは…、その…。ハアハア♡ハイ♡凄くムラムラしてる♡閣下とドロッドロのグッチョグチョのヌッチョヌッチョになりたい♡んんっ♡ハアハア♡」

「そっ♡ならとっつげき…♡令司お兄様…♡今から逝きま…す♡マッサージ堪能してね…♡条件を満たしたからねえ♡好きな時に好きなだけ姿変わるの♡きやつきや♡」

ふむふむ。ムラムラ限界突破組がいたり、百合の花が咲いて？いたり。新しい扉？を開けてくれそうだったり？アークロイヤルと絡んでいるなんか怪しげな2人がいたり？する。そんなオープン基地なのだった

これはオープンじゃなくてムラムラに名前を変えた方が良いのではないかい？

令司？本当に大丈夫？こんなにムラムラがマッハしてるのが大勢居るんだよ？一斉に来たら腹上死コース真つしぐらだよ？…えっ？絶対にならない？ふ…ん？そっか…。…って誰だっ！…あれ？居ない？気のせいでしたか…

こんな感じでオープン基地は毎日？がピンク色です！



## ☆☆☆

「ふう……あつ、もうこんな時間か。お風呂に入る為に俺専用の部屋に取りに行くか……」  
そもそも替えの服があるかわからないんだけどねえ？

着ている服、びしょ濡れにされて、破かれたりするんさ。でもいつの間にか綺麗になつてるんだよね？？不思議？？。饅頭達がなんかしてると思うの。凄いね？饅頭パワーは？ありがとうございます

第3食堂を後にして指揮官専用の部屋へ向かう事にした令司。向かつてる最中にKANISENと出会う事になる。だだっ広いのに良く出会うよね？？あつ、盗撮・盗聴されてるから当然なのかな？人数が多いつてもあるかもしれない？

「くくっ♪ん？あれはアークロイヤルと。えっ？美女2人……。誰？コスプレイヤーつて居ただなあく？。VRだけだと思つてたよ。あつ、コッチに来たく！サイン貰おう……。つて色紙にペンが無い！クソっ！」

白ゴスロリと黒ゴスロリの巨乳・爆乳で？双子？なコスプレイヤー美女！うん……。結婚指輪はしてるね。妻達……。なんだけど名前が出て来ない！ねえ？誰えええ？覚えがないんだけど？！

「あつ、令司お兄様発見なの〜♡令司お兄様〜♡ウチらが〜♡近くの部屋の中で  
 〜♡マツサージするわ〜♡いっぱい勉強したから絶対気持ち良いよ〜♡いやん。  
 谷間見過ぎい♡もつと見てえ♡」

コスプレイヤーの美女2人が谷間をもつと見て欲しいようで、角度を調整するのだつた。後ろに手を組んで誘ったりもした

「はあはあ…。閣下…。うつ♡…はあはあ♡マツサージ…受けてくれ♡気持ち…良い…  
 ゾ♡閣下…、良い匂い♡」

えっ？令司お兄様？美女2人、ありがとうございます！アークロイヤル。朝会つた時は発情してる素振り無かったよね？わ〜。お目目グルグルと♡マークだあ〜。器用〜。ハイライトさん。お仕事、お疲れ様で〜す

「?!すみませんがどちら様ですか？」

谷間を見つめたままでゴメンね？ウゴカナイノ…:

「???睦月、如月だよ〜♡きや〜♡」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡んんん♡キマっちゃう♡〜♡」

「アークロイヤル？は大丈夫じゃないですね？背中触るぞ〜。うん。睦月に如月…。  
 えっ?!そんなあ〜!」

よしっ！動いた！アークロイヤルに感謝！





「クスクス♡ そうだよ〜♡ お兄様〜♡ 睦月と如月だよ〜♡ はい♡ それじゃ〜♡ あ〜♡ マッサージに同意したからするね〜♡ 饅頭さん達〜♡ アークロイヤルを運んで〜♡」

「うひゃいつ! お願います!」

うおおおおお?!? ソクゾクするんですけど〜つ?!? つてもうムラムラしてる?! 何故! 沢山アンアンし愛つたじゃないかつ?! 落ち着いてただろ?!

「「「ピヨツツツ!!!」」」 訳。ハイつつつ!!!

「饅頭さん達、良い返事〜♡ ヨロシク〜♡ はい♡ 令司お兄様をマッサージ部屋へご案内しま〜♡」

マッサージを違う意味で捉えたか?! ええ? この馬鹿息子! 健全の方だろ?! マッサージのASMR作品も大好きで沢山聴いてたけども?! 良い加減にしろよ?! :いや? まさか……あるの? ええ〜?

健全! 健全! 健全! とヤっちゃやう? マッサージなのかい? ニシシ。イイぞ! ヤっちゃやおう! というかヤラレちゃう! と? 令司の頭でお祭り? 会議? が行われていた。混乱? していますね

ドナドナされる令司であった。饅頭達はすっかりアークロイヤルを運ぶのだった。凄い力を持つてるんだね

「はい♡部屋に到着♡饅頭さん達、アークロイヤルを運んでくれてありがとう♡お礼のササミクツキーあげる♡♡バイバイ」

おおく〜つ。部屋の中漣くマツサージ機でいっぱい！本格的なマツサージ部屋なんだね〜。ササミクツキーって言ったら饅頭達がギラついてたな……。好きなんですな？よおし、ササミのフルコースを作ろうつと

「「「ピヨ〜♡ピツ!!」」」訳。ササミ〜♡ハツ!!

「それじゃあ〜♡お兄様♡マツサージを始めるね〜♡しつかり癒されて下さいね〜♡」

「うむ…。えーと?採点するの?もう100点なんですけど?」

うん…。それで?睦月に如月?手に持つてるのもマツサージ機なの?あ…凄いニコニコ。あんつ♡…んえつ?えつ?ヤバそうだ

「そのな…?お手柔らかにおねが」

「「えい♡えい♡」」

「んぎや〜つ?!あつ?!ちよつ?!」

「「はあい、オイルを垂らすよ〜♡気持ち良くなつてね〜?」」

「あんつ♡」

あんつ♡ふぎや〜つ!!健全と意味深が合わさつてたつ?!ひゃんつ♡んつ♡変な声

が出そうだ。もう出てるかも？

えっ？アークロイヤル？おーい？アークロイヤルさくくん？ひやくつ♡ナニコレなんですかどくつ♡ハアハア…。アツすぎっ！アくつ♡ハッ♡ハッ♡

「アークロイヤル、凄いいねくく♡令司お兄様くく？アークロイヤルのマツサージが終わったら睦月と如月を使ったマツサージも堪能して下さいねくく♡ハイ♡ヌルヌル、追加しまくくす♡えい♡えい♡キャハ♡愛してるよ♡令司お兄様♡ふくつ♡クスクス♡」

「あつ。終わったくく？休憩をちゃんとしてくく、それから如月のマツサージ♡如月のお気に入りのマツサージ機を使って逝って貰いますねくく♡癒されてねく♡あつ、もう良い感じ？如月逝つきまくくす♡」

「もう採点は満点だね♡ヤツタ♡如月、逝つてらつしやくくい♡えつとくく？何のヌルヌルが良いかな？うくくん？あつ、そうだっ！睦月のお気に入りを使う♡うふふ♡気持ち良くなつてねくく♡令司お兄様くく♡」

睦月と如月のマツサージは息子の予想通りで、やつちやう意味深の方でした。おめでとぅ

令司お兄様が奇声をあげてヌルヌルマツサージを受けている所に、目が覚めたアークロイヤルが乱入してきてラブラブ？を開始。アークロイヤルの次に如月、睦月の順で意

味深マツサージを受ける事になるのだった

！  
令司は悶えまくったんだとか？良い思いをしますねえ？3人はもつとヤツちやえ

☆遠い遠い暗い場所☆

「」

「えー？クタクタ過ぎて言葉発せられないの？ピュリつちにオブつち〜？下の口からドンドン何かが溢れ続けてるんですけど〜？ええ〜？わっかんないよ〜！」

お腹をポンポン触りながら部屋へ入ってきた2番テスター。2人の様子が悪化していてワナワナしていた。綺麗な髪をワシヤワシヤした。台無しにするんじゃないよ

「ヤッホー♪ニーねえ♪呼ばれて来たよ〜♪うっわ〜。ピュリーとオブー、どうしたん？床がヌルってるね〜♪うわ〜っ！」

板チョコのようなドアを蹴破って入るのが作法なのでしょうか？服を脱ぎ散らかす器用さ？を發揮した35つちだった

「~~~~~っ!?!?」

「ええ〜?35つち……。滑って2人に抱きつくなんて。2人とも?奇声?悲鳴?の



ような、なんかエツチい声をあげてなんなのさ〜？縄はバツチリ締まつてるし？これ、見てあげてよ〜〜！」

「うんうん♡すっごいヌルヌルしてるね。オブーのタコ足の締め付ける力弱いよ〜？ピュリーの胸、柔らか〜い♪大きさは巨乳クラス？それ以上？すっごいねえ〜♪」  
麻痺している2人の身体をいやらしく触る35つち。彼女なりの介護なのでしよう。35つちはビリビリしないんだね？不思議だね？ニーねえは正座で3人を見守るのだった。お茶を飲んでたりする

「35つちもある方じゃない？」

ニーねえは自身の胸を真剣な顔をして揉むのだった

「~~~~~?!?!」

2人は声が出ない位、快楽？に襲われたようだ。良いぞ！もとヤレ！

「なんか勢い良く透明なのがでてるね？って、言ったら白いのが出たね？だから、それ何？ねえ？聞こえますか〜？」

セイレーンの百合の花が咲いていて最高ですね？平和…かな…？平和だね。ずっと平和が続けばいいね？効果の上乗せ出来ないかなあ？この場所を訪問したいね！

おお～～。絶景!絶景!

第3食堂でリットリオ、ザラ、ポーラ以下、数名のKANSEN達とギシギシアンアン海溝を無事に乗り切った? 溺れ切った? で、スッキリしたのだった

リットリオのおへそ辺りに綺麗な紋様が浮かび、ウツトリ顔で紋様を撫でた。ザラがそれを羨ましそうに見る。そして触る。ザラはミルクを沢山搾れられたのだった。ポーラは令司に抱きついてイチヤイチャした

紋様は褐色KANSENSEEN達が多く浮かんだ。また、ウォースパイトの何処かに紋様があつたことがクインエンリザベスの戯れ? で判明したのだった。それをウエールズに見られ、ウォースパイトは顔を真っ赤にするのだった

夜になつていたのでお風呂に入る為に、専用部屋へ服を取りに向かう事にした。そして発情していたアークロイヤルと白ゴスロリ巨乳と黒ゴスロリ爆乳の美女コスプレイヤールと遭遇。2人とも結婚指輪を左手薬指にしていた。勿論、アークロイヤルも結婚指輪を左手薬指にしている

白ゴスロリ巨乳が睦月、黒ゴスロリ爆乳が如月と判明。朝、会った時は幼稚園児体型だったので脳がヤラレたのだった

2人は察したようで、令司の目の前で幼稚園児体型と大人の両方に変身して証明した。2人の呼び方が令司お兄様。ロリボイスとウイスパーボイスなのでぴったりだったそうだ

睦月と如月からマッサージの勉強をいっぱいしたからその成果？を披露？してお兄様を癒したい♡と笑顔で言われる。令司お兄様の令司君が勝手にムラムラし始めた。健全でしょ！と叫ぶが効いてなかった様子

そんなこんなでズルズル？とマッサージ部屋に入った。睦月と如月はヌルヌルのオイルを使って癒す

マッサージでヨガっていた令司に発情したアークロイヤルが無言でやって来て、アツアツの下の口でマッサージを始めた。如月、睦月の順番でハッスルしまくったのだった。お風呂入るんじゃないかったのかよ

☆☆☆

「ふう〜。癒されたぜ。アーク、睦月、如月。マッサージありがとう。気持ち良か…、…って」

貞操逆転世界のマッサージってスゲーのなあ〜！スツゲ〜癒されたあ〜。

マツサージ病みつきになるわ〜

俺の身体キラキラしてるんじゃないやね?これ、本当にエフエクト出てるよね?あつ、出たね…。饅頭達が回収してる。もう何でもありかよ…。うわ〜…。一口でいったよ…。美味しいみたいですねえ?良かった?…ね?

「~~~~~♡」

「うん。ビクンビクンしてる。まあ、マツサージしてあげたからね?エロい声上げまくってたわな。そのままにしておこつと」

令司達はマツサージのし愛をしたようだ。アークロイヤル、睦月、如月の3人は天国へ旅立っている。アークロイヤルの右側に睦月、左側に如月が抱きついていた

戦艦クラスのマツサージってぜってー気持ち良いよ。何人かに頼んでマツサージしてもらおつと。いや、まあ?息子がマツサージで。してるされてるけどね?

「「あつ♡あつ♡あつ♡んんっ♡」」

「……………エツロいなあ〜……………アークの豊乳、揉んどこつと。うむ。素晴らしい」  
令司はアークの豊乳を揉みながらキョロキョロと部屋を見るのだった。時々、おへそを触ったりもした

うん。マツサージ部屋だから色んなマツサージ機や液体があるね。液体は10種類以上はあるなあ〜?マツサージ中にメス声が出てしまったけど……………。メス男性にさ

れちまうのかねえ〜？知らんけどね？…おっ？起きるかも？揉むのやめとこ

「「……………はっ!!閣下、令司お兄様。おはよう♡気持ち良かったよ♡愛してる♡」」

一緒にのタイミングでガバアッと起き上がった。仲が良いようですな

「うん。おはよう。俺も愛してるよ。マッサージありがと。癒されたし、スゲー気持ち良かったよ。気に入ったわ。耳も幸せだった」

採点は満点！花丸ですよ！癒したい気持ちいっぱい伝わったし。下の口からも感じたからねえ？

「良かった♡2回奪って貰っちゃったね〜♡キヤツ♡令司お兄様のマッサージ最高でした♡キヤツ♡」

本当に2回貰ったよ。別スペックだったのね……。ここに犯罪者がいまーす。俺で〜す。けどね？嫁だから気にしないで〜〜！

「癒されてくれて嬉しいぞ。閣下のマッサージは気持ち良くてスッキリした。ありがと  
う」

「どう致しまして」

アークロイヤルはすっげ〜鼻血出してたけど。貧血とか起こさないとか本当に丈夫だよなあ〜？

マッサージ、する・される楽しかったよ。これらも？覗かれてるんかね？だったら？

猛勉強してるんじゃないかな? 知らんけど。面白くなつて来そうだ

「睦月と如月の笑顔が見れて幸せだ♡ まあ、駆逐艦全員が幸せならアークは大満足だ! 後は綾波、ユニコーン、ラフィー、ジャベリン、ニーミ(Z23)達と一緒になら……イイ。ジュルリ♡グヘ♡」

「……………そつか。睦月と如月のを2回貰いました。ビックリしたけどな? ありがとね。アーク、すごい乱れてたな。2人が変身を繰り返すから目付き凄かったけど。綾波達とはほどほ」

「ほどほどは無理だ!」

「……………そつか。……………乳首、痛いんですけど?」

わお! 血涙。初めて見たわ。そろそろ離してくれませんか?

「……………つは! す、すまない」

「……………ヨシヨシ」

アークロイヤル、睦月、如月も令司にマツサージをした・されたのでキラキラしていた。キラキラを饅頭達が美味しく食べています

ここで駆逐艦達が好きすぎるアークロイヤルに指名された綾波、ユニコーン、ラフィー、ジャベリン、ニーミの様子を見てみましょう

「……………縛るぞ。アークロイヤル。……………指揮官のマツサージ…。受けたいのです…。」



ジャベリンは機能を探して、諦めてビリビリ風呂に入った。それ?大丈夫なのかい? 「……ユニコーンもお兄ちゃんにマツサージしたいしきれたい。気に入るかなあ? ユニコーン。頑張るつ!!!あれ?そういうえば:ゆーちゃん?どこ?」

「あたた〜」

「??ゆー:ちやん?」

「そうだよ?ゆーちゃんだよ?気に入るでしょう?ユニコーンお姉ちゃん、ガンバってんじやん♡条件を満たしたから、あたしも女性の身体を手に入れたよ♡よつと……」

混乱しているユニコーンをハグしたゆーちゃん。ハグを返すか返さないか迷っていた。少し離れていってポフィンという効果音で

「えつ?あつ、ペガサスのゆーちゃんにな:「ほいつと♡」……つ?」

「自由に姿を変えられる♡ヤツタ〜♡あ〜んな事やこ〜んな事出来るようになった〜♡ゆー。頑張るつ!!!あ〜♡あつたまる〜♡」

ゆーちゃんがどうやら条件とやらを満たして女性の身体を手に入れたようで、喋れるようになった。ぴよんぴよんと飛び跳ね、クルクル回つてから勢い良くお風呂へ入つていった。ここ、オープン基地は何でもありなんですわね? 饅頭達もワンチャン、男性化か女性化がある?かもしれない?



## ☆☆☆

「~~~~~♪」

アークロイヤル、睦月、如月から、「???」替えの服は饅頭達が沢山用意してるから専用部屋に取りに行かなくてもいいよ?」

と言われたからお風呂場に向かっているわ。ありがとう。饅頭達。凄くありがとう

「よし。お風呂場に到着う~~~~もう何もかもが凄い!で片付いちやうなっ!うむ。素晴らしい!過去の俺?グツジョブ!お風呂は大事だもん!おおっ?本当に服があったわ。ありがとう」

なんか高級ですよ!最高!これらがあちこちにあるんだな…。お風呂巡り出来そう。何人かしてるんじゃないかな?服、あつたぜ。本当にありがとう

やり込んだ過去の自分自身を褒め称え始めた。またキラキラを出したので、饅頭達がまた食べてます。饅頭達のお腹の中ってどうなっているのでしょうか?饅頭達は何処にでも居ますね?番頭の格好をしている饅頭達も居るのだ

「「「あつ、指揮官だあ~~~~うん~~~~お風呂大事!疲れとれたよ。ありがとう。愛してる

「「「「「」」」」」

聞こえてたのかな?みんな、耳良いつすね。見て!って顔に書いてありそうだ。見ますよお。ポーズ取ってくれてる。ありがとう

「おう。みんな愛してるよ。お風呂上がりだな。挨拶としてお尻や乳首のお触り、どうぞ?あつ、こつちも触らせてもらうからな?キスもしようか。おおう……。柔らかなあ……」

「「「きやううつ♡えいつ♡うふふ♡んれろ♡」」」

うんうん。あうう。やつぱりみんなの口あつまううい。うん。ビクンビクンしちゃつてうう。もつとサービスしたろ。モミュモミュ…つとね。……泣かなくて良いじゃん?!

無駄?にハイテンションになつちやつた?令司。脱衣所でイチヤイチヤするのだつた

「「「堪能したわ♡ありがとう♡指揮官♡バイバイ♡おやすみなさい♡お風呂でゆつくり温まつてね♡」」」

ふううう。脇メツチャ嗅がれたし舐められたわうう。脇フェチって居たんだね…。2人とだけヤツタ。残りの3人はキスをメツチャメツチャしまくつたけどね?幸せって言つてくれたから良かったよ

「バイバイ。ゆつくりおやすみなさい。さてと……、脱いだ服は…おつ?この穴に入れ

ればいいんだな。ホイっと。ヨシっ。それじゃ〜。ドアを開けて…っ。おお〜。絶景！絶景！」

「あつ♡指揮官♡入ってるわ〜♡ゆっくり温まってね〜♡」×10人以上

いや〜♡本当に絶景！夜景も綺麗だしパンパカパーン♡が沢山。絶景のダブルパンチですぞ〜！いや〜。失礼だけどプカプカ浮かんじやってますよ！乾パイっ！

お風呂に浸かって温まってKAN-SEN達を見る。タオルを巻いて入浴はしていなかった。頭の上にタオルを置いているのは少数でした。プカプカ浮かんでいるお胸様を一通り見てから身体を洗う事にしたのだった

「おう！みんなもゆっくり温まって疲れをとれな〜？さてと…身体を洗おうっ…。シャンプーは…。おっ？指揮官専用って書いてある。用意良いじゃん。ありがとおっ？泡メツチャメツチャたつなあ。〜〜〜っ♪」

ノリノリで鼻歌を歌いながら頭を洗い出した。洗っている姿を必死に目に焼き付けているKAN-SEN達だった。背中をウツトリ顔で見えたり、鼻血を出していたり大忙しだ。つまり、浴場で欲情していたのだった。ワンチャンあるかも。と…：

「……………っ」

「…：…姉貴？おおい？クリーブランド姉貴？ブクブクしてるし顔真っ赤だよ〜？鼻血出してる？大丈夫じゃないね〜？コロンビア？これ、どう思う？」

クリーブランドの両側から目の前で手を振り回す2人。コロンビアというのに話しを振ったのだった

「モントピリアにデンバー。これは「浴場で欲情しちゃった……」って思っちゃったんじゃないかな?後は指揮官の背中を見てウツトリしちゃったとか?かな?ゴクリっ。生はヤバイからなあ♡」

縁?に両手を大きく広げたキングのようなポーズをとっていたコロンビア。頭の上にタオルを置いてガムを膨らませて解説をしたのだった。最後にガムを飲んじゃったね

「……………っ?!?!?ごほっ!ごほっ!なななっ!なにを言っ…っ?!?そそそそんなじゃじゃじゃ…?!?!?」

お湯を飲んじゃったクリーブランド。勢い良く立ち上がり、顔を真っ赤にお目目グルグルさせて両手を勢い良くワチャワチャした

ヤカンのお湯を沸かせる位までになっていたようで、気付かれないようにお湯を沸かしていたのだった。そのお湯でKANSEN達と饅頭達が仲良くお茶を飲み始めたのだった

「???えっ?浴場で欲情?ぷっ…。あははは!確かに。欲情するよ♡指揮官の背中って凄いいるし♡ニツシシ♡」

クリーブランド級4姉妹は元気だなあ〜。背中、暖るんだ？ありがと？……んっ？こつちに近づいて来る音がするなあ〜？誰だろ？

「はあはあ♡あ〜っ♡指揮官の背中♡凄いい〜♡」

「洗い流してっとおお〜。背中洗ってくれるんだな……。ありがとう。クリーブランド。よろしく頼む」

えっ？巨乳ですやん……。失礼だけど、ちっばいじゃなかった。ひゃっほい！朝、会ったのにな？気付かなくてゴメンね？

遠かったつてもあるかな。胸での洗い、凄く気持ち良いよ。最高です。……息子よ？復活早くね？……もういつか☆沢山、見られてるし。もっと思ろ

「はあはあ……。……んえっ?!いい、いつの間につ?!……はっ?!ハイっ!指揮官!」

フラフラした足つきで到着したクリーブランド。背中に抱きついてトロトロの顔をした。令司の背中はヤバめなお薬なのかな？頼まれたクリーブランドは、背筋をピーンとして返事をしたのだった

「「ガンバってねえ♡その先もね♡」

「んっ?!?!」

アホ毛？でしょうか？その毛がギザギザの雷のようなマークになっていた。準備が出来ている事がバレたらしい

「[[[[ニシシ]]]]」

「指揮官の背中♡はあはあ♡な、流すね?…えつと?前を…つて…ええええつ?!むんっ♡んっ♡んっ♡んっ♡んっ♡」

「[[[[わおっ♡ヤツタねっ♡]]]]」

「んむっ。ふうっ…。コロンビア、モントピリア、デンバー。いらっしやい。クリーブランドのサポートしちやいなさい」……ハアイ♡指揮官♡」

「あっ♡あっ♡そ、そんなあ♡」

コロンビア、モントピリア、デンバーが勢い良く立ち上がり令司の下へ向かっていった。3人に犬の尻尾が生えていて、勢い良くブンブン振り回していたとか?

入浴中だったのにゴメンね?パンパカパーン。クリーブランド級4姉妹、全員巨乳!みんな、そこまで育乳していたのか!洗い愛っこしよう。うひゃい!?みんな気持ち良いよ。もっともっと洗うからねえ?よろしく

お風呂に入る前にクリーブランド4姉妹と軽く運動会を開催しちゃうのだった。入っているみんなは暖かい目をして見守っていた

☆☆☆

クリーブランド級4姉妹全員と洗い愛っこをした後、4姉妹全員とやり遂げちゃった

令司。4姉妹達は、出て行くKANSEN達によって4姉妹の部屋へと運ばれて行ったのだった

「あゝ。気持ち良いゝ。湯加減最高じゃないか！疲れとれるゝ」

クリーブランド級4姉妹全員とヤっちゃったぜ。入る前からのぼせそうだったから水風呂のをかけたわ。キンキン過ぎだよ。水風呂だったよ？サッパリしたわ

息子も落ち着いたしな？少しは黙ってほしいねゝ？多分無理だろうけど？

それで只今真つ白なお風呂に浸かっております。本当に真つ白。成分聞いても分からないのが多いと思うから聞かない。だつてゲーム世界じゃん？この世界の独特な奴が入つてそうだし？

饅頭達が伸び伸び泳いでるよ。時々お湯飲んじやつてるから飲める成分なんでしょうね？飲まないけど

頭の上にタオルを置いて寛いでいる令司。饅頭達の観察と景色を眺めて疲れをとつていた

「疲れがとれて良かったわ。ヒック。指揮官」

「そうだなゝ。飛鷹」

隼鷹の妹、飛鷹型2番艦の飛鷹が来たゝ！えっ？大丈夫かな？姉の隼鷹が突然来たりしない？後ろからグサつとかない？まあ。カモン！なんですけどね？

「ヒック。初日、あつという間ね?…ヒックヒック」

「あつという間だったな。お酒、だいぶ飲んでるな?悪酔いはしないでくれよ?それで…その…な?だいぶ近くないかい?おっふ…。太ももを撫でてくるのね?」

「指揮官の太ももが最高なのがイケナイワ♡ヒック…。悪酔いはしてないわ…。罰、イヤだもの…。ヒック…。」

「そっか。たつぷり堪能してつてくれ」

「了解。…ヒック」

お風呂でお酒を飲む!良いよね〜!おっ?饅頭達、分かっているう!頂きます。…うん。美味しい。飲みやすいな

飛鷹つて確か、周りからは隼鷹の姉扱いされちやつてるのよね〜?本人訂正する気ゼロなんだっけか?罰…ねえ?勝手な行動とかとつたらダメとか独自の暗黙のルールでもあるのだろうか?

あ〜もう。耳、ピコピコしてて可愛いなあ。これはどれだ?狐か?重桜のケモ耳最高だよ!

ここに居る娘以外を考えちゃイケナイけど、赤城の耳、最高だったぜ…。うわ、すっげ〜太もも堪能してる…。おっ?キス?カモンツ!お酒味カモンツ!こつちもお酒味だけどね?



「んちゅ♡れろれろ♡んっ♡んっ♡……ふはっ……。はっ♡はっ♡もちろん、ファースト……キスよ？お酒味だけ……どね？……酔い冷めたわ。………っ。ごく……」

「ファーストキス貰ったよ。ありがとう。そうだな。イチヤイチャしよ……う……？……ひ、飛鷹？お湯を掬って……んぐっ?!」

「飲んじゃったぜ！大丈夫でしょ？うん」

「………。お風呂の中で貰って欲しいのよ……。これはゼツタイナノ。飛鷹に任せて欲しいわ。初めてだけど準備してるわよ？中で立派になつてネ？遠慮なく果てて？」

「ごっくん。美味しい。うん。飛鷹お嬢様に任せます」

「身体がジンワリとあつたかくなつていくのが分かるんよ。発情させる成分が入ってるな？エロいお湯め！ありがと！」

「任せて。ガツカリしてね？」

「ガツカリって……。うおっ?!」

「??？」

「飛鷹が静か？に欲情していたようで、お風呂に浸かったままイチヤイチャしたのだった」

「この時の隼鷹の様子を見てもみましょう」

「あ〜♡オサナナジミが可愛い可愛い、妹の飛鷹とお話してキスを♡飛鷹？そのまま

まヤツチャエ♡ヤツチャエ♡ウン♡ヤツチャタネ♡オサナナジミ? 飛鷹の中は最高よね?♡私の事が好きでハッスルしてくれてたのに、飛鷹のキスでコロツと浮気ハッスルを♡ウフフ♡この感じ。最高よ♡あゝ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡

「……妹だったんだ。川内は間違つてたな。今度会つたら謝ろう……。見回りしながら器用な事をするんだな。矛盾してそうだがな」

隼鷹は目の中のハイライトをオフにしていた。ハイライトさんは、いつも通り丁寧な仕事をこなすのだった。川内は頭の後ろを右手で搔いていた。狐の尻尾はシユンとしていた

「川内さゝさん、隼鷹さゝさん。行くさゝさん」

「あゝゝ、行くよゝゝ。ほらっ、隼鷹、行くぞオラ!」

川内と以下数名のKANISENで、見回りをしていたようです。軽空母なのに夜の見回りが出来るとか。隼鷹は特殊な訓練を積んだんでしようね。川内に引きずられて見回りを再開したのだった

ちなみに、司令と飛鷹はのぼせる前にお風呂から上がって脱衣所で続きをしたようです。時々、お風呂に入ってくるKANISEN達ともやり始めたとか? 本当にお盛んな夫妻です事

## ☆遠い遠い暗い場所☆

2番テスターが呼んだ35番テスターが、床のヌルヌルに足を取られてピュリファイヤーとオプザーバーに抱き付いて百合の花を咲かせていたのだった。令司は尊いつて叫びそうだ？

「ZZZZZZZZ……。ZZZZZZZZ……。」

「ええ？寝ちやったよ……。原因はやっぱり分からなかったんだけど。何か2人ともスツキリ顔になってるかな？参考にはなったかな。ありがとね。35っち。あたしも寝よつと」

35っち流の介護ですっかり寝ているピュリファイヤーとオプザーバー。気絶寝ともいうが。仲良く寝ていた

「あつ、その前に部下？達を生産してつと……」

寝る前にいつもの奴？をし出した。床から沢山、召喚されていったのだった。演出は無かった

「よし。こんくらいにしとこう。みんな、おはよう。早速、いつものゴーゴーだよ？」

召喚されたみんなは、無言で頷いて戦闘の準備をしていくのだった。1番早く準備を終えたのが出て行くこうとした所で待ったをかけた。一斉に振り返って指示を待ったの

だった

「オーブン基地? だっけ? は1番最後に攻撃してよね? うん。良い領きじゃん。それじゃ、よろしくう〜。逝ってらっしやい〜。はあ……。オリジナルはやっぱり来なかつたか……。見たいんだけどなく? 逝き延びてればそのうち会えるっしょ? んじゃ、おやすみなさい。Z z z z z z z z :」

手を振ってみんなを見送った。伸びをしてから仲良く寝ている3人の上に乗っかって寝たのだった。全裸になって。全裸の2人と全裸で縄で拘束されている2人というなんとも言えない絵が出来上がっていた

令司がこの絵を見たらどんな反応をするのだろうか? この遠い遠い場所は今日も平和です

## 秘書KAN達

お風呂場を見てハイテンションになった令司。過去の自分を褒める。これ、お風呂巡りしてるKANSENがいるんじゃね?と思つたのだった。はい。実際にしているKANSEN達がいま

脱衣所で上がる所だった5人の内2人とヤル。3人とはキスをしまくつた。ビクンビクンしまくりであつた。5人みんなしつかりと令司のお尻を揉んだ。みんな令司のお尻が大好きである

扉を開けて中に入ると露天風呂で、夜景の絶景とKANSEN達の湯船にプカプカ浮かぶ絶景を見た。令司の身体もしつかりと見られた。KANSEN達が浴場で欲情していたのである

頭を洗っているとクリーブランドが背中に抱き付いてきたので、背中を洗うように頼んだ。そしてムラムラしてやり始めて、クリーブランドの妹3人、コロンビア、モントピリア、デンバーともヤツタのだった。お風呂屋さんですね。無料だ

やり終わった後、真っ白なお風呂に浸かる。饅頭達がお盆で運んで来たお酒を飲んで景色を眺めて身体を癒していると、既に酔っていた飛鷹と出会つた

飛鷹に太ももをたつぷり撫でられた。こんな事でヤル気が出て、流される？ ままにフーストキスを貰い、湯船に浸かったままやるのだった

また、場所を脱衣所に変えて続きをして、お風呂に入ってくるKANISENの数名ともヤツたのだった。令司のパラダイスが広がっていた。みんな、凄く良い顔をしていたのだった。修羅場じゃないか。って？ そんな物は早い段階でゴミ箱へポイしている

☆☆☆

「気持ち良かったわよ。ありがとう。指揮官、愛してるわ。隼鷹に何か言われるかもね？ 見回りしながら観てたと思うの。絶対ね」

「愛してるよ。何か言われる？ 刺すの間違いじゃ…って、顔面蒼白になって泣くのは何でっ?! ヨシヨシ。もう言わないから！」

飛鷹をハグして頭、撫で撫でヨシヨシをして落ち着かせるのだった。飛鷹もちやつかり令司のお尻を揉みしだいていた

飛鷹の最高だったぜ。刺すって言葉は言っではいけないのかもね。了解しました！もしかして、こんなので罰の対象になるのかな？ 罰の内容……は気にしちや負けかも？ それで、隼鷹の「刺さないわよ！ オサナナジミ！ 挿すのはオサナナジミよ！ ありがとう

！濡れたわ！オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ……」って、声が聞こえたよ  
うな気がしたんだ。電波、使えるんだね？

そっか。隼鷹はいつも俺にアピールをするけど攻めて来ないもんなあ。水着や下着であれこれしてるの……。力強いから押し倒せるのに。「……っ?!?!」

俺が妹の飛鷹とヤツてるのをドアの隙間から見てたいんだもん。……っ

?!?!「趣味ソツチだもんなあ。……っ?!?!」

司令と隼鷹、お互い記憶にない事を言い合っつて？何故か成立して？いるのだった。ナニソレ？

「ありがと。落ち着いたわ。ハグと撫で撫で最高よ♡」

「それは良かった」

そつちも満足するまでお尻触ってたね。叩かれそうだな。大丈夫じゃなくなりそう。手加減してくれるかなあ。してくれないでしょ？メス男子が出ちやう？それはそれで……。うん

「それで？後は寝るだけだけど、指揮官専用の部屋で寝るのかしら？」

「んっ?!?!」

指揮官専用の部屋？あるんだ？スッキリ・さっぱりのが？首を傾げる仕草、なんか良

いね！

「えっ?? 指揮官専用の部屋あるわよ? 何? 鳳翔の部屋にお邪魔して遊びまくったように、誰かの部屋にお邪魔して寝る? いわゆる。添い寝? ね。どうなの?」

「おっ? そうだな……。専用部屋で寝るとするよ。悪いと思うけど。誰かの部屋にお邪魔は今度だな。人数多いから回れないよ。今度はいつになるか分からないからな?」

「いや。誰かの部屋に行ったらハッスルしちゃうと思うのよ? みんなエツチいし? 幸せにしるって言うし? 相性最高に良いし? 一睡も出来ないんじゃないかな? 知らんけど。鳳翔の次は誰にしようかな」

専用部屋だったらくすり眠れそうなのよ。知らんけど……。本当に悪いねえ? 今度は胸にノの字を書くんかい

「専用部屋ね? 分かったわ。悪くないわ。なら、秘書KAN達の数名を呼んで寝るのね? うん。それは納得だわ。おやすみなさい」

なんかスツと納得してった。飛鷹ってそういう性格をしていなかったような? 変わったのかもね?

「えっ? おっ? おおう。秘書KAN達ね。全員を専用部屋に招待するわ。飛鷹、おやすみ。それと盗聴してるみんなもな? 見回り組みも交代時間が来たらサツサと寝ろよ?」

「こう言つとけば良いだろう。良い娘達だからさ? サツサと寝るでしょ? 起きてても



良いけどさ？

飛鷹に指揮官専用の部屋で寝るのか、誰かの部屋で寝るのか聞かれて専用部屋を選んだ。すると「待ってました！」とばかりに基地全体に放送がかかるのだった

『ええ〜〜。どうも青葉ですう〜。指揮官の許可により、秘書KANのイラストリアス、セントルイス、ジャン・パール、愛宕、シリアスは指揮官専用部屋に向かってくださいねえ〜！放送は以上で〜す！おやすみなさい！あつ、忘れてた！言つてた通りで見回り組みの方々も交代の時間ですよ！それじゃ、おやすみなさい！』

うん？スピーカーが無い？ちっさいから見つけられないのか？どうでも良いか。明石やヴェスタの変態技術の結晶体でしょ？夕張も居たな。音質最高じゃねえかな？凄いいねえ？

専用部屋に入る許可あ？……あ。大人数で押しかけて来ないようにかか？メイド達の掃除は無理なのかもな？饅頭達が掃除するのもかもなあ？

って、そういう設定は入れてないぞ。好きにして。って言った記憶があるからその時に好きにしたかもしれないな

専用部屋なんだからそうでしょ？盗撮はされてるけど、盗聴はしていない？部屋である。饅頭達がしっかり隅々までピカピカに掃除しています。万能ですね〜。メイド達の出番はありません

さて、青葉の放送により呼ばれた秘書KAN達、5名の様子を見てみましょう

「あら♡リアとまたシてくれるのかしら？でも、かなりの人数とやられてお疲れでしょうから、きつと寝るだけですわね？……一応、濡らして準備しておきますわ♡」

エツロい下着姿で優雅に紅茶を飲んでいたイラストリアス。やつぱりテーブルにたわわっぱいに乗せてるんですね？楽なのだろう。手などを使わないで準備していったのだった。胸も使っていない。凄いね

「指揮官くん♡ウフフ♡ようやく、生声が聴ける♡一応、濡らして準備しておくわ♡指揮官くん♡ルイスをよろしくね？ウフフ♡転移前より立派になってるわよ♡素敵ね」

セントルイスもイラストリアスと同様に準備していく。違うのは、令司の過去のハッスルシーンを見ていてノートに書いて勉強していた事だ。

過去のハッスルシーンとは？それは、転移前の元彼女と転移して来てローン達のセツの事である。なんかヤバめな感じがする

「令司兄さん……。バールの身体を好きにしているからね？準備は出来てるから。不束者物ですがよろしく♡まあ、サツサと寝ると思うけど？ね？」

おっぱいのついたイケウーマン事ジャン・バールは筋トレをされていて沢山汗を掻いていた。拭った後、香りを何度も嗅いでいた。頷いたので仕上がったようだ。これが準備なのでしよう。変わっている

「……………」

「呼ばれたな？どうした？愛宕？襲う宣言してたのに随分と大人しいじゃないか？仏の様な顔をしているぞ？下の口、濡れっ濡れじやないから心配だぞ？すつごく足がブルブルしてるな？あ、縄、もう解いておくよ……」

凄く大人し過ぎて、慌てていた高雄。早口でテキパキと拘束を解いていった

「はあ…はあ…。たか…おく…。ど、どう…し…よう…。浄化…され…そう…。はあ♡  
はあ♡」

限界突破し過ぎたようで？高雄の指摘通りで足がブルブルして立ち上がれなかった。また、床に湖が出来ていたのを高雄は見てしまったが、何も見なかった事にした。いつもの奴なのだろう

「そっか。途中まで送るから。私は専用部屋には入れないからな？盗撮・盗聴で見守ってるよ。よいしょ」

「きやつ」

「シリアスがいるからインパクト薄くなると思うがな？逝つてらっしやい♪」

お姫様抱っこで持って行くようだ

「たか…お〜」

愛宕はウルウルな目で見つめ返したのだった

「メスイヌになればいいな？」

「うん♡」

変態？な会話をしていた姉妹であった。2人とも犬耳と尻尾を嬉しそうにブンブン振り回していた

「ロイヤルメイドとして♡妻として♡シリアス♡我が誇らしきご主人様のためにご奉仕させていただきます♡濡れ濡れでございませ♡ぐつすり眠られてくださいませ♡誇らしきご主人様♡愛しています♡ウフフ♡」

シリアスの部屋の中がピンクの霧で覆われているのはどういう事なのでしょう？廊下に漏れ出ていますよ？危ないですね？

こうして、令司から指名されたみんなは準備マンタンしてからルンルン気分で専用部屋に行くのだった。添い寝は大事な行事？なのかもしれない。で、ワンチャンスのスツキリがあるかも？令司は簡単に飛び付くだろうね？おめでどう

☆☆☆

「みんな、専用部屋に到着したよ。ようこそ。入って」

「「「ハアイ♡お邪魔します♡」」」

うん。予想通り。スツキリ・さっぱりの部屋だったわ。落ち着くわ

秘書KAN達と出会って専用部屋に入っていく。令司はイケてる？ボイスでキリッ！とキメていたが令司の令司君もまた主張していた。愛し合いの開始ですかね？

そんな令司の令司君をしつかり見て、モジモジするのだった。準備した以上に大洪水なのである。お互いムラムラしていた

みんながベツトに腰をかけたのを見届けて、全員の目を見て♡マークになっているのを確認した令司は……

「ヨシっ……。それじゃ……。みんな！寝る前に愛し合うとしよう。まずはジャン・ボールからだ！それっ！」

ダイブポーズをキメた。見事な奴を。ジャン・ボール？キンの、入れ易くなったよ？  
「きやつ♡令司兄さん♡んむっ♡ん。くっっ♡」

両手を大きく広げて受け入れてあつついキスをした

「クスクス♪ジャン・ボール。おめでどう。それではリアがサポートさせて頂きますわ♡指揮官様の右耳に近づいて……。ふうっ♡」

「では、シリアスがこの尻尾から出る粘液を使って誇らしきご主人様にご奉仕させていただきます♡ヌリヌリ♡……。効いているようですね。誇らしいです♪」

「「……………くっ♡…ハアハア♡」」

令司はやはり？専用部屋でも秘書KAN達とベットウエー海溝の攻略を開始した。ドロツドロのグチュグチュにしたりさせたりし愛っただった。専用部屋がピンク色に染まっていく

最後の相手はシリアス。出し切つてスツキリした。全員全裸で令司に抱きついて仲良く眠りに落ちていった。みんな、良い夢を見れるでしょう

起きる頃には令司もみんなもキラキラに。秘書KAN、みんなの体調などが絶好調になつているのをまだ知らない

では、ハッスルする前の令司の専用部屋に入る前の様子？心の叫び？を覗きましようか

く回想。専用部屋入る前く

「「「令司兄さん♡指揮官様♡指揮官くん♡指揮官♡誇らしきご主人様♡専用部屋に入る許可、ありがとうございます♡」」」

専用部屋に到着。それで？許可した秘書KAN、全員エッチいエロ下着を着用してる！ネグリジエ？だっけ？最高に似合ってる。眼福ですぞ。ありがとう！セントルイスにジャン・ボールは母乳が出る体質だったんだな。ジャン・ボールは意外だよ

うんうん。エリちゃん事、クイーンエリザベスの本物のロリ爆乳（モチモチ、プルンプルン）、睦月と如月のゴスロリ美女の件もあつたから、まだ居るんだろうなあ？とは

思ったけどさ……？

そのお？シリラス？スツツツツゴク、エツチいいい♡最高くくっ！しゆき♡だつてさくく？『淫魔』だよ？『淫魔』。淫紋バツチリ出ちやつてるし、尻尾もある。ブンブン振ってるし♡マーク作ってる。角に羽根はないね？隠してたりする？

ああ、シリラスのお尻叩きてえ！メイドサキュバスって最高ですうくくっ!!!ちろつと舌出したけどなんか長そう……。それで耳舐めなんかされたら……。ふおおおく♡想像だけでゾクゾク、鳥肌たっちゃった

髪は本来はショートだよな？親友の見たんだぞ！それが俺の基地ではロング♡似合ってる♡はあく♡しゆき♡しゆき♡1番最初に指輪あげて正解だったよ♡勿論、みんなを愛してるぜ！

それで、愛宕は高雄におんぶされてここに来たな？愛宕のケモ耳が前に垂れ込んでた。撫でなくなつて撫でたら「くくくくんあ♡」つとエツロい声あげてたよ。高雄が笑顔で「ありがと。おやすみなさい」って言うてきた

高雄にお礼としてキスとケモ耳を撫でたら「わうくくん♡」って喜んで？たわ。足ガクガクになつてた。んで、摩耶と鳥海に連れていかれたんだわ。摩耶達、2人にもハグとキスしてあげたよ。2人もガクガクしてたね。なんなんだよ

で、ある。令司の頭の中はピンク色でパラダイス？のようだった。秘書KAN達もパ

ラダイスなんですけどね。お似合いだねサカツプルって事で

「指揮官くん♡転移前にルイスとホノルルを使ってくれてありがと♡ホノルル、凄く可愛かったわ♡襲いたくなるの我慢したのよ？んちゅ♡れるんちゅ♡」

「ぷは…っ。お、おう…。セントルイス。転移前にお世話になったよ。生声を聞かせて幸せだよ。愛してる」

バレてたか。百合つちやえば良いのに。それは嫌だったんだろうね？ルイスらなりの一線はやっぱりあるのか……

「ハアハア♡ええ。愛してるわ♡」

転移前にお世話になったセントルイスがあくく、腰をへこへこして誘ってるう♡幸せだくく！良い匂い♪

「本当に専用部屋に招待ありがとですわ♡むぎゅく♡」

専用部屋に入れるので嬉しいイラストリアス。嬉しさを爆発させてハグをする。大胆であります

「おっと…リア…。何もなければ？寝るだけの部屋だし」

真正面にリアの爆乳！これを…お茶会の後にね。凄かった。ごくりっ

「「「……………っ♡」」」

お喋りをしていない残りの4名は必死に専用部屋から漂ってくる空気を嗅いでいた。



必死に思いつきりに。レイシニウム？という成分補給をしていたのである。下の口は準備していた時より濡れ濡れ度が増していった

まあ、専用部屋に入ったらレイシニウムは嗅ぎ放題なんですけどね？成分過多になると思うの

「みんなもハグしよう？おい…んむちゅ…」

グイグイ来た〜っつっ!!!

「「「♡♡♡」」」

うはあく！ここにいるみんなの口の中などが甘い事は分かっていたけど。目の前のメスらは甘さ増し増しですぞ〜!!!美味しい!

やつぱり、お尻を揉んでくる!バツチリだ。寝るだけなのにムラムラしてきた〜!早く専用部屋に入ろうっ!!!シンプルでつままない部屋だけだねっ!

…と言う事になっていた。で、長い長いベットウエー海溝の攻略開始である。秘書KAN達に司令の味をしっかりと刻み突けるのです。初日からかつ飛ばしますね?流石ですみんな、誘い受けスキル?を身に付けていたようだ

☆☆☆

大半が眠っている中で、専用部屋のベットウエー海溝をリアルタイムで観る精鋭のKANISEN達の様子を見ましよう。録画されているので後で観る事が可能なのですけどね。とにかく生が欲しい様だ

「指揮官♡セントルイスとジャン・バールのマツサージで気持ち良くなってる♡音声がないから何を言ってるのか分からないけどね？ああ〜♡インデイちゃんと一緒にマツサージしてあげたい♡意味深の方も♡インデイちゃん♡指揮官♡インデイちゃん♡指揮官♡」

「……………うるさい…。ZZZZZZ…」うぎやく〜つ♡あつ…。ZZZZZZZZ」

インディアナポリスは睡眠の邪魔をされたようで、ポートランドに拳骨を喰らわせて強制的に寝かせた。ティツシユをゴミ箱へ捨てましようね？あつ、饅頭達が回収していった。流石だ

「はわわ♡みんな気持ち良くなってる……。ゆーの下の口にそれが入るの……。？寝てるユニコーンお姉ちゃんと一緒に卒業したいなあ……。ヨシ。マツサージの勉強しよう。マツサージ部屋に行こう」

ペガサスのゆーちゃんが、顔真っ赤にして部屋のテレビ画面で行為を見ていた。チラとユニコーンお姉ちゃんを見てからマツサージ部屋に向かっていった

「ZZZZZZ。お兄…ちゃん……。お皿…に…なつて…？ZZZZZZZZ…」

プレイ内容の1つを呟いて寝ていた。令司はチョロそうなんだからイケるよ!

「わふ〜〜!良かったじゃないか。愛宕、メスイヌになれたぞ。素晴らしい縛りをされているじゃないか。キラキラしてるのが伝わってくるぞ。音声がなから内容は分からないが、嬉しい言葉を囁かれたのは分かる。本当に良かった。さて、寝るか。ZZZ  
ZZZ」

令司の縛りをウツトリ顔で観ている高雄。愛宕がメスイヌになれた事を祝福する。縄で自分自身を縛りあげて眠りに落ちていった。縛リストなのかな?縛っていると安心するのもかもしれない。船だし

「遠征終了〜!はあい。みんなお疲れ様。自由に過ごしてね〜?」

「「「はい!熊野!」」」

「……へえ〜?令司つち、こつちの世界に転移出来たんだあ〜♡やったく〜♡シリアスとヤツてじゃん♡おお。熊野達の母乳が入ってる風呂に入って飲んでくれたの♡嬉しいな♡セントルイスとジャン・パール、ヴィクトリアス、ベルファストみたいにさあ?直接飲んでよね〜♡会えるの楽しみにしてるネツ♡ん〜ちゆ♡あつ、瓶に詰めなきゃ!よいしよつと。はあ〜♡出るう〜♡」

遠征から帰ってきたギャルな熊野。令司が転移してきて嬉しいようだ。目がキラキラしていた

熊野はリアルのを観ながら、過去にも観ていた。器用である。見ている場所は何処だろうか？映像室かな？画面に投げキッスをしてから瓶に何かを詰める作業を始めていった

そんな？こんな？で令司はみんなに歓迎されていたのだった。まだ出会っていない沢山のKAN—SENも幸せにする事でしょう。これから徐々に。程々に頑張りなさい。作戦名へ身体を大事に〜だよ！なっ！

### ☆遠い遠い暗い場所☆

もう、みんなが眠りについてるので会話がない！

では……、寝ている彼女らの心の声？でも覗いてみましょうか……。ここに心の声を聞く事が出来る品があります。それ、投下〜！

以下、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえ事、2番目のテスター、35つち事、35番の順番でお送りします。○の中が心の声である

(熱い〜♡熱いよ〜♡ずつと熱い♡下の口からどんどんヌルヌルが溢れていくう〜♡いっ止まるのお〜♡熱すぎて可笑しくなっちゃう〜♡助けて〜♡令司〜)

一週間はそのままでございます

(なんか気持ち良いなあ〜♡うっ…。35番。変な所を触るな〜！ビリっ来て、

何か来ちやうくっ♡……アッ♡)

どうやら逝つた様子ですね……。何処を触られたのかな？ オブザーバーと同じく、ずつと下の口からどんどんヌルヌルが溢れていくのだった

(スピー、スピー……。むにやむにや……。……白いドロつと……したの何……。……だつたんだろ……。？ Z z z z z)

ニーねえは？ マークがいつぱいな感じですね？ 何時か分かる時が来ると思いますよ？ ニーねえからも出ますので

(オブーのタコ足締め付け悪うい。ピユリーの何かヌルつとしたの触った？ ネバネバしてる……。？ もつと触ろう……。えいえいつ)

ビリビリして抵抗出来ない所に追い打ち？ をしたら5つちだった。気持ち良くして  
るからヨシ！

遠い遠い暗い場所にいるセイレーン達は百合の花？ が咲いていて平和でございます

司令達は無知？ の彼女達と何時になつたら会えるのでしょうか？ で、オリジナルテストターは来ませんでしたね？ 何処で何をしているのでしょうか？ 会いたいですねえ

## 執務室行くわ

後は寝るだけになった令司。初体験が済んだ飛鷹からの専用部屋か各部屋で寝るかの提案に専用部屋で寝る事を選んだ。飛鷹から秘書KAN達と寝るのね？と納得した顔で言われ、許可？した令司であった

そこで、待ってました！と青葉の基地全体放送がかかり秘書KANのセントルイス、イラストリアス、愛宕、ジャン・パール、シリアスが呼ばれたのだった。呼ばれた全員、下の口を触らずに濡らすのだった。器用です

専用部屋に到着した時、イラストリアスのハグとルイスが愛称のセントルイスとキスをきつかけに全員とキスをしたのだった。甘さが増し増しでビックリするのだった

セントルイスとジャン・パールが母乳が出る体質だった事にビックリする令司。しかしそれ以上にビックリしたのはシリアスが淫魔で淫紋と尻尾があつてロングであった。ついでにお尻を叩きたくなる魔性のお尻持ち

シリアスの舌は長いんじゃないか？と思つた令司。その通りで、舌が長く、耳奥をトロットロのグツチョグチョに舐められる奉仕をされるのをまだ知らなかつたのだった。キスによって令司と全員がムラムラしてしまい、専用部屋に入ったらジャン・パール



うございます！後、尻尾を使うとか反則でしょ…。尻尾を色々したらビクンビクンして最高だったわ♡

後、全員から耳舐めで気持ち良くされたわ！お礼にこつちも全員にヤツたぜ！そしてら全員、下の口、凄く大洪水になったけど。甘じよっぱかった。本当に気持ち良くなつてくれて良かったです

セントルイスとジャン・パールの同時マッサージ、極上でした。お店出せますう。毎日通つちやうかも〜！

色々な組み合わせのマッサージをされている所にシリアスが混ざった時はもうね？何度か天国へ連れて行かれたよ？天国の景色、もうちよつと見たかった。ナニカがあったのよ

なんか、令司の思考がちよつと？イカれてませんか？気のせいでしょうか？やり過ぎたんだよ。もう一度寝たら？

「はあ♡はあ♡あ〜〜♡もう…もう最高よ♡これが欲しかったのよねえええ〜♡」

「んなつ?!」

イヤツフ〜！ローンが朝這いして来てる〜!!!来い来い！迎え入れちやう！元氣になつちやつたからね！



「ローン。お帰り。おはよう？だよね？おおう。気持ち良い」

「ただいま♡あなた♡そうよ？はあはあ♡おはよう♡あつ♡ごめんなさい♡寝込みを襲つてごめんなさい♡ごめんなさい♡我慢出来なかったのよねええ♡罰受けるわあ  
あああ♡♡ん♡♡」

気持ちええよおおう!!!

秘書KAN達はもう既に起きていて専用部屋を出て行ったようだ。早起きなんだね

？

「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」

おっと……。まだ居て、運動会の音で目が覚めたようですね……。全員♡マークで見守ってますね。下の口がまた濡れ濡れになっている。気にしていないようですし、触りもしない。愛宕は縄で縛られている。それが平常運転なんですね？

だいぶ溜まってたんです？おうふ♡ハグ♡♡痛気持ち良いぞ♡♡そうそう、これこれ！この感じはローンにしか出来ないわ。…で？何故謝るんです？なんかシちやつた？いや、今シテるけども？

朝起きたらローンに襲われていた令司。睡○漢の実績を解除した感じですか？ついでに痛気持ち良いハグをされて大興奮。罰については言及しないのだった。見られていてもスルーする令司なのだった

「はあはあ♡収まったわ…。それじゃ。あなた？ローンは丸1日、罰を受けますね？ぶらぶらしてKANISEN達をどんどん幸せにしてくださいねええええ？後、覗いてもいいんだからねええええ！」

「分かった。幸せにするんだからねええええ！覗く……。考えておくからねええええ〜！」

終わる頃には秘書KAN達はまだ部屋から出て行っていた。びしょ濡れの床は饅頭達がキレイに掃除していた

ローンもスツキリした様で肌がツヤツヤになっていた。部屋を出て行く時、ウインクをして出ていった

ふう…。スツキリ…。本当、息子は働き物だよ。やれば出来る子。身体の調子絶好調。凄い！痩せ細っては…。いない！ヨシっ！

さてさて運動してスツキリしたし、朝食を第2食堂で食べるか…。どんなKANISEN達がいるのかな？

スツキリ顔をキメて身体のチェックをしてから第2食堂に向かうのだった。ローンは言葉通り丸1日、罰（癒し刑）を受ける準備？をして別れた。顔がセイレーンと戦う時の真剣なものになっていた。意味不な戦場なのかな？

## ☆☆☆

「ヨシっ。第2食堂に到着っ」と

うん。ネームプレート、予想通りで銀色だったね。入ろうつと。と、その前に

「駆逐艦達？下ろすぞ？スツキリしたかい？俺はスツキリ出来た」

「「「出来た〜！」」」

「ありがとう。軽巡以上のお姉さん達も夜の見回り、ありがとう」

「「「いえいえ♡こちらこそありがとうございます♡指揮官♡」」」

ふう…。またスツキリ。遅しいわ。夜の見回り組みの駆逐艦達と会って一緒に来た。

軽巡以上のお姉さん方もいたけどな？廊下でおっ始めてしまった。いつもの奴だな

「みんなも朝ご飯をしっかりと食べてね？非番だっけ？外出とか色々自由に過ごさなね？」

「はい♡指揮官♡」×10人以上

第2食堂に到着した令司。向かっている最中に駆逐艦達や軽巡以上と出会い、キスとハグ、お尻を揉まれる、揉む。の挨拶をした。そして朝這いされてスツキリした筈なのに駆逐艦と移動しながらヤツた。回復力とか凄いね？

「お〜、第2食堂もそこそこに広い…。さて…。どんな料理を食べようかな？……

おっ？あれは…へえ…？ヨシっ。頼むか」

どの料理を食べようか悩んでいると、厨房に意外？だったのか、とあるKAN—SE Nを見つけたのだった

「くっつ♪…あつ。旦那様！おはよう！いらつしやい！」

「おはよう。来たよ。エリちゃん…。エリちゃんの料理、食べるよ。服装エッチいね？  
ご馳走様」

クイーン・エリザベスが料理をしていた。裸エプロン姿であった。愛しの令司を見た彼女の周りにはお花が咲いていた

エリちゃんが料理ね。本当に意外。ふむん。結構注文入ってるのね。ニューカツスルやベルファストが鍛えたのかもしれない。2人は…、居ないけど

「ありがと！分かったわ！頂いちゃいなさい！ウォースパイトと一緒に作ったわ！」

「そうなんだ。いただきます。…うん。美味しいよ！美味しい！うまつ！」

「良かったわ！美味しく食べる旦那様！いっぱいしゅきよ！…っ！」

「…（あつ、噛んだ…。顔真つ赤にして可愛い♡）…」

クイーンエリザベスとウォースパイトの合同料理を美味しく食べている時に告白された。噛んだのをバツチリ聞かれていて、周りのKAN—SEN達は悶えていたのだった。人気なんですね？

「モグン。ご馳走様。美味しかった。俺もエリちゃん的事愛してるよ。嘸むなんてなあ〜?」

「んな〜?!?!うが〜っ!襲うわよ!?!ウオースパイトがつ!ほら!」

怒ってます!と、分かる感じでエリザベスのアホ毛が主張していた。グルグルお目目をしていた

なあに?これ?可愛い過ぎひん?反則でっしやつろ?……えっ?エリちゃんじゃなくてウオースパイトが?ヨシっ!来なさいっ!

「へ、陛下あ〜っ?!?!ななななっ?!?!一回で充ぶ……んきやく〜っ!」

両方も可!いらっしやく〜い。んっ?ウオースパイト、紋様あったのか。気付かなくてごめんねえ〜?似合ってるよ〜。ほうほう?

淫紋を触っていく

「えっ?旦那様!わ、私は別にいい!〜んあっ♡」

「「指揮官♡食べて〜♡」」

「いただきます!おう。ヌルヌルだね。逝くぞ!」

食後のデザート感覚?でウオースパイトとエリちゃんと数名を食すのだった。今日もピンク色の世界が広がっていました

ハッスルを終えて背伸びなどをしていた令司。何を思ったのか厨房に入っ

料理を作っていくのだった。みんな、涎を垂らして見守った。ケモミ娘達は耳と尻尾を勢い良く振り回していた

☆☆☆

「「「美味しいですう〜♡おかわり!」」」

「ははは。泣く位に不味く…はなかつたか。良かった良かった」

明石達が美味しそうに食べてたからな。泣いてたっけね? 男のガサツ飯に需要があるんだ? なんかがズレてんだよな〜?

「は〜い、おかわりいっぱいしてくれてありがとう」

ウオースパイトとエリちゃんと数名を食した後に朝食を作ってみたらやつぱり喜ばれたよ〜。一部泣いてるし、拜んでる。そこまでかな〜? 幸せ感じてるから良いんだけど

「「「ピヨピヨ♡ピヨピヨ♡ピーヨ」」」 訳、指揮官の作ったササミ料理い〜♡ササミい〜♡美味しい♡

ついでに饅頭達用にササミの料理を作ったら、凄くはしゃいでたからササミが好物なんだな。了解しました。……………共食いみたいな感覚はないんだろうなあ〜。あつ、出

した♡マークも食べるのね。便利だな？

「旦那様の手料理を食べられて幸せよ！美味しいわ！それで？どこに行くのかしら！」

「うん。みんなが美味しく食べてくれて良かったよ。んっ？執務室行くわ」

ニコニコして司令の料理を食べてるエリちゃんはどこに行くのか聞いてきた。エリちゃんのプルンプルン谷を覗くのを辞めて、目を見てキリっ！と、キメ顔で執務室と答えたら

「……………えっ？」

「んっ??？」

んんんん？？？空気がピシツと凍りついたんだけど？あゝゝなんか涼しくなった？気持ち良い温度だわ。食堂にいるみんなが一斉に「えっ？」て言うなんて。こっちが、「えっ？」なんですけど？

そう。みんな固まっちゃったのだった。空気が凍りついて、温まった身体には丁度良い温度になった。執務室の中は一体どうなってるのでしょうか？見られたくないのでしょうね？

変な事は言っていないよ？執務室に行くって言ったただだよ？ほら、これでも一応俺、上官？指揮官だし？仕事しなくても良いって言うけどさ？見て置きたいんだよ

指揮官専用のハンコが必要じゃない？ハンコ、あつたかな？で、ポンポン了承す

る作業しなきゃじゃん？

漫画みたいに報告書とかが山積みでしょ？深夜コースになる位の量がね…？あつ、でも朝で終わる位の量だっけ。それにもハンコ必要じゃないの？知らんけど…。と？いう訳で執務室行くわ！おう…。エリちゃんの谷間ブルブル。眼福くく

上官らしくハンコを押す仕事しようとする令司。ふんす。と鼻息をだしていた。ウオースパイトやエリザベス等が何故か全身をガクガクしながら説得？しようとするのだつた

「か、考え直して？別の「執務室行くわ」だ、だ、旦那様に仕「執務室行くわ」…はううくく…。言葉に力が…込められ…て…。うぐつ…。う、動けない…。」

「し、指揮官？執務室に行かな「執務室行くわ」うつ…。「執務室行くわ」ううう…。動けない…。秘書KANみんな…海に出ちゃってるしい…。うううく」

ええくく？「執務室行くわ」って言っちゃいけないの？ちよつと？力を込めてみたら、なんかエリちゃんとうオースパイトがピタつと動かなくなっただけ？口は動くんだけど？何で？

あれか？言霊みたいな奴？ふくん。へえく？悪用しないようにしとこう。反動で何か起きるかもだし

それで？中どうなってるの？気になるじゃん。ヨシつ。走って執務室行くわ！うお



おおお〜!!!執務室うう〜!待ってる〜!!!中がどうなってるのか拜んでやるうう〜!!!

何故かクラウチングポーズをしてから走って執務室へ向かうのだった

「うう……。あつ?!ちよ?!旦那様〜つ?!待つ…。もう!本当に動けない!こんなので癒し刑なんてイヤ〜ツツツツ!!!」

「陛下。諦めましょう?罰、受け入れましょう…。ローンも今日も丸1日罰を受けてるので。もう罰を食らってる最中です♡」

「悟ってる顔しちゃって!はっ?そうなの。内容とか違うわね…。良かった…。じゃないわ!それでも……」

「お邪魔しま〜す!罰の部屋へ2人ご案内〜♡」

「あつ……。もう連れて行くの?!」

「良いからイクよ〜♡」

「心の準備がああ〜!!!」

女王陛下でもお構いなしに連れて行く。嬉しそうに引きづって食堂を出るのだった

罰の癒し刑は一体何なのでしょう?相当ガクガクしていますね?みんなもガクガクしているの、1度は罰を受けているようです?

ウォースパイトは悟りを開いている顔をしていて素直に連れて行かれたのだった。

食堂にいるみんなが罰を受けるって事はないようです。その差は何なのでしょう？

☆☆☆

「執務室に到着ううう！入ります！おっと。ノックをしなくちゃだな」

「執☆務☆室☆つて書かれてる部屋の前へ走つて来たぜ！良いタイム出てそうだ！  
専用部屋でハンコを探したけど無かつたからこの中でしょう？」

青葉の放送とかが、されなかつたから寝てるのかもな？それかまだ見回ってる？

ノックした。うん？なんかドサつと音がしたな。ヨシつ。入つて良いという事にして  
とこうか。失礼します

執務室に到着した令司。身だしなみなどを整えてドアをノックした。中から返事が  
無かつたが、ドサつという音で許可が降りた事にして勝手に？入つていった…。執務室  
の中は一体どうなっているのでしょうか？

「お邪魔します。令司で……おつふ……。えええ……??？これは……？えええ……??？」

「もう……許して……♡」

「ほら……♡しつかりしてよ……♡まだ出し切れてないじゃ……♡ん？」

「はあ♡はあ♡そ……うだけ……。きか……。いで搾……「ほい☆そんじや、機械のスイッチM

AX！イッケ〜♡んっ♡イクう〜♡」〜♡〜♡

「はあはあ…。ごめん…なさい…。ふう…。…あら？指揮官？執務室に来るなんて…。盗撮と盗聴で分かっていたけど止められ無かったのね。んあっ♡見られちゃったわ」

「ナニコレ？サイコウデスヨ♡ムラムラスルヨ♡」

はい。こちら中継先の執務室の中に入った令司です！執務室の中で何があつたか簡単に説明するであります！母乳搾り！ピンクの霧で部屋が包まれていてエッチいであります！現場からは以上であります！しっかり目焼き付けて来ます！

現場の令司さん。ありがとうございます。ジューシーなJK軍団が来たあ〜っ！！な発言は何だったのでしょうか？

はい。そうなんです。執務室内で母乳搾りをされてるKANISEN達と搾り機のスイッチを持つているKANISEN達が複数いたのです。搾り終わったKANISEN達がぐったりしていたのだった。返事の正体はこれでしょう

「みんなおはよう。もしかしてこれが罰なのかい？熊野？エッチいんだけど？」

ギャル〜♡ん♡な熊野がさ。搾り機のスイッチで相手と自分のを搾ってるんだけど…？キラキラしてるの…。エッチいのよ♡

「ハアハア♡あつ、おはようございます♡指揮官♡」

「んふ〜♡搾り切ったね♡あつ♡令司っ♡おはよう♡エッチいの？ヤッタ〜♡罰

?あゝ、癒し刑ね。そうだよ♡熊野、執行する側なの♡プレイ中に何度か癒し刑見てるじゃん♡」

振り返る熊野。手を振る

「えっ?そうなの?」

ギャルの熊野が母乳出る体質ね。もう…最高じゃん!紙束が山積みじゃないし。執務室で紙仕事しないんだね。それで良いのか?軍なんだけど?まあ…:気にしない方が良いよね?

ええ?哺乳瓶に入れるんじゃないかってバケツなのね。沢山あるな?バケツにご丁寧に名前が書いてあるし。どれどれ?

熊野に手を振り返してあげてからバケツを1つ1つ見ていく

信濃、吾妻、榎野、熊野、翔鶴、翔鶴?!加賀、加賀も?!ヴィクトリアス、ベルファスト、セントルイス、ジャン・パールなど…。結構いるのな。榎野はやっぱり出たのね

あつ、もしかしてこれらって料理に使ってたりするかも!リットリオが言ってたし?ふう〜→→知らない内に取り込んでいたようだ!

キヨロキヨロしていると熊野が背中に抱きついてきてアピールしてきたのだった。もちろん。お尻を揉んでいる。おそろおそろから大胆になつていった

「そうなの♡それでね？ハッスルの動画を観てたら身体、ポカポカしちゃったんだよ？張っちゃったね。遠征仲間飲んでくれなかったし…。海にちよつとポイしちゃったから許せなかったよ」

「そっか。俺、動画でもわかる位、熱い視線を送ってたんだな」

遠征中にそんな事が！罰を見てたのか。ヒッパーとオイゲンの奴だったり？うん。罰って言ってたし…。ええくく？あれが罰？うん…。癒しだな。熊野がアピールしてる…。ありがとうございます。後で襲うね？いや…もうシようよ…

ピンク色の雰囲気でもたムラムラしてしまった令司。ギャルくくく♡な熊野を押し倒してしまった…。周りの母乳艦隊が熱い視線を送っている

「きゃ♡令司っちのヤル気あるじゃくくん♡良かった♡色々な母乳を飲んでアソボ♡沢山飲んで料理とか他の用途に回せるから♡心配しないで」

簡単に押し倒せちゃったぜ。ハアハア言ってるね？JKにイケナイ事してるよ♡最高♡熊野達、全員成人してるけどね！

受け入れる熊野。始めてないのにメスの顔をしていた。準備出来ているぞ。早よ早よ

「「「「「♡♡♡」」」」」

熊野の合図？でみんなが発情？したのか搾り切った筈なのにトロつと出始めていた

のだった

「そうだな。みんなの母乳を飲んで溺れるとしよう熊野…みんな…スルぞ！」

そりやく、ねえ？窓側を見えない位まで積んでるバケツの量なら平気でしょう？

ギヤルな熊野は母性増し増し？な感じなんだよね。これがバブみ…？嬉しいですよ！オギヤル…!!!

「…「ハイ♡どうぞ♡熊野さんや私達を頂いてね♡」」

我、バブみ海溝を攻略スル！抜錨！それイッケ〜っ！

「ありがと♡うん♡初めてを令司つちにアゲルよ♡………っ!?!んあ〜っ♡んむっちゅ♡」

「…「熊野♡おめでとう♡お祝いのシャワーだよ♡受け取って〜っ♡」」

ギヤルな熊野の開封お祝いで母乳シャワーを浴びた令司と熊野なのだった。いや〜。本当に令司の令司は元気ですな〜♡

☆☆☆

令司が執務室内の状況が分かって、バブみ海溝を絶賛攻略中の所を盗撮、盗聴している一部のKANSEN達の様子をみましょう

「

「あらあら♡篝火先輩♡バレちゃいましたね♡耳に尻尾をシナシナにして顔が真っ白になつてる♡可愛い♡私もバレちゃいました♡♡これで。ウフフ♡」

知られたくなかつたようだ。尻尾を触っている所だったり、抱きついて頬をくっつけ合っている所をパシャパシャしていった

「ちよつと、翔鶴姉ええ♡。写真を撮るのはどうなの？」

「そう言っている瑞鶴だつて撮ってるじゃない♡熊野の顔、デレデレね♡」

加賀から離れて瑞鶴の頬をスリスリ出した翔鶴。瑞鶴の携帯を奪つて写真の事を聞いた

「あつ…、これは…その…」

「あ、そうだつたわ。瑞鶴。初体験、済んでおめでとう♡凄く搾れたわ♪下も凄く濡れたわ♡ありがと♡」

「……………?!…きゅ…」

思い出したようにボフォンとなつた

「ウフフ♡瑞鶴を連射♡連射♡あつ、そうだ。折角のチャンス！」

鶴姉妹は仲良しのような。姉妹のイチヤイチャ中でも加賀はまだ戻つて来なかつた。戻つて来なさい。瑞鶴を加賀の方へ引きづつていつて何をするんだろうか？写真撮影

会でも始めるのだろうか？

「お兄ちゃん。楽しそう……。ユニコーンも出せたら良かった……。の……。」

揉みしだいても出なくて残念そうにするユニコーン。涙が出そうだった

「ユニコーンお姉ちゃん♡ゆーと令司お兄ちゃんと一緒にマツサージすれば出るようになるんじゃない？マツサージ部屋で何かの塗り薬？を手に入れたからさ♡これ使ってみよ？」

背後から抱きしめて励ますゆーちゃん。薬振って見せた

「ゆーちゃん。それは……。うん♡そうだね♡」

元気が出て良かった

「指揮官。熊野さんのギャル母性にハマってる……。です？セントルイスさんなどは違うジャンルの母性なん……。です？……。草。バブみ海溝じゃなくてバブミューダ溪谷だと思う……。のです」

違い分かりませんが、みんなウンウンしていた

「あら？ルイスのバケツ使ってる♡ありがと♡母性のジャンル違うわよね？色んなママの味♡た〜んとお飲み♡指揮官くん♡」

「ハアハア♡んんん♡指揮官……。♡ギャルに囲まれてバブってる♡ホノルルも混ざりたい♡」



「指揮官…。ジャベの如何です？なんかの条件を満たして出るようになったんです！  
♡胸小さいですけど、どうぞです！」

「何?!信濃印と吾妻印と樫野印?!このリットリオが料理で使いたい三大印が執務室内に大量にあったのか?!使つて令司に振る舞えば褒めて貰えるっ！饅頭達！お願い致します！三大印をリットリオにお恵み下さい！」

執務室に入つて行けばいいのに。出入り禁止にされてるのかな？腕組みをしている饅頭達にお願いをするのだった

「鈴谷…イク♡ん♡つ♡ふう…」。リットリオ、土下座するんだ。あつ…。あれは信濃に樫野？が執務室に入つていく感じかな？」

「んなつ?!」

血流するリットリオなのだ。それと鼻血も出した

「(「褐色ギャル？ママならリットリオだよね？でも何か違うかも」)」「」

それぞれ適当？な事を言ったり行動していたりしていたのだ。オープン基地は元気いっぱい？ピンク色の頭をしていたのだった。上官の令司がエッチいからかな？

☆☆☆

「んちゅ♡れるれるんちゅ♡ちゅっぱ♡れるちゅっぱ♡んくく♡アンっ♡もつと溺れてえくくくく♡」

あくもう…素晴らしくエロくて溺れちゃうくく♡もうしゅごしゅぎくく♡ヨシ♡ヨシ♡しゅごいくく♡バブくく♡

バブみ海溝にラブラブ溺れて攻略中にさらなる母性の塊？が登場するのだった

「失礼…する…。…んっ？汝…。この世界に…ようやく来たのか…。丁度良い…。我の母乳を搾り取って…くれ…」

「失礼します。あら？令司様♡いらしてたんですね♡榎野、嬉しいです♡あん♡張ってきちゃった…。…」

「「んくくくく♡んくくくく♡」」

「ごくごくごく…。ごくん…。はふくく♡美味しいわ…。…んあ…。信濃に榎野か。はあい、来たよ。分かった。思いつきりイクわ…。…」

「頼む…。…んっ♡…んはあ♡」

「はい♡どうぞ♡んっ♡」

信濃と榎野が援軍？で来ちゃった！本当にスゲくくエロい！清楚な2人のおっぱい、デッツ!!!母乳搾り切ってヤルぞ！そんなもって下の口も頂いちやうゾ！はわわくく♡なんか…なんか。しゅごしゅぎくく♡語彙がしにゅくく！

「んむちゅ…。ハアハア♡下の開封…。ありがとう…。汝…存分に楽しんでくれ」  
「令司様に榎野の母乳を運送出来るなんて♡嬉し…きやつ♡」

「ニシシ♡元氣すぎつしよ♡信濃ミルクと榎野ミルクた…んとお飲み♡それか色々なのを飲んでね♡」

もちろん♡そうするさ♡うつめ…♡ダメになるう…♡ギャルママ達と清楚淫乱の2人に沈められる…！分からされるう…！最高ですう…！

昼食の時間になるまで、このバブみ海溝に現れた母乳艦隊の艦パイや下の口に溺れ続けるのだった。見た目がJKと他人の人妻のようだからか？凄く興奮していたのだった。良き良き♪

母乳艦隊のみんなは肌がツヤツヤして、母乳の質と量が増し増しで絶乳調となったのだった。そして饅頭達もイキイキと働いていた。床の掃除の事ですよ  
令司の令司君は素敵な思いをいっぱいするのだった。おめでとう

☆遠い遠い暗い場所☆

「んあ…。良く寝た…。35つちはもう帰った？のか。それで？もうビリビリとか何かでエロい声は起きないでしょ？ねっ？ピュリっちにオブっち？」

目を擦りながら起きた。下敷きにしていた2人を起こすのだった

「あゝ♡うゝ♡ハアハア♡アツ♡アツ♡アツ♡何でえゝ♡」

クリームの偉大なる？効果によって、2日目の朝もまだビリビリしてエツロイ声をあげて、下の口がヌルヌルになっていた

「ええゝゝ？エロい声出しちゃってるゝゝ？うん…。2人の下の口、まーたヌルヌルだね？こつちも何で何ですけどゝゝ？このクリーム？の内容なんだったんだらう？あゝ、わっかんないよゝ！」

ニーねえはずつと頭の上に？マークを浮かべるのだった。髪の毛をワシヤワシヤして乱していった。美しい髪の毛を乱しちゃダメじゃないか。そうして介護を始めるよ、うです？優しいんだね？

セイレーンの方が平和？かな。なんで戦争をしてるんでしょうか？不思議である

## スツゲ〜

転移2日目の朝。ローンによる朝這い後、第2食堂に向かう。ローンは罰の癒し刑を受けにイク

令司は食堂に向かっていている最中でも夜の見回り組であった数名の駆逐艦に手を出す。軽巡以上のお姉さん方も数名パツクンしたのだった。勿論、初体験でした

エリちゃんとうオースパイトの合同料理を注文し食べた後、エリちゃんとウオースパイトをデザートとして食べる。淫紋に気付いて撫でた。喜ばれたのだった

また、発情した数名の初体験を食べる。挨拶化してきた甘いキス、お尻を揉まれる、揉み返す。KANISEN達の胸を揉みしだきまくったのだった。喜ばれた

お礼として大雑把な料理を振る舞ったら、泣いていたり、拜んでいたり色々な反応をされて困惑した。大袈裟なんですよ。饅頭達にもササミ料理を振る舞ったら大はしやぎしたので良かったねと思ったのだった

令司の料理を食べ終わったエリちゃんからどこへ行くのか聞かれ、執務室と答えたら食堂内の空気が凍った。凍っているのに涼しくて気持ち良い発言をした令司なのだった。尊敬？しますね〜？

说得しようとするエリちゃんとウォースパイトだったが言霊により体が動けなくなる。走って執務室が気になり走って行く。そうしてエリちゃんとウォースパイトは罰である癒し刑を受ける事になったのだった

執務室内に突入した令司。そこで見たのは母乳を機械で搾り取っているピンク色で甘い光景でした。執務室じゃなくて搾乳室の間違いじゃないのかい？

執務室内には紙束、書類の山々は一切なく、その代わりに窓が見えない位、個人名が書いてあるバケツの山々が築かれていた。母乳が飲み放題である。やったね♡

搾乳を見てムラムラしちゃう令司なのだった。搾り取る側にはギヤルな熊野がいた。熊野自身も搾っていたのだった。搾られた側にもギヤルなKAN—SEN達がいた

母性増し増しのギヤルママでJK軍団。実に…良い♡そして、これらの行為が罰の癒し刑であると判明したのだった。なんかビックリしていた

ギヤルの熊野の母性？にヤラれてバブみ海溝を攻略する事になった。お祝いの母乳シヤワーを受け取った令司と熊野。凄い事なってるね？

熊野をキツカケにして次々とギヤルママとヤツていく。そこに母乳を搾って欲しい信濃と榎野が到着して2人の初体験も貰った

令司はギヤルママ艦隊や清楚代表？の信濃と榎野と昼食の時間になるまでおギャリ倒しまくるのだった。令司にはプライドが無いようだ。熊野達は全力でおギャつてく

れる令司にキュンキュンしていた

また新しい？扉を開きましたね？扉は何枚あるのでしょうか？ドンドン開いていきましようね？

これらを盗撮、盗聴していた一部のKAN—SEN達中で色々な反応があったのだつた。リットリオは三大印が執務室内にある事が分かり発狂して、全裸泣き土下座を饅頭達にかました。リットリオの下の口はもちろん大洪水だった  
令司はドンドン、ハッスルしていつて幸せにしなさいね？

☆☆☆

バブみ海溝、改め、綾波命名のバブミューダ溪谷の攻略が終わった

「「「ありがとう♡指揮官♡気持ち良かったよ♡愛してる♡」」」

スツグググエロかったし、美味しかったわ♡つくつくか、この基地みんな凄くエツロくて身体中が美味しいのよ♡最高かよ♡

「ハアハア……。おう。俺も愛してる♡うつ。ふう。スツキリしたく〜」

ギャル母乳艦隊のみんなの肌はツヤツヤしていた。キラ付けが完了していた

令司はゲツソリするかと思つたが、してなくてキラキラしていた。人間辞めてません

？薬を盛られ過ぎて勝手に肉体改造されちゃった系かい？みんな、全裸できやつきやと会話をする

イチヤイチヤしている時に鰻頭達は母乳バケツを何処かにせつせと運んでいくのだった。そこには触れない令司とKAN—SEN達なのだった

はあ～～♡スツゲ～～♡気持ち良かった♡なんなん？ギャルママ軍団は？熊野の母性  
が特にヤバかったぞ？沢山おギャリ倒したわ。喉はカラカラにならなかつたぜ！

キyunキyunしてくれて良かった。両目が♡マークになるとかビツクリ。ハッスル  
したみんななるんだもん。ハイライトさん、張り切つて仕事するね？ドンドン仕事して  
ね？よろしく♪

「やっぱり、令司っちは魔性だったね♡このこの♡跡、付いちやつたよ♡ヤッター！」  
「魔性なのはどっちだい？熊野？良かったね？」

こんのイケイケJKめ！笑顔が最高なんじゃない！おりやおりや！モツチモチだあ。  
ありがとう！

「んんん～～♡ありがとう！凄く気持ち良く搾り取られた♡みんなの母乳の量も質も良  
くなつたよ♡流石♡熊野、嬉しい♡愛してる♡ん～～ちゅ♡」

「んっむ……」

熊野とスキンシップをとつてそれとなく熱々なキスをし出す。こいつらの頭、なんと



かしないとなんじゃ？ スキンシップはお尻の揉み合いである

「汝が沢山……。出したから我は凄く……。乱れてしまった……。母乳……。出し切れたわ……。ありがとう……。疲れたからここのベットで寝るわ。おやすみ……。なさい……。Zzzzzz」

「令司様に母乳の運送を沢山出来て榎野嬉しかったです♡榎野、搾り方が下手じゃなくて良かったです♡素敵な初体験、ありがとうございました♡愛してます♡チュ♡」

両手を令司の首に回して熱々なキスをした榎野。良い具合にお胸様を当てていた。牛耳をピンとすると、牛尻尾をブンブン振り回していた。床に尻尾が当たって鞭の音が出ていた。痛いだろうな

「んはっ。こちらこそ、ありがとう。信濃、榎野。みんなもね？ 信濃、お休み」

信濃と榎野の母乳搾り、スツゲくく興奮した♡2人とも出過ぎだよ。信濃がバケツ7杯で、榎野はバケツ10杯。他が3杯逝くか逝かないかだったのにな？ 熊野達は慣れるから助かったなあ

榎野は牛耳に牛尻尾だからそんなに出るの？ 2人ともはち切れんばかりの美爆乳だから、仕方ない……。のか？ 榎野の運送技術……。最高過ぎました♡お店出せるよう♡運送艦スツゲくく♡運送艦より補給艦がしつくりくるんだけど。それはそれで実に良い♡

「それで？ 令司つち？ 夢中でシてたらもう昼食の時間だよ？ 第1から第3食堂のどこで食べるの？ それかここに持って来て貰って食べる？ 熊野は鈴谷と一緒に第3で食べる

よ?」

抱き付いている樫野を抱き締め返してラブラブ中に昼食の話になった。樫野は令司の乳首を弄り始めた

「ん～～。そうだな。ここで食べるよ。母乳が溜まっていて搾って欲しいっていうKANISEN、3名の料理を食べるよ。曖昧で悪いね?お腹凄く空いているから食べられるけど量は加減してね?」

指名してないから料理バトルになりそうだけ待つよ?母乳事情は分からないんだ把握してたらきつとドン引きするでしょ?まあ、みんなスツキリ搾られているのなら作りますけどね?執務室内に冷蔵庫があるの確認したし。沢山飲ませられたからね。色んな方法で

ドン引くでしょうか?むしろ、令司に管理されたいと思っっているのが居そうなんですけど?管理方法を書類に丁寧に纏めて説明して来そうなんだけど?令司の引く顔を見て興奮もしそう。なんか無敵だね?

「了解しました。この会話、聴いてると思うから直ぐ来ると思うよ?それじゃ失礼しますね～～」

「直ぐ来るの?了解」

ええ?バトルしない感じかあ～～。平和で良いですね

「二三指揮官・令司様、失礼しました」

「はい。失礼されました。すっかり昼食とつてね〜?」

熊野達は後ろに手を組んだり、両手を頭の後ろに組んだりして笑顔で出ていった。みんなキラキラしていた。令司は手を振って見送った

「んん〜。誰が来るかな〜? セントルイスやヴィクトリアス辺り? ザラも母乳が出てたな。あ〜、ベルファストもね。なんか搾る候補多いよ〜?」

両手を頭の後ろに組んで考え出した。誰が来るのかと

バケツの山々で分かつてるんだけど。ここ、執務室以外にも母乳バケツを保管してるんじゃない? 置けないし? ヨシッ。考えても仕方ないだろう。来るまで執務室内を見とこうか。書類は何処かな〜? ハンコあるかな〜?

ガキに戻ったかのように、部屋の探索をし出したのだった。書類があれば見たいのかもしれない

「あ〜……?」

書類仕事とハンコ無いんだね〜? 執務室なのにどうなってるのさ? もう今日分の書類は終わって何処かに運んでる? 早くね? ハンコじゃなくて、サインでやりとりしてるのかな? 万年筆なのかよ……。沢山ある

見つからないようだ。頭の後ろをガリガリ搔いて、別の場所を探すのだった。無いと

思うよ？

「……………」

机の引き出しの中にある、このスイッチは押しちやダメな奴だろ。搾乳するスイッチと違うし。遠隔操作プレイをしたい…のか？

ええ～～？スッゲ～～。誰のだろう？ニューカッスルは絶対、違うね。押したら新しい扉を開いちやいそう。ゴクリ……。ダメだダメだ。次、本棚！

何のスイッチでしょうね？引き出しを全部見終わり、本棚を見ようとして近いしていく所でドアがノックされたのだった

えっ?! 本場に直ぐ来た?! 熊野の言う通りだった?! 全部見れてないんだけど?! 返事しないとだな! うん!

ドキ～～んと両肩を震わせた。スイッチをズボンの右ポケットに突っ込んで、高級な黒い椅子に慌てて座ったのだった

「どうぞぞ」

フツカフカ! 凄い! こういう感じで良いんだよね? ふう、決まったぜ! ……スイッチ、踏んでちよつと痛い。ズラそう

イケてる? 低い声で入る許可を出したのだった

「失礼します。指揮官。昼食を持って来ました。どうぞ召し上がれ」

「ありがとう。加賀、翔鶴、ジャベリン。頂きます。はむっ。うん。美味しい〜」  
 加賀、翔鶴、ジャベリンか。意外な組み合わせだな

「「ありがとうございませす」」

翔鶴はニコニコ。加賀はなんかグツタリ気味？しょんぼり尻尾だぞ？って、尻尾、手  
 入れてねえな？美しくないなあ！体質の事、バレたくなかった感じ？ごめんね？コン  
 プレックスなのかな？

ジャベリンは、うん……。モジモジしてる。そうだよね。母乳を搾られに来たんだも  
 んね？ジャベリンの豊乳、触り心地きつと良いでしょ？翔鶴も加賀も良いだろうね！

チラチラと見るんでは無くガツツリ、3人の身体を見ながら食べていた。行儀が悪い  
 ね？

見られてる3人は、食べ終わるまで姿勢をビシッと正して横一列に並んで待つてい  
 た。何？もうそういうプレイを始めてるの？ええ……。??命令司から見て右側が加賀、真ん  
 中が翔鶴、左側がジャベリンである

「ご馳走様。本当に美味しかったよ。ありがとう」

「お粗末様、指揮官♡翔鶴達の料理を美味しく食べた後は、デザートとして翔鶴を食べて  
 ♡間違えた♪美味しく搾乳をお願いしますね♡」

「んお？おう、任せて」

執務机にドンとお胸様を乗つけたよ。黒子、発見。エロいぜ！黒子にキスしたい

「丁度溜まつてるので嬉しかったです♡それと下の口も貰ってくださいね♡もちろん初めてです♡準備はして来てます。ねえ〜？加賀せんぱあい？」

翔鶴が脱ぎ始め、搾乳する準備をし始めたのだった。母乳が少し漏れていた。加賀を煽る？弄る？事を忘れなかった

「お〜っ♪」

翔鶴は加賀を煽ったり弄ったりするのが好きなんだな〜？着物の下はやっぱり着けないんだ？エロいね！

「ああ…、そうだな……。指揮官。よろしくお願いします。加賀のも遠慮無く搾ってイッてくれ。バケツを見ただろう？意外と出るんだ」

そうなんだ？加賀も着けてないのね。漏れてはないか。バケツ何杯行くかな？

「ジャベもお願いしますう〜。下の口も準備出来てます」

「加賀のはビツクリしたね。丁寧に母乳を搾ってから初めてを貰うね？みんな、よろしく」

加賀もジャベリンも準備完了！それでは溜まつてるのをしつかり搾ってイキたいと思います！バブみを感じないけどそれは許してね？それでは第2回？第3回？か、分かんないけど3人の乳搾りを始める！

「ハアン♡アツ♡アツ♡アツ♡んっっ♡」

「翔鶴。すっごい下半身に来るエロい声を出すね？」

「この鶴の胸、最高じゃん！ありがとう！乾。バイ！」

「気持ち良いんだから♡出る……でしよっ♡ハアン♡」

「そっか。良かった。次は加賀だ」

「……へっ??う、うん。ひゃうっ?!?!んんんっ!!」

「もつとエロい声を出して！なっ?」

睨むなって！それ、唆ちやうから♪おりやおりや！ほおら、良いエロい声出せたく♪  
 いっぱい出くるねっ♪その調子だよっ♪

「ジャベリン。お待たせ。行くよ」

「はい！んっ?!?!?」

「……感度良過ぎでは？最高の感触だよ？ありがとう。ジャベリン」

「ありがとう?!かひゅっ?!」

翔鶴のエロい声を出したのをきっかけに翔鶴、加賀、ジャベリンの順番で搾乳してイ  
 キ、同じ順番で初体験を貰ったのだった。鶴と狐だから交尾と言った方が正しいのかもしれない

執務室内はオスフェロモン？のレイシニウムとメスフェロモンのカンニウム？で充

満していった。ラブラブしてますねえ？しっかりスツキリしましょうね？

☆☆☆

搾乳にやりまくって・交尾していたら夕方になりました。餓頭達が換気して行ってピ  
ンクの濃度は下がっていつてます。餓頭達、お疲れ様です

「搾り切った〜。スツキリしたわ♡ありがと。愛してる。翔鶴、加賀、ジャベリン」  
たっぷり母乳を搾りました。息子もスツキリさ。ありがと！

伸びをして身体をほぐす令司。背中に素晴らしい感触が来たのだった

「ウフフ♡スツキリしたわ♡指揮官♡ありがと♡愛してるわ♡加賀先輩のお宝写真、沢  
山撮れたわ♡」

「それは良かったな」

オカズがいっぱい出来て良かったね？お一人様夜戦が捗りそうだ。背中に。ありが  
と！

「撮りすぎよ。凄く乱れてしまった……。全身がキラキラしてる。指揮官、搾乳に初体  
験。それと尻尾をフツサフサにしてくれてありがとう。愛してる♡」

「どう致しまして。加賀」



満足してくれて良かった。フサフサの尻尾で器用にお尻をペチペチするのね？気持ち良いからヨシっ！手入れ中に悶えまくっていた加賀は可愛すぎたよ。翔鶴の気持ちよが分かった気がしたよ

「バケツ一杯並々。ビツクリですう。指揮官の首筋にキス出来て幸せです♡ありがとうございます♡ごいいます♡愛してます♡」

搾り甲斐ありました。豊乳も素晴らしいな。良かったね？跡、付いてそう

「幸せを感じてくれて良かったよ。みんな、ありがとう。もう夕方じゃん。ふあく、眠い……」

「「はい。それでは指揮官。失礼しますね」」

「うむ。ゆっくり過ごしてね？戦闘とか見回りも程々でいいから……。代わって貰って良いからね？」

「「了解しました。指揮官。失礼しました。お休みなさい」」

「はい。お休み〜」

お辞儀をして出て行く3人。手を振って見送ったのだった。格好は全裸ですけど。3人も全裸だった。これからみんなに見せつけるんでしょうね？ギャルんな熊野達と同じ行動を取っているよ？参考にしたのかな？

「眠い。眠すぎる」

ヨシつ。信濃と一緒に寝るか……

突かれ？疲れちゃって？眠くなっちゃった令司。信濃と添い寝する事にしたのだ  
た

「信濃くく、お邪魔するぞくく？」

「Z z z z」

運動会を開いて、大きな声を出しまくったというのにグツスリとは……。頬をツンツンしても起きねえ。スゲえな？3人とキスをしまくってたのもあるかな？知らんけど

「信濃？すまんが、信濃を抱き枕にするよ？失礼します。ふおく♡スッゲくく♡モチモチ♡それじゃお休み。Z z z z z z」

そうしてそのまま信濃と令司はここ、執務室のベットで朝まで寝るのだった。翔鶴達、3人とはベット以外で愛を育んだ

令司の令司君は大人しく眠っていたのだった。実は信濃は起きていて、睡○漢をシてる。っていう事は無かった。理性、しっかりしてますねくく。というより、睡眠欲の方が勝っている？寝る娘は育つんですね？

睡○漢で思い出しました。朝這いしたローンの罰、癒し刑を見る事にしましょう





指揮官くっ♡大好きくっ♡」

執行役の娘も装着していった。理想？のシチュエーションで令司とハッスルしているようだ。上も下の口も涎を垂らしていた

いやあ、執行部屋はピンク色でしたね？メスフェロモンポンプだ。充満してるんじゃないかな？

ローンは色んなプレイを施されたようですね？床がびしょ濡れになっている。水分補給も自動で出来るようだ。ハイテク過ぎるよ？

この状況を令司が見ていたらローンはどうなっていたのでしょうか？きっと、押し倒されて気絶させまくるのでしょね？VRの中の令司と現実の世界の令司に包まれるんだよ。幸せですね！元気いっぱい！最高じゃないか！



☆遠い遠い暗い場所☆

まだまだクリームの効果が続いていて下の口が大洪水になっているピュリファイヤーとオプザーバー

「ニーねえ事、2番目テスターが良く分らずに見守っていたのだった。応援で呼んだ35つち事、35番テスターはもう姿が無かったのだった。寝に來ただけじゃん」

「ハアハア♡ニーねえ。この下の口のヌルヌル止めてよ♡♡アツ♡アツ♡アツ♡アツ♡なにか来るうう♡んん♡♡♡」

ビリビリの効果が出まくっていて下の口が大洪水しっぱなしであります。そんなに出まくっていたら身体中の水分持っていられませんか？麻痺は続くよ。何処までも。触らないで何か来ちゃった2人だった

「えっ？なんか嘔いてるんですけど？……甘じよっぱい…。そんな事を言われてもお……良く分からないよお……」

こっちも見事な潮嘔きをした。飲んじやったようだ。ニーねえは涙目である

「1日立てば収まると思つたのにもう2日目。2日目も、もう終わっちゃうよ？あつ、オブつちのタコ足からヌルヌルが出だした。大丈夫じゃないね。タコ足全部縛つとくよ？」

もう介護といったら縛る！これしかない！といった感じで縛り始めた

「ハアハア♡…えっ？縛つ…やつ…「えいえい！」………つ?!?!んきやく♡………アツ♡」

「あつ……、白眼を向いて気絶？した？おおう…。嘔きが勢い増してる……。オブつち、

お休みくく?…で?ピユリっち?ピユリっち?」

追い打ちをしてしまったニーねえ。オブザーバー、哀れ?

「あくく♡うくく♡あはっ♡令司キユンが複数見えるくく♡えへ♡令司キユン♡ぎゅくくつてして♡アツ♡アツ♡あちこち触られてるう♡あつ、ダメえくく♡そんな所舐めなんて…。また何か来ちやううくく♡アアアつ♡」

ピユリファイヤーは幻覚が見えちやつてます。何人の令司キユンに出会ったんだい? 2人? 3人? 5人? それとも10人以上? 幻覚の中? でたつぷりイチャイチャしているようです?

「なんか幻覚見えてる? 胸からなんか出てるし? それ何? あつ、床に垂れた。ぺろん。…うん。甘くて美味しい…?…ね? 私は…、ううん♡…出ない…。なんで?」

ピユリファイヤーが母乳を出しました。おめでとう。夢中で令司達と一緒に気持ち良くなれて。?マークがいっぱい出ているニーねえだった

「アツ♡アツ♡アツ♡令司キユン♡令司キユン♡モガっ♡んっ♡んくくんっ♡」

「まあ、いつか? もう寝よ寝よ。お休みくく。つとその前に量産量産。うん。完了。それじゃあね? ピユリっちとオブっちのこの状況を改善出来る何かを探してきて頂戴。よろしくくく。ヨシ。寝る。Zzzzz」

ニーねえは知らない内に2人をイカセまくっていた感じだ。介護という名の快樂攻

撃かな？いつもの量産をして軽い？指示を出していった。みんな了解したようで外出した。見送ってサツサと寝たのだった

セイレーンの百合の花は続いているようです。令司くく！サツサと出会ってさくく！アンアンさせまくりなよくく？

トレーニングうう〜っ!

罰の癒し刑がギャルママの熊野より母乳搾りであると判明!しかしそれは罰の一部なのです。執務室内で搾乳しまくる令司なのだった。そして全員の初体験を貰った

ギャルママ達とイチヤイチヤしてる途中で、入ってきた信濃と樫野の初物も貰ったのだった。途中参加は罰対象では無かったようです。罰対象の差?が良く分かりませんか?

搾り切って、信濃バケツ7杯、樫野はバケツ10杯でビックリしたのだった。他の母乳艦隊はバケツ3杯なるか?って量だったのに。熊野曰く、全員、量と質が良くなったようです。ヤツタね!令司!ゴットハンドですね!

リットリオは饅頭達により、三大印(信濃、吾妻、樫野)の信濃母乳と樫野母乳を貰う事に成功した。嬉し涙を流しながら第2食堂で振る舞ったそう。大好評だったとの事

貰っていた時のリットリオの下の口は大洪水だったそうです。バッチリ、饅頭達に回収された

おギャリ散らかした令司は昼食を執務室内でとる事にした。母乳が溜まっていて



搾つて欲しいKANISEN3名の料理を食べる事にした

来るまでの時間で机を見て、引き出しにとあるピンク色なスイッチがあったのだった。搾乳のスイッチじゃない。一体何のスイッチなのでしょう？その答えはローのスイッチだ

そのスイッチで新しい扉を開けかけるのだった。開けちゃえばいいのに。歓迎されるよ？貞操が逆転してる世界なんだから。ずっとムラムラしているのよ？ずっと抑えているのよ？多分ね

昼食を作ってくれたのは翔鶴、加賀、ジャベリンであった。大変美味しかったようです。実は翔鶴の料理には隠し味に翔鶴の○液が入っていたのだった

そして搾乳をしていき、全員の初体験を貰う。夕方の時間になるまでイチヤイチャしたのだった。餓頭達によって綺麗に掃除された。働き物だね？

信濃がベットで寝ていたのにお構いなし。激しい大運動会を開催していても起きなかつた。凄いや

ヤリ突か：疲れた令司は眠気が来てしまい、寝ている信濃をハグ、添い寝して朝まで寝るのだった。令司の令司は大人しく眠っていたのだった。朝、起きるまで誰とも繋がらなかつた。信濃も含めて。理性すごくいい！

その裏側で、ローンは罰の癒し刑を受け続けていたのだった格好？全裸で目隠し万歳

ポーズで両手を拘束。壁に取り付けられています。エツロい声を出して、色々嘖き出しまくっていたのだった

なので？ 罰の部屋はメスフェロモンがプンプンしまくっていたのだった。令司が見ていたらローンを押し倒して気絶させまくりだったでしょう。罰を執行している美巨乳KANISENもセルフ罰を与えて下の口を大洪水にしたのだった……。何故？

もしかして理性を保っているのは、この罰、癒し刑が関係しているのでしょうか？ 罰部屋が沢山あってお店レベルまで存在するのかもしれない。オープン基地は危険な基地なのですね？

☆☆☆

3日目の朝でございます。令司はどんな行動をとり、どんなKANISEN達とイチヤイチャするのでしょうか？ おや……？ 何かピチャピチャ？ タツパ♡タツパ♡と音がしますね。信濃？ ナニしてますよね？

「Zzzzzz……。みんな……愛して……。……んはっ!?!……えっ? し、信濃……?」

イエエーイ! ヤラレテルウ!

「汝……。おはよう……。我を抱き枕にして気持ち……。良く……。寝れたか……。? んん♡熱い……。こ

れで我をメス…に♡」

「おはよう。おっふ♡美爆乳の使い道〜♡最高ですう〜♡」

えっ？夕方からノンストップで朝まで寝てたの？マジか。まあ、ハツスルが終わった後のお話中に翔鶴からの飲み物を飲んだら眠気が来ちゃたけども……。混ぜられてましたね。まあありがと。寝不足は解消したかも。何故か体調、絶好調ですよ？

それで息子よ……。信濃の美爆乳にドレツドレでないかい？最高だよね♡あ〜♡新しい扉こじ開けられたかも〜♡おっ？これは

令司の息子は良い感じに登り詰められて逝く。しかし察せられてしまい、止まってしまった。息子はちよつと泣いてしまった。が、素敵な提案をされたのだった

「汝…。出すで…でない…。出すのはここだ♡下の口、オ○ン○でだ…♡それで…。また搾乳を…頼む…。んっ♡」

「はあはあ…。そう…だね…。それじゃ信濃…スルぞ♡」

右耳に甘いエロい声で囁きながらは反則うう〜！そうだな！よろしくスルぞ！抜  
 錨っ！

「んあ♡来た♡あつ♡あつ♡あつ♡汝♡汝♡汝♡汝♡い♡」

こうして信濃と令司は朝食の時間まで甘々にやり続けるのだった。これは罰の癒し刑確定？ウンウン…。えっ？違うの？判定が良く分からないねえ？

「ふう〜…。搾ったし、スツキリした〜♡ありがとう」

キス魔か…。いや…。みんなキス魔だけだね? バケツ5杯…。ええ? 溜まるの早  
いんじゃない? 知らんけど。きつと個人差があるよな。うん。そうだよ

背伸びをして首をゴキゴキと鳴らす令司。両肩をクルクルと回して落ち着いてから  
信濃を見てお礼を言った

「あつ♡あつ♡あつ♡あつ♡あつ♡」

「信濃? ヤリ過ぎちゃったか? 悪いけど朝食食べに行くからね? ちゃんと朝食をとつて  
ね?」

朝食の時間だからこのまま置いてくね? 饅頭達が見張つてくれるから安心だろう?

タオルケットなどをかけて執務室を出て食堂に向かったのだった。どの食堂に行く  
のかな?

☆☆☆

朝食をとる場所は第3食堂でした。どんなKANSEN達と会うのでしょうかね  
?

「第3食堂に到着つと…。さてさて…? 誰が料理してるのかな?」

ネームプレートは銅でした〜！分かりやすいね！広いけど？違いが分からん！

朝食をとつたらお風呂に入ろう。入ってないからね。すれ違ったりしたKANISEN達はすつごくクンカクンカしてたわ。良い匂いって言ってくれた。ありがとう？で、いつものセットをしたわ。で、誰とも繋がってない。手は入れたけどね

注)いつものセット↓甘いキス、令司のお尻、揉まれる。揉み返す事。と、そこに色々追加でハグしてクンカクンカなどがある

ん〜…。悩みます…ね？おつ…？ヨシつ…。食べます！

令司が選んだKANISENとは誰なのでしょうか？料理をしているのはホノルル、クリーブランド、ザラ、檜野、饅頭達などですね

「〜〜〜つ♡あつ、指揮官♡おはようございます♡ホノルルの料理を召し上げるのですか？」

「おはよう。ホノルル。そうだよ。ホノルルの料理を食べる。次いでにホノルル自身も食べるよ。なっ？」

「食べて食べてオーラが出てた気がしたから。とは言わないけど顔に出てそうだなあ〜」

「んっ♡いやんっ♡何て事を言うのよ♡」

選んだのはホノルルでした。ホノルルを食べる宣言したら顔を真っ赤にして両手

を頬についてイヤンイヤンしました。美巨乳の谷間を強調していった

あつゝ。可愛いんじやあゝゝ♡ホノルル♡プルルン谷があゝゝ♡眼福だよゝ

♡

「はい♡朝食です♡それを食べたならホノルルをどうぞ召し上がれ♡んゝゝ♡指揮官、良い匂い♡素敵♡」

「良い匂い? ありがと…。廊下ですれ違ったみんなに言われた。では、頂きます。はむっ」

「どう? どう? 美味しい?」

テーブルに美巨乳をドンと置くのと両肘をつき、両手を頬に置いて令司を見つめる。料理はもう作り終えていた。饅頭達が料理を渡している

「美味しいよ。流石だ。モグモグ…。ゴクン…。ご馳走様。ふう……。ヨシっ。スルぞ! ホノルル♡」

「ハアハア♡んきやゝゝ♡んむちゆ♡ん。っ♡んんんっ♡ゝゝゝゝっ♡」

乗っかっていたお胸様を鷲掴んでからキスをして盛り上げていった。ほんと、サカツプルですね

「姉貴姉貴。ホノルル、凄くデレてるね♡良かったね♡…って、姉貴? おおゝい? 聞こえてるゝゝ? ねえゝゝ?」

デンバーが肘鉄をクリーブランドにしていた。気付かれなかったので目の前で手を振ってみた

「ふう…ふう…。ひゃん♡えっ？デンバー。そうだね♡おめでとうだね♡」

手を振ってみても気付かれなかったので、揺すった。そしたら気付いた。クリーブランドはホノルルの祝福をした。お一人様夜戦をしていたようだ。デンバー、邪魔しちゃうダメじゃないか

ホノルルの美味しい料理を食べた後、デザートとしてヤルのだった。第3食堂内はお祝いモードです。良かったじゃない。そしてホノルル以外の数名ともヤルのだった

「指揮官♡指揮官♡指揮官♡♡愛してるわ♡あん♡…あふ…。す…す…す…」

「ふう…ふう…。スツキリ…。ホノルルにみんな愛してるよ。で、ホノルルはお休み…。それじゃみんな、ゆつくり過ごしてね？演習とか色々なのも程々に頑張つてね？バイバイ」

「「はい♡指揮官♡程々に頑張ります♡貰ってくれてありがとうございます♡」  
♡」

スツキリした…。それじゃ、お風呂に入ろう。おつふろ、おつふろ。朝風呂つて響き。良いよね？第3食堂に近い所はまだ入ってないからね…。どんなお風呂があるかな…？楽しみ…

第3食堂内でホノルルと数名のKANISENとヤツタ後、朝風呂をする事にしたのだった。それっぽい上官命令？を出して近くのお風呂に入る事にしたのだった

☆☆☆

お風呂場に到着した令司。ここで誰と出会うのでしょうか？貸し切りか？ここも高級ですか？

「着替え終了。それじゃ、入りますうう。おお。ここも露天風呂！朝の景色も最高じゃないか！」

貸し切りでございます。ここも高級ですね！もうどこのお風呂場も高級そうだよ。身体を洗って。いざ入浴です！どれどれ？あつ、うん……

「はふ。ここにも真つ白なお風呂があるのか。で、真つ白な風呂に浸かってますけどね」

まともなに入れるのはこれ位かもしれない。なんかビリビリしてる風呂があるんだけど……。あれは無理だよ。風呂なのか？浸かったまま看板まで近づいてつと……

ふむ。入渠用。あつ、そうだった。みんなの身体の構造って違ってたわ。エルドリッジが提供してそう。提供先はエルドリッジ。うん。そうだねうう



真つ白なお風呂。母乳風呂でしつかり癒される令司なのだった。入ってくるKANISEN達は居なかつたのだつた。1人で居たい時間があるかもだからね？脱衣室に戻つても誰とも会わなかつた

「サツパリ〜。癒されましたあ〜♡貸し切り状態のままだったぜ！脱衣室にも居るかなと思つたけど居なかつた。まあ、そんな事もあるよね？演習や遠征、戦闘でもしてゐるかもだし」

貸し切りになるとはビックリだったな〜。誰かしらと遭遇してお風呂で欲情スルかも？と思つたんだけどね？まあ、盗撮・盗聴で見守られていると思ひますけど

令司の独り言の通り、朝食をとつたら大体が演習や遠征に行つています。大体が。部屋で寝ていたりもいますよ。非番つて奴だ。非番の各部屋の床はいつもびしょ濡れになつてゐるとかいないとか？

それで、自動母乳販売機があるなんて。容器は瓶だ。前のお風呂場には無かつたよ？  
「で、吾妻の母乳を飲みました。美味しかったです」

味のレポートとか出来ないからね？許して？さてさて？お風呂を上がつて、牛乳じゃなくて母乳を飲んだぞ。それで今からする事は……トレーニングう〜！をするぞ〜！おおお〜！

突然？心の中でトレーニングと叫んだのだつた。どうしたんだい？トレーニングを

しなくても良いじゃないか。そのままでもK A N NーS E N達はムラムラ、発情してくれるんだぜ?

そんな中でトレーニングをしたらさ?色気度?が増し増しになって襲われませんかね?あ、でも理性がしっかりしてるから何とかなる…か?罰、癒し刑を嫌がってる感じ?だったし?

「トレーニング室はどうなってるのかなあ?このお風呂場から近い所にレッツゴー!」  
 そうして、令司はお風呂場から近くにあるトレーニング室にスキップしながら向かうのだった。手の込んだ自殺行為に感じますけど?令司は羊でK A N NーS E N達が狼

☆☆☆

「はい…ここがトレーニング室…って…。うん。これはトレーニング室っていうよりスポーツジム室?中、入りまゝす」

はい!スポーツジム室ですね!これも貸し切り…。まあ、どっち?でも良いんですけど…。しつかり鍛えますんで

それじゃ、楽しくトレーニングううくっ!始めますうくっ!すっす…はっは…すっす…はっは…すっす…はっは…

中が本格的?でビックリした令司だったが、直ぐに意識?を切り替えて、ハイテン

シヨンでトレーニングを始めたのだった。色々な機械で鍛え直す？感じのようです

では、スポーツジム室を盗撮・盗聴をしている一部のKAN—SEN達の反応を見る事にしましょう。一体どんな反応をしているのでしょうか？

注)色んな場所を見ています。分かりやすく？◇表記で区切ります。終わりは◇◇◇  
表記です

◇

「……………えっ???今のままでも充分、ムラムラ発情するのに?どうして?どうして?鍛え抜いて色気度を増し増しにしようとするの?濡れ乳首、最高♡本気で襲っちゃうわよっ?!?!  
ねえ?愛宕式マツサージ喰らわ「こらっ!愛宕っ!」きゃんっ!くうくん……………」

「ヨシっ。大人しくなったな。まあ…はっ♡はっ♡んん♡私も結構キ始めてる。未熟物だな…………。んんん♡耐えろおっく〜!」

「…………本格的な高雄縛りを受けてるです…。草です…。愛宕のムラムラは凄いです…。それを止める高雄さん。ヤルです。指揮官は綾波達を狂わすのがお好きなようですよ?悪魔だろ!早く受け入れたい…です……………」

「あ、綾波ちゃん…………?涙を流しながらジャバにハグは…って、しかもそれ血…………あはは♡く、くすぐったいよ。あはは♡ひいっ♡なんか痛い!力出し過ぎ!!うっく」





襲っちゃえ♡受け入れられるよ!…で、アルバコアは何故かキラキラして気絶すると  
 ……

鳳翔の外側に跳ねている毛がピコピコと上下に振るとか器用ですね?卑怯なんだね  
 ?何処が卑怯なのでしょう?理性を鍛え直されて良かったじゃないか

何処かにお出かけするのかな?戦闘用?の服に早着替えしたね?行つてらっしゃい。  
 駆逐艦達が見てビックビックするのは何でだろうか?

潜水艦達はアルバコアを待たずに演習を始めた。戦闘でムラムラを発散するんです  
 ね?この基地はみんなそうなのかもしれない

色々平和?なKANISEN達でした。性欲が凄い事になってるのはいつもの事  
 だろう。令司がしっかりお相手をするから安心だろう?



場所はスポーツジム室の令司に変わります。水分補給をしっかりとって夕方までト  
 レーニングに熱中していたのだった

「はあはあ…。はあはあ…。ふう…。んっ?もう…夕方かあ…。ここまでにしとこう  
 …。ふう…。」

トレーニングは最高ですね！筋肉が喜んでるよ♡飲み物も美味しかったし。良い汗掻いたよ♡拭かないと

「タオル…タオルつと…。…んおつ?!いたた…。ふう…。どうしたんだ？長良あゝゝつ?!」

「ハアハア♡指揮官の汗♡んれる♡れる…ちゅっぱ♡んは…♡ハアハア♡あて…、もう我慢無理♡素敵過ぎる♡誘ってるんだもん♡ごめんなさい♡んちゅ♡ちゆるん♡れるるちゅ♡」

タオルを探していた所に抱きついて押し倒した長良なのだった。そう。夢中になってトレーニングをしていた所に、自主的にこのスポーツジムに長良が来て色気にやられた。おめでとう！

「ちよつと?!長良！それは罰の執行対象よ！つて聞いてないわね。ハアハア♡うう…。抑えるのキツイわ…。色気、凄すぎよ♡ふにやゝゝ♡」

もう1人忘れていました。五十鈴も鍛えに来たようです。令司の色気が部屋に充満していたようで発情しています。五十鈴は、猫の尻尾をピンと立てていた

ふおゝゝゝゝ♡なんか長良に押し倒されたゾ♡汗を舌で丁寧に舐め取られてる。なんか気持ち良いゝゝ！五十鈴も居たんだね？気付かなくてごめんっ！一方的？なキス♡よおし！ではこれより舌戦を開始する♡

「んっ?! うぐっ♡んくっ?!? ぶはっ…。ハアハア♡指揮官くっ♡あての貰ってくっ♡あつ、上は脱がないでね? エロくてセクシーなの」

「はあはあ…。そう…。だな…。お○○トレーニングをしよう! 五十鈴! 来い! 何か罰対象って言うてたろ? その罰、もう喰らいなさい!」

「ハ、ハイいいい♡お願いします♡指揮官くっ♡にやっくお♡あつ…。これはち、違う…♡にや、にやっくお…♡…♡…♡?! にやっくお♡違ううう♡にやっくお♡…♡うう…♡」

「おう♡エロくてセクシーなの? そっか? 五十鈴ったら結婚してるのに求愛してる♡可愛いなあっ♡顔、真っ赤と涙、流さなくて良いじゃん?」

「指揮官♡指揮官♡指揮官♡指揮官♡あああっ♡クンクンくん…♡スーハー♡スーハー♡んっ♡キチャうっ♡んんんっ♡」

長良くっ! 最高ダゾ♡五十鈴も開き直って飛び込んで来たくっ♡最高くっ!

何かカオスですね? スポーツジム内で意味深スポーツをスルんですね? トレーニングマニアには堪らないのでしょうか。長良と五十鈴とのスポーツ海溝は夜食の時間になるまで続くのだった

部屋で寝ていたKANISEN達。非番組は録画されていたのとスポーツジム内の映像を見る事にした。見ていたら突然、鼻血と下の口がプリンクラー状態になって大量に出した。キラキラして気絶したのだった



やはり、令司は色気が増し増しになっていてムラムラがマツハになったのですね？ 長良は悪くない。令司が悪い！ 襲われて当然である！

鰻頭達はねじりハチマキをして♡マークを頭の上に出しながら大掃除をしていたのだった。鰻頭達、お疲れ様です。令司から何か貰いなさいよ！

オープン基地は平和です♡令司が転移して来てからみんな、イキイキしていると思います！ 良かったね！ はい！

### ☆遠い遠い暗い場所☆

ニーねえが寝る前に召喚した部下達にオブザーバーとピュリファイヤーの下の口の大洪水事件の解決策を探して来て。と頼んだのだった。成果はあるのでしょうか？

クリームの効果が切れるのは4日後ダゾ♡それが縮む？ それとも伸びちゃう？ 分かりませんか？

「アツ♡アツ♡アツ♡んんんんん♡令司キュン♡令司キュン♡令司キュン♡」

「ええ？ まだ、何か幻覚見えてるの？ 変わった事はずつと出っ放しに。かな？ 舐めたら何か甘くなってるのよね〜？ しよっぱいの何処いった？ エツロい声あげちゃって。

早く解決策持つて来てくれないかな～?」

脱水状態にならないように水分補給をして介護しているニーねえ。そこに部下が帰って来た。解決策を持ち帰って来たのでしょうか?

「あつ、お帰り～。ボロボロだね?オーブン基地じゃなくて良かったね?そこを相手にするのは最後にしなきゃ。幸せ死はまだ早いよ?ナンバーが上がるんじゃない?」

「それで?何か方法は見つかった?…んっ?何これ?あつ、うん。ここでしばらくゆっくりしてなさい?お休み」

「え～?何これ?説明っぽいを書いてあるけど。読めないんですけど?多分クリーム?かな?これを塗れば良いのね?まあ、全部でしょ?つて液体ね?匂いは甘い。味は…、2人に聞こえと…。2人分に分けなきゃ。お皿はどこかな～?」

ニーねえの部下が渡してきた液体の紹介です。原文をそのまま表記しました

『ムラムラ♡マツハ♡よ～い♡ドオーン♡』液体版。容量300ml

成分。黄金ママムシ50%、赤スツポン25%、黄色マタタビ25%

使用方法

水などを200ml用意します。ちゃんと計つてね♡ねっ?そこにこの商品を10mlを入れて良くかき混ぜるだけ♡それであとはグイッと飲むだけ♡



あらら……。見事なスプリンクラーです事。たつぷり飲んだようだ。しよっぱいは無くなったようです

これでピュリファイヤーとオブザーバーの2人は収まるのに1週間では無くなりましたね。痙攣しつ放しになった。涙を流すニーねえだった。抱き締めたいですね。ロボロになつた部下よ。ナイスだ!

司令のKAN—SEN達〜?!早く見つけなさいよ〜?!攻め込むチャンスだぞ〜?!

セイレーン達は今日も平和に百合?をしていたのだった

ええええ……？

執務室内のベットで寝ていた信濃と令司、そのまま3日目の朝を迎える。信濃が先に起きていて、美爆乳を使って令司の令司君を先に起こしていったのだった

貞操が逆転している世界なので信濃の起こし方は合法です。そして目が覚めた所で甘々イチヤラブを朝食の時間になるまでスルのだった

朝食を第3食堂で食べる事にした令司。選んだのはホノルルの料理でした。ホノルルをデザートにする発言をしたら顔を真っ赤にしてイヤンイヤン。美巨乳の谷間を見せてくれたのだった。眼福ですね

ホノルルをきっかけに次々と開封。初体験をしていったのだった。お互い凄い発情力？が？高いようですね？バツチリ、みんなのファーストキスを貰うのだった

令司、朝風呂をするの巻。しかも貸し切り。どれに入ろうか迷っていたが、入れるのは真っ白なお風呂。母乳風呂だけだった。すっかりラックスしたのだった

お風呂を上がって周りを見ると、なぜか自動母乳販売機があった。容器は瓶です。吾妻の母乳を選び美味しく頂いたのだった。販売されていたのは、吾妻、翔鶴、加賀、ヴィクトリアス、ベルファストなどなど。ラインナップは日替わりだそうだ

突然トレーニングと心の中で叫ぶ令司。頭が壊れたようだ。ハンマーで叩けば直るかな？このお風呂から近いトレーニング室に向かう

そこはスポーツジムでした。高級だろう。夕方まで良い汗を掻くのがあった。……：悪い汗つてあるんですかね？こいつ、昼食を食べてないね？みんなも持つて来るとか食べたらずか？とかの行動はしなかった

盗撮・盗聴していたKANISEN達は大興奮。ムラムラがマツハで凄い事になっていた。鼻血を出していたり、スプリングラーになっていたり。まあ、一部は平常運転していました

トレーニングは色気を増し増しにする行為だった。無自覚？にお誘いをしていたのだ。令司は悪い上官だね？理性を鍛えさせてるから良い上官なのか？

良い汗をタオルで拭き取ろうとしたら、途中から入ってきてトレーニングをしていた長良に押し倒された。色気にやられたのである。汗を全部舐め取られたのだった。タオルに盗られたくなかったのだろう。そのまま長良は初体験を迎えたのだった

それを罰、癒し刑対象であると五十鈴が注意したが、五十鈴の理性も限界だったようだ。結婚してるのに求愛をして来たのだった

罰とか関係なく五十鈴も初体験を迎えたのだった。スポーツジムなので○○○マツサージと言った方がいいでしょう。夜食の時間になるまで令司は上を着たまま

ハッスルしたのだった。着衣ツ〇ス。良いじゃん

☆☆☆

夜食の時間になりました。お互いの欲情。獣欲は収まったようです。が？どうやら2人の様子がおかしくて？

「二」

「ええええ？」

スポーツジム室で長良と五十鈴と意味深マツサージ、まあ、お〇ン〇トレーニングとも言う。をしてスッキリしたらさ？何も言わずに全裸土下座してるんだけど？ブルブルと震えてるの。電動〇ナホですね？

長良と五十鈴は何故か、顔を真っ青にして床に額をグリグリしていた。？マークをいっぱい出す令司なのだった。何とも言えない雰囲気ですね？令司、何とかしなさいよ！

何で？罰っぽいプレイしたんだけど？2人とも妻じゃん。震えなくても…。ええええ…？反応に困るう…。何？貞操が逆転してると何か独自ルールでもあるの？癒し刑を嫌がつてる感じだし。百合、見てて最高なんでしょう？

「「……………」」

えっ?何?この空気?と突っ込みたい感じの饅頭達。掃除をしたかったようだ。3人が仲良くなるまで静かにして待っていた。サングラスを付けたのがビデオカメラを回していた。ハリセンで叩かれていた。饅頭達なりの和ませでしょう

「あゝと?えつと?うんつと?」

ただ身体を鍛えてただけなのに……。ハッスルしたらこうなるとかわつかんねえよ?!

色気がムンムンしてて誘ってる。ムラムラしちゃった♡ごめん。襲う♡:つて最中に言われてもね?えええ…?どう、貞操が逆転しているのか分からないな。息子は元気でしたよ?頑張ったよね??

本当に気持ち良かったよ?押し倒されて舐められまくったのはビックリしたけども?沢山愛したじゃん?2人ともスゲ〜匂い嗅いできたけど?クンカーなら最高のご褒美じゃないか。良いじゃん。それでさ?ダメなの?

「あては淫乱です。ごめんなさい…。(悪くない。これで癒し刑はいやあああゝ)!!!」

「えええ?ちよつと?えええ…?いきなり泣かなくてもいいじゃん。鳴いてたけど」

みんな淫乱だけど?もう済んだ事じゃん?お互い気持ち良くスッキリ出来たし。求



めてくれてありがとうだったんだけど？もうこれかあ…？ハグだな。ロイヤルお嬢様方が堕ちた奴だから有効だろ？

ロイヤルお嬢様方を墮とした方法で機嫌を良くしてもらおう作戦に出た。効果はどうなのだろうか？

「うぎゅ〜つっ♡しきかあ〜ん♡スーハー♡スーハー♡」

「ヨシヨシ。もう責めなくていいからなあ〜？ヨシヨシ…。気持ち良かったよ〜？ありがとう。愛してるよ」

トレーニングしてて突然襲われるのは最高だったぞ？新鮮だったし！新しい扉を開いたかもだぞ！

ハグをして慰める令司。ついでにお尻を触るのだった。甘い声を出す位、元気が出たようで何よりです。さりげなく匂いを嗅ぐ2人なのだった。無事に墮としましたね。効果抜群でした。良かった良かった

饅頭達もハグをして喜んだ。で、掃除を始めたのだった。ビデオカメラを回していた饅頭が1番良い動きをしていた

「ヨシヨシ。それじゃ、もう夜になつてからご飯食べて、お風呂入つてもう寝なさい？まあ、罰の癒し刑があるなら受けて来なさい？罰の対象とかの事は良く分からないけど」

「ううう…、了解しました。お先に失礼します」

「はい。失礼されました。饅頭達。本当に掃除ありがと。入って来た時よりもピカピカ。凄い。頭、撫でるぞ〜。これでヨシ。食へに行くね〜?」

元氣を取り戻した長良と五十鈴。先にスポーツジムを出る。饅頭達の掃除に感謝して頭を撫でてからご飯を食べに行くのだった

饅頭達は自分達が出した♡マークをバリバリ食すのだった。頭を撫でられた饅頭は次々と胴上げをされていた。胴上げされてる時も食事をしていた。凄い

長良と五十鈴は癒し刑を受けるのか? 答えは受けませんっ! それがかかって幸せな顔をしてぐっすり眠りに落ちていったそうだ

☆☆☆

第3食堂に戻って来ました〜。昼食を食べるのすっかり忘れてたわ……。夢中になっちゃった。だって楽しかったし? ごめんね? みんなとイチャイチャする時間を少なくて。誰が料理してるかな〜? おや?

上半身裸スタイルで首にタオルを巻いて食堂内へ入った。誰とイチャイチャするのでしょうか?

「くっ♡あつ、れいしい……。りつおりおのりよおり、たへてくれる…のか…？すはらしい…、ぼにゆうをつはったぞ…♡ほんそうたいばつちりら…♡」

リットリオの言う、素晴らしい母乳。それは信濃と樫野です。配合率などにこだわったそう。全裸泣き土下座が饅頭達に無事届いたようですね？

今度は吾妻の手に入れようと意気込むのだった。…えっ？自動母乳販売機があるじゃん？あれは手を出しちゃいけないようです。謎ルールがあるようですよ？

「ええええ？」

なんかリットリオ、涙目。鼻血を大量に出したのかティッシュ詰めてる。食べてる何人かも同じ状況だし。モジモジしてますねくく？絶賛鼻血出し中も居るし。刺激しちゃった？何かしたっけ？

リットリオは相変わらず？全裸で過ごしてるんだね♡最高♡愛してるよ。ああ、みんな、盗撮・盗聴してて大興奮しちゃったのか？えええ…？鍛えて色気増し増し♡って話、本当なんだね？

あれか？スケブラみたく、スケチクビが拝めてありがたやくく♡ってか？そっかく。ありがと？それじゃ、どんどん鍛えるね？来い来い

令司の思考はどうやら可笑しいようだ。腕組みをしてうんうんしていた。熱い視線を向けられていて気持ち良いのかもしれない

で？リットリオは饅頭達を頭の上に乗つけて平気なんだ？数匹？は寝てるし。紋様を撫でる饅頭も居る。自由だなあ〜

「リットリオ。鼻をしつかり☒んだ方が良いぞ？饅頭達がティツシユを用意してるからさ。それと、涙拭いてね？うん。食べるよ…。素晴らしい母乳ね？それはどうも？かな？頂きます。もぐもぐ…。ごくん…。うん。美味しいよ…。ありがとう」

「ズビ〜っ！ふう…。美味しく食べてくれて嬉しいよ。令司♡愛してる♡ん〜っ♡」

豪快に鼻を☒んだね？鼻血は流石にゴミ箱にポイ…。しないのかよ…。分からない液体に漬けてる。何に使うの？饅頭達の食事になる感じか？遅しいね？

饅頭達を見ていると良く分からない行動を取り始めた。分からない液体が入った瓶にティツシユを漬け込み始めて蓋をした。そうしたら瓶の周りをクルクルと回ってお祈りのようなポーズをとっていた。儀式でしょうか？令司には見られていない

「愛してるよ。リットリオ…おお…？おお〜♡背中に大変素晴らしい感触が♡うつ…♡耳が…。」

リットリオとキスする前に令司の背中に抱きついて来たKANISENがいた。右耳タブを甘噛みして来たのだった。誰でしょうか？

背中に素晴らしい感触が♡一体、誰です？右耳〜♡逝くでない♡あつ、これ耳の中、

舐められてるな。うひゃ〜っ♡ゾクゾクしちゃう!なんだこれ!?気持ちよしゆギル!

「ふむ。リットリオは母乳入り料理を振る舞えて満足だからな?シないよ。ずっと後で良いぞ♡って、聞いてないか…。まあ、令司の背中は素晴らしいからな」

助けないであつたかい笑顔をして、淫紋を撫でながら見守る。うんうん。襲いたい気持ち、分かる。みたいな顔きをしていた

「はむっ♡んちゆる♡れるれるろ♡んちゆぱ♡指揮官に会え…た…です♡ハアハア♡耳美味しいです♡草草草♡愛してるです♡ハアハア♡結婚してください♡ちゅっば♡ちゅっば♡ん〜っちゅルルっ!」

「うっ…。はあはあ…。ちよ〜っ♡あ〜っ♡あ、あや…な…みつ!!!」

身体をガクガクと震えさせてしまった令司。頑張つて振り返ると舐めていたのは鬼神の綾波でした。綾波の周りの空気は♡マークが舞っていた

何っ?!美爆乳じゃないか♡綾波も着痩せするタイプだったのか。最高なんだけど♡結婚してるよ〜♡

耳奉仕をしていたのは綾波でした。着痩せするタイプで美爆乳だったんです。美爆乳の感触を楽しみつつ、耳舐め奉仕で沢山登り詰められて逝くのがあった。いっぱい勉強したんですね?

「綾波ちゃん。お兄ちゃんともう結婚してるよ？ねえ？聞いてる？あつ、お兄ちゃんの汗。ゴクリ……」

「これ、聞いてないよ？ユニコーンお姉ちゃん？ゆう、頑張つてマツサージの勉強したから披露出来るね♡司令お兄ちゃん、何かビクンビクンしてるよ♡気持ち良いんだね♡」

ユニコーンとゆうちゃんが司令に近づいて来た。あらやだ。奥さん。みたいなやり取りをしていた

「そうだよ！ビクンビクンしてるよ！気持ち良いんだよ！綾波！力、結構込めてませんか？良いぞ！来いっ!!!ほらほら！我が息子はシャキンとして準備出来るから！綾波のヌルヌルなんだろ？」

司令は、さあお出で♡とアピールをするのだった。メス男性になってませんか？

「……………っ♡…ハアハア♡始める…です…♡指揮官に跨がる…です♡熱いです♡で、この液体を塗って…逝く…です♡……………?!?!はあああああっんっ♡」

綾波が発情していて司令がデザートになった。○ーションをたっぷり塗ってヌプヌプし始めたのだった

うひよ〜♡♡気持ち良いぞ♡愛してる♡ラブラブ恋人繋ぎスルぞっ！あ〜、良い眺めだよ♡幸せだよ〜！駆逐艦は最高だぜ！

ユニコーンの隣にいる、褐色美爆乳美女で額に角があるのはゆーちゃんかい？ペガサスから人化出来たんだね？おめでとう！ユニコーンと声が一緒な気がする！くっ！

でさ？ゆーちゃんの右手に持つてるそのヌルヌルはさ？アブないと思うの…よおおお〜っ♡ほわ〜っ♡やつぱりいいい〜♡

「ヌリヌリ♡ウフフ♡しっかり効いてる♡良かった〜♡ちよつとビリビリするけどね♡えいつ♡「モガっ！ンゴっ……」

アブナイ液体って飲めるのお〜！かっつっら〜い！アツイっ！あ〜、ムラムラが治らないよお〜！マツサージ気持ち良いよ〜♡綾波！良い感じ良い感じ！

「お兄ちゃ〜ん♡んちゅば♡ちゆるる♡ハアハア♡レロン♡汗、美味しい♡」

「あつ、ユニコーンお姉ちゃんが♡おめでとう♡休憩したら、ゆーの初めて貰ってよネッ♡んちゅば♡れるちゅ♡…はあ…。なんかカラいね♡ヒック♡ヒック♡」

ゆーちゃんがアブナイ液体を飲んで酔っ払ったようだ。令司は酔っ払ってないですけどね？男女で効き方が違うようだ。火照った様で全裸になった

「んんん、っ?!?!」

ちよ〜！ちよ〜！ゆーちゃんっ?!アブナイ液体の追加はアアアアあ嗚呼〜っつっつっつ!!!

ゆーちゃんはどんどんアブナイ液体を垂らしていくのだった。追い打ち止めなさい

よ。絶叫してるじゃん

「??お兄ちゃん? ゆーちゃんのオイルマッサージ、気持ち良くないの? 綾波ちゃん達とキスしてるから分からないな。ならユニコーンがマッサージして気持ち良くする! んしょっ」

首を傾げるユニコーン。ユニコーンも勉強の成果を見て欲しい様でゆーちゃんを退かした

気持ち良いよ! ユニコーン、分かって!? ン。っ?! ユニコーン?! ユニコーンの用意した液体は、ゆーちゃんの液体よりアブナイ感じがするんだけくくくっくくっくく!! ほおアアアアア嗚呼くくくくくく!!

谷間はポケットなんですネ? ユニコーンもゆーちゃんもオイルをそこから取り出した。ユニコーンのオイルマッサージでトロトロにされるのだった。メス男性へ一直線じゃないか? 新しい扉を開けたな?

「気持ち良い? 気持ち良い? 気持ち良いよね? どんどん塗っていくね? くくくくく♪」  
「指揮官の気持ち良かったですよ。綾波、チヨロくて草♪カツコイイ目付きでキュンキュンするです」

「ふふふ。素晴らしい光景だよ♡おめでとう♡さてさて、リットリオの番は来ないだろうから料理でも仕込んでおくよ♡良いねくく♡指揮官がマッサージをされてる所を見





逝つたのだった。令司と全員、肌がツヤツヤしているのだった。インキュバスとサキュバスじゃない？

腰等が天国に逝つてないと良いねえ？令司？神様達のサポートで何とかなるか？

### ☆遠い遠い暗い場所☆

アブナイ？液体の商品を飲まされたピュリアイヤーとオブザーバー。見事なスプリングラーを披露する。噴き出したのを少し飲んだニーねえ。今回もどんな百合の花が咲くのでしょうか？楽しみです

「二」

「飲ませるのこれ位でいつか？スヤスヤ寝ている部下に膝を貸してつと……。ヨシヨシ♪探してくれてありがとね？悪化しちゃったけど。その内に平気になるでしょ？」

スプリングラーの出し過ぎで喋る事が出来ない2人。ニーねえはひたすら2人の口に飲み物をつっ込んで介護するだけだった。百合の花は咲いてないようですか？

では、ピュリアイヤーとオブザーバーの2人の心の声でも覗きましようか

「(ハアハア♡アツ♡令司キュン♡♡もうヤメテえええ♡手だけなんて♡♡はうん♡アアアア♡♡ハアハア♡笑顔素敵♡アツ♡また噴いちゃううう♡令司

キユンくくっ♡愛してるよくく♡らめえくく♡噴くううう♡早く♡司令キユンの令司キユンを頂戴♡んあああくく♡らんでえくく！ラメえくく♡」

色々？真っピンクですねっ！夢の中？の令司は笑顔で準備しまくってるようです？幸せを感じてますねくく♡最高じゃないか！

「えええ…？もう夜なんだけど。中々、止まらないねえ？何か2人の顔、すごく幸せ♡って書いてある気がする。それに肌がツヤツヤしてる気がするし。オブっちのタコ足からの粘液？っていろいろの量凄いいね？ドロッドロじゃん」

ニーねえの指摘通りで2人の肌はツヤツヤになっていった。効果が出てます。オブザーバーのタコ足も綺麗になっていく。2人とも美しくなってるね？

「もう寝たいから部下を量産…量産…えつとね？交代で飲み物飲ませてあげて？うん。下の口のスプリングラーのは集めて飲ませてもいいから。美味しいと思うのならみんな、どんどん飲んじやつてね？ほら、大量に用意されてるじゃん？勿体無いし」

「了解してくれたね？はい。それじゃ、介護よろしく…。おやすみくく…。Z Z Z」

ニーねえは介護を部下に任せて寝る。部下達は交代で睡眠をとってしつかり命令を遂行するのだった

自分達が飲む用と2人に飲ます用と色々準備をして介護をし続けるのだった。ス

プリンクラーもバッチリ回収して分けていく。たまにニーねえの口に飲み物を突っ込んできたりもしたのだった

ビクンつと身体を跳ねさせるピュリファイヤーとオブザーバーを見ると、部下達もビクンつと身体を跳ねさせたのだった。なので？刺激を与えないように遠くから見守るのだった。一定時間になつたらソツと飲ますのだった

セイレーンの所も平和です？早く辿りつけよ？面白い事になってるんだから。令司が好きそうなシチュエーションだぞ？

## 耳掃除するよ？

第3食堂に近いスポーツジム内で、長良と五十鈴とお○ン○マツサージ・意味深トレーニングを夜食の時間になるまでシタのだった。令司は昼食を摂っていなくて飲み物だけです。タフですね〜？

そして終わった後、2人は何故か全裸土下座をした。電動○ナホ並にブルブル震えまくっていた。顔と唇が真っ青。2人共、令司の妻です。合法なのです！なのにね？

2人の心の声を覗いて見ると、罰の癒し刑を執行されると思つたようです。行為前の押し倒しが？かな？

罰は執行されずにホツとして、しっかりと夜食を摂ってぐっすり寝たのだった。良かったですね？長良達は第2食堂で食べたようです

令司は、まだまだ貞操逆転世界の独自？ルールを把握出来ていないようです

まあ：そりゃ、そうだよね？日が浅いですからね？その内に慣れるでしょう？まあ、KANISEN達の理性が頑張ってくれてる？ので何とかなってるのでしようが

第3食堂に行き、リットリオの素晴らしい母乳（信濃印と檜野印）入り料理を食べた。食べ終わって、リットリオとキスする寸前で抱きつかれたのだった。綾波でした

綾波の着痩せが判明したのだった。美爆乳の持ち主！そして耳舐め奉仕を始めたのだった。ゾクゾクするほど気持ち良いのです！令司がデザートになった瞬間である。綾波、積極的！

綾波にお出で♡ポーズで受け入れてやり始めたら（開封したら）、人化した褐色美爆乳美女のゆーちゃん came。アブナイ液体を使いマッサージをして来たのだった。飲めるのだが味はメチャメチャカラい。凄くムラムラしたのだった

ユニコーンも勉強をしていたようでゆーちゃんよりアブナイ液体を塗って悶絶させられた。ユニコーン、悪い娘！令司は良い顔をしている。気持ち良くなれて良かったですわ〜？

饅頭達のパワーで床全面が吸水性の高いベツトになって逝ったので、第3食堂内が令司専用のマッサージ店に早変わり

綾波↓ユニコーン↓ゆーちゃん↓その他大勢の順番でハッスルして逝った。令司専用よりKANSENSEN達のマッサージ店じゃない？

やり突かれたのだった。全員お風呂に入らず、全裸で寝るのだった。電池切れを起こしたみたいになつたりと眠りに落ちて逝ったのだ。寝ている全員、肌がツヤツヤ♡の状態になつていた。インキュバスとサキュバス達ですか？

朝食と昼食の中間の時間（ブランチ？）まで寝る令司達なのだった。いや〜？令司

は頑張り屋さんですね？身体、壊さないでね？

☆☆☆

4日目の朝食と昼食の中間の時間。ブランチ？（ブラックファースト＋ランチ）で起きる令司達。どんな1日を過ごすのでしょうか？

第3食堂内にピンク色な霧などは発生していません。饅頭達が全力を出して対処したのでしよう。饅頭達は幸せな顔をしてピラミッドで組み寝しています。器用だね？

「……………。朝です…ね？起き…：…つ?!か、身体が起こせな…い？ふお…：…♡幸せ…  
」

はい！ゆーちゃんのアブナイ液体のマッサージを受けてから追い打ちで悪いユニコーンのマッサージで悶絶した。で、KANSEN達、まあ妻達ですね？をガンガン逝かせまくってあげた令司でえええす♡

時間はあ…♡食堂の時計より朝食と昼食の中間。ブランチって言った方が良いのかな？な時間で起きました！

綾波とゆーちゃんに抱きつかれていて身体を起こせません♡綾波とゆーちゃんの美爆乳の感触最高♡

ゆうちゃんのアブナイ液体のマツサージにユニコーンのアブナイ液体。凄く気持ち良くて色々ヤバヤバでした♡反撃したら凄く反応されたわ。イキイキしてたね。気持ち良くなつてくれて良かったよ

「「「おはよう？」ごいいます♡指揮官♡退くね？ごはん食べよ？」」」

「おはようです♡指揮官♡愛してるよ♡右肩齧つてごめんなさいです。逝かされまくつて大満足で草です♡あはははっ♡ラフィーを弄つてくるですう♡ラフィー〜♡あ〜♡そ〜♡び〜♡ま〜♡しよ〜♡あはははははっ♡」

超ご機嫌の綾波。クルクルと回りながらラフィーの元へ向かう。ラフィーはどんな反応をするのだろうか？

「おはよう。そっか…、程々にしと…って、もう居ないし！」

綾波の右肩を吸って舐めてのお返ししたよね？ラフィーを弄る、遊ぶ？どっちなんだい？ラフィー、ドンマイ。ラフィーも着痩せしてたっけね。どっちが大きいのかな？同じ位？機会があれば比べねばならぬ

「お兄ちゃん♡愛してるよ♡左肩齧つてごめんなさい。気持ち良かった♡マツサージ、受け入れてくれて♡えへえへ♡」

「ユニコーンお姉ちゃん、良かったじゃん♡お兄ちゃん♡ゆうのマツサージ、褒めてくれてありがと♡嬉しかったよ〜。あつ、そうそう♡角弄りまたシテね？ねっ？」



角、危ないな！まだ抱き着かれてる。最高だぜ！腰、大丈夫だったぜ

令司の右側にユニコーン、左側にゆーちゃんである。角が刺さりそうだね。気を付けなさい。令司の背中ではベットに沈んでいる

「平気だよ。ユニコーン。ゆーちゃん、今度はしつかりとした掃除用具でピカピカにしてヤル♡」

「分かつてるう〜♡♡♡ユニコーンお姉ちゃんも一緒に逝けるね♡」

「う…うん♡ふへへ♡」

ユニコーンお姉ちゃんのマツサージ、なんともまあ…。新しい扉を開きましたよ。一定数いるって知ってたけどね〜？ゆーちゃんが勉強したマツサージ部屋、今度連れてって？あつ、聞いてたから一人で行くわ

令司の新しい扉は幾つ存在するのでしょうか？結構開けてると思うのですけど？むしろ、こじ開けられてるんじゃない？スッキリしてる感じでラブラブオーラ全壊ですな？ユニコーンとゆーちゃんとどんなプレイをしたんでしょうか？

「みんな、おはよう？それともこんには？かな？ヨシつ。リットリオのごはん食べようか！」

こうなるって分かつてたんだらうね？流星だよ。みんなのお姉さん！

「[[[[ハイっ♡]]]]」



メスの顔をして受け入れている。抱き締め返して、お尻を触るリットリオだった。頭、お花畑であった

「そつか。俺はブラブラー人旅でもするよ。みんなも演習とかか？しつかり取り組んでね？」

「「「ハイ、指揮官♡寝る、遠征、演習、出撃しますね♡んくくつ♡」」」

雰囲気はラブラブになっていつて盛りそうになったがなんとか持たせた。別れる前に全員とキスをしたのだった。もちろん、令司のお尻は揉まれて、揉み返しました。胸は揉んでいません。その線引きは分かりませんね

☆☆☆

甘いキスを全員としたぜ。みんな、キス魔だよね♡美味しかった。うん。そろそろ、聞いたマツサージ部屋かな？睦月、如月、アークロイヤルと入った部屋と場所が違いますね。部屋沢山あるからそうだよねくく

みんな、宣言通りの行動をとって、令司は1人ブラブラ旅をしてゆーちゃんが勉強した部屋へ向かったのだった。ゆーちゃんは寝るで、ユニコーンは綾波達の様子を見るよ  
うですよ

「くくつ♪おつ、ここがゆーちゃんがマツサージの勉強をしたっていう部屋だな？

……っ！

えっ？何かさ？ピンク色の霧がさ？下の隙間から漏れてるんですけど？本当にアブナイ部屋じゃん♡ムラムラしちゃうじゃん♡入りま〜す♡

ゆーちゃんが勉強したピンク色の部屋の中はどうなっているのでしょうか？マッサージ部屋の周り？壁や床が真っピンク色で、アッチ系が勢揃いしている事に気付いていないようですね？

〈極悪♡エロエロマッサージ寮〜極悪癒し刑部屋を添えて〜〉

最高に♡刺激的♡なマッサージをドウゾ♡思いつ切りスッキリしたい時、利用しましよ？

これが見えてなかったようですよ？

「おおお〜。すっごく見た目がアブナイのぼっかり♡ピンクの霧がハッキリ見えるよ♡」

アブナイ液体ぼっかりがズラ〜と並んでる。本はきつと説明書でしょう。ピンクの霧がハッキリ見えるって、どういう事？饅頭達の不思議パワー？それか、嫁達の嫌がる？癒し刑のランク？がメチャメチャ高い部屋かい？スッゲ〜ムラムラするの♡

「まあ、いつか？エロけりやいいし？勉強！勉強！おっ？耳掻き棒ゲット♡高級そうだな…。これで耳掻きマッサージでもしてやる！耳掻き用の本はあるかな〜…」

ムラムラしてピーンとなっている状態で耳掻きマツサージの本を読み漁る令司なのだった。また、耳掻き以外の本も夢中になって読みまくったのだった

「ふむふむ…。あつ、もう昼食の時間じゃん…。食べに行こうつと…。本を戻してつと…。で、息子はこのままにしよう…」

結構勉強になりましたよ。で、本の最後にオリジナルの液体を作ろう！と書いてあったからちゃんと作りました♡これをゆーちゃんは使ったんだな…。うん、披露したくなるよね？誰にシヨウか？ヨシっ。ここを出て初めて会った嫁にするか…

「昼食をどこで…。おつ？コツチにくる気配が？誰だい？実験台になってくれるのわ？」

部屋を出て昼食をどこで食べるか考えていたら実験台になるKAN—SEN達・嫁達が来たのだった

「ヒック♡ヒック♡ヤラ〜♡こんにやのでえ〜♡このりやうのけいひやえにい〜

「♡くるによわ♡♡ヒック♡♡ひっぴゃ♡♡ねえしや♡♡ん♡♡」

「そう言わないの、オイゲン…。紙渡されちゃったし…。もう逃げられないよ…。あゝ、リヒが強すぎるのがダメなのかなあゝ？つて？し、指揮官つ?!?!こんな所にな、何でつ?!」

「よっ！プリンツオイゲンにプリンツハインリヒ。うん…。お酒の練習しててもダメだったか…?」

「Z Z Z Z Z Z ……。ヒック♡ウへへ♡しきかあんがあゝ♡ふたりいゝ♡♡」

「う、うん…。(あゝ♡♡アブナイ液体を沢山作ってるし、耳掻き棒♡痒いから助かる♡スケ乳首に息子がエグめに立ってる…。リヒ♡開封されるんだ♡ヤツタ♡お尻触られただけで逝ける♡ふ、ふたり?…うっ♡)」

ダブルプリンツ！オイゲンはついに？ヒツパーから何かを下されましたね？ハインリヒは平気と…。うむ♡2人ともけしからんプリ尻だよ♡オイゲンは叩きオツケーだけど、ハインリヒはどうなんだろう？

この2人に耳掃除するか。試したいですう♡ハインリヒのエチチ下乳♡ありがとうございます♡慌てちゃって♡なんか汗ダラダラ流してますね？顔と息子を交互に見ちゃって♡あつ、紙落ちた…。どれどれ…

「あつ、それは…」

『マツサージ寮の極悪癒し刑部屋で癒し執行。夜まで一度も逝くな。夜になったらシリアスが来るから。ハインリヒも同様。byヒツパー』

ヒツパー……。何をされたんだ？へえ？こつてマツサージ寮なんだ……。極悪癒し刑部？なにそれ見たい！息子よ。痛いぞ！痛い痛い！静かに！

「ふくくん？ハインリヒ、いやリヒ？ここの近くで昼食をとったらさ？耳掃除するよ？良いよね？耳をほじほじしてたからさ？痒いんでしょ？」

「は、はひい♡お願いしまふ♡こつちです♡」

昼食をダブルプリンツととつたのだった。オイゲンはリヒの押し込みで食べたのだった

☆☆☆

「ZZZZZZ…。しきかあ〜くん♡むにや…むにや…」

「耳掃除するよ？リヒ、ほらお出で♡」

「…ゴクリ…。ハイ♡失礼します♡」

お腹が満たされましたので、今度はマツサージ欲。まあ耳掻き欲？を満たそうと思えます。膝ポンポンしたらゴクつとするなんて…。膝枕が良いのかもしれない。女の口マンか？太ももフェチいたし…。言われればやるよ？耳掻き店営業しちゃうよ？

耳掃除をする前から天国に逝っている気味なハインリヒ。オイゲンは猫のように丸くなつて寝ている

「はい、失礼されました。耳掻き棒にブレンド液体を少し垂らして、カリカリつとね？ シュワシュワ泡だつてるねえ？…♪」

酔っ払いを放置してハインリヒの耳掃除を始めたのだった。ハインリヒの心の声を聴いていきましよう

「…つ?!?!…♡…♡…♡（あ…♡あ…♡イツ?!トロトロに溶けちゃう…





「息を吹きかけた後は、また液体を垂らして〜。もう一度。グリグリ、クチュクチュ  
 〜〜〜〜つ♪」

「〜つ?!?! (イケ…ないっ! あ〜♡う〜♡ハアハア♡ハアハア♡ま…だ…  
 みぎ…み…み♡あつ、指揮官の…湿ってる…♡スーハー♡んっ! い、逝きたい〜っ  
 !)」

「すんばらしく? 悶えまくっているハインリヒ。そう、極悪? な癒し刑は始まっていた  
 のです。オイゲンの方はまだ刑は始まっていません」

「〜〜〜つ♪ヨシっ。右耳、完了。それじゃ左耳行くぞ〜? カリカリカリ〜つと  
 …」

「〜〜〜つつつ?!?! (あああああ〜♡ラメえええ〜♡うっ♡逝けないっ♡  
 逝けないっ♡ヤダ〜♡逝きたい〜♡これが夜まで? ヒツパーごめん〜♡♡  
 ♡)」

「んあ? 右耳よりなんか固い大物がある感じ? あつ、そうだ。動くな」  
 !!!」

モジモジ動いてアブナイでしょ！大人しくしてて！そうそう。良い子♡続きますね♡液体垂らしてガリつと…。どこだ？ここか？おっ？

「~~~~~♡♡♡♡（そんなにや~~~~♡ううう~~~~♡うごけにやい♡気持ち良い♡ずっと溜まっていく♡）」

「とつたどー！うっわ…。はい、饅頭達、仲良くお食べ…。美味しいんだね？スツゲ…。つと、仕上げをして…。終了…。お疲れ様…。どうだった？つて、エロくビツクンビツクンしてる…。誘ってくれてありがとうけどオイゲンさせて？ね？」

「ハアハア♡ハアハア♡あ、ありがとう♡」

ハインリヒはぐったり涙目。で、一度も逝けてません。夜のシリアスの到着でどうなるのでしょうか？

右耳、大物ぼかったけど左耳の方が大物でした。リヒだけかな？オイゲンを見させて貰うよ？目を覚まして貰うよ？アブナイ液体を飲ませてつと…

「もがつ！あああ~~~~♡指揮官~~~~♡この癒し刑ヤ~~~~♡」

あつれ〜? 大型な猫? 最高です♡息子よ…。まだだぞ? 涎出まくりでも待て! 健全ですよ?

「オイゲン? 動くな」

「うぎゅ! えっ? し、指揮官? 笑顔で耳搔き棒を見せてきてど、どうしたのかな〜?」  
「オイゲンの耳掃除するよ? 液体垂らして、ほい、カリカリつとね〜?」

「~~~~~っ?!?!  
~~~~~っ♡」

溜まってますね〜? シュワシュワ泡しゅごい! 饅頭達? ご飯もうちよつと待ってろ〜? 耳プレイした嫁達は意識高かったんだな〜?

オイゲンもアブナイ液体の耳掃除でエツ口く悶えていく。罰の癒し刑が始まったのです

☆☆☆

これら耳掃除中も盗撮・盗聴されているので一部のKANSEN達を見て見ましょ

う

「あらあら♡令司、直々の極悪癒し刑が始まったわね♡ヒツパー？ナニされたのかしら？紙なんて出しちゃって♡」

「ザラ…。言いたくない…。ハインリヒはしつかりしてくれてたけど…。アブナイ液体マッサージをしてくれるなんてありがたいわね…。しつかり治れば良いけど…」

「指揮官様直々の耳掃除♡大鳳♡されたいですわ♡ドロドロになりたいですわ♡極悪癒しなのが最高ですわ♡♡」

「大鳳ちゃん…。私に抱きつかなくても…。指揮官様？言えば、耳を掃除してくれるのかしら？嬉しいですよ♡」

「鳳翔さん…。目が♡マーク…。赤城もされたいですわ♡極悪癒しは、まあ…。はい…」

◇

「ほら。ラファイ、食うです♡どんどん食うです♡耳掃除店、出来たら予約するです。取れないかもで草です♡」

「美味しい♡綾波、キレイになった♡耳掃除のシユワシユワ凄いいね♡！」

「ニーミはどうすればいいの…？指揮官の耳掃除したいけどピカピカそうだし…」

「指揮官♡インディちゃんを掃除しようよ♡ついでに私も♡インディちゃん♡指揮官♡インディちゃん♡指揮官♡」…うるさい…」あぎゃんっ！」

「オサナナジミの耳掃除♡最高じゃない♡いっつも気持ち良くしてくれてありがとう♡いっつもピカピカよ♡あゝ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡」

「誇らしきご主人様♡このシリアス♡極悪癒し刑を披露する時が来たのですね♡ウッフ♡ダブルプリ尻様♡待っててくださいませ♡ジュール♡ンフ♡尻尾の粘液♡最高ですよ♡」

「耳掃除？最高じゃない♡そんなの予約取るに決まってるよねえええゝゝ♡」
相変わらず？オーブン基地のKANISEN達はムラムラしているようです。みんな極悪癒し刑を受けるダブルプリ尻を拍手で祝福していた

☆遠い遠い暗い場所☆

ニーねえの部下がしつかり介護しました

「」

「私にも飲み物を飲ませてくれてありがとう。みんな、2人がビクつとするとビクつとしちやうのはビックリしたな〜」

「あ〜〜♡う〜〜♡令司キュンの意地悪う〜♡んにゆい〜♡」

「うん…。もうね？凄いな？私が寝てた時でもずつと嘔き出してたんでしょ？で、まだ嘔いてる…。どうなってるの？オブつちのタコ足の粘液を料理したの？美味しい？…そうなんだ…」

「ひゆ〜♡ひゆ〜♡もがつ…。んっ♡」

「んっ？しつかりご飯食べてるか？食べてるよ…。2人もなんとかなってる…。よね？あつ、肌ツヤツヤじゃん…。んえ？また何か集めてくる？ありがとう♡行ってらっしゃい」

まだまだ治らない2人。ニーねえの介護？はまだまだ続くのであった

えっ?・最高なんですけど♡

令司はユニコーンとゆーちゃんにより新しい扉を開けた。令司は一体、幾つ新しい扉を開けるんでしょうか? いや、開け続けると言った方が良いのかもしれないね?

そして、ゆーちゃんがマツサージの勉強をしたという部屋を聞いたのだった。地図に印を付けて貰ったので安心してブラリ旅が出来るです

令司、綾波、ユニコーン、ゆーちゃん、リットリオ、その他大勢は朝食と昼食の間の時間、ブランチ(ブラックファーストランチ)を第3食堂でリットリオの作り置き料理を美味しく食べた

愛情がしつかり入っている。母乳は入っていたりするが、○液が入っているという事はない。リットリオ以外の料理には入っているかも? 鳳翔が良い例です。翔鶴は飲み物に睡眠剤だから別枠です

もう一度部屋で寝る、演習、遠征、出撃などで解散前に甘々キスをしまくったのだった。えっ? 甘いのはかり飲んでる? 食べてる? から糖尿病の心配しちゃう? 大運動会が開催されているので平気です。スポーツジムもあるので平気平気…スポーツセツもあるの♡

ゆーちゃんの地図にココ♡と書かれていた場所に行ったら何とそこはエロエロマツサージ寮♡そして極悪癒し刑部屋がある。そう、アッチ専門の部屋しか存在しないのです。しかも高ランクな罰ばかりです。全員1度は使用しているとか？

壁や床が全部真っピンク♡ゆーちゃんが勉強した部屋からもピンクの霧が漏れていたのだった。明らかに時空が歪んでますよ？

令司はアブナイ液体に耳搔き棒を手に入れた。それに関する本でしつかり勉強するのだった。本の最後にブレンド液体を作るように書かれていたので、色々作ったのだった。令司の令司は勉強中でもしつかりムラムラしていたのだった。聞かない子ですぬ？

最初に会った嫁にマツサージを施してヤろうと逝きこんでいたら、丁度ダブルプリ尻がやって来た。あつ、間違えました。プリンツオイゲンとプリンツハインリヒがやって来たのだった

オイゲンはベロンベロン状態だったので、ヒツパーにまたナニかをしたのだった。紙に罰の内容を書いてハインリヒに渡していたのだった。ザラがお胸をテーブルに置いてヒツパーに聞くが、黙秘されたのだった。録画がある？見ることが出来ないようにされていた

ここでも？シリアスの名前が記載されていた。まあ、エロ特化の淫魔ですからね？そ

れでメイドですから…冥土淫魔?がしつくり来るかも?盗撮・盗聴していたシリアスは張り切っていたのだった。罰をスルのが楽しいんでしょね?

極悪癒し刑は紙が必要なようです。その紙の内容を見た令司。何故か耳掃除を提案する。耳が痒かったハインリヒは素直に提案にノツたのだった

アブナイブレンド液体を使ってハインリヒ、オイゲンの順番で膝枕耳掃除をするのだった。ハインリヒは膝をポンポンする令司を見て、ゴクリと唾を飲み込みと鼻血を出していたのだった。大興奮なようです

膝枕されるのは女のロマンなのです!これらを盗撮・盗聴していた一部の嫁達は血涙で祝福するのだった。耳掃除リフレ。繁盛すると思われます。令司、スゲ〜!ヒロイン?しつかりしてるよ!

ハインリヒの耳の中は凄く汚く、左耳に大物がこびり付いていたのだった。取れたのは全て美味しく饅頭達のお腹に入っていたのだった。凄いな?アブナイブレンド液体の正体は調味料?シユワシユワ泡立つとかどんな配合をしたんだい?

耳掃除をしてるだけなのにずっとエロくビクン♡ビクン♡していたのだった。しかも紙の内容が絶対なので逝けずにムラムラがずっと溜まり続けるのだった。それを見て聞いている息子が涎ダラダラでひたすら待てをして貰っていたのだった。嗅がれていてご満悦のようです♡

耳掃除が終わって猫のように丸くなって寝ているオイゲンに、また違うブレンド液体を飲ませて目を覚まさせて膝枕耳掃除をシタのだった…。こちらも同じくエロく喘ぎます

2人とも令司の言霊により動けなくなり、ひたすらムラムラを溜め続けて逝くのだ。これが極悪？癒し刑の一例？のようです。まだシリアスの出番まで時間があります。令司はどのような行動を起こすのでしょうか？

☆☆☆

「~~~~~♡」

「ふうふう、2人の耳掃除終了！ええ？ビクンビクンしてる…。エツロい…。で、昼食の時間か…」

膝枕耳掃除終わったぜ。全て饅頭達が美味しく食べたよ…。凄いよ…。ブレンド液体は調味料なのかい？アブナイねえ？

健全な耳掃除なのになあ？エロくてエロくて…。何？メスフェロモンプンプン出しちゃって？ねえ？誘ってるの？ねえ？耳掃除中さ？聞かん坊だったんだぜ？痛いんよ…。我慢比べは負けますって…

健全な膝枕耳掃除をされた2人。鼻血、鼻水、舌を出してビクンビクンしてグツタリしています。下の口のムラムラは溜まりっぱなしです。耳、性感帯だったんですね?それか令司がクリニツク並の腕前だったんですね?液体の力もありそうですが…

「2人の昼食を持ってきますか…。それじゃまた後で来るよ〜!」

「あ〜♡う〜♡ (か、身体を…はあ…、んっ♡動かす…許可を〜♡んあっ♡出ちやダメええ♡)」

2人を置いて部屋を出て昼食を取りに行く令司なのだった。…だった筈なのですが…?おや?様子が…?

「はあ〜…。2人の昼食を持ってくるって言っただけでも…。これだよなあ…?あ〜っ…。凄い…。ハアハア♡健全が出来ない部屋ってどうなのよ…。あつ、2人とも言霊で動いて良いと言ってないから動けないよね?まあ?いつか?」

身体熱い〜♡健全な膝枕耳掃除してただけなのに〜っ!?!頭ボーっとしちゃう♡

耳掃除に意識集中して何とかなつた〜！まあ、バレてたけども♡

昼食の前に誰かでスッキリしたい〜っ！ダブルプリ尻がいるけどさ？夜の方に回す♡シリラスと一緒にやるし♡さいっこの快樂が確定♡それと極悪？癒し刑見れるし♡

「ハアハア♡あ〜、誰か来ないかな？来てよ〜♡盗撮・盗聴してるんなら何となく分かっているでしょ？この状況をさ〜？」

全身汗でびしょ濡れの令司はマツサージ部屋のドアに背中をつけて座りこんだのだった。すぐくオスフェロモンをプンプン出しまくっているのだった、スケ乳首しています。鼻血出ますね

息子のムラムラは凄いです。はよっ！はよっ！我慢は毒だぞっ！さあさあ！とせかしている。限界まで待てをしていたからね？仕方ないね？よく保ちましたね？ヨシヨシ

これらの行動は全て筒抜けなので、タイミング良く？救って？くれるKANSEN達と出会うのだった。良かったじゃないか♡

「あゝゝゝ…。動けねゝゝ。良く見ると床、壁などが真っピンク。気付かなかった…。あゝゝ、汗でビチョビチョになつてゝ。透けてますねゝゝ。…うん?足音…?複数…?」

誰だい?おいつ!イタタタつ!ちよつとつ?!聞かない奴ですなゝゝつ!もう少し待つてゝゝ!

「あつ、オサナナジミ♡やつと見ゝゝつけた♡相変わらず隠れるのが上手よね?(隼鷹が未遂しちやつたからかな♡)飛鷹の旦那なのにね?ウフフ♡スーハー♡スーハー♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡襲うわよ♡」

「隼鷹…。お前も指揮官の嫁じゃないか?そんな行動起こす気ないじゃないか…。指揮官、昼食を持つて来た。もちろん、ドアの向こうの2人の分もあるよ。膝枕耳掃除、うらやま…けしからなかった♡良ければシテ貰いたいな♡店を開いたら連絡してくれ♡直ぐ逝く♡」

「ご主人様…。別の部屋で隼鷹様と川内様と繋がつて来て下さいませ♡ベルがオイゲン様とハインリヒ様をちよう…、いえ、食べさせますので」

隼鷹に川内、ベルファスト…。天使♡ベルファストはメイドだからメイド服はわかるけど…。あつ、母乳垂れてる…。隼鷹に川内の2人のメイド服、有りつつ！だなっ！隼鷹…。そうだな…。上手に隠れても必ず見つけてくれるもんな？それで首筋にキスや匂いを沢山嗅ぐもんな？その後、飛鷹に見せつけイチャイチャするもんな？飛鷹を煽るの楽しいからね♡♡

川内？そのムチムチエロスメイド服は反則♡川内つて花魁粹なんだよね？メイド花魁つて新しいね？コスプレつて最高ですね♡これ言ったらコスプレパーティー開催しそう♡えっ？最高なんですけど♡

ベル？調教つて言いそうになつたね？癒し刑でもスルんだね？よろしく♡あつ、鎖首輪付けてないから購入して付けてあげるか…。んんんん？…見なかつた事にしよう…。うん…。サキユバスの尻尾…

令司と隼鷹は有りもしない生活？を語っていた。なにそれ？頭大丈夫？こいつらのイチャイチャの仕方なのかな？それなら仕方ないな！

川内は狐耳に尻尾をずっとピーンと立て振り回していた。笑顔で鼻血を出していた。血、足りてる？視線は令司の乳首です。ガン見です

ベルファストは母乳が垂れているが気にしていない様子。目の中が♡マークで右手

を輪っかにしてヌプヌプのジェスチャーをしていた。メイドとしては無い唯のメスとしての行動かな? 幻覚でベルにサキユバスの尻尾が見えた令司なのだった

「隼鷹、川内、ベル…。丁度良かったよ…。ハアハア♡案内頼む。ベル、2人をよろしく頼む」

「畏まりました。ご主人様。ではゆつくりシテ下さいませ♡ちゅ♡」

「案内するわ♡こつちだよ♡あつ、動けないなら担いで運ぶわね? よいしょ…」

☆☆☆

ダブルプリンをベルに任せて、2人の案内で別の部屋で昼食をとることになった令司。どんな行動を取るのでしょうか? 隼鷹と有りもしない生活をどんだん喋るのかな?

案内された部屋にはムラムラするお香が沢山焚かれています。ピンクの霧が発生する理由はこれかな?

「んくくっ♡んくくくっ♡ちゆるるっ♡」

もう、良いよね? な感じで隼鷹とキス昼食してる。あつ、口移しって事です! 川内の

料理を食べてます。美味しい

「2人とも発情してる♡口移しで川内の料理を♡「せん…だいつ！」んきやくつ♡んむちゆる♡んくつ！んくつ♡」

「んふ♡たつぷりキスでごはんを食べさせ愛っこ♡ご馳走様♡オサナナジミのアレは凄いのよ♡飛鷹で満足出来ないんだもの♡寝込みをずつぷりとされたのよね♡抵抗シテも聞いてくれないの♡ネっ♡オサナナジミ♡あつ、まだごはん残ってたわよ♡口移し再開よ♡んちゆる♡」

無言で部屋に入り、玄関で2人とキスをした。そして令司か隼鷹のどつちかが早くベットへ雪崩れ込んで、川内の料理を口移しで食べさせ愛うのだった。頭の中が真つピクなんですね？令司達の行動を見た川内は、尻尾を嬉しくブンブン振っていたのだった

隼鷹の親友、川内の下のお口、きつもちいい♡あくく♡ようやくだよ♡前から狙ってたんだよ♡川内♡スッキリさせてね？ふくくつ

令司の改ざん記憶では…

飛鷹の旦那。だけど、なかなか満足出来ず、姉の隼鷹に夜ば…をして、開封?そして、隼鷹の親友である川内の事がずっと前から気になっていて狙っていた。令司はメイド服好き?を利用して?して捕獲に成功。これらが飛鷹に公認されている?

…こんな感じでしょう。無事に川内とイチヤイチャが出来たのだった

「~~~~つ♡~~~~つ♡おつ♡ほっ♡」

「ふう…。隼鷹…。まだ出来るからスルぞ!」

スツキリしたかな?と思っただけど、この部屋にお香が沢山焚かれてるからさ?ムラムラヤツベえのよ!嫁達も?ムラムラマツハ♡えっ?最高なんですけど♡ハツスルするゾ♡

「きやくくつ♡気持ち良いわくく♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡スーハー♡スーハー♡あくく♡オサナナジミ♡好き好き好き大好き大好き好き好き好き♡」
「愛してるよ。隼鷹♡んちゆる♡んくくつ」

メイド服を着たくないって言っていたのに♡着てきたからにはしつかり奉仕を学んで貰おうか♡後、その格好で飛鷹の相手シテね？喜ぶよ〜！

隼鷹の口移しで昼食をとって川内、隼鷹の順番でハッスル。そして有りもしない生活を喋って？いた様子でした？うん、イチャイチャしてるならそれで良いか…な？

イチャラブ？をしていた所にハインリヒとオイゲンのお世話が済んだベルファストが部屋へ入って来て、報告をしてきたのだった

「ご主人様、ハインリヒ様とオイゲン様に昼食を食べさせて来ました。…あら？」

「ハアハア♡んん♡指揮官・オサナナジミ♡しゆきい〜♡」

「ふう〜。ベルファスト…、ダブルプリンツを見てくれてありがとう」

若干、肌がツヤツヤしてるね？母乳止まつてる？百合の花が咲いていたのかな？うん♡百合は良いよね♡…で、やっぱりベルの首に鎖首輪付けてあげる♡ないと何か違和感があるんよ…。購入は…餓頭達に頼めば良いかも？

饅頭達に伝えれば直ぐ似合う鎖首輪を作るよ!オーダーメイドつてやつです!1人作ったら多分、全員分作るよ!そんな事は分からないかもしれない令司です

「…いえ♡(癒し刑ちよつと楽しんだとは言えません。言霊で動けないから楽でした♡)メイドの仕事ですから。ご主人様♡ご褒美としてご奉仕させて下さいませ♡」

ベルのご褒美としてご奉仕?うん…。えっ?最高なんですけど♡是非是非♡まだまだ元氣ですから♡お出で〜!

「……………♡お出でをしてくださり感謝します♡(ハアハア♡我慢しなくて良いのですね♡ん♡また母乳飲ませます♡ちよつとあげちやいましたけど…)ベル、逝かせて貰います♡アアアン♡(頭、真っ白になるうう♡あ〜♡キスうう♡美味しい♡)」

おっほ♡えっ?最高なんですけど♡最高なんですけど♡んあ〜♡ピンピンするんじやあ〜♡突き愛おう♡んむんちゅ♡やつぱ、あつま〜♡美味しい♡

ご褒美としてご奉仕?ああ…、貞操逆転だから女性がリードしなきゃ逝けない感じで

すね？でも大半が令司がリードですけどね？これも独自の謎ルールに沿っているのかもしねませんか？

そうしてベルファストを昼食のデザートとして食べたのだった。鎖首輪の件についてはいつ言うのでしょうか？饅頭達に頼んでサプラ〜イズ♡でもするんですかね？受け取るベルはどんな反応をするのでしょうか？楽しみですね〜？

シリアスの極悪癒し刑の夜までまだ時間があるので、このエロエロマッサージ寮でも探検するのでしょうか？それか夕食、寝る、耳掃除をする？などなど。どんな行動を取るのでしょうか？

☆遠い遠い暗い場所☆

「」

「涎、ダラダラで、下の口ずつと噴いてるね？いつ止まるの？ねえ？オブつち？ピュリつち〜？ねえ？…うん？…あつ、やつぱり？肌ツヤツヤしてる？そうだよね〜！2人の肌ツヤツヤだよね〜！飲んでからだだよね〜！」

「あつ、お帰り〜。止める方法あつた？ん〜つ？これは耳掻き棒？止める方法と関係ないよね？後は…。…ゴ〜グル？これも関係ないかも？2人に耳掃除したいけどさ？」

「かひゅゅゅ…♡かつはっ♡あへゅゅ♡」

「…………危ないでしょ?あゅゅゅ?直接飲んじゃう?…えっ?何その布?へゅゅゅ?それがパンツ…。なくて良くない?あゅゅゅ、オムツ替わり!それじゃ履かせよう!」

「これでヨシ!それじゃ固定して貰って…。ピュリつちに耳掻き棒で耳掃除するよゅゅ!カリカリつと♡」

「んゅゅゅつ?!?!?」

「力入れてるつもりないよゅゅゅ?ゴクゴク飲んでますねゅゅゅ。ありがとう♡反対側もカリカリゅゅゅ!」

「オブつちにも同じことしようか…。カリカリゅゅゅ。んゅゅゅ?タコ足の絡み付きの力弱いねゅゅゅ?もうオムツの上から縄で縛る!ぐいつとね?」

「あゅゅゅつ♡あゅゅゅつ♡」

「反対側もカリカリゅゅゅ!粘液沢山出して気持ち良いんだゅゅゅ!良かったゅゅゅ。後は、ゴーグルなんだけど…。一台…。ニーねえがつけるねゅゅゅ!おうっ!耳掃除されてる感じ!うん。気持ち良い。あゅゅゅつ♡」

どうやら?耳掃除にゴーグルを上手く使っているようです。2人はニーねえの部下

によつてパンツを履いた。それから部下2人がしつかり飲んで固定し、耳掃除を開始した。こちらにも性感帯なのかな？

セイレーン達も耳掃除をするのだつた。気持ち良く逝っている。令司くく！アブナイ液体で掃除してグチヨグチヨにしてやれくく！いつになったら令司と会えるのでしょうか？

セイレーンも？平和な時間を過ごしています

集チユー治療室？

プリントオイゲンとプリントハインリヒ（別称、ダブルプリ尻・ダブルプリン）の膝枕耳掃除が終わったのは昼食の時間でした

耳掃除しただけなのに、もの凄くエロくなっている2人を襲わずに部屋を出る令司だった。健全ですね？良く我慢しました。ヨシヨシ…

昼食を持ってくる宣言したが、ドアに背中を預けて座り込んだのだった。全身汗でびしょ濡れです。スケ乳首してます。息子は限界突破していたのだった

健全が出来なくてビツクリするのだった。言霊の解除をしていないのだった。気付いたが放置した。まあ、極悪癒し刑中ですから放置して問題ないです…

これらを盗撮・盗聴しているの、代表？として隼鷹、川内、ベルファストがやって来た。川内の料理を食べる事になったのだった。川内は嬉しさを爆発させていたのだった

隼鷹と川内はメイド服（魔改造）を着ていて眼福。ベルは発情していたのだった。ベルはダブルプリ尻に昼食と癒し刑をする為に来た感じ。令司は、お香が沢山焚かれている別の部屋に案内され、改ざんされてる？生活を再現をする？のだった

昼食を隼鷹の口移しで食べながら川内、隼鷹の順番で開封してスッキリした。デザートとして少し発情が収まっているベルをご褒美としてご奉仕して頂くのだった。変な話の気がしますがね？息子はニッコニコだったとか？

ムラムラ大航海を航海しましたが、夕食の時間にもなっていないません。令司はどんな行動をするのでしょうか？夜はダブルプリンの部屋へ逝くことが決まっています

☆☆☆

「うふふふふふ♡あつ？飛鷹から？はい♡もしもし？ええ、そうよ♡オサナナジミとね♡ずっぷり♡ええ、ありがとう♡そっちも手に入れてるのじゃなくて？おめでとう。あつ、そうそう、飛鷹もメイド服着て奉仕したがってたじゃない♡オサナナジミは受け入れてくれるわよ♡気絶は覚悟しなさいね♡うふふ♡あら、切れちゃった…。うふふ♡オサナナジミはサプライズ好きだったわね♡はあく♡愛してるわ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡オサナナジミ♡あくくんっ♡」

「ふふふ♡尻尾フサフサ♡キラキラしている♡ありがとう♡………♡つ♡はあく♡川内は幸せな気持ちだ♡愛してるぞ♡終わった後に耳掃除されて何度果てたか♡一瞬眩しくなったと思つたら…これが…。こんなプレゼント…嬉しい♡愛してる♡愛してる♡」

「あくくっ♡ご主人様♡ご主人様♡スーハー♡スーハー♡愛しています♡愛しています

によ耳打ちで頼んだらさ？10分かな？いや、5分だったような…？とにかくメチャメチャ早く作ったのよ！なんか待ってましたっ！感が、あつたんだよね。ありがとう！

ベルだけのつもりだったんだけどさ？なんと！饅頭達は、このオープン基地全員分作ったのです！凄いね！隼鷹と川内の首にバッチリ付いてます。3人とも装着する時、メチャメチャまぶしかつたんだよね？演出凄いね！

で、ベルにベツトへ押し倒されて甘さ増し増し増し増しになってるキスをされてるって訳♡キス魔、最高なんですけど♡サプライズ？成功したのかも？鎖首輪がエロい？へえ？そうなの？どういたしまして？あつ、唾液飲むよ！ジューズですって！

えっ？令司が基地全員分なのが分かった理由？饅頭達がカンペ…じゃない。団扇に一文字ずつ書いてドヤつてたの…。饅頭達ってお茶目なのかな？

饅頭達を横一列に並べ替えたら『全員分作った♡てへっ♡』だったんだって？文字書けたんだね？そのうち、擬人化するの…？かな？性別はどっちかな？

令司は無事、鎖首輪をベルにサプライズプレゼントをする事に成功したのだった。饅頭達もヤツタゼ♡良い仕事した♡的な行動や態度をとっていた。オープン基地全員に再度、最高のプロポーズをしたのだった

バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡をね♡あはは♡

注)バツキューン♡は、放送事故的な発言でございます。ゆーちゃんは人化する前の獣の何かが残っていたのかな？

「お兄ちゃん♡ユニコーン、良い娘だったんだね？悪い娘と思ってたのに…。愛してるよ♡愛宕さんは…うん…」

ゆーちゃんの悪い飼い主、ユニコーン…。谷間寄せて見せてますよ～～！素晴らしいつ！鼻血出しちゃって大丈夫じゃないですね？

「あら？愛宕つたらはしゃいじやって♡こちらの高雄は別の場所なのよね。演習相手の高雄を縄で縛るなんて…。それで？嬉しいサプライズをリアにも♡ウフフ♡ベルが、ああなっちゃうのは仕方ありませんわ♡愛してますわ♡指揮官様♡ウフフ♡」

「……………つ。(何もしなくて演習終わっちゃた…。相手…かなり上位の所だったんだけどな～～…。つまんない…。セイレーンと遊ぶ方がマシかも…。チョーカー…。グへへへ♡)」

愛宕さくん? 演習相手の高雄になんて失礼な事を! でも、相手の高雄は嬉しそう? 相手の高雄は猫耳でしたか?。こちらの高雄が見たら愛宕はどうなったのでしょうか? 綾波も居ません…。何処にいるのかな?

イラストリアスの目の中に2つ♡マークが発生しました。それで? サキュバスの尻尾を振った幻覚が? とりあえず、演習してるみんな喜んで鼻血出してきて逝ってます

演習、お疲れ様。相手の指揮官には…、ごめんなさい? です? 男性が貴重世界だから、指揮官は当然、女性でしょうね?



☆遠い暗い場所☆

「うがあくくつ! 眩しいのだくくつ! なんなのだくくつ! 夕立に不意打ち攻撃するなんて! ガルルつ! なのだくくつ! はあはあ…。うん?? (鎖首輪?) ……つ♡わっふくくなのだくく♡」

「……………つ!!! (あくくつ! 無性に愛宕を弄り倒したいっ!!! 早く帰ろうっ! とりあえずこいつにつ! 首輪、チョーカー…。グへへ♡)」

「うつきゅくく… (痛いっ! 痛いっ! 弱ってるってばっ! 縛られてるつつくくのっ! 投

降したよねっ?!?! あんたらオープン基地所属でしょ?! 無理ゲーだってばっ! あくく…。
 ニーねえの所にずつといれば良かった…。なんか下の口、ムズムズする…。どうし
 ちやつたんだろう…?」

「…ふう…。35番? テスター? かな?…を、弱体化させて持ち帰れるようになったわ
 ね? これで…♡…んっ?…あら? ピツピ? 首にエロいチョーカーなんて付けていたか
 しら? 似合ってるわよ」

「ビス姉え…、ありがと…。一瞬眩しくなつて、終わったら付いてたのよ…。姉えにもエ
 ロいチョーカー付いてるわ。似合ってるわ。……つて?! これ、令司兄様のプレゼント
 よっ! きやくくっ♡んんんくくっ!! ハアハア♡ウフフ♡」

「そう…。…?…?…えっ? れ、令司兄様のプププ、プレゼント? ほん…。「ハイ♡こ
 れ見れば♡」……?…!! あは♡うふふ♡令司兄様がこつちの世界に♡いらつしやい
 ♡令司兄様♡楽しんで頂戴♡あくく♡こんなエロい素晴らしい♡サプライズプレゼン
 ト♡愛してるわ♡ハアハア♡ハアハア♡」

「ぎゃ、逆サプラくくイズ…♡大鳳のハグで逝くと同じくら…、いや。それ以上の幸せを
 感じるくく♡うえへへ♡滾るくく♡」

「……?…つ! (あくく…。なんかやつばくく…。全員の目の中、♡マーク。しかもなん
 かエロそうな尻尾がブンブン振ってる気がする…。令司兄様? あくく…。オブちゃん

辺りが騒いでる男性だね?…男性…。男性?!あつ、終わっちゃったな(…)

「それじゃ、みんな♡基地に帰るわよ♡司令兄様♡待つててくださいね♡♡」

「「「はい♡早く帰ろう(なのだ〜)♡」」」

「(ひやうつ♡早い早い早いひやん!!ひやん♡)どこ触ってるの〜!」

暗い場所で急に眩しくなれば、そりやジタバタしますよ?でも夕立以外の綾波、高雄、ビスマルク、テイルピッツ、アルバコアは平気だったようですね?夕立の鍛え方が甘いのかな?夕立は耳と尻尾をブンブン振って大喜びしてます

逝けどりに成功したんですね?おめでとうございます。これで少しはセイレーンの情報をヌキ取れますね♡35番テスターは強く逝きましょう!

ここまでお散歩しに来ました♡感がある。みんな笑顔で鼻血出しながら帰投します。血、足りなくなるよ?ムラムラ?が凄い事になったのかな?司令、出番ですよ!

今日『も』元氣いっぱいムラムラしてる?KANISEN達なのだった…。最高のプロポーズでドレツドレのように良かったですね♡饅頭達に頼んで良かったじゃないか!



☆☆☆

「ハアハア♡ハアハア♡ああん♡ご主人様♡♡愛してる♡愛してる♡愛してる♡あ
(プスッ) Zzzzzzzzz……」

「うふふ♡グツタリしてるベルファストに代わってシリアス。エロエロマツサージ寮内
でデートしましょう♡誇らしきご主人様♡」

「そうだな。デートしようか。よろしく、シリアス」

「んんんっ♡ハイ♡誇らしきご主人様あゝ♡シリアスの自慢のお尻と…んっ♡尻尾を
優しく撫でるなんて♡まだ、夜じやないですよ♡♡ハアハア♡んんんっ♡」

「おっと…。失礼…。それじゃデート始めようか♡」

隼鷹と川内はベルとのイチヤイチャ中に去って逝きました。あつ、去る前に舌を入れ
るキスしたけどね？で、床に垂れたのを饅頭達がすっかり全部食べましたよ…。本当に
凄いです…

ベル、何かを打たれるなんて…。ゆっくりお休み。シリアスがエロ過ぎるのが逝けな
い。ヨシ。エロデートしましょう♡あゝ、サクユバスの尻尾、やっぱリスゲ♡♡よ♡

エロの権化?であるシリアスがエロマツサージ寮にヤツテ来た。早く誇らしきご主人様に会いたかったようですね?挨拶で谷間を寄せて見せてくれたのだった。観パイ♡

当然?両目の中は♡マーク3つで、サキユバスの尻尾を器用に♡マークにしてブンブン振っていた。メスフェロモンメチャメチャ撒き散らしていました♡

イヤらしき美爆乳を何度も観パイする令司なのだった。ベルと大運動をしていきや、デートそつちのけだったでしょうか?...まあ?エロエロマツサージ寮なので?直ぐ何度も逝けると思われれます?無茶?しますね?

「うんうん...。.....???'」

「ここがくくくつで、ここが、足のマツサージ部屋...。ハアハア♡.....???'どう...んっ♡されました?誇ら...し...きご主人...んっ♡様?ハアハア♡(フェロモンしゅごい♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡夜まで我慢♡ああん♡我慢するって素敵ですくく♡あくくつ♡誇らしきご主人様の汗♡舐め回したい♡でも我慢♡)」

「あつ、ごめん...。ごめん...。ここの部屋が気になつてね?」

上半身裸でデート中だぜ♡汗凄くかいてるんですもん…。はあ♡シリアスの尻尾、マジ最高♡足のマツサージ…。これは何度目か分からないが、新しい扉を開く事になりそうですね♡♡んもう♡扉壊れてるよね？全壊だよね？ボロいなあ♡♡…

恋人繋ぎをしながらエロエロマツサージ寮の説明を聞くデート？をする令司とシリアス。…ではなく、シリアスの尻尾を握ってデートをしているのです。そんなで良いのか…シリアスう…

メスフェロモンしっかり撒き散らしています。流石サキユバス♡しかしメイドの方を優先しています？！しっかりしているね？なお、心の叫び？は凄く我慢を連呼してるんですけど…

令司もしっかりオスフェロモン撒き散らしています。汗などで、サキユバスの性欲を煽ってる感じ？そして何か気になる部屋を見つけたようです？

「集チュー治療室？」

えっ？集『中』治療室じゃなくて、集『チュー』治療室？これもマツサージ？…治療つて書いてあるんですけど？あつ、もしかして癒し刑の方かな？うわ♡…。下の隙間か

らピンクの霧が漏れてますよ? エツチいですやん…

チューだからキス? しまくり? もしかして? もしかすると? キスだけで簡単に逝けちやう感じですか? えっ? そんな事あるの? う〜ん…。こつちが沢山情けなく逝かされそうですね〜?

「ええ…。そこは集チュー治療室ですね? その部屋が気になった感じですか? 誇らしきご主人様? なら、入りましょうか…。1つか2つの部屋の中を見て貰いたかったんで丁度良いですね♡夜までこの部屋を堪能して下さいませ♡後の部屋も生活が慣れて来た時に楽しんでくれれば良いですから♡」

気になった部屋は、集チュー治療室。ピンクの霧に気をとられてますが、何故か饅頭達がしっかり警備しています。しかも電気にメチャメチャ強い感じの見た目をしています。雷属性つて奴ですね? 厨二病患つてる?

集チュー治療室は結構危なめ? エロエロマッサージ寮なのに? 令司とシリアスはそんな部屋へお邪魔するのだった

☆☆☆

「お邪魔しま〜す〜。」「ハアン♡ムリムリムリ〜っ!!ダメえええ〜♡」つて…。
うお〜っ?!?!あ、あつぶなかつた〜。シリア…いやいやいや…。え〜?」

「ああ〜♡良い感じのビリビリですぬ〜♡流石です〜♡しっかり治療して下さいね?誇らしきご主人様♡出来ますから♡雑魚ですから♡うふふ♡」

お邪魔して早々、電気の塊を喰らいそうになったよっ?!メチャメチャ危ないじゃんっ?!シリアスはビリビリ避けずに喰らってるしっ?!気持ち良いって満面の笑みで言うなんて…。えっ?雑魚なの?えええ〜???

どこが良い感じなの?どこぞのポケッ以上に強めだと思っのですけどっ?!風呂の方のビリビリは弱かつたと思っうよ?エルドリツジっ?

あ〜…。ドキドキで、ムツクリしちゃったじゃないか…。こんの…ウへへ♡する所かい?キュっつと縮こまるでしょうよ!

俺、もろ受けしたらこんがり逝っちゃうからねっ?!まだいっぱい遊べるっ!をシタいのよっ?!ガンガン逝こうぜっ!は間違いですよっ?!ここは命大事に。だよっ?!ねえ?ねえ?聞いている?ねえってば〜?

息子の声↓効いてる効いてる♡エルドリツジのシチュエーション最高にエツロいじゃん?うえへ♡あつそびましよう♡

「……………えっ??ち、治療…?えっ?えっ?はっ?えっ?ちよっ?えええくく??!」

上手にこんがり焼けましたくく♡が出来ちやうエルドリツジを治療?えええくく…?
?あつ、エルドリツジの姿…エツロい♡あつ、他にもいますねく?

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んあああああああ
あああああああああああくく♡ヤアヤアヤア♡」

「あら?あらあら♡坊や?この世界に来たのね?ようこそいらつしやい♡寝付けないの
なら子守唄を歌いましょうか?うふふ♡エルドリツジつたら、本物に電気を当てようと
するなんて♡過激な求愛ねえくく?もう結婚指輪してるじゃない♡クスクス♡あつ、そ
うよ♡ビリビリ攻撃もつと頂戴♡」

「はあ…。いい加減、慣れて欲しいですね…。何度も等身大の指揮官様の抱き枕をダメ
にして…。ここは治療室ですよ?自宅化してるじゃないですか…。まあ、一種の癒し刑
で最狂ランクですけど?天城にはもつと強めに当てて欲しいですねくく。制御の特訓
になりますからね♡んくく♡まだ弱いですよくく?」

「うん…。来たよ…。等身大の抱き枕?そんな…のおくくつ?!おおうくく…」

等身大の抱き枕がいっぱいボロくなってる…。こんがりと逝ってるって感じじゃない？大丈夫そう…。…つて凄くそっくりじゃない?!アンドロイドか何かかな？うわゝ。へえゝゝ？

うっわ?!奥の壁辺りに新品が何体いるの？軽く500…かなゝゝ？えゝゝ？よく積んだなゝゝ♡これもダメにする感じだった？これどうやって作ってるの？饅頭達の不思議パワー？

おおゝゝ…。フリードリヒ・デア・グローゼじゃないか…。ええ？サキユバスの尻尾あるうゝゝ…。エツロい♡片目メカクレ美巨乳つて良いよねえ♡あつ、隠れてるのは左目だよ。尻尾で♡マーク作るつて器用だよねゝゝ♡尻尾噛んで良い？

えっ？ちよつと？天城?!最狂つて言ったよね?!大丈夫じゃないじゃん?!エルドリツジっ?!少し電圧・電流弱くしてえええ?!キス出来ないじゃない!

あつ、天城、着物似合ってるよゝゝ♡コレは花魁粹ですつて♡花魁粹沢山居てオツケー♡今度は是非違う服装でお願い!セーラー服とか!ナース服とか!色々着て下さい♡

んで…、天城は狐耳でサキユバスの尻尾があると。狐淫魔だったんだねゝゝ？

えつと？確か？美巨乳だったと思うのだけど？なんとっ！美爆乳♡最高ですう♡何

それ? エツロい♡ 流石サキュバスです♡…で、尻尾で♡ マークを作ると…。 サキュバス達の必須スキルかな? 求愛してる? 受け入れますう♡

えっ? 令司? キスするの? な状態です。しなきいけないんですよ? そう♡ この部屋に入ったらドアがロックされて出られないんです♡

垂れ幕に『キスしまくらないと出られないゾ♡ 逃がさん♡』とあった。頭、悪過ぎですよ? そして小さく、口以外でもオールオツケー♡と書いてあった。首筋にキスマークをつけるとかかな? 身体中にキスマークを付けるのも可?

令司が突っ込んだ説明をしていないエルドリッジは貧…。ゲフンゲフン…。美巨乳でございます。しつかり育てたんですね? おめでとう!…で、囚われのお姫様状態なんです。エツロインです。サキュバスの尻尾あります♡

囚われのお姫様状態の説明をすると、万歳状態で両手を壁に固定、そして両足も大字で壁に固定されてるんです。良くある? エロゲームの敗北シーンです? 良くあるつて…

それでエルドリッジはゴーグルを付けてます。ゴーグルの中の令司とキスしようとしてダメだったんですね? ビリビリを暴発させた…。ふむん…。立派な牙が見えますね…

ふお〜〜→囚われのエロいお姫様にビリビリ攻撃されない…。良かった〜！超が
沢山つく程に苦いです…。これを甘くなるまでずっとキスをする感じなのかな〜？
うん。そうだね…。これは立派な集チユー治療室ですね〜…

ヨシっ。ドンドン逝こう！苦いの欲してましたからね〜→苦い！不味いつ！もう
一杯っ♡的な奴ですよ…。あつ、立派な牙がある…。えっ？これでガブとされて血吸わ
れる感じ？後で献血してあげる♡お出で♡

無事、サキユバスで電気属性、立派な吸血する牙がある美巨乳のエルドリツジの
ファーストキスを貰う事に成功した令司。ビリビリ攻撃はされない。おめでどう！味
は苦いようです！

えっ？口撃が待つてるんじゃない？心配入らないで〜す♡

「あらあら♡坊やのキスで何度も果てるわね♡ファーストキス出来たわね♡おめでと
う♡涙目、茹でダコ状態じゃない♡クスクス♡グローゼに強めに電気当てて来ちゃつて
♡照れなくて良いじゃない♡あ〜♡気持ち良いわ♡じゆるる♡」

「うふふ♡そうよ♡もつともつと強めに天城にあつたつて頂戴♡エルドリツジつたら嬉

しくなつて尻尾を器用に使つて…。あら♡まあまあ♡指揮官様つたら♡清々しいほどのカッコ良い清楚ビッチで♡ハアハア♡ハアハア♡ジュルリ♡それ、頂いてもよろしいですか♡あつ、その前に♡」

「ハアハア♡ハアハア♡誇らしき♡主人様のエロいお姿♡もう夜まで我慢出来ません♡このシリアスが♡ご奉仕させて頂きます♡プリンツオイゲン様とプリンツハインリヒ様もしつかり奉仕させて頂きますね♡うふふ♡」

エルドリツジは令司のキスで何度も果てています。シリアスの言葉通り雑魚だったようです…。そしてサキユバスの尻尾を器用に使つて令司のズボンを脱がしていくのだった。息子、ご対面♡♡

「んぷあ…。ああ♡♡♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡」

天城?!清々しいほどのカッコ良い清楚ビッチつて何い?!頂いちやう?どうぞ?頂いちやつて?エルドリツジ♡♡?エルドリツジさんや♡♡?囚われてるけどサキユバスの尻尾で器用にズボンを下ろすのはどうなの?凄いな?

あぐつ?!う…動けねえ…。あ、あか…ん…。みんなの両目の中の♡マークが3つだ

し、もの凄く尻尾を♡マークにしてブンブン振ってる。後、メチャメチャムラムラする♡サキユバスのフェロモン全壊?それかレイシニウムとか良く分からん成分で煽っちゃた系?

「んは…。ハアハア♡ハアハア♡愛してるう♡令司様あゝゝ♡」

「あ…ああ、愛し…んむゝゝっ!?!?むんゝゝっ♡」

「じゆるるっ♡れるちゅ♡チュツチュ♡んゝゝっば♡れちゅんっ♡んつくんく♡」

んあゝゝっ♡苦いの次はカラアああいつ!!!痛いっ!痛いっ!超が沢山付く激激辛あゝゝ!なんで…なんで?息子よ?元気になっちゃうのよゝゝっ!サキユバス特有のフェロモンに当てられたゝゝ?!!

息子の声↓わっしよい♡わっしよい♡わっしよい♡グへへへ♡ムクムクするんじやい♡それぞれ♡早よお!!!早よお!!!早くシようよゝゝっ!!!

はい♡バツチリとwww

天城も無事、令司にファーストキスを捧げました♡サキユバスの尻尾を嬉しくブンブ

ン振り回しているのだった。狐耳もピコピコ振っている。可愛いです♡

「んはあ♡うふふ♡指揮官様にファーストキスを捧げましたわ♡それで…」

「あ…あみや…ぎ…。ハアハア…。んつぐ…。いひや…い…よ…。ハアハア…」

「グローゼのファーストキスを坊やに捧げるわ♡もう分かっているとと思うけど、グローゼも集チュー治療物なのよ？それでね♡夜？ダブルプリンとハッスルする前にたあーっぷり♡グローゼ達を愛して頂戴♡子守唄歌って元気にするから♡うふふ♡んちゆるる♡チュツパ♡チュツパ♡」

うっがくくっ!!!しよっぱくくいつ!!!うえ?!カラアい!!!辛くてしよっぱいのおくく?!
どうなってるのよくくっ!…うん?苦いつ!?苦い苦い苦い!!!

しよっぱ、カラア!にがあいつ!トリプル役満っ!トリプル役満っ!で、何故かムラムラするの♡

「んはあ…♡…幻滅していいわよ…。でも…坊や事、愛してるわ♡グローゼの治療は最後にお願いするわ…。もう、シリアスの下の口が我慢出来ない感じだからね♡」

「ハアハア♡それでは動けない誇らしきご主人様にご奉仕をさせていただきます♡んちゆる♡

チュツパ♡ちゆるるじゆるるる♡」

あはは♡スツゲくくあつまうい♡ヨシっ！エルドリツジ、グローゼ、天城！かかってこいやあくくっ!!!息子おおお!!!抜錨おおおっ!!!たつぷりハッスルせえよくくっ!!!

息子↓ハアアアアイっ♡ハッスルハッスルくくっ♡

「あああん♡誇らしきご主人様くく♡愛してます♡愛してます♡ハアハア♡んくく♡ちゆるるる♡んくくちゅ♡」

令司の息子はサキユバスKAN隊に甘々？抜錨をしたのだった。これより？令司による集チュー口撃を始めるっ!!!治療室内のピンクの霧濃度が上がるのだった。令司：強く逝きてね？

夜、ダブルプリン在所へ逝けるのでしょうか？

☆遠い遠い暗い場所☆

オプザーバーとピュリファイヤーの介護疲れ？な？ニーねえ…。部下が持ってきた

今日も?セイレーンは平和です?

これが、極悪癒し刑……。ゴクリ……。つ

シリアスとエロエロマツサージ寮をデートしてる最中に、気になる部屋を発見したのだった。そこは集チュー治療室。雷属性の饅頭達が警備していたのだった。シリアスが入るように提案？してきたので、部屋に入っていくのだった

お邪魔したら挨拶代わり？としてエルドリツジのビリビリを喰らいそうになった。シリアスは避けずに受けて気持ち良い発言をした。淫魔だからかな？

囚われのお姫様状態でエロいエルドリツジなのだった……。そして立派な牙があり美巨乳です♡饅頭達が必死にビリビリを掻き集めて作業をしていた。お風呂に回すのかな？

部屋の中に居たのはフリードリヒ・デア・グローゼ、天城、エルドリツジ。この3人にはサキユバスの尻尾がある。淫魔、追加されました♡良かったじゃない♡

闇マツマ、儂く危ない未亡狐、電気姫であり吸血姫……。属性がてんこ盛りな淫魔達です♡息子はウハウハしていたのだった。タフですねぇ？

部屋の中に入ったら出られない仕様だったので、覚悟？をキメて治療を始めたのだった。ここ、集チュー治療室にいるので3人のキスのお味は甘く無かった。苦い、しょつ

ばい、辛かった

グローゼのキスで全部を体験した令司なのだった。あつ、3人の味でもムラムラの効果はしっかりあります♡流石サキュバス♡シリアスとのキスはメチャメチャ甘いので、参考にしよかな？と思つた令司なのだった

治療の順番はエルドリツジ、天城、グローゼで進めるのだった

そして、遂に我慢の限界がきたシリアスと運動会を始めたのだった。運動会の前にサキュバスの力で動けなくされたのだった。犯人はグローゼと天城です。2人は自分達の尻尾を舐め回すのだった。サキュバス流のアピールでもしてらるんですかね？結婚指輪してるじゃない…

運動会をしつつ、治療もしつかり続けるのだった。夜にダブルプリンと会えるのでしょうか？強く逝きヌケたのでしょうか？

☆☆☆

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡制御…出来るようになった♡んちゅ♡うん…甘い♡それと吸血させてくれてありがとう♡愛してる♡んちゅ♡えへ♡苦いのだよ♡」

「そうね♡坊やの治療で制御出来るようになったわ♡んちゅるる♡んふふ♡辛いのを流

したわ♡愛してるわ♡んちゅ♡今度はしよっぱいのを♡うふふ♡今後キスする時が楽しみね♡」

「うふふふふ♡これで治療完了♡愛してるわ♡指揮官様あ♡んふ♡服装を変えたら態度も豹変するなんて♡素敵な開封されましたわ♡愛してるわ♡」

「誇らしき♡主人様あ♡誇らしき♡主人様の誇らしき♡主人様にご奉仕出来て、シリアス♡幸せです♡愛してます♡愛してます♡んちゅ♡ちゅルル♡」

結論…無事逝きヌきました。夜になってダブルプリンとの逢瀬の時間です♡ようやく極悪癒し刑が見れるぞ♡まあ、サキュバス達との運動会の方が、極悪癒し刑になると思いますが？

……ふうふう。メチャメチャ汗掻いたふう♡なんか神様？らしき方々がメチャメチャ騒いでたふう？天国にイカせてくれなかったよ…。後、ちよつとだったのに…。まあ、記憶がボヤけてるからそんな気がしてるだけなんだけどね？

あつ？もう、夜じゃん…。ダブルプリンの極悪癒し刑を見るぞ♡それで…息子よ…、強いなあふう…♡サキュバス4人が相手だったのに…。まあデレデレするのは分かるっ！最高だもんな♡綺麗な噴水を…。うへへ♡

エルドリツジは、うん…。簡単にキスで面白い位に何度も果てたね…。ビリビリ喰らわなかった…。良かった。けど、全部3人に当ててただけだね？後、ビリビリも制御出来るようになって良かった良かった：

吸血行為、エツロかった♡お返してエルドリツジの身体メチャメチャ噛んだぜ！喜んでくれて良かった？のかな？

グローゼと天城も最高に気持ち良かった♡子守唄じゃないでしょ？寝かせる気ないじゃん…。天城は：甘城になったな♡はあ：しゆき♡結婚しよう？…あつ、してたわ♡みんな、ありがとう♡幸せ者だぜ♡うん。みんなしつかり味を変えて来るね？治療完了して良かった♡これが治療で良いのか？と思うけども…。さて？出られるかな？おっ…。出られるぜ♡ヤツタぜ♡

無事、治療が完了しました。それぞれのキスのお味に甘さが加わりました。それ治療って言えるの？まあ？制御出来て味を変えられるようになったから良かったですね？無事に部屋から出られるようになりました。シリアスとデート、再開出来ますね？

「それじゃ、ゆつくり♡はんなどをとってね？お休み♡。愛してるよ♡」

「はい♡坊や・指揮官様♡お休みなさいませ♡愛してるわ♡」

「スーハー♡スーハー♡はむん♡れるん♡ちゆるる♡チュパチュパ♡ちゅくくつ♡」
 「誇らしきご主人様、エルドリツジ様をおんぶしたままプリンツオイゲン様とプリンツ
 ハインリヒ様の所に戻りましょうか♡極悪癒し刑の時間ですネ♡うふふ♡楽しみ♡」
 「そうだな…。エルドリツジ？このままダブルプリンの所に行くぞ？堪能させて貰
 うわ…」

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡…うん…♡堪能して…♡れるん♡くくつ♡」

エルドリツジは首の匂いを嗅いだ後、牙を引つ込めて肩を甘噛みするのだった。出し
 入れ出来るんですね？これも最中で習得したのかな？それとビリビリが漏れていませ
 ん。令司の完全勝利ですね♡尻尾をずっと♡マークです。時々、振り回しています♡
 ダブルプリンの部屋に向かう令司達を追う？前に、集チュー治療室の行為を覗いてい
 た一部を見る事にしましょう

☆☆☆

◇

「くくくくくく…、ゴクン…。あら！旦那様ったら集チュー治療室で、極悪最狂淫魔3人
 に沢山キスして完全に治療に性…成功したわね！おめでとう！これから、お祝いとして

キスデーを作ってハッスルしましょうか！ねっ！ニューカッスル！」

「ええ…。そうですね。クイーン・エリザベス様。エルドリツジ様、天城様、フリードリヒ・デア・グローゼ様は淫魔なのに甘いのを出せなくて、強烈な催淫キスフェロモンを全壊にしてキメまくってましたからね…。ファーストキスを奪われるかと思いましたがよ…」

「あら！そんなの！でも、みんな理性が働いててファーストキスを旦那様に届けたわよ！平和よ！」

「3人ともファーストキスをあげられて嬉しくなつて尻尾振りまくつて可愛いかったですね。（陛下…。ニューカッスルを椅子にするのはどうかと…。それで、しれつと無表情でやつてのけちやうんだ。で、椅子のまま優雅に紅茶飲んでるよ…。えええ…。？まあ、治療室に足を運びたくなつちやうフェロモン出してたからなあ…。警備饅頭達が居なかつたら…。：ヤダ！嫌われるっ！）」

「ぐくぐくぐくぐく…。ふう…。うん…。最狂ランクの極悪癒し刑の執行サキュバスだから…。ヒック…。ごくごく…。みんなこれは受けたくないから頑張れたんだよな…。ヒック…。せいぜい、ヒツパーが出した癒し刑が最高かな？ヒック…。ゲエツぷ…」

「フツド様、もうビリビリ酒を控えるべきかと…。ご主人様にファーストキスに開封行

事…。キュラソー楽しみです♡うふふ♡あつ、キュラソー、サキュバスですけどちゃん
と甘いですよ？お三方が特殊なんです。シリアスも特殊寄りですけどね…。れろん…」

ニューカッスル…。椅子になるなんて…。それでエリにお尻撫でられてるぞ？エリ
は美爆乳をテーブルに乗つけて寛いで？るし…。そして極悪最狂淫魔というパワー
ワード？が出ちやつたよ？えつ？令司つて凄いですね？!

キュラソー…。想像したのかサキュバスの尻尾を♡マークにして舐めた後ブンブン
振り回し。それに美爆乳をプルンプルんさせて眼福だぞ♡フツドは…触れないでおき
ます…



「加賀せんばあい♡天城さんの治療が完了したので、これでバツキューン♡バツキュー
ン♡が出来ますね♡♡うふふ♡これに瑞鶴も混ぜちやおつと♡指揮官の目の保養に
なるわ♡後、こんなエロくて美しいチョーカーをくれる最高のプロポーズ♡優しい♡う
ふふ♡愛してるわ♡」

「モグモグ…。ゴクン…。…やめてくれ…。極悪癒し刑を受けるような態度とかは
取った覚えはないぞ…。天城さんは、かなり飢えていたから…。凄い乱れっぷりで目

が離せなかった…。凄く…濡れた♡あゝ♡バツキュオン♡バツキュオン♡バツ
 キュオン♡」

「へえ〜?ようやく帰って来たら、面白い旦那様がこつちの世界に降臨されてたんだ
 ♡戦艦加賀の初めて奪ってくれ♡勝手にキスデーを作ろっかな♡」

「お帰り…戦加…。…2人ともひつつかないでくれるか?ひやうつ?!」

「バツキュオン♡バツキュオン♡バツキュオン♡バツキュオン♡」

「何っ?!遠い海域に居たからバツキュオン♡バツキュオン♡バツキュオン♡なのは見れ
 なかったぞっ!まさか…裏切ったのかっ?!まあ、冗談だけど…。それで、このエロい
 チョーカーという最高のプロポーズでみんな色々とハッスルしまくりだったよ!旦那
 様!会えたらよろしくお願いする!」

「ハアハア♡そんなバツキュオン♡バツキュオン♡バツキュオン♡なのは〜♡うぎい
 ?!し、搾るなあ〜♡♡ヤア〜♡♡」

「ふ〜っ。サツパリスツキリしたわ〜♡あら?戦加お帰り…。指揮官様あ〜♡天
 城様を治療して赤城は嬉しいです♡で、空母の加賀ったらじゃれちゃって♡混ぜて貰
 うわ♡」

「ひやつ♡んなつ♡あ〜♡♡」

「うふふ♡指揮官様専用の料理や風呂に回しましょうかあ?」

「さんせ〜い♡」

あらあら…。空母の加賀ったらモテモテだね？戦艦加賀、居るんだ…。略して戦加ね…。成る程…

戦加は褐色美爆乳で、狐耳のサキユバスの尻尾であります♡狐淫魔でしたか♡メイド服、似合ってます♡正装かな？

翔鶴は嬉しくなったのか放送禁止用語連発してるよ…。戦加も驚いて悪ノリ？を…。瑞鶴〜！止めてやれ〜！何処に居るんだ〜！

こんな感じ？で、あちこちで百合の花が咲き乱れて？いるとか？オープン基地はムラムラしてるけど平和ですっ！

◇◇

☆☆☆

拘束されているダブルプリンの部屋に到着しました。どうなっているのでしょうか？たつぷり、エルドリッジの美巨乳を堪能したのだった

◇

「はあ…。 やつと夜ね…。 オイゲン…。 もう懲りて断酒しなさいよね…。 エルドリツジが参加するとか良いもの見れるわ…」

「…なんかヒツパー、肌ツヤツヤしてるわね？後、ウキウキソワソワしてる…。 良いもの見れるわね…（ザラも何となく分かるわ…。 その気持ち…。 ホノルルの時そうだったもの♡ あつ、遠征行かなきゃ…。 海の上で見させて貰うわ♡ 危険な感じするわ…）」

ヒツパーにザラ？ テーブルに乗せて谷間を見せつけてウキウキしちゃって…。 頭、大丈夫じゃないですね？ 何処かで見てもらいましょう？



「入るぞ〜。 …って、これは…大丈夫じゃないですね〜…まあ、言霊を解除しなかったのは悪いと思ってるけど…。 もう動いて良いぞ…」

「ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡ひゅ〜♡はっ♡はっ♡（やつと動ける…。 けど…。 あ〜…。 逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい逝きたい〜っ！）」

全裸で血涙をずっと流してたんだね…。 下の口は濡れてもいないと…。 沢山ビクビ

ク震えてたのに…。紙通りで1度も逝けてないんだ？それじゃ凄く溜まつてるじゃない…？潮噴き凄いいんじゃない？知らんけど？

おっと？『ベル♡』って書いてある母乳バケツが散乱してるよ…。床に溢れてるし…。ええ？綺麗にして帰ると思っただけど？饅頭達も綺麗に掃除してない…。えええ…？どうなってるの？

「??何？指揮官？プリン達は極悪癒し刑を受けてるの？エルドリツジ…、手伝う…。むふふ♡」

「あら？エルドリツジ様が手伝う？ありがたいですね♡楽しみましょう♡うふふ♡あつ、紙を見ますか…。どれどれ？ヒツパー様の刑の終了条件は…。……………はい♡畏まりました♡たつぷりと粘液を出して…。ううん…。ここの部屋の液体に混ぜて…。♡ハイ♡ヌリヌリ逝きますね♡」

「…うん。はい…。ビリビリ…。逝くよ？あつ？……………ハインリヒはかなり弱め。で、オイゲン全壊で♡ゴー♡」

「んえ…？…んあゝゝつ♡あああああつあああゝゝつ!!!」

「ヨシ♡ヨシ♡シリアスにお任せ下さいませ♡ゝゝつ♪ゝゝつ♪」

「あはっ♡楽しい♡」

ヒツパーの刑の終了条件？どれどれ？…えっ？読めないんですけど？う〜ん？とにかくエロい内容だったんだろ？うな〜。楽しい所を邪魔しないように静かに部屋の中を観察してますか？

おおう…。ゆーちゃん紹介のマツサージ部屋で勉強したよりも上：『超上級者♡』の本ばっかり…。タイトルも危なめ？うん。ここ、危ないね？

あつ、夜食発見…。頂きます…。モグモグモグ：おいヒイ♡エルドリツジにシリアス、楽しく百合してるね〜♡眼福♡眼福♡ダブルプリン、エツロい声あげちゃつてもっと聴かせて♡

令司が終了条件を読もうとしても読めなかった。そりゃ、KANISEN達にしか分からない言語で書いてますからね？

呑気？に発見した夜食を食べるのだった。この夜食を作ったのは隼鷹です。饅頭達の不思議パワーで保温バッチリなのです！

「……………」馳走様でした。美味しかった。で、ダブルプリンの状態…はあ〜っ♡うっは♡えっ♡ちよっ♡エロイ声を沢山出してたけどね…。コレは…♡」

『終了条件を満たしました。後は、バッキューン♡バッキューン♡バッキューン♡を
して下さい♡』

「」

「出来上がった（りました）♡指揮官・誇らしきご主人様♡仕上げをどうぞ♡」
「これが、極悪癒し刑…。ゴクリ…っ」

楽しい百合ん百合んの時間が終わったようです。ダブルプリンは、それはそれは素晴
らしいエロさを醸し出しています♡ようやく濡れたようですよ？

「エルドリッジとシリアス、お疲れ様。仕上げ？あつ、はい…」

いや〜。ご飯食べながら楽しい百合を見てたよ？極悪癒し刑つて素晴らしくエツロ
いじゃないか♡うん。まあ、そりゃ罰になるよね〜？天城達とハッスルしまくったの
に元気になっちゃったよ♡遅しい！

ムラムラ、オサマンナイノ…。スゴくイタイノ…。ダイブ、コウイウコトニ、ナレタ

トオモツタノダケド…。タスケテ…

ふう…。あゝあゝ？ナニソレ？2人の下の口？ぜつてゝゝヤバイじゃん？語彙死んじやう奴じゃん♡速攻、刈られる奴じゃないのん？ねえ？ねえ？仕上げ過ぎだよ？はしやぎ過ぎたね♡

あつ、でもエルドリッジとシリアスはサキユバスだから簡単に刈り戻せますね？…なんだあゝ、蘇生方法バッチリだね♡うん、逃げられないねえ♡

あゝ…。明日の俺、ファイト…？あつ、ムラムラやばゝゝい♡わあつてるよ？ちよつと待つて…。つて、痛いからっ！早く脱がすから！こらっ！聞けつて！イテテ！

エルドリッジとシリアスが楽しく百合ん百合んをシテ、ダブルプリンを最っ高なエツロい状態に仕上げる事に成功したようです。それを見てた令司は、それはそれは素晴らしいくムラムラしていました。令司も仕上がってたんですね？頑張る貴殿は美しい♡

「ハアハア♡んっ♡ヨシっ。抜錨しますっ！ハアハア♡」

「ハイっ♡誇らしきご主人様の誇らしきご主人様で刑を終わらせて下さいませ♡」

「んっ♡エルドリッジ…、指揮官のサポートしっかりスル…。じゃ、早速サポートするね

?はい…。もみゆつて…ビリビリ♡」

「…………ほあつ?エルドリツジ…?ナ…にいいいつ?!」

あああああゝゝ…♡これは♡あはははは♡これは♡アつハハハゝゝつ
♡んゝゝつ♡漲つてくゝゝるゝゝつ→→ヒック♡ヒック♡ヒック♡キャハハハツ♡

「あら♡誇らしきご主人様だったら♡アハハハ♡ハアハア♡ハアハア♡…ヒック♡愛して
ます♡…ヒック♡」

「ゴクリ…。……………♡…ヒック♡愛してる♡」

☆☆☆

朗報つ!令司!壊れるつ!朗報つ!令司!壊れるつ!朗報つ!令司!壊れるつ!朗

…

「んあゝゝつ♡ハアハア♡ゝゝゝゝゝゝつ♡バツキューン♡バツキューン♡バツ
キューン♡」
?!?!?!

「ハアハア♡そうだぞつ!お前等が、バツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡な

んだからなっ♡愛してるぞ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡

「んちゅ♡ちゆるるるっ♡んつくんつく♡れるんちゅ♡：ハアハア♡ああんっ♡もつと♡♡」

「言われなくてもっ!!!離さないからなっ♡っ!!!」

「(ゴ)く…っ。あ…っ♡素晴らしくカツコ良い指揮官・誇らしきご主人様♡欲しいよっ♡♡ハアハア♡ヒック♡♡」

「ご主人様…♡ハアハア♡フェロモン全壊で誘って♡ベル♡サポートに徹します♡ヒック♡」

「ハアハア♡よろしく頼むっ!」

あ…っ?あ…っ?え…っ?放送禁止用語…、連発し過ぎじゃない?ムラムラし過ぎなのでは?か…な…り部屋の中、真っピンクですよ?濃度濃すぎです♡それは令司がこの世界に慣れてきたからかい?

お互いがフェロモンを出しまくって、お互いのもの凄い強い?性欲を煽り散らかしちゃった系な奴ですかね?うん…

そんな?こんな?で?酔っ払い達は、朝食の時間になるまでぶっ通しスルのだった

うゝゝん……。では、盗撮・盗聴してる一部を見るとしましょうか……。どうなってるのかな？もう大興奮でしょうか？

◇

「ハアハア♡ハアハア♡あゝゝつ♡オイゲン♡オイゲン♡んもう♡エロ過ぎいい♡ハアハア♡指揮官もエロカッコ良くて優しい♡結婚して♡あつ、してたわね……。首輪貰ってるし♡ハアハア♡」

極悪癒し刑を申請？したヒツパーが笑顔でテーブルに大量の鼻血を垂らしていた。そして沢山果てていますね♡床、びしょ濡れです♡

餓頭達はオロオロしているのだった……。相当危ない量の血を流しているんですね？輸血パツクをピョコピョコして渡そうとしているのに気付いてないね？

◇遠い暗い場所から帰投組◇

「「「「うっ♡「「「「

「うわゝゝつ!!!（えっ？ナニ？一斉に5人が鼻血出したんだけどっ?!見事な噴水。綺麗だなあゝゝ。キラキラしてる……。って、痛いっ！痛いっ！えっ？ですです、言ってる娘

に何もしてないよねっ?!弱ってるからねっ?!)」

「ハアハア♡見れる所に来てつけたら、これって…。令司兄様♡カッコ良過ぎ♡オイゲンにハインリヒ、おめでどう♡みんな、早く帰って色んなモノを鎮めましょう? アルバコア?聞こえてるわよね?良いわね?」

「「「ハイ♡」」」

「……………っ。(沈めるっ?!うん…。まあ、仕方ないね?つて…。まだスピードをあげられるのおおおおっ?!ひゅい♡食い込むっ)」

35番テスター…。強く生きてね?もの凄いスピードで帰投するビスマルク達なのだった。とりあえず、みんな?鼻血、止めよう?

◇

「凄いにや♡覚醒したにや?プリン達、極悪マツサージされてるにや♡癒しより重いにや♡おめでどうにや♡不知火っ!高級マタタビ茶を沢山飲むのにや!にやっっ!!!」

「ええ…。凄く飲みたいですね…。大うつけの覚醒♡エロカッコ良いです♡飲む前に3日間休養と貼り紙で知らせますか…。…………貼って来ました。飲みましょうか…」

「にやっ♡ヒック♡にやっ♡にやにやにやっ♡ヒックヒック♡」

「……ヒック♡ヒック♡ヒック♡ヒック♡大うつけ♡ヒック♡」

明石、不知火がヤケ茶して平和？してますね…。ハイ、次！

◇

「うっわ♡♡令司つち、最高にエロカッコ良い♡で、樫野？樫野？おっ♡い？樫野♡
？聞こえてる♡♡？ねえ♡？」

「ハアハア♡ハアハア♡ヒック♡ヒック♡んん♡♡ダメ♡まだダメ♡帰投してな
い…。あ♡♡♡♡ヒック♡ヒック♡んん♡♡そろそろ…限界…」

「熊野…。早く帰って楽にさせないと…。樫野のこれはもの凄い数の搾乳機を壊すわよ
？ん♡♡鈴谷♡ん♡♡♡♡♡ハアハア♡」

「えっ？あつ、うん…。みんな早く帰るよっ！で、樫野の母乳、手で搾り捲ろう！これ緊急任務っ！実は熊野もヤバイんだ♡♡♡♡ヒック♡」

「了解っ！…ヒック♡（リットリオに搾らせたら良いと思うなあ♡♡。ヒック…）」

遠征中だったのかな？樫野の母乳が凄い事になりそうです。樫野はドラム缶にエロく寄りかかっていたのだった。それにみんな酔ってるね？ちゃんと帰りましょうね？

あちこちで酔っ払いが発生。そして大量の鼻血、潮噴きなどなど…、オープン基地の性欲が崩壊♡しちゃったようです？ 饅頭達を忙しくさせちゃってません？

こうなってるコトを知っているんですかね？ これから令司はどうなっちゃうのでしょうか？ ガンガン逝こうぜっ！ がずっと続くのかな？

☆遠い遠い暗い場所☆

喋ってくれるニーねえが、ゴークルの耳掃除でスツキリ、キラキラした後、寝てしまいました

ニーねえの部下が交代でオブザーバーとピュリファイヤーのお世話をしていきます。休憩とかしている部下達は、大量のゴークルを自身につけて耳掃除などの色んなシチュエーションを堪能していきます

堪能後、幾らかの部下達は海域に逝き、幸せそうに即逝きされるのだった。倒されるのが幸せって、なんかねえ？

令司との接触1号？ になるのは35番アスター？ 接触したらどうなるのでしょうか？

ほおあゝゝつ♡

集チユー治療室内で夜になるまでサキュバスである、シリアス、フリードリヒ・デア・グローゼ、天城、エルドリツジ達の美しい獄楽まゝ♡でヌツキヌキしまくった令司なのだった

そんな部屋のピンクの霧の濃度がかなり濃くなるのだった。これには饅頭達も大はしやぎしていたようです。ナイフやフォークを両手にもって、涎を垂らしてグへへしていたのである。食欲お化けです？

令司は4人のちようきよ…ゲフン…が終わった時に天国が見えたようです。天『獄』じゃなくて良かった…ね？天国で神様達が騒いでいたような？とか、令司達はナニしたんでしょう？4人は更に令司へのデレデレ度を上げました。ヤツタネ♡

3人のキス、苦い、しょっぱい、辛い所に甘いを追加する事に性…成功しました。味を制御出来るようになれて、尻尾で嬉しさをアピールしまくるのでした

無事部屋から出られるようになりそれぞれ別れる。令司、エルドリツジ、シリアスはダブルプリンの部屋へ向かうのだった。遂に？極悪癒し刑が開始されます♡

ダブルプリンをエルドリツジとシリアスは楽しく刑を施す。それを見て聞きながら、

隼鷹の料理を食べるのだった。隠し味として隼鷹の色々な液体がたっぷり入っている。それと超高級発情剤も入っている。流石、ヤンなおサナナジミです♡

極悪癒し刑でダブルプリンのま〜くん♡はサキユバス顔負け？なまでにプリンプリン♡に美しくエロく仕上がりました♡まあ、本物のサキユバス達が仕上げたのでそうなるでしょうよ…。唾を飲み込むのだった

令司はムラムラマッハし過ぎた為か？隼鷹の料理の所為でもありません？色々壊れてしまった♡そして、みんな、放送禁止用語を連発するのだった。禁止用語は、まあ、具体的な感想を熱く述べてるのでしょうか？

盗撮・盗聴しているKAN—SEN達にとつて、令司が壊れるのは朗報でした♡饅頭達が心配するくらい鼻血を出しまくり、下の口もいつも以上に異常なまでにドロツドロのグツチョグツチョに♡滝の表現がびったりであります

そして、ほぼ全員が雰囲気酔いをしてしまうのだった。なんか凄いな♡見て聞いているだけなのに効いてるってのは♡罪な旦那様です事♡

遠征などをサツサと終わらせて、とにかく励みまくって沈める事にシタのだった。饅頭達もオロオロしつつも、元氣いっぱい掃除したり食事したりしていたのだった？うん…。まあ、平常運転？してる感じ？

後は、癒し刑の部屋がほぼ満室になったとかいないとか？エロい合唱団が出来上がっ

「アツ♡アツ♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んくっ♡しゆきくっ♡」

頭痛いであります。お酒でかなり酔っ払ったであります。飲み物で抑えようと思っております。吐きはしなかった。一部はなんか吐いたのを…、いや、これ以上は止そう…。その扉は開きたくないです…。でもこじ開けられそう…

こつちの世界って飲み物飲めば完治する感じだからねえくっ？本で読んだよ…。だ
いぶ慣れまし…って？うん？これ飲めない。なんで？って…?!この声って！まさかっ
!

「んんん♡ハアハア♡ローンは出ないわよ♡ユルセナイわ♡んんん♡ドスケベね♡貴
方あああ♡んくっ♡まだジンジンしてるわ♡」

ほおあくっ♡ローンのおくっ?!おっふ♡ハグう♡ありがと♡最高ですぞくっ♡
しゆきくっ♡でも常に？ムラムラしてる息子は寝てますよ…。開封、頑張ったから
ねえくっ…。ローンにみんな全裸布団ありがと♡あつたかくて気持ち良かった♡ほお
あくっ♡

朝食をとったら急に眠くなった令司。そして寝た。常に？運動会を開催や海溝で抜錨していたので、身体に支障が出てしまったのでしょね？朝食を作ったのはローンです♡隠し味として睡眠薬盛りました♡正妻？それで良いのか…

「ローン様、誇らしきご主人様をヴェスタル様の所へ持ち込ませ…運ばさせて頂きます♡スーハー♡スーハー♡」

「ええ♡シリアス、お願いするわ♡けど、尻尾振ってフェロモン攻撃するの止めて♡濃度下がったのに…♡」

「シリアス…そんなに攻撃したいのなら、ベルとニューカツスルにして頂戴…。開催中一度も相手に…。んんっ。サポートするって逝ったからですけど…。ハアハア♡」
 「ハイ♡ベル。シマスね♡うふふ♡シリアスう、最高に幸せです♡それか…♡ゴニョゴニョ♡」

「っ♡是非♡んハア♡」

「はふうくく♡…んもう♡フィーちゃんつたら♡キュラソーはまだまだ先だと思つたのに強淫ねっ♡まつ、みんなと同じで、ノコノコ来ちやつたんだけど♡んん♡まだジンジンするう♡尻尾凄くねちっこく…♡気持ち良かった♡きやふふ♡凄くス・テ・キ♡あつ、運ぶの手伝うわ」

「ハアハア♡んっ♡身体中にキスマーク沢山♡あゝゝっ♡引っ掻き傷などもつけられちやつて♡ハアハア♡素敵過ぎるわよねえええ♡これにはみんな、雰囲気酔いしちゃうわよおとおおゝゝっ♡」

「ローン、ローン、指揮官の血、美味しかった♡キスの治療有難かった♡愛してる♡うふふ♡噛み返されたから何度も天国に逝けた♡またやりたい♡けど我慢♡」

「ふふ♡見てたわよ♡エロかったわ♡それじゃ？寝てるみんな？朝食をとりましょおゝ」

「「「「んあゝゝ？はあい♡（ローン♡グへへ♡だったよゝゝっ♡ざあこ♡ざあこ♡）」」」」

ドスケベ祭りに参加したみんなの肌は、眩しく美しく綺麗になっていた。レイシニウムを満タンにシタのでしょう。後？饅頭達はお腹をパンパンになっています。満足行くまで食べまくったのですね。そして寝ています

シリアスとキュラソーがヴェスタルの所へ運ぶようです。尻尾をブンブン振って嬉しそうにしている。そして尻尾を絡め合う行為は何なのでしょう？

ローンの号令により、みんな朝食をとりに行くのだった。しつかり令司のお尻を触ってからですけど…

☆☆☆

「「「おはようございます。キュラソーさん、シリアス、ベルファストメイド長。きやは指揮官だぁ♡ス・テ・キ♡」」」

令司を運んでるメイド達、駆逐艦達の群れに出会う。そして駆逐艦達はエロく唇に手を添えるが見れません。残念。そしてキュラソーはサキュバスの特性？で？

「～～っ♡あら？みなさん、おはようございます。遠征などお疲れでした。…あら？あらあら？みなさんは、まだご主人様にファーストキスを捧げてないのですか？今のうちに済ませましょう♡ほら、遠慮せずに♡あつ、許可はご主人様からとってますよ♡合法です♡」

「「「ハイ♡キュラソーさん♡ありがとうございます♡んっ…♡」」」

「うふふ♡誇らしきご主人様、もうすぐでヴェスタルの所へ到着しますからね♡楽しんで下さいね♡あん♡お尻叩かれちゃった♡……………っ♡あはっ♡」

「「「……………んはっ♡美味しかった♡ご馳走様でした♡それじゃ指揮官♡バイバイ♡ヴェスタルをよろしくね♡」」」

「はい♡着きました。ヴェスタル様。?キュラソーとシリアスがご主人様を運びました。後、無言のベルも居ます。」

『はい…。あつ、こちらから♡メツ♡でしょ♡うふふ♡良い娘。♡はい♡どうぞ♡♡』

「失礼します。あらく。♡ヴェスタル様。たら酔っ払って♡うふふ♡愉しくなるわ♡」

「うう。…。こんな所には居たく…。なあ?!?!スンスン♡しししし指揮官?!フェロモン全壊で♡あ。…。♡エンターはダメにされりゆう。♡あ。♡ヴェスタリゆう。この手錠をはじゆせ。」

「ふ。閣下。♡ますますオス度を高めてえ。♡カッコいい♡（あちこちにキスマークに引つ掻き傷があ。最高♡漲る♡）結婚して♡あつ、してた♡うふふ♡囚われの騎士プレイは何度かヤツテると思うが♡よろしく頼む♡ハアハア♡」

「ちよつと?!ヴェスタル?!酔っ払い過ぎよ?!（グレイゴーストを連れて来たらなんでこんな嵌めに…。あ。翔鶴姉えの良いネタにされるう。?!う。…。翔鶴姉え、良い笑顔でグツジョブすんな!）」

「あ。…。し、指揮官?!その沢山のお。つ!んひゃん♡（あん♡ヤダア♡落ち着いたの。…。♡嗅いだだけで逝っちゃった。♡ドスケベ祭りに参加しなくて良かった。」

く…。といか、倍率高かったし…。翔鶴姉相手で疲れてたし…。後、姉えはセンカも相手にシテたし…。凄いいよ…」

「まあ♡指揮官様♡ヨークタウン♡嬉しくて嬉しくて逝きますう♡はあ…はあ…♡見捨てないで下さいね♡ネツ♡指揮官様♡子供は何人欲しいですか？何人でも？はい♡サッカーが出来るくらい頑張りますね♡愛してます♡うふふ♡」

「んんんっ?!んんんんっ?!んんんんっ?!んんんんっ♡んっ♡んっ♡(ヨークタウン姉え、エンター姉え、発情中…。で、なんでホーネットはこんな格好にされてるの…?外せないし…。あつ、気持ち良い♡スンスン♡指揮官の匂いで逝くう♡ハアハア♡)」

ナース服のヴェスタルが居ました。女神様降臨です♡それと部屋にはヨークタウン3姉妹とアークロイヤル、瑞鶴が囚われの騎士や姫のようになっていて拘束されています。雰囲気は事後ですね。床がびしょ濡れです♡

ホーネットと瑞鶴は巻き込まれたようです。拘束されて満更でもないようです。司令のフェロモンで理性がお亡くなりになったようです♡魅力的なんですね♡

「んんん…。…はっ?!寝てたっ…と、ここは…おっ?ヴェスタ…ルっ?!?!」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡んちゆるるっ♡んちゆば♡れるんちゆ♡

チュウ〜チュウ〜チュウ〜

「うふふ♡ヴェスタル様だったら♡それじゃ？ベル♡楽しみましょ？」

「……………はい♡んんっ♡」

朝食を食べて寝ちやつて起きたら、別の部屋に運ばれたんだね。ありがとう。で、発情してるヴェスタルにキスされてる♡ほおあ〜♡しゅわしゅわ美味しい♡しゅわしゅわは初めてですね♡

あつ、ヨークタウン3姉妹。エツロい姿で拘束されてるなあ…。それとアークロイヤルに瑞鶴もエロい姿で拘束中…。演習後に来た感じかな？お疲れ様

うんうん♡囚われで拘束されてる騎士や姫のプレイ最高だよ♡あつ、しゅわしゅわ度を増してきてるう?!ちよつと痛いよ〜

ハアハア♡あ〜♡媚薬たつぷりのお風呂に入ってる感じで身体熱いです♡あつ、ヴェスタル、ナース服似合い過ぎです♡女神様あ〜♡なんか酔ってるよお〜♡あつ…。令司君、起きたかも…。おはよ…

ヴェスタルのしゅわしゅわキスで、おつ？抜錨？抜錨ですね？と令司君が起きました。はい。抜錨しますよ。酔ってノリノリのヴェスタルは工作艦らしく口さ…ゲフン

ゲフンをスルのだった。令司は工作艦のエロい素晴らしさを体験するのです♡

「んぷは…。ヴェスタル？えっ？しゃがんで…あっ♡それは♡んぐっ…。ハアハア♡あゝっ♡あゝっ♡き、気持ち良い♡」

「スーハー♡スーハー♡スーハー♡あっ♡あっ♡」

「うふふ♡ベル〜？ほらほら？どうしたの〜？（メイド長の顔じゃないメスの顔をサツサと晒せ♡うふふ♡）」

「……………♡（ぎくっ♡指揮官・指揮官様♡早く使って気持ち良くなって♡）」

「んんん〜っ♡んんん〜っ♡んつくうう〜っ♡（あゝ〜っ♡指揮官♡気持ち良さそうにしてる♡ヴェスタル、おめでとう♡…ねえ？ホーネットを使ってよ〜♡ねえ？開封して〜♡準備出来るから〜♡んハア♡）」

「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んんん〜♡（フェロモン度が増した指揮官を見てヌルヌルになっちゃった〜♡指揮官♡瑞鶴でまた遊んで♡あんっ♡指揮官♡指揮官♡指揮官♡）」

「ふう〜♡あら？あらあら？ベルったら〜♡」

囚われ中の嫁達は良い感じに仕上がっていました。フェロモンをプンプン放ってい

ます♡ヴェスタルが工作艦らしく工作したのでしよう。…んっ？んん？（ゴシゴシ…）なんか…、ヴェスタルの背中に天使の羽根が見えたような…。……………うん♡気のせいです！

☆☆☆

「~~~~♡~~~~♡~~~~♡~~~~♪んん~~~~♡（はあ♡これこれ♡あ~~~~♡指揮官♡愛してる♡ヒック♡）」

ほおあ~~~~♡ヴェスタルの口ま…さいっこう♡何なの？ま~~~~♡じゃん♡くっ♡アツアツ♡気持ち良過ぎい♡そりや、デレツデレになるよねえええ♡

動きたくてもベルに抱き着かれて動けません♡ドスケベ祭りはサポートばかりだったから溜まつちやつた？それはごめんね~~~~♡ひゃい♡ゾクゾクする舐め方~~~~、最高ですよ♡

後で、すっかり深く突き愛うからさ♡思いつきり満足スルまで嗅ぎ倒しと舐め回して良いぞ♡さあ♡来いっ♡って。あるえ~~~~？来ない？シリアスとキュラソーに仕上げられちゃた？癒し刑でもシテた？

あつ♡ヴェスタルっ！ちよっ?!後少しでつて所で…。んんっ？あつ♡ほおあ～～っ♡
 ほおあ～～っ♡あつちゆい～～っ♡そんなにや～～♡はんしよくでしよ～～♡しゆき
 ～～♡

女神でナースのヴェスタルの口ま…で搾せ…をデレッデレして受け続ける令司君。
 良い感じに登り詰めて逝つた所で止められたと思つたらま～～♡で工作を開始した。
 ナースだから介始と逝つた方がいいです？

はい。メイド達は癒し刑をしています。意識が飛んだ？ペルを介護してる？ので突
 き愛いには参加出来ないでしょう…。けど、令司がガンガン逝けば良いと思うよ♡

「んんんっ♡ヒック♡指揮官に注射されちやつた♡ヴェスタルのヌルヌルのお薬沢山塗
 りますね♡それでおかえりなさいとして、沢山お注射して沢山塗り薬を出して下さいね
 ♡ヒック♡愛してる♡ヒック♡愛してる♡んちゆ♡れるんちゆ♡チュっちゆ～～♡」

うんうん♡塗る塗る♡沢山塗りたぐっちやう♡令司君頑張るつて♡ヴェスタルは女
 神様なんだから要求飲んじやう♡囚われてる嫁達とのプレイもシタい♡口ま♡で元氣

にしてくれるよね♡

「んつくくく♡ハアハア♡気持ち良かった♡素敵♡愛してる♡」

「ハアハア♡すっげえのな…。ありがとう♡愛してるよ、ヴェスタル。んちゅ♡ふくく…。あつ♡ヴェスタルくく♡」

女神ヴェスタルにたつぷりお薬を塗りたぐりました。キスをした後、口ま♡で元気にしてくれたのだった。うん…。ヴェスタルの背中に天使の羽根が見えますねくく？

「さてさて…。元気になったし囚われプレイを開始しよう♡それっ！ホーネットっ！逝くぞくくく♡あくくく♡沈んでくくく♡あくくく♡さいっこうだよ♡なんて出来の良いのを持つてるんだ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡」

「んっ♡んっ♡んっくくく♡んっくくく♡（来たくく♡あくくく♡逝っちゃったよくくく♡あくくく♡気持ち良い♡気持ち良い♡好き♡好き♡大好き♡愛してる♡愛してる♡いっぱい産み産みするう♡）」

「ハアハア♡…ギャグなボール邪魔だな…取り外して…ヨシっ。うつわ…。ドロドロでホカホカじゃん♡気持ち良いやつだ…。キスするぞ♡んちゅ♡」

「ハアハア…♡ありがとう、キュラソー・シリアス。ベル♡最高にエロいよ♡愛すからな♡」

ハアハア…。ほおあゝゝつ♡エツ♡最高です♡癒し刑最高なんですけど♡漲つて来たゝゝつ♡抜锚しますゝゝつ♡うおゝゝつ!!!

「きゃゝゝつ♡ご主人様・誇らしきご主人様♡愛してますゝゝ♡ハアハア♡」
 「指揮官♡突かれたらヴェスタルのお口ま♡で癒されて下さいね♡ネツ♡あゝゝつ
 まっへまふ♡」

そうしゆるゝゝつ♡ほおあゝゝつ♡止まんねえゝゝつ♡で、ヴェスタルのお口を…♡
 かひゆ♡あつ♡天使の羽根え、綺麗えゝゝ♡

令司君、元気になってそれぞれの囚われの口作海溝に突つ込むのだった。みんな嬉し涙を流しているのだった…。この海溝の口略は昼食までかかったのだった

☆遠い遠征帰り一向☆

「「「ハアハア♡ハアハア♡ハアハア♡んっ♡愛してるう♡」」」

「ハアハア♡早く愛宕をしばいている所を見せたい♡で、どんな反応するかな♡ハアハア♡」

「ハアハア♡早く基地に着きたいのだあ〜っ！指揮官と遊びたいのだあ〜っ！雪風と時雨♡2人とももう済んでおめでとうなのだあ〜っ♡ハアハア♡あゝっ?!邪魔するなのだあ〜っ！ガルル〜っ…」

「……………。(うっぷ…。綺麗な鼻血の噴水し続けているのにスピードが落ちない…。ドンドン速くなるのどうして？笑顔だし…。んで？アタシ、縄でなんか？何処かにフワフワしちやったのよ…。何で？ナニが起きてるの？下の口からドロっとしたの出ちやったし…。終わっちゃった？まあ…悩んでも仕方ないか…)」

「ビス姉え…。後、どの位で基地に着く？ハアハア♡身体が熱いわ♡待っててね♡令司兄様♡深く突き愛ってね♡出来ればピッピのお願いを聞いて受け止めて欲しい♡んにゅい♡」

「ハアハア♡そうね♡この調子で逝けば夜には着くわよ♡ハアハア♡後は、アルバコアが探してくれてる燃料次第で、夕食の時間に逝けるかもね♡ピッピ…、令司兄様が受け止めてくれるとは思わないわ…。バーチャル世界の令司兄様100人に相手して貰うわよ♡ハアハア♡じゅる♡」

「それもそうね♡うつ♡想像しただけで幸せだわ♡ますます鼻血が♡ふう…。アルバコア?燃料見つかった?」

「あつた〜。あつた〜♡やつたよ〜♡豊富豊富♡補給終わったから全部そつちに撃つてあげるう〜♡それイケ〜♡帰ったら大鳳にサプライズをするんだあ♡指揮官の逆サプライズがあつたら盛りあがるう〜♡キャハハ♡あつ、邪魔邪魔〜♡にやふふ〜♡」

「…アルバコア、ありがとう♡はあ〜♡染みるわ〜♡」

「後、ひと踏ん張りね…。本物の令司兄様に早くこの35番テストを届けるわよ♡長いからザコちゃんが良いか…。ハアハア♡待つててね〜♡バーチャルの令司兄様♡しつかり相手しますから〜♡」

「…ハアハア♡ハアハア♡うつ♡」

「……………。(なんかヤダあ〜?!なんの会話してるの〜?令司兄様に何されるの?!あ〜つ?!またスピードが速〜いつ!痛い痛い…。ひゃうん♡)」

あ〜…。ビスマルクとテイルピッツ?受け止めないって断言するつて…。どんな欲望を秘めてるんです?バーチャルの100令司…。強く…逝きましよう…

ビスマルク達が逝けどりした35番テストとの出会いが近づいている!笑顔で綺

麗な鼻血の噴水を噴き続けたままオープン基地に進んでいるのだった。血、かなり抜けてますけど大丈夫なんですわね…。びっくりです…。基地に着いたら補給しつかりしましようね？

☆遠い遠い暗い場所☆

「あ～～♡う～～♡そんなにや～～♡あつ♡あつ♡あ～～♡つ♡ハアハア♡んきや～～♡ハツ♡ハツ♡ハツ♡令司きゅ～～♡もつと～～♡意地悪して～～♡愛して～～♡アアア～～♡つ♡噴いちやう～～♡」

「んみゅ…。はふう～～…。朝でしたか…。いや…。そろそろ昼？耳綺麗なつたよ～～♡お世話ありがとね～～♡」

「はあ～～♡男性の膝枕を疑似体験出来た♡幸せ♡何度も果てちゃった♡スケ乳首眼福だった♡お金取らないなんて神様ですよ♡触つても怒らなかつたし♡大しゆき♡う～～♡ん…。これがオブつちとピュリつちゾツコンの令司様なら良いなあ～～♡うふふ♡」

「…んっ？あつ？部下ちゃん達もゴーグルつけた感じ？で、何人かあの世へ旅だったんだ？オツケーオツケー。幸せそうに逝つたのは想像つくよ♡ヨシヨシ♡報告ありがと♡」

「んっ？3人にナンバーがついたじゃん♡おめでどう♡立派になったね♡エライエライ♡あはは。くすぐったあい♡…で？その手に持つてる瓶はオブつちとピュリつちの噴き続けているのを止めるやつなのかな？どれどれ？読めない♡！けど、持つて来てくれてありがと…」

3人とも耳周りがキラキラしています。ゴーグル内の令司のテクニックで何度も果てたようですね♡ニーねえ…、バツチリ、令司に惚れ堕ちました。バーチャル令司！ナイス♡これで平和になる感じ？ヤツタじゃん♡

ニーねえの新人？ナンバーが持つて来た瓶の正体を載つけます←

商品名↓スカイハア伊♡

容量350ml

見た目↓甘いよ♡♡

使用方法↓よく振って飲むだけ♡それだけ♡

これで沢山、潮を噴こう♡味い？辛いよ♡幸せだよね♡沢山ピュッピュしてピッチピチになろう♡あつ？ピッチピチって死語なの？へえ？

はい！2人に追加攻撃入りま〜す！ファイトっ！

「ん〜？ドロドロしてるね…。んっ？振れば良さそう？うん…。そうだね…。振ろっか…。わあ〜♡サラサラしていく〜♡飲みやすいね〜♡はい♡2人にプレゼント♡えいつ♡」

「もががっ?!ん〜っ?!令司きゅん♡これ、辛いよ〜♡んはっ?!イヤアアアアアアアああ〜っ♡」

「わあ〜♡逆効果だった〜♡辛いつて…。見た目からだとは無いんだけど…。あっ？沢山ある？1つ頂戴？振つて…。飲む…。ごくごく…。うっは?!か、辛い〜?!んっ？えっ？まつ？ハアああんっ♡止まつてえええ♡」

ニーねえ…。遂に嘔きに参加しました。数を管理していたようですが、次から次へと部下ちゃん達を産んで？いるようです。これには先輩部下ちゃん達はオロオロ。しかし、ナンバーズが指示して収まりました。生産も無くなりました

ナンバーズはお世話の方法などを教えてこの潮嘔きし続けているお世話を始めるのだった

令司達！オープン基地に存在する危ない液体を大量投下したら平和が訪れるゾっ！
速く、3人のいる場所へ早く辿りつきましょう？

今日も、セイレーンは逝き逝きして潮を噴き続けるのだった♡

ふう～ん……。…………えっ?今、なんて……?

ドスケベ祭りを朝食の時間まで開催した令司達。全裸布団で少し睡眠をとっただけでした。二日酔いな令司のゲ…を欲しそうにしていた一部がいてビックリするのだった。近い内にその扉、こじ開けられるよ?

令司は正妻ローンの睡眠薬入り料理を食べる。飲み物は、ブレンド茶。(令司専用は…)これには二日酔いなどを取り除く成分に、空母の加賀(クウカとする)、樫野、セントルイスなどなど、様々な母乳が入っています

シリアスとキュラソーがヴェスタルの所へ持ち運ぶのだった。運び方は、椅子に座ったまま椅子ごとでした。KAN—SENパワーで楽々運ぶのでした♡

メイド長のベルファストはドスケベ祭り中に、一度も相手にされなかったようですつと発情していた。シリアスに言いたくない!という顔で癒し刑を申し込んだのだった。そしてシリアスの提案を呑むのだった。堕ちてたんです?

『ヴェスタルの治療室♡』と書かれた部屋へ着いた令司達。シリアスとキュラソーがビックリして笑っちゃうくらい、ヴェスタルは酔っ払っていました。目を覚ました所でヴェスタルのしゅわしゅわな美味しいキスをネットリと味わうのだった

しかも、しゅわしゅわ度や量を調節出来るのです。流石工作艦。いや？口〇艦の方がピッタリでしょう。ヴェスタルの背中に天使の羽根が生えていました。オーブン基地は何でもありませんねえ：

キスをしまくっている時、演習後の治療？か何かで来ていた、ヨークタウン3姉妹に瑞鶴、アークロイヤルが、エツロい姿で囚われているのを見たのだった。オスフェロモンの濃度が高くなっていたようです。半狂乱状態になる嫁達だった

拘束プレイに被りがないのでプレイ幅が広がります♡良かったね？新しい扉開いたんじゃない？部屋は薄暗いので、凄く拘束プレイが映えるのだった♡

シリアスとキュラソーのダブルサキュバスの癒し刑を受けているベルファストの美声姫声をBGMにして、ヴェスタルとアツアツな工作を開始。いや…、交錯を介始。うん？口〇を開始のほうがしっくりくる？とにかく耕作しまくったのだった

次にホーネットと繋がり、その先の順番は、ベル、アークロイヤル、瑞鶴、エンタープライズ、ヨークタウンであった

ダブルサキュバスはサポート役に徹するのだった。理性が働いているようです。サキュバスなのにガンガン逝かないようですね？ドスケベ祭り中に満タンにシたんでしよう：

ヴェスタルは大きい♡マークを両目の中に作り、大きく口を開け、羽根をパタパタさ

せて待機するのだった。口オ○ホ状態であります♡しっぴかり丁寧に使うのだった。嬉しくて何度も果てて漏らしちゃうのだった

昼食の時間になるまでダブルサキュバス以外を使い倒す♡壊れたのに懲りないようです♡飲み物や睡眠薬入り料理でリセットでもされたのかな?

キヤツキヤ♡ウフフ♡ラブラブしている裏側で、ビスマルク達は、綺麗な鼻血の噴水を出しながらスピードを上げ続けて35番テストター(ザコちゃん)を連れて帰って来てるのだった

到着時間が夜になる所を、アルバコアが見つけた燃料で補給した事により夕方に早まったのだった。令司とザコちゃんの交流がいよいよ始まろうとしている

ザコちゃんは真っピンクな霧に包まれてる?オープン基地を見てどうなるのでしょうね?

ビスマルク達に張り付いている饅頭達は、キラキラしてて楽しそうにザコちゃんを隅から隅まで観察・撮影していたのだった。特にマン♡を念入りに撮影していた。そんな事に気付かないザコちゃんなのだった

☆☆☆

「ハアハア…。ふうふう…。うん?昼食の時間になった…。食べに行くか…。…で

……で?何なん?みんな?繋がりまくったら、超が幾つあっても足りない位、美女になつていったんですけど?眩しいっ!美女度と魅力度が高まりすぎですよ?悶え死させる気ですかっ?!それに媚声を上げ続けちゃつて♡ありがと♡癒し刑を受けるベル…。ゴクリっ…

…っはっ?!止め止め。サツサと昼食を食べよつと…。誰が料理してるかな?それか作つて一緒に食べるか?行つて見てから考えますか…。はあ…。お腹空いたくく

令司の色々なのが崩壊した事により、フェロモンである?レイシニウムがパワーアツプ?それと肉体改造に成功したようです?

変態嫁達のそれぞれが持つている重欲が満たされて美女度と魅力度を高めたようです♡ダブルサクユバスのサポートがあつたのも関係してるでしょう♡

それかヴェスタルが令司の令司君を耕作しまくつたからですかね?とにかくお互いのデレデレゾツコン?度が増した事は間違いないです♡

「そっか…。キュラソーとシリアス、サポートありがと♡愛してる♡……………ごく…つ。みんなエロ過ぎるよ…。美しくなつちやつて♡最高♡じゃ、食へに行つて来るよ…。みんなもしつかり食べてね…?」

いる一部の発情している?た?KANISEN達を見ましよう

☆☆☆

◇

「「「あつ♡あゝゝつ♡んゝゝつ♡んつ♡ふうゝゝつ…」」」

「はあはあ…。はあはあ…。間に…ふう…、合った…。ああん…。んゝゝつ♡スッキリしたゝゝ熊野…、これ以上は出ないよ…。鈴谷だつてそうでしょ…?」

「んつ♡んつ♡んつ♡鈴谷ゝゝ♡はあゝゝ♡ふう…。ええ…、そうね…。スッキリしたわ。で、みんなのバケツ合計30杯…。ヨシつ。饅頭達に頼んでプリンでも作つて貰いますか♡饅頭達もキラキラしてる…。饅頭達、ええ、お願いします♡」

「みんなも海にバラ撒かないで良かったゝゝ♡熊野、ホツとしたよ。あつ、饅頭達ありがとう♡プリン楽しみにしてる…。…それで?えつと…?リットリオ…?だよね…?」

遠征を中止した熊野達。母乳が出る組は最後の一滴までしつかり搾り切ったようです。海に撒き散らすのは許されなようです?独自の謎ルールを守ってるんですね?

饅頭達はプリン作りに気合いを入れるようです。量と質が良いようで大はしやぎです。良かったね。そしてみんなが出し切った中、まだ格闘中?が居ました。樫野です

「ハアン♡んっ♡んっ♡」

「ハアハア♡あゝゝ♡あゝゝ♡ありがとうございます♡ありがとうございます♡ありがとうございます♡（ありがとうございませす♡ありがとうございませす♡ありがとうございませす♡）（ありがとうございませす♡ありがとうございませす♡ありがとうございませす♡）（ありがとうございませす♡）

「???熊野?どうしたの?そうよ?リットリオが榎野のを搾ってるだけよ?癒し刑執行中よね♡まあ、中々搾れてないようだけど?」

「あつ、やつぱりリットリオで合ってるんだ?リットリオが服を着てるなんてねゝゝ?榎野のバケツは…、一杯目を満たしてないね…。パワーアップした榎野専用バケツだからそうでしょうね?でも、熊野達のバケツ換算だと5杯目が満タンにな所なんだけど…。搾れてない、少なく感じちやうのは末期かもなゝゝ…」

リットリオが服を着る事は珍しい?ようです。全裸が本体のようですね。榎野が三大印の1人だからかな?心の声と一致するとわ…

檜野とリットリオが乳繰り愛を始めたのだった。これから最後の一滴まで搾り愛をするんですね♡令司、見れなくて残念ですね♡録画してるのかな？してたなら是非見ましよう？でも見れる時間あるかな？

◇

「ハアハア♡瑞鶴う〜♡拘束プレイなんて♡進んでるわね〜♡ハアハア♡指揮官とみんな、魅力度をあげちやつて♡素敵だわ〜♡ねえ？加賀センパイ♡…つて、あら？」

「

「んっ？それはセンカか？それともクウカか？クウカなら真っ白になってるぞ？（尻尾でペシペシ叩かれるの、丁度良いんだよなあ…。真っ白になってるのに器用だなく〜）よし、そろそろか…」

「クウカの方ですよ。センカ…。赤城先輩は何処に行っちゃってるし…。それで？最後なん…きゃん?!ん。っ♡はあ♡うふふ♡万歳で拘束されちやつたっ♡癒し刑？ええ〜♡」

「久しぶりに翔鶴のを揉みしだきたかったんだ♡やっぱり溜まつてるじゃないか♡癒し

刑を開始しますね〜♡抵抗しても戦艦の力には敵わないだろ♡あつ、言い忘れていた。指揮官に揉み、吸いをさせて、ドロッドロのグッチョグチョヌプヌプにされたんだって?おめでどう♡探し出して見たんだ。興奮したわ♡

「ありがと♡センカ♡ハアハア♡んっ♡そうね〜♡久しぶりねえ〜♡しっかり搾って頂戴♡ハアハア♡んぎい〜♡あつ♡飛ばし…すぎっ♡」

「(揉み心地最高♡これだよ♡これこれ♡翔鶴が1番だ♡)ハアハア♡しっかり搾ってやるからな♡期待しててくれ♡あ〜♡翔鶴♡翔鶴♡」

「はうっ♡ハアハア♡ええ。お願いね♡ハアハア♡〜♡しっかり♡見えなくするなんて〜♡♡♡♡♡」

「うんうん♡久しぶりの翔鶴の攻撃♡気持ち良い♡それに威力増してて最高♡そうね♡翔鶴の癒し刑受けるわ♡ああん♡もつと威力上げちゃって最高よ〜♡♡」

翔鶴は瑞鶴の拘束プレイを滝を流しながら羨ましく見ていた。そしてセンカが翔鶴の癒し刑を始めるのだった。で、アイマスクをした翔鶴が癒し刑を執行するようです。エロく元氣ですね♡

饅頭達…、センカと翔鶴の真似をするんだ…。ただ、2人は縄で縛られてないよ?



「~~~~~♪~~~~~♪おつぐえええええつつつ?!?!…イツタタ…えっ?誰?」

えっ?!何っ?!そろそろ第2食堂に到着するって時に背後からタツクルされたんですけど?!足音聞こえなかったよ?!凄いついで、倒れちゃったよ…。令司君は守れて良かったぜ…。ふう〜

鼻歌を歌いながら第2食堂へ向かっていて、到着寸前の所で、足音無しの暗殺?タツクルをかまされたのだった。令司君は、腕立て伏せの姿勢で守ったのだった。ナイス判断!そして、これらの行為を駆逐艦達にバツチり見られるのだった

「「「あつ、指揮官だ♡会えた♡ヤッタ〜♡んふ〜♡」」」

はい♡タツクルで倒れちゃった指揮官です♡あつ、床が凄い勢いで濡れていく…。で、クンカーに嗅がれてま〜す♡もしかしてフェロモン出しちゃってる?え〜っ?そんな筈ないんだけどな〜?

クンカーからしたら『えっ?フェロモンを出してない?はっ?何、言ってるの?フェロモンダ漏れなんですけど?しゆき♡』とかそういった事を言うのかね?うん。クンカーが言うんなら間違いないでしょうね?

「クンクン♡スンスン♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡スーハー♡れろん♡ああ♡指揮官によく会えました♡素敵♡エロカツコ良い♡クソ淫乱清楚ビッチ♡エロい首輪をくれてありがとう♡ございます♡愛してる♡嬉しくて鳥海、何度も果てちゃったんです♡ハアハア♡(もう、良いですよ?充分ワンワン♡シタから♡解放されたいです♡)」

「鳥海、会えて良かった。うん。愛してるよ。お待たせ。エロい首輪、気に入ってくれて良かった。似合ってるよ。それで第2食堂で昼食を一緒にいっくつ?!ちよ、鳥海?鳥海さくくん?んむう♡」

あらやだ♡鳥海お嬢様はクンカーですわ♡それで発情しちゃってるわ♡うん、これはオスフェロモンダ漏れですね♡分かるんですねえ?小さめな犬耳をピコピコして可愛い♡気持ち良くなって♡の気持ち、ちゃんと伝わってるよ。愛してる♡

クソ淫乱清楚ビッチ?新しい称号?を手に入れたっ!称号チャレンジでもしてみる

か？するなら、もつとこの貞操逆転世界の生活に慣れてからかな？

「んっ♡んっ♡ちゆるるっ♡んれ〜っ♡ちゆぞぞっ♡ん。ん。ん。〜っ♡」

んもう♡困った令司君だよ〜♡アツツイラブ♡な甘い唾液口姦で、漲っちゃうんだもの♡口例になったかも…。うん、もう解放しちゃいましょう♡ホラっ。お出で〜。どうぞ召し上がれ〜

「……っ♡ハイ♡捧げますね♡〜っ♡んあっ♡ハッ♡ハッ♡ハッ♡ちゆば…♡ちゆれ…♡ハアハア♡指揮官、愛してます♡んむ♡」

「…「鳥海さん、おめでどう♡指揮官、キスしますね♡」」

令司は第2食堂で昼食を食べる前に、暗殺？タックルをかました鳥海お嬢様に食べられるのだった。綾波と長良、五十鈴パターンですね？他にも居たかもしれないですが…
 駆逐艦達が暖かい拍手をしていた。そして令司にファーストキスを捧げて、垂れ流したまま食堂へ入って行くのだった。饅頭達が掃除兼食事をするのだった。お疲れ様であります

「ハアハア♡鳥海が、嬉しそうにしてくれて嬉しいよ。あつ、そうだ、鳥海…ちよつと良
いかい?」

「んっ♡んっ♡…ハアハア…♡…??はい、指揮官?何でしょうか?んつく…。アンっ♡」
「ありがと。それじゃ、抱き寄せて…。ほいと…。おうっ♡うん…。変な声出
ちやつたわ…」

「…っ?!はうっ♡かぶっ…♡…っ♡」

おっ?やれば出来るんですね♡鍛えたからかな?良かった♡。気持ち良い♡
とにかくこれでオツケー♡うん。動けます。甘噛み、気に入った感じですね…。どんど
ん噛んじやつて何度も果てちゃえ♡イケイケ♡

「ヨシヨシ♡大丈夫じゃないだろうけど、しっかり抱きついてろよ♡あつ、噛んでて
良いからな?はい。それじゃ、このまま、第2食堂へ行こうか…。おっふ…。下の口で
返事とは…ヤリますね♡」

こうして第2食堂へ入って行くのだった

アークロイヤルの気持ち、分かったかもな〜？パパ、頑張るよ〜♡よろしくお願いするわ♡三笠〜♡必死に吸いついて来ちゃって♡かつわいい〜♡それぞれ〜♡あ〜♡最高♡

「ハアハア♡んっ♡指揮官♡愛してる♡いっぱい気持ち良く〜♡なつてね♡パーティー、楽しんでね♡アツ♡んは〜♡」

「ぶはっ…。はあはあ♡もちろん♡気持ち良いよ…。ハアハア…。三笠、愛してる♡くっ…。はあ…。はあ…。それじゃみんな？パーティーを始めようか♡」

「三笠はあい♡パパあ♡愛してる〜♡よろしくお願いしま〜♡きやは♡んちゅ♡(ヤツタ〜♡ネットリラブラブ、擬似通貨ラブラブなどをいっぱい楽しめるんだあ♡気持ち良くなつてね♡愛してる♡)」「」

三笠をお皿にしてデザートを食べた後、三笠をデザートとして食べるのだった。完食後、夕方になるまで駆逐艦、軽巡、重巡などとパーティーを開くのだった

この光景は何度目でしょう？だいぶパターン化されたようですよ？お皿同好会に、パパ船達が第2食堂に集まっていたようです。新しい扉を開けたのだった

そうして食堂内はピンクの霧に包まれるのだった。何かいつも真っピンクの霧に包

まれてるよくな? 饅頭達は大忙しです。けど、楽しんでるのだった

☆ビスマルク達、到着寸前☆

「そろそろ到着するわよ♡ハアハア♡見えてきたわ♡やつと帰って来たわ♡ハアハア♡
令司兄様♡ビスマルクを沢山褒めて、抱きしめて愛して♡それで欲求を開放させて♡無
理と言うのならバーチャルの100の令司兄様にね♡…うつ♡想像しただけで鼻血が
♡」

(ハアハア♡お願い。まだ元氣にならないで♡)

「ビス姉え…。報告するの忘れないでね? それか見回りしてる誰かが報告してくれるか
も…」

「そうね…。報告するわ…。報告弾を…。…これでヨシっ。んんんっ♡」

「ハアハア♡相変わらず真っピンクの霧に包まれてるわねくく♡外も中も真っピンクと
か最高よ♡ハアハア♡令司兄様を探して土下座しないと♡」

(ハアハア♡ヤダヤダあ♡元氣にならないで♡まだダメ♡…ビス姉えのも元氣になり
そうな感じ?)

「鳥海、おめでとう♡嬉シヨをしちやうなんて…。可愛いわね♡摩耶もドスケベ祭りて初体験したし…。後は高雄が初体験するだけね…。確か…。そう…。指揮官♡是非縛り倒して欲しい♡けど、先に愛宕をしばかないと♡」

「愛宕しばき、参加するよ。ふくくん？ニームにラフィー…。まだあげてない…。です？引きつってでも指揮官に合わせてやる。サポートはするです。ヨシッ。アークを釣るか…」

「ハアハア、やっと到着するのだくく♡指揮官待つてろなのだくく♡嗅ぎ倒してやるのだくく♡それで交尾するのだ♡わっふくく♡あ、そうだった…。ザコちゃん、起きるのだくく！そろそろ到着するのだくく！」

「Zzzzzz…。んん…。…はっ?!…。…えっ?!あ…。あははくく…。(寝ちやつてた…。みんな鼻血が止まって良かった…。何故かみんな眩しい…。…で、これがオープン基地…。凄い、ヴァツカみたいに広いっ！それで真っピンクの霧で全体を覆われてるんですけど?!これ大丈夫じゃないでしょ?!)」

大丈夫です。吸ったら気持ち良くなつてハアイ♡になるかも?…。…あれ?これ、洗脳されてる?!

「やつと帰って来たくっ♡これで大鳳にサプライズ出来るよっ♡後、指揮官のサプライズ成功出来ると良いなあ♡」

「ビスマルク達の遠征がようやく終わります。お疲れ様です。みんな鼻血が止まって良かったです。しっかりと補給して下さいね?」

「~~~~~♪……異常な……し……?あら……?あれは報告弾……?逝けどり成功……。……超遠征からビスマルク達が帰って来たのね……。お疲れ様。縄で縛られてるのは……テスト……?で良いのかしら?……あら?番号が書いてあるわね?N035……。指揮官に報告ね♡これは楽しくなるわ♡褒美として吾妻を使い込んでくれないかしら?耐久性には自信あるわ♡それと、母乳搾りもお願いします♡お風呂上がりに吾妻の乳飲んでくれたし♡うふふ♡1番♡」

「テイルピッツの言う通りで、見回りをしていた吾妻が報告をするようです。ザコちゃん、いよいよ令司と出会いますね?どうなるのでしょうか?」

☆☆☆

舞っていました。令司は、何かを察知して覚悟をキメたようです。むしろ楽しむようです。インキュバスです?インキュバスでしょ?

「ハアハア♡指揮官♡あたし、スッキリ出来たわ♡ありがと♡後、薔薇の紋様を刻めて嬉しい♡惚れ直したわ♡愛してるわ♡んちゅ♡」

「三笠、似合ってるよ♡ますます惚れたわ♡結婚…してたな。一緒にお風呂に入って延長戦しようか♡」

「んんん♡ハアハア♡そうしたいけど♡やめておくわ…。そろそろ帰って来るし…。そっちの方が楽しめるわ♡んんん♡れるちゅ♡…あら?」

「んっ…。分かった…。…えっ?それはいつ「指揮官♡超遠征に行っていたビスマルク達が『35番テスター』の逝けどりに成功したわ。帰って来てるわ♡素晴らしい縄縛りされてるわ♡ハアハア♡」吾妻…?ふうくん…。…………えっ?今、何て…?」

「ハアハア♡…??えっ?ビスマルク達が『35番テスター』の逝けどりに成功したのよ。それで、そろそろ到着するわ。メンバーは旗艦、ビスマルク、副旗艦、テイルピツツ、随伴艦が綾波、夕立、高雄、アルバコアよ」

「35番テスターの逝けどりに成功。報告ありがと…うむんっ!!んんん♡」

「うふふ♡吾妻、報告ありがと♡ごゆっくり♡」

吾妻、凄く興奮してるね〜♡エツロいってば♡ヨシっ。ヤツちやおうか♡ビスマルク達、お疲れ様

「んっ?!んはっ…。はあはあ♡不束物ですがよろしくお願いします♡耐久性に自信あります♡うふふ♡」

「ごちら〜ごよろしくお願いします。逝くぞ?………ぐあっ?!」

「あ〜っ♡素敵なバツキューン♡バツキューン♡バツキューン♡ああん♡愛してます♡母乳搾りお願いします♡あっ、どうぞ召し上がれ♡」

「くあ…。はあはあ…。嬉しい事言ってくれるねえ〜?ありがと♡では、遠慮無く頂きます♡」

報告を受け取った令司。吾妻のキスにより令司君、起立。おっ始めるのだった

☆遠い遠い暗い場所☆

遂に?ニーねえが潮噴きを開始。ナンバーズの指示でローテーションを組んでテキパキとお世話をする事になった

部下ちゃん達は、3人がビクンとするとつられてビクンとなるのだった。ゴoogleを3人に付けてお祈りをするのもいた

セイレーンは百合の花が?咲いている?ようです?一応、平和です

35番テスターの事は知らないのだった。知ったらどうなるでしょうか?

キタコレっ♡

第2食堂で昼食をとる事にした令司。そろそろ到着する所で、足音無しの暗殺タツクを鳥海お嬢様にかまされて倒れてしまった。令司君は守った。良かったね？癒し刑の対象行為だと思えますが、対象外のようなのです。どんな基準なんです？

そのまま鳥海を誘い、食べられました♡そして鳥海を食べたまま食堂へ入り、ギャルの三笠の葉無しの料理を食べる。葉以外にも、三笠の体液などやKAN—SEN達の母乳入りといったのも無い純粹な料理っ！良かったですね！

完食後、お皿同好会の一員の三笠をデザートとして食べた。ニューカッスルから貰ったリストは本物だと思ったのだった。盗撮してるニューカッスルは、無表情のままダブルピースをするのだった

駆逐艦達がパパ船なので、パパ活を始めました♡もちろん、食堂内に軽巡、重巡以上もいる。その娘らとも活動したのだった。活動は夕方まで続いたのだった

そのパパ活動で、お尻のあゝを掘ゝ♡ゲフンゝ。ええゝゝ、男性が少ない貞操逆転世帯ならではの？と思った令司。なので、アレを持つてる（付いている）んじゃ？と思ったのだった。受け入れるようです。しかも楽しみにしている。ええ？

三笠に綺麗な赤い薔薇の紋様が刻まれたのだった。刻まれたのが嬉しくてデレデレ顔で令司のお尻を触るのだった。お風呂へ入ろうと思った令司は、お風呂で延長戦をしようとして誘ったが、デレデレ顔のまま断られたのだった

楽しい内容を詳しい事を聞く前に、エロい過激な水着を着けてる吾妻がやって来た。令司に見せつけながらビスマルク達の報告をしたのだった。令司は唾を飲み込のだった

発情が収まらない吾妻は、報告後に直ぐファーストキスを捧げて、そのまま貫通式♡を済ましたのだった。令司の令司君に元気をくれる言葉を沢山くれるのだった。耐久戦が始まるのだった

三笠は、この行為を見ながらご飯を作るのだった。器用ですね…。他のKANISE Nも料理を作るのだった

☆☆☆

◇

ビスマルク達が帰投しました。『遠征お疲れ様。報告するわね』と、吾妻が書いた紙を持った餓頭達が居たのだった。その紙を使って色んなポーズをして撮影会を始めていたのだった。おちやめ♡

「に到着したわね・のです・のだ〜！・大鳳〜〜♡待つててね〜♡愛宕？指揮官
 〜♡大鳳〜〜♡」

「到着したわね…。ハアハア…。♡…んっ♡…令司兄様に報告がいつたわね…。吾妻、あ
 りがと。餓頭達もね…。…うぐっ…（令司兄様♡令司兄様♡令司兄様♡褒めて褒めて♡
 あ〜〜♡ダメダメダメダメダメダメ…）」

「ハアハア♡吾妻が…報告を…。ありがとう。ハアハア♡くう…（土下座しなきや♡土
 下座しなきや♡全裸土下座しなきや全裸土下座しなきや♡全裸土下座しなきや♡ソレ
 デモウゴール、シテイイヨネ♡）」

「大丈夫…？じやないよね〜？これは…。あはは〜…」

（なんか、霧を吸ったら身体中がポカポカしてきた♡下の口からヌルヌルいっばい溢れ
 落ちてくし…。このピヨピヨ言ってるの、あたしの下の口を撮影してるのと、粘液を集
 めて、何かそれを見ながら話あつてたり色々してる…。みんなキラキラしてるよ…。で
 ？ビスマルク？とティルピッツ？えつと…ちよつと？モツコリしてるよ？）

ビスマルクとティルピッツの様子が、モジモジしているが高雄達は触れないよう
 す。サツサと、高雄と綾波は愛宕を縛り倒しに、夕立は、指揮官が居る第2食堂へ、そ
 してアルバコアは大鳳にサプライズを仕掛けに逝くのだった

「各自、補給を…。つて、言われなくてもするか…。行動早くて助かるわ。ハアハア♡
 ……ねえ? ピツピ? んっ♡ あはっ♡」

「ハアハア♡ ……何? ビス姉え? ハアハア♡ あっ♡ あっ♡ ……あはっ♡」

「元気になっちゃったワ♡ コレ、令司兄様に見せたらどんな反応するかしら? 拒絶よね? 拒絶よね? でも、ゴールシタイワ♡ ピツピもそうでしょ?」

「ハアハア♡ ええそうよ♡ 元気よ♡ 拒絶されるわね…。結婚してるのに…。このままで、他の基地の指揮官と繋がらないと逝けないわ…。だから全裸土下座しなきゃイケナイノヨ…。ハアハア♡ もう、ゴールシタイ♡ ゴールシタイ♡ だから…ねえ…?」

「令司兄様♡ ザコちゃんを逝けどりシタ褒美として犯し、犯されて下さい♡ お願いします♡ お願いします♡ お願いします♡ ハッ♡ ハッ♡ ハッ♡ ああっ♡ あっ♡ 令司兄様♡ そんなっ♡ らっ♡」

「……………っ。(えっ? えっ? ちよつとからシャキーンてなった…。2人のそれ、粘液が出てる…。でっ? 何でコッチに来るのおおくっ? ちよくっ? 痛いつ! えっ? 何処に連れて逝くのくっ?! あんっ♡ 縄がまた喰い込んでくっ♡ ひゃうん♡)」

ビスマルクとテイルピッツの持っているのが元気になったようです。ビスマルクと

してます♡母乳も出し切りましたから♡うふふ♡あ、夕立、お帰りなさい。服従のポーズしちゃって♡」

「はあ…♡吾妻、愛してる♡しつかりと初物を味わったよ♡最高に気持ち良かった♡ありがと♡夕立、お帰り。お腹撫でるよ…♡? ヨシヨシ…♡喜んでくれて嬉しいなあ♡」

吾妻の下の口、優秀過ぎるよ♡耐久性に自信あるって本当だったわ…。耐久性≡持久力なんだね…。1度も気絶しなかつたし…。最高かよ♡おおく♡夕立のお腹は、ずつと撫でまわしたくなるなあ…♡美巨乳ですねえ♡最高かよ♡

ハイテンションな夕立が第2食堂に入った瞬間、全裸になってお座りしてから撫でまわしたいお腹を見せてつける服従のポーズをした。結婚してるのにね? 尻尾を凄く早く振り回している。夕立、色々漏らしてます♡

「それじゃ? 夕立? お風呂入りに逝くぞ? 洗ってあげ」「令司兄様あ…♡ただいま帰りましたわあ…♡」「ちよつ…!? やめつ…!! ひやうん♡縄の締め付けが♡」ぐっほあ…♡? 夕立? 大丈夫じゃないよ…ね…? 大丈夫だね…。ハアハア♡」

「?!?!?!
 きゃん♡」

夕立つ?!ちよ?!喰らいつき過ぎだよ♡ビスマルクとテイルピッツ、遠征お疲れ様。後の3人は補給中ですね…。…うん?何かヌルヌルする?…おや?おやおや?これは?もしかして?もしかすると?キタコレ♡付いてるんですね♡フウ→

「ビスマルクとテイルピッツ、お帰りなさい。報告したわよ♡って、聞いてない…。で、それを抑える薬、切れちゃったのね…。まあ、薬要らなくなると思うわ♡」

「ちよ♡えっ♡ふう♡ (ビスマルクとテイルピッツが抱き着いたのが令司兄様?何だろ?下の方がぎゅゅ♡となつてく♡粘液の量が増えてくよ♡ハアハア♡凄いな音シてる…)」

「貴女が、35番テスターね?いらつしやい♡指揮官の指揮官で幸せになつてね♡最初だけ痛いけど、そこから先は平気よ♡まあ、吾妻の感想は当てにしない方が良くもダメも♡うふふ♡」

令司、ビスマルクとテイルピッツの暗殺タックルを受ける♡もしかして暗殺タック

ル、流行ってる？タツクルされて服従のポーズをしている夕立の夕立ちちゃんにキスをしてしまった♡令司、風呂に入るんじゃないのかい？

令司兄様の考えを察したのか、ビスマルクとティルピッツはお互いの顔を何度も見て、頷いて夕立と令司兄様をお風呂へ拉…、連れて行こうとスルのだった。悪い汗を掻いていて、令司兄様の機嫌を悪くさせない為かもしれない…

「ハアハア♡あつ?!ちよつ?!な…むん…♡んっ…?んっ…!んんっ?!(えっ?何でボールを啜えさせられてるの…?あたし、どうなっちゃうの?!あつ、何処に連れてくの…?!んん…♡ビリビリする…♡って、気持ち良くなるの何でええ♡)」

「あらあら♡ビスマルク達ったら♡盗撮で見守ってるわ♡いつてらっしや…♡い♡楽しんでね♡ザコちゃんももう家族みたいな物だからね♡ビスマルク達のをね♡ウフ♡癒し刑受けてね♡」

あ…?ビスマルク達?夕立とキスさせて拘束して何処へ向かうんだい?ハアハア言ってるだけじゃ分らないよ?で、夕立ったら、尻尾をブンブン振ってる…。嬉しいんだね?ありがと♡

…おっ?これはお風呂に向かっている感じだね?ありがと。ビスマルク達は沢山汗掻

ザコちゃん、頭の中がだいぶパンパカパン♡になっている♡ 饅頭達はイキイキと観察しているぞ♡ 丸眼鏡を付けて楽しんでるのも居た

「指揮官に貫通されて幸せなのだ♡ ワオ♡♡ 愛してるのだ♡ で、ザコちゃんがクネクネダンスしてるのだ♡ 面白いし、エロいのだ♡ ヌルヌルし過ぎでビツクリなのだ♡ あつ、指揮官♡ ザコちゃんにちゃんと幕あるのだ♡ わふ♡♡ 先に入ってるのだ♡！どっほ♡♡♡なのだ♡♡」

「ああ…。気持ち良かったよ。愛してる。逝けどりに出来るとかビツクリだよ。ゆっくり浸かって疲れとってね♡♡？「分かったのだ♡♡」へえ？ほおほお…。ザコちゃんって、綺麗な髪と肌をしているんだね♡♡ そっか…。あるんだ？報告ありがと♡…でっ??？」

喰らいついたら離さないワンツ♡だったわ…。それ、違う娘のセリフだと思っただけだね…。凄く元気だったわ♡ 吾妻とのキスで回復してなかったらどうなってたか…。まあ、飲み物で回復かなあ？

うん♡ 35番テスター、ザコちゃんったらエロイクネクネダンスするのね♡ 豊乳…、

いや、巨乳……。どっちでもいいけどね？へえ？暮あるんだ？うん？饅頭達？その写真は？あ〜？ザコちゃんの下の口の？へえ？本当にあるわ……

この35回分♡って何？まあ、いつか……。縄は解かないのね……。自殺か逃げられるからかな？で、この縄縛りは高雄だな……。綺麗な縛りだよ♡愛宕が練習相手だろうなあ♡

男性が少ないのってさ？セイレーン達がり込んで潰してるのかと思っただけ？まあ？35番だから回って来なかったとかありそうだね？うんうん。ありそう……。んで？問題？は、こっちなんだよなあ……

「(お願いしますお願いしますお願いしますお願いしますお願いしますお願いしますお願いします)は最終手段♡でも相手シタイ♡」

全裸土下座♡キタコレ♡ほうほう♡娘ちゃんは元気ですね♡超遠征でしばらく又ツキ又ツキ出来なかったのね♡すつごく震えてて、何故か大洪水じゃん……。ローシヨ♡入り電動オ○○だね♡絶対、気持ち良いよ♡

犯し、犯されて欲しいのね♡ヨシ♡変態妻達の欲求を解消しましょう♡これ位しか

出来ないからなくく？海の上に立てないし…。戦闘とかの後で色々興奮して高まっちゃやうのよね？生存本能って奴ですわね。バッチこい♡

その内、女体化の薬を飲んで？メスにされて分からせられると思うんだよなくく♡それはそれで新しい扉を開けるね♡キタコレっ♡褒美をしつかり貰ってね♡ネっ♡

令司兄様、覚悟？をキメて褒美をあげる事に♡全裸土下座中の2人の肩に手を置いた。2人の娘ちゃんがピクつと反応した。どうなるのでしょうか？そして放っているザコちゃんをどうするのでしょうか？3秒合体RVは撮れませんでした

「……………?!きゃん♡令司…兄…様…あ…の…その…。無言で爽やかな笑顔で握るのは…♡ああん♡「ビスマルクとティルピッツ♡動くな♡」んんっ♡あっ♡ハアハア♡ハアハア♡んむちゅ♡んんくくっ♡んんくくっ♡（動けにやい♡これは♡ゴールして良いのね♡ファーストキス捧げられたわ♡ヤツタ♡）」

「わふくく♡指揮官のキス、凄くネットリなのだ♡ネチっこいのだ♡ビスマルクとティルピッツのオチ○○ン、ネチネチされて元気にデレデレしてるのだから♡良い物を直に見てるのだから♡時雨に雪風くく？見てるくく？最高ののだから♡」

「んぷは♡2人のファーストキス？かな？を貰ったよ♡ヨシヨシ♡良い娘良い娘♡こっ

ちもヨシヨシするね〜？準備出来たらギシギシアンアンするからな〜？」

夕立の目の中が☆マークで満たしている。犬耳を凄く早くピコピコしている。美巨乳を縁に載せ、尻尾でお湯を掻き回していた。それに鼻血の噴水をしていて大興奮しているのだった。疲れ取れないよ？

うんうん♡元気いっぱい♡けど、もう少し、高めて貰うわ。念入りにね？…これでよ
しつと…。うんうん…。お漏らししなかったね〜♡まあ、そうシタんだけど…

ビスマルクの方からね？娘ちゃんの愛の砲撃をお尻のあ♡で受け止めるね〜♡
はあい♡ズドーン♡

ん〜っ！熱い愛を感じるよ〜♡キタコレっ♡キタコレっ♡新しい扉壊れたぜっ♡
後は、女体化だなっ♡女体化の俺はどのサイズかな〜？楽しみ〜！

令司兄様はビスマルクとテイルピッツの娘ちゃん。いや…、砲撃ちゃん？のメンテナ
ンスをネチネチネットリ♡磨き上げて、キラ付けをしたのだった。火力などのチェック
をお尻のあ♡でシタのだった。だいぶ無理をしますね〜？

「くくくくっ♡アアアアアアあああつっ♡令司兄様あああつ♡くくくくっ♡あゝくっ♡あゝくくっ♡あいひて…んっれる♡ちゆるるっ♡（拒絶されなかつた♡嬉しい♡童貞卒業出来た♡愛してるわ♡令司兄様愛してるわ♡後は、メスを卒業スルだけ…まっ♡キスう♡ハアハア♡もう、またお漏らししちゃったくく♡）」

「うんうん。ビスマルクの愛の砲撃の火力最高だねくく♡流石、戦艦♡キスしながらスルよ♡」

ヨシヨシ♡次はピッピの番だな♡仕上げで放置しちゃつてごめんねくく？キスしながらゆつくり逝くよくく？あつは♡火力最高じゃくくん♡ほらほら、いっぱいお漏らしシテ♡

おつと…、忘れてた…。ザコちゃんの相手をしないとね♡エロイクネクネダンスしてたんだもの♡令司君が涎垂らしっぱなしだったからねくく？逝くよくく♡おつふ♡トロトロ♡

「ハアハア♡ビス姉え…。おめでと♡…えっ？…令司兄んっ♡（令司兄様の笑顔、素敵♡拒絶されなくて良かったね♡凄くネチネチ交尾してる♡磨き上げられたピッピの砲撃ちゃんが泣いて…。はわくくっ♡2度目のキスしながら、童貞卒業くく♡砲撃し

ちやつた〜♡ヤ〜♡逝かないで〜♡!」

「んんん?!ん♡んぐ〜♡ふぁにふあつてふの?!ふおぐ?!ん♡?!んんん〜♡」

(ちよつと〜?!何ヤツテンの〜?!?!令司兄様が、ビスマルクとテイルピッツのオ〜ンを受け入れてるよね?!2人とも動かないなんて…。えっ?コツチに来て：んあ〜♡ん♡何い〜♡痛気持ち〜♡何か切れた〜♡幕とか言つてたけど〜…?!それかなああああ♡また、切れたああ♡)

令司兄様、ビスマルクとテイルピッツの童貞を貰う♡そして我慢しまくりの令司君がザコちゃんとヤル♡ザコちゃんの顔が蕩けるのだった…

「ハアハア♡くう〜♡指揮官〜♡また、欲しくなったのだ〜♡ビスマルクとテイルピッツの言霊はいつ解除するのだ?」

「夕立…、そうだな…スルか。いつ解除?秘密だよ。身体中を洗ったらビスマルクとテイルピッツもシテあげるからな♡」

「分かったのだ♡あつ、饅頭達がご飯を持って来てくれたのだ。ありがとなのだ。食べて休憩したら素敵なパーティーをするのだ♡わふ♡」

「そうだな…。饅頭達、ありがと。食べて休憩したら沢山しような？ ザコちゃん専用のご飯あるし…。突っ込んであげるね。しっかりお食べ♡その後、繋がろうね？」

「んっ♡んっ♡つふあがる♡」

こうしてお風呂でのぼせないようにパンパカパーン♡をしまくるのだった。作戦名？ 海域名？ をつけるとしたら、何だろう？ 『砲撃迎え♡ヨシっ』かな？

☆☆☆

◇

「指揮官ったら楽しんでるわね♡ビスマルクとテイルピッツ、おめでどう♡メスの方だけね♡あらあら♡ザコちゃん、エロエロで綺麗♡それで丈夫ね♡♡なら、安心ね♡♡」

「三笠ったら、料理には薬を盛らないってキメて、ずっと守ってたじゃない…。なのに、ザコちゃんの料理に思いつきり劇薬盛ったわね♡あく♡あ♡食べちゃった♡面白い事になるわね♡♡あら♡指揮官と夕立、凄く心配してる♡大丈夫、死なないわよ。気持ち良くなる薬よ♡」

「吾妻…。セイレーンになら盛るわよ♡テストターの名前通り、テストして貰いたいし♡まあまあ♡効果抜群♡指揮官の目付きエロい♡あは♡直ぐに仕上げちゃって♡夕立も欲しそうにしてるわね♡♡種なんてないわ♡♡」

「だいぶ黒いわね〜♡そこそこにしなさいよ〜♡さてさて…、指揮官にたつぷり搾つて貰つた母乳をリットリオに渡しに行くわね？えつと…。リットリオの場所は…、第1搾乳室ね。笑顔で気絶してるわね…。樫野つたら、まだ搾つてる…。パワーアップし過ぎよ…。壊し過ぎ…。え〜つ、信濃…信濃…。…えつ？工廠？遠いわ〜…」

「吾妻が迎えに行かなくていいじゃない。青葉と神通を使えば直ぐよ？青葉〜？神通〜？聞こえてるわよね〜？青葉は第1搾乳室で搾乳してる樫野の癒し刑、神通は信濃の所へ第1搾乳室に向かつて頂戴。「畏まりました。三笠様」よろしく〜♪」

「あら？本当に直ぐね…。ありがと、三笠。それじゃ第1搾乳室に向かうわ。あつ、そうそう、ご馳走様でした。機会があつたら料理食べてね？」

「お粗末様♪そうするよ…。あつ、言い忘れてたわ…。吾妻のその紋様はモモだと思わ♡バラ科サクラ。綺麗よ♡ピッタリよね♪ローンにもついてたと思うわ。本人と指揮官は触れてもないけど…」

「あらそう…。ありがと♡モモの紋様ね…。うふふ♡ピッタリね♡それに合わせて羽化して淫紋を刻んだからかしら♡もう行くわね？リットリオ、待つてね〜？（うふふ♡青葉ちゃんつたら、張り切ってるわね〜♡神通は信濃のお世話、お疲れ様♪）」
「行つてらっしゃい。さてと…、お風呂のお酒のおつまみでも作りましょうか…」

吾妻と三笠は黒い？話をしていたようですね〜？ザコちゃんに何かが起こったよ
うですが、元気に生きてね？檜野…、リットリオに癒し刑のコツを教えて搾って貰って
いた筈なのに…

青葉と神通、行動早いですね〜？リットリオ？三大印が集まるぞっ！起きろっ！鼻
血出し過ぎて復活出来ないのかっ！ねえ？起きてっば！饅頭達が必死に起こしてい
るよ！

◇◇◇

☆☆☆

◇

大分、遡りますが、高雄、綾波、アルバコアの補給を覗きましよう

「あ〜〜んっ♡どうしたの？高雄、綾波？無言で笑顔で縛って来ちゃって♡超遠征お疲
れ様♪35番テスターを連れて来るのに成功して良かったわね♪報告書を受け取りた
いのに、受け取れないわ♡はっ?!これが2人からの報告書?!最高ねえ〜♪…って…、
あらっ?」

「ダメだったか…のです…。はあ…。ありがと…。はあ…。」

アルバコアは何度も大鳳にサプライズをして、逆サプライズをされて気絶するのね…。キラキラしてますよ…。補給完了したんですね…。ゆつくりお休みなさい…。ギブアップするのなら、サプライズをするのを止めれば良いのに止めないんですね…

鳳翔は、熊野や鈴谷達の母乳プリンを食べたようです。饅頭達はクネクネして喜んでいる。綺麗な敬礼をしてから、仕込みを手伝うのだった

オーブン基地に新しい家族、(嫁?)が出来ました。令司の令司君が幸せにするでしょう♡おめでとございます。ゴールインしましたね♡

◇◇◇

☆遠い遠い暗い場所☆

「ん〜っ♡ようやく止まったあ〜♡スッキリした〜っ♡キラキラしてるよ〜♡肌、ツルツルで綺麗〜♡ゴツソリ入れ替わった感じだね〜♡ナンバーズちゃんと、その部下ちゃん達、お世話ありがとうございます。…で?」

2番テスターこと、ニーねえが無事に性還しました。土下座で感謝するのだった。ナンバーズとその部下達も土下座するのだった

「あつ♡あつ♡令司キユン♡やつと♡やつと♡繋がれた♡嬉しい♡そうよ。漏らしてゐるわ。♡あつ♡あつ♡ん。♡もつと愛して。♡あはつ♡意地悪してる、その笑顔素敵よ。♡ハアハア♡もつと♡」

「電話されて来てみれば…、オブザーバー、ピュリファイヤー…。凄くエロく綺麗になつてるじゃないか…。まさか…。男を見つけて、貫通したのか?! エディはまだだぞ?! 見つけたら混ぜてくれる約束だったじゃないか?! 話が違うっ! それか、ついでに K A N—S E N 達が指揮官達とパコったのか?! そんな…。諦めちゃったのか?! なあつ! 聞いてるっ?! (わぶっ…。甘じよっぱいし、ビリビリする…)」

うん。効いてる。バーチャル先の令司キユンの令司キユンで素晴らしくエロく良い漏らしっぷりですよ♡ エディターは、鼻血を止めましょうね…。下の口、大洪水だよ?

「わあ。♡すつご。♡い♡オブザーバーとピュリファイヤーの潮噴き止まらないね。♡直ぐ止まるのにね。♡バーチャル先で令司キユンとパコパコしてるのね♡生の令司キユンに会いたいね。♡ねえ? ニーねえもエロ綺麗♡結婚して♡」

「エディターに、双子オミッター、来てんだ…。いらっしやい…。エロ綺麗? ありがと…。結婚はその令司キユンとしてからね? 遠かったでしょう? ゆっくりして? オ

ミッターはリボンの色を一緒にしてるからどっちがどっちだか分からないよ…。同じだからねえ…」

「『そうなの？リボン一緒？あつ、本当だあ。あはは』」

「うん…。ありがと。ズビくっ！んっ…。ふう…。治った…。邪魔するよ。二ねえ…。はあ…。確認したいが大洪水だから確認出来ない…。ビリビリしたし…。まあ、放置して治ったら確認するか…」

「『くくくくくく…。ぷはあ。♡沁みる。♡美味しい♡そつか。放置が1番か。部下ちゃん達、自由に過ごしてね？戦って逝っても良いよ♡オープン基地所属の娘達と戦うのは最後が良いかも…。生き延びたニーねえからのアドバイスだよ。まつ、聞かなくても良いけどね。』」

「『オープン基地い。？思い出したあ。ここに来る前にい。遠い暗い場所でザコつちが戦ってる所を見たよ。あつ、ありがとう。ズズ…。ゴキユゴキユ…。ゴキユン…。れろっ…。美味しい♪ご馳走様♪』」

「『ザコつち、そんな所に…。帰る所だったのかな？…で？』」

「『でね？ザコつち負けてえ縛られてた。一応、偉そうな？旗艦？と副旗艦？っぽいのに砲撃当ててきたあ。♪凄くモジモジしてた♪効果あったのかもねえ♪』」

「へえ？ザコつちは多分オープン基地の指揮官ちゃん、いや、達？にグルグルされる

んだね？モジモジしたか〜♪それはついたね…。それか天然物かも？どっちか分からないけどね？」

「ズズズっ…。ゴクン…。はあ…。生き返るわ…。ザコっち…。お疲れ様…。ん〜っ？基地特集の雑誌？しかもオープン基地の奴だな…。話してる所だぞ…。ピンポイントだなあ…。しかも読み倒しててポロポロ気味…。指揮官のプロフィールページは…無い？顔写真も無い…。写真嫌いか恥ずかし屋がりのお嬢様なんだな？男性が指揮するなんて有り得ないからな〜」

「えっ？エディター、読めるんだ…。教え…。うん？ナンバーズの1人になった5656ちゃん？どうしたの？ポロポロじゃない…。えっ？オープン基地の指揮官が男性かもしれないっ?!名前は…。分からないか〜。ありがと。ゆっくり休んでね？」

「わ〜っ♡・何っ?!行かないとお♡・行くぞっ!召喚〜♡召喚だっ!」

「あつ、待つて〜?!オブツチとピュリつちも連れてこーよー?男性というのが本当ならさ?令司キュンの可能性あるんじゃない?」

「確かに。じゃ…。この空間にポイして〜。行きましよ〜♪」

「あ〜、待つて〜!それじゃ逝つてきま〜す」

飲み会をしていた、ニーねえ、エディター、双子オミッター。5656ちゃんの情報

により、令司キュンに会うためにオープン基地を目指すようです。令司キュンが迎えに行かなくて済みますね♪

令司キュンの嫁達の仕事が増える予感がしますね♪後、他の基地達の仕事量が増えたかもしれないね？どの位増えるのか分かりませんが、ファイト♪

やつぱり凄いやよ♡

アルバコアが海の底に眠っている？落ちている？燃料を見つけ続けて補給を繰り返した事により、予定より大幅に早く帰って来れたビスマルク達だった。超遠征お疲れ様でした

夕立は、帰投して饅頭達に艦装を渡したら直ぐ全裸になって、令司がいる第2食堂へ真つ直ぐ向かったのだった。高雄、綾波、アルバコアも同様にしたのだった。3人は全裸にはなっていない

ビスマルクとティルピッツは帰って来れてホツとしたのか大興奮して砲撃ちゃんがこんばんわ♡してしまった。ザコちゃん、2人のの砲撃ちゃんを心配する。優しい♡敵なのに…

饅頭達が『35回分』と書かれた紙をザコちゃんの額に貼り付けたのだった。何故分かったのです？饅頭パワーで何とかなっちゃった？

食堂に到着した夕立は、吾妻とのドスケベイチャラブキスを見て、食堂内の特濃フェロモンを嗅いで発情した♡そして直ぐ服従のポーズを取るのだった。令司はお腹と尻尾を撫でるのだった。暖かい目で祝福される夕立なのだった

生け捕りされた35番テスター（以下、ザコちゃんやザコつちなどとする）は、縄は解かれず、ボールを咥えさせられるのだった。ボールやオスフェロモンなどに当てられたのか、発情していくのだった。みんな頬に手をつけて優しい暖かい目で見るのだった。変態嫁達は心の中で、綺麗ね♡癒し刑捗るわ♡と思っていたりいなかったりとか

：
ビスマルクとテイルピッツが遅れて食堂にやつて来て令司に暗殺タツクルをした。どうやら暗殺タツクルが流行っているようです。暗殺タツクルをした2人の癒し刑が確定したのだった

刃物などで刺されなくて良かったですね。まあ、令司は刺されるより嫁達を挿…ゲフン…。ビスマルク達は褒めて褒めて♡オーラ全開の大型犬の状態です。ありがとう

タツクルされた勢いで夕立と初交尾するのだった。夕立は交尾出来て犬耳ピコピコ、尻尾を勢い良く振り回すのだった

最中に2人の砲撃ちやんが、令司の魔性のプリ尻に涎をたっぷりつけてしまい存在がバレる♡予想が当たって大興奮する令司。清楚ピッチと言われるのも間違っていない

右側がビスマルク、左側がテイルピッツ。これらの光景を見ているみんなはご飯が進むのでした♡調理していた三笠達は、ニコニコしながらご飯タワーを作って渡すのだった

令司の考えを察したのか、ビスマルクが夕立とキスさせたまま縄で拘束して、ティルピッツの砲撃ちゃんがザコちゃんのお尻の♡に、な状態でお風呂場へ向かったのだ。みんな、いつてらっしやいコールをするのだった

着替えが済んでドアを開けて中に入ったら直ぐ令司達の縄を解き、ザコちゃんは拘束したままポイして土下座した2人なのだった。ローショ入り電動オ○○になっていた。砲撃ちゃんは元気を失くすかと思つたが元気でした。令司君似のようです♡似た物変態夫婦め♡

頑張つて生け捕りした褒美として2人を言霊で動けなくして砲撃ちゃんを磨き上げていった。メスの方も大洪水になるのだった♡ビスマルク達は、令司の温もりから拒絶されないと分かり、トロトロに蕩けるのだった。そして大洪水度が増したのだった

2人の砲撃ちゃんのキラ付けが完了し、ビスマルクをロックオン♡高火力の愛の砲撃をちゃんと受け止めたのだった。初合体おめでどう♡そしてティルピッツの砲撃ちゃんの砲撃も受け止めたのだった。令司の♡？大丈夫じゃないでしょ？戦艦の愛の砲撃ちゃんを受け止めたんだよ？

エルドリッジの電気風呂（母乳・媚薬入り）に浸かっている夕立は、キラキラ大興奮状態で見守るのだった。元気なワンコです事♡紋様は刻まれなかつた

ビスマルク達の媚声だけで令司君が暴発する前に、エロエロクネクネダンスを披露し

て煽りまくっていたザコちゃんとかゴールインするのだった。嫁追加です♡盗聴・盗撮中のみんなは、鼻血の噴水をしたのだった。血足りなくなる基地ですわええ？

饅頭達が三笠達の料理を器用に頭の上に置いて持って来た。令司達はのぼせないように注意しながら食べて飲んで、ドスケベ運動会を開催して行くのだった。うん、これビュルビュルレーンじゃない？他の嫁達は入って来る事はなかった。貸し切りです。謎ルールを発動したんですわ？

令司はお風呂にある携帯を使って呼んでザコちゃん以外を回収して貰い、各自の家へ運んで貰った。回収する前にビスマルク達の砲撃ちゃんを、みんな触れずに息を吹きかけて反応を見たのだった

回収しに来た嫁達をちゃっかり開封した後、ザコちゃんと一緒に、このお風呂に近い空き部屋で寝るのだった。専用部屋使いましよよ…。遠いのかも？

☆☆☆

～転移前の回想～

『…おっ？！これはローン様には非着て貰いたいっ！あゝゝ！ローン様あゝゝ！愛してます！壊して下さいませっ！うっ♡ふう…。スツキリしたわゝゝ。あつ、そうだった、令司？？おゝい？令司？？なあなあゝ？』

『んあゝ？なんだい？イケメン親友よ…？？なっ？！運営陣、良く分かつてるじゃないか！

ローンに似合うよ♡過激でエロエロセクシーなローン♡ハグしながらやらせて下さいっ! 『分かつてるじゃん』へキリッ♡:で?何を言おうとしたの?』

『へキリッ♡アズールレーンの敵のエロエロセイレーン達と、もしヤレるならさ?誰と1発以上やる?俺はエディター様。美白髪美巨乳騎士様は、良い具合に俺の事を弄り倒シテくれそう♡笑いながら煽つてくれるとマジ最高♡それで、ローン様に浮気現場を見られて:あああ♡ローン様あ♡そんな♡直ぐには勃:♡』

『おいおい。クネクネすんなよ:。そうだなあ:、タコ娘のオブザ『M A・J I・K A!!!』うえいつ!? 『裏切り者お:~っ!!!』裏切り者お?ええ:~?血涙する程か?タコ足で意味深マツサージされたくない?ヌルンヌルンにされたくない?まあ、ぶっちゃけると全員魅力的な美女軍団なんで全員とやりたいんですわ:。もし、出来るなら全員に結婚指輪をあげたいへキリッ♡』

『確かにタコ足での意味深マツサージは捗りそう:。う:~くん、ローン様のタコ足:。うっ♡想像したらまた元気になってしまった:。実装されないかな?全員に結婚指輪とか:。令司、凄すぎるよ:。そんなこと出来ない:。』

『え:~?そう?ローンなら公認してくれるん『はああ?!えっ?ローン様が公認してる!?はっ?Why?破壊の女神様がつ?!ヤーン♡なデレなのに?!』』

『お:~おおう:。血涙拭こう?なっ?落ち着けて:。というか、サツサと親友君を

スツキリさせて? なっ? ローン様の別プレイ出来るのあつから使えつて…。 なっ?」

『スツキリしました。へキリッ〜オツケー。俺はエディター様で、令司はオブザーバー様とヤツタたらエディター様、オミッター様、ピュリファイヤー様、テスター様ともヤルと…。 ローン様は浮気公認…。 なんかそっちのサーバーのローン様、逝かれてるかもしれない。後は、令司が逝かれてるかも。そっちには行きたくないわ…。 もたんわ…。』

『そうだね…。 逝かれてるかもしれないね…。 え〜? そう? 楽しいよ? 無能な指揮官なのにデレデレしてくれてるんよ? 曖昧な指揮しかしてないんだけどね? まあ、これつて放置ゲームだからかも…。 で、全力で基地を便利に開発等をする位だからねえ?』

『まあ、そうだな! お互い、楽しくプレイすればいいか。 あつ、アークロイヤル幼稚園の園長のアークの様子を見ないと…。 アーク、お願いだから誘わないでくれよ? ローン様に…。 あああ…。 また…。 求愛されたあ〜!』

『あはは〜…。 もう何度目だあ〜? 諦めてアークに結婚指輪あげちまえ。 ダイヤ、溜まつてるんでしょ?…。 おっ? イケメン親友よ…。 そろそろ家に帰る時間だぞ?』

『何度目か分からない位多いよ…。 ああ…。 ローン様が何て言うか…。 アークロイヤル…。 何で諦めてくれないんだ…。 あつ、ほんとだ…。 夢中になつてたわ。 サンキュー。 また明日な〜? 見せたいのがあるんだよ〜』

『そうだな〜。 気をつけて帰れよ〜? 見せたい物? 了解。 それじゃアレをやるうか

…
』

『H A H A H A !!!』

ハグしながらの掛け声は何なのでしようか？次の日、イケメン書道部長の日記？を令司に見せてくる。そして家に帰って睡眠をとるイケメン親友と令司。目が覚めるとそれぞれのサーバーに転移していたのだった

イケメン親友にテストとヤったよ。それと基地所属の全員に結婚指輪あげてヤッてるよ♡と、伝えたらどんな反応をするのでしようか？血涙かな？血涙ですね。イケメン親友も転移してローン様とやれますよ？という事をイケメン親友は知らないのだった

く回想終了く

☆☆☆

6日目の朝…とはいえない、真夜中に令司は起きました。どんな行動をとるのでしようか？

「Z z z z z ……。んむくくつ♡Z z z z z ……。んんんくくつ♡」

「Z z z z z …。んああくく…。朝…？ではないか…。真夜中ですね…。お腹空いたく…。この部屋にキッチンと冷蔵庫ないし…。寝るだけの部屋だわ…。えくく、ここから近いのは、第3食堂だな…。開いてるかな？まあ、見回り組がいるから開いて欲しい

んだけど…」

なんか、イケメン親友との話を思い出したわ…。親友、オブザーバーではなく、テスターとやったよ…。しかも35番なんだよ？ビックリだぜ…。血涙流すんだろうなあ…」

親友は元気にヤツてるかな？ローン様とやった？エディター様と浮気したかい？アークロイヤルに指輪あげて修羅場ってるかい？こつちのローンとアークの仲は良く分らないなあ…。アーク、良く戦闘しに行くし。ローンも戦闘しに行くけど2人を編成した事無いからなあ…

俺は元気に変態嫁達とイケイケドンドンとヤツてるよ。俺らが盛り上がった過激エロエロセクシーの服、ローンが着てくれてさ？ハグしながらやり倒したよ♡最高に気持ち良かった♡気絶しまくってたけど♡

話がまたズレると思うけど、饅頭達が持つて来てくれた料理をザコちゃん食べたらいっぱい食べたよ♡こんばんわ♡したんだぜ？磨いてパツクンしたわ♡夕立、凄く気になつていたぜ…。尻尾でアンアンさせてたぜ…

俺が転移したこの世界やっぱり凄いよ♡最高にエロエロ♡で幸せだよ♡親友に会いたい気持ちはあるが、会う事は出来ないと思うんだよな。イケメン親友よ、ローン様とアークロイヤルとエディターと幸せになれよ♡

の尻尾も気持ち良過ぎたわ♡とか♡ええ♡愛してるわ♡よろしくね♡使い込んでよね♡愛してる♡)

お風呂でのプレイでザコちゃんが従順になった様ですネ…。ボールと令司のレイシニウム？フェロモンで洗脳？された？した？のかい？まあ、デレデレになつていたので良かったですね？令司は縄を弄りながらお姫様抱っこをして第3食堂へ向かうのだった

☆☆☆

「~~~~つ♪あら…、もうこんな時間…。張り切り過ぎちゃったわね…。まあ、みんな沢山食べるからいいかしらあ…。もう寝るのはやめに…あら？足音？きつと見回り組ね…。食べても」

「おお、開いてる。開いてる。良い匂いじゃないか…。絶対美味しいって。ザコちゃんも一緒に食べるぞ？ん？薬盛りの心配？鳳翔だから大丈夫だろ？」

「まあ♡指揮官♡こんな時間に食堂に来られるなんて♡パーティーは終わったんですね？うふふ♡ええ、薬盛りの心配はないですわ♡♡」

（薬を盛るのは初めてだけと決めてましたもの♡指揮官に夕立ちちゃん、ザコちゃんとのプレイ楽しんでて鳳翔は嬉し…ん♡もつと、排水しないと…。あん♡指揮官の意地悪♡♡）

鳳翔は鼻歌を歌つて張り切つて仕込んでいた。足音を見回り組と勘違いしていた。そして令司の声を聞いて、見て、触らずに濡らしていつてヤル準備を始めたのだつた。寝るのを諦めて令司と寝る様です

「おおく、鳳翔…エツロい♡最高です♡料理の仕込みお疲れ様。その仕込んでる料理を食べても良いかい？ダメなら俺が作るよ」

鳳翔、エロく美しいよ♡谷間見せつけて来ちゃつて♡ありがと♡花魁妻最高♡

ハネつ毛ピコピコしてて可愛い♡床、大洪水。やる準備してくれて嬉しいぜ。ご飯食べたらずらう♡目でザコちゃんを弄りたいつて訴えてきてるね？好き勝手していいよ？敵だからさ♡いや、元敵かな？宣言してくれたし

「ハアハア♡指揮官♡いらつしやい♡ハアハア♡ええ、どうぞ召し上がれ♡」

「ありがと、頂きます」

「ザコちゃんもどうぞ♡つて、ボールを取らないと食べられませんね？お取りしますね？」

「んはあくく。ハアハア♡ようやく、とつて貰えたくく。身体の縄は解いて…ダメなんですね…。分かりました。頂きます」

「…はい、召し上がれ♡」

「美味しい。美味しい。…ふう…。ご馳走様。なつ？大丈夫だつたら？」

鳳翔が盛るわけないってえ〜。あつ、一回盛られてたわ…。けど、鳳翔の部屋でヤツて許したんだよな…。むしろ、それを望んでた感じだったし…

いや〜、鳳翔の乱れっぷりを大鳳が見て発狂してたのは気持ち良かった♡お香の力もあってドスケベだったわ♡やっぱり凄いよ♡この世界に転移させてくれた顔が分からない神様〜？見てる〜？ありがと♡充実してるぜ〜っ！

大鳳で思い出したわ…。初体験を終えた大鳳がアルバコアと一緒にシタイと懇願してたからアルバコアをサブライズで捕まえるか〜。う〜ん、鳳翔？ビクビクしながら触らないで良いのに…

「〜っ♡〜っ♡ハアハア♡ハアハア♡んつく♡フェロモンの濃度、凄く濃いわ♡クラキちやう♡素敵♡ザコちゃんのお尻のア♡綺麗ね♡食べたいわ♡」

「ごくん…。はあ〜、ご馳走様でした。美味しかった。あ〜、お腹いっぱい♡凄くいっぱいよそれだけ食べ切れたわ♡ええ♡葉盛られてなかったわね…。…で、ハアハア♡ちよつと…？つく…」

「ん〜？何だい？鳳翔が俺の尻を触っている事かい？ザコちゃんのお尻のア♡の周りを触っている事かい？それともザコちゃんの無くなったと思ったザコちゃんを俺が触ってる事かい？」

「ハアハア♡ぜ、全部よ…。お風呂で…ハアハア♡そう…かな？と思ったけど、令司様の

フェロモン…凄い…濃いよね♡ハアン♡んっ♡んっ♡逝…け…えっ？そ、そんな…♡ど、どうして…」

「そうそう、ザコちゃんのその顔最高♡ありがとう♡鳳翔もニコニコして狙ってるね♡♡？ヨシっ♡ザコちゃんを食べ…愛し倒そうか♡」

「もつと高まつて欲しいから。鳳翔、そろそろやるうか…。暴発寸前だよ…」

「ええ♡そうですね♡指揮官？出来ればここ、食堂内じゃない場所で寝ませんか？良い場所を知ってるんです♡」

鳳翔が言う良い場所は、絶対良い場所だよ♡行こう行こう

「そうだな♡「ひゃんっ♡」行こうか。案内頼む。ザコちゃん、これから鳳翔と一緒に愛すからな？「お、お願いしましゅ…♡」」

「ええ、頼まれましたわ♡饅頭達、仕込みが済んだので後はよろしくお願いしますね♡うふふ♡綺麗な敬礼ね♡」

鳳翔の案内で良い場所へ向かうのだった

☆☆☆

鳳翔はハネつ毛をずっとピコピコし、垂れ流したまま良い場所へ案内するのだった。饅頭達は掃除をしないのだった。鳳翔か令司に命令されたのかな？そして良い場所へ到着したのだった。ザコちゃんは自分の足で向かいました。縄は解かれていない。解

いてやれよ♡

くアルバコアの部屋く

「はい、良い場所へ着きましたわ♡邪魔しますね？素敵ねえ♡んっ♡ハアハア♡」

「ハアハア♡何とか堪えた…。縄が緩んでて良かった。えええ、お邪魔します…。うっわ…。えつと…。ここが良い場所…？ええ…？ひゃん♡ううう♡」

「お邪魔します…。ハアハア♡んっ♡」うひっ!?鳳翔？暴発し…「それはヤ〜ですわ♡コ・コにお願いします♡んっ♡はあ〜♡んちゅぱ♡」んむ〜♡」

あ〜♡♡気持ち良い♡準備し過ぎだよ♡最高♡ありがと♡愛してるよ♡ザコちゃん、引きつってたけど、鳳翔の手でザコちゃんのザコちゃん、仕上がって倒れ込んだじゃったね♡…で？引きつっちゃったこの部屋は…。えつ…？

良い場所って…、お香か何かが焚かれているか、危ない飲み物がいっぱいあると思っただけど…。アルバコアの部屋じゃ〜んっ！鳳翔に続いて2軒目？のお宅訪問ですわっ

アルバコア居ないし、入って良いのお?!って思ったけど、まあ、鳳翔が良いって言うんなら良いんだろうねえ〜。潜水艦の管理は、鳳翔とアークロイヤルにして貰ってるし…

引きつってた理由はこれかあ〜。等身大の俺と等身大の大鳳の抱き枕がザツとー

00はあり、天井に大鳳単独や俺単独、大鳳と俺のツーショット、大鳳との初体験写真など沢山あるからか♡溢れんばかりの大鳳愛に俺愛だこと♡嬉しいねえ♡他のKANISEN達のもあるから安心したかも…

潜水艦だから？ベットが水槽の中に沈んでるんだけど…。饅頭製だね…。ちゃんと寝れるの？それにずっとシユワシユワしてるんだけど？時々、ビリつてなってる…。ええ…

うぐっ…。締まり良くしちやって♡このこの♡お尻掴んでお礼するぜ♡んぐっ♡求愛しなくても良いじゃないか♡結婚してるよ♡

良い場所とはアルバコアの部屋でした。ドアを開けて直ぐベロキスをかまして繋がるのだった。ザコちゃん、倒れ込んだ時、大洪水してしまった

「んはあ♡んっ♡んっ♡指揮官？落ちて着いてきましたから、ザコちゃんを愛し倒しましょう♡それで、アルバコアちゃんの愛を感じる事が出来るので良い場所でしょう♡」
「ザコちゃんを愛そうか♡そうだな♡アルバコアの愛を感じるよ♡鳳翔の写真もありそうだ…。おっ…。あつたけど全部谷間写真だな…。どうやって撮ってるんだ？こんな綺麗な谷間写真…」

「ええ♡あらあら♡アルバコアちゃんったら鳳翔の事も♡写真は置いといて、始めましょうか♡えいっ♡」

「ひゃんっ♡えっ?ちよっ…?ハアン♡」

「やっぱり凄いよ♡神様♡転移させてくれて、ありがとう。ありがとう♡」

んもう♡鳳翔がイキイキしながら百合の花を満開にしてるよ♡漲つちやう♡これも癒し刑ですねっ♡癒し刑、最高♡ザコちゃん、気持ち良くなつてねえ♡

「あらあら♡良い声ねえ♡うふふ♡仕上がりましたね♡指揮官、あの…その…、ハアハア

♡（許可して下さい♡許可して下さい♡許可して下さい♡許可して下さい♡）

「許可するぜ♡逝け」

逝つたれ逝つたれ♡どんどん逝つたれ♡無くなつても多分、薬盛れば復活するわ♡

「……………っ♡(……………っ♡ハイ♡貴方♡愛してます♡)♡ハイ♡それじゃ、ザコちゃん?逝

くわね?準備出来るから一気に…「ハアハア♡…えっ?」「ハアン♡」うふふ♡愛しますね♡あっ♡あっ♡」

「……………。辛抱たまらあんっ♡「ハアハア♡ハアうんっ♡何で、まだ切れるのおくっつ

♡」ザコちゃん、大切に倒しまくるね♡下の口で嬉しいって返事してくれて嬉しいよ♡」

「ハアハア♡ふあい♡おふえがいひまひゆ♡アツ♡アツ♡アツ♡アツ♡んくっ♡」

ザコちゃんを令司と鳳翔が同時に愛し倒しまくり始めました。鳳翔の癒し刑執行中であります。そしてとうとうアルバコアが帰って来るのでした♡

☆☆☆

「待つて待つて待つて！大鳳、待つててばっ！アルバコアの部屋に入っちゃ…うぎゆう
くくっ！アッ」

「指揮官様あ♡指揮官様専用の大鳳があくく♡もう我慢出来なくなつて来たのでヤ
…、つて…。あら？鳳翔さん、ザーコとア♡♡セ♡♡スを♡まあ♡癒し刑執行中ですわ
くく♡凄く素敵ですわくく♡」

「大鳳…、鳳翔の癒し刑は素敵だよなあくく！撻るよなあくく！」

抱き枕や、写真を全力でスルーしてますねえくく？アルバコアへの逆サプライズ成功
くく！大鳳のハグで涎垂らしてキラ付け完了しているとか聞いていて本当？と思つた
けど本当だったわ…。大鳳、ちよつと待つててねくく？…ヨシっ

アルバコア、大鳳のハグにより昇天し、キラ付け完了するのだった。お手軽？ですわね
…。盗撮で我慢出来なくなつてアルバコアの部屋に突入する大鳳なのだった。癒し刑
対象？かな？

「ひゃんっ♡指揮官様あ、ザーコの執行を邪魔してごめんなさいですわ♡んちゅ♡（お帰
りなさいですわ♡育つてて、気持ち良いですわ♡♡アルバコアと一緒に♡うふふ♡）」

大鳳、準備してくれてたんだねくく♡嬉しいよ♡気持ち良いよ♡それじゃ！そろそろ
アルバコアの事、開封するね？アルバコアつて美巨乳持ちだったんだね♡ロリ巨乳、あ
りがとうございます♡

…んっ？大鳳？その飲み物を笑顔で見せてきてどう…もがっ？!ゴクゴク…。ゴキユンっ…。美味しい…。…んん？何だか令司君だけがポカポカするんだだけ…どおっ！ヒック…アハハハあっっ♡フウ☒？ヒックヒックヒックヒックヒック

「指揮官？アルバコアちゃんが必死に作った飲み物があるんです。それを飲んで…。つて大鳳ちゃん…、無言笑顔で飲ませたのね♡うふふ♡さあ♡指揮官♡いや、貴方♡鳳翔達をグルグル回し倒して下さいねっ♡」

「フシユウっっッ！フシユウっっッ！フンッ！」

「あんっ♡指揮官様あっっ♡大鳳からですのおっっ♡ハアハア♡嬉しいですわあっっ♡愛してますわあっっ♡ふうふう♡ああっっ、まだ逝かないですわっっ♡きやんっ♡」
アルバコアの作った危ない飲み物を飲んで、また壊れてしまった。鳳翔達は、壊れた令司にブランチの時間になるまでされるがままなのだ。ザコちゃんのザコちゃんも参戦したとかしなかつたとか？

やっぱり凄いや♡は、どこがやっぱり凄いのでしょうか？色々と逝かれてるのが凄いや？無能なのに愛されてるから凄いや？危ない飲み物が凄いや？などなど…

令司の考えは分かりませんが、この世界を楽しんでいるのは間違いないでしょう。良かったですね…（2回も色々壊れたのに幸せなんだ？とツツコンだ方が良いのでしょうか？）

☆☆☆

☆遠い遠い暗い場所の海域☆

「なあなあ？オーブン基地で指揮してるのが男性って事が分かった？けどさ？多分…？オブザーバーとピュリファイヤーが、ご執心な令司キユンが素直に姦わさせてくれるのかな？まあ、素直じゃなくても姦わさせて貰うけど…。別の世界に渡ってエディを見たから、ノリノリで笑って煽ってて楽しそうだった♡正の字がいっぱい書かれていた♡羨まけしからん♡」

「ええええ？令司キユンじゃない可能性もあると思うけど…？令司キユンじゃなければ殺すだけだねえ♡うふふ♡令司キユン、あたし・わたしの純潔100回散らしてえー？んんん？一気じゃなくて合計だよ？いや、捧げるう？奪ってえ？あげるう？んんん？ま、いつか♡あはは♡」

「エディター…。涎…拭いて…。まあ？何処の世界も男性って色々壊れ易いじゃん？多分…。だからこの貞操逆転世界でも簡単に姦わせるよ♡多分…。例外もいるみたいだし…？多分…。多分ばつかだけどね…。あはは…」

「まあな…。多分にかけてみよう…。令司キユンじゃない可能性もあるのか…。なら分身ちゃん相手を貰って、本体のエディは感覚を繋げて楽しむ事にしよう…」

「まあ、そうだね？あたしがある、この貞操逆転世界の男性の数を増やそうと思っ

て、KANISEN達に色々ちよつかいをかけてるんだけどね？男性がどんどん減つてくよね〜。このままで男女比1・50位…、いやそれ以上になるんじゃないかしら？あつ、ちよつと…、双子オミッターたら少し早いよ…」

「ニーねえが狙つてる令司キユンと結婚してくれないとニーねえと結婚出来ないし繋がれな〜い♡そんなのヤダ〜♡男の子いっぱい産み産みさせてね〜♡」

「はいはい…。？れないね〜？はあい、キスをしようとししないで〜？男性、令司キユンにあげるんだから…。…で、そろそろオブつちとピユリつちの様子を見てよ…」

「ハアイ♡わあ♡オブザーバーちゃんのタコ足スツゴイツヤツヤ〜♡ヌルヌルが止まらないねえ♡ピユリアイヤーちゃんたら首とれてるじゃん♡で、粘液凄く飲んでる…。お世話の時間ですよ♡精錬された潮をドバ〜と♡ぶち撒けて終了〜♡あはっ♡キラキラしてる♡効果出てるね♡良かった〜♡」

最上級のボス達が楽しそうに遠征を始めました。遠征先はオープン基地です。令司キユンは好かれているようです。良かったね♡いつオープン基地に到着するのでしょうか？楽しみですねえ♡

…んっ?えっ…?ちよっ…

ザコつちのザコちゃんはドスケベイチャラブで沢山ビューし、無事無く(亡く)なりました。良かったですわね…

令司とザコつちは、お風呂場に近い空き部屋(ただ寝るだけに特化した部屋)で、ドスケベをしないでグツスリ寝っていた。そしてお腹が空いた2人は真夜中に起きてしまった

近い第3食堂へ、縄縛り姫様をお姫様抱っこをして向かったのだった。令司君はお休みしていた。空気でも読んだのでしょうか…。お姫様抱っこされたザコつちは茹で上がっていました

仕込んでいた鳳翔と出会い、2人は仕込み料理を食べた。鳳翔は寝る(睡眠)より寝る(ドスケベ)を選択し、準備として大洪水にするのだった

ハネっ毛を令司達が入った時からずっとピコピコしていたのだった。可愛いですねえ〜♡薬入りを心配していたザコつちだったが、薬入りじゃなかったのだった

料理を食べ終えたら令司君が目覚まし、ザコつちの無くなった筈のザコちゃんが復活したのだった。どうなっているのでしょうか?薬入りではなく、危ない飲み物が入って

いたのでしょうか？

心の中でガッツポーズをとった鳳翔が、良い場所へ案内してくれたのだった。良い場所とは、アルバコアの部屋だった。大鳳愛と、令司愛に溢れていたのだった。他の写真も数枚（鳳翔の谷間ドアップ）あつた

令司は、鳳翔の目の前で、鳳翔の谷間ドアップの写真を堂々と一枚、ズボンのポケットに入れたのだった。鳳翔はそれを見てイヤん♡イヤん♡首を振って喜んだ後、見せつけて来たのだった。令司、しっかり見る。そして、鳳翔とイチャラブを始めたのだった。アルバコアが慌てて帰って来た。後、発情した大鳳も来たのだった。大鳳、鳳翔のサポート付きでアルバコアとイチャラブするのだった。潜水艦全員とヤツた令司なのだった。コイツ、しゅごいわ…

アルバコア特製の危ない飲み物を飲まされて、壊れ、酔っ払い、ガンガン逝こうぜっ！状態になったのだった。酒が入るとしゅごい事になると分かっていたのです♡

令司の壊れっぷりを大鳳、鳳翔は涎を垂らして両手を両頬に置いて嬉しくしていたのだった。そして我慢出来なくなった大鳳と鳳翔は、令司のゲ♡を食べたのだった…。新しい扉こじ開けられましたねえ？見事にフラグ回収しましたねえ？

アルバコアは、幸せな顔をして何度も天国へ逝つたのだった。おめでとう♡

激しいドスケベイチャラブをランチの時間までしたのだった。令司の令司君。い

つもいつもお突かれ様です♪

☆☆☆

「ハアハア♡ハアハア♡愛してますわあ〜♡・愛してるう〜♡ Z Z Z Z Z
……」

「Z Z Z Z Z ……。んん…。はあ〜、イツてて…。頭、イツテ〜…。ううう…。飲み物は何処だっつけえ〜?」

頭、痛いです…。二日酔いありがとうございます。サツサと治って?はあ〜、壊れたかあ〜…。壊れて行く所を大鳳と鳳翔が何故か嬉しそうにしてたなあ〜…。エロかったです♡

アルバコアは天国に逝ってましたねえ…。幸せな顔してたわ…。うんうん…。潜水艦のリーダーを務めてるだけあるわ…。いや、関係無いか…。

起きた令司。頭を両手で押さえている。起きた事に気が付いた饅頭達は、組体操をしていき一番上の饅頭が『コレ飲んで』とウルウルした目で勧めてきたのだった。ツツこんで貰いたいのかな?

「おっ?饅頭達、飲み物ありがと…。…。ぶはつ〜。染みる〜。スッキリしてきたわ…。ありがと。うっわ…。スツゲ〜状態だな…。よくもまあ…。お前は、いつもいつも出せるなあ〜…。饅頭達、いつも掃除ありがと」

饅頭達、飲み物ありがと〜。スツキリした〜。効果あり過ぎだよ。饅頭達の組体操にツツコミを入れて欲しいんだらうけど。スルーするわ。

スルーした令司。飲んで貰ったのを確認した饅頭達は、えっへん。してからいつも通りに、キラキラオーラを撒き散らしながら掃除兼食事をするのだった。♡マークや☆などをバリバリムシヤムシヤとね。

饅頭達、良く食べるね〜？うん。アルバコアの飲み物はなんだか危なかったけど、すつつつつごく美味しくて気持ち良くなれたわ。見た目と味のギャップ凄い。それで酔ったんだよね

材料を聞いても分からないだろうなあ。勉強しても良く分からなかったし。何？この世界って電気が付く生物多くね？って感じたもの。

飲み物はそこまでにして、アルバコアの乱れっぷりがしゅごかった。煽られたわ〜。大鳳は、アルバコアの痴態を見て大興奮してたな。良かったよ。

大鳳がアルバコアのサプライズで気絶するのが一般的なのに、気絶しなかったな。アルバコアが大鳳のハグで気絶するんだね。大鳳、お姉さんしててビックリしたわ。仲良しって本当だったんだね。

で、これらを盗撮・盗聴しているみんなの中で、アークは見て興奮してくれてたのかな？してたら良いなあ。アークって潜水艦全員も対象内の筈なんだけど？駆逐艦の

方がより興奮するけどね…

全裸で腕組みをしてうんうんと頷いている令司なのだった。服を着ましよう?

◇盗撮・盗聴していたアークロイヤル達◇

「ぶっつは♡ハアハア♡アルバコアあゝゝ♡閣下と初エロエロ潜水出来てえゝゝ♡おめでとう♡うぎいいっ!綾波い♡なんだか熱いねゝゝ♡ハアハア♡」

「ねえねえ?鼻血出してキラキラして縄で縛られてるアークロイヤル?綾波の癒し刑を受け止めてね?愛宕がダメになつてて発散出来なかつたんだゝゝ」

「ええ?そうなの?首根っこ掴まれて引きずられたニーミは、監視かしらあ?ラフィーの上で良い気分で寝てたのに♡あつ、大丈夫よ?ニーミもラフィーも幕はちゃんと残ってるから。なんなら見て確認する?つて、綾波い、そんな顔しないでよゝゝ♡」

「ラフィーとニーミの絡みっ!そこにユニコーンを混ぜてくれっ!アアアつ、漲るうう♡はうう♡縄の締めつけ最高おお♡うぐっ♡ニーミに跨られて胸を触られてる♡あはははは」

「監視はやめて、こうして参加しますねゝゝ?」お願いしますっ!」良い返事い♡でもコレで黙って貰います♡「ふぐおゝ♡」沢山興奮してくださいね?ねっ?必死に首を縦に振つちやてゝゝ♡」

「もつと滾つちまえます。鼻血を沢山出すのも良いけど、規定量サツサと出せです。ほ

らほらです。ユニコーンのルーちゃん羽根でくすぐるです」

「ふう〜〜つ♡ふう〜〜つ♡ぐおつ♡んんんつ♡んんんつ♡んごお〜〜つ♡（アヒヤヒヤヒヤ♡ひい〜〜つ♡凄くくすぐったいっ！あうっ♡締め付けられる〜〜つ♡はあはあ♡……んっ？ガチャ？）」

「ヒック♡あら〜〜♡綾波にニーミじゃない…。ヒック♡アークに癒し刑執行中ねえ？混ぜて貰うわ〜。ヒック」

「ヴェスタルさん。どうぞ混ぜてやりましょう」

「ふ〜〜つ♡ふ〜〜つ♡んんぐう〜〜つ♡（漲るうううう♡ありがとうございますうう♡ふ〜〜つ♡ごお♡ヴェスタルの注射効くうう♡）」

はい。大興奮していました。良かったですね。百合の花、咲き乱れていました♡

不機嫌な綾波と寝ぼけてるニーミがアークに癒し刑を執行しています。そんな中で酔っ払ったヴェスタルが、癒し刑に参加して注射などを打ってきてアークは沢山色々と漏らしまくるのだった

◇◇◇

後、思い出す事は吐い…。いや、それは止そう…。うん。大鳳は良いとして、鳳翔が

…って事は無い無い。夢だよ。うん。そうだよ。夢だよ。きつとそう。嬉しいモノじゃないんだからさ…。うん…

いいえ、現実です♡令司のゲ♡をしつかりと嬉しそうに食べましたよ♡饅頭達の飲み物でキレイサツパリにして、いつでもキスして良い状態にしました♡饅頭達、マジ超優秀♡

「さて…。どう…。つ。ごくりつ…。大鳳の胸…エロい…。反則だよ…。失礼するぞ…。…あゝゝ♡スゲゝゝ最高だよ…。うん。アルバコアの胸も最高♡ハアハア

♡あゝゝ、鳳翔も最高だ♡みんな最高♡」

凄いわゝゝ揉み心地最高♡色々抜群なのも最高♡みんなありがと、愛してる♡

スツキリした令司は、寝ているアルバコア達の肌蹴ているエロい胸をねつとりと堪能し出したのだった。だいぶ頭がヤラれていませんか?令司君は頑張っていたので「寝てるぜ♡キリッ」と主張してお休みしています

「「んんん♡スー…スー…。んっ♡んふ♡指揮官♡・指揮官様あゝゝ♡Z Z Z Z
……………」

「……………?!あつぶねゝゝ…。これ位にしとかなきや起きちゃう…」

ゆつくり寝て貰わないとね…。激しくし過ぎたからね…

「……………。お腹鳴ったからご飯食べに行くか…。しつかり揉んで堪能したし…。みんな

愛してるよ♡んちゅ…」

「「んんんっ♡くくく…」。んぐんっ♡んんんっ♡（起きてるよ…・ますわあ…♡愛してるう♡）」

「…んはあ…。みんな起きたらご飯しつかり食べてね？それじゃ、お先に…。う…ん…。ご飯、何処の食堂で食べようかなあ…。」

全員にキスして唾液を与え、全員の頭を愛おしく撫で回したのだった

はふ…、口、堪能しました♡愛してるよ♡…うん。大鳳と鳳翔の口の中、綺麗で甘さが増してたから夢ですわ。さてさて、何処の食堂で食べよつかな…？

ヨシッ。第1食堂で食べる事にしよう。んん…。うわ…、身体バキバキ…。トレーニングでもするか…。トレーニング室もいっぱいあったからなあ…。

満足した令司は、両腕をグルグル回し、バキボキ鳴らしながら、第1食堂へ食べに向かうのだった

「「今日1日、頑張りますわあ…♡。る…っ♡。ますね♡髪を沢山撫でて…♡んふふ♡」

胸揉みの時から起きていたアルバコア達。両目の中が♡マークになり、両頬に両手をつけてイヤん♡イヤん♡して嬉しがるのだった。ハイライトさん達。お仕事お疲れ様です。レイシニウム弾んどきますね…？

饅頭達にどけどけされていても気付かないアルバコア達なのだった

☆☆☆

「「ハアハア♡ありがとうございます♡指揮官♡元気でした♡それでは♡」」
「それは良かった。じゃあねえ?程々に頑張つてね〜?」

うんうん。軽巡達との触れ愛、良いねえ♡笑顔で「おマ♡踏んで♡」と、言われるとは思わなかったけど…。ええ、靴下姿で踏んでやりましたとも♡喜んでたねえ。良かった…

第1食堂で食べると決めた令司。軽巡達とのお触り愛をしてから1人ブラリ旅を再開した。そして食堂に近くなった時、とあるKANISEN達の後ろ姿を見つけたのだった

「〜〜〜っ♪そろそろ着きますねえ〜。…で、第1食堂で誰の料理を食べよう…んっ?あの後ろ姿は…加賀かな?んんっ?加賀が2人?肌の色が違うけど似てますね〜?…あるえ〜?」

あるえ〜?加賀つて着物じゃん?いや?袴か…。なんかもう1人の褐色はメイド服なんですけど?それも、ロイヤルメイドのしっかりメイド服じゃなくて、エロ特化に魔改造されてるメイド服。ありがと♡

う〜ん？狐耳にサキュバスの尻尾…。似てる…あつ！戦艦の加賀、センカかあ！お帰り！センカが着物を着るとしても魔改造してから着そうだなあ〜…

とあるKANISEN達は戦艦の加賀（センカ）と空母の加賀（クウカ）でした。彼女達は楽しく会話をしながら第1食堂へ向かっているようです

狐耳に尻尾をブンブン振り回してるセンカと、そこそこに尻尾を振り回しているクウカは何を話してるんだろ？

「まあ、俺の悪口でしようね〜♡だつて無能な指揮官だからな〜♡あつはは〜♡指輪つて戦力増強の効果あるからねえ〜？」

ごめんよ〜？無能で。…あれあれ？確か、戦力増強の結婚指輪つて右手薬指に嵌める筈だけど、みんな左手薬指にしたな〜。右手出して？つて画面に言ったら左手出してきたし…？それじゃ悪口じゃないかも？良かった〜

令司が悪口を言われてると思つて勝手に落ち込み、勝手に解決させたのだった。聞こえていない加賀達の会話とは…？

「久しぶりに帰つて来れたからつて翔鶴に癒し刑を沢山スルとか…。それに瑞鶴にもしちゃつて…。随分とはしゃいだね〜？良く眠れたんじゃない？」

「良く眠れたわ♡良いじゃない♡瑞鶴の合意は得たわ♡ツヤツヤよ♡翔鶴と瑞鶴の可愛い声を出してグツとキタわ〜♡生き返ったわ♡もつと言えば赤城の攻撃を沢山喰

らいたかったのに逃げるなんて…。捕まえられなかったし…」

「赤城姉様をセンカが捕まえるなんて無理でしょ…。捕まえる事が出来るのは大鳳と鳳翔くらいよ…。クウカ達が捕まるわ…」

「天城が居ると思うけど…。あつ、天城が赤城を捕まえるなんて無理ね…。無理無理。うっ…。ごめんなさい…」

「……………。気になってただけ…。それって…。もしかしくなくても?第1搾乳室にある?」

「うう…。うん…。あつ、コレ?そうよ?第1搾乳室で旦那様が漁って見つけたピンクローのスイッチよ。その時押さなかった。というか押さなかったわよ。センカが持ってたんだから…。コレで少しお疲れ気味の旦那様にね?目の保養をね。ムラムラ来れば良いわね♡」

「そっか…。ごくつと唾呑んでたから興味はあるそうよ?みんな大はしやぎ間違いないな…。で、ムラムラした指揮官をバッキュ〜ン♡バッキュ〜ン♡で初めてを奪って貰うんだろう?ずつと言ってたもんね?」

「みんな大はしやぎ間違いナシ♡炬を空に出来るからね♡そろそろメンテナンスだったし。早まっただけよ♡そうそう、クウカ分かってるじゃなく♡みんなその場所でシタいけど、センカが1番♡…って事を守ってくれてたんでしょ?ありがと♡」

「どういたしまして。ほら、着いたぞ。サツサと注文して食べよう」

第1搾乳室で漁った奴の話で興奮していたよ♡悪口では無かったよ！良かったね！

「おっ…。入って行つた…。俺も入ってサツサとご飯食べようか」

まあ、ご飯食べながらそれっぽく聞いてみるか？まつ、聞かなくて良いと思うけど…。
よつ……。よいしょ…

何を言ってるのか分からない令司が、床のヌルヌルを避けながら食堂に入つていったのだった

☆☆☆

……。ヨシつ。到着……。誰の料理を…。おっ？ヨシつ。鈴谷に決めた！

「指揮官、いらつしやい。んっ♡はい♡どうぞ鈴谷の料理を召し上がれ♡デザートに（樫野の母乳入り）プリンを3つどうぞ♡んつく♡はあはあ♡はあん♡」

「鈴谷、大丈夫じゃないねえ？うん。食べるねえ」

鈴谷あゝ？匂いだけで逝つたゝ？おおゝ♡テールブルに美巨乳を乗つけて谷間を見せつけて来ちゃつて♡ありがと♡凄く顔真っ赤でキラキラしてる。鬼の角ピッカピカ、眩しいゝ♡

高校生じゃん♡で、絶対、風紀委員長をやつてるって♡美女な風紀委員長様が、実は

一番風紀を乱す淫乱さんってグツときちやいますねえ♡友達は熊野といった褐色ギャルズっ♡うん。ピツタリだわ♡裏で百合の花が咲き乱れてるよ♡

ゲフンゲフン…。…で?プリン?コレがプリン?これ、大っきいバケツ…。いや、何でもない…。ゼリーじゃない?ゼリープリン…。プリンゼリー?プーゼリー?いやナイわ…。命名センスないわ…。まあ、美味しそうだな…

「良いものを見せつけてくれてありがとう。プリン、凄くキラキラしてるね…。プリンっというよりゼリーな気がするんだけどね…。?じゃあ、加賀達の所で食べるね?」

「はあはあ。見てくれてありがとう♡鈴谷を食べてくれて良いのよ♡んっ♡…はあはあ♡ゼリーじゃないわよ…。ちゃんとした(バケツ)プリンよ…。んっ♡はい。どうぞ。んんんっ♡」

「悪いねえ…。胸揉むだけで我慢してね?ちゃんと機会作って食べてあげるからさ♡俺の右手を舐めて返事しますか♡」

鈴谷の料理を受け取り美巨乳を堪能して、加賀達の所へ向かうのだった

加賀達の周りで食べていたKANSEN達は、次々に席を空けて、他の席で食べるのだった。他の席に座らないで、食べてる娘の上に座るのもいた。座られる娘は許しているのだった。百合の関係かもしれない

「センカ?クウカ?隣、失礼するよ…。その料理は、熊野か…」

うわくく、加賀達の周りの席ぼっかり空いたわ…。ごめんね？カウンターで食べなくて？食べさせあつてるものもあるねえ♡眼福。プリンだけしか食べてないのがあるな…。15？ええ？スゲくく。幸せな顔で黙々と食べてる…

「はむはむ…。ゴクンっ…。はい、指揮官・旦那様♡どうぞ♡んくくっ♡（唾液と愛♡入りの料理…。鈴谷あ…。ギリギリセーフ…。ああくっ♡首筋の汗♡イツチャウくく♡）」

「ありがと。いただきます…。……………うくくん♡おいひいくく♡このゼリープリンも美味しい。はふくく…。ご馳走様でした。…んっ？2人もどうした？顔真っ赤だぞ？あ、汗臭いか…。ごめんね？さっぱりした筈なんだけど…」

「な、なんでもない…。♡良い匂いだ♡ハアハア♡んっ♡（これなら逝ける♡・早くセンカの奪って？…。で、クウカやみんなをコレで楽にさせてくれ♡）」

おつきいゼリープリンだったけど全部食べられたわ。疲れが取れてる気がする…。どうなってるの？

良い匂いですか。みんなそう言ってくれるね。ありがと。んで…。？何でも無いって？センカくく？尻尾を器用に使って令司君を起こそうとしてるじゃん♡何でもあるじゃん♡尻尾の先端から粘液出してるけど媚薬かい？舐めたいな…

クウカは、チラチラとピンクのローターのスイッチを見てるよ？それ使わせて新しい

扉開かせようとしてるのかね?

…あっ♡んももう♡センカが、ねっとり触るから起きちゃったよ…。準備ヨシっ。って現場猫出ちやった…。おはよう、令司君

「何でもあるじゃないか♡センカは溜まつてるねえ?クウカはピンクロー♡のスイッチを見つめてるよ?必死に目そらしてもグギギってなって見てるよ?両手で顔を隠しても隙間から見てるねえ?」

「旦那様の旦那様が目を覚ましたな♡この魔改造メイド服を気に入ってくれてありがとう♡ああ♡凄く溜まつてるんだ♡不束物ですがよろしくお願い致します♡旦那様♡」

「おっふ…。こちらこそよろしくお願いします。素敵なメイド服を見せてくれてありがとう♡後、谷間ありがと♡準備出来たよ…。まあ長い間、戦闘しに出て貰ってたから溜まつてるよな?あく?場所はここか?」

すっかり発情しちやっつ♡何か、ここじゃない気がしたから聞いている。令司君はもう少し大人しくしてて?くっ♡

みんな凄くエロい顔して何か期待してる…。視線がピンクのコレに集まつてるのよ…。何なん?ポチツと押すだけだけどき…。暴発や暴動起きそうなんよ…

…んっ?えっ…?ちよっ…。ええ?なんかさ?良く見たら俺が知ってるスイッチと違うんだけど…。このボタンの横にある数値がさ?可笑しいんだよ?

『MINI万♪』『MAX100万♡』『ランダム♡』って何? 3段階や5段階じゃないの? なんか常識通じねえ〜。そこまで期待してるのなら暴発や暴動を起さない事にかけて使いますね〜♡新しい扉開いちゃお〜♡壊れてるし〜♡

「(こじやない…。はあはあ♡素敵な場所に案内するよ♡そこで素敵に奪って欲しいのよ♡」

「うつく…。了解。案内よろしく。収まらんわ♡」

ええ? 素敵に奪うって、どういうこと?

「ハアハア♡分かったわ♡コツチよ♡ハアハア♡収まっちゃダメよ♡」

収まっちゃやわないさ…。 令司君? 泣かないでくれよ。まあ? 多分、沢山鳴くでしようなく? 頑張れ〜♡素敵な場所で逝けるからなく? もしかしてセンカの部屋かな?

「センカ、逝ってらっしやい♡ハアハア♡見守ってるわね♡後、ソレ♡みんな楽しみにしてるから♡ああっ♡」

センカはピンククロー♡のスイッチを持って、尻尾の粘液で令司の魔性のプリ尻をヌリヌリマーキングしながら、初めてを素敵に奪う場所に案内するのだった

☆☆☆

イチヤラブを続けるのだった。強く…生きてね?ぷぷぷ♡

◇

べちや♡どす…。ばたんっ。じよぼぼぼぼくく♡ぶっつしやあつああああくく

♡

「…んっ?えっ…?ちよっ…。ええ…?みんな?湯気出てるよ?笑顔になってる場面じゃないでしょ?!どうしちやつたの?イ〜ヤ〜つ♡とか、ダメダメえええ♡とか騒いでるだけじゃ分かんないよ〜?ねえ?どうすれば良いのよ〜?!!」

首筋にキスマークが沢山ついているザコつちがオロオロしている。縄解かないんですね…。拘束されてる方が落ち着くのかな?

オーブン基地所属の変態嫁達全員が、笑顔で倒れ込みました。色々な効果音を出してあちこちの床が濡れ始めました♡大洪水になっていくであります

そうですね…。変な例えですが、ダムの一斉崩壊が始まったぞ♡避難しなきゃいけないのに浸かっていつてるぞ♡ですね

「ピョっ!!!ピッピピョっ!!!ピッピッヨっ!いいんっ!!! (みんなっ! 炉のメンテナンスが来たゾっ!!! しっかり食べ、掃除しなっ! 始めるぞっ!!!)」

「!!!んっ!!!ピョピョ〜♡ (ハッ!!!グへへ〜♡)!!!!」

饅頭達、超頑張つてええええ♡に、なったのでした。真っピンクの霧の濃さがどんど

ん増すのであった

オープン基地にはまだ分からない事がいっぱいありそうですねえ…。令司は、みんなを幸せにしないかもですね？

◇遠い遠い暗い場所の海上◇

「ああ♡ニーねえ♡好き♡愛してる♡もつとお♡うう♡」

「うっわ…。ニーねえ…。見ない内にそっち側になったのか…。エディには触るなよ？この身体は、男性に捧げるんだから…。正の字を…グヘ♡」

「ちよつと、好きでこうしてるんじゃないんだってっ!?オミッターが勝手に発情してるから世話してるだけよ?!分かってるってば…。どう？スッキリした？」

「スッキリした♡♡ありがと♡♡出した潮は全部、オブザーバーとピュリファイヤーにあげる♡うわ♡♡まだ潮噴いてる♡すっご♡♡い♡ポイツ♡♡」

「オミッター達、楽しそうだな♡。補給スポットに到着したぞ。沢山補給していか…。ふ♡♡染みる♡♡」

「そうだね♡。補給しよつか♡。ほらオミッター達は、お互いの身体で補給し合ってるよ…。便利だね♡？」

「キスや幕を残してるから良いじゃないか…。ゴーグルを使おうとしてるな…。全部

持ってきたか…。どれ…。：はひっ♡おねがひひまふ♡」

「お互い違った光景を見た感じだね。交換してるよ…。エディは何見てんの?鼻の下伸ばしちやっつて…。まだまだ補給しなきゃだから、あたしもゴーグルを使おうつと。：えっ?う、うん♡おねがひ♡」

補給スポットで沢山補給をするようです。温泉に浸かっている感を出しています。持ってきたゴーグルで何を見ているのでしょうか?エディターもニーねえも鼻血を出して興奮していたのだった

それぞれの部下達が交代で見張りをしている。お疲れ様です。休憩中のみんなもゴーグルを使って幸せな顔をしている

令司がいるオーブン基地にいつ、到着するのでしょうか?到着するのが楽しみです。ねえくく?令司がどんな反応をしてどんな行動をとるのでしょうか♡

まあ、その前に他の基地のKANISEN達と戦う事になるでしょうか…

えええ…？…ここまで変わる？

第1食堂で、高校生で風紀委員長をしている鈴谷お嬢様の愛がこもってる（ギリギリセーフ）料理を加賀達と一緒に食べるのだった。2人とも嬉しくて尻尾を振りまわしていたのだった。センカは♡マークを作ったのだった

デザートの榎野の母乳入りバケツゼリープリンを食べて疲労回復したのだった。プリンは、エリクサーか何かかもしれない。KANISEN達はプリンを沢山食べてキラキラしていた。キラ付け効果があるようです。流石、三大印の1人

加賀達のテーブルの上に堂々とピンクロー♡のスイッチが置いてあり、みんな期待した熱い目で見ていたのだった。もちろん、令司を見るのもいた。視線が気持ち良いと感じる令司なのだった

センカ曰く、炉の一斉メンテナンス。スイッチに書かれている数値が可笑しくて常識が通じないと感じた令司なのだった。逆転世界ならではの道具ですからね。令司のいた世界の常識は非常識ですよ

発情中のセンカが、狐耳をピコピコしながら器用にサキュバスの尻尾で起こしてき
た。先端から媚薬を沢山出すのだった。どうやら舐めて欲しいようです。そして初め

てを素敵に奪う事になったのだった。全員、暖かい目をして送り出された2人なのだった。

素敵な場所に到着した。そこは何と、ト♥レだった。それも指揮官である令司専用である。センカにとって、ここは神聖な場所なのです。

サキユバスの力を発揮され、万歳拘束で動けなくなったのだった。令司は万歳拘束ヒロイン役のようです。センカは、両頬に手を置いて嬉しそうに見つめていたのだった。その顔を美しいと感じた令司なのだった。頭、大丈夫じゃないですねぇ?

センカのファーストキスが令司君で驚いてしまう令司。そしてそのままセカンドキスをねっとりとした。ちよつと何言ってるのか分からないですねぇ?

イチチャラブしていると、風紀委員^{鈴谷}長がヤツて来て、令司が揉んだ右胸を揉んで煽って来ました。準備満タン、ヤル気マンマンであります♥そして風紀を乱しまくるのだった。熊野^{ギヤルズ}達はハイタッチし、抱き合って喜ぶのだった。

2人とイチチャラブしている時に、持たされたスイツチをついうっかりMAXにしまった令司。戻そうとしても戻せません。スイツチを落としてしまったのだから

スイツチが入った事により、センカと鈴谷のが火傷してしまう位、アツアツトロット口に豹変。如月、睦月のマツサージを受けていた時のアークロイヤル以上であります♪奇声をあげる令司なのだった。炉の一斉メンテナンス開始です♪

盗撮・盗聴組全員、ダム決壊♡みんなと仲良く食事をしていた縄縛りされたままのザコつちは、凄くオロオロして何もしないのだった。セイレーンなので炉のメンテナンスは不要なのかもしれない

饅頭達は、ダム決壊が始まって直ぐ綺麗に横一列に並んで、『暴食♡』と書かれてる法被を着たボスの命令を受けるのだった。息ピッタリで綺麗に敬礼をしたのだった。饅頭全員の目の中は、シイタケでした。(シイタケ♡☆☆?)

幸せな顔をして豪快にバリバリムシヤムシヤしましたのだった。フードファイターです。饅頭達は食べながら自身達で♡マークを量産するのだった

この食事風景を、勝手に大会として実況中継する饅頭がいたり、解説するのもいたり、トーナメントボードとかを作り、料理を賭けて盛り上がるのだった。自由過ぎるぞ♪

☆☆☆

第1から第3食堂内でフードファイターの大会を参加しない饅頭達が、いつの間にか布団を敷いていました。優秀ですね。そして饅頭達同士が、抱き合って寝ているのだった

「♡♡♡♡♡アツ♡アツ♡アツ♡んんん♡♡♡愛してる♡愛してる♡愛してる♡はぁん♡Zzzzzz………」

「……………つ。……………あつ、拘束解けた…。ふう…。スツキリした…。鈴谷、センカ、気持ち良かったよ。愛してるよ。んくちゅ♡ストレッチするか…。んん、バキバキいってる…。痛気持ちいいわ」

スイッチの電池切れにより、ヒロイン役を演じる事が終了したのでした。そして2人にキスしてからストレッチを始めるのだった。令司の肌はゲツソリではなく、ツヤツヤしているのであった。令司の肌はどうなってるのでしょうか？

「んあつ…。指揮官つ…。そこ…はつ…。むにやむにや…。んん…つ」

たぐとぐとぷりと拘束ヒロイン役を演じたぜ。キラキラしてたなく。気持ち良かった。これでまた新しい扉開いたぜ。これでもう新しい扉を開けきつたんじやないかな？

センカは尻尾の♡マークの先端から媚薬を垂れ流して幸せな顔をして寝ていて、鈴谷は、赤黒い鬼の角を大事そうに握りしめて寝ているのであった。2人とも全裸です

2人は、夢の中でも令司とイチヤラブしているようです。令司つて愛されていますねえ。そして令司はフラグをおっ立てるのだった。立つたら回収するのよ？お分かり？

「んんんっ。はあ…。バキバキいってる…。ふう…。2人とも炉の一斉メンテナンスで凄くエロさが増したね。メンテナンスの光景凄かったよ…。肌ツヤツヤで眩しいわ…」

令司君、火傷しなかつたよ……。良かったぜ。元気にイケイケしててビックリ。センカの媚薬が凄く効いたのかも……。とにかく頑張ったね。えらいえらい。凄い凄い

「よし。ストレッツチはこれ位にしとくか……。バキバキしなくなつたし……。これでようやく2人のを揉めるよ……。ふう……。揉み心地最高。良いねえ。ありがと」

拘束されてたから揉めなかつたんだよね……。2人とも揉み心地良いですねえ……。最高。鈴谷、角を大事そうに握つちやつて……。取れるのかよ……。いや、ポロつと落ちたんだっけ……。ビックリしたな……。

「んんん。すすすす……。」

その落ちた赤黒い角どうするんだろう？保管でもするのかな？それで新しい赤い角が凄く早く生えていつてびっくりしたわ……。それはいいとして、鬼の角が生えてる他のエロ妻達も生え替わってるかもなあ……。鬼の角博物館でも作れそうかも……

令司は、炬の一斉メンテナンスで角がポロつと落ちていつて新しいのが生えていつた事に驚いたのでした。鬼の角が生えてる他のエロKANSEN達も生え変わつていたのでした。博物館作れそうですよ？

「鬼の角でこれなら犬耳や猫耳やそれぞれの尻尾も変わつてるかも？……。さつきからペチペチ背中を叩かれちやつてる……。とりゃ……。センカの尻尾捕まえたつ……。んっ？おいおい……。センカ……。ええ……。」

センカくく?尻尾から出てるこの媚薬を沢山飲んだり、ココで受け止めたのにまだまだ出せるのかよく。溜まつてるねくく?戦艦サキユバスつて凄いなだねくく?ぐへへ…

令司、センカの媚薬垂れ流しに歓心する。そして好奇心からか、右手人差し指を差し出していくのだった。それを察知した尻尾は

「おお…っ。熱烈なネットトリキスをしているっ。これはこれは…。ごくりっ」

トロトロだなく。熱くなつていくよ…。うっわ…。右手全部真つ赤になつてきた。湯気出でないけど茹だつてる

「(んんんっ。わあ。ご馳走がいっぱいだく。いっただつきまぐ。あんむっ。うくくん♡旦那様の料理おいひい♡)んんんっ♡だんなふあまく。おかわりくく♡」
「はあ…。すつごくネットトリ。こういうのいいねえ。…んえ?こんのっ。令司君、静かに寝たと思つたのにな!」

静かに寝てなさいつてくくっ!!すつごくネットリイチャラブしたでしょ?!…えっ?なんか尻尾の様子が…。えっ?センカは寝てるよね?えっ?おかわり?つて、えっ?ちよわくく!!…あつ♡

人差し指を差し出してネットトリキスをされてるのをうつとり顔で眺めていたら、令司君が何故かピコン。元気あり過ぎですよ?センカの尻尾は、待つてました♡となつて

いったのだった

「へキリツ」尻尾にこんな使い方があんなてなあ……。新しい扉開けたなあ……。俺、フラグ回収お疲れ様。これでフラグ回収士一級（笑）を名乗れるよ。あつはつは。」

ふう……。ようやく垂れ流しが終わったぜ。センカの尻尾はしゅごいぜ。まあ、戦艦サキュバスだからかもしれないけど。後、メイドだし。これには令司君はニツコリしてたぜ。良かった良かった

他の戦艦サキュバスに、シリアスやキュラソー、天城達とかとこれをシテみるか。令司君とサキュバス達は、どんな反応をするのかな？ばつちり盗撮・盗聴されてるから今度のイチヤラブが楽しみであります。いえうい。見てるう？よろしくね？

お互いスッキリしたようです。令司の頭がだいぶヤラれたようですが、通常運転のようです。タフですね？隠しカメラがあるであろう場所にダブルピースをするのだった

「ふう……。炉の一斉メンテナンスされたって言うから、他のエロ妻達を見て来ますか……。夕方だから第一食堂に行くか……。お腹空いたつてもあるから……。それじゃ、センカ？鈴谷？起きたらご飯でもお風呂でもいいからゆつくり休んでね？う……。よくバキバキ鳴りますな〜」

大賢者？になった令司は、両肩をグルグル回してバキバキゴキゴキ鳴らしながら第一食堂へ向かうのだった。トイレのドアが閉まった後の2人は……

「?!止まって止まって止まってっ!!!ちよつとっ!鈴谷止まってよっ!!!ねえ?!ねえつてばっ!!!聞いているっ?!ああ、盗られるくくっ!!!盗られちゃうくくっ!!!イくくヤああアアアアくくっ!!!ふごお!!!んんんくくっ!んんんくくっ!」

「んっ♡んっ♡んふっ♡動いてないわよ。戦艦の力でねじ伏せれば良いのに…。尻尾が率先して癒し刑を受けに来てるのよねえ?えらいわねくく♡あくくあ♡遂にいらっしやいシちやつたわよ♡ヨシヨシ♡そうそう。全部ここに吐き出しましょうねくく?抜け落ちた赤黒い角、役にたつたわ♡」

センカの癒し刑が執行されるのだった。戦艦の剛力を出せないよう、ただ涙顔を以て両手で顔を隠しているのであった。鈴谷は満面の笑みを浮かべています。風紀を取り締まれるからか?

司令!運?がないなあくく!咲き乱れてんぞくくっ!戻ってこくくい!イチヤイチャしたれくく!

◇

「あらく?センカが癒し刑受けてるわ。凄い光景ね。ね?クウカ?」

「そうだな、赤城。尻尾の毛繕いを頼んだのにモフモフと触ってるな?(良いけど)翔鶴がトイレに行きたそうにしてるが、瑞鶴が素早く縄で拘束して動けなくしたな。あつ、

搾乳を始めた。んひゃんっ!」

「そうね〜? 必死に首を横に振ってるわね。でも、嬉しそうよ? んひゃん? クウカも搾乳の時間なのよ? たっぷり搾るわね」

◇

「ごくごくごくくん。指揮官のをココでパツクンしていいんだ? エルドリツジ、奉仕、頑張る! ……後、血を吸わせてね? パツクじゃ味落ちてるから。直が1番。ふへへ」

「ごくくん。指揮官様♡天城とイチヤラブする時、パツクンされて下さいね♡絶対ですよ♡気持ちよくなりますから♡うふふ」

「ちゅぽん…。誇らしきご主人様。センカ様と素敵なイチヤラブをなさって♡誇らしいです♡シリアスもシテも良いですよね? 気持ちよくなって下さいませ♡」

「サキュバス達の様子が少し? 可笑しいですねえ? 煽っちゃたか? 令司よ。これから大変な事になりそうだぞ? 強く逝きて? 調きよ…をしたんだから逝けるでしょ?」

☆☆☆

「指揮官…。きゅ〜…」

「ああら…。気絶しちゃったよ…。腰抜けたみたいだし…。よしよし。お休み」

鼻血出してビクンビクンしてたけど、大洪水しなかったな…。メンテナンスの影響かな?それとビックリな事にお触りされなかつたぜ…。こつちも触らなかつたけど…。だいぶ健全。第1食堂にいるエロ嫁達が楽しみであります

向かっている所で軽巡2人、重巡2人、駆逐艦と出会い、鼻血を出して気絶される。1人ブラリ旅を再開し無事に第1食堂に到着したのだった

「第1食堂に到着したんだけど…。これはいったい…?凄く眩しいんですけど…」

眩しいんですけど…。眩しいんですけど…。まあこの感じ、慣れてきたから良いんですけども。さあて、炉の一斉メンテナンスでどうなったのかな?ワクワクしますねえ

「よしっ。見えるようになった。…Ohhhhh。エロい模様替えされてるし…。過激じゃなくて清楚ですわ〜。良いねえ。エロいねえ」

ええ…?ここまで変わる?凄くバカ広いここをせ〜くんぶ模様替えするとかさ…。真っピンクの霧がほぼないわ。あちこちにお香焚いてあつて凄く落ち着く良い匂いしてるわ。これ好き。発情する感じしなくてすつて

後は、デッツデッツカイ水槽無かつたよね?生簀ですわ〜。観賞用でもあるのかな?デツカいビリビリしてる魚がウジャウジャ泳いでるよ…。運ぶの大変だったろうに…。注文してからメるんですねえ?ええ…?ここまで変わる?

「そう?良かったわ。随分と早口ねえ?癒し刑の件は謝らなくていいのにく。こちらこそありがとうなの。だいぶスッキリするのよ?」

「はあい。愛宕、高雄、綾波。隣、失礼するよ。愛宕。愛宕の料理食べたいな」

「指揮官。どうぞです。……えっ?」

「あら?指揮官、いらつしやい。食べてくれるの?どうぞ召し上がれ」

「頂きます。あむ…。うん。美味しい。美味しい」

ええ…。ここまで変わる?愛宕、縄で縛られてるのが通常運転なのに、清楚なセーラー服を着てるなんて…。縄の跡ないし…。顔、真っ赤。耳、綺麗になったし、モフモフ度が上がったんじゃないかな。谷間、見せてる。眼福眼福

愛宕は縄縛りをしていなくて清楚なセーラー服を着ている。谷間とおへそを魅せつけているのだった。下着?着けてませんよ?

おお、料理美味しい。見た目はアレだけでも…。パクパクいけるわ。おかわりしちゃう。愛宕、高雄、綾波。俺を真っ赤な顔をして見過ぎじゃね?

それで触って来ないねえ…。積極的にお触りしてたのにガラツと変わっちゃったねえ?これはメンテナンスの影響ですかねえ?お淑やかになったね?ギャップしゅごい

「おかわりをしてくれるなんて…。ありがと。指揮官の匂い、良い匂いねえ。凄く落ち

着くわ。大好きよ。やん…。急に耳を触って、どうしちやったの?」

「ご馳走さま。美味しかったよ。良い匂い? ありがとう。落ち着くんだ。それは良かったよ。いや〜、耳、綺麗になったな〜。触りたいなあと思つたんだ。触り心地最高だよ」

触り心地最高だよ。ピクピクして可愛いわあ〜。こうしちやうぞ。よいしよ〜
!

「ありがとう。きやつ…。…えへへ。お姫様抱っこされちゃった。あ〜。あつたか〜い…。好きい。くう〜ん♡」

「このまま風呂に連れて行つて、一緒に入ってから俺専用の寝室へ案内するよ。ぐつすり寝ような? 高雄も専用部屋へ案内するよ。綾波はごめんね?」

求愛しなくても結婚してゐるってば〜。乳首クリクリしようか迷ってるね〜? シテ良いのに…。言わないけど。ずっと顔真っ赤なのね

「…えつ? 専用部屋に招待された? ありがとうございます。幸せです〜」
「謝らなくていいです。綾波、見回りがあるので断つてたです。指揮官を見て喋れて幸せです。お風呂、一緒に入ってもいいですか?」

綾波、背中当ててきちゃつて。つて思つたらしがみついてきた。ありがとうございます。耳舐めありがとうございます。ぜひぜひ。一緒にお風呂入ろう

「もちろん。一緒に入ろう。見回りよろしくお願ひしますね。そうだ、高雄?近づいてきてくれない?ありがと。ここによここによここによ」

「(あら。素敵な提案。サポートするわよ。高雄、可愛い声で沢山鳴いてね?)」

「?!ふ、ふ、不束物ですが、よろしくお願ひします」

よっしや。お願ひされたぜ。高雄、茹で上がってますね〜?モジモジしながら耳ピコピコしてる。可愛い綺麗。好きい。綾波、スリスリしてきて可愛いなあ〜。ちよつと体温高めですねえ。濡れてないけど。大丈夫じゃないんじゃない?

「高雄、よろしく。それじゃ、お風呂に入ろうか〜」

「了解しました」

浴場で欲情してくれよ〜?高雄をパツクンしたいんだからさ?愛宕と綾波とも、もちろんしたいよ。高雄のサポートしながらね?よろしく

令司は、愛宕をお姫様抱っこ、綾波をおんぶして、お胸様達の感触を堪能しながらお風呂場へ向かったのだった。到着して全員綺麗さっぱりして入浴してしばらくたってから、3人は欲情した。令司は、ギラついた目をしてイチャラブを開催したのだった。若干壊れた?

発情しないとは嘘だったようです。なにかのきっかけで発情したようです。令司は、高雄を沢山鳴すのだった。綾波と愛宕も沢山鳴した後、宣言通り、高雄と、愛宕を専用

部屋へ連れて行き、イチヤラブをしないで寝りに落ちていったのだった。健全とは珍しい

◇

「愛宕が料理を作るなんて…。炬の一斉メンテナンスの効果は凄いですね。青葉、ビックリですう。高雄、おめでとうつ！ 沢山鳴いてる感じだね？ これは新聞を作るのが楽しくなる」

「ええ。高雄型で最後に開封されて沢山鳴いてますわね。……で、青葉？ 何でフォーミダブルの部屋で新聞を作ってるんですの？」

「んん？ 何となく？ で、フォーミダブルの趣味を新聞で載つけた後、放置しっぱなしだったからプチ癒し刑をと♡」

「ええ？ 趣味をバラされて沢山部屋に入られて見せましたわ。そ、それで沢山癒し刑を…。気持ち良かつ…。…って、何、言わせますのっ!! あんっ」

「勝手に暴露してるじゃん…。好評で良かつた。おおくおおく。指揮官、激しいねえ。良いなあ。よっし、新聞作り終了。フォーミダブル、ばいばい」

「~~~~♡~~~~♡」
フォーミダブルは、青葉新聞により趣味をバラされて沢山、百合の花を咲き乱れさせ

たようです。青葉新聞の影響は凄いです？

オープン基地は、炉の一斉メンテナンス後でだいぶ雰囲気が変わったようですが、相変わらず平和でエロいようです。それに記憶がスッポリ無くなる事がなくて良かった良かった

盗撮・盗聴もバツチリしているので百合の花があちこちで咲いている事でしょう。オープン基地は、今日も元気で変態で平和です♪

☆遠い遠い暗い海上☆

「はああん♡ニーねえ〜♡出るううう〜♡あああ〜♡」

「(傷つけないように。傷つけないように。傷つけないように。クリクリしていく)ほらほら、沢山出してスツキリして…ね?交代でおんぶしてあげるからさ?」

「オミッター。補給が済んでしばらくしてから発情するとか。オープン基地に早く着きたいのだけど?さてと、オブザーバーとピュリファイヤーの様子は、…まだ潮噴きしてるのか。綺麗だよ。令司に純潔を捧げたらシしような?んんんっ」

「まだ潮噴きしてんの?部下ちゃん、世話してくれてありがとね?オミッター達?スツキリしたようだからおんぶするよ?いらっしやい」

「はあい。ありがと。ニーねえ♡むつきゅ〜。それじゃ、オープン基地に早く行く〜」

♡おお〜」

「(遅らせてるのは誰なのかな〜?) はいはい。それじゃ行くか。オミッター。エディター。次の補給スポットってどこだっけ? まあ、しばらく保つけどね」

「了解。確か遠い遠い海上じゃなかったか? 早く到着して正の字を沢山刻んで欲しいわ。ふたつてる娘にも刻んで欲しい。ふたつてるのはオブザーバーとピュリファイヤーとシタ後だけだ。令司ってどんな男性なのだろう。楽しみだ♡」

「そうだね〜。って、暴れんなあ〜! 落とすよ? よしよし。最初っから大人しくしててよね」

補給をした後、双子オミッターが発情したようです。ニーねえが処理をしたようです。エディターはエディターで発情してる? 潮噴きしているオブザーバーとピュリファイヤーに潮をかけたようです。どっちもどっちじゃないかい?

ニーねえは発情しないようで、必死に双子オミッターのお世話をしていた。お姉さんしてますね。お疲れ様です

スツキリしたようで、オープン基地に向かうのだった。いつ頃到着するのでしょうか? 会うのが楽しみです。令司、モテモテだな♡セイレーン達をすっかり幸せにしろよ? この状況は、『遠距離で通い妻達』って奴かもしれない

☆とある基地☆

私はここ、ドエム基地の指揮官をしているわ。位ってどこだったけ?たしか大将だったかしら?本棚をチラッと見てつと…。そうね。大将だわ。まあ、位に興味ないのだけだ。

ここのKANISEN達とコミュニケーションを取りまくると、オープン基地の深淵のお嬢様への愛の手紙を書くのが私の仕事なの。深淵のお嬢様の位って元帥なのよ。種を受け取りたいわ。それね…。そつちに集中し過ぎて…

お…?令司…?貞操逆転世界の女性指揮官に、深淵のお嬢様扱いされてるぞ。そして、令司は軍のトップじゃないか。オープン基地は大本営だったのか?

「うわ…ん。(軍)書類の山々が減らないよ…!筆頭秘書艦の高雄…!手伝ってよ…!どこにいるのよ…!愛宕、鳥海、摩耶、手伝ってくれてありがと…」

軍書類の山々に埋もれてます(泣)パソコンを使おうよ。手が痛いわ

「指揮官がサボってたからでしょ?高雄は今、工廠にいるわよ。艦装のチエックね。オープン基地と演習したから念入りにしてるわ。…ええつと?鳥海、摩耶?オープン基地の深淵のお嬢様へのプロポーズ書類100枚はどう処理するのかしら?」

「(呆れられた…)艦装チエックね。了解。オープン基地との演習ってセイレーン以上だからね。大事大事」

対策立ててるのに毎回負ける。で、なんか演習に出た全員毎回キラキラして帰ってくるのよね。何故だろう？(注)ドエムだからです

えっ？処理？捨てないで！お願い！

「えっ？100枚？数が増えるような？」

摩耶くく、ドスの効いた声出さないでよ。怒ってるの？そうよ？増えてるわよ？愛してるんだから♡書くのが止められないわよ。全裸写真にスリーサイズ、性癖を全部包み隠さずに書いてるわ

「えっ？懲りずにまだ書いてるの？青葉と川内に渡せばいいだけよ。何も言わなくていいわ。分かってくれるから」

青葉と川内ね。なら、しっかり届けてくれるわね。いつもありがと。2人とスキンスリップしたいのだけど、顔を真っ赤にして拒否られるのよね…。権力を使って無理に迫ってないのに。お酒)の力も使っていないのに…。ううう

「そう？鳥海、ありがと。ノルマ終わったから探してくるわね。判子押させるだけになってるから。後はよろしくね？」

愛宕くく！ありがとく。なんか静かに怒ってるね？何かしたっけ？サボり過ぎた？いやいや、サボってないわよ？

「行つてらっしゃい」

「ありがと、愛宕。行ってらっしゃい。サボってないわよ。KANISENちゃん達と
コミュニケーションを取ってたらこうなったのよ。悪くないわ」

深淵のお嬢様への愛を綴って何が悪いの? 純潔は深淵のお嬢様に捧げるって決めて
るのよ! 産み産みしたいわ♡まあ、返答されてないから振られてるかもなんだけどね
(泣)

私が駄肉だからかな? ええ? そんな〜。あつ、もしかして放置プレイですか? あり
がとうございます。興奮するわ。分かってるじゃない

…つて、摩耶、そんな睨ま「ないで。ドスの効いた声を思い出して興奮しちゃうわ」
「(ドスが効いてる? 興奮しちゃう? そうなの?) 悪くないわ。コミュニケーションねえ
? 大事だけど、しすぎなのよ。禁止にし「ごめんなさいごめんなさいごめんなさい
うお〜っ!」…はい♡書類の山々が無くなりましたね。よく出来ましたね?」

「鳥海。あはは…」

禁止にしないで〜! 生き甲斐が〜! はあはあ…。よしつ。全部終わった! はわ
わ〜♡鳥海、ヨシヨシありがと〜♡ええ? 最上位のセイレーン達が大规模移動して
る可能性有りつて…。そんな事無いつて〜! でも対策とつとこ〜

女性指揮官? それがあるんですよ? その最上位セイレーン達が、オープン基地に移動
中なんですよ? 恋敵? ですよ?

「鳥海、摩耶、手伝ってくれてありがと。でね？最上位のセイレーン達が大規模移動して
る可能性有りだって。そんな事無いだろうけど、艦装チエックや体調管理しつかりして
ね？お願いします。掲示板に貼つとくから。お休みなさい」

「了解つ。お休みなさい」

ドエム基地のプロポーズ書類、令司に辿りつくのでしょうか？オープン基地のエロ嫁
達の反応はどうなるのでしょうか？お嬢様と思ってる女性指揮官が男性であると知っ
たらどうなるのでしょうか？

と、というかプロポーズ書類をせずにオープン基地に訪問しちまえよ。視察(デート)と
いう名目でさ？出来そうなんだよな〜？

なんだ?なんだ?

炉の一斉メンテナンスのスイッチの電源が切れて、拘束ヒロイン役を演じる事が終了した令司。ストレッツチをしてバキバキ鳴らすのだった。毎度毎度ドスケベをしてお突かれ様です

饅頭達が気を効かせたのか布団が敷いてあって、ヤリきった2人は幸せな顔をして寝ていた。2人の肌、ツヤツヤです。美肌効果が令司君のアレにはあるのかもしれない。ようやく2人のお胸様を揉む事が出来るようになったのでネットリ揉みしだくのだった

センカの尻尾の先端から媚薬を垂れ流している事にビックリする。右手人差し指を差し出してみた。するとネットトリキスをされて、スツキリした筈の令司君が何故かピコん。先端と令司君がキスをするのだった。イチヤラブの再開であります

スツキリした令司は第1食堂へ向かった。大規模な模様替えがされていてビックリ。空気も変わっていたとか?

逆転世界ならではの大型?電気魚達を初めて見たのだった。食べられない部分は、危ない飲み物やクリームなどの原料になっている。危ない本を読んでいた令司だが、どれ

がどれだか分からないのだった

模様替えや大型？電気魚達をじっくり見ている所に、高雄と綾波の大声が響く。どうやら愛宕が料理をしたようです。キリツと決め顔を決めて、愛宕の料理を食べる事にした。料理をしない事で有名？

3回おかわりをしてお腹を満たし、3人を令司の専用部屋と一緒に寝ようと誘う。高雄、愛宕は受け入れ、綾波は見回りという事で断られた。言霊があるじゃん？使えば？と思うが、使わないのだった。それか発動出来ないのかもしれないし、忘れてるのかもしれない

3人と一緒にお風呂に入る。欲情して欲しかった令司の願いが叶ったのか、3人は何かのきっかけで欲情した。高雄、綾波、愛宕の順でイチャラブをしてお互いスッキリ。全員の肌がツヤツヤになったのだった

見回りを始める前に令司とキスをし別れた。専用部屋に向かった。到着してイチャラブの再開をしないで全員全裸でぐっすり寝りに落ちていったのだった。寝る前におやすみのキスはしましたが

とにかく平和に幸せな性か：ゲフン。幸せな生活をしている令司達なのだった。鰻頭達もイキイキしている

最上位のセイレーン達が令司を姦まわしに、オープン基地に向かっていますけどね？そ

こんなところはどうするのでしょうか? 令司の指揮能力が試されますね? それとザコっちがどう反応するのか? 気になりますね

☆☆☆

転移して来て1週間目の朝です。1週間目の朝です。2回叫んどきました。令司はどんな行動をとるのでしょうか?

「ZZZZZZ………」

「…ふあく。うんうん。よく寝たく…。…あ、饅頭達、おはよ」

饅頭達に顔をペチペチされたであります。スキンシップかな? 敬礼してどっか行つた…。あるえくく? この部屋つて入れない筈なんじゃ? まつ、良いんだけど…。…で? 動けません…

俺、2人に胸枕してるぜ…。最高の感触だぜ! ありがと! あくく、2人の頭、撫で撫でしたくいつ! 起きてそうだけど、しばらくこのままにしよう。尻尾ブンブン振り回して喜んでるし。良かった

令司は饅頭達とのスキンシップ? をした。2人に抱き付かれていますので、手や足を動かす事が出来ません。右胸に高雄、左胸に愛宕です。2人のお胸様の感触を楽しむのだった。寝ているフリをしている疑惑をかけられている2人の心境? は…

「(きや〜！胸枕しちゃった♡やった♡やった♡幸せ♡クンカクンカ…。うにゅ！良い匂〜い♡しゅき〜！愛してる〜♡)くう〜ん♡わふっ♡きやいんきやいん♡」

バツチリ起きていて指摘？通り、尻尾をブンブン振り回し、胸枕を堪能するのと匂いを嗅いでいました。顔はトロトロになっっているでしょう

「2人とも息荒くして顔真っ赤で求愛してきちゃって。起きてるんでしょ？おはよう。胸枕、満足したかい？」

求愛されるの良いね〜♡ありがと〜♡愛してるぜ♡みんな、胸枕したがるよね〜？？した嫁達すっごくキラキラしてトロトロになつてたわ。何か危ない物質？が漏れてるのか？マジか…

貴重な男性の胸を枕にして寝るのは女のロマンツツツ！

ええ、危ない物質がしっかり漏れてますよ！だだ漏れ！物質名はレイシムネニウム。ゴロ悪いですけど。逆転世界だからね？仕方ないね？こつちでは逆転してないパフパフ？されたまま寝る事ですよ。幸せですぬ〜？

それに令司も令司君もエロ嫁達のエロ谷間に溺れて寝ているではないか！エロ嫁達を大洪水にさせてたではないか！お互い極上な睡眠を取れてるんですよ？おわかり？

「指揮官、おはようございます♡ええ♡満足したわ♡ありがと♡何度求愛しても良い

じゃない♡それで、この世界に来て1週間が経ったわね?どう?慣れたかしら? (慣れてて欲しいわ…。だいぶやり過ぎてる気はするけども…)」

「まあ、そうだな♡慣れたよ。ありがと。幸せ感じてるよ。高雄、愛宕、愛してる」

まじか。転移して来て、もう1週間経ったのか。慣れたね。…慣れたよな? 令司君?

母港の散歩中、食堂内でお皿になる・される、お風呂で、寝室で、トレなど…。他にも有りそうだけど…。で、ずっと盛ったよな。♡風船なんて使ってない…。その内…ね? 祝いとして直ぐ仕込むかもしれない♡

まあ、無理にシテ来なかったから良かったよ。一部はしようとしてたけどなんか震えてたな。癒し刑をされなくなかったのだろう。うん…。理性、強いようですね? 他基地の女性指揮官やKANISEN達を知らないから何とも言えないけど…

「良かったわ。愛してるわよ。…んっ♡♡わふっ♡♡くうくう♡もつと頭撫で撫でしてえく♡んんんくっ♡」

「ヨシヨシヨシヨシヨシ」

あ。♡撫で撫でしていると癒されるんじや。♡心がワンワンするよ! 愛してるよ。背中を尻尾でペチペチされてるぜ。嬉しいんだね。♡あはは。もつと撫でたるわ! ヨシヨシヨシヨシ♡

ベツトの上で抱き合つてイチャラブスキンシップをとる3人。重巡エロ犬嫁達は従順です。隅っこにいる鰻頭達も真似ているようで、お互いの頭を撫で合つています。それを見て食事をしているのもいる。鰻頭達も盛るのか？

「す〜は〜す〜は〜んんっ♡はあ…はあ…♡んっ…つく♡わふっ♡くう〜ん♡くう〜ん♡わんっ♡わんっ♡」

おや…？2人の様子が変わすねえ〜？尻尾をピンとおつたてて、どうやら逝つたようです。『もう、辛抱堪らん♡』な状態になつたようで？

「ヨシヨシヨシヨシヨシ…ヨ…んっ？た、高雄？あ、愛宕？ど、どうしたのかな〜？…うお?!」

「わんわんっ♡くうん♡んちゅば♡ちゆるちゆる♡んれろろお〜♡んっ♡きゅ〜♡ん♡きゅん♡きゅん♡」

令司を押し倒しました。発情したようです♡令司はこうなる事を考えてなかつたのでしょうか？

「ん〜っ!ん〜っ?!…ん。っ?!んむ〜っ♡んん〜っ♡」

撫で撫でし過ぎた？背中ペチペチされなくなつたと思つたら2人とも逝つてたわ…。ええ？なんか凄いな？押し倒されちゃつたぜ♡発情したんだ♡やつたぜ!

「〜っ♡〜っ♡」

ハイライトさん、仕事張り切り過ぎじゃない? バチバチ♡マーク出してよ? 濃厚なキスの嵐、ありがと♡ 最っ高々♡ 甘いねえ々々。美味しい♡んあ♡ 令司君ったらガンガンされてる♡ 気持ち良いね々々♡ ヨシっ。とことんヤろう♡

どうやら発情させたかったようです。策士か? 3人とも♡マークを撒き散らしながらドスケベイヤラブを朝からするのだった。凄く幸せなんですネ?

☆☆☆

「~~~~♡~~~~♡……っ♡……っ♡……あアンっ♡ Z z z z ……」

「ふう〜。あはは。ビクンビクンしてて可愛い。ゆつくりおやすみ。んちゆ。さてさて、朝食朝食」

スツキリした〜。勝ったぜ。いや、勝負してた訳ではないけど…。朝食を食べに行こうつと。どこで食べようかな? 第2食堂かな〜?

ドスケベイヤラブを終えてスツキリした3人。頭を軽く撫でてキスをして別れた。どの食堂で食べようか迷いながら散歩していた所に

「あつ! ちよつと! ラファイ?! 待ってよ〜! あ〜! 速い!」

「ん〜。よしっ、第3食堂で食べ…んっ? なんだ? なんだ?」

なんか凄いドドドって音がするんですけど? おっ? アレはラファイか? えっ? なっ

?ちよつ?!

「指揮官♡指揮官♡ふみゆ〜♡Z z z ……」

「ふぐお〜!んんん〜つ!んぐつ♡」

ラフィーが走って来てジャンプして抱きついてきたわ〜。癒し刑の対象になりそうだけど?パフパフありがと♡やっぱり隠れ巨乳でしたか〜♡いや、この感じは美爆乳だな♡ありがと♡それで器用に抱きついたまま寝るのね〜?

…おや?この感じ、着けてな〜♡ふお〜♡ありがとございます♡堪能しまつせ♡お前のような駆逐艦が居るか!いや、居る!な状態?なんですけど♡

美爆乳のラフィーがジャンプして抱きついてパフパフしてきたのだった。ありがとうございます。窒息しない程度に手加減されている。ありがとうございます。ニミミは少ししてから到着したのだった

「はあはあ…。んもう…。ラフィーつたら…。急に走らないでよね?指揮官♡おはようございます♡(あ〜♡良い匂い♡生は凄いわね♡流石クソヤリビッチ♡カツコ良い♡素敵♡いっぱいズブズブされたいし、したい♡)んんんっ♡」

目の中が♡マークになっているニミミにより新しい称号を手に入れました。良かったですね?クソヤリビッチ?頭の上にいる饅頭達が、正気に戻れとペチペチしているのだった。饅頭達、無駄だと思えますよ?

令司に見せつけるように、自分の右手人差し指を舐めながら急いで下の口の準備をするのだった。見れなくて残念ですね? リクエストすれば何度もしてくれるけどね?

「ふぐお〜〜! (おはよう)」

ニーミ、おはよう。で、ニーミの声がなんかエロい! 見えないけど発情してません? 朝食食べる前に俺が食られるのか? 有りだけど。令司君なんか元気になりそうだし? …んっ? おいおい♡んもう…困った奴だぜ♡

「んっ…。指揮官の指揮官、元気になった…。ラフィーのココで静める…。準備出来る…。…んあっ♡んんん〜っ♡〜っ♡〜っ♡〜っ♡」

「んんん〜っ♡(ぐくぐくぐくぐく)。んっ♡」

急に起きて熱烈なキスをするんだね〜♡ありがと♡しっかり気持ち良くなつてと
いう事がわかるよ〜♡お返ししなきゃ

困った感じを出していない令司君。しっかりバレていてラフィーの上下にキスしたのだった。ラフィーの顔がどうなっているのか? 嬉し涙を流してトロトロに溶けてい
る。

「うわうわ♡すっぱり♡ラフィー、しっかり沈めなさいよね♡あつ、指揮官は朝食を食べ
ようとしたのよね? それならとっておきの所に連れてつてあげる♡逝こ逝こ♡」

とっておきの所? 第1から第3食堂以外にもあるんだ? ニーミありがと〜。ラ

フィー?上と下、キスしたまま逝こうな?ぐう…。良い返事♡

令司とラフィーはキスしっぱなしのままニーミにとつておきの場所へ♡素敵な食べ放題な場所へ♡案内されるのだった

◇エリザバスが持っている食堂◇

「ザコつちお嬢様。どうぞ、食後の紅茶です。それで?後、何回ご主人様に破られれば癒し系刑をさせてくれるのでしょうか?ベルはお嬢様のそれを長手袋を使って調きよ…んん。シたいです」

「ありがと。えつとくく?分かんないなあくく?あははくく」

(ええ?今更だけど、どうなってるの?敵な筈なのに殺意とか感じないんだけど…。また、ザコちゃん起きてるし…。なんでよ…。なんかコレじつくりネットリ見られてるんだよね…。何で?言い淀んだのは何?調きよ…つて?)

「畏まりました。楽しみに待っています。ヴィクトリアス様。母乳を搾りとつて飲ませて頂きますね?」

「(ラフィー、おめでどうですわ♡ニーミつたら♡)んんん♡ハアハア…♡ええ…。よろしくお願ひしますわ。んっんっ♡」

「えっ?あつ、うん…。よ、よろしく?ぐくぐくぐく…。…んっ(なんかよろしくし

ちやつたよ…。紅茶美味しい…。あゝ、なんか縄で縛られてないと落ち着かないなあゝ。あつ、ムラムムしてきちやつた♡」

「あら♡ニームにラファイーががいち…:んんん。ダーリンを最高に楽しい楽しい所へ連れていくのね♡まあ、1週間経ったからね♡慣れたでしょうから楽しんで食べてね♡」

「ヒック!そうね!絶対気に入るわ!暴走してくれないかしら!ヒック!ラブラブしたいわ!ねっ!ウオースパイト!んちゆるる♡」

「はあはあ…。へいかあゝ。むねなめないで♡つく♡んはあゝん♡」

「アツ♡アツ♡アツ♡アツ♡ゝゝつ!?!んんんゝゝつ♡」

「エリザベス様、ウオースパイト様の豊乳が相当お好きですね?で、お酒は程々にして下さいね?」

「ニユーカツスル?なんかシリアスの尻尾責め激しいよ?規定量の媚薬出してよ?もうしなくていいんだよ?あつ、エリザベス様、ウオースパイト様の豊乳に埋もれた」

「ふう…。キュラソー…。貴女も気持ち良く逝って下さいね?」

「…えっ?きやゝゝつ♡ああん♡」

「ハアハア♡あああつ♡逝くうゝゝつ♡(ザコちゃん、毎回毎回凄いいよゝゝ♡手が止まらないよゝゝ♡はあん♡紅茶に何か入ってたかもゝゝ♡)」

ドスケベイチャラブを巨大テレビで、堂々と観ながら優雅に朝食を食べる?食べた?

エリザベス達。それと癒し刑をしている。令司が見たら襲うのではないでしょうか？多分、大姦迎（大漢迎）されますね？ザコつちは朝からエロエロ大変な思いをしているね？敵だったから仕方ないね？

いつも通り？エロエロなオープン基地の朝なのでした。メンテナンスは何だったの
だろう？

◇◇◇

◇

「……………」

「……………」

夕立達が艀装を饅頭達に預けた場所で、4人は無言で見つめ合っていた。荒れている波の音が響き渡ります。誰か喋りましょう？

「えつとくく？ドエム基地の青葉さん？と川内さん？また？またなの？」

「えつ？あつ？はい…。ドエム基地の青葉ですう…。オープン基地の青葉さん…。川内さん…。またですう…」

「…川内？今回は何枚？前回の50枚。全部とつてあるわよ？その前も。最初に貰ったのもね？」

「んっ。全部とつてあるのか?200枚とつてあるんだ?燃やしてるかと思った。今回は100枚だ。全裸写真とスリーサイズが載っている。いつもの奴さ(指揮官)。忙しい深淵のお嬢様より俺を選んでよ…」

「100枚:(何度言ったら分かってくれるんだろう?信じて貰うには…。あは♡ラフィーにニミ、ありがと♡ドエム基地の○○指揮官。素敵な文言ありがと♡素敵なパーティーしましよ?)」

「へつくし…:ガルルなのだ…!」

「えっ?夕立?豪快なくしゃみね?時雨のあげ…。いらないうね…。さて資源回収回収…。榎野さ…ん。榎野さんのドラム缶に入れさせて下さ…い」

「ねえ?青葉さんに川内さん?素敵なパーティーに参加しましょう?」

「素敵なパーティー?…:はい。参加します」

「お腹なつちやつたわね?丁度良いじゃない。了解。ご安心しま…す」

司令は深淵のお嬢様にされてますね。素敵な文言とはなんなのでしょう?司令は他の基地のKANISENの青葉と川内をパックンするのか?



『ここから先は北方連合の地域♡寒いよ♡指揮官達は防寒対策とつてね♡』

「ふくくっ♡愛してる♡じゅるるる♡じゅち♡んれろんちゅ♡れろれろれろお♡
チユツチユツチユ♡」

ラフィーが建物の中に入る前にやめて?と言ってきたからやめておんぶしてる。スツキリしたみたいだし?で、ラフィーの身体凄く熱くなってる。どうした?で、絶賛、右耳を舐め回されてるぜ♡ありがと♡最高だよ♡

「えつと?ニーマミ?ここに食事する場所なんて無いんじゃない?間違ってるよ?」

ここどこよ?あゝゝ、お腹空いたわ…。空気が冷んやりしてるわゝゝ。寒い所ですなゝゝ?

看板に気づかなかった哀れ?な令司なのだった。ラフィーが体温を上げて暖めていたのだった。ラフィーとニーマミは北方連合の地域という事を知っているようです。そりや、そうか…

うっわっ…。天井や床のあちこちに氷柱出来てるんですけど?!雪もあるねゝゝ?雪ダルマが沢山あるわ…。季節とかガン無視っぽいわ…。あるえゝ?俺の等身大の氷像が何人もあるうゝ?!しかも全裸あゝゝ!わおっ!

色んなポーズを決めてる等身大令司氷像を眺めて歓心するのだった。観光地ですなゝゝ?



「ラファイ、おめでどうなのだ!……ハックシュン!!ズビい……!!ふう:」

「??夕立、また?どうしたの?風邪?えつと?時雨達つて風邪なんかひかないわよ?一応ヴェスタルに診て貰ったら?」

「時雨……、なんか噂されたつぽいのだあ……!!!診て貰うのだあ……!!!時雨!早く基地に帰るのだ……!!」

「待つてね?ドラム缶に積み込むのはこれで最後つと……。よし、完了。はいはい、帰りましょうね……?あつ、邪魔物はポイなんだから……。バイバ……イ。あつ、夕立、速いよ……?!」

「あら?うふふ♡ニーミつたら♡暴走を期待してるのね♡倍率高くなりそう♡そろそろ、令司様に運搬しないと♡みんな。早く帰るわよ♡」

「二はい(樫野さん……。すつごくエツロい……。キラキラしてる……。ごく……)」

「いやいや、夕立の事を言った訳ではないですよ?遠征先で資源回収?お疲れ様です。敵、バイバイ。戦う相手間違えましたね?樫野は牛耳に牛尻尾を振り回しながら帰投命令を出すのだった。熊野と一緒にでは無いんですね?」



なんか、ここにいる饅頭達って、氷属性と炎属性ばかりじゃない？ 饅頭達ってほんとに不思議だなく？ 氷像の前で撮影会始めてるよ…。自由過ぎるね…

「間違っていないわ♡指揮官着いたわ♡さあ♡召し上がれ♡（食べまくって暴走してね♡ニーミのココ、もうグジュグジュになってるから♡待ってるわ♡）」

「ちゅぽんっ♡…んっ♡はあはあ…。指揮官。ラファイ、スツキリ♡さあ、召し上がれ♡（食べまくって暴走してね♡）」

「おおう…。さつつつつつむ!!あつつつつつ!!?」

なんだ？ なんだ？ ニーミがドアを開けた瞬間、もの凄い強い冷気ともの凄い熱気に晒されたんですけど…。もしかして？ もしかすると、ここって北方連合？

「「ようこそ♡指揮官・あなた様♡・ぎーこー!♡北方連合の食堂へ♡いっぱい食べて飲んでね♡」」

大正解！ 北方連合です。みんな、司令の嫁ですよ。これでもかつ！ というくらい料理とお酒が沢山ある。パーティー開いてますよ♡ 一部のお酒はもう空で、床に転がっていた。ようやく朝食を食べられますね…？

「あつ、ああ…。来たよ。来るのが遅くなつてゴメンね？ パーミヤチ・メルクーリア、アヴローラ、ガングート、チャパエフ。みんなの料理いっぱい食べるよ」

みんな、お酒臭っ！ けど、酔っ払ってる感じしないわ。強いね…？ 料理の量とお酒

の量が凄いわ〜。どれも美味しいですよ!…あれっ?ニミとラフィーは?

「う〜ん♡おいひい♡ごくごく。ぷはあ〜♡」

美味しそうに食べて飲んでるわ〜。非番だから良いって感じかな?程々にしろよ〜?余計なお世話かな?

「ほらほら、指揮官?食べて食べて♡ごくごくごく。ぷはあ〜♡ようやく会えた〜♡嬉しいわ♡」

「お、おお〜。そうだな。ガングート。頂きます。あんむ…。もぐもぐ。美味しいよ。うん。うまうま…。いけるいける…」

「美味しそうに食べてくれて良かった♡(練習したからね) あつ、そっちのテーブルはチャパエフで、あつちはアヴローラ。で、アヴローラの隣がメルクだよ。メルクのは食べる面白事が起きるわ」

美味しい〜♡ガングート、料理が不味いと勝手に思ってたゴメンね?チャパエフの料理美味しい♡アヴローラの料理も美味しい♡ふう…。よし、メルクの料理イッキま〜す!

ガングートによる様々なテーブルの説明を聞いて全員の料理を食べる。おかわりもした。相当お腹が空いていたのでしよう。そしてメルクーリアの料理を決め顔で食べるのだった

「~~~~っ?!?!」

「指揮官っ?! 凄い勢いでテーブルに顔をぶつけて大丈夫じゃないでしょ?! ちよつと?!
メルク?!」

「えっ? ええ? ラファイーとニーミ? 大丈夫だよ~~~~♡ ギーこ! が、わたしの料理で一番面白いのを最初に食べたのはウケるけど~~~~♡ あはは♡ (ヤバ~~~~い♡ 飛びっきりの面白い料理を1発目になって♡ きゃ~~~~♡ 素敵~~~~♡)」

「あなたつたら……。最初に当てるとか……。なんか凄いわ (アヴローラの初めてを激しく燃やして下さいね♡ うふふ♡ 乱交楽しみ♡)」

「指揮官……。沢山ある料理から迷わずに当てるなんて……。ああ、素晴らしいわ♡」

「そうね、チャパエフ。これから素晴らしいパーティーの開催だ♡ 倍率が高くなるぞ♡
ふひひ♡」

メルクーリアの飛びっきりの面白い料理を最初に食べるとは運が良いのか悪いのか分かりませんか? 毒殺って事は絶対にないでしょう。それをしたら最狂の癒し刑が待っていると思うの

ガングート達は、メルクーリアの料理を食べた令司をトロ顔でぼ~~~~つとを見つめていた。4人とも下の口を大洪水にして準備満マン♡ ラファイーとニーミは、はあはあしながら背中をさすっていた。グルか?

「~~~~~つくく…」

なんだ?なんだ?ヒックヒック…。メルクの料理、美味しかったのに…身体中がものすんごく熱くなつてく…

ロリ美爆乳のメスガキなのに…。そこが堪らんのよ…。指輪見せた瞬間、顔真っ赤にして無言で左手を差し出してきたのはビックリしたよ…。ヒック…ヒックヒック…。あゝ、アヒヤヒヤヒヤ♡

メルクーリア? 令司に飛びつきり強いお酒でも飲みましたか? オスフェロモン全壊にしたですよ? これが狙いだつたか? 食べ放題つて…

「あはは♡んっんっんっ♡お腹いっぱいになつた事だし、ぎょーのぎこが、おはようしたからね♡これを言わなくちゃイケない気がするのよねゝゝ♡」

「あら? メルク? 良いんだ? あなたにあの言葉を贈るのね♡アヴローラ、楽しみゝ♡んっ♡」

「そうね…。メルク、言っちゃいなさい? 指揮官、サツサと銃の引き金弾いて頂戴♡チャパは弾を受け取る準備、とつくに出来てるわ♡じゆるっ♡」

「チャパエフ、右胸揉んで誘惑してもメルクを見ているぞ? メルク、早く言つて頂戴。素敵なパーティーをしましょうよ♡」

あの言葉? どの言葉でしょうか? 令司はメルクーリアを見つめて、あの言葉を受け取

るのだった

「りようか〜い!んっんっ。ぎ〜こ!わたしより弱いつて何事お? (えへへ〜♡言っ
ちやつた〜♡) きや〜っ♡んむちゅ♡ん〜っ♡ん。っ?!♡♡〜っ♡」

んだとゴラ。あ〜?!弱くねえよ〜?!ああ。んっ?!よしっ!上と下両方たつぷり
料理してやらあ〜!!このメスガキがあ〜!!

「はあはあ♡あなた♡あなた♡素敵♡素敵♡愛してるわ♡:きや♡んんっ♡んむ〜
っ♡〜っ?!?!」

「(ヤツタ〜♡幸せなパーティーの始まり始まり♡)」

メルクの煽りで火が付いたようです。4人はガッツポーズをとって祝福をする。分
からせドスケベイチャラブが始まったのだった。食堂に続々とエロ嫁達がやって来て、
素敵な幸せなパーティーを開催する事を知らない令司なのだった。それでいいのか?
一応上司よ?今更だけど…

オスフェロモンとメスフェロモンの濃度が凄く濃くなるまでスルのだった?令司、
ファイト?

☆遠い遠い暗い?海上☆

令司が素晴らしいエロいパーティーを開催している間、エディター、ニーねえ、双子

オミッター、ピュリファイヤー、オブザーバーは順調に、オープン基地に向かっているのだった

「ふう…。補給スポットに到着つと…。みんな補給するよ? ええい! 鬱陶しい! それ! ポイだつ!」

「はあい、エディター。順調順調♡あはは♡必死に避けてる♡攻撃するのヤ♡クスクス♡当たったけど痛くなあい♡もつと強い愛を感じさせてえ♡? きやはは♡ニ〜ねえの方が気持ち良い♡」

「オミッター達、はしやぎ過ぎ♡はいはい。ありがと。補給中の邪魔しないで欲しいんだけどな? オープン基地のKAN—SENじゃないな? どこだろう? ま、いつか。邪魔邪魔。沈んだらゴメンねえ? ぼちやぼちやとバラ撒いてバイバ〜い♡」

「あ〜、逃げてく〜。バイバ〜い♡もつと強くなつてよね〜? その時は沈めてあげる♡」

出回った情報により何処かの基地のKAN—SEN達と戦闘をしたようですね…。圧倒的な力で轟沈寸前? に追いやった? ようです。みんな必死に基地に帰投する。追加攻撃はしないようです。最上位? に君臨しているので流石ですね?

そうするとオープン基地のみんなの力つて凄いですね? セイレーン達〓オープン基地〓他の基地。の図かな? ドエム基地のメンバーは大丈夫だったのでしょうか?

「ふん。エディを傷付けて良いのはオブザーバー、ピュリファイヤー、そして今、向かっているオープン基地に居るとされている令司という男性だけだ!」

「へえ? そうなんだ? さてさて、オブザーバーとピュリファイヤーの状態は…。んん? 潮の量だいたい減つてきた? はい、補給♡うん。減つてきてるんじゃない? 良かったねえ? すつごくキラキラしてるね」

「そうなの? あつ、本当だ。そろそろオブツちにピュリツち喋れそうだね? はい。補給お終い。オープン基地に向かいますよ!」

「はあ」

戦闘と補給でキラ付けされたセイレーン達、オープン基地に向かって来てます。エロ嫁達は気付いているのでしょうか? オブザーバーとピュリファイヤーが喋れそうですね? 良かったです? ね?

令司、嫁が増えるぞ? 令司君はもつと頑張らないとイケないですね?

☆ドエム基地の執務室☆

「青葉と川内オープン基地に着いたかな? 書いた事を実行してるのかな? それは素敵ねえ♡♡惚れちゃう♡」

青葉と川内を可愛がつてくださいね? 深淵のお嬢様? 何度も男性だって報告書に書

かれてたけど嘘だし。あり得ないし…。男性って海軍女性、大っ嫌いじゃん…。まあ、男性って事が本当だとしたら嬉しいんだけどね♡

「(素敵な文言?) 指揮官? 書類の山々、また復活です。頑張って片付けましょう?」

高雄くく! なんかエロくなってるよくく? どうした? 誰かとヤツたか? どの基地の女性指揮官だ? 友達は、あり得ないし…。またはどこかのKANSEN? ここ? いや、それはないか…。笑顔で無いつて言われたし…

「高雄、おはよう。うん。頑張るー! うおくく!」

まつ、良いや…。高雄と一緒にオーブン基地の指揮官に受け入れられたら嬉しいなあくく♡ あくくつ。オーブン基地に足を運びたい! とつとと終わらずくく!

「整理してますねくく?」

「ありがとくく♡」

素敵な文言で青葉と川内が先にメスになるよ? 女性指揮官? 令司との会うの楽しみですくく? 令司がドエム基地にお邪魔する可能性もあるかもしれませぬ?

ヤつちやつたZ E ☆

令司専用の寢室で高雄と愛宕と一緒に寝て、女のロマンである胸枕を堪能した2人。起きてスケベなスキンシップをとってイチヤイチャラブラブをしていると、3人元気良く発情しスケベをするのだった。こいつらの身体ってどうなってるのでしょうか？

お互いスツキリし、朝食を食べに行こうとしてぶらり散歩をしていた令司に、お前の様な駆逐艦が居るかっ！と言いたい美爆乳のラファイが抱き付いて来た。目の前真っ暗（パフパフ）。ありがとうございます。すっかりたっぷり堪能するのだった

ニーミのファインプレー（ズボン下ろし）でラファイ、卒業。ニーミはエロい声を出して祝福をする。そして食べ放題（意味深）の所へ連れて行ってくれるので、イチヤイチヤしたままついて行く

連れて来られたのは北方連合の建物。ここの食堂をラファイと恋人繋ぎをして目指すのだった。廊下の壁際に等身大令司の氷像が何体も様々なポーズ（男性グラビア！女のロマン）をとっていて、観光地に来た気分の令司なのだった。写真撮れば？

食堂へ着いて北方連合全員？から歓迎されて、全員が作った料理を食べまくる。最後にロリ美爆乳でメスガキのパーミヤチ・メルクーリアの料理を食べる

運が良いのか悪いのか、一番面白いのを最初に食べてしまい酔っ払う。そして壊れた。壊れたのは3度目？壊れていくのを両目の中に1つのデツカい♡マークを浮かべてねつとりと眺める北方組なのだった。準備マンマンにしていくのだった

メルクーリアのメスガキ発言の煽りにノツた令司。素敵な素敵な分からせいチャラブパーティーを開催するのだった。嬉し涙を流して進んで分からせられるのだった。令司つていつでも？どこでも？パーティーを開催していますね？そりや壊れるでしょ？睡眠薬を投与されて当然なのかもしれない…

タシユケント、ソビエツカヤ・ロシア、ミンスク、グロズヌイはここ、オープン基地に居るのかつて？居ます。食堂に案内された時は委託や資源回収やら色々な仕事をしていたのです。それらが終わって報告書を秘書KAN達に渡し、急いでパーティーに参加して無事卒業しました

パーティー開催中の裏側では、ドエム基地の女性指揮官の100枚のプロポーズ？書類を持ってきた青葉と川内に、オープン基地の青葉と川内が対応していた。書類に目を通す青葉と川内。すると、とある文言に目が止まる。直ぐに令司が何処にいるのか確認した後、2人は笑顔でパーティーに誘うのだった

そしてホイホイ乗っかり北方連合の食堂へ連れて行き、令司にメスにされるのだった。オープン基地の青葉と川内も令司とイチャラブを堪能するのだった。ダブル青葉

とダブル川内の食べ比べ。贅沢？ですね？

盗撮・盗聴でしつかり壊れた事を確認したエロ嫁達。この機会を逃して堪るか！という事？謎のルール？を適応して高い高い倍率を勝ち？抜いた？選ばれしエロ嫁達（性女達）が、そろそろとやって来てイチヤラブするのだった

北方連合の料理を食べる・令司を食べる・令司を丸洗いし食べる。勝ち抜いた？エロ嫁達を令司が隅から隅まで食べる等など…。令司が気絶？体力が尽きる？まで続けたのだった。全員体力馬鹿だから凄い事になりそう…

そんな素敵な素敵な幸せな時間を盗撮・盗聴するだけの組も幸せに逝っていたとかいないとか…。オープン基地は色々オープン？である

☆☆☆

素敵な素敵な分からせパーティーが終わりました。メルクーリアの面白い料理は凄く強烈だったようで1週間経っていました。オープン基地所属の全員をペロリと食べたのだった。頭、可笑し過ぎですよ？メルクーリアは加減を知らなかったようです

「「「ZZZZ……。んっ♡指揮官♡……んっ♡好きいっ♡ZZZZ……」」」

「「「ZZZZ……ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡ありがとう♡」」」

「むにやむにや…。あなたあゝゝ♡愛してるわゝゝ♡やんつ♡激しい♡もつとアヴローを求めて貪つてえゝつ♡むにやむにや…」

食堂内が大惨事であります。凄く臭いますし、湖が至る所に出来ていた。エロ嫁達の温泉（おし〇〇）も出来ていた。汚い風船はありません。多分そんな物はこの世界に存在しない。それに、頑丈な氷の壁の一部が溶けていた。高濃度のオスフェロモンと高濃度のメスフェロモンで熱くなったのが原因であります

氷饅頭達と炎饅頭達は必死に食事と掃除をしているのだった。他の属性？の饅頭達も協力しているのだった。凄くキラキラして張り切っている。逞しいですね…。食欲の権化で良かったですよ…

「Zzzz……………んはっ?!あがっ?!痛つてえゝゝ?!ううう…っ。あつ、飲み物?ありがとう、炎饅頭達。ゴクゴク…。んぶはあゝゝ。スツキリしたぜ」

素敵な分からせイヤラブが終わった。起きてきた令司に気付いた炎饅頭達は飲み物を渡し、食事兼掃除を再開するのだった。炎饅頭ならではの炎を出して燃やして掃除をする。跡地は氷饅頭が修理するのだった。修理しながら新しい作品を作っているもいた。溶けた壁に作品を描くのだった

はっ?!寝てたぜ!うっ、頭痛あい!確か、メルクーリアの料理で酔っ払って壊れたんだよな…。煽りにノって分からせたんだっけ…。みんな進んで分からせられに来たっ

け……。曖昧だけ……。

ふう……。炎饅頭の出してくれた飲み物でスッキリした……。美味しくて凄くあったまる……。日付は……。えっ？1週間経つてるじゃん……。ええ？ぶつ通したのかよ……。？ビツクリだわ……

途中でメルクーリアに何が入ってたのか聞いたら「スピリタス♡（愛え○・潮・血♡・精りよ○増強剤♡）」……って。言つてたような気がする……。コレも曖昧だわ……

注）令司は特殊な訓練を受けています。真似しないように！いや、出来るかあい！ですけど……。記憶が残っていたりいなかったりする。それでいいのかよ……。メルクーリアあ……。料理に使つちやダメでしょうが……。うん

饅頭のスペシャル？ドリンクでスッキリした所で周りを見渡すと、みんな全裸で幸せな顔をして寝ているのだった。ツヤツツヤのモチモチである。美人度が増したそうかな？

「あはは……。メルクーリアつたらありがとうを連呼してビクンビクンしつぱなしたあ……。それで良く寝れるね？こつちこそありがと。ヨシヨシ……。愛してるよ。……。ん？」

まあ、そうだよね……。沢山分かせたからなあ……。多分……。それに盗撮・盗聴組がぞろぞろとここに集まってきた気がするんだよね……。しつかり相手したと思う……。うん……。○口はしなかった……。うん……

涙を流しっぱなしでビクンビクンし続けて寝ているメルクーリアの頭を撫でる。落ち着いた所で、とある全裸な2人を眺めるのだった

「ハアハア……。ハアハア……。す、すごすぎですう……。はっ……はっ……。青葉あ……イツクう……。はあはあ疑つてて……はあ……。ごめんなさいですう……。んっ……♡」

「ハア……ハア……。……つく……。また逝く！んっ♡はうあつ♡俺、もう逝きたくなあ！ひやんっ♡アツ♡アツ♡アツ♡」

「……………？青葉と川内……？だよな？うん……」

あるえ……？何か雰囲気違くない？開封済みの筈なのにさ？あつた気いするんだけど……？抵抗してたけど落ちていった気いする……。被つてたつけ？被つてないと思うんだけどな……？

う……ん……。分かんねえ……。凄く似てるんだよなあ。青葉・青葉、川内・川内で抱き合つて貰つて食べ比べたような……。いや、背後拘束してだつたつけ？くそう……。どれもこれも記憶が曖昧だけど、この匂いと状況で事実なんだよなあ……。令司君？お前さあ………。元気過ぎるよお……。

腕組みをして、ドエム基地の青葉と川内を眺めてうんうん考える。オープン基地の青葉と川内が足音を立てずに背後から抱きつくのだった。右腕に青葉、左腕に川内である。「指揮官、呼んだあ？なあにドエム基地の青葉と川内をまじまじ眺めちゃつてるのさ？

あつ、もしかしてまだ出し足りないの？ええ？沢山出してくれたのに？ふう
 うつ」

「……………えつ？青葉・川内？今、何て？足りたよ？寝てるじゃん…」

うん。これは確かに青葉と川内だな。令司君はお寝んねしてまうす。足りましたよ。
 はい！ドエム基地…。うん？ドエム基地の青葉と川内い？聞き間違いないかな？
 う？あ？、両耳気持ち良い！

「じゅぞぞぞ！じゅぶん…。…ん？足りたんだ？良かった。何って、ドエム基地の青
 葉と川内って言ったんだよ？何度も何度も分からせられて、やっと信じて貰えたよ
 う。あは♡」

「そうか…」

いや、そうか…。じゃねえから！聞き間違いないやなかった！あつ、2人の両手葉
 指を良く見たら結婚指輪してないじゃん…。気付けよお、俺ええ！信じて貰えて
 良かったねえ！何を信じてなかったのか知らないけれどお！

スピリタス等が入って理性などが壊れたのだから気付けませんよお？ドエム基
 地の2人は同意してたのだからへーき、へーき。信じてなかったのは男性が指揮官をし
 ているって事

だって、この世界は貞操逆転してて男性貴重だし…。女性指揮官の発言によれば、男

性は軍の女性全員嫌いなようですし？女性の方が色々強いからか？

そんなの関係ないね！な、令司によつて2人は身体で素敵な体験をしたのです！その時の映像がこちらになります

◇

「何処に連れて行くの？…えっ？ここ北方連合の建物でパーティーをするの？いつも通り第1食堂で食べるの………えっ？きやつ?!だだだだ男性の氷像がいつぱい?!?!?それぞれセクシーポーズをとつてる♡んっ♡」

(写真いつぱい撮らなくちゃ♡ふへへえ♡すっごい♡多分、等身大だね？背、高いね♡英雄しい♡好き♡うふふ♡)

「(いつぱい写真撮つてる。抱きついたり、握つたり…。デレデレしてるね？良かった♡氷饅頭達、ありがと♡) 青葉・川内？サツサと食堂に行くよ？」

「はあはあ…はあはあ…。あつ、待つてえく?!」

「はあい♡食堂に着いたよ。うっわ♡うふふ♡指揮官、すっごい♡」

「?!?!」

「がいちゆう♡凄すぎ♡愛してる♡すくすく」

「指揮官様あくく♡はあはあ♡大鳳を孕ませて下さいましくく♡んんんくく♡はあん♡これで出来ますわくく♡うふふ♡あはははははは♡んちゅ♡ちゆるる♡んむっ♡ん

「っ♡んっ♡んっ?!」

「?!?!何っ?!だだだだ男性?!本物?!あつ、すっごく良い匂い♡逝くうっ♡ん♡ハア…ハア…はっ…んっ…。きゃっ?!」

(うっそっ?!ずっと言つてた事は本当だったの?!きゃっ♡氷像の男性じゃん♡本物、エロセクシーすぎるよっ♡ちち乳首丸見えっ♡やつたっ♡もう、ゴールしたい♡アンケートに関係持ちたいって回答したし♡)

「はあはあ…。あつ、ちよつと?!青葉?!青葉の背後に回つて拘束してなん…むう?!…んっ♡♡♡♡?!♡♡♡♡?!♡♡♡♡」

「拘束されちゃつた…。青葉、すっごく気持ち良さそう…。俺も…繋がりたい♡あつ♡来てくれるのか?うれ…んひい♡んむちゅ♡んっ♡」

「指揮官!ドエム基地の青葉と川内を味わうのもいいですけどお!?!来たっ♡これこれ♡青葉のここで気持ち良くうっ♡んぎゃ♡」

「あつ♡あつ♡あつ♡信じてなくてごめんなさい!ありがとうごさいます♡ありがとうごさいます♡食べ比べられてるう♡あん♡」

「はあはあ…。俺っ娘の川内とあたしの食べ比べ…。んっ。気に入つたよ…んんっ?!♡きたきたっ♡♡」

「令司様♡檜野の母乳召し上がれ♡あん♡いっぱいありますから♡急がなくて良いんで

す♡んっ♡はい♡来て下さい♡準備は出来あっ♡んむっ♡」

ドエム基地の青葉と川内は、令司のセクシーポーズで発情して、抱き付いたり、息子を握ったり、何枚か写真をとった。そして食堂に到着するとすごい良い臭いを嗅ぐ。令司の令司君が色々と出しまくっている最中なのだった。エロ嫁達は気絶していたりしていた

本物の男性を見て固まった隙にオープン基地の青葉と川内は背後に回って拘束。足りない令司食べ比べをするのだった。偽物の男性って居るのか？もしかしたら偽物はフタっ娘の事なのかもしれない。知らんけど…

一部抜粋して映像をお送りしました。令司、ワイルド過ぎるよ…。気絶組に容赦なく追加攻撃をする。エロ嫁達はずつとキラキラしていました。コイツらやつぱりインキュバスとサキュバスじゃないか！まあ、一部はサキュバスなんですけどね…。サキュバス軍団ともバツチリヤったのだった



えっ？他所の基地、ドエム基地の青葉と川内なのおっ!?で、何度も何度も繋がったと

… あはは…。 やつちやつたZ E ☆ドエム基地の指揮官、何て言うのかな？ ネットリしちゃった…。 嫌いでしょうよ…

「そっだよ♡ あくくっ！ 『やつちやつたZ E ☆』 って顔にかいてあるくく。 良いじゃん♡ 幸せな顔して寝てるよ♡ はい、これ。 ドエム基地の女性指揮官の書類だよ♡ とある文言あるからネットリしてもへーき♡ へーき♡」

「良いのか…。 ありがと…。 読むね」

「はあい♡ ふうくく。 じゅぶん… じゅちち…。 じゆるる♡ くくっ♡」

バレてえら…。 へえ？ ドエム基地の指揮官って女性なんだ？ …… あっ、そうか！ 男性貴重世界だったわ…。 うくくん…。 男性の指揮官って存在するのかな？ いたら会いたいわ…

あっ?! やつべえよ…。 他の基地と交流してなかったわあ…。 このドエム基地の女性指揮官と会うのは良い機会かもしれない…。 連絡しないで訪問するか？ 連絡いれたら何か悪い事隠しそうだし…。 一応それっぽい書類作成するか…。 外の空気たっぷり吸いたいし

よおし、書類読もうか…。 枚数多いな…。 どれどれ？ どんな女性かなあくく？ うくくん何か、同じ文っぽいわ…。 おっ？ 写真がついてる感じ？ ふむん…

軽く流して？ 書類100枚を渡す2人。 しつかり令司のお尻を揉むのだった。 令司

は気にせず書類を読み進めていくのだった

確かに他の基地の女性指揮官達と交流してないですね〜。エロ嫁達との交流は毎日してましたけど…。基地から外へ出かけてませんもんね？一般女性達も見えませんし…

連絡入れても悪い事を隠したりしませんよ？身の潔白を証明する為に直ぐに全裸になります。つて、事を知らないのだった。常識が違うのですよ？

同じ文っぽい100枚全てに目を通した令司。全裸写真もじっくり見ました。写真はドエム基地の青葉提供であります。余談ですが、オープン基地の青葉も様々な令司の写真を持っています。オカズにした事は一度もない

「ふう〜ん…。そっか〜…。そっかあ〜…」

とある文言つてこれか？100枚全ての冒頭にあつたこれ…

『深淵のお嬢様！私を含めてドエム基地全員と肉体関係を持つて下さい！お願いします！全員にアンケートを取つたら（元帥だからいつか…）肉体関係を持ちたいと回答されました！結婚しなくてもいいとの事です！ただ、私、咲耶とは結婚してお使い下さい！お願いします！お願いします！』

ドエム基地全員つて…。何人居るのお？俺、深淵のお嬢様じゃねえんですけど…。男

性ですよ？ふうん…。地位は元帥なんだね…。一番偉いじゃん…。ビツクリ。何でも出来そう…。つてなつたわ。名前は咲耶で、大将ですか…

フタつ娘達に求婚されてるけど全てお断りしてます。つて…。女性陣に天然物がついてるのか…。どん位です？多分、こつちの世界で暮らしている男性より大きいのでは？小説でそんなのがあったよ？マジなら転移者で良かったかもしれない…。勝てるかも…。知らんけど…

あつ、全裸写真ご馳走様です。おマを開いて見せてくれるなんてなあ…。どんだけ溜まつてるのよ？…そういや、玩具は無いってローンが言つてたわ…。指か、フタつ娘とね？後は、クリームとか飲み物とかだな…

貞操逆転世界つて美醜もセットで逆転してるイメージがあったからKANISEN以外の女性つてみんなボンボンかな？つて思ったけど、咲耶はボンキュボンだったよ…。超美人。すげえタイプだわ…

美爆乳を駄肉呼ばわりつて…。フォーミダブルタイプですか…。今回の暴走？でヤツたと思うけど…。勝ち抜いたわ♡とか言つてたっけ？それと趣味の披露は酔つてない時にするとか言つてたような？

でさ？全裸なのは良いんだけど両目つて盲目なの？アイマスクの種類豊富だねえ？100枚以上あるんですか？どれもエロいよ…。勃っちゃうよ…

咲耶（読み・さくや）は、両目をエロ過激セクシーな模様をしたアイマスクで隠している。100枚全て違うのを着けていた。早く会ってそこん所を質問攻めしたれ？

「読み終わったみたいだね。青葉、気になります！こつちの世界の人間の女性と1度も会ってませんかんね？」

「毎日ずつと基地内で交尾しまくってたからな…。理性ある方だけど駄目だよお…。まあ、大体想像はつくけど。スケベだからね♡」

「えっ。青葉と川内、想像ついちゃった？咲耶大將は超美人でエロイな〜つてさ？タ イプ。出来れば植え付けたいわ。咲耶大將は深淵のお嬢様にされたいようだけどね？」

植えたいよなあ〜？なあ？お寝んね中の令司君？

多分、咲耶って強いと思うの…。グズグズに溶かしたいわあ…。まあ、多分俺が沢山吸われるんじゃない？やったら男性が減っている理由知れそうだし…。命、賭けましよう。キリリッ

「やつぱり♡ローンがそう言うと思ったみたいでドエム基地にお邪魔してるよ？」

「ローンが？そつか〜！頑張りますよ〜？」

「咲耶を幸せにしてあげてっね♡何度も何度もプロポーズをしてたんだよ？一途だよね♡深淵のお嬢様の正体は男性です。ってローンが伝えるよ？写真に動画を見せるってさ〜。」

「動画なら男性つてわかるな！」

正妻が言うんじや頑張らないとねえええ!!………んっ?なんか廊下が騒がしいなあ? 何だ何だ?

咲耶指揮官との交流をしようとする令司。だがその前にセイレーンをお忘れですよ? 令司に会いたくて会いたくて横断してきたんですよ? 1週間経ってるのもう…

「あ〜〜♡居た居た〜♡やった〜♡来てたんだね〜♡令司キユン♡会いたかった〜♡うふふ♡いったきま〜す♡あんっ♡」

「うお?!んむ〜っ!」

「あら?ピュリファイヤーにオブザーバー?いらっしやい。楽しんでねえ♡」

「青葉と川内、ありがと♡んんっ♡凄い気持ち良い♡はあはあ…。オブちゃん、おめでと♡」

おお〜〜!ピュリファイヤーにオブザーバー!セイレーン達がお邪魔して来ちゃったよ!?!いらっしやいって…。俺の名前知ってるのね!?!というか見回り組を突破してきたのかよっ?!見回り組何してんの?あつ、敵意感じなあい

おっふ♡気持ち良い♡この感触は…。タコ脚器用に使うのね?ピュリファイヤーのおマの味美味しいぜ!もつと舌使って飲むよ!こら逃げんな!飲ませろ!敵意がない感じだからとことん突き会おうぜ!

出会っちゃいましたね〜？青葉と川内は敵意を感じないようでも武器などを構えません。気絶してた組も復活してたが、こちらも武器を構えません。参考にしたいようでもしつかり食い入るように見ている。良いのかそれで…

ピュリファイヤーとオブザーバーが居ると言うことは？双子オミッター、エディター、ニーねえが居るよね？遅れてやって来たのだった。見回り組い〜？何を見回ってたんです？あつ、セイレーンじゃなくて一般？女性達の方？

「あ〜〜♡オープン基地の指揮官って本当に男性だったんだ〜♡シリアスの言う通りじゃん♡ねえ♡エディター？ねえねえ♡令司い〜♡100回幕をブチ破って〜♡楽になりたあ〜い♡」

「ああ、そうだな…。オミッター…。ピュリファイヤーとオブザーバーの交尾凄くエロイ♡早く正の字を書いてくれえ♡（うっわ、龍を飼ってるのか♡他の世界線のより凄いい♡狂いたい♡）」

「凄いい♡凄いい♡凄いい♡凄いい♡気持ち良いわ♡令司キュン♡オブザーバーを堪能して頂戴♡もう、悪さはしないから〜♡沢山産み産みさせて〜♡」

「むっ。オブちゃん、ズルいよ？産み産みしたいのはみんなもそうなんだから♡男性の数増やそう♡休憩したら交代だよ？」

おらあああん！欲しけりやくれてやる〜！令司君！イッたれえ〜！気合！イれ

て！イキます！

「はあはあ…。みんな早いよ！あつ、35つち…。おひさく！元気にしてたみたいだねえ♡すつごい臭うね？不快じゃない♡良い匂い♡好き♡」

「あええ？ニーねえ？なんか…幻覚が…見える…。んっ♡」

「いろいろ吐き出した感じだね？幸せだね？あつ、もう幕奪って貰った感じだね？おめでと！あたしも奪って貰ったらエロエロしようね♡」

最上位？のセイレーン達が続々とやって来ましたあく！令司、おめでと！食べ放題の延長だよ！セイレーンのみんな、しつかり濡らして準備するのだった。ヤル気マンマンである。いつの間にか自分達の身体を縄で縛っているのだった。どうした？落ち着くのか？

「旦那様！セイレーンみんなと楽しくキスしながらズコバコしてる！素敵よ！ね！ニューカツスル！ウォースパイトったら、倍率に負けちゃったのよね！何してるのかしら！観てるわよね！」

「はい。素敵でございます。クイーン・エリザベス様。ウォースパイト様は任務の方で励んでいる事でしょう。はい。観てるでしょう」

訳・腕を組んでクネクネダンスをしているでしょう

セイレーン達の幕を次々と奪って逝く令司。即墮ちしているのでしつかり励んで驥

ましよう。これで平和ですね？令司の令司君は指揮棒だった？後は、ドエム基地の睨耶指揮官を調理するだけです。男性の数が少ない理由が分かるかもしれない？

☆ドエム基地☆

「んもう！何なのよ！本当に最上位のセイレーンが移動してたじゃない！しかも目的地はオープン基地！ああ！深淵のお嬢様あ！助けられない事をお許し下さい！」

殺されないで下さい！奪って植えて貰ってないですもん！

協力を要請して戦って貰ったのに、セイレーンは小破止まりでこちらは、ほぼ轟沈寸前って…、何かバグってるよ！？練度とかもかなり高いのにいっく！うがあくく！

オープン基地に協力を要請した？直ぐ解決するんじゃない？

「睨耶指揮官、ごめんなさい…。實力不足で…（ノックされてるけど気付いてない？またか…）」

「ホーネットは悪くない！頑張った！ありがと！オープン基地に要請出したけど頑張って♡ってさあく！あつ、書類の手伝いありがと！」

助けに行きたいのに事後処理とかの書類の山々に囲まれて動けなあいっ！ホーネットありがと。入渠してからすぐ手伝ってくれて！オープン基地の戦力があれば良いのにい！頑張って♡って何さあく！

みんな丸投げしたようですね…。良いのかよお

「どういたしまして。山々の一つがようやく片付いたね」

「そうだね」

サボってないのに！速記してるのにいっつ！パソコン使いたいよっ！明石から何度も提案されてるんだよっ！楽だったよっ。深淵のお嬢様は相変わらずだんまり決めてるしっ！

荒ぶってる咲耶指揮官。書類の山々を必死に減らす。セイレーンはやつぱり？強いんですね？そうするとオープン基地の戦力は頭可笑しいんですねっ？令司の愛のお陰か？

執務室を何度もノックされているのだが気付いてないようです。毎度の事なようなので、秘書KANのサポート？のホーネットが黙って開けるのだった

「咲耶指揮官、荒ぶってる所、申し訳ないです。そのオープン基地の正妻のローンが来ていて、お話がしたいとの事です。談話室で待機して貰ってます」

「えっ?!正妻のローン様が来てるの?!高雄とホーネット！一緒に居て！ボイスレコーダーを持参して…。ヨシ行こう！」

◇

「お待たせしました。ローン様。あつ。ボイスレコーダーを使わせていただきますね

「？」

「咲耶指揮官…。お邪魔してます。ええ、どうぞ」

「えつと…。最上位のセイレーン達がオーブン基地を目指しているとの情報が入りました。協力を要請して戦って貰って食い止めてたんですが、進行を止める事は出来ませんでした。深淵のお嬢様は殺されてないですよね？」

殺されてませんように！殺されてませんように！

「殺されてませんよ。むしろ、セイレーン達を（肉体的に）殺してますね♡」

「良かったです。本当に良かった」

良かったあ〜！うん？セイレーン達を殺してますね♡の前になんかボソつと言ったような？えつと〜？そのビデオカメラは何かなあ〜？全裸になって潔白を証明しろよと？しますよ？色々舐めますよ？

「後、深淵のお嬢様じゃなくて男性ですよ？令司って言います。四季令司。ローン達の旦那です♡このビデオカメラの中が証拠です♡観て下さいね？うふふ♡」

「?!?!」

えつ？ウソお？青葉と川内の報告書に書いてあった事って本当なの〜?!みんな信じてなかったけど?!あつ、ホーネットと高雄、メスフェロモンの濃度上げたね？ナメクジじゃない？多分私もなってると思うけど…

「は、はい！観賞しますね」

ローンも含めて観賞会を開いたのだった。談話室以外でも見れるようにした咲耶なのだった。食堂や各携帯などなど

「「……………♡」」

「ねっ♡こつちの基地の青葉と川内の言つた通り男性だったでしょ？どのKANISEN達も素敵な奪い方よね♡最高ののよ♡」

「「は…はひっ♡」」

本当だったく!!!何なのよ♡痺れるイケてるボイスに龍ちゃんは♡軽イキと本イキを交互に叩きつけられて腰砕けたじゃない♡沢山漏らしちゃった♡それに乳首にサポーターを着けてない！見放題！パンツはどれも清楚！ヤリビツチって存在するんだ♡ありがとうございますう♡

「書類を見させて貰つたけどね？とある文言通り、咲耶大将の基地全員、食べるわね♡そつちの青葉と川内は開封されたわ♡」

「「?!?!」」

えっ？何それ？天国♡拗れ処女の性癖を丸つと包み込んでくれるんですかあ?!産み産みして良いんですか？

見たら何KANISENかはもう産んでるし♡目の前のローン様も産み終わってる

…ど、どっち？男性なら私以外の腐ってるメス共を喜んで差し出しますよ？私って優しい♡

「あつ、そうそう、咲耶大将の容姿って旦那のタイプドストレートだから♡よろしくね♡

♡「!?!?!?」

「!?!?!?!」

和づ？そうなの？ありがとうございませう♡プロポーズ書類、諦めなくて良かったあ♡

♡

「これからずっとよろしくね♡咲耶？ドエム基地のKANSEN達？」

「は、はひい♡」

令司い！咲耶は令司の事好きだぞ！沢山植えつけてやれよな！この世界の男性の数を増やせよ！

うん、早いね…

メスガキのメルクーリアの面白い料理により、令司が壊れて1週間ぶつ通しでハツスルし続けた。その結果、エロ嫁達、KAN-SEN全員と関係を結んだのだった。お突かれ様です。みんな幸せな顔をしていますよ

令司は難関？なアンアンイワスゾ海溝を性…制覇したんです。おめでどう！令司も含めてみんなツヤツヤのモチモチ。凄いね！令司の身体はガリガリしていない！凄いい！WinWin！

頭が痛かった令司は饅頭ドリンクを飲んでスッキリしてしばらく休憩していた。そして青葉と川内に違和感を覚えた。そうでしょうよ。結婚指輪をしていないドエム基地所属なのだから…

オーブン基地の青葉と川内が背後からやってきて説明。令司はビックリしたが、嬉しい声をして寝ている2人とイキイキ奉仕をしている2人を見て良かったんだという事にした

オーブン基地の2人とイチヤイチャした後、寝ている2人の上司の全裸プロポーズ書類を100枚渡された。ドエム基地の女性指揮官の名前は咲耶。地位は大将。そして

令司の地位は元帥。令司本人は知らなかったようです。良かったなあ、好き放題出来るぞ！

その書類は海軍の正式な書類である。ふんだんに使用して凄いですね？深淵のお嬢様は令司を一途に思っていたようです

令司は咲耶が超タイプ（ドストレート）だったので、犯る事にした。青葉と川内はそう言うと思ったようで、嬉しい楽しい雰囲気を出してヤツちやえのゴーサインが出た。良いんかい！

それと正妻のローンもやって良いと言っていたとの事で頑張る事にしたのだった。エロ嫁達が幸せならオールオツケーです！な感じの令司なのです

廊下が騒がしいなと思った後、敵であるセイレーンのオブザーバーとピュリファイヤーが勢い良く登場。1週間もすれば到着しますよねえ？他の基地ちのKANIS EN達が頑張ったようですけど…

そんな2人は目の中を大きな♡マークをしていて、好き好きオーラ全壊で処女をあげた。令司の身体は惹きつける何かがあるのかもしれない

そして続々とセイレーン達がやってくる。見回りをしているじゃないか！なのだが、見回りしていたシリアスが会話して招き入れたのだった。見回りの意味無いです！

シリアスは『敵意が無いので誇らしいご主人様の誇らしいご主人様でメロメロになっ

て貰います♡』…と、一緒に見回りしていた伊吹・雪風などに言ったと言わなかったとか…

エロ嫁達は戦う気が無いし、セイレーン達も無い。令司が転移前に親友とお喋りしていた事を守って捕虜にしたかったとか。ザコつちはベルバスト…間違えた、ベルファスト達により沢山吐き出し続けたのだった。ニーねえはその後の状況を見てキャツキャするのだった

セイレーン達を嫁にすれば解決するんじゃないでしょうか？他の基地に迷惑がかかりません！オーブン基地は凄く大らか？でオーブンであります

☆☆☆

「ふう…。スツキリした。バキバキ鳴るなあ…！…で？」

やりきったよ。無事な令司であります。セイレーン達が来て2日目であります。令司君が枯れないでくれて良かったであります！はい！

…まあ、饅頭ドリンクで助かったのもあるかも…。気持ち良かった…。落ちるわ…。というか、もう堕ちた？美女達だし…。双子オミッターは美少女っぽいけど…

「はあ…はあ…。ああつ！んんんつ…。Zzzz……………」（沢山破かれたあ♡えへへ♡まだまだ破ってね♡乳首にキス出来た♡やったあ〜♡）

「うふふふふふふ♡正の字をウキウキしながら書いてくれるとは♡エディの逝った回数まで書かれた♡他の世界線のエディターより優れていたよ♡最高だ♡あははは♡」

「令司つちに捧げちゃった♡その後、寝てる双子オミツターにねつとり囁られて盗られちゃったけど♡令司つちの令司つち、気持ち良かったね？ピュリつち？オブつち？」

「ええ、そうね…。気持ち良かったわ♡令司君にタコ足をマツサージされて動けなくされた後、ドロツドロに溶かされたのは気持ち良過ぎたわよ♡20回以上気絶したわ♡しゅき♡れるお♡もぐもぐ…」

「気持ち良かったよ♡頭だけ令司君に沢山ぎゅーってされてカツコいい匂いをマージングされたのは嬉しかった♡それで身体本体が嫉妬したのは受けたな♡しっかかりぎゅーされたけど♡本体は令司君に捧げた後、エディに沢山やられたね♡照れるなって♡あつ、そろそろ頭付けて？」

「セイレーンみんなエロいよ♡拭き取らないのね？タコ足の両耳奉仕、凄く気持ち良かったです♡ありがとう♡俺ってピュリファイヤーの断面に即キス出来たんだなあ…。驚かれたわ…。たつぷり奉仕されたけど…。凄く持っていたな♡欲しがりさんめ♡」

「うふふ♡がいちゅ・指揮官つたらセイレーン達とラブラブするなんて♡流石ね♡ますます惚れたわ♡ふう〜♡」

「フィーちゃん、キュラソー…。そうだな…。流石か。背中にかい感触ありがと

う。気持ち良いよ…」

キュラソー…、サキュバスの尻尾で令司君を起こそうとしないで？媚薬を出さないでくれているのは感謝ですけど…。キュラソーの右耳ふうふう♡は効くううう。流石サキュバス！サキュバス達の耳ふうに舐めは慣れないわあうう！ぐわっ!?尻尾の先端でツンツンするなあうう!!!

ハアハア…。最初は一方的だったけどな？逆転出来たぜ！力は逆転していない？…のか？…良く分かんけどな？セイレーンみんな嬉しそうで良かった良かった

寝てる双子オミッターの100回奪って？はびっくりだったな…。何回奪ったって？20回だったか？知らんけど…。カウントの仕方とかは本人達にしか分からないだろうなあうう

…というかセイレーンみんなは、何故複数回破けるって分かっているんでしょ？「構造が違うの♡構造が♡」で、済まされそうだわ…。うん。聞かなくらい。痛みが最高の快樂になっているんだらうな…。トロトロの顔してたし…。凄いわ…

オブザーバー、エディター、ニーねえは捧げた後、サクツと生やして沢山遊びまくっていたよね。シてるのをエロ嫁達全員が凄く冷たい目で見てたわ。冷たい視線でなんかゾクゾクしちゃった♡エロ嫁達は一度もしてないって言ってたし…

癒し刑の激重な極刑かもしれない。ピスマルクとテイルピッツがずっとすっごく泣

き叫んでたからな…。心から嫌ってたっばいし…。演技じゃ無かったし。まあ、多分癒し刑の部屋でそれっぽい事を体験したんだろうけど…。…そろそろこっちの世界でVR使いたいわ…。どんな内容かな？

フィーちゃんときュラソー、抱きついてるだけなのにフェロモンポンポン撒き散らしてるよ。本当にありがとうございます！良い匂い♡

シエフィールド、キュラソー、令司の3人とも全裸。というか、食堂にいる全員、セイレーンも含めて、全裸です。セイレーン達の姿を説明すると

両手を繋いで幸せな顔をし、垂らし続けて寝ている双子オミッター。時々ビクンビクンする。夢の中で令司やサキユバス達？にやられてる可能性がある？

うっとり顔で正の字を撫でるエディター。夢が叶って良かったですね？すごく目がイッてます。目薬使いなさい？それと全身正の字だらけじゃないか！令司の正の字は少ないようです。そりやそうか？エディターは敏感なようです

両目がトロンとしていて両手を顔について穴を作って興奮し、垂れ流し続ける2番テスターことニーねえ。胸周り拭きましよう？蜘蛛の巣張ってます♡

タコ足全部を自分に絡めて垂れ流し続けているオプザーバー。首絞めしている足あるけど大丈夫なんだね？令司が触ったであろう足を美味しく舐めちゃってます。いや、食べました。そして生きていきます。愛おしくお腹を撫でる。ええ…。？もしかして無

限にたこ焼き作れる？

頭と胴体が別々になっていて、本人いわく本体（胴体）。が頭を持つて向かい合っているピュリフアイヤー。勿論、垂れ流し続けている。本体は正座している。思い出したのか本体がクネクネしている

…が、広がっていた。それと、全員にサキュバスの淫紋もどきがおへそ周りに刻まれた。サキュバスの見習いといった感じか？服従の印とかかな？本物のサキュバスであるキュラソーは何故か自分の淫紋を撫でた。盗撮・盗聴しているサキュバス達も同様に撫でた

注）垂れ流し続けている＝下の口の愛え…などの事。触らないでヌルつと出来る。便利です

「「令司君・令司。気持ち良かったよ♡メスにしてくれてありがとう♡」」

「どういたしまして…。喜んでくれて良かったよ…」

「「うん…。それでね？そのお…、みんながしてる結婚首輪が欲しいな♡」」

「「あら～♡（本気になっちゃってる～♡流石♡結婚首輪…。確かにそうかも♡うふふ♡）」」

「…えっ?」

すっごくうふふな顔から大真面目な顔をして言った事が結婚首輪あ～??? チョー

カーや、鎖の名称か？ちよつと低い声を出したら土下座したよ…。セイレーン達でも流
行ってるんだね？うっわ…、ブルブルさせてるし、ドバツと垂れてる…。ええ…

もう悪さをしないって言ってたからするか…。男性を産み産みするっぽい？貢献
したれ！もってけ！俺のを！それで、俺の息子達！世の飢えた？女性達を幸せにしたれ
！お父さん、これから飢えた？軍女の咲耶とラブラブするから！

「うん…。そうだな…。結婚首輪、あげるわあつぷ?!」

「や〜ん♡がいちゅ・指揮官つたら流石♡パフパフされてる♡」

ふお〜♡乳死ですぞ〜♡素晴らしいじゃないか！あ、頭撫でられてるう〜♡あ
あ〜♡ばあぶう♡…はつ?!?!ふう…。闇ママが誕生したぜ♡

…で、ずっとキュラソーの尻尾奉仕されてたから起きちゃったぜ☆それで包まれ
ちやつたぜ♡媚薬が少しずつ流し込まれていく！器用！サキユバスって本当に凄いよ
！しゅき♡

「「ありがとう♡ちよつとキュラソー？起こしたら双子オミッターのにブチっ♡とね♡
1度寝たら何しても起きないから♡」」

えっ？良いんだ♡いやっふ〜♡?新しい扉開けま〜♡す♡というか、多分、もう開
けてるかも？いや、でもローンがキツツイ癒し刑を受けたっぽい？録画してるなら見
たいわ…。機会あるかなあ〜♡?無いよなあ〜♡

「ハアハア♡あら♡素敵ね♡オミッターちゃん達も喜ぶわね♡」

「「お互いを向かい合わせて抱き合わせてえ〜♡縄で拘束して…、はい♡準備完了♡
はあい♡令司君・令司つち♡イツけ〜♡」」

「はあい♡指揮官、ごめんね？双子オミッターちゃんの幕破り再開してね♡（嬉しい♡美味い♡嬉しい♡ヒック♡美味しい♡ヒック♡この行為をさせてくれるなんて♡ヒック♡嬉しい♡しゅき♡愛してりゅ♡ヒック♡」

あつ！ちよつ…！身体が勝手にいあああつ♡寝てる時の双子オミッターちゃんの感触なんか違う！凄いい！あああ〜♡止まんねえ〜♡

「んんん♡Zzzzzz………Zzzz………」

3人によるパフパフとナデナデでいぶ堕ちた令司。キュラソーの尻尾奉仕により令司君は元気に。令司君チョロいぜ…。チョロ口過ぎる。まあ、頑張り屋さんですもんね…

キュラソーは奉仕して酔った。サキュバス殺しの名称が授けられるでしょう。というか既にエルドリッジ、天城、フリードリヒ・デア・グローゼでサキュバス調教師の称号を持ってました。キュラソーは尻尾を舐め始めた。エロいよ。サキュバス流のオ♡ーかな？

双子オミッターちゃんて新しい扉を開けて沢山堪能するのだった。セイレーン達み

んなど、シェフワールドとキュラソー達も暖かい目で見守る。双子オミッターは、セイレーン達の愛娘みたいなようです

饅頭達もそんな状況を見ながらせつせと食事と掃除をするのだった。イキイキしていてキラキラしている。平常運転であります

寝ている双子オミッターをたつぷり愛した令司。本当に1度も起きなかったし、オプザーバー達は盗まなかった。その光景を見て自分達とまた…♡という展開にもならなかった。満足したようです

饅頭達作成の結婚首輪を着けてあげてキスとハグをして別れたのだった。オプザーバー達は嬉し泣きをした。そしてザコつちを囲んで抱きついて眠りに落ちていった

☆☆☆

「……………えつとくくく？第5食堂がある建物はここで合ってる……………のかな？」

えつ？ふつるくくく日本の屋敷じやん…。いや、武士の家？古民家？とにかく味のある屋敷ですわ…。庭あるし…。カツコくんする獅子脅しに、水車がある…。この電力は水力か？池には鯉？です？なんかデツカいわ…。が、泳いでるわ。何年物？

ヴァカみたいに広いわ…。絶対畳があるでしょ？茶道室ある、弓道場ある、柔道場はある？んでしょ？色々ありそうだわ…。…えつ？…合ってるの？

セイレーン達みんなを嫁にした令司は『がいちゅ…、ううん。指揮官。はい。この地図に書いてある所に行つて下さいね♡』

と言われ、1人ブラリ旅をした。途中で遭遇するイベントもエロエロイベントも1度も無かった。令司を求め過ぎたから我慢しているのか？それか演習や遠征、睡眠などにしているのかもしれない。立派な屋敷にお邪魔して第5食堂を目指すのだった。令司の服装は着物。似合っている

このヴァカみたいに広く古く味のある日本屋敷には畳・茶道室・弓道場・剣道場・射撃場が複数ある。柔道場？そんなのは無い。寝技が得意な令司は、何処でも寝技を仕掛けられる（何言つてんの？）

屋敷を管理しているのは長門・陸奥・伊吹・江風である。見習い？として駆逐艦全員（重桜・鉄血・ユニオン・北方連合・ロイヤル）が管理する事もある。勿論、饅頭達もいる。饅頭達は着物を着ている

「~~~~♪おつ、第5食堂つて看板がある。良かった。合つてたわ…」

木の良い香りがするぜ…。ヒノキかな？いや、スギ？まあ、いいや…。第5食堂まであるのすっかり忘れてたわ…。北方連合の食堂が第4だったんだな…。遠いし、寒かったけどね？第3食堂まである建物が本館だとか…。地図にそんな情報載つてないよ…。聞かない俺が悪いのか？

「どうでも良い情報なんだろうね…。食事は娯楽っぽいし…。すっげ〜食べるけど…。それでスタイルを維持するとは凄いわ…。まあ、激しい運動してるからね〜？俺とも運動（意味深）するし…。お〜、出来たての良い匂いするわ〜♡邪魔するよ〜？」「これで、じゅんぴはできました。…あつ！ごしゅじんさま！みんなといっしょにあいじょうとかんしやをこめてつくりました！たべてください！」

「「「「つくりました！おとうさん・おとうさまあ♡たべてください・ですわあ♡」」」」
「「「「えっ？あつ、うん…。食べるよ…」」」」

「…はっ？えっ？ちよっ…、うん？ベルファストがちっこくなつた…？胸は巨乳…。大っきいベルと同じかちよい下だな…。メイド服で優雅にお辞儀してるよ…。眼福だぜ。大っきいベルファストの教育のお蔭かもしれない」

後、ニューカッスルの教育。…って、ニューカッスルもちっさくなってるし、すっげ〜笑顔?!表情筋、イキイキしてるね?!胸は…。うん、巨乳ですな…。大っきいニューカッスルの胸、しっかり揉んでやろう!育乳つて出来るのか?

お〜お〜お〜!ベルファストとニューカッスルが抱きついて胸が凄い事に♡良いねえ♡良いねえ♡あつ、着物饅頭達、写真撮ってる。グツジョブ!後で頂戴

赤城・加賀…あつ空母の方ね・大鳳・天城・鳳翔・シエフィールド・クリーブランド・クイーン・エリザベス・ウォースパイトなど…。も、ちっさくなってる…。クリー

ブランド…、娘に胸、負けたよ？揉んで大きくせねば！）キリイ!!!

流石エリちゃんですわ…。引き継いでるよ…。エリちゃんを見るウォースパイト、すっげ〜凍ってますね〜？ドM男子のご褒美っすね…。ハッスルしまくりじゃん？あつ、こつちの世界の男性は弱めだったかな？そーういや、男性とも会ってないわ…。というか会えるのか？知〜くらない！

娘達が居て、料理を作ったようです。一部の胸は完熟している。クリーブランドは泣いて良いと思う。ちっさいニューカッスルの表情筋は生きていて、すっごく笑顔である。大人のニューカッスルはどんな心境なのでしょう…

ちっこいクイーン・エリザベスは腕組みをしてドヤ顔をしている。バッチリ遺伝してますね…。胸は巨乳である。ちっさい身体とマッチしている。流石女王。ちっこいウォースパイトの胸も巨乳である大っきいウォースパイトと同じ位。みんな育ってますねえ〜？

そう…。リトルシスターが勢揃いなのである。令司はお父さんになったのだ。おめでとう！転移して来て2週間ちよつとで♡快拳かもしれないよ！

うん、早いね…。リトルシスターズ…。構造違うと言ってたし。こう…ストーンと産み産みして勢揃いするとは…ねえ…？まあ、3回位？理性や諸々が壊れたからね？沢山ハッスルしたからなあ…

外はアブノーマルって凍った表情で言ってたし…？準備ならオツケーだったと思う…。ヴェスタルで証明してるし

あつ、料理美味しい…。どれも美味しいよ…。う…ん…。大人のシリアス…。マンツーマンで料理教えるか…？ガサツ飯だけど…。いや、ここは鳳翔を頼るか…

「おいしいわよねえええ!!」

「んぐん…。美味しいよおおお!!ローン!!」

ほわ…♡ちっさいローンがメイド服を着てる…♡似合ってるよ♡ちっばい、可愛い♡お父さん、抱きついちゃう♡

「よかつわぶつ?!んんんっ♡きゅ…」

「にゅーかつする、はなれてえ…。はあ…はあ…。あ…ろーん、ずるいです!べるもぎゅ…されたい!」

「よしっ。みんな、おいで♡ハグしよう♡頭も撫でるよ?」

ハグして、とうるうる目してるんだからね。やるよ♡沢山する♡させてください!

「「「っ!!…はいい♡ごしゅじんさま・おとうさん・おとうさま♡」」」

良い笑顔…。娘達のを奪う気にはなれないわ…。誘われたらどうなるか分からないけど…。ま、多分、息子達が頑張るでしょ?ヨシヨシ♡

食後にハグをする令司とリトルシスターズ。ついでに頭を撫でるのだった。下の口

は大洪水になっていない。大丈夫。誘われ無いから。令司の予想通りセイレーン達が産み産みした息子達が頑張るからb

「閣下？閣下に読んでも…ああっ♡ハアハア♡んっ♡目の前に尊い光景が広がってる♡ありがとうございますう〜♡（やだ♡閣下の着物、似合い過ぎる♡）」

大人のアークロイヤルがやって来た。手には書類を持っている。書類は女性の仕事の筈だが令司に見せる必要があるのかもしれない

「あつ、おかあさん。産み産みしてくれてありがと♡ぎゅ〜♡えへ♡」

「どういたしまして。うぐっ！（はあ♡可愛い♡書類を置いてなでなでしちゃう♡ムラっちゃった♡出来ればこの状況で閣下とハッスルしたい♡）よしよし」

「よしよしよしよし。…おっ？アークロイヤル、サプライズは成功だよ。その置いた書類、後で見るね？」

「んんんっ♡あつ…、ああ…。そう…してくれ…♡」

大人のアークロイヤルが小さいアークロイヤルとハグしてる。良いねえ♡…けど、大きいアークロイヤル、発情してない？この状況でハッスルしたいと思ってる…。…しちゃおっか？令司君、起きたし…。ほんとに凄いや…。新しい扉開けちゃいま〜す。着物脱いで…それイッケ〜♡

「きゃっ！かっ…んむっ♡んっ♡んっ♡んんん〜っ♡んっ♡」

「あ〜、おとうさんとあ〜くろいやるおかあさん、いやらしいキスしてる〜！すご〜くいつ♡めがとろとろでなみだめ〜♡サプライズせいこ〜？」

「おとうさまとあ〜くろいやるおかあさまが、てをにぎりながらいちやいやして♡たいほうもお♡はやくいちやいやしたいですわあ〜♡」

「しりあすおかあさまにおしえてもらったことをじっせんしたい♡あつ、しっぽからはじめてのびやくがでた♡ごくごく…。おいしい♡これをせんようのようきにいれて…。まんじゅうたちにわたす…。はい、まんじゅうたち、おねがいます！」

「おおう！息子達とイチヤイチャしたれ！アークロイヤル、キウンキウンしちゃって♡最高♡愛してるよ♡」

令司とアークロイヤルが娘達の前でイチヤイチャし始める。こいつらの頭だいが弾けてます。両手で目を塞ぎ隙間から見られるのも居れば（アークロイヤル、クイーン・エリザベスなど）、ガッツリ見つめる（赤城・大鳳・隼鷹など）のも居る。早速教育してますね…。息子達よ、頑張り♡

☆☆☆

「…へえ？咲耶、結婚宣言出したんだ。プロポーズしまくっていたフタつちゃん達が大荒れするの予想してたけどあつさり引いたんだね？宣言書を書いたと…」

そこまでするんだ？こっちの世界にそれっぽい法律あるんだ？女性だから？ざっと読んだけどなんか厳しい感じ？女性つてだけで負け組か？ふう〜くん？幸せにしなきゃ!!!（暗黒笑顔b）

「そうね…。咲耶は優しいみたいなのよ？書類を読み進めていけば分かるわ。饅頭達、シスターズのお世話ありがと♪」

「そっか…。ちゃんと読むよ…。まあ、枚数は30枚つて所かな？ふむふむ…」

アークロイヤルとのイチヤイチャ教育を終えてリトルシスターズはお寝んねした。ぐっすりと寝ている。夢の中で勉強をしている。誰とも繋がっていないし、誘われてもいない

まあ、全員のファーストキスは貰いましたが…。リトルアークロイヤルのセカンドキスは大人のアークロイヤルに捧げた。饅頭に写真を貰おうと思ったのだった

アークロイヤルの美豊乳を背中で堪能しながら書類を読み込む。カラー写真付きである。動画は無いようです。残念ですね？

ほお…？ドエム基地内に女性記者達を100人呼んで全裸で会見したんだ…。ズラツと会社名が100社あるけどどれも知らない！流星、逆転世界。こっちの常識は非常識♪

多分、1番最初の『アーン』が最大手でしような…。バブっておぎやれるんじゃない？

おしやぶりずつと装備されそう…

10番目の『パンパン』って…。何なんだ？フタつちちゃんが多めに所属してるのか？色んな属性持ちですか？お邪魔したら色々刺さっちゃうぞ☆優しいと厳しいの2択じゃね？なんだ？最高じゃん♡うーん。多分、休憩無しじゃね？まあ、想像ですけど…

両隣は高雄と愛宕だな。両方とも猫かあゝ。コツチは犬だよ…。だから何？ですがね…。で、当然の様に秘書KANも全裸ですか…。身の潔白を証明する為かな？エロイアイマスは外さないつと…。瞳見てえゝゝ！オッドアイか？

ビックリしてたみたいだけど俺とエロ嫁達とのイチヤイチャを、デツカいテレビで放送したら食い入るように見たんだ？

みんな励みそうになったと…。へえ？そう…。フタつちちゃんも10名いて全員おつきしたんだ？で、放置したと…。フタつちちゃんの比率は少なめか？地位とかも低そう。偏見入ってるけど

記者の中でプロポーズしたのが3人居たんだ？お別れ会？という事で、壇上に招いて『ブルブル♡』という商品名の電動オ♡ールを装着してサクツ♡…とねえ？使い心地良かったっぽいな…。3人のダブルピース、バツチリ写真載つけてるし…。良いのかよで、処理は…。おお、咲耶、高雄、愛宕が3人に飲ませたのね…。飲み易いように味つけたんだ？メロン、イチゴ、モモと？ふうくん？

「読み終わったみたいね？あつ、イチャイチャする場所はドエム基地よ♡閣下とデートするメンバーは決めてあつて、天城・大鳳・ウォースパイト・シリアス・ユニコーン・セントルイスだから♡」

「そつか…。決めてくれてありがとう…。ドエム基地に向かうのは…。ふむ…明日か…。デート楽しんでくるよ♡」

「そうして頂戴。オープン基地の維持・管理とかはやつとくわ。咲耶をネットリヤツちやつてね♡閣下が転移して来て初めての人間の女性ね♡あつ、ついでにアークロイヤルとの感想を聞かせてね♡」

手で輪っか作ってるよ…。凄く楽しいって声色してるねえくく？まあ、そうだよな…。ずっと基地内でイチャイチャしてたからな…。他の基地の女性達と交流して世界観とかざつくり知らない…。大将に墮とされるか、墮とせるかどつちかな？どつちもオツケー♡

軍女じゃない、一般女性とも繋がればいいな…。♡エロアイマスクをするのは咲耶だけなのかも知りたいし？あつ、記者達もエロイアイマスクしてたな…。壇上に向かう時に外したし…。ずつとエロイアイマスクつけてるのかもしれない

「勿論♡維持・管理よろしく♡」

「了解しました♪幸せを感じてるわよ。閣下♪あつ、そうそう。そつちに毎日最大12

人デートしに行くから♡大丈夫、ムラッとしても強くないから…落ち着いたから」

「幸せを感じてくれてて良かったよ…。了解♪楽しみにしてるよ。でさ？盗聴・盗撮するって書類に書きちゃダメじゃね？」

「幸せに出来てた！良かった！本心だし！甘いエロ声してるし…。ドエム基地でも盗撮・盗聴は続けるようです…」

「そんなのどうだって良いじゃ無い♪咲耶、サインしてるし♪」

「あつ？…あつ、ほんとだ…。筆頭秘書KANの高雄のサインまである。マジか…」

サインしてたよ。マジか…。あつ、全員集合写真ある。咲耶含めて100名と…。了解いたしました♪

「令司君♡令司君♡令司君との結晶が出来たよ♡男の子2人！元気！立派！こっちの男性より強いと思うよ！見た事ないけど♪あつ、大丈夫♪奪ってないから♡軍女か一般女性に漢通して貰うから♡で、沢山姦わして貰う♡この身体は令司君だけにしか許さないから♡まあ、エディ達とは遊ぶけど♡はい、証拠写真♪青葉提供ね♪」

「…えっ？あつ？おっおう…。おめでどう。オブザーバー、ピュリファイヤー…」

「おめでどう♪私達の娘達にチャンスがあるな♡素敵じゃないか♡」
息継ぎしないで早口で喋り切ったよ…。すげえくく…。着物似合うねくく！で？オ
ブザーバー…？タコ焼き食べてるけど、原料は自分のタコ足って言わないよね？（↑大

当たり！凄いな！)

ほあ??? 出会って3秒でゴール決めて、ドロドロのグチョグチョにして2日目の今日の昼にストーンと産み産み??? うん、早いね…。早過ぎるよ…。構造違い過ぎるよ…。すげえ…

証拠写真を見るとさ? もう、高校生3年生から成人じゃない? どう産み産みしたの?! みんな顔真つ赤、茹でダコじゃなか

まあ、そうだよな? お互い全裸でハグしてるんだもん。お美しい2つの果実を当ててるんですもん…。頬を擦り付けてますもん…。うん…。起立してますな? 立派なんじゃない? こつちの平均値知らん。資料とか無いし…。あつ、俺以外に興味なかったな…。まじか…

「チャンスあるよ? でね? エディは元気な男の子を5人にい?、双子オミッターは元気な男の子を6人産み産み? 証拠写真? こつちも青葉提供♪」

「素敵じゃないか!! なあ! 閣下!」
「ほあ???」

…:…はあ??? ほほ? と? 男の子だけを? どんな確率だよ? こつちは高校生1年生から成人に後、社会人1年目! を産み産み!? 男の子産み産み宣言通りになつてんじゃない?! こつちも茹で蛸お? ひえ?!

ひえくく!!! 比叡お嬢様。息子とのスキンシップを終えてぶん投げて飢えた？女性と出会わせたよ！息子よ！頑張りなさいb 健闘を祈るb



「オミッター達嬉しくてね？お祝いでそれぞれ指で2回破つてあげた♡だから4回破ったね♡エディは、発狂気絶して精神が別の世界にお邪魔してるよ♡そこで孤独で愛情に飢えていて強い元気な男の子を100人こっちに連れてくるっ♡♡目が覚めたらあちこちで元気にハッスルすると思うよ♡♡きやは♡♡」

「それは素晴らしい！素敵なおプレゼントをバラ撒いて♡閣下、愛してる♡ちゆるる♡れろれろおくく♡♡じゅちち♡」

ちよつと、後半何を言ってるのか分からない…。まあ？息子達よ。しっかりと励めよ！多分かち合う事はないと思う…。おそらく、メイビー…

さあて！ドエム基地に向けて準備するかあくく！

司令、安心しな。息子達も司令と同様にしっかりと励んで男性をちよつとずつ増やしていくから！愛情に飢えた孤独な100人も頑張るから！

ドエム基地

最高の景色だぜっ!

セイレーン達と出会って3秒でゴールを決め、沢山破って遊ぶ。令司の令司君はいつも頑張っている。令司だけ、ブラツクな仕事?をしているんじゃないかい?

出会って2日目、全裸土下座で結婚『首』輪をおねだりされて悪さはしない判断を下してあげた。悪い嫁達が出来た。転移前で親友と語っていた欲望が叶った令司であった♡おめでとう!

着けた事により他のオスと繋がない宣言をする。本当かなあ?セイレーンみんなの結婚『指』輪に対する価値観は百合。だから何?な件について

令司に捧げた後、直ぐに何処からか出現させた指輪を左手薬指にハメて生やしたフタつちやんを使ったり、貝合わせをして遊んだ。KANISEN達が凄く凍った視線でセイレーン達を見ていた。令司の体温が丁度良くなる。どういう神経してんの?

シエフィールドに地図を渡され、地図の場所へ1人ブラリ旅をする。ヴァカみたいに広い日本屋敷が目の前に広がりました。ここに存在を忘れていた第5食堂があり、目指すのだった

ここの池で泳いでいるデカイ鯉。これを食べると下半身が元気になる。エロ嫁達が食べると感度が上がるんだとか？媚薬がたつぷり入っている餌を鰻頭達があげている。令司は知らないだけで何度か食べているぞ

第5食堂に着くとそこには全員メイド服を着たリトルシスターズが居た。おめでとう。お父さんになつたぞ♡みんな妻達より大つきいと同じ位の胸を持っている。発育がすんばらしくけしからんです。はい。大人のクリーブランドは負けました

それに一部の性格などが違っている。大人のニューカッスルは無表情なのに対し、リトルは表情豊かでリトルベルファストとイチヤイチヤ。大人の2人はそんな事をしない。ウオースパイトもそう…。良く分からないね？バグか何かかな？癒し刑？イチヤイチヤとはいわない

全員とハグと頭などでスキンシップ、料理も美味しく食べ、全員のファーストキスを貰った。着物姿の大人のアークロイヤルが書類を持ってやって来た。拗らせ？ているので発情してしまう。準備マンタンである

令司君が元気になつたので、発情しているアークロイヤルとシスターズの前で教育を施したのだった。2人ともだいぶ頭がアレであります。シスターズ全員もじつと見つけて勉強するのもアレですが…。多分、録画映像で復習するのもかも？

リトルアークロイヤルと大人アークロイヤルが百合キス。鰻頭達が写真を撮ってい

たので貰った令司。対価?として饅頭達にバシバシふくらはぎを叩かれたのだった。饅頭達、優しくて調子いいですね

30枚位の佐久間咲耶の結婚会見の書類を、大人のアークロイヤルの美豊乳を背中で堪能しながら読み込んでいく。カラー写真が数枚載っている。記者達全員もエロイアイマスクを着けていたのでそういう世界なのでしょう…

読み終わった所でタイミング良く、興奮しているオブザーバーとピュリファイヤーがやって来た。2人とも着物を着ている。オブザーバーは自身のタコ足を調理してタコ焼きを食べていた。自身のタコ足は美味しいようです

2人はワンピースで早口で貴重な男の子を産み産みした報告をする。青葉提供の写真より全員、高校1年生から成人、社会人1年目の見た目で産んだのだった。どんな構造をしているんでしょ?

それと、エディター、双子オミッターも男の子を沢山産み産み。女の子を1人も産まなかった。どんな確率なんですかねえ?令司、おめでとう。世界を救うきっかけになれたんじゃないか?

エディターママは、別の世界線の孤独で愛情に飢えている元気な男の子を100人を拉:この世界に召喚しました。これで、この世界の男の子の数が緩やかに増えていく事でしょう。息子達と孤児達、頑張っつね♡

盗撮・盗聴中のエロ嫁達もアークロイヤルのように興奮。そして癒し刑を誰もしなかった。落ち着いたんですね。良かった、良かった：

令司は明日、ドエム基地に向かうので、気合を入れて準備をするのだった。一体、何の準備をするのでしょうか？

ドエム基地では何が待っているのでしょうか。オープン基地以上にドロドロないチャイチャヤをするのか？名前通りでDM軍団なのか？令司と相性良いのか？頑張れ、令司

☆☆☆

「~~~~~つつつ♡~~~~アツ♡アツ♡ちよつ♡ダメエ♡ダメ♡アンつ♡ホンツツトツ、ダメ♡ダメダメダメダメエエ~~~~ツツ♡イヤアアアアアああ~~~~♡~~~~~~~~つツ?!?!」

「~~~~~つ♪……ふう~~~~。こんな所か~~~~。オブザーバー、ピュリアイヤー、ニーねえ？どうよ？全身をオイルマッサージュする為に作ったオイルを使われてさ？」

「」

「エツロ………。効き過ぎじゃん……。ええ？色々出し過ぎだよ……。ビクンビクンしてるし……。水分取って？ほらほら、グビつとね？」

ええ〜、こちら現場、マツサージ部屋に居るオイルマツサージ師の令司です

元セイレーン達、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえ事、2番テスターのオイルマツサージを施しました。するとすんばらしくエロい景色が広がっています!はい!現場からは以上です!最高の景色だぜっ!

現場の令司さん。ありがとうございます。令司の令司君のイライラ、ムラムラを目の前の3人に全部ぶつけてあげて下さいね?ね?

詳しく説明すると、3人がバカみたいに広いベット…、キングベットに横一列に並んで背中丸出しになっています。3人とも勿論、全裸。並び順は壁側からニーねえ、オブザーバー、ピュリファイヤー

そこで令司が張り切って作ったオイルでマツサージをした。で、ドロドロのグチヨグチヨの3人の出来上がり。出すもん出しまくりに沢山逝っていた♡令司、羨ましいゾ♡それでニーねえのニーねえを鎮めてあげてね?ね?

「あ〜…。なんか、変なテンションになったわ…。あつ?こうなつた経緯?」

誰に向かって喧嘩声出してんだろ?まあ、いいや…

ユニコーンのゆーちゃんやんがマツサージの勉強をした所でオイルを作つて準備しとこうとしてたんだよな…。で、最高の景色だぜっ!に繋がってるんだもんな〜…

この世界の女性の身体は敏感肌なのか、逝き易いのか、オイルが気持ち良過ぎたのか、

俺の手が神の手？なのかさっぱり分かんね…。神の手は違うだろう…

後、何なんだよ。甘いキ、軽いキ、重イキ、本イキ、ガチイキってさ？意味一緒な気がするんだけど？違う！って言われそう…。黙ってますねえ。男性と違って無制限に逝けるからね〜？ガチイキしまくってくれたら嬉しいわ…。うん…

「「はあ〜…：♡はあ〜…：♡んっ♡〜♡ツツ♡」」

この3人にこの世界の女性の身体に似せられるか聞いたたら、右手親指をグツとして

「「似せられるよ。行動もこの世界の女性になるかも♡えっ？変身して貰いたいのか？」」

の返事を貰ったんだ。何でもありですなえ〜？んな訳あるかと思っただのに…。から始まったんだよな…

で、速攻変身してもらいましたよ…。みんな凄く美しいすんわ…。どこのモデルですか？ってね？思わず抱きしめたよね〜。そしたら押し倒されて積極的にキスされたわ。それでしれつとニーねえにヌプつとね…。気持ち良過ぎる！ありがとうございませ！だったな…

変身して人間になったのでオブザーバーのタコ足達は、生き物のタコになってました。性別はメスです。艦装だったのかな〜？

令司達が盛り上がってイチヤイチャしてる所で、シエフ饅頭達がぐるりと囲んでメス

ダコの足を斬ってタコ焼パーティーを開いたのだった。何してんの? シェフ 饅頭達は? で、メスダコは積極的に斬られに逝っているのです。ええ? 何それえ?

ピュリファイヤーの首が取れるか試しても取れる気配が無かった。そうでしょうよ。で、オブザーバーとピュリファイヤーの2人はけしからん肉付きをし出したのだった。良かったじゃない。爆乳娘になれて:

終わった後、すぐ令司君が握られるとはねえ? 着くまで交代で3人にずっと可愛がつて貰いましたよ。ねつとりとね。令司君に唾液塗すんすね? ええ。すつごく気持ち良かった!

ただ、生殺しなんすわ。無駄撃ちをさせない! って手つきなんだわ。まあ、そうなるな。種、大事だもんね? みんなの手に付いた我慢な汁を美味しくペロペロする仕草、グツときちやったよ♡

玉ちゃんも優しく揉み揉みするし舐めるし、俺の身体はポカポカしてイライラギンギン! しつかり溜まっていくのが分かる分かる。危ない薬とか飲んでないんだけどなく。3人が谷間からなんか取り出して一気飲みしてたけどね? 谷間はポケットだったんだなあ♡

優しくして清楚な雰囲気はずっと撒き散らしてるのに、顔をトロトロにさせて一生懸命に奉仕。時々、俺の顔色を伺う。なんかギャップがしゅごい♡ 堕ちちやお♡

この世界の男性はこういった仕草とかが嫌いなのかも知れないなあ…。気持ち良いのに…。気持ち良過ぎで辛いのもかもしれない。ガツツリ痴女ってるからねえ？ ツーつと撫でられただけで…。ねえ？

そうしてマツサージ部屋に到着。令司君を放置して3人に手伝って貰ってオイルを作製して試し塗りしたら効き過ぎたみたい…。エロいエロい…。けしからん。ありがとうございます！みんなメスフェロモンプリン出してありがと！

イライラマックスだよ…。もう、良いよね♡で、最高の景色だぜっ！に至ります…。
イエイ！オイルマツサージ最高！

「えいつ♡」

「うおっ?!ちよっ?!ピュリファイヤー?!んむう?!」

「んちゆる♡んつく♡んつく♡ちゅゅ♡じゅるるっ♡んれゅゅ♡チュツチュ♡フッツツツ…フッツツツ♡」

ふおゅゅ♡ピュリファイヤーとのキス気持ち良過ぎるゅゅ♡キスのテクニクしゅごいゅゅ♡俺、絶対涙目だよゅゅ♡令司君、さわさわされてるしゅゅ♡

「えへへ♡令司君の令司くんをこの世界の女性に似せたアタシ達で奉仕するからね♡楽しんで沢山逝ってネ♡ピュリちゃんのキスもそうだからね♡」

「オブっちの言う通り。この世界の本物の女性の佐久間咲耶と結婚するんでしょ？ 具合

は違うと思うけど慣れていってね♡あつ、ダメっ!…んっ♡はあゝゝ間に合った♡これこれ♡最高♡あはは♡あたしのニーねえってば早ゝゝい♡」

お互いの身体、敏感になってそうだからな! 気にするな! 凄くチュツチュユされてる♡気持ち良いゝゝ♡…でね? 息させてゝゝ?! お願ひしますうゝゝっ!

「んちゅば♡ハアハア…♡ハアハア…♡令司君♡沢山逝つてね♡動かなくて良いから♡オブちゃんの事を椅子にしてドーンと構えてくれれば良いから♡」

「んはあ…はあ…。う…つく…。ぜえ…ぜえ…。あ、ああ…。よろしく…なあゝゝんっむゝゝ♡むうゝゝ♡」

「あは♡ニーねえ、キス我慢出来なかつたんだゝゝ♡可愛い♡はあい、よろしくされまあゝゝす♡外はダメ! んぎっ!♡あゝゝ♡あゝゝ♡すっごく気持ち良いゝゝ♡」

「2人とも後で椅子になつてよ? 令司君、いっばい気持ち良くなつていっばい逝つてね♡あんっ♡両胸揉まれちゃった♡もつと強く触つてえゝゝ♡」

オイルマッサージをしたお礼? として3人に極上なキステクニツクのお見舞いをしながら令司君を甘々に奉仕。この世界の女性達は多分、こういった行為を沢山するのだろう。奉仕体質なのかもしれない

3人が似せられる身体をしていて変身して積極的に協力して準備をさせてくれるとか良かったじゃないか

そして朝までドロドロイチャイチャし合うのだった。令司の令司君は働きモノ♡準備したオイルを使ってドエム基地のみんなをメロメロにしてやりなさい!

◇

「ほうほう…。こうやって盗撮・盗聴していたのか…。3人はまた男の子を産み産みする気なんだな? うらやまけしからんぞ♡愛情に飢えた孤児男性100人を拉致してきてバラ撒いて戻ってみたら♡ハアハア♡」

「エディターママったら自身の右胸を揉みながら言うんだ♡♡愛情に飢えた孤児男性100人、頑張つてハーレム作つてね♡まあ、令司様の息子さんの方が雄力高いけどね♡♡この男性は知らない♡サクつと殺ろつかない♡」

雄力♡オスフェロモンではない。別物らしい。詳しくは知らない。多分、程よく筋肉がついてることなんじゃない?

双子オミッターよ、舌を出して右手で触つてエロいポーズをとりながら物騒な事を笑顔で言わない!

「そうにや♡♡3人はまた男の子を産み産みする気だにや。良いにや♡♡まあ、明石も男の子を産んだにや♡もう、遠くに飛ばして頑張つて貰つてるにや! そうだよにや? そうだと良いにや♡、顔真っ赤にして戸惑つてたけどにや?」

「大うつけの息子だから頑張るでしょう? 大魔神の血入ってるんだし…。双子オミツターが言うのだから間違いないでしょう…。えっと、男の子を産み産みしたっていう書類を作成したエロKAN—SEN達は…」

明石と不知火がスルー。平常運転し過ぎでわ? 仲良く下の口を濡らして覗ちやつてるよ…。本当に悪さをしてないようです…。拉致はまあ? この世界の為だしね? 愛情に飢えた孤児だから頑張れるでしょ? と、投げやりで言ってみたり

「エロKAN—SENって言ったにや…。まあ、そうだけどにや…。ちんまい胸でもムラつとしてくれたからにや…。あつ、セントルイスとジャン・ボールが頑張つて書類の山々を片付けてるにや!」

「手伝つてやりなさいよ…。この映像を左上か右上にすれば出来るでしょうが…。つて、言つてたらもう無くなってくわね…。どんなスピードを出してるのよ…。これ、手書きでしょ? あつ、わあ〜〜動かなくて良いって言つてるのに動いてる♡お互いすつごく気持ち良さそう♡」

「ほんとだ〜♡あはつ♡令司様の体勢が面白くなってる♡受け入れてるよ。流石♡この世界の女性主体でトコトン突き愛う感じだね〜♡良いね〜♡キユンときちやう♡変身出来ないんだけどね〜♡」

「(こほん)…。重桜の書類を読み上げるわ。信濃、金剛、比叡、榛名、霧島、戦艦の加賀、

長門、陸奥、扶桑、山城、三笠、伊勢、日向、出雲。で戦KAN全員コンプしましたね
…。それと、赤城、瑞鶴、飛鷹、隼鷹、鳳翔、青葉、伊吹、愛宕、古鷹、妙高、那智、鈴
谷、神通、五十鈴、長良、三隈、樫野、吾妻、綾波、如月、江風、伊19、伊26、伊
58…。不知火は…。およよ…。大鳳がムキになるのも分かるわ…」

「や〜ん♡令司様ったら重桜だけで何KANに男の子を産んで貰ったの？うんうん
…、38?!すつご〜い大魔神じゃ〜ん♡だから凄く早くいっぱい元気にブチブチ
破つてくれてたんだ♡まだまだあるよ♡何回あるか知らないけど♡ドエム基地にお
邪魔して遊んで貰っちゃおっかな〜♡なんてね♡」

「書類を送ってからにしてやれ？な？うわ…、本当に、オーブン基地の全員とやったんだ
な…。大魔神で雄力高過ぎる♡キユンと来た♡お酒を飲んでブツ壊れた時の映像が1
番ズキユン♡ドキユンしちやった♡触つてもないのに大洪水だ♡あつ、饅頭達が笑顔で
持つてるバケツに出せばいいんだ♡んっ♡」

「乱暴に扱ってくれるのがこの時位だから♡不知火は高い倍率に落ちたのです…。およ
よ…。…まあ、流し込むだけの量を生産してくれたから産み産み出来ただけど…」

「そうにや！夕張とヴェスタルと協力して流し込み機を作ったのにや！で、金剛型と潜
水KAN全員、男の子を3人産み産みしたとか凄いにや!!!他は1人と2人なのになや！
あつ、まだ書類があるにや…。ええつと、纏まってないけどにや？男の子を産み産みし

たの読み上げるにや」

「「まだ居るの?聞かせて聞かせて」」

「そりや大うつけは、200KAN近く所属してる全員と愛し合ったんだからねえ?居るでしょ?」

「ジャベリン、ユニコーンのギャルのゆうちゃん、ヨークタウン、エンタープライズ、ホーネット、キュラソー、エセックス、ヴィクトリアス、アヴローラ、パーチャミ・メルクーリア、ガングート、フリードリヒ・デア・グローゼ、ジャン・パール、プリンツ・ハインリヒ、ビスマルク、テイルピッツ、ヴェスタル、リットリオ、ザラ、リシユリユーの20KANにや!」

「「わくく♡それでみんな男の子2人?凄くいい♡(エディらがの方が凄いかも?そっちは女の子も産み産みしてるんだし?こっちはみんな男の子♡ヤッタ♡)」」

かなり産みましたねくく。多産が常識なのかな?そして多分、高校1年生から成人、社会人クラスの見た目をしているのでしよう…。構造が違い過ぎる…

「分かってるのはそうですね?まだ報告書を書いてないものもあるからもつと増えるかも?まあ、ここ、オープン基地の全員、女の子、大うつけに言わせたら、リトルシスターズを1人以上産んだだけだね…。もう、各地に赴いていて遊んでるみたい…。息子の何人かはロックオンされたようだけ…。」

「ロックオンされた何人かはもう娘達や一般女性達や軍女達に優しく奪われたようだにや！ピースしてる写真がパソコンに溜まつてくにや！良い感じにや〜♡男の子は抵抗すんにや。ガツツリ襲えにや！だらしないにや！」

涙目の息子達がグツタリ伸びていて、両側から抱き着かれて添い寝している写真が数枚、明石のパソコンに次々と送られていきます。お突き愛、お疲れ様です。これから色々鍛えていつて頑張つてね？

「逃げてでも逃げられないから令司様みたいにどーんと構えて受け入れてあげてよ〜♡そうすればお互いWinWinだよ〜♡うふふ♡あはははは♡凄〜い、一般女性かな？幸せつて顔に書いてある〜♡フタつちゃんハーレムを築いてるのもいる〜♡リトル隼鷹のサポート付きだ〜♡息子達、頑張れ〜♡」

双子オミッターの喋つた以外にも白ギヤルハーレム、黒ギヤルハーレム、白黒混合ギヤルハーレム、清楚黒髪ロング巨乳・爆乳ハーレムなどが集まつていく。属性が盛り沢山ですぬ〜？息子達の好みにどストライクでしょうよ…

「ここから。エディのを弄りながら喋るのはやめなさい♡あん♡エディの息子も女性達に正の字書いてあげてよ？一定数いるっほいし…」

「???双子オミッターのオミッターは立派なのかにや？サイズについては聞くにやつて指揮官が言つてたけどにや？親友の方が少し大きいにや」

「さあ? 興味ないので。良い人止まりの親友は多分、別世界でローンとイチヤイチャしてると思えますよ? ああ、それとアークロイヤルがアピールしてると言つてましたね…。大うつけの言う通りさっさとくつつけよ…」

「不知火、サラツと毒吐いたにや…。綾波の影響受けたにや?」

「違います」

「ふ〜〜ん?」

「ん〜〜? 分かんない♡多分これで最大砲♡あつあつ、明石にはシないから、その物騒な注射器を見せてブンブン振り回しながらコツチに来るのは辞めて〜♡玩具にするされるの関係はセイレーン達だけで済ますから〜♡」

「そうしてくれにや。不知火、もうサツサと寝るにや」

「そうですね…。もう見回りをする必要無くなりましたもんね…。他の部屋を幾つか見ると『あつ、無いんだった』になつて寝てますからね。それと温泉巡り。癒し刑はまあ、ずっとあるでしょう…。もうそんな事しなくても落ち着いてるんですけど…」

「癒し刑を廃止したらまあ、暴走するんじゃないかにや? 自主的に見回り続ける組もいるけどにや? 妙高、那智、川内、エルドリツジとか…。川内は毎日飽きないにや…。そいつらに任せるにや。そういう事だから、エディターと双子オミッター、おやすみにや!」

書類の山々と格闘中。書類の山々の枚数はどの位?ざっと5000枚はありそうです。これら全て手書きとかブラックですね。早くパソコンの導入を考えとけ。

全員の格好は水着。タイヘンエロスなナイスボディを晒している咲耶です。男性がウジャウジャいる世界に住んでいたらモテモテですよ?エロい水着で海に行ったらナンパされ放題です。意味深の遊びしまくりになりますよ?

まあ、高嶺の花なのでやらないと思いますけど…。というかヤレない?辿り着く前に吐き出しちゃうかも:

話?はガラツと変わって、令司も本当なら書類仕事をしなければならいんだけどな?メンズファースト?な世界だから仕事しないんだよな。判子を押しマツスイ?ンにもならないんだよねえ?

あつ、そういうえば令司は○付けの仕事をしてたね。かなりハード?な仕事をこなしてたよ…。すまんすまん…

注意されて猛スピードで山々を減らしていく。エロいアイマスクは着けたまま仕事をするんですね…。はあく、内側から見える構造になつてるとか凄い技術ですね??

「指揮官、こつちのエロい下着や清楚な下着の申請書の整理終わりました。後は、許可か不許可の判子を押しだけです」

「ヴェスタル、ありがとう。下着は大事なんだから全部許可するわ…。押しがいいわよ。許可の判子は一番下にあるから」

「了解しました」

え〜？10人のフタっちゃんがまたお邪魔してるの？地下室で遊んであげてよ…。毎日飽きないわね…。あたしにゾッコンじゃないんだから書類で報告しないでよ…」

「閣下。オープン基地のように癒し刑？なる部屋を作つて欲しいとの嘆願書が…（途中から声に出してますよ〜）」

「うん？後日みんなを集めて話し合いして、纏まつたら上層部に報告ね。保留ボックスに放り込んで置いて頂戴」

「了解しました。それっぽい嘆願書類は保留ボックスに全て放り込んでおきますね」

「ありがとう。後で、しっかり目を通すわ」

「……………。（ラファイーのもほぼ保留ボックス行きだね…。えいっ…。：酵素コーラ飲みたい…）」

「……………。ラファイー、酵素コーラを飲みながら書類扱つて良いわよ」

「っ?!ありがとう♡咲耶指揮官♡」

「どういたしまして。〜〜〜っ♡…???へえ〜?各地で男性が増加して頑張つてるんだ?（多分、令司様の息子達かな?）…あ、っ???もの凄く痩せてる男性が複数人見つ

かった?…写真は…有るかしら?」

「「「……………はっ??」」」

おっと?クツソ凍った低音ボイスで「はっ??」を頂きました。執務室内の温度が一気にマイナスになったぞ。咲耶の後ろのデカイ窓ガラスが凍ってヒビ入ってるし…

はっ??うん…。これは見間違い。そう、見間違い…。一旦、目を瞑って…、深呼吸…。すくはく。すくはく。それでもう一回見るっつ…

「……………はっ??」

事実?そんな事をする女性達って誰?ネエ?ネエ?誰?誰なの?ネエ?

調べて見つけて徹底的に黜ってから殺すわ♡後は使いたくないけど大人の玩具でプチっとシなくちやね?泣いて許してって叫んでも許さないから♡良かったじゃない♡死ぬ前に経験出来て♡

「痩せてる男性の写真?あつ、ラフィー?見つけたの?」

「うん」

「ラフィー、ありがと…。あうっ…。たらふく食べさせて添い寝してついでに満足するまでサせてあげて?あつ、勿論、精の付く料理よ?一緒にお風呂入りましょう。私はそうする。他の女性も多分する」

「「「うんうん」」」

ここまで痩せるまでドピュん♡ドピュん♡なんか絶対にしないわよ!!!馬鹿でしょ!!
一緒にお風呂に入っても息子は洗わないわ!言われたら洗うけど…

手出してくれるまで待つわよ…。軍女の理性、舐めんな。一般女性達より強いわ!欲望に素直です♡ってアピールしてるけどさ…?

セイレーン達じゃないし…。サクつと殺すからねえ…。見つけて様が無いからほつとこう…。癒されていって良い感じの体格になるまで太っていつてね?令司様の身体って理想的なのよ♡

あつ、そういえば、オーブン基地のローン様がオーブン基地内で最上位のセイレーン達を飼ってるって話してたっけ…。やってる動画を残していったし…。後で観るわ…

『生は色々ヤバイわよ♡襲いたくなるわ♡』

って、ローン様が言ってたっけ…。雄力が高いのは分かったのよね…。理想の体格してるし…。まあ、もうちよつと太って欲しいんだけど…

右隣に座ってたホーネットがメス度爆上げたんだし…。あの後、破かないように処理してあげたのよね…。ベトベトになった右手を舐め取って貰ったわ…

妹の咲希から連絡来ないし…。電話とかしても出ないし…。フタ基地だから処理に追われているのかな?だから綺麗でエロい貞操帯^{パンツ}を貰いたかったのね…。援助しなきゃな…

「うっ…。ここまで痩せてると何も聞かない方が良いですね。マグロになって何度も何度も吐き出して鎮めて貰わないとですね…」

「クソ女達、黽つて殺す♡しつかり食事・睡眠・運動（意味深）をして幸せになってね♡（セイレーン達は違うし…。探せの命令は来ないな）。身体使つて貰つて癒すのが手っ取り早いかな…」

「終了～～！ハイハイ。暗い話はそこまで～～」

後ろから令司様が抱きついて応援してる妄想をしてたらあつという間だったよ～～

♡明日の昼には体験するんだ♡幕、バイバイ♡えへ♡いっぱい奉仕するね♡

「お疲れ様です。あつ、予習として青葉と川内の映像を見ましよう？」

「そうだね♡見よ見よ♡本人達も一緒にさ♡放送をかけてつと…。青葉と川内は至急執務室に来るように…。繰り返す。青葉と川内は至急執務室に来るように…。ふくく…。

……これですよ♡

「準備出来てます♡」

「ありがと、高雄。みんなも見るとでしょ？」

「「「勿論♡」」」

～～放送して3分後～～

「う～～っ！う～～っ！」

「あはは……。命令ですので諦めてくださいいね？」

「実況して貰いながら観賞するわよ？娘達はもう寝てるんだからね？就寝時間なるまでの1時間。よろしくね？」

「……………はい」

書類仕事から解放された咲耶達は、一足先にメスになった青葉と川内の映像を本人達の実況で観るといふ。凄イプレイをするんですね？2人に娘が1人出来た。暖かく迎え入れられたようです。おめでと

令司がドエム基地に着いたらどうなるのでしょうか？令司作製のオイルでのマジッサージで効果は抜群だ！になるのか？

えっ?あっ、うん…

ドエム基地に向かう前の準備としてオイルマッサージのオイルを作ろうとした令司。そんな時、オブザーバー、ピュリファイヤー、ニーねえが興味を持ったようでマッサージ部屋に着いて行く事になった

セイレーンなら人間の女性の身体に似せられるんじゃないかね?と思った令司が真顔で聞いてみると、笑顔で出来る返事が。なので変身して貰った。そうしたら全員、ムチュムチ爆乳美人に。髪の毛の色はそのまま

思わず抱きしめたら押し倒されて極上のキスをしながらニーねえとサクつとイチヤイチヤ。鮮やかな一本を決められました。抵抗しない。こちらの人間の女性は積極的か?

ニーねえとのイチヤイチヤが終わった後、ズボンの上から令司君を3人が交代して優しく握る。グツグツと煮詰まり続けたままマッサージ部屋へ向かう。その状態でよく歩けたね?ガクガクになる筈なんじゃ?ポジション替えも無理ですねぇ??

到着してイライラ、ギンギンにさせたまま3人に協力して貰ってオイルを作製。襲っちゃ不味いと思ったのでしょうか?腕力は彼女達の方が上だからか?そんな事ないと

思うのだけれど？

オイルを作製し終わった令司は、素早く全裸になってオイルでエロエロマッサージを開始。すると開始して10秒経った所で絶叫しながら愛え〇や潮、おし〇〇などを出しまくる。そう、3人はビクンビクンしっ放しになった。エロいエロい。ご馳走様です

オイルマッサージされてるニーねえのニーねえがこんばんは。そして何度かフアイヤー。3人の絶叫懇願をガン無視して、肌や心などが潤うまで優しく優しく攻め抜いてあげた。押し倒された仕返しをしてるのかな？

マッサージ終了後のキングベツトは、ドロツドロのグツチヨグチヨ。でも、3人の肌はツヤツツヤになっていて美人度を上げていた。不思議ですねぇ？

敏感肌、オイルマッサージが効き過ぎ、令司の手が神の手なのかどうかは分かりませぬ。個人差もあるし？擬似の人間ですからね。本物の人間の妻の佐久間咲耶の身体に直接訊きましょう？

満足逝くまでオイルマッサージを施してあげた後は、この世界の女性主体の夜伽を受け入れる事にした。3人はマッサージで発情していた様です。墮とせるか墮とされるか分かるかもしれない。饅頭達によりベツトメイキングされていてまた汚せます

気持ち良過ぎる極上キステクニツクでずっと涙目な令司。美味しい新鮮な空気を吸ったらまたキスをされ、頭の中を壊される？また吸ってまたキス。また吸ってまたキ

ス。そんな甘々なキスを繰り返しながらイチチャラブをした

また、新しい扉が開いちやう体勢で愛し合うのだった。気持ち良過ぎて辛いようです。快樂園に旅立つてる令司なのだった。何度、天国へ旅立とうとしてるんだい？

こちらの世界の女性は、人間に化けているサキユバスなのかな？それなら男性の数が少ない理由になりますね？

朝、秘書KANのお迎えが来るまで甘々イチチャラブをした。似せられて良かったね？鍛え抜けるよ？一足先に息子の何人かはパクションされたようですけど…。同じくグツタリしたようです

愛情に飢えた男性の容姿は、咲耶の書類からの情報によるとかなり痩せているようです。それに細い。もやしです。もやし。ドス黒いオーラを発してクソ女共を殺そうと思つたそう。そこまでするか？手伝つたKAN—SENもそうだった。何故？

そんな100名の内、数名は保護されてハーレムを築いていつている。各地で意味深い運動会が活発になっていく事でしょう。令司と一緒にファイト一発！

☆☆☆

《ドエム基地に向かう朝になりました。これより指揮官をお迎えし、ドエム基地へ送り届ける作戦を執行します》

バツチリ見たし。3人とも腹抱えて笑うとか…。ええ？だったよ…。笑う要素あったんだ？

「どういたしまして。昨晩はお愉しみでしたね？」

「えっ？あつ、うん…。愉しんだよ…」

おやおや？異世界転生とかでヒロインと出会い、両想いになつて宿屋で初夜して2日目朝のオーナーとの会話じゃん。一度言われてみたかつたんだよね…。ありがと

ただ、その言葉をさ？左手で輪つかを作つて抜き抜きする仕事を、笑顔でするのはどうなのよ？ノリ？良過ぎでわ？そんなキャラじゃない筈なんだけど…

Ohhhhh谷間、プルルンつて弾ける…。ゴクリ…つ。グイツと寄せちゃつて見せつけてくるな…。ガン見しちゃう♡ありがと♡

「……………つ。バールのメイド服姿、似合つてる。綺麗だ。好き。愛してる」

「うふふ。ありがとうございます♡パールも令司兄さんを愛しています♡ガン見、ありがと♡んちゅ♡んれろ♡」

好意丸出し♡うっ…。メイドらしく？ペトペトな令司君を手で掃除してるよ♡長手袋の感触、最高ですうっ♡おうおう、下の口、ヌルヌルじゃんか…。シたいけどもう出発しなくちゃだし…。…おっ？逝つたみたい…

全裸な令司と魔改造メイド服を着たジャン・パールが、異世界テンプレな会話をして、

おはよの甘々なキスを触り愛つこをしながらする。令司の右手で無事逝かせました。2人共、頭の中、ピンクなアンコがたつぷり詰まつてる様子です

令司は異世界転『移』してるもんね?お互いに満足したようです。離れて行く時、唾液の橋が出来てました。エロいであります

「ハア…ハア…。んれくく…。じゅぞぞぞ…。ごくん…。(令司兄さんの手とバールの手)ご馳走様です♡」

「えっ?あつ、うん…。お粗末様」

「ドエム基地に出発する時間なので、移動中に朝食を摂つてね?ふくくつ♡」
「ふお?!えっ?あつ、うん…。ありがと…。そうするよ…」

右耳に息ふくくつ、最高ですうくく♡煽られてるぜくく。我慢我慢…

手繋いで行くんだね?了解。母港の何処かで待つてるんだもんね…。悪いねくく

というか、俺が集合場所に先に居て、嫁達を待つ筈だと思っただけど?あつ、貞操逆転世界だから、嫁達が先に集合場所で待つてる感じか?というか、集合場所知らないから先に待つ事が出来ないわ…。逆転してる所、良く分かんね…

うくくん。移動手段で考えられるのは、海上スケートと電車、車かな?KAN—SE Nだから、海上スケートが一番速いんじゃないやね?ドエム基地に演習しに行く方法だし…

なら、俺は荷物だからお姫様抱っこされるんじゃないやね?それかおんぶ?よろしく頼むよ

∴。ゴーグルとかつけさせて貰おうつと∴

だつてかなりのスピード出して海上スケートするんでしょ？両目守ないと∴。俺、当然、海上スケート出来ねえし∴。明石ならスケート出来る靴作れそうだけど、興味無いしな∴

「はい♡では、手を繋いで行きましょう♡令司兄さん♡……………？令司兄さん？どうしました？」

「うんにゃ？何でもないよ？行こう行こう」

色々、思っている令司、左右に首を振って頭の片隅に放り投げて、恋人繋ぎをして天城、大鳳、ウォースパイト、ユニコーン、シリアス、セントルイスの下へ向かうのだった

男性である令司が、美少女や美女にお姫様抱っこやおんぶされるって絵面が凄いですね〜？

「……………」

令司の服装は上半身裸、下半身ズボンの半裸族。そしてセイレーン3人のキスマークが身体中にべつとり。拭こうよ∴。そしてデート？してるジャン・ボールは上半身と顔をガッツリ視漢して歩く。時間ないなら拭いてあげて？それか拭くように言ったら？

障害物とか一切ないから出来る。令司は熱い視線を浴びてデレデレしている。お互

いの頭のネジ、数本抜け落ちてませんか?探しません?...あつ?もう捨てた?そうなの...。手遅れですね?

☆☆☆

「...あつ、お兄ちゃん、おはよう。やつぱり素敵な身体だね♡流石、清楚ビッチ♡愛してる♡ゆーちゃんは基地内の温泉巡りしてるよ」

「おはようございます♡指揮官様♡セイレーン3人にこの世界の女性に似せて、夜伽を愉しんだようですね♡移動中に天城だけが出来るキスをたっぷり楽しんで下さいね♡後、尻尾マッサージお願いします♡うふふ♡」

「指揮官様あゝ♡大鳳はゝゝようやく、男の子を産み産み出来ましたわゝゝ♡もう、バカ娘の大鳳と繋がって、一般女性達とハーレム築いてるわゝゝ♡」

「指揮官君つたらオイルに危険生物のエキスを混ぜちゃって♡移動中に、そのオリジナルオイルのマッサージをしてドロッドロのグチヨグチヨにしてね♡我慢出来なくなったらココ♡好き勝手に貪り食べて良いから♡うふふ♡」

「...メイド服なんか似合わないでしょ?陛下から着ろって言われて着たんだし...。ふんっ」

「誇らしきご主人様と艦内デート♡楽しみです♡移動中にサキュバスマッサージをして

あげますね♡ たっぷり愉しんで下さいませ♡」

「待ってたわよ。ジャン・パール、お迎えありがと…。指揮官？これに乗ってえええ！」
「指揮官君？ルイス達もこの船に乗るわよ♡」

横一列に並んでいて、全員背中両目の中に大きい♡マークを出して笑顔で言ったのだった

令司の気配に気付くまでみんな、船を見て触っていた。触る度に、全裸のローンがパイ穴を強調する体勢になってクネクネして下の口が大洪水になっていくのは何故？

ローンが令司に気が付いた時、船を指差してゆでダコのまま、大声で叫んだのだった。怒ってはいない

ウォースパイト、シリアスは魔改造メイド服で谷間の所が♡マーク、ジャン・パールと同じですね。他のみんなは、乳首と下が見えちやいそうなエロ水着姿である。眼福ですね♡♡

「えっ？あつ、うん…。乗るううう…！…で、みんなの姿、美しい。しゅき。愛してる」
眼福過ぎるんだが??? ありがたや♡♡ 晒してくれるのは俺の前だけにしてくれ！他のオス達はぜってゝゝ、ナンパして乱乱に持つてこうとするから！あつ、この世界は数少ないから平気か？あつちの話になるな…

毎日毎日、海上スケートしてセイレーン達と戦っているKANISEN達が船に乗る

んだ?何か不思議〜。で、船の名前が彫られてないなあー…。どんな名前なんだ?

ローン、お帰り。ゆでダコになって涎垂らして悦んでどうしたんだ?お外、拒否してたのに…。あつ、ドエム基地内で誰かと仲良くなって、お外で百合った後か?

司令司の考えてる事が顔に出ていたのか、ローンは両頬を膨らませて:

「む〜。愛してるわ。…で、『ドエム基地内で誰かと百合った』なんて事ないわよおお〜!その…こ、これは…」

「おうっ?!そうなんだ?」

両手をくるくるしてモジモジしてるローン。可愛い♡萌え殺す気ですねぇ〜♡

「ふぎゃ?!」

「色々、ありがと。ローン♡ヨシヨシ♡」

「……っ♡うん♡」

「愛してるわ♡指揮官様(あ)・指揮官様・指揮官・指揮官君・誇らしきご主人様・お兄ちゃん・兄さん♡」

笑顔で言ってくれてありがと〜♡うむ。お姫様抱っこやおんぶじやなかったからヨシとしますか…。それで、ローンの萌え萌え成分、沢山食べられて元気でした。よっしゃ、免許あるから運転すつか〜

「??」指揮官様あ〜?免許あるのは知ってますが、運転しなくて良いですわ〜。オー

ト?という奴ですから。艦内でのデート愉しみましようですわ。♡うふふ♡」
 「えっ?あつ、うん…。了解」

オート?そうなんだ?有難いね。みんなもうんうん領いてるからそうなんだね
 …

うっは♡右腕が谷間に沈む沈む♡やっぱり何度されても良いねえ♡大鳳。
 ちよつと大つきくなつたね♡育ちきつたと思つたのに♡艦内デート?よろしく♡オイ
 ルマツサージ所望してるからすつか…

「ハアハア♡ハアハア♡良いからサツサと乗りなさいよねえええ!!」

「うえいつ?!お、おう…」

「「「「はあい…(照れ隠しなんて…。ザツコ♡堂々としなさいよね)」」」」

☆☆☆

令司と大鳳一緒↓ユニコーン↓天城↓シリアス↓セントルイス↓ウォースパイトの
 順番で船に乗った。ローンとジャン・ボールは代表の見送り役だったようです。大勢で
 見送るとおつ始めると判断したんだね?

「令司兄さ〜ん、ドエム基地のボールとイチヤイチャするんだつたら〜、最初つから
 激しくて良いから〜」

「りようか〜い!ローンはゆつくり休めよー!…で?乗ったけどさ?この船に名前つてあるんだよね?彫られてないけど、どんな名前なの?」

「??名前?『ローン』だけど?お兄ちゃん?それがどうかしたの?」

「いや〜?船の何処かに名前が彫つてあるのがあつちの世界の常識だったからさ〜?」

『ローン』。『ローン』?!えっ?そうなの?!ほ〜、ほ〜。全裸になってたのはこの船を召喚した反動かなんかかな?んな訳ねえな…。全裸からすぐ乳首が見えそうな水着姿になったし。ずっと顔がゆでダコだったけど…

行つてきますの不意打ちキスで沢山逝つてたな〜♡可愛ええよ♡ローン♡大鳳がサポートしてくれたから出来たんだぜ♡まあ、乗つて直ぐ大鳳とキスしたけど…

「かぶっ…。じゅぞぞ♡んちゆるるっ♡…っは…。へえ〜?そうなんだ…。ルイス達の世界では彫らないわよ…」

「そうなんだね…。色々違うな〜。うぐっ…。ルイス、左耳気に入ったの?」

背後からの抱き着きからの耳舐めに息ふ〜や首筋舐めて流行つてるん?気持ち良いからヨシっ♡(お久しぶり、現場猫♡)

「気に入ってるわ♡気持ち良くなつてくれて良かったわ♡常識とか違うけど、そんなの考えないでいっぱい楽しんでね?」

「……………」

「そうする。ルイス、気持ち良いよ♡ありがと♡で、ウォースパイト。メイド服似合ってるよ。美しい」

「…ツツツ♡ありがと♡後で、沢山食べて♡」

食べますとも♡♡エリちゃんチョイス。最高。ありがと♡腕組みしてドヤ顔してそう♡で?なんかニューカッスルが椅子になっているのが浮かんだのは気のせいだな…。うん…

「そんな事より、指揮官様あ♡♡早く、危険生物のエキスたっぷり含まれてるオイルでマッサージをお願いしますわ♡♡」

「ふぐおつ?!ふがっ?!」

ふお♡♡最高♡♡やっぱり大つきくなってるよ♡♡オイルマッサージするけどもうちよつと堪能させて♡♡

「そうね、大鳳?どいて?ありがと。指揮官様?失礼します♡」

「は♡♡♡。は♡♡♡。ん♡♡?!ん♡♡♡!ん♡♡♡♡♡」

「誇らしきご主人様と天城様の情熱的なキス♡誇らしくてイヤらしいです♡♡♡ん♡♡♡♡はあ♡♡♡」

Oh♡♡天城のブレンドキス、美味しい♡♡♡マッサージ出来なくして♡♡♡すん

の

「こらこら♡シリアスに天城♡サキユバスの尻尾で器用にズボンを下ろしちやうのかな?おつふ、ツンツンするんじゃないよ♡うぐつ。包まれていく♡これはシリアス♡くう♡♡」

「んちゅば…♡んふふ♡指揮官様のお口、美味しかったですわ♡元気になって良かったわ♡天城とシリアスの媚薬も効いてますね♡」

「は♡♡は♡♡お前ら♡♡ドエム基地に着くまで用意したオリジナルオイルのマッサージでたつぷり蹂躪してやつかん♡♡!!覚悟しとけ♡♡!!」

「セイレーン3人とイチャラブの休憩中にそんなに使わんだろ?♡つてなる量を作ったから振舞っちゃうゾ♡作業中にも励んだな♡♡令司君?まだ待て。沢山我慢して一気に放出は気持ち良いぞ?ヨシ、聞き分けが良いな!」

「♡♡♡ツツツ!!?♡♡♡ハイツツツ♡♡♡」

「♡これより、オイルマッサージデートを開始する。全KAN、構え!オイル!注入開始!!!」

「令司の言霊により全員全裸になった。そして全員背中を魅せる。全員、言霊により3度逝っていた」



Q、どうやってオイルを運んだのか？

A、イチヤついてない残りのセイレーン、エディターと双子オミッターと樫野が運んだ

↓オイルは木箱に入れられていて、木箱は30箱近くある。樫野が25箱一気に運びました。運び終わった後、キスをして与えられた任務をこなしに去って行った

『令司様、運び終わりました♡キス、失礼します♡んちゅ♡れろちゅ♡んつく♡んは♡うふふ♡樫野、任務こなしに行きますね♡ドエム基地内で楽しく過ごして下さいね♡愛してます♡』

『ああ、愛してるよ。樫野、任務よろしく。大鳳、一緒に乗るぞ』

『ハイですわ♡♡樫野、よろしくお願いですわ♡』

『『………（ほとんど運ばれた。流石、運送KAN…。頭の上に5箱、乗つける事は出来ないよ……）』』



「まずは、ウォースパイトからだ〜!!」

手にオイルを垂らして…。ちよつとビリつくけど…。揉み込んで伸ばして…。ウォースパイトにもかけて開始!!

「かひゅっ?!?あゝゝゝっ♡うぐっ♡フ〜ツツツ♡フ〜ツツツ♡ああああゝゝ♡」
「〜〜〜っ♡」

顔、真つ赤つか。手で口を覆いたいが動かせないのがギリギリさせて堪えている。無駄だぞ♡どんどん垂らしていき隅から隅までマッサージュをしていくのだから♡

「|||||……………っ♡|||||」

あゝゝ♡ウォースパイトのエロい色つぽい声で辛抱堪らん♡令司君♡それ、いつけゝ♡

「〜〜〜っ?!?!?あんっ♡はあ…♡はあ…♡しきかんく〜ん♡食べてくれて嬉しい♡…………ツツツ?!?!?イヤア〜〜ツツツ♡アツ♡アツ♡ヤア〜ツ♡」

「うぐお〜?!?!ルイス!?ちよつ?!?締め過ぎ!締め過ぎ!」

ルイスの背中にオイルちよつと垂らしたただけなのに…。なにこれ?締め過ぎいゝ♡ふう…。よつしや♡ズツコンバツコン大騒ぎしちゃうゾ♡

「んゝやゝゝゝっ♡あんっ♡お…兄…ちやくん♡んむちゆ♡んゝっ♡んゝっ♡」

令司達はこんな感じでオイルマッサージュデートをした。演技ではない。オイルマツ

サージの効果出過ぎでわ？

休憩を挟み、ちゃんとシリアスの朝食（天城とシリアスの媚薬たっぷり含まれている）を食べた。

食べ終わって数分後に、シリアスにサキュバスマツサージをして貰った。天城も途中参戦。令司の口はみんななどのキスで塞がったのだった。理性？何それ？美味しいの？

令司は全身媚薬塗れ、エロ嫁達はオイル塗れとなった。令司含めて全員の肌は、ツヤツツヤのモチモチに。オイルマツサージ終了後、全員、全裸のまま、海を眺めながら会話を楽しむのだった。まあ、主に海の生物についてだったりするが…

◇

令司達を見送った後の話

「アアアアアアアアアアアアあ~~~~~つ♡♡♡やつちやつた~~~~ああああああ♡♡♡」

「あ~~~~あ~~~~。ローンつたら…。壊されないように作り直して良かったわ…。ゴクゴクゴク…。ぷはあ~~~~。…けぷつ…。あつ、おつまみなくなっちゃった…。何処だっけ~~~~？」

「ヴェスタル~~~~？頼まれ物を持って来たにや~~~~。って、ローンが顔真っ赤っかに

なつてて両手で両目を隠して勢い良くゴロゴロしてるのは何でにや?」

「指揮官様をドエム基地に送る為にローン自身の船を出したのよ…。エンタープライズもホーネットも出したそうにしてたわ…。まあ、迷惑にならない所で出して鰻頭達とメンテナンスしてるんじゃないかしら?」

「他のみんなも顔を真っ赤つかにして晒し出すかモジモジしてた所で、ローンが…はむ…。まっはきにぐくん…。出したのよ…。デートに選ばれてた連中はニヤニヤしてたわ…」

「ヨークタウン。そつか…。照れてるんにやね…。「うぐつ?!んん…。ZZZZZ………」だからエンタープライズとホーネットは明石の船を数隻、全裸土下座で頼んだんだにやね。で?ヨークタウンとヴェスタルは出さないの?」

「VRのヨークだけの指揮官様に沢山汚して貰って満足してますから…。現実の指揮官様に船を晒し出すなんて♡それでメンテナンスなんかされたら♡イヤん♡死んじやいます♡」

「えっ???ヤダヤダ!!!工作道具、見られたくない!!!あああ明石は、どうなのよ!?!出せるの?!」

「ジヨッキをドンとするにや。出せるにや♡自慢の工作道具でピカピカに磨き上げられてから沢山汚して貰いたいにや♡あゝ♡優しい手付きで磨き上げられて行く感触♡」

堪らんにはやゝゝゝにやゝゝゝ

「ええ？ そうなの？ クネクネしながら言わないでよ…。ゴクゴクゴクゴクん…。うう…。ううゝゝ！」

どうやら、ローンと言う名の船は、ローン自身にとつてメチャメチャ恥ずかしく？ 死んじやいた位の位の、魂みたいなものなのかもしれない。令司にデレツデレだから最初に出来たのかもしれないな…

令司、愛されてますぜ♡ ローンの船、オイルなどで沢山汚してやれ♡

◇◇◇

☆☆☆

令司達がオイルマツサージデートを堪能しながら向かっている頃の咲耶達は…

「「「……………」」」

「「「……………」」」

「その…。青葉と川内…う…あつ、はい…」

「……………。青葉と川内？ 映像通りに跨って遊んだのね？ 沢山、沢山ね？」

は、初めてが逆レイプ…だなんて…。素敵な男性が存在してたのね…。令司様、手で拗って舐めさせるなんて…♡ ガチイキしつ放しになっちゃったじゃない♡ キスしながら

らシてるのもあるし…。嫌な顔どころか笑顔で楽しんでる♡最高過ぎるわ♡

「……………はい…。すっごく気持ち良かったです♡あつ、同意してますですよ?!映像通り、オープン基地の青葉と川内に沢山煽られました。令司様に沢山、両胸を揉まれました♡気持ち良かったです♡」

「そ、そうなの…。良かったじゃない♡」

煽られてノツて、オープン基地の青葉と川内と抱き合つて交流してるじゃない…。互に沢山出し入れされてるし♡羨ましいわ♡私も妹の咲希とコレ、シタいわ♡あゝ、サキ母さんも撒き込もうかしら♡お願いすればヤツてくれるかしら?

令司様は乳首を舐めまわされるのに抵抗がないようだし…。そうよっ!ずゝつとサポーターを着けてないっ!男性ならサポーターは外さないわよ?!?!教科書でそう習ったわよ?!規格外ね?!

理想的な体型。それで素敵な清楚ビッチ!!あゝ♡私の身体、隅から隅まで楽しんでくれそう♡ローン様からドストライク判定貰ったから間違いないわ♡駄肉が好きとか、自信持つていいのかもしれないわね♡パイ本、何処にしたかしら?

夜通し見続けていました。いつの間にかみんな全裸。真っ赤つかでゆでダコ状態。みんなから『ポフィン』という効果音が鳴ったのだった。床に湖が出来ていた。この基地にも餓頭達がいるが積極的に掃除をしない

エロいアイマスクは外している。黒い瞳をしている。令司？オッドアイとか魔眼とかそういうのはなさそうだよ？ハイライトオフなヤンデレモードがメチャメチャ似合
いそうだよ♡

「あのおくく？みんなの下半身が落ち着いた所なんです。咲耶指揮官？今更ですが、高雄達がオープン基地に向かつてお迎えするべきだったのでは？もう、こちらに向かつてる最中だと思うので、向かいませんけど…」

「んっ♡んっ♡ふくくっ♡そうだったわね…。高雄は知らないか…。オープン基地内に到着するのは不可能よ？お迎え出来ないわ…」

「えっ？不可能？そうなんですか？場所知ってるから簡単に行けますよね？」

「そうよ？知ってるじゃない？でも不可能よ。演習相手として、クリーブランド、アークロイヤル、プリンツ・オイゲン、ビスマルク、綾波、神通に行つて貰った事があつたのよ？」

「ええ…」

「そろそろ着くわねって所で、見えない壁に阻まれたんだって。写真や映像を残して貰
いたかつたんだけど、故障しちゃったんだって。他の基地も同様だつて。砲撃とかして
開けて入ろうとしてもダメで、矢や砲撃の玉とかが全部素通りだつて」

技術凄すぎるわよ…。絶対入つてくんじゃねえよ！って感じるわ…。触つたらビリ

ビリしたって言うし…。ダメーヅ入ってないのに服が溶かされたって言うし…。エツ口いわ…

「ええ?そんなことが…?」

「でね?見えない壁の向こう側に、真っピンク色の霧があつたんだって。母港の全体像とか見えなかつたんだってさ」

「蜃気楼?って奴かしら?流石、元帥達の中で一番上に君臨している基地よねえ〜。そこで指揮してるのが数少ない男性の令司様♡赤ちゃん部屋がギョルンってなつちやう♡」

「うん。そう。それで帰って来た綾波が、ラフィーの部屋に勢い良く入って来て覆い被さって来たの…。すごく発情してた…。泣いて気絶させてって言ったから気絶させた…。だからまだラフィー新品…。綾波も新品。ぶいっ」

「どうかしてたです。ラフィーの練度が高くて良かったです。気絶させてくれてありがとうございます」

「あつ、それなヴェスタル、知ってます。演習に選ばれた全員、ラフィーと同じ状況になりましたからね…。姉妹や仲の良いKANISENに気絶させられてましたね…。神通は…」

「えっ?ああ、俺と那珂、夕立と長門、陸奥、江風、妙高で抑え込んだよ…。明石に観て

貰った結果は、全員、新品だった」

「青葉は翌日の青葉新聞に、この出来事を載つけましたからねえ。ビスマルクはテイルピッツが籠った部屋の前で1日中、全裸土下座で謝り続けてたからね…」

「ええ、そうね…。アークロイヤルの首吊り大事件の真相はコレよ…。熊野が見つけたから未遂で良かったわ…」

「堀起こさないでくれ、閣下…。ううう…」

「ヴェスタルが治してあげたんですよね。対価として少し遊んで貰いました♡ヴェスタルとアークロイヤル、両名しっかり新品です♡」

「あ〜…。うん…」

ここのメンバー、ほぼ被害者と加害者が集まってるわ…。良好で良かった…

テイルピッツが1日中籠ってた理由は、オ♡♡だったんだけど…。言わない方がいいわね…。器用に避けてスルのね…。興味無い雰囲気醸してたのに

ビスマルク…、咲希に盗られてたわよ…？あつ、私の基地のビスマルクの名前も叫んでたからドロドロねえ〜？出てきた後、ビスマルクは気絶したわね…。テイルピッツと一緒に入渠して貰ったけど…

「で、1回だけじゃ分らないから、3回分。18KANに行つて貰ったら、同じ結果が出たの。だから不可能って判断したの。他の基地もそうよ…。元帥の判断もそうなつ

たし…。だから、まあ、お迎えは無理ね」

「あゝ、愛宕が涙目で襲ってきたのはそう言う事だったんだ…。翌日、気持ち悪い位に機嫌とりしてたわ…。後、剣道でボロボロにしてって言ったし…。ボロボロにしたけど…」

そんな報告書出されてないんですけど? そう言えば、キリがないからしなくて良いって過去の私が言つたわね…。それで大分、書類減つたし…

「あのゝゝ? ちよつと良い?」

「ホーネット? 何かしら?」

「青葉と川内がオーブン基地内に入れた理由って? 青葉と川内は北方連合の食堂で初体験してるじゃない? 可笑しいでしょ?」

「そうね。説明お願い。で、演習会場に出来ない理由とかあつたら教えて? 書類出しても無視だし…」

「はい。オーブン基地に指揮官のプロポーズ書類を届ける連絡を入れてから向かったからですね…。『演習じゃないんですね? 演習じゃないんですね?』って散々確認されましたよ…。『いつものです』って言ったら『了解。解除しますね』って言われました」

「『ええ?』」

書類などは許可、演習だけ? 拒否かゝ。演習場がモノ凄く荒れていて、轟沈しちゃう

のかもなく。演習で轟沈判定以上で、本当にお亡くなりになって欲しくないし……
 「演習会場に出来ない理由は教えてくれなかった。会場見せて貰えなかったし……。行こうと思つたら身体が動かなくなつたし……」

「「「「ええ??」」」」

「ドンパチやつてるのは聞こえたけど……。凄く激しかったよ……。で? 咲耶指揮官?」

「演習場としてそもそも使わせる気が無かつたのかもね……。ゴクゴク……。ごくん……。んっ? 川内、何かしら?」

「時間? 大丈夫じゃないですよね? もう直ぐ到着しますよ?」

「うえ? あつ?! あくくつ?! ちよくくつ?! 令司様を先に待たせるとか、終わつてんじやん?! 映像と見えない壁の解説し過ぎたあくく?! 向かいますくく! 待つてないでくく?!」

「あつ、ちよつと?! 指揮官?! 秘書KANの誰かを連れて行かないと……。ああ、もうホーネットが行くわ!」

「咲耶指揮官らしいですね……。アイマスク忘れてるし全裸だし……。令司様に嫌われに行くのかしら?」

「その時は、高雄がいっぱい遊んであげないとね? 指輪持ちなんだし……」

「川内? 関係持つてないですよ? 新品です。これ、令司様にあげるんですよ……。後、指輪は左手じゃなくて右手ですから……。誘われませんし、誘いません♡」

「あははは。えつと?ラファイと青葉?さつきからガサゴソしてるけど盗聴機を使用する気です?」

「うん。そう。オーブン基地の青葉と明石によつて高性能になったからね?ポチつとな」

☆☆☆☆

盗聴してるので全て『』で表記にします。そして全て佐久間咲耶のセリフのみでお送りします。咲耶、おめでとう♡令司は元氣です♡

『はあ〜。はあ〜。間に…あつた〜。島風、雪風、夕立、時雨とスキンシップとして追いかけてっこしてて良かったわ〜。ホーネット、来てくれたんだ?ありがと』

『あつ?!アイマスクするの忘れた?!持つてないんだ?良いよ良いよ。戻ってる時間な…うわ〜つつ?!あつ?!すすみません!皆さん、初めまして。ここ、ドエム基地の指揮官をしている佐久間咲耶です。こっちはホーネットです』

『ほえ???』女神様?か、超一流グラビアモデル?幾らお金を積んでも会えない?』そ、そんな事無いですつてえ〜。令司様の方こそ、幾らお金を積んでも会えませんかよ〜。超一流グラビアモデルなんですから…。嫌われ軍生活をしていて駄肉で拗れ処女な私のプロポーズ書類を、受け入れてくれるなんて〜』

『??』皆さん、何で驚いてるんです?えっ?『綺麗な黒い瞳をしてる?魔眼やオッドアイ?』

を期待してた』んですか？ファンタジーな眼なんか持つてませんよ。『ヤンデレモードが似合う？』…えっ？『よっしや〜っ?!キタコレ!』…?…あっ、ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい』

『うへっ?!ホーネット?!なんで背後に回って拘束するの?!セントルイスに何を耳打ちされたの?!KANSENSEEN達に力負けするって知ってるよねえ〜???』

『へっ?令司様が何を考えているのか?『咲耶をドロドロのグチョコヌチョコに愛し抜きたい♡』ですけど…。うえ?!ええ…。準備マンタンですけん。っ♡んむ〜っ♡れちゅ♡ちゆるる♡ん。っ?!ん。ん。ん。っっっっ?!?!?!んんん〜っ!!!』

『んぷは…。れいししやま〜♡もつとチュ〜♡してくらひやい〜♡ええ?しあわせなイタみでしたよ〜♡あ〜♡しよんな〜♡ほーねつといちやいやするんれふんか〜♡あ〜♡てつらいわふ〜♡もぎゆもぎゆ♡ぴんぴんじやなく〜い♡』

『れいししやまとキスして繋がって良いな〜♡シリアスになんかにゆられた〜♡ぼわぼわする〜♡わた…』

「「「「「うっ…。立派になつて…。♡おめでとう♡沢山汚されてね♡赤飯炊こう♡」」」」」

「あっ、そうそう。これって基地全体に発信されてるの?」

「高雄の疑問点ってそこなの?発信されてますよ〜♡これで、青葉が作る青葉新聞ネ

夕頂きました〜♡咲耶のお母さん。サキさんに伝えられますう〜♡」

「サキさんか〜。ヴェスタルの遊び相手ね♡仲間呼んで貰って久しぶりに遊びたいわ
♡」

「ヴェスタルの遊びつて実験の事でしょ?ラフィーも沢山実験されたし:」

もう一度言おう。佐久間咲耶。おめでとう♡見事に2コマ堕ちしましたね♡令司の思考が読めちゃう?からエロいアイマスクをした可能性がありますね?令司は隠し事が出来ないかも…。咲耶が特殊体質つて事も考えられますね…

令司の令司君は、元気いっぱいにとエム基地内のみんなを沢山鳴かす事でしょう。張り切り過ぎに注意してね?多分そのストッパー役にオープン基地から選ばれしエロ嫁達がデートをしに来るのでしょう

……えっ？はっ？

ドエム基地に向かう朝まで、人間に似せて貰ったセイレーン達とイチヤイチャラブラブして鍛え抜いた。オイルマツサージの技術も上げて貰った。3人はバツチリ男の子を仕込まれました

魔改造メイド服（谷間♡マーク、パイ穴見放題）を着たクール美女なジャン・パールから異世界転『生』初日に、出会ったヒロインと宿屋での朝のテンプレな言葉を笑顔でエロく言われた。ジャン・パール？ハジけ過ぎでわ？

令司達の後始末はいつも通り、饅頭達がする。ありがとうございます

恋人繋ぎをして母港の何処かで待っているエロ嫁達と出会うまでデートを堪能するジャン・パール。ジャン・パールの下半身は大洪水でいつでも襲って♡な状態だった。チヨロ：ゲフンゲフン：である

船を眺めていたエロ嫁達の中で、いち早く令司に気が付いたのはユニコーンだった。そこからみんな一言二言言った。みんなの格好がドスケベで眼福な令司である

移動手段は海上スケートではなく、みんなが眺めてたり、触ったりしていた『ローン』と言う船で移動。船を召喚？晒した？ローン本人は顔を真っ赤になって興奮していた。

何故だい?

談話室でしょうか?で、悶えていて勢い良くゴロゴロしまくるローン。家具壊れちゃうよ?それをオカズにお酒を飲むヴェスタルとヨークタウン。そこにヴェスタルに頼まれていたモノを持って来た明石は、ローンに何かを注射して眠らせた。幸せな顔をしている

そこから談笑?猥談?をする3人。どうやら自分自身の船を晒すのはかなり勇気がいる事だったらしい。明石はメンテナンズされたいようだ。令司、時間を作ってしっかりメンテナンズしてやれよな?指揮官なのに整備員の仕事をする事になる?ワケワカンナイね?

令司が作ったオイルにはどうやら危険生物の油などが使われていたようです。危険生物とはどんな何でしょうね?海?陸?空?どれだい?で、みんな蕩けた顔をしてマッサージを期待している。腕の見せ所ですね!

オイルマッサージを開始してすぐ発狂絶叫。みんながそうだった。危険生物の油などの効果でしょうか?効き過ぎですぬくく?ノリノリでマッサージを進めるので、エロ嫁達みんなの下の口は、ドロドロのグネヨグネヨお馬鹿さんになった

令司の心などが潤うし、エロ嫁達はデートと処理を同時に出来て幸せ。Win Winなのだった。令司は魔性スキルを上げている感じだった

マツサージデートをしてくれたお返し?としてサキュバスである天城とシリアスが、サキュバスマツサージなるモノをしてくれた。どんなだったのか?

『令司君は大丈夫です!』と、何処ぞの某3番艦の真似?をエロエロ顔で言うR-118な状況でしたよ?お互いの肌はツヤツヤのモチモチのスベスベになった。元氣過ぎます。令司はしつかりミイラになる筈なのに…

そしてシリアスの朝食を大鳳の口移しで食べた。朝食を食べる前に、エロ嫁達みんなにバツチリ仕込んだ。朝食後、海や空の景色を眺めながらドエム基地に向かうのだった。眺めている時の令司達の手は、お互いのお尻を撫で合っていた。もっと説明しろ?令司が真ん中で両手を使っただけですけど?エロ嫁達が制限時間を設けて代わってましたね…。令司達の服装?全裸だよ。全裸

ドエム基地に到着した令司達。服はしつかり着た。セーラー服や着物、ドレスなど。それぞれの正装をね?令司は真っ白な軍服姿に。両肩に元帥と分かる紋章が縫われていた

長である佐久間咲耶の姿は無かった。女性は男性より早く集合場所に到着していないといけない世界なのに…。咲耶、ドンマイ

それとエロいアイマスクを付けない上に全裸でお迎えだなんて…。書類を手伝ってくれたKAN-SEN達とドスケベの予習をして忘れてたんですね?

『まだ到着してない。良かった』と、思っている咲耶は、後追いしたホーネットと軽い雑談をする。そんな時、令司はサプライズとして背後から咲耶の右肩に手を置く。お互いオーバーリアクションをとる。そんな様子を見たエロ嫁達はクスクス笑うのだった

令司は言葉にはしてないが、心の中で叫んだのが咲耶の口からポロリと溢れた。試しに何度か強く思ってみて、思った事を喋る咲耶。エロいアイマスクをつけている理由はこれなのかもしれない

お互い一目惚れ。耳打ちされたホーネットと協力して咲耶と初夜をする。咲耶あく、ベットでなくていいのかよ〜!と突っ込みたい。突っ込んでる場所は違うけど大洪水だったようでサクッと受け入れて幸せな顔をして幼児退行を起こしました。清楚なお嬢様は何処にいったの???貴女、キャラブレップブレじゃない?

耳打ちされて協力していたホーネットも直ぐ攻略した。RTAする気かい?イチャラブ中に、咲耶は立派に育てた美爆乳を令司の背中当てて来るのだった。エロく泣いて甘えて。右耳、犯されました。ゾクゾクするのだった

盗聴していた青葉達は顔を真っ赤にしたまま赤飯の用意をしに食堂へ向かう。それと盗撮してるんでしょ?後でナニするの?

令司達?盛ってないで早く食堂に向かいましょ?咲耶のエロ?部下達が赤飯炊いて待ってますよ?しつかり食べて、お突き愛をしましょ?アンアンイワスゾ海峡を攻略し

ましよ？いや、ギシギシアンアン海溝？ラブル峡？名前はいつでもでもいいですけどね

☆☆☆

「…ホーネット？こんな狭くて見えづらい道を通った覚えはないのだけれど？草、邪魔ですわあ」

「大鳳…。大鳳達が演習で来た所とは別の道で案内してますからね…。近道なんですよ…。んあ…。溢れて…」

「獣道って奴よ。裏道とも言うのかも？この獣道で沢山盛りたいのよねえくく？良くくらして見ると穴が沢山掘ってあるし。スポットなのよねっ？」

「あつ、少し前まで盛っていた形跡がありますね（2組？が交姦してましたね…）」

「セントルイスに天城…。まあ、その…。はい…。時々利用してます…。（用足しだけどね？）整備員達も利用しますね。（こっちは沢山のカップル？が盛ってますよ…）あははは…」

「整備員達がいるんだ？ユニコーン、初めて来たから良くわかんない」

「そうなんだ？あつ、整備員達は皆さん、女性です。普通は男性なんか軍に所属なんかしないんですけどね？女性嫌いですし。なのに…、令司様は規格外過ぎですよ？素敵っ！

また、抱いてっ!」

「そうでしょ?あゝ、整備員達と早くOHANASHIしたいわゝゝ」

「あはは…。そうそう、この食堂しかないんで整備員達も利用します。今の時間は整備員達は居ません。もうすぐ抜けます。抜けると食堂の裏口が見えるよ」

「誇らしきご主人様。見え…。あはっ♪頑張り過ぎです♪」

「はあ…はあ…。シリアス…。ありがと…。…くっ」

「令司様ゝゝ♡好き好き好き好き♡大好き♡あつ♡愛します♡あつ♡あつ♡んちゅ…。一目惚れでしゅ♡んあつ♡締めましゅゝゝ♡私を…咲耶を捨てないでゝゝ♡んれ♡れるれるれちゅむん♡」

「指揮官?鍛えてて良かったね?後、咲耶が勝手に堕ちていって良かったじゃない。オイルマツサージ気に入つたようだし?3箱使い切るとかブルっちゃうわ。ウォースパイト含めたみんなマツサージ中に1度は寝たというのに、咲耶は寝なかつたのよね…。んはゝゝ…。うあ…。ウォースパイト。そう…。だな。この体勢でのプレイ沢山してて良かった…。うっ」

「ゝゝゝゝゝゝツツツつ?!?!ゝゝゝゝゝゝツツツ!!」

ふうゝゝ…。ウォースパイトもこの体勢でされるの好きだったよね?おうおう…。俺だつて一目惚れだよ。締まり良くて気持ち良過ぎるのを捨てるもんか!咲耶はキス、

好きだね〜？

初めてだったのにメキメキと上達しちゃってさ〜。教えてないのに見つけてくるの…。逆転世界の女性って凄いね？奉仕体質なのかなあ〜？

サキュバスのコスチューム着て貰ってプレイしたら、令司君はどんな感じになっちゃの〜？本物が居るけどさ？別腹ですぜ？

俺の息子達がグチャグチャになるの分かるわ。イメージすると超高級店の店員さんなんだから。手を出すなんて不可能な美人なんだぜ？諦めつきそう。でも、俺のドスケベエロ嫁なの。ひゃっほ〜い！

オイルマツサージもすっかり出来たし。ずっと絶叫してたみたいだけどね？気持ち良くてガチイキしっぱなしだとき。天城談。尻尾での応援ありがとね？

整備員達が居るんだ？オープン基地には居なかったな…。工場に行ったらいるのかもね？オープン基地、バカ広いから工場棟が有りそう…。貰った地図に載ってなかったよな？別の地図に載ってるんだな…。うん…

整備員達と仲良くなってるしっぽりするか？咲耶がどう思ってるかだけ…。大鳳？どんなお話をするんだい？後ろ姿なんだけど、なんか黒い笑顔を浮かべてるのが分かるぜっ！

あつ、そうそう。男女の腕力は逆転してないっぽい。力が逆転してる世界観を書いた

エロ小説あったと思うんだけど違ったよ。数が少ない男性の腕力はどうなってるんだ?
?女性達に負けちゃうのか?……その内、会えたら良いなあ……

メチャメチャ敏感肌だった。咲耶だけかもしれないけど……。うむっ。お風呂でドス
ケベエロイイベント有ればいいなあ……。お風呂場どうなってるんでしょ?

「多分、咲耶指揮官とホーネットのプレイ、盗聴されたので赤飯が炊かれていると思う。
後は、アレの準備をしてるかも」

「「「「「???」」」」」

「~~~~っ!~~~~っ!」

「ふっ。咲耶、気持ち良かったよ。って、気絶してる……」

あ、そうだ。すっくはっくすっくはっく……

咲耶ってエロゲー声優が天職じゃね?っと思える声で俺を墮として来てんだからな
?!自覚ないの?!耳孕んじやうから!ねえ?!イチャイチャしてた時、凄くイライラギンギ
ンさせられたんだからね?!

とうかサキユバスの血が混じってるんでしょ?!そうだよね?!母親のサキさんと出
会ってそこんところどうなのか詳しく聞きたい!で、サキさんとイチャイチャしたい!
サキさん、咲耶以上に美人さんだと思うし!妹さん、2人も仲間外れにしたくない!家
族丸つと愛します!

ステイステイ。心の声、早口だよ？ 咲耶に催眠術を掛けられたのかい？ 解けないの？ 本物のサキユバスと沢山イチャイチャしてるじゃん？ と指摘したいね。サキユバスはそういうの超得意じゃん？

「指揮官君、お疲れ様。お姫様抱つこで食堂へ向かいましょ？」

「あゝ、そうだな…。よい…しよつと…」

ようやく治まった…。セントルイス…。手で掃除してくれたのを器用に下の口に…。エツロツ

あゝ、そういうやサキさん、母親なのに処女つて書いてあつたな…。人工の受の精の方か？ で、体外が主流か？？ サキさん、長女の咲耶を立派なメスにしてヤリましたよ

サイテーですけど、サキさんも一緒に堕ちませんか？ イケるんで！ オツケーな世界だと思うし？ これで一夫一妻はイケナイパラダイスでしょ？

清楚で黒髪ロング美爆乳お嬢様、中身は淫乱M属性どビッチ！ 最高！ ありがとう！ 愛してる！ あつ、そうそう。右目の側に黒子があるってなんか良いよね！ ねっ！ サキさん、産んでくれてありがとうございます！

まだ催眠状態？…で、建物が見えて来るまでハッスルしたと…。交代した感じは無いんだよなあゝ。咲耶、体力お化けかい？ 元気いっぱいな駆逐艦達と遊びという名のスキンシップで鍛えたから？

サキさんに出会えたら良いね〜?青葉が連絡を入れたので、いずれすつ飛んで来るんじゃない?ホーネットの言うアレとは何なのでしようか?食堂に着いたら分かるかな?

令司達はホーネットのけしからん紅葉マークが付いてるお尻を見ながら、後を追って食堂へ向かうのだった

ふと来た道を振り返って地面をチラツと見た令司。沢山湿っていて、白いのと黄色いのが混じった水溜りも沢山あった。栄養になれよ?と思っただった。:そのままにするんだ?掃除しときなさいよ…

☆☆☆

「お待ちしておりました。ご主人様。元メイド長のベルファストと申します。気絶してお姫様抱っこされてる咲耶お嬢様の下の口に、コレを付けさせて貰いますね?」

「メイド長のニューカッスルです。拗れまくりの処女の咲耶お嬢様を、メスにして下さりありがとうございます。ニューカッスル達もこれで捧げられます。よろしくお願いしますね?」

「「「「あ〜〜」」」」

「あつ、はい。こちらこそ、よろしく。ベルファスト、ニューカッスル。2人とも美しい

よ」

「ありがとうございます。ご主人様もカツコよくて素敵ですよ。」

咲耶をお姫様抱っこしたまま食堂に着いて早々、ベルファストが満点花丸な笑顔で貞操帯を振り回してゐるんだけど？かなり嬉しい出来事なんだね？2人とも魔改造メイド服着てる。ありがとうございます。眼福、眼福

エロ嫁達はなんか納得してる。貞操帯Ⅱパンツなのかな？なんかエロい模様してるよ……。エロいアイマスクといい、エロい貞操帯といい。エロに特化した世界なんだな……。令司君は毎日幸せですよ。枯れないでくれてありがとう

ニューカッスルは笑うんだね？笑顔、素敵だよ。今度、時間があつたらニューカッスルに笑顔の練習をして貰っていい？無表情と笑顔を使い分けて欲しいんだよ……。声色は文句無し！

おうおう。ニューカッスル、笑顔でゆっくり捲っていく行動、令司君に効いちやいますよ？あら、準備出来ちやってるよ……。ごくり

「あらあら、咲耶お嬢様にたつぷりありがとうございます。ササつと着けて……。出来上がりです。んっ……。ご主人様？」

「おっと、すまん。右手が滑ってしまった。素晴らしい桃尻してるね。何度でも揉んでいたいよ……」

「んあ…。令司様は流石ですね?ベルファストとニューカッスルに早速アタックをするなんて…。…っ?!はあんっ!!!……………っ???」

わあい。俺の右手、オープン基地のベルファストと同じようにガツツリ、桃尻揉んじやったよ。左手はニューカッスルの下の口の中に自然とね?エロい声出しちゃって…

チラツと見えたけど、ベルファストって、咲耶に取り付けた色違いのを穿いてるんだね?似合ってるよ。結婚指輪は右手も左手もしてないな。だからなんだ?なんだけど…

左手薬指に付けてるのいるのかな?うーむ。もしかして右手薬指が一般的なのか?筆頭秘書KANの高雄だけ指輪してそう。高雄と会ってないね?まだ仕事中心かな?

高雄は厨房で料理を作ってますよ?令司のいる場所じゃ見えませんがね?愛宕も手伝ってます

「いえいえ。ご主人様のお誘い。ノリますね。かなり溜まっていますので。大鳳達は赤飯を食べてリラククスして下さいませ。ご主人様に食べられて来ますね?不束物ですが、可愛がつて下さいませ。百合の経験もございません」

「…いただきます。楽しんでね?」

「お、おう……？よろしく。ベルファスト……」

なんか発情しちゃったんだけど？両目♡マーク浮かんでる……。強引にセクハラをするのが正解って本当だったんだ……？

おう。いつの間にかエロい貞操帯が脱げてる。鍵無しなのに、どうなってんだよ……。まあ、いいや。メスフェロモンダダ漏れになった……。ごくり……

「~~~~~。んちゅ……。ふふ。はあむ……」

ベルファストの発情スイッチをうっかり押したようです。鍵無しエロい貞操帯が何故か脱げて、交尾出来るようになりました。メスフェロモンをプンプン漂わせています。召し上がれと叫んでるよ。良かったね？

フタっちゃんじゃない。まあ、フタっちゃんでもゴールしますけどね？ビスマルクとテイルピッツとザコつちと、しっかりゴール決めてるし。人間のふた女性達？とも簡単にゴールしてパクパクするんじゃない？

キスをしてから右耳にボソボソつと喋った後、耳たぶを甘噛みしたベルファスト。何を喋ったんでしょう？固まっちゃったよ？ファーストキス頂きました

「……………えっ？はっ？」

睨耶の卵に種がゴールインしてデキちゃったの？初夜なんだけど？濃い沢山吐き出したと思うけど？分かるんだ？それで3日後にポーンつと？ほお……

逆転世界の女性の身体って不思議がいっぱい詰まってるんだね!男の子だったら良いね?女の子は咲耶に似て可愛く美しくなってくんではしょ?

成長スピードはどんななのか知らないけどね?KANISEN達と構造違うし…:だよね?そうだよな?見た目、小学生から短期間で成人になったりしないよね?ね?まあ、そこところはど〜んと構えておくけど…:

どうやら咲耶はデキたようです。おめでとう!初夜でデキるとは思ってなかったようですね?エロい貞操帯は、令司の種を一滴も漏らさず卵ちゃんを逆レイプし続ける為か?

卵ちゃんが『あんつ…:もつと…:もつと責めてえ〜っ!んあ〜っ!』的な事になってるかもしれませんね?えっ?それって逆レイプじゃなくてレイプって言うんじゃ?って?

ここは貞操逆転世界。逆レイプが正解。男性から女性は逆レイプ。女性から男性はレイプ。ややこしいい〜!って事を、令司は知っているのかな?多分、知らないだろうな〜…:

数が少ない男性の貴重な?種を無駄にしない為に繁殖力?がモノ凄く高い?のかもしれないね?令司は1つ賢くなつたね?

咲耶だけじゃ分からないので、検証として整備員達ともすれば分かるのでは?子宝の

男神様になりましたよ？ 励みまくって男女比の比率を変えていきましようね？ 息子達も同様に励め！

大鳳達は1つのテーブルに集まって、もくもくと赤飯などを食べるのだった。お酒を出されていたがみんな一滴も飲んでいない。何かが入ってるんでしょうね？ 飲めないメンバーではないから…

えっ？ 咲耶はどうしてるのかって？ まだ幸せな顔をして気絶してますよ？ 起きないんじゃない？

「……人……？……し……様……主……様……？……主……人様……ご主人様……えいっ」

「おわっ?! んむっ」

ブーツとしてたわ……。Oh……。口と両手が幸せ……。もぎゆもぎゆするの止まんね……。キスの味は無味ですね？ これが普通でしょうよ……。美味しい…

エロ嫁達が特殊なんですよ？ 原初とかそんな言葉が咲耶の書類に書いてあったし……。そうなんだ？ で流したよ。本人達に聞く気ないし、喋る気もなさそう出し？

「うふふ。楽しいって伝わって来ます。シリアス。こつちに来なさい。では、行きましようか」

うむ…。むちましい。けしからん。あっ?ちよ…ちよつと?両足を持つてるのと令司君を持つて狙いを定めてるのはだああ…っ?!

かなり溜まつてる宣言を出したベルファストとキスをしながら美爆乳を堪能。そして強制的に繋がるのだった。強制サポートをしたのは誰なのか?ニューカッスルとシリアスでございます

咲耶あゝ?起きろゝ?夫が部下で元メイド長のベルファストとハッスルし始めちやつたぞゝ?何か言わなくていいのかあゝ?ダメだ、起きねえ…。結婚式を挙げないけど?もしかして、パコるのが結婚式って事かい?

☆☆☆

赤飯などをおかわり3杯して満腹になったエロ嫁達。バチバチ音とピチャピチャ音が沢山鳴っているヤバイ?のを見たり、ドエム基地の自分達を観察や会話をするのだった

位置関係はテーブルを挟んで向かい合っていたり、右隣や左隣にいたりなどである

オーブン基地内では当たり前?な光景ですけどね?ドエム基地の皆さん、食事のスピード遅いですねゝ?予習した筈なのにね?

「お兄ちゃんとの気持ち良いよね。ベルファスト、涙目になつてる…。…へえ？こつちのゆーちゃんはおスなんだ？番はいるの？ユニコーン？」

「あむ…。ごくん…。番…。？3頭いる…。沢山子供いる…。ゆーちゃん、娘達ともヤツてる。後、息子ちゃん達は嫁が2頭いて、交換してヤツてるの。んぐん。今度、ゆーちゃんの中の良い未亡ちゃんが、ゆーちゃんの1頭の嫁が2日間ずっとヤル計画立ててるの…。薬はもう用意してあるの」

「ふくくん？そうなんだ？「それで…」ヤダよ？ユニコーンのゆーちゃんを、そつちのゆーちゃんと未亡ゆーちゃんに会わせないから」

「…うん。分かった。こつちだけにしとくね。書類にそう書いとく…。…ご馳走様でした」

「シリアスにサキュバスの尻尾は生えてないんですね？後、髪が短いですね？髪の毛の色は一緒ですけど…。元メイド長のベルファストの実演をじっくり見てますね。もじもじしてる」

「シリアスだつたら尻尾で支援するわよね？シリアスの髪は切つてもすぐ伸びるのよね？…はあ…。オープン基地が異常なのだと分かるわ…。ここの天城は弱つてるみたいだし…。加賀と赤城に世話されてる…。世話された事ないわあ…」

「あら、ほんとな…。天城…。ここのルイスはお酒好き。個性出てるわね…。ルイス

も飲めるけど、ここのルイスのようにはならないわ…。…天城の病気?は治るのかしら? 咲耶指揮官や明石、ヴェスタルが頑張ってるって、ここのポーラから聞いたわよ?」
ここのセントルイスのようにならない…。…色んなKANISENの背後に回って首筋を舐めている行為

舐められているのは主に軽巡達である。またやってる。な雰囲気を受け入れられている。オープン基地のセントルイスは、この行為を1度もしていない。令司にはしてるけど

「指揮官様の特效薬で治るんじゃないかしら? 興味ある感じだし? ボーツと見ても。加賀も赤城も。サキユバスとして応援しないとね? 出された媚薬入りのお酒に、サキユバスのキツイ媚薬を混ぜて飲ませましょうか♪うふふ。幸せになあれ♪」

「危ない奴じゃない。匂いだけでどうにかなりそう。天城、最狂のサキユバスの1人だって自覚ないでしょ? 楽しくならないで? やめて? ルイスで実験しないで? フリじゃないわ!」

「指揮官様の言う通りでしたわあく。ここの大鳳はアルバコアのサブライズで気絶してますわ。ハグで仕返ししないのね。あつ、シリアスとニューカッスルとイチヤイチャし始めてますわ…。」

「お兄ちゃん。シリアスと口移しで食べてるね。で、ニューカッスルと繋がつてると…」

「その…。ウチの陛下と戯れてくれてありがとうございます」

「いえいえ。発散出来るのでこちらこそありがとうございます。椅子になるくらいどうって事ないわ」

何か、凄い？会話をしていますね。ドエム基地のみんなは食事が終わったようです

イチヤイチャし終えたベルファストの身体のあちこちに、令司のキスマークが付いている。幸せな顔をして全裸で寝ている。それとエロい貞操帯が穿かされていました

オーブン基地の天城は、ドエム基地の天城にお酒を飲ませに向かう。サキュバスがキツイと言う媚薬を媚薬入りのお酒に混ぜちゃダメでしょ？

あー？天城？近づいていったらさ？世話をしていた加賀と赤城の尻尾がメチャメチャ震えていますよ？ジグザグという表現がぴったりきちやう尻尾になっている

2人の狐耳もピコピコ。どんな状態になってんの？座っている所が濡れちゃったよ？強制発情期にされちゃったか？

天城は無言笑顔で、右手に持っていたお酒を渡し、両手で受け止めた天城は、狐耳の前に垂らしてお酒と天城の顔とサキュバスの尻尾を交互に見て一気飲みをした

「ぷは〜。…かつは!!はあ…はあ…。あつ…あつ…。くっツツツ!はあうんっ!んっ…んっ…。熱い…。こう…び…こうびい〜。んん」

「ビックリしてるけど、受け入れたわね。自分の気持ちに…。はあい。指揮官様の所へ

「ご案…うふふ。赤城と天城、加賀、四つん這いで行ったわね…」

「天城、汚いわね〜。サキュバスの♡マークを舐めて興奮してるんじゃないよ…。もう…。こつちのルイスはずっとモジモジしてるわね〜?指揮官君に直接指揮されないと発散出来ないかも…。あ〜、早く順番回ってこないかしら?」

「ぐふおっ?!…こらっ!天城〜っ?!何してくれてんのっ?!んむん…。ちゆれ…。…んはあ〜。よしよし…。たくさん(乳首)吸ってヨシ。そうそう。良い感じ良い感じ。天城い!お仕置きするから来いっ!すまんすまん。(ドエム基地)天城の好きなペースで振って?」

「はあい!逝きま〜す♪」

「モジモジしてないでいきましょっか?大丈夫よ。指揮官君の指揮は上手なんだから♪服は全部没収ねっ」

サキュバスのキツイ媚薬が入ったお酒を飲んだ天城。と、匂いだけで発情期?に入った赤城と加賀とオープン基地の天城とガッツリ交尾をする事になった。ダブルセントルイスも令司の所へ向かうのだった

整備員達が食事をしに来る時間帯を教えて貰ってなくね?報連相、しっかりしろよ

咲耶は起きません。手慣れている部下達が濡れタオルで身体を綺麗にして、服を着せて食べさせてました

令司く、整備員達がご飯食べに来たぞく?早よ気付くってばく。整備員達の顔が蕩けてるぜ?超タイプなんだってさ?

「うわく。どうしよ!どうしよ!生はヤバいんですけど!咲耶お嬢様に全裸土下座して頼んで漢わさせて欲しい!あつ、鼻血出ちゃう!」

「その咲耶お嬢様はさ?幸せな顔して寝てるんだけど?全裸土下座無理じゃん。無理に起こすとネチネチな手付きで追い詰められるのよ」

「経験者だもんね…。発散出来ない身体にされるんだよね…。サツサとご飯食べて、生ドスケベ観賞をしよう?お腹空いたもん。秘書KANの誰かが起こすよ」

「そうだねく。食べよつか。日替わりメニューは…」

注文しに行く2人。チラチラ令司を見るが令司は気付かない。まあ、そうだよ。気絶していた大鳳が起きてパフパフと下の口を味わっているんだから。赤城達?全裸で寝つ転がって息を整えていますよ?

そろそろと整備員達が食堂に来て同じ反応を取るがサツサと食べ終える。走って食堂を出る。部屋に籠ってナニするんです?それかお風呂で念入りに身体を綺麗にするんです?

「もぐもぐもぐもぐ。ごくん…。ご馳走様でした。…お風呂、一緒に入ってくれるかなあ?」

「もぐもぐもぐもぐ…。んぐん。ご馳走様でした。どうだろ？出来たら幸せだけど？想像しただけで重イキしちやつた」

「そうなの？あたし、軽イキと重イキのダブルパンチなんだけど？早く起きてよ。腕枕されたいし、喉仏にキスしたい」

「へえ〜？ウチはね〜…」

食べ終わった2人は性癖でしょうか？を令司をチラ見しながら語る。令司の令司君をお迎えする事は出来るんでしょうか？令司はこの2人の事がタイプなのか？マジで早く気付けよ。エロイベントが目の前に広がってんぞ。後、咲耶お嬢様は起きなさいよ

2人の容姿？あたしさんは、金髪ポニーテール美爆乳ギャル。逆転世界に住んではないければ絶対、経験豊富のクソヤリマンでしょう。そんなイメージがあたしさんにはある

ウチさんは、茶髪ポニーテール美爆乳ギャル。こっちはネットリ出来そうで出来ない

雰囲気醸し出している。心の芯が強いと思うよ。ハラハラドキドキ感を常に感じる事になるね。雄力を磨かき続けないとね？

据え膳。置いてあります。このギャル2人は食べようとしてます。これかな？『据え膳、喰わねば女の恥』

咲耶お嬢様が起きるのを待っている。ドエム基地のお昼に来てこれだけ？令司の生活はこれからどうなるのでしょうか？本当にRTAするんじゃない？エロイベントが

大量発生しそうだよ?

レベル高つかうい!!!

ホーネットの案内により近道として獣道を通って食堂へ向かう。この獣道は盛り場である。令司達が来る前まで使われていた模様。令司達もその内に利用するんじゃないかな? 気持ち良いでしょうね〜

案内されていても令司と咲耶はずっと盛っていた。どうやら相性抜群のようです。キスを沢山した。キス魔、誕生である

オイル3箱使い切つて墮とした。エロ嫁達は、3箱使い切りには耐えられないのに対し、耐えた。なんと素晴らしい耐久力なんでしょう! 咲耶は実は人間じゃなくてK A N S E N なんじゃない?

咲耶の身体はツヤツヤのモチモチでメス力・雌力がぐくぐくと伸びた。なんか簡単にツヤツヤのモチモチになり過ぎでわ? 幸せを感じてるからヨシッ

えっ? オイル1本、何mlか知りたいって? こちらになります

令司特製オリジナルオイル↓1本、300mlの茶瓶。(危険生物の油や脂? などが主成分)。木箱1箱満タンにした本数は、30本

かなり気合い入れて作りましたね。オイルマッサージデート、大成功になって良かった

たね!

食堂に着いた令司達。入口付近で、元メイド長のベルファストが笑顔で楽しい声色でエロい貞操帯を振り回していた。何でさ? 咲耶に装着していったのだった

ゴールインした事を耳打ちされる。嘘を言っている感じがしないのだった。逆転世界の女性の神秘に触れたのだった。男の子の場合、お祭り騒ぎになるんじゃないか?

次にメイド長のニューカッスルが笑顔で挨拶して、令司を欲情させる行動を取る。バツチり拝んだのだった。ニューカッスルは見られて準備万端でした。お互いの頭、お花畑なんですね?

エロ嫁達から強引にセクハラもとい、スキンシップを取れ。のようなお言葉を貰っていたようで、その通りにベルファストとニューカッスルにスキンシップを取った結果がこれ

ベルファストの初めてを全て頂いた。嬉し涙が溢れる。それをエロ嫁達は赤飯を食べべながら見るのだった

ドエム基地のみんなは顔を真っ赤にしてチラチラ見ている。「あの元メイド長が凄く乱れている…」とか思っているのかな?

エロ嫁達はドエム基地の自分自身と仲良くする。ドエム基地のユニコーンのゆるちゃんの事情を聴くユニコーンなのだった。だいぶ拗れてる感じですね?

オーブン基地のゆうちゃんは狙われていた様ですが、これから一切、チンを出されない書類を書いたユニコーンだった。書類で解決出来るんですね？優しい世界なのかな？

サキュバス天城は病弱？天城の欲情、発情期を煽る行動を取る。世話をしていた赤城、加賀が、お酒の臭いを嗅いだだけで強制発情期に。病弱天城、赤城、加賀が仲良く、初めてのギシギシアンアン海溝に挑んだ

サキュバス天城はお仕置きツックスをされる事に。お互い愉しむのだった。船の中でもシタのに。調教されてるから簡単に濡れるのだった。どんな事をシタんだ？

キンコンカンコンとチャイムが全建物に鳴り響いて、エロイアイマスクを着けている整備員達が一斉に食べに来た。汗を掻いている者も居て、上半身半裸、首にタオルの格好をしている者が数人居た

令司はチャイムに気付かないでまだ盛っていたのでバツチリ見られるのだった。みんなの下半身がキュンキュンしたのだった。オスフェロモンが素晴らしいのでしょう。ここは、オーブン基地内じゃないんだぞ？抑えなさいって…

整備員達の中で仲が良さそうな2人が令司に一目惚れ。直ぐ勢い良くレイプをしようみたいな事を口にするが、理性が高め？なのでずっと眺めるだけだった。それと咲耶の許可が必要なようです。2人は食事を摂る事にしたのだった

令司よ。目の前にはエロイベントがなんかゴロゴロ広がってますよ？ 咲耶以外とも仲良くデキる整備員達がいいますよ？

でも、その前に令司君を寝かせませんか？ 頑張り過ぎで身体壊れちゃうぞ？

女性の皆さん、理性高めなようなのでレイプされずに済みました？ いや、男性は女性嫌いという常識を持っているから手を出さなかった？ 令司は大好きですけどね？ 良く分かりませんね〜？

ドエム基地での性…生活はどうなるのでしょうかね〜？ 楽しみですね〜？

☆☆☆

「……ご馳走様でした。へえ〜？ 最上位のセイレーン達の大移動した理由って、『どっかで拾ったオーブン基地特集の雑誌を読んだから』…と。それで、その指揮官である令司様の令司様で貫通して貰いたかった。…と？ なんかぶっ飛んでるね〜？ 愛の力かな〜？」

その雑誌、みんなにバレない様に読んでたな〜。…大丈夫…だよな？ 結構オカズに

…

「…ごくん。ご馳走様でした。ヴィクトリアスの料理美味しかった〜。だよねだよね〜？」

雑誌の件、バレてないと思ってるな〜。…折目付けんって…

「あたしら整備員達の仕事を勝手に増やしてくれるんだから…。索敵範囲外からの攻撃とかパナイの」

令司達のアンアンラブラブボイスをBGMにして食事を終えた美爆乳ギャル2人。最上位セイレーンの大移動した理由を知ったのだった

食べ終わつた2人は令司達の方を見る。終わつてると思つたのに、サキュバス天城先生の指導を受けている高雄とラブラブ中。猫耳が凄い勢いで振つている

「(うわゝゝ♡)：最新武器でもほぼ通用しないからね。セイレーンは…。饅頭達いるけど気まぐれだからねえ…。気分ノつたら一瞬で終わるし…。ドレイクゝゝ！デザート2つちようだゝゝい」

令司達をガン見する。見たままデザートを担当していたドレイクに頼むのだった。注文を受けたドレイクは、2人の様子を察し？てメニュー表に載っていないのを作るよ
うだ

2人の顔は早くやりたい。みたいな言葉が書いてありそうだった。2人のオ♡♡コはもう、いつでも『お帰りなさい、貴方♡』な状態になっていた。KAN-SENと一緒で濡れやすい体質です？

沢山イッているので多分、動けないんじゃないか？誰か？？介護してあげてゝゝ？

「ありが…」

「良く寝たわ〜。ふふふ、令司様との子供♪どっちかしら?」

「咲耶指揮官。おはようございます。筆頭秘書KANの高雄の初めて令司様に捧げるよ? 良いの?」

気絶から復帰した咲耶。伸びをする。服着てるのにタプタプという効果音が出ちやつてるよ? ベルファストの言う通りで出来ていた模様。幸せな顔をしている

指摘されて令司達の方を見ると、うつとり顔をキメる。どうした? 何か変な食べ物でも食べたかい?

大鳳について? ドエム基地の大鳳は、全裸でオープン基地の大鳳の膝枕をされて寝ている。オープン基地の大鳳はそんなキャラだったかい? すつごくお姉さん感を出してるよ?

「良いわよ? 高雄ちゃんったらデレデレしてる感じね〜。抵抗するフリをして滾らせるなんて凄いわ〜。ゾクゾクしちゃう♡あつ、こっちに気付いた。イツてる顔素敵〜♡ハアハア♡もつとその顔見せて♡服、邪魔。脱いじゃう♡」

「あ〜〜。はいはい〜」

(良いんだ? お嬢様の身体、オイルマッサージで凄くハリ艶が良い。エツロい…。令司様、レベル高つか〜い!!! マッサージされて沢山ガチイキした〜い。子作りしたいな♡ 認知しなくて良いよ♡ 令司様の令司様、レベル高つか〜い!!! んんんっ)

「はい。こちら、ジャンボスペシャル媚薬マシマシマシパフェ、2つです。どうぞぐゆつくり。咲耶指揮官? 令司様のお疲れを、添い寝で癒して来ますね?」

「ハアハア…。そう? あつドレイク、私の寝室に入る事を許可します。そこで添い寝以上の事をして良いわよ♡ あつ、咲とユリも許可します♡ 汚れて来ちゃいなさい♡ 午後の仕事無いし? その内に執務室で映像一緒に見ましようね?」

咲耶? 捨てないで? って叫んでたけど、これ捨てられてない? 基準が良く分からないんだだけ?」

「…っ?! あ、ありがとうございます。それ以上になれるか分からないですけどね?」

「…っ?! んぐっ?! ゲホっ…:ゲホゲホ…:っ。んんっ。ありがとうございます。咲耶指揮官。アイマスク、気合入れないとなく」

「あら? アイマスクしなくても良いと思うわよ? 令司様の心の声、私達、女性達を嫌つてないから。そうそう。私、催眠出来る? 声を持つてるんだって♡ そっちは勉強しなかつたからしないとね」

服を着させられたのに脱いじやったよ。ここの長。『パイ穴でシない?』と誘う行為をしながら、右手人差し指で口をツンツンするのだった

「えっ? あつ、うん…:」

(しなくていいんだ? まあ、嫌いだったらおつきしないもんね? 声は同感。沢山告白

されてる理由は声だと思うの()

「後々、私の家族全員、愛してくれるって♡母さんの乱れる姿を見れるとか最高♡あつ、サキユバスのコスプレをしたいからさ？咲、ユリ？コスチュームプレイ専門店教えて？サキユバス以外も着るわ。楽しくイってね？令司様？」

「はあ…はあ…。えあ？…あゝ、うん…。教え…る…よ。ド、ドレイク？ハアハア…キツインですけど…？」

「ようやく効きましたか。耐性あり過ぎ。明石作の1本20m1の媚薬を全部入れましたからね？薄めろと言われましたけど、原液で。ほら、イキましょ〜」

「レ、レベル高っか〜い!!!ハアハア…。あああんつ。あつ、ちよつ…。引つ張らないで〜」

「添い寝してらっしや〜い♡あゝ〜ん♡私の寝室で部下達に旦那様をネットリされる？♡鬱絶頂、素敵ね〜♡クルウ〜♡♡」

令司、モテモテ？ですぬ〜？休憩している所に突撃するドレイク、咲、ユリなのだった

添い寝は確定イベント。2人のエロいアイマスクを拝む前にドレイクに取られていた。どうやったのさ？さあ、令司の心の声を聞くのだ

咲耶…。貴女、書類の山々に日々、追われて？いたから相当お疲れの様です？令司二

ウム?とやらを沢山吸って疲れを取りましよう?ねっ?

☆☆☆

「うふふ。沢山シたわね〜?船の上でも沢山ヌツキしたのに元氣過ぎるわ…。大鳳と大鳳の膝枕を熱心に見てるわね〜?されたいの?」

「ルイス。尊いだろ?その内ね?ここの大鳳はアルバコアに氣絶させられるから新鮮だよ。オープン基地のエロ大鳳がお姉さん感を出してるん…んっ?」

オープン基地のセントルイスが、令司の背中にたわわな双丘を押し付けながら左耳にボソボソと喋るのだった。ドエム基地のセントルイス?は、全裸でオープン基地のセントルイスの椅子になって寝てます。なんでさ?

「「令司様、お突かれ様です。後、船での移動も。だから…ね?添い寝しよ?…ねっ?」」

「えっ?お、おう。そうだね…。疲れてるから添い寝して貰おうかな?おっ?ドレイク、飲み物ありがと。…え〜と?」

ちよつと〜?なあに、コレえ???咲耶もそうだけど、2人とも美女!レベル高つか〜い!!!

経験豊富の美爆乳金髪ビッチギヤルと、ネットリ出来そうで出来ない茶髪美爆乳一途ビッチギヤル。と、添い寝イベントが始まるうとしてんだけどっ?!!

「どういたしまして」

あ〜♡そんな♡簡単に飲むなんて♡エロ嫁達、いやエロ妻達は何も言わないでニコニコしてる。やっぱり経験者ね♡そっちのドレイクはどんな感じなのかしら?…ドレイク、いるよね?

「んっ。あたしは森咲。経験豊富じゃないよ?新品だよ〜。ちゃんと有るから。しっかり見てね?出来れば携帯で写真撮ってから激しくシて下さい!」

経験豊富?ア♡ルの事を言ってるのかな?それなら10人だけ…。豊富…なのかな?

フタ基地なら皆んな?50はいくと思うけど?咲耶お嬢様の妹さん達は未経験だけど。令司様の方が清楚ビッチじゃん。強いし。楽しんでね?

「ウチの事をそんな風に思ってたんだ〜?久場ユリで〜。新品だよ〜?令司様の事、一目惚れしちゃいました〜♡咲も一目惚れだよ?媚薬飲んでるけど、添い寝出来るから安心して〜♡」

寝てる時に手出してスッキリしてくれて良いのよ?ウチの血、飲みたいなく。豊富?ア♡ルの事?未経験!咲は10人だよ?ウチの幼馴染は進んでるんだ〜。フタ基地の方が凄と思うよ?

「お、おう…。よろしくっ。」

咲とユリの声萌えくく！コレ、何てエロゲーム？買った覚えはないよ！！無料体験版でもさ？振る舞い過ぎじゃね？！好感度を上げるイベント省略し過ぎ！ありがと！早速、攻略するね！

ドエム基地の整備員の総人数を知らないけど美少女、美女しかいないのかも？F○○くく→→→F○○くく→→喜んで添い寝させて貰いますよ？

あつ、お幾ら払えばいい？言い値で買っても良い。お金は幾らでもあるかも！

うんうん。そりゃ、添い寝屋が人気出る訳だわなく。健全だと親友が言つてたっけな…。裏オプション有りそうなんだけど？寝ている間に捨ててんじやね？

「あううう…。あ、ありがと…」

…：…んっ？顔が真っ赤ですね？もしかして心、読まれてる？エロいアイマスクしてないし？いつもは着けてるんでしょ？

添い寝のお誘いをされたエロゲームの主人公の令司。テンション爆上げである。オープン基地のセントルイスは、令司の左耳タブをハムハム甘噛みしている。令司君には触れていない。多分、ルイスルールを守っているのでしょう

「アイマスクは毎日着けてるよ？へえ？エロいんだ？そうは思わないんだけど…」

(ちよちよちよ。褒めすぎいっ！！ちよつと高めだからかな？あつ、胸に熱い視線が♡お金はこつちが出すんだけど…。どつかズレてるね？やつ…。ガチイキしちゃった♡♡♡パ

フエ、完食したからかな？はっや〜い（）

エロいアイマスクを着けてないので、令司の心の声を読んで、なんか勝手にキュンキュンしている。墮ちるの早過ぎですよ？

媚薬パフエで色々興奮しているのであつさり？ガチイキ。2人の下の口は『いらつしやい♡貴方♡』みたいに準備が出来ている

『男性は女性が嫌い。会つたらずつと罵声や怒声を浴びせる』とか習つたんじやないか？知らんけど。ガン見されて嬉しい様です。良いぞ。もつと見てやれ

お金を出す行為は『女』性から『男』性へ。がここ、貞操逆転世界の常識の様です。令司の常識が非常識。というのが当てはまつたぞ？大分分かつて来たんじやない？

咲とユリは令司の目と喉仏と乳首を見る。乳首周りに沢山キスマークが付いているのだった。勿論、令司もブラブラした全員の身体中にキスマークを付けている

ドレイクはどうしてるか？寝ている令司君をガン見してますよ？令司のエロ妻達はようやくか…。みたいな顔をして口を開くのだった

「誇らしきご主人様、シリウス達は基地内を散歩してきますね？」

「そうね。指揮官君？添い寝、楽しんで来てね？」

「おう。みんなと仲良くしてね？演習許可書？みたいなのがあつて、申請されていたのなら演習してね？」

ユニコーンは初めて来たんだもんね？で、演習許可書とかある…よね？まあ、無くても勝手にやってそうだけど。…資材大丈夫じゃないんじや？…いや、遠征してるようだし？なんとかなるでしょ？

「了解しました」

「話は終わったみたいだね？ほら、行くよ〜♡」

「おふっ。分かった、分かった」

ありがとうございます。ありがとうございます

媚薬が入っているのに襲いませんね？ガッツリ行くのかと思いましたが？右側に咲、左側にユリで司令の両腕を自慢の谷間に挟んで咲耶の寝室へ向かうのだった。ドレイクは後ろから笑顔で付いて行く

☆☆☆

「はあい。到着しました〜。入って入って」

「お邪魔します」

ずっと幸せを感じてたぜ！フェロモンを出してたんよ。ありがとう。媚薬入ってるのに凄く早く歩いたね？廊下で体験するのかと思っただけど、違ったわ。理性、凄いなだね？

わおっ！必要最低限の物しか置いてないわ…。家族写真は飾ってないか…。サキさんを拝みたかった。咲耶を産んだ女神様あ…

ここのキングベット、使ってないよね？もしかしたら執務室にある仮眠室で寝てるんじゃない？

書類の山々とかずつと見てそうだもん。書類仕事しないでつて言われたからね？
ぜつて〜、俺には理解出来ない書類なんだろうなあ〜

海軍つてブラックじゃん…。労働基準法どうした？ねえねえ？…あつ、俺つて元帥の地位なんだっけ？権力使っちゃう？いいや。明日以降の俺が頑張れば良いか。眠いからね

「もう寝ましょうね？ふふふ♡お休みなさい。添い寝出来た♡ありがとうございます♡」
♡♡

「お、お休みなさい。んおっ」

寝れるか〜い！添い寝なのに令司君が…ふひっ！パオんしちゃう！美爆乳が凄い！あう、気、気持ち良い〜。うっ…、令司君、素直！マジで寝かして？うぐっ?!

「…ふふ。お香焚いていきますね？」

3人が咲耶の寝室へ入って、キングベットにゴロンした事を確認したドレイク。明石から貰ったお香を素早く焚いていった

焚いた後、全裸になる。寝る時は全裸派の様です。因みにオーブン基地のドレイクは、上半身だけ身に付けて寝るスタイル。ドエム基地のドレイクが見たらどんな反応をするのでしょうか？

「あ……………？なん…か…急…に…寝む…く…？Zzzzz……………。Zzzzz……………」

「ふうふう…。…あつ？お〜い!!」

ちよ〜つ?!ニギニギしたまま寝ないで?!小悪魔めつ!あつ、ドレイク…。何故全裸?!添い寝なのにヤル気マックスです?!あつ、なんかお香?焚いてる?良い香りを嗅いでたらだん…だんと眠気が…

「失礼します。チュっ♡チュ〜♡んれちゅん。れるれろお〜。んつく…んつく。ちゅ〜じゅるるっ」

「〜〜〜つ?!?!」

あつ…。ダメだこりや…。海賊美女のドレイクのキスニツクでネットリされる。ポーつとしてく…。お…休みな…さい。Zzzz…。Zzzz…

「つつつつ?!?!?〜〜〜♡♡♡」

令司様♡お休みなさいませ♡ドレイクがしばらく下の口で温めますね♡素敵なた体験ありがとうございます。死んでも良い♡こんなエッチな海賊でごめんなさいね?お休みなさい

明石のお香が効いて、みんなお寝んね。明石の技術、凄い！海賊ドレイクのまくんにブレイクされた。ドレイクはキス初めてなのにな？

咲とユリは添い寝が出来て幸せな顔をしている。襲いませんでしたね？襲われたかったのかも知らない

咲耶が「晩ご飯の時間よ？起きて頂戴？」と言いに来るまでぐつつすり寝るのだった。司令は肉体と精神を癒されたかな？癒されていれば良いね？

シリアス達は基地内の散歩をした。そして演習場で10戦するのだった。大鳳と天城は不参加。結果はオープン基地の全勝である。色ボケしても強いようです。資材はそこまで消費されなかったそう

演習に参加したドエム基地のみんな『こっちは実弾。あつちは空砲。なのに、開始して1分30秒で全滅……。終わった後のご褒美ありがとうございます』と笑顔で言ったそう。誰かバグを修正して？

☆☆☆

ドエム基地に着いてイチヤコラしている頃の、オープン基地に居るエロKANーSE N達というと？ムラムラがマツハで各部屋でアンアンしているんじゃないのか？

その答えは…

「あははは。捕ったどく!!すつごいヌルンヌルんな魚!面白い!超デカい。これ、食べられるの?」

「えつと…?オミツターの片方ちゃんとエディターが捕まえた、それ…。ヌーチス…?だっけ?生きたまま特殊液に3日間泳がせて置けば食べられるようになるよ?」

「そうなんだく?うわわ。ヌル度が増した。口から卵つぽいのが出てきた!収穫用の水槽にポイだ!」

「何々?鈴谷?何が食べられる…つて、ヌーチスじゃん!珍しくて美味しい奴!ヤッタく?3日後が楽しみく?みんなに知らせなくちゃ。令司つちが食べる分残さないとね?1週間分にしとこつと」

オーブン基地内にある饅頭生簀?でオミツターの片方ちゃんとエディターが楽しく全裸漁業をしていた。ムラムラがマツハしていない。健全である。全裸は危ないでしょ?服着なさいよ!

鈴谷は監視役かな?捕った魚達を捌いていく。ヌーチス…。主つぽいですね?通りすがりの熊野、解説ありがとうございます。熊野の身体、埃塗れですよ?どうしたんです?

「それじゃ、危険魚を捕るぞく?」

「危険魚?名前、分からないんじゃない?つて、あく、潜つちやつた…」

「…危険魚って泳いでたかな〜? あつ、捌くの手伝うよ?」

「…………熊野? お風呂入った方が良いんじゃない? 全部捌き切ったよ? 要らないわ。ありがと」

「そう? 終わったんだ? …へっ? うっわ。気付かなかつた。…うん、そうする〜。ヌーチスの水槽、魚専門の饅頭達の所に持って行くね〜」

「ありがと」

名前を知らない危険魚を捕まえる事が出来るのかね? …『危険魚』って魚の名前じゃないよね? ね?

超デカイ魚、ヌーチスが泳いでいる水槽を、ウエイトレスが何枚も皿を重ねて持ち運ぶ持ち方を右手でした。平気な顔をして、水平を保ち歩いていく。令司が見たらどんな反応をするのでしょうか?

場面を更に変えましょうか

◇

「んしよつと…。抜けた〜。大きいね? これ。カブ…だよ? 美味しくなさそう…」
 「ニーねえの引っこ抜いたそれはカブね。少し小さいわよ? 美味しいわよ? 人参、キャベツ、ナス、「えっ、ちよつ…」キュウリ、トマト、かぼちゃ、玉ねぎ、インゲン、ルッコラ、パクチー、枝豆などなど。果物とかも全部大きくて美味しいわよ?」

「あ〜、うん。分かった。吾妻の収穫箱のキャベツ全部大きいからね。10箱満タンになつてる。深海ではこんなに大きく育たなかつたわよ」

「そうなの？深海の野菜とか果物とかで深海料理を食べてみたいわ」

「オミッターに聞いて頂戴。収納空間に沢山あると思うから。ゲテモノだと思ふけど？
ここの料理どれも美味しすぎるわ。深海料理はもう食べられない」

「ありがと。あら？ますます深海料理を食べたくなつたわ。リットリオ辺りがはしやぎ
そうね。吾妻母乳、樫野母乳、信濃母乳でどれが一番美味しくなるか研究しそう。リッ
トリオに搾つて貰おうかしら」

「ええ?!?!吾妻、母乳体質つて本当だつたんだ?」

「ニーねえと吾妻以下、駆逐艦達や軽巡艦達が農家になつていた。ここも健全でした。
人參担当、ナス担当といった感じ。それぞれに監視役が付いている。監視役つて入りま
す?」

「みんながバカみたいに食べるからか、野菜や果物全てが大きい。で、美味しい。どれ
も饅頭。パワーが入つてそうですね?」

「令司が料理したじゃないか?大つきいとリアクションしてないじゃん?それはメ
チャメチャ小さくカットされているのを調理したのです」

「深海料理!?食べる食べる!と、うか料理させて!」と、令司がはしやぎそうですね?

リットリオと一緒に料理しそうだ

令司が「持つよ?」と言つても持てない重さになっている。収穫箱一箱を満タンにする、1トン以上する。トラックは使つてない。鰻頭作の収穫箱のみである

テキパキと収穫していき、それぞれの野菜150箱に、それぞれの果物150箱を満タンにしたのだった。収穫量、凄いつすね? 何日保つんでしようか?

またまた、場所が変わつて

◇

「いっぱい採れるな〜。…あれ? ねえねえ? 時雨〜? このキノコなあに? ビリビリしてるんだけど?」

「んっ? あつ、ちよつ! オミッターの片方! 素手で触っちゃダメ! それ、見た目通り、ビリビリダケって奴だから!」

山があるんですね? 凄いな〜。戦艦、重巡、駆逐艦達が山菜やキノコ狩りをしていました。ここも健全でした

令司のキノ…。いや、なんでもありません。なんか面白い名前のキノコがあるんですね?

時雨が叫んだビリビリダケは、全体が本当にずつとビリビリしている。簡単に感電死しちゃうような危険なキノコである

「へえ？まんまだねくく？どうやって採る…「時雨くく？叫んでどう…。あら？ビリビリダケね。立派に育ったわねえ？収穫出来るサイズだわ。美味しいのよねく」

「あれく？扶桑が素手で触ってるよ？うわ…、右手がバチバチしてる…」

時雨が叫んだので扶桑が様子を見に来た。ビリビリダケを素手で採り、背負っている籠に入れるのだった。危険なのに凄いな。籠の中は色んなキノコが入っている

「扶桑さん!?大丈夫じゃないでしょ？明石からクリームを貰わないと。と、いうか持つてます。…あれ？何処にしまったつけ？…あれ？」

「えっ？少しビリビリするだけだから大丈夫よ？これ採れるの戦艦と重巡だけよ？その慌てっぷりは、雪風辺りが度胸試しに。とかで素手で触ったのかしら？」

「セイレーンのあたしは触れるんじゃない？えつと…う？あつ、あつたあつた。ホラく、触れたくく。ビリビリするねくく？」

「あつ、はい。そう…です。3日間、右手が使えなかった様です。えっ？あつ、うん…」
「ふくくん…。あつ、そうそう。珍しいカンカンダケを伊勢が3つ見つけたの！3日間干して置けば、指揮官の指揮官がもつと素敵になるわよ。きやつ♡」

「くくつ！うくくうくく！」

「カンカンダケ？なんか怒ってそうだねくく？珍しいんだ？時雨？ゆでダコになってどうしたの？うつわ、右手少し焦げた…」

「珍しいわよ? 思い出したのよね〜♡さ、沢山採れたから山降りるわよ。降りながらカンカンダケの説明するわ。久々に媚薬作りしようつと」

「ひっ?!」

「??ゆでダコから真っ青になってく時雨って面白いね! 時雨に渡されたクリームを右手に塗ろつと…。わあ〜! 綺麗になった〜! 凄〜い!」

扶桑が令司とのイチャイチャを思い出したのか、両手を両頬についてクネクネしている。パイ穴の見せつけ、ありがとう

別の場所でカンカンダケを見つけた伊勢の様子? こちらになります

『おっ! カンカンダケ! 3つ目! こらっ! 怒ってないで大人しくしろ! あっ、逃げんな! よしっ! 捕まえた! 1つは干す。1つは生。1つは焼きだ。干したので、媚薬を作つて指揮官に飲んで貰おう♡』

です。手伝っていたKANSEN達がクネクネしていた。令司の身体で実験をしているのかな? キノコが逃げるって…。ええ? では、最後にマツサージ棟の様子を見ましようか

◇

「ヨシっ。ゆー、色々、勉強頑張った。ドエム基地でデートする時、成果を褒めて貰おう♡くう〜ん」

「ピンクの霧の濃さが薄いからほとんど利用されてないのかな？みんなして船を召喚してなんか掃除セットで掃除してたなく。ゆーにはそんなの必要ないんだよね。」
獸人だもん」

「あつ、もう寝る時間。鍵閉めて……。お休みなさい。Z z z z……。Z z z z……。」

ゆーちゃんが初めて来た部屋の本棚にある本を、全て読んでいた様です。勉強熱心。照明を消さないで寝る。ゆーちゃんの個室になった感じですよ。開いたままのノートを
見てみましょう

『指揮官が気持ち良くなり、令司君が元気になるツボ』が、分かり易い絵と解説付きでまとめられていた。令司、このノートがバラ撒かれたら昇天しまくりですね？サキユバス
マッサージで体験済みかもしれません

ピンクの霧の濃さの件は、ゆーちゃんの言う通り薄いんです。利用されてないです。ラムラがマツハしていないようです。自主的？に癒し刑をする必要が無くなった？

自身の船のメンテナンスをしているからそれどころじゃないのかもしれないかもしれません。令司に乗って貰いたい欲があるのでしようね？

うっわ

整備員の2人の名前が森咲と久場ユリと判明。令司の経験豊富の発言で、アール経験人数を心の声で呟く

貞操逆転世界では、これが常識なのかもしれない。個人差があるようですが

媚薬が入っている咲とユリ。に、媚薬。パフェを作ったドレイクとの添い寝イベントが始まろうとしていた。驚いた令司だったが、チヨロインポジションなので簡単に攻略さ
れに行く

咲耶と同じでエロいアイマスクを外している2人も令司の心の叫びを聞いて、好感度を爆アゲてキュンキュンしていた。こちらもチヨロインのようです

添い寝をする所は咲耶の寝室。令司は両手の乳圧の幸せを感じながら向かうのだった。2人共、媚薬が入っているのに歩けるのは凄いですね？イキ慣れているのでしょうか？

咲耶のキングベットで令司、咲、ユリが添い寝を開始。そこでドエム基地の明石作製のお香を焚くドレイク。咲とユリは直ぐ寝てしまい、令司の令司君がギャン？泣きになる？

明石特別製のお香の効果凄いですね？オーブン基地の明石のお香と比べてみたらどうでしょう？違いがはつきりと分かるんじゃないかな？

令司もお香の香りを嗅いでだんだんと眠くなつて行く時に、ドレイクのファーストキスを貰う

そして勢い良くドレイクのドレイクにブレイクしてファイヤー。嬉し涙を流すドレイクなのだった

満足した？令司は眠りに堕ちていった。ドレイクが掛け布団になっていた。積極的く。令司は身体を癒す事が出来たのでしょうか？

話は変わって。ドエム基地に行つてイチヤイチャしている頃のオープン基地のエロKANISEN達の様子

それぞれセイレーン達と一緒に食材を収穫、捕獲していた。ムラムラしていない。健全であった

ヌーチス、カンカンダケ、ビリビリダケと言った、逆転世界ならではの生物が沢山居るようです。食堂の水槽で泳いでいる名前を知らない巨大？魚も捕獲していたとか？

令司もおセツセばかりではなく、収穫や捕獲を一度体験してみても？トレーニング室でトレーニングしただけじゃね？そこでも意味深トレーニングしたけど

エロマツサージ棟は、ゆーちゃんがエロ勉強をしていた位で誰も利用していません

た。どうした？すつごく過激プレイしてなかったっけ？癒し刑をする必要がなくなつたのかな？

— ゆーちゃんの呟き通り、みんなが自身の船のメンテナンスを必死にしていたのだった。令司を乗せたいのでしょうか。誰が2番手になるのかな？ 饅頭達は誰になるのかを賭けているとかいないとか？

エンタープライズとホーネットは、一足先に明石の何かと協力してメンテナンスを終えていた。なので、駆逐艦達を手伝っていたのだった。優しい？お姉様達だ事…

オープン基地のほのぼの日常の様子が分かったので、ドエム基地にいる令司の様子を見る事にしましょう

☆☆☆

「令司様。晩ご飯の時間で…。：あら？明石作製のお香を焚いてたのね…。：空ね？んっ…。甘い香りね…」

晩ご飯の時間になったので、咲耶がノックをしないで入る。何でお香が明石って分かったか？明石製と書いてあるから

右手に持つて中味が空になったのを確認。そして音を出さずにゴミ箱に捨ててから、足音を立てずに近づいていき令司の寝顔を拝むのだった。忍者じゃん？

「「ZZZZZZ」」

「良かった。令司様、疲れ取れてる。ドレイクだけね…。咲とユリにアイマスクを…。で？……へえ？かなり我慢してるわね…。その先をシテ良いと言ったのに…。んもう…」

ドレイクと令司のカクテルを右手で触って、ちよつとガツカリしている咲耶。2人にエロいアイマスクを装着していくのだった

「コレ、用意してて良かったわ。ヴェスタルの実験に付き合わされたけど…。起きたら令司様に飲んで貰いましょう。いや、飲ませますね？」

ドレイクに渡す分しか残ってなかった？無理させてた？などを思ったが、ミニ冷蔵庫から飲み物を取り出して『飲んでくれれば平気よね』な顔をしているのだった

令司は起きたらナニを飲む事になるのでしようか？令司君にどんな効果が出るのでしょうか？令司って毎回毎回、何かしら混ざってる？飲み物を飲みますね？

饅頭達から渡される飲み物は何も混じっていない。いい奴である

「塗りたくって…、2人の準備は出来たわね。あら、右手がびしょ濡れに。令司様、失礼しますね？……あつ」

「ん？?!」

…えっ？起きたらなんか咲耶の右手を食してるんだけど？……すぐく…湿ってるね

? また新しい扉を開けたかもしれない

「ん〜〜…。良く寝れた…よ…? 咲…耶? あつ、ありがと?」

「ふあ〜。んぎぎ…。良く寝れた〜。つて? あれれ? 左手のそれ…。へえ…? ウチらにサービストってワケだ? ありがとね。もうね? 限界なんだあ」

2人とも媚薬飲んでたのに良く寝むれたね? 明石のお香のお陰ですかね? 明石の技術スゲ〜。咲耶はちよつと変な行動を見られるのだった

咲耶の指摘通りで我慢の限界にきているようです。令司はこれから大変になるんですね? わかります

「…:…: 晩ご飯の時間になったから起こしに来たわ。あつ、令司様? コレ、飲んでください
ね?」

「…:えつ? もがっ?! んぐんぐ…。つつつつ?!?!?」

美味しんだけど、令司君が元気になっていく〜? 熱いつ! 熱いつ! 晩ご飯出来てるから起こしに来たっていうのに俺が晩ご飯替わりっ?! 晩ごおふっ!〜? っ?!〜? っ?!

令司、一気飲みさせられてるね? 令司君が漲る飲み物だったようです。疲れが取れたのにまた疲れさせるんですね?

「うっわ。すつごい事になってる…。効き過ぎ」

「ハアハア…。ハアハア。アアアッ」

「咲耶指揮官、こんばんは。拘束させて貰うので、友人2人の卒業式を見ましようね?」
 「こんばんは。ドレイク。もう縄で拘束してるじゃないの…。ばんざ…。「あつ…。」」

指揮官なのだから令司みたいに言霊を使えばいいんじゃないかな?使えないのかな?使えるけど、使いたくないのかもしれないね?フレンドリーな職場したいから。という理由で

ドレイク、上官を万歳させて縛つちやうのね?反逆罪とかにはならない?解体?もんじゃないね?知らんけど…

「~~~~~?!!?!」

(んあくくつつつつ!!!!キタキタくつつ。…:つつアツツううくつつ!!?!?んんんくつつ)

「ユリ、大胆だねくく?令司様?あたしのでも気持ち良くなつてよね?」

「ユリ、おめでどう。どつちかしらね?楽しみね?」

晩ご飯は令司だったようです。添い寝前から蓄積されていたのを一気に解放したようだ。ユリはサキユバスなんじゃないかな?これは咲もサキユバスの可能性がありますねえ?

「んはくく。ハアハア…。ファーストキスと処女貰つてくれてありがとね?気持ち良

かったわ。相性良いわね?」

「ハアハア……。ど、どういたしまして」

沢山出したというのにまだまだ元気だよう……。本当にお前つて奴は……。頼もしいな……。まあ、飲み物の効果もあると思うが……。まだ熱い。求めてるよ……

晩ご飯を食べるのは先になりますね? ユリは、令司の胸にのの字を書いて落ち着かせていたのだった。令司は咲耶の腋を見るのだった

「ふう……ふう……ふう……。んっ……。はあ……。……………充分に休憩取れたようね? 令司様? ふっ……。……いらつしやい?」

「ふぐお?! 咲……。ただい……まあ……っ!!」

あゝ、もう……。咲耶の腋に令司君を……。という妄想をしていたのを咲に読まれたのかな? 咲も催淫効果がある甘いエロい声で左耳を犯すんじやねくくよおくく!!? ゴラアあッツツ!!

「つつつつつつ?!?!! アアアああああくっ!ん、チュむっ……」

ここか? ここがええんか? こんのエツロいサキユバスめつ!!! このこのっ!! 煽りまくるエロい身体付きをしちやつてさ? 何なん? 沢山突き合えよな?! なっ! 一気に解消しろよ! うぐおっ!!?

「「うっわ。最高。されたいわ……」」

令司、飲み物を飲んだがお酒ではない。令司君を元氣いっぱいにする成分が多く含まれているだけ。それなのにご乱心

まあ、仕方ないよね？相性バツチりなんですもん。咲耶達、サキユバスっばいですし？

ユリ、咲耶、ドレイクはアツアツ？な交尾を見て、羨ましいと顔に書いてあった。触れていないのに濡れる濡れる。ドスケベですなえ？自分の胸を揉む。といった行為を取っていないかった

「ふう〜…」

「ハアハア…。…えっ？まだ…。あた…。んむんっ?!ん。くっ!!!ん。くっ!!!」

「あはっ。令司様、令司様。咲耶のこの駄肉パイで掃除してもっと元氣にして下さいね？あんっ。ふへへ。早速ですか？そうそう。熱い視線をくれた腋も使っても良いんですよ〜？」

「令司様？スツキリするならドレイクのドレイクにお願いします」

「ハアハア…。ハアハア…。ああ…。治んねえから沢山、突き愛つてもらおうぞ！」

ほんと、堪りません！令司！逝きます！

「!!!はいつ!!!」

効果が切れるまで、咲耶以外を沢山、アンアン鳴かせまくったのだった。咲耶とのス

キンシップも忘れずにやった。みんな大喜びでガチイキしまくりの大満足。良かったですね？

実は、咲耶は最初からこんな光景を見たいし、混ぜりたいから早めに起こしに来たのです。令司はそんな事は知らない。踊らされてる？…ね？幸せ感じてるからいつか？

☆☆☆

「はい、あ〜〜ん」

よっしゃ〜〜!!! 『あ〜〜ん』 いただきました〜〜!!! 嬉しいですう〜〜。すつつごく良い笑顔!では、頂きますっ!

「あ〜〜ん。……うんうん。美味しい」

咲とユリからの『あ〜〜ん』でなんかメロメロしている令司。右側がユリ、左側が咲である。服装? 2人共、もう着てねえじゃん?! というのを着ている

2人の肌はモツチモチのツヤツツヤ。美人度が爆上がりしました。ヤツタネ! 令司! 令司肌もモツチモチのツヤツツヤ。カサカサにならなくて良かったね〜?

「……凄いモノを見てるわね? んっ…、濡れて来ちゃった。ザラはどうなの?」

「ポーラ…。…濡れてるわよ。咲耶指揮官の旦那様の令司元帥はすぐくドスケベだから、チャンスありそうよ?」

「やった♪お風呂に連れて行くと思うから先に入浴してましょ？」
「そうね…。行きましょ」

あゝ、最高。2人がここ、貞操逆転世界で男性貴重世界じゃなかったらさ？絶対、痴漢やレイプされまくりでしょ？

で、助けた男性もケダモノになるね。裏路地行き、間違いなしだ。でも、2人とも腕力あるんだよな？結構、痛た気持ち良かったよ

聞けば、何かの書類を見た咲耶は、万年筆をへし折ったんだとか？そうなんだ？
だったね。手加減されてそうだな？

それをさ？咲耶がいるのに言うなよ。で、咲耶は『イヤん♡』なポーズをとったし。写真、撮りたかった…。どんな内容だったかは聞かないでおくよ…

うんうん。令司の言う通りで、男性が溢れ返っている世界に居たのなら、されまくりでしょうね？

けれど、ヤツた全員は、一生おつきしなくなりますよ？だってサキユバスだし？…えっ？令司？特別製。令司の所にちゃんと戻ってくるんじゃないかな？

スツキリした咲耶はどうしたのか？もう既に食べ終えていて、『仕事してくるわ』と笑顔で言つて、縛られたままドレイクと一緒に執務室に向かった

本当だよ？百合をするとかじゃないよ？ドレイクの右手と左手の薬指のどちらにも

指輪を付けてないから。それがなんだ？ですけど

「「そう？！良かったね〜？…つて」

「「うっ… あっあっあっ…。んんん〜っ?! やっ?! や〜っ??」

「気持ち良くなり過ぎて聞いてないわね…。分かるわあ…」

「うんうん。ウチらも何度も味わったからね〜？ 沢山イッケえ！」

あつ、そうそう。エロい美少女3人とエロいアイマスク無しでラブラブしてるぜ。ド
 エム基地の顔面偏差値、凄く高いのよ。超高級店！VIP！VIP！ありがと！

まだ新しい扉が残ってたか〜。開けきったと思ったん…だけどな〜?? 両手と令
 司君、幸せだぜ。ほんと令司君、元氣。病氣じゃねーかな？ 飲み物のせいもあるかもだ
 けど

咲耶の寝室でハッスルしまくりでスツキリさせた筈の令司君。なのに食堂内でまた
 またハッスルしている。令司君よ。良い加減、お寝んねしよう？ なっ？ なっ？

疲れが取れているのに、令司はなんか変なテンションである。憑かれているのか？ 美
 少女3人と繋がっている。違法で犯罪じゃね？ 警察呼ばなくちゃ…あ、っ？ 合法？
 へえ？ そう？ ならヨシっ！

「令司様つたら、ウチらのエロいっていうアイマスクを結構触って来るよね？ 肌触り良
 いでしょ？ ちよつと高めなんだ」

「想像より肌触り良いよ、これ。へえ？そんなんだ？」

聞いてもピンとこなさそう。なんか金額、バグってそうなんだよなあ。高級車が何十台？とかを一括で買えそう……。何を言ってるんだろか

ちよつと高めか……。高い判定食らったアイマスクはどんな肌触りなんでしょ？

プロポーズ書類通りでエロいアイマスク、種類豊富！凄いわ。あつ、そうだ。貰つて良いかい？

楽しく？ラブラブ？している令司。この世界に来てから初オ♡♡でもする気かい？多分、許されないんじゃないかな？知らんけど

知られたらどんな事をされるか想像がつきませぬねえ？もしかして知られてナニをされたい欲望をお持ちですか？分からされたいの？この変態！

「「あく。あく。あつあつあつ。んひっ?!んくくっ!!」」

ラブラブしてる3人から急に『幾ら欲しいですか？言い値で払いますよ？』って食事をしていた時に聞かれたから驚いたよ。考えこんでたら急に脱ぎだして全裸土下座だもんね…

床がさ？ドンドン濡れていくのよ？何故、興奮してるん？と思つたよ。でも、眼福でした。ありがとう。あつ、食べた料理を作つた美少女達だったよ。料理（意味深）しちゃつたよ！

「ふう〜……」

「スツキリしたみたいね……。令司様？お風呂、入りませんか？女世帯だから強制混浴になるわ。あたし達を嫌いに…はならないわね。うふふ」

「おっ？そうだね。もうお風呂の時間か。嫌いにならないぞ？混浴、楽しみだわ」

混浴イベントキタ〜っ！そうだよ〜？男性の数が少ないんだもんね？作つて
るワケないよな。オープン基地に男湯無かつたし

嫌いに？あつ、そうだった。ここの男性つて女性嫌いなんだつた。うん…、頭ん中を
壊さないでくれます？

スキンシップして慣れていけば良いのに…。優しいんだぜ？色々受け入れてくれる
んだぜ？最高だるうおお!!

「やった。是非是非。堪能して下さいね？オープン基地のお風呂場の方が豪華だろうけ
ど、立派よ？」

「良い事聞いたわ。早く入ろう。案件よろしく。おっふ」

「もちろん。案内するわ。むぎゆ〜。えへへ」

良かった。みんな、チャンスがあるわよ！咲耶お嬢様の許可も下りてるし！みんな未
経験だけど色々努力したものね？喜ばれてね？

令司君をスツキリさせた令司。お風呂に入る事になった。実りに実つた果実の穴に、

令司の両手を埋めて案内する

右手にユリ。左手に咲である。2人は咲耶と同じく、ドエム基地のシリーズに貞操帯を着けられていた

夜のお店を体験するんですね？オープン基地内で味わっていますが、他所の基地が相手だとわ…。気配を隠して、背後から包丁等でグサッ！ドゴンツ！をされない？

連行（案内）中の時の令司君は、大人しく寝ていた。察しているのかな？

☆☆☆

「着いたよ〜。風呂場はここしかないからね？KANSEN達と整備員達と一緒に入ってるんだ」

「そっか。案内ありがと。よし入るか」

途中から乳首責められたぜ。満足してもらえて何よりだ。お礼に2人のお胸様を吸ったけどね？喜んでくれたぜ。それじゃ？夜のお店に来店しますね〜？

「「あつ！咲耶指揮官の旦那様！間違えた。令司元帥！咲とユリ。グツジョブ！スケベな身体付きしてるね？うへへ」」

「「でしよでしよ〜？あんたら、色んな所を揉まれて来なさい！下の口でキスしても良いわ！咲耶お嬢様から卒業の許可、降りてるわよ」」

「[[[[は〜〜]]]]」

「ありがとう!…うむ。みんなKAN—SEN達と同じ位に、けしからん身体付きをしている! 本当につしからん尻だ!」

なんちゆう会話を脱衣所してんだよ…。頭の中がお花畑になってますね? まあ、サキュバス? だからそうなるか?

KAN—SEN達は多分、先に浸かっているのでしょう。それか哨戒や見回り、演習などをしている可能性がある

貧・豊・巨・爆乳。お嬢様、ヤンキー、ギャル、根暗、マツマ。…で? タレ目、ツリ目、片目メカクレ…などなど。バーゲンセール開催中!!! より取り見取り!

本当に偏差値高い! 本当に夜の超高級店ですよん! ありがと! お客は俺だけ! F O O ~ ~ ~ !!! 冷える視線や、熱い視線、ありがとございます!

令司の超タイプが沢山いるようで、寝ていた令司君が起きた。令司君は働きモノです。働き過ぎだと思っけど…

「わっ! 令司様に桃尻触られたっ?! 一緒にお風呂入ってくれるんですね?! ヤツタ〜! 背中、洗わせて下さいね?…えっ? 持ち上げてどう…ん?!!? ~~~~~ ツツツ!! あっ?…」

「おめでと」

「「「あら？あらあら。おめでどう。令司元帥？そのまま入りましょうね？」」」

桃尻？ちゃんにファイヤーしたようだ。そのまま入っていくのだった。幸せな顔をしている

「あら？ザラ？来たわよ？あはっ。繋がってるわね？元気いっぱいね？凄いわ」

「これで…、はい。消えたわよ…。演習お疲れ様。えっ？…あつ、本当。で、もう気絶してるじゃない」

先に入浴していたザラとポーラ。ポーラは演習に出ていた駆逐艦の身体に書いてある？何かを落としていた。多分、正の字じゃないかな？

2人共、ピンク声を出すのだった。令司の出すフェロモンやられているのか？それより前に既に堕ちてそうなんですけど？

一緒に入って来た整備員達は、令司とイチャイチャしないで髪などを洗うのだった。洗い合ったりしている

「ふう…。あつ…」

やつべ。桃尻ちゃんに背中洗って貰え…おうっ?!いい、いきなりだね？素晴らしいのをお持ちのようだ…。ありがとう

「令司様？お背中、失礼しますね？んっ…んっ…んっ…んっ…。はあ…。いかがですか？こうなりたいから艶本でいっぱい勉強したんですよ？後、神聖書も読みました」

「さいっつっつこうです！あり」「こつちも洗いますね？出しちゃメっ！ですよ？えいっ♪」
はうっあっ?!」

こいつらっ?!あゝっ!あゝっ!まんま?超高級店じゃんか!ありがとう!ありがとう!ありがとう!右耳があゝ、甘い声で犯されてる!ありがとうございます!

艶本?あゝ、エロ本の事ね?神聖書?そんなのがあるんだ?うぐっ。くうく!

パイパイしてる金髪ロング褐色ツリ目爆乳美女。分かつてるじゃん!アイマスクしてないからこつちの弱点バレてる!

あつ、そんな…。こうたい。いゝぐあゝ!?!ビリビリするゝ?!谷間にナニか塗ったなあゝっ?!イゝっつっ?!っけないゝ?!

「綺麗になってくださいねゝ?よしよし…。んっしよ…んっしよ…」

オープン基地内でもそれらを味わった?よね?なんか凄く感動して泣いてますねゝ?
(↑違う涙だけ?)。本当に超高級店に来店してんじゃん。おめでどう

一緒に入って来た整備員達は、無言で目線で指示して令司君を洗ってる。いや?調教してるのかな?連携バッチリである。マジでサキユバスである。ありがとうございます
す

サキユバス達が住むドエム基地へようこそ?な件

令司よ。しっかり攻略してレベルを上げな?多分、まだ見ぬセイレーン達や別の基地

の飢えた？軍女や一般人とドスケベする事なると思うからさ？弾けちやお？なっ？

「凄いい光景ね〜？…えっ？仕上げにザラのザラで綺麗綺麗して良いの？ありがと♪ポーラ？先に卒業して来るわね？念入りに洗ったから大丈夫。オーブン基地のザラと比較して欲しいわあ。劣化品かしら？なら頑張るわね♪」

「はあい。逝つてらっしやい。見守つてるわ〜」

発情期に入っている？ザラのザラで令司君の仕上げをするそうです。準備が出来ている。令司に近づく時、髪を掻き上げるのだった。その仕草をクワツとして見る。そして…

「あははっ！お互い、吠えてる〜♪令司様のうるさい口は、整備員の口で塞がれちゃったけど。令司様、気持ち良さそうにしてるわね〜？ザラ〜？良かったじゃない♪ホラ、綾波？…続き続き」

「…：…：…えっ？はいです。元帥と整備員達が大人？のキスを交代しながら沢山してるです。オツパイ椅子にもたれ掛かっているです。椅子係、交代してるです。後は、元帥の涙を手で拭つたり、直接舐めてるですね。あつ、元帥がザラのファーストキスを奪つてそのまま、ザラの上になって大き」

「はい。そこまで〜！説明ありがと。ヨシヨシ…」

「…はいです。…もつと撫でろです」

おうおう。ドエム基地の綾波く？ 凄い説明ありがと。ポーラ、ナイス判断！ 毒舌？ な
 オープン基地の綾波に対し、無表情なんですわ？ 個人差があるんですわ？

「ふう……。……綾波？ ムラムラしてるのならゴールインして大人になっちゃいなさい
 ？」

「……えっ？ でも優先順位が低」

「……そういうのいいから。よいしょつと……」

「きやあ!! えっ？……ちよつ……ポーラ？ えっ？ えっ？」

おや？ なんかイラつとしたポーラが綾波を拘束して持ち運び始めたぞ？ そのまま令
 司の元へ歩いている。ゴールインさせる気満々ですわ？

どうやら優先順位があるようです。が、無視するようです。整備員達が気付いたよう
 で令司を煽っていつて？

「つつつつつ??? んんんつ!」

見事にゴールイン。ポーラ？ 乱暴ですね？ 綾波の表情が変わったので？ 令司の令司
 君は更に暴走したそうなの

オープン基地内と一緒に逆上せるギリギリ手前まで、入浴しているみんなとハッスル
 をするのだった。初顔合わせなのにね？ なんか凄いわ。令司の出すオスフェロモンの
 所為かもしれないね？

「んちゅ…。んんっ！れるれるるお…。んっ…んっ…」

ふくっつ!!!みんな違って、みんな良いぞくく!!!ありがとうございます！ありがとうございます！
ざいます！ありがとうございます！ありがとうございます！

………司令、貴方さあ？マジで背後から気配隠されて包丁や砲撃、空撃？などで刺されるんじゃね？防衛しなよ？

まあ、優しい女性ばかりだからそんな事は起こらないと思うけどさ？まだ見ぬ女性達がどんなのか知らないじゃん？

☆☆☆

◇ドエム基地の執務室◇

「あく。凄く楽しそうにハッスルしてるわね。仕事捗るわ！良いもの観てるわ！艶本通りよ！ねっ？ドレイク？」

「ええ。そうですね。明日分の一部に手を出すまで捗ってますね…。毎日、これなら良いんですけど？」

オープン基地から取り付けられた？風呂場の映像を観ながら書類の山々を、貞操帯一丁の姿で片付けていく咲耶なのだった

ドレイクも見張り兼、秘書KANをする。こつちもちゃんと仕事をしていた。こつち

は海賊女だぞ?と分かる服装をしている。正装なのでしょう。そしてアールになんかの尻尾を付けて過ごしている

「ええ?疲れちゃうわよ。どうでもいい内容ばかりなんだから」

『アルバコア。○月△日。大鳳にサプライズを20回して20回気絶させる。気絶中に、大鳳のお腹を撫で回す。昨日より3回減った』や、『夕立。○月△△日。フタつちやん2人を時雨モデルで、時雨本人が見てる前で3回イカせた。ご褒美に時雨の聖水をプレゼント』

「とかよ?あつ。私のモデルもあつたわね…。使用頻度合計で第1位なんだって…。気持ち良いのね?所謂、鈍器という奴よね?努力したからかしら?」

鈍器↓貞操逆転世界では超名器の事を指す。名器じゃない呼び方?さあ?

「そうなんですネ?最近は、そういうのはドレイク達が処理してますけどね?報告しなくて良いって言っていて報告するKANISEN達がまだ居ますし。ドレイクもそうなんですけどね…。うっかり報告しちゃいます」

「そうよね?『ドレイク。フタ基地KANISENのドレイクと咲耶の妹、整備員の方を、咲耶モデルとドレイクモデルで合計10回イカす』があつたわね。妹に使わせないで…。指揮官よりタチ悪いんだから。でも両方、未使用なのよね〜」

「あはは。守る為でしたから…」

「ふくくん。ここにしれつと…。そうそう。『伝説、幻の土佐の建造を成功させろ』といった滅茶苦茶な命令を出してくるんだから…。ちゃんと読まなくちゃいけないのよね。建造して何をするのかしら?」

そりゃナニじゃね? 元帥達の容姿、気になりますね…。伝説になってるんですね? どんな伝説を持つてるんです? 土佐?

オープン基地に居ないの? 令司? 土佐、知りませんか? ヤツたんでしょ? それか信濃が知ってそうかな?

「さあ? 令司様以外の元帥達の考えなんか分からない事ばかりですよ? 話は変わりますけど、パソコンを研修して使ったら楽でしたね?」

「そう! そうなのよ。楽なのよね? でも没収されちゃったのよね? 令司様の顔バレしてるから何か言つて欲しいのだけど、言ったら私が刺されちゃいそうなのよね…。困っちゃうわ!」

刺されちゃうってそんな大袈裟なく。で、話は変わって。どつかで眩いていたパソコンでの仕事を以前したんですね? 没収つて…。早く仕事を終わらせられるのにな? 令司以外の元帥達の仕業かな?

令司以外の元帥達は毎日何してんの? 令司も他の元帥達と一度はおしやべりした方が良いんじゃないかな? 集合場所は知らないけど。意味深の方なら効果があるかもよ

「?こいつらは多分、幕が無いんじゃない?」

そんな感じで咲耶とドレイクは、令司達の素敵なパーティーを見ながら書類を片付けていくのだった。開始前は10柱あったが2柱が消えていった

「「お邪魔します。咲耶指揮官。手伝いに来ました」」

「ゴクゴクゴク…。んはくく…。：おつ?赤城、天城、加賀…。ありがと。あつ、今日、令司様にナニされたかの報告書だったら、読了済の判子を押して読了済ボックスに入れておいてね?」

「「えつ?あつ、はい」」

一航戦とその指導役の天城がお手伝いするのだった。報告書を書く一部だったようだ。直ぐに読了済ボックスに投函して書類の山々と対峙するのだった

「ふう…。ちよつと休憩。：あら?天城、体調が良くなってるんじゃない?オープン基地のサキュバス天城絡まれてたけど何かされたの?」

「あら、ほんとね?書類をしながら聞くわ。書類に同じ事が書いてあるでしょ?」

「えつ?ええ…。そうです。サキュバス式マツサージと令司様のオリジナルマツサージをされました。で、令司様に純潔を捧げましたね。その位です」

「天城姉様が凄く色っぽい声を沢山あげてましたわく。途中から令司様にキスされて黙らせられたのだけれど」

建造…?にや?

昼寝、もとい添い寝を晩ご飯の時間になるまでした令司。疲れがちやんととれていました。まあ、別のナニかが憑いたんですけどね？

寝室に備えてあるミニ冷蔵庫。飲み物専用かな？から精〇剤が沢山入っている飲み物を取り出したのだった。見た目？ファンタジー世界でお馴染みであるポーション

ヴェスタルの実験とはどんななんでしょうかね？令司も是非、体験してみてわ？

因みに、令司のオイルマツサージのオイル瓶の見た目はエリクサー。まあ、そんな情報要らないと思いますけど…？

ポーションの効き過ぎで、食堂が混雑する時間を過ぎるまでハツスルした。咲とユリの両目が♡マークになっていた。2人仲良く、サキユバス判定を食らったのだった。実際そうだし？咲耶もそう

ドーピングされてなかったらどうなっていたのかな？一瞬でしょうね？ポイ捨てされたでしょう（↑そんな事、されません）

サキユバスのコスプレをした時は、それはもう天『獄』でしょうな？何度も何度も強制立させられるんでしょうね？愉しみですな？

ピークが過ぎた食堂で、晩ご飯と美少女3人を同時に食べる。美少女3人はこの常識に従って令司の身体を買おうとしていた。結果？タダチン。である

ここ、ドエム基地でも強制混浴イベントが発生。嬉しいイベントである。選択肢が『入浴する』一択のエロゲームである

男湯がない理由？裸のお付き合いをして、男性の裸体を拝み倒して見慣れてゴールインしたいから？飢えてるんですよ？

脱衣所で、整備員の1人のけしからん桃尻を持つ桃尻ちゃんと繋がる。幸せを感じ過ぎていたのか気絶していたのだった。容赦ねえな？でも、『乱暴にされるのが好き』という情報を手に入れていたので、WinWin

立派な立派な露天風呂でした。夜景が綺麗。で、整備員達は夜の超高級店員であった？令司、超VIPなお客様。徳を沢山積んでいたようですね？

整備員達の連携は素晴らしく、スポンジやタオルなどを一切使わないで綺麗綺麗される。エロいアイマスクを外しているのも数名いたので、弱点、バレちゃいました

令司君を仕上げしたのはKANISENのザラの初ザラ。ドエム基地のザラは、なんか勝手にオープン基地のザラに対抗心？を燃やしているようだった。演習か何かで一方的にエムザラが負けたのかな？

ザラのちよつとシタ仕草で、令司はズキユンドキユン。マジ、チヨロイン。花丸な行

動をとってますよ！水も滴る良いオンナ。だったのかな？

お湯に浸かっているポーラと無表情綾波が、令司達のおセツセを実況中継。だいぶ生々しく？中継をする綾波なのだった

優先順位を気にしていた綾波は、ちよつとイラついたポーラに拘束されて、令司君と強制ゴールイン。駆逐艦は優先順位が低いのかもしれない？1番高いKAN種はどれなんでしょう？

そこから先は逆上せないように、素敵な素敵なパーティーを開催。オープン基地と同様に、はっちゃけちゃいました

咲耶とドレイクは、執務室内で書類の山々の柱？を令司達のパーティーを観ながら捌いていくのだった。午後、仕事無いつて言つてなかつたっけ？整備員達のだけ無い。つて話なの？

パソコンを没収されるとかあり得ないでしょ？手書きより早く仕事が終わるのに？1度、令司と他、女性元帥達が集まって会議をした方がいいと思えますが？…するのでしようか？

赤城、天城、加賀が初体験のプレイを報告書に纏めて入室。直ぐ読了済判子を押しして手伝う。その為、早めに？雑？に終わったのだった

設置されている大型テレビで、赤城達の昼間のイチャラブの鑑賞会。参考資料なんで

すね？本人達が解説をするのでしよう。令司が見たらどんな反応をするのだろうか？

完全に発情期に入ったメス狐達が、浴場で欲情している令司と『遊んで良い』と、咲耶から許可が下り素直に従う。令司君、大はしやぎするんじゃないかな？

………というか？咲耶の許可が必要なんですね？咲耶の許可より、令司の許可が必要だと思うのですが？令司は許可しか出さなそうですけどね？

添い寝や、食事、お風呂場で十二かを盛られたか、塗られたか？咲耶の言う通り、朝までガッツリ繋がるコースに

で？令司はどの位、滞在するのでしょうか？書類に書いてなかったと思いますか？『全員をコンプリートするまで帰れませツ♡♡』とかがあり得そうですね？

RTA推奨。で、即？枯れるエロゲーム？難易度が分からなくなったね？男性が減っている理由はコレかも？令司よ。体調管理などをしっかりしましょう！

☆☆☆

◇令司がドエム基地のお風呂場でハッスルハッスル。を、している頃のオープン基地の工廠にて◇

「建造……にや？どうしたんにや？戦力なら過剰にやよ？三笠？頭、大丈夫じゃないにや？」

ボロボロになっていて誰かの艤装のメンテナンスをゴグルを付けて黙々としていた明石。そんな所に三笠から建造話を聞かされる。『何言ってるんだ? コイツ?』な顔をして三笠の顔を一瞬だけ見て作業に戻った

夕張も離れた所に居て、饅頭達に囲まれて一緒にメンテナンスをしている。明石と三笠の会話は聞こえていないようだ

「いや、まあそうなんだけど…。頭? 指揮官とドスケベックスをしたいと毎日思っているが大丈夫だぞ?」

切り返しが何か変だぞ? 真剣な顔をして首を傾げて言う事ですか? ドスケベックスは三笠以外も考えていそう。モテモテだね? ほら、明石の尻尾がピーンとなったから考えていたようだ

「あ、はいにや…。あくあく…。お疲れにゃんね? お薬、出しとくにや」

作業を止めて異次元ポケットに右手を突っ込んで、ガソゴソして錠剤タイプの一箱を見せる

「ありがとう。貰っとく。話は戻るが、指揮官以外の元帥達が『伝説、幻の土佐の建造を成功させろ』という命令を出したんだ。ホラ」

おいおい…。箱を谷間に…

証拠として建造書類を明石の顔の前に突きつけたのだった。建造なら令司の仕ご…

いえ、なんでもないです

「え〜？本当にや…。土佐…。ねえ？…どれ？」

「秘書KAN達も明石と同じで、『ええ…？どれ？どのKAN種？』で、あたしの顔を見ていたぞ？何で見たかサツパリだったけど」

「…へえ？そう？」

「あつ、そういえば。戦闘狂のローンが『予想通りなら…。壊してみたいわ♪でも、壊されるのはローンね♪愉しみ。それに…。…ねっ？夜伽。楽しくなりそうねええ♪』と言っていたぞ」

どれ？どのKAN種？えっ？どういう事？複数種あるんです？ローンの声真似をす
るとは、三笠はお茶目？流石、ギャル。↑凄く失礼

「わあ。ローンの声真似、凄く上手にや。ローンが反応するんなら戦艦にやね。空母、兵装実験艦、標的艦じゃないにや」

「……………っ?!は、はあ〜?!戦艦?!加賀型二番艦か?!変態の妹?!」

「あつはは〜。いい反応にや〜！」

おっ？なんか戦艦っぽいですか？4種あるんですね？元帥達もKAN種を指定しな
さいよ

三笠、なんかサレたんですな？戦艦の加賀は翔鶴スキーじゃなかった？

「うぐつ…。んんっ…このカプセルっぽいロツカーで！戦艦の加賀型二番さんを建造しろだつてさ？資材、馬鹿食いするのにさ？あつ、このロツカーでのプレイをしたら指揮官はどんな反応をするのだろうか？」

三笠、建造のカプセルっぽいロツカーに抱きついてヘッコヘッコするとは…。溜まつてる？谷間の葉、落としちゃったよ？

「（早口だにや〜？）それ、開かないんだけど？そうだね。多分、最高に燃えるんじゃない？で、元帥達は資材、溶かしちゃったんだらうね？きつとオフニヤばつかだつたんにや。戦艦以外も建造されてないんにや。あははっ♪」

「ふう…。ふ、ふうーん？指揮官はオフニヤをそこまで建造してないけど？違いは何？」
おっと？この世界に来てから工廠に1度も足を運んでいないと思うが？どういう事だ？転移する前のゲーム時代の話かな？まあ、どうでも？いいですけど…

「さあ？で…このカプセルっぽいロツカーを動かす資材はあるにや。他の基地に結構渡しているから、多分4回分にや？指揮官が居ないから動かせないにや。えーと？期限は…『なるべく早く！』ええ？決めろよ」

4回分の資材あるんだ？令司が建造すると土佐の4種。つまり4人、スツと建造されそうなんですよね？ヤツタネ！妻が増えるよ！令司君はいつも？ブラック？

「連絡しようとしても指揮官は、お風呂場でパーティー開いてるぞ？…連絡するなら朝だ。

いや、他に手段はあるか……。あたした、携帯電話持つてるし……」

「わあ！整備員達、全員メロメロにや。全員もう仕込まれてるにや！増やせ増やせ！赤城、加賀、天城、完全に発情期に入ってるにや！あははっ」

「……………」指揮官が落ち着くのは朝だな。えつと……。シリアス達と入れ替わりでドエム基地のデートに向かったのは……。……………あつた。アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオだな。よし。旗艦の龍鳳に連絡を入れておこう」

「ハアハア……。あゝ！フタっちゃん達が指揮官とピー……………!!!」

明石よ……。その発言はR18なんだよ……。ギリギリを攻めてるんだけどね？アウトだよ。完全にアウト。発情期、入ってますね？

「……………あつ？もしもし。龍鳳？今、何処に居る？……良かった……。実は建造の件で……………あ、っ??んん……。場所を変えて話すから……」

三笠のメンタル？強つよーい。……というか明石の方を見てないね？

「明石……。終わったよ……。……つて。三笠さん、誰に連絡してるの？」

鰻頭を頭の上に乗っけている夕張が作業を終えたようで、明石の所にやってきた。お疲れ様です

「はっ?!夕張、ありがとう。ドエム基地に向かつてる龍鳳に連絡してる。元帥達から戦艦の土佐を建造する書類が来たからね？指揮官、携帯持ってもあんまり使わない

にや」

「そうなんだ?戦艦なの?兵装実験艦だと思つてただけど?先輩つて呼びたい。それと夜のお相手も…。もちろん指揮官と一緒に良い」

噛み合つてそうで噛み合つてない?これはあれだ…。夕張の頭の中、お花畑でしたわ。それとレイシニウム欠乏症なんじゃないかな?令司!早く愛してやつてえく!!

「……。土佐なら誰でもいい気がして来たにや。「なるべく早く!」つて来たから明日の朝、指揮官をオープン基地にお帰りなさいして、工廠に招待にや」

「そつかく。あつ。三笠さんの姿がない…。まあ、いつか」

「まあいいね?夕張、メンテナンス手伝うにや。その後、明石のお相手をするにや」

おつ?百合ん百合んな関係をスルんですかね?令司に無事連絡が行くかな?龍鳳なら大丈夫だろ?(↑その自信はどこから?)

「了解。指揮官は戦艦の土佐を建造する事が出来るのかな?兵装実験艦が良いのですけど…。あつ、土佐、4種コンプしたら面白いですよね」

「ぶほっ!あははっ!それは三笠を見る楽しみが増えるにや!」

夕張の提案で明石のツポに入ったらしい。どうやら令司は、ドエム基地からオープン基地に帰る方向になっているぞ?

これはローンと同じ?で、誰かの船に乗つて帰るデートが始まります?エロ妻の最大

のプロポーズ？をされるんですね？おめでどう？

☆☆☆

「ようやくドエム基地に着きました。令司様が居る場所は…。地下…2階？ガッツリプレイを楽しんでたのね？うふっ」

「うっ！うっ！なんで…なんで…。勝てると思ったのに…」

「諦めなさい。負けたんだから。船、晒しなさい。…ね？」

「…分かったわよ。アルジェリー…。次は勝つ」

「ええ。勝つてね？待つてるわよ」

「ロング、危なかったの〜！アルジェリー、強すぎるの〜」

「鈴谷、3位…。んっ…」

「2位か…（あく）。服、脱ぎたい…。樫野様のお胸様の感触がまだ…。それと沢山泣かされてしまった…。気持ち良かった…」

アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオがドエム基地に無事着いた。艦装を解除する。みんな正装。リットリオ？脱ぐなよ？

ナニか勝負をして、龍鳳が令司に自身の船を晒す事に決まったようだ。茹で上がっているし、両目がグルグル目だぞ？後、可愛い仕草してるぜ？眼福眼福

榎野が令司の居場所を見つけたようだ。お風呂場から地下2階へ?地下は何階まであるのだろうか?オープン基地にも地下があるのかな?あつたら令司よ。行け!

榎野はリットリオに揉まれてキラ付けがされている。まあ、令司が付ける程じゃないが…。百合?を楽しんだようだ

「みんな?落ち着いたわよね?地下2階に行きましよう?」

「「了解」」

「えっ?榎野?旗艦は龍鳳なんだけど…つて?!早過ぎない?!ちよつと?!資材置いてるつてば!あつ、待って〜!うっわっ?!滑るっ!これっ…榎野のっ…!」

みんな自由つすね〜?早く令司に会いたいんだね?龍鳳、ドンマイ?滑らないように後を追うのね?…後始末しないんだ?あつ、目印にしてるんですね?

☆☆☆

「「あ〜っ…。あ〜っ…。あ〜っ…」」

「?はあ…。土佐の建造?」

「ハアハア…。気持ち良かったわ。ええ。そうよ?土佐の建造をしろつて元帥達からの命令されたの…。4種あるんだけどね?指定されてないのよ…」

はあい。こちら令司。お風呂場でハッスルしてたんだけどね?そこから両手に幸せ

を感じながら移動して地下2階にいます。で、もう朝です。何度も体験しているデース。建造話されたよ

今いる部屋に、拘束具がいっぱいあったんだよ。使いましたよ。凄く喜んだ。良かったです。締め付け良かったあ！

地下1階は全部ゲーム部屋で、完全に裏だった。ダメでしょ？と思ったが合法だとさ。オープン基地にもあるのだろうか？あつ、地下2階までだつてさ

ノースカロライナのバニー姿を見てたらハッスルしちゃった！初めてご馳走様！（↑キス、オマ♡♡、ア♡ルの事）

で、バニー姿になるとは思わなかったなあ？撮影会、始まったぜ！エロ妻達にバレてんだろ？現場から以上であります！

え〜。身体中にキスマークや引つ掻きキズがある令司。中継？ありがとうございませう。バレてると思いますよ？コスプレさせられるんじゃない？

エロいアイマスクを着けていて、上半身裸姿の咲耶から土佐の建造話を聞く。ピロートーク？が、仕事内容って良いの？

咲耶は令司君と？れないので、身体中を開発？されたようだ。キスマークが沢山ある。お似合い？夫婦？である？ラブラブですわね？

令司は5人のフタっちゃんともラブラブしていた。フタっちゃんも美少女と美女で

ある。ストライクゾーンに入っていたようだ。令司のストライクゾーンってメチャメチャ広い?

幸せです!な顔をして寝ている。フタっちゃん達のフタっちゃんも何度もファイヤーしたようだ。フタっちゃん達は令司のアールヘラブラブファイヤーしたのかい?

ドエム基地の饅頭達は、掃除兼食事をしないから部屋の換気をしよう?ビシャビシャのヌルヌルで大☆惨☆事だぞ?

お寝んねしてる総人数は、整備員、KANSENを合わせてざっと…40名位かな?すっごーい!…えっ?汚い使用済の風船の存在があるか?そんなの1つも無い!あるのは沢山のモデルさん

モデル名を挙げると、咲耶、時雨、ドレイク、赤城、天城、シリアス、ベルファスト、ブレマートン、ヴェスタル、アルジェリーである。全て使用済。ハッスルしまくったんですね?

「へえ?で?もう土佐を建造したの?あつ…。こらこら」

「あつ。ごめんなさい。熊野の建造をしたばっかだからしてないわ。資材足りなくなっちゃったし…。失敗するとネコのおフニヤが大量に産まれるわ。(建造しろ命令多いのよね。熊野の前に連続2回失敗よ…。潜水艦のみんな、いつもありがとう)」

「ふっふん?」

熊野の建造で資材足りないんだ？ んっ…？ 熊野、建造出来ないんだけど？ あつれえ？
？ なんか可笑しいですな？ 気にしないでおこーう

量を聞いてもピンとこなさそう。ゲームとここの世界の要求量違いそうだし？ オフ
ニヤかく。地下1階に沢山放し飼いされてたなあ…。 100匹以上は居るだろ。…餌
はなんだろう？

土佐…。土佐かあ…。元帥達は何故、土佐の建造命令を？ 見た目が超好みなんだろう
か？ うん。分かるよ。…元帥達って女性だよな？（大当たり！）どんななんだろう？（ス
トライクゾーンに入ってるんじゃない？）

出会ったら全裸土下座しなきゃ！ 頭を足でグリグリしても良い！ いや、寧ろしろっ！
それかサンドバックに俺はなる！ 許してくれるまで何だっつするっ！

ご乱心？ 両目がグルグル目だぞ？ 戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦。どの土佐にやら
かしたの？ 転移する前の事？ だよな？ 許してもらえると良いね？

ただね？ 「何だっつするっ！」 てセリフ吐いちやダメじゃね？ 「死ぬ」と言われるん
じゃ？ 土佐と出会えますかね？

…おっ？ 足音が複数しますね？ 令司がいる部屋を見つけたようだ

「…おはようございませす。令司様・指揮官。あゝっ?!」

「追いついた〜。…何してんだか…。指揮官、おはよう。あつ、シリアス達はもうオーブ

ン基地に帰ってるわ」

「きやつー！」

「痛いぜ！この女郎達っ！」とドアが怒って言いそうな勢いで入場してきたよ。みんな興奮してる。ステイステイ

一番乗りは鈴谷。で、雪崩が起きて下敷きになっちゃったね？ドンマイ？ビツクリして咲耶が司令に抱き付いてきたじゃないか！真正面！グッジョブ！

「おうっ?!お…おおう。アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットロオ、おはよう。龍鳳、報告ありがとね」

「んっ♡どういたしまして♡(すっごい臭っさい…。ダメエ♡我慢我慢…。ハアハア♡)」

ビツクリした。やっぱりシリアス達は帰ってたか。連絡入れてよく？咲耶！ありがとう！よしよし…

「ふにやく!!んっ。…ありがとぅ」

「…んっんっ…。指揮官、朝までお楽しみでしたねっ。土佐の建造命令が出ているのでオープン基地に帰って工場に行つて建造しますよ?」

「えっ?あつ、はい」

あつ、雪崩終了…。眼福だったのに…。いきなりですなく?まあ、書類に滞在期間書

かれてなかったから自由なんだろうけど…?

「あつ、咲耶指揮官。足りない資材、持つてきてるのでそれで土佐の建造をして下さいね? 2回分です!」

「…えっ? あ、ありがとう? 龍鳳。令司様を拘束しちやつてゴメンね? パーティー楽しかったわ。ありがとう」

「いいの。で、おめでとうなの」

「ぶふっ?! ロングアイランド。あつありがとう…」

「おいおい。それって賄賂じゃね?」

資材横流し? 現場に遭遇しちやつてるんだけど?! ブラツツツツクくくっ!

あつ? フタつちちゃんら? みんな起きて手を振りながら出ていく。ドア、凄い音したもんね? 投げキッスありがと。手振つとこ…。気持ち良かったよ! ありがとうとね!

令司、なんとかしなさいよ! でもなんかね? リットリオがね? ポカン顔してるのよ? 「?? 賄賂じゃないぞ? 合法だぞ?」

「えっ? そうなの? リットリオ?」

良かった〜! …んっ? んん???

「…ねえねえ? ロングアイランドさんや? お姫様抱っこをしてさ? 何処に連れて行く気だい?」

ぬあんでく?お姫様抱っこされてるのかぬあ?ロングアイランドの思考が分からないんだけど?誰得なんですか??(エロ妻達得b)

「えく?指揮官をドエム基地の工廠に連れて行つて建造する所を見てからサツサと帰るの。咲耶指揮官。工廠に行くの」

「あは。あはは…。ソウナンデスネ?」

あつ、これマジな奴だ…。大人しくしてよ…

「……………。えつ?あつ、はい!案内します!あつ。軍服を着てきますね!執務室の前で待っていて下さい!」

「敬礼しなくても…。つて、行つちやつた…。足、早いわねく?ほら、執務室の前に行くわよ」

「[[了解]]」

「アルジェリー。仕切らないでよ」

「あはは…。龍ほ…あつ?おい?ちよつ?!速い速い!さつむううう!もがつ?!」

ロングアイランドにお姫様抱っこされたまま執務室に向かうのだった。ロングアイランドを見るみんなの目、凄いぞ?したかつたんだね?多分、勝負のご褒美じゃない?

軍服姿の咲耶と合流して令司が褒めたらメチャメチャ、キスをされた。お姫様抱っこされたままであるが…

アルジェリーが忠誠を示す？為に、ロングアイランドにお姫様抱っこされたままの令司に向かつて、右膝を床について令司の右手の甲にキスをした。そしてお姫様抱っこを交代して工廠へ向かうのだった

エロ妻達の心の叫び↓「今度は絶対お姫様抱っこをする！」…と、決…尻意した。ロングアイランドとアルジェリーつてば、令司が触つてないのに下のお口が大洪水なんだぜ？

令司の受難？はまだまだ続きます？

☆☆☆

「はえく？これで建造されるんだ？」

ねえ？これさく？棺桶じゃねくかっ！横に3つ位が並んであるかも？と思ったのに1つしかないんだけど？

投入口は一箇所。大つきいね？なんて説明すれば…。あつ、失礼だけどゴミ箱だね！分けなくていい奴だ！

でね？床を見るとね？闇魔法陣が描かれてるんだ！厨二病さん？ありがとうございませす！儀式だもんね！分かるよ！

オーブン基地の工廠にあるのはどんなだろ？同じ棺桶かな？工廠に行つてないから

ワクワクするなあ

なんか感動しているね?説明通りで闇魔法陣の上に棺桶がドーンと置いてある。血を寄越せって言われそう。うん。コレ、焼却炉ですわね?」

オープン基地の建造機は、カプセルっぽいロッカーですよ!テストに出ます!

ここ、工場にはドエム基地にデートしに来たエロ妻達と、筆頭秘書KANの高雄。それとホーネット、明石、夕張、ヴェスタルだけ

他のみんなは朝風呂や朝食を摂っている。メイド隊は地下2階のお掃除。司令が沢山ハッスルしたからね?饅頭達は手伝ってない。オープン基地の饅頭達を見習って?

「ええ。そうよ。秘書KAN達や整備員達に以前頼んで動かして貰ったんだけど動かなかったのよね。で、私がしたら動いたから、これを動かせるのは指揮官だけなのよ…。他の基地も同じだった」

「そうなんだ?」

違いがあるんだ?良く分かるねえ?どこで判断してるんだい?棺桶さんよ?

「それじゃあ、貰った資材と集めて貰った資材で2回実演するわね?」

「お願いします」

2回ガチャ開始!ふむふむ?資材は…燃料、開発資材(釘)、高速建造材。…の3つ?をオール9999…。…どこからツツコんだ方が良いんだい?いや、突っ込まないん

だけ…どおお?!

「ぶふっ?!」

司令がなんか吹き出した…。で、ドエム基地のみんなは「??」が頭の上に出ていてみんなして右側に首を傾けている。連携取れてますね〜?すごいな〜

で、オープン基地のみんなは「あ〜っ…」な、反応をする。説明しときなさいよ!

「ちよつと?!ナニしてはるんですか?!咲耶はんっ?!」

「ハアハア…。ええっ♡見て…んっ♡分かるでしょう?んあっ♡最後のしぎ…いいんっ♡ハアハア…。んっ…もう…一回…。んっんっんっ…」

うん。分かってるよ?いきなりさ?下半身を晒してオ♡♡してらんだよね?ええ?資材なの?で、高雄が回収してる…。真剣な顔してるんですけど?!

…えっ?もしかして?最後?の資材はマジでそれかい?おっ?イッタ…

はい。マジです。大マジです。高雄に回収されて量を真剣な顔をして確認しています。貞操帯穿いているのにね?

「……………」はい。しつかり規定量以上です。お疲れ様です。どうぞ」

「ハアハア…。高雄、ありがとう。ゴクゴクゴクゴクゴク。んっは〜…。染みる〜。最後の資材ってコレなのよ…」

「アツ、ハイ。ソウナンデスネ?」

「??…それじゃ投入して。スイッチオン！お願いします！土佐！出てきて頂戴！」

「一回目！デデンっ！」

「ニャー」

〈オフニャの建造に成功しました〉

「ああああああ…。オフニャが20匹もおおおお！?!?!?地下2階行きよおおおお！」

「おおお…」

ドゥルルルルルルっ！チーン。…って効果音が出る棺桶って…なんなん？オフニャ祭りですよん…。失敗したのか…。大丈夫。もう1回建造出来るドン！

咲耶…。発狂してる…。すっごー。もう懐いてる。頭の上や両肩に乗っかられてるよ。頭の上、寝てるし…。…やってみても良いのかな？

「ちよつといいかな？」

「はい？どうしました？」

「やってみていいかな？」

「「…えっ？ど、どうぞっ？」」

あら？良いの？部外者なの？令司君から新鮮なのをファイヤーすれば良いんだろ？任せろって！

「ありがと。建造出来るかは分からないけどね？アルジェリー、頼む」

「はあい♪頼まりました。ぎゅ〜つてすればいいのよね〜?こんな事は異常性癖なのよ?無駄撃ちなのよ?分かって欲しいわ〜」

「そうなんだよね〜?でも、ノリノリじゃんか…。あくつ!冷たい視線が刺さってるよ…。最高ですう〜」

「ゴメン。ゴメンつてば…。うおつ?!」

「船の上のデートでしたっけ注いでよね?」

「もちろん。オイルマッサージします。アルジェリー様」

「(えっ?ヤダっ!嬉しい!沢山イける♡)…えっ?...よろしくね?えいっ♪」

「それイッケ〜!」

「……………はい。規定量以上です」

「ふう。スツキリ。では、ボタン!押します!」

「令司がチャレンジ!結果は?」

「……………??あつるえ〜?反応なし〜?」

「ウソでしょ?あく。何か条件を満たしてないんだな?新鮮じゃね〜つてか?悪うございました!オープン基地に帰ったら新鮮なを出すんで!お願いしますね!」

「起動しなかった。どういう事なのかな?棺桶さん?」

「あはは…。資材も戻って来たし…。はい。切り替えて、2回目2回目!スイッチオン

！」

2回目!デデン!

「最上型重巡洋艦の熊野よ!かの大戦では第七戦隊のメンバーと…:し…:て…:??あれれ? ?なんか土下座してる黒髪ロングの女性が指揮官だつて分かるんだけどさ?どつたの?」

〈2人目の熊野の建造に成功しました〉

「「「……………」」」

うわ〜。2人目…。レシピをね?土佐が出るつて奴に変更して回したのに…。みんなの顔がどうしたら良いのか…。になつてる

「……熊野?」

「ハイッ!」

「…(チョーカーが青ね…。もう1人は赤だから助かるわ…)もう1人の熊野にみんなと仲良くしてね?指揮官からの命令は以上よ」

「ハイッ!会いに行きますね!(もういたんだ〜?納得〜!もう1人の熊野、よろしくね〜?)」

「あつ、案内するにや!明石にや!」

「お願いします!」

「あくあく。……咲耶……? さく……おわっ?!」

「令司様。建造はこんな感じなんですよ。土佐の狙い撃ちは滅茶苦茶なんです。令司様が建造に成功したら嬉しいです。サイン欲しいです。お願い……しますね? 令司様の現地妻より。……咲耶の事、忘れないうで下さいね?」

「うんうん。分かったよ……」

右耳で囁くんだ? まあ、気まずいからね? 忘れられそうにないよ……。森咲と久場ユリモね?

オーブン基地に来ればいいだろうって? それがさ? アルジェリー達の話だと、KANSEN達はウエルカムで咲耶達、人間はノーウエルカムだつてさ? なんでさ?

多分、言霊使つてもダメでしょうな? 原理とか知らん。多分、解読できないと思うの……これでオーブン基地に帰れますね? 咲耶指揮官? ありがとうございました」

「あつ? はい。龍鳳、こちらこそありがとうございました。みんなには帰る事を知らせるから挨拶しなくていいわ」

龍鳳と咲耶がハグ。良いよね……? 最高だよね……!

「令司様? 龍鳳の船に乗ってデートを楽しんで帰りましょうね?」

「えっ? 「ちよつと……?! 言いたかつたんですけど……?」」

「ほらほら、サツサとオーブン基地に帰りましょう?」

「お、おう…。咲耶?いつか会いに来るからな?」

「ええ。待つてるわ」

「ちよつ?!リットリオもお姫様抱っこ?!わああああく?!?!」

こうしてなんかグダグダしてリットリオのお姫様抱っこをされて龍鳳の船に乗ってデートを楽しむ事にしたのだった

みんなをオイルマッサージで気持ち良くイカセるが、アルジェリーがより多くイカセられる。朝食はロングアイランドが、海の中に潜って捕まえたのをリットリオが捌いて美味しく頂きました

令司は土佐を建造する事が出来るのでしょうか?三笠の反応が気になりますね?・

再びオープン基地

ウソでしょ!!?

お風呂場から地下2階へ移動した令司達。そこで拘束プレイなど色々楽しんで

令司君を元気にしてくれるメスがいっぱい居ましたからね? 朝までハッスルしまくったのだった。その結果、整備員全員をおめでとうにしたのだった。男の子が産まれれば良いね!

整備員全員、エロい貞操帯を穿かせられた。多分、ラブラブ逆レイプをさせる為でしょう。みんな幸せな顔をしていた

いつも通りに、令司とメス達の肌はツヤツヤのモチモチに。令司って、本当にどんな身体をしてるんですかね?

ピロートークとして令司以外の女性元帥達からの無茶苦茶な? 命令の『土佐の建造で盛り? 上がる。狙い撃ちは不可能に近いらしい

そんな時、ドエム基地に「デート」しに来たエロ妻達(アルジェリー、樫野、鈴谷、龍鳳、ロングアイランド、リットリオ)が特攻してきて、咲耶の建造現場を見学する事に

そしてオープン基地に帰って、土佐の建造をする事になったのだった。令司の扱い、

雑じゃないですかね?上官じゃん?

工廠で建造機を初めて見た令司。棺桶と闇魔法陣の厨二病全開でビツクリしながら興奮するのだった。イメージと違ったのでしよう。どんなイメージがあったのかな?

オープン基地から渡された資材と集めて貰った資材で2回ガチャる事に。投入している最中に、いきなり咲耶のエロなサービスシーンが発生。思わずむせたのだった

サービスを終え、その最後の資材を筆頭秘書KANの高雄に規定量以上を確認される。そしてボタンを押してオフニヤ20匹を成功させた

令司は建造チャレンジを試してみたくなり、許可を貰ってからアルジェリーのパイで異常性癖?を晒して?気持ち良くなり、規定量以上を初ファイヤー。令司君。マジ、元気結果は反応無し。投入した資材も戻ってきた。一応、指揮官だよ?地位は元帥だよ?1番偉いんだよ?何が違うんでしょうか?

2回目のガチャの結果は、2人目の熊野の建造に成功。ふんわり?な初命令を出す。元気いっぱい返事と敬礼を見たのだった。明石が基地の案内を始めて解散

咲耶の命令通り、1人目の熊野と本当に仲良くなった。百合ん百合んな関係にはなっていないが。みんなとも仲良しになる。こっちも関係を持っていない。ホワイト?な基地である

ドエム基地に来る前に、何かの勝負をして負けた龍鳳の船に乗って帰宅デートをする

のだった

みんなに特製オイルマツサーズをして喜ばせて沢山イカせてあげた。アルジェリーは多めにスキンシップをされてデレデレ。令司、その道で食っていけるよ？

船の上では、みんな正装を脱いでいて、令司を殺しまくるエロい服装をしていた。リットリオは全裸だった。令司君を使用したか？していいない。ハッスルするのを変えたっぼい

朝食を摂った後、龍鳳と一緒にお風呂に。スキンシップを沢山した。鍵をかけられて閉じ込められたのだった。ここでも令司君を使用していない。龍鳳だけ沢山イった

他のみんなは、漁獲をしていたり寝ていたり、持ち込んだゲームで協力プレイをした。と、のんびり過ごしていた

令司がこの貞操逆転世界に転移してきてからの初？仕事？は土佐の建造である。咲耶みたいにオフニヤ祭りにならなければ良いですね？

土佐に対してなんか「謝らねば！」なので、建造に成功したら許して貰いましょうか？ただ、土佐は令司の謝られる事を覚えているのでしょうか？

4回ガチャチャレンジが始まります。夕張が建てた？戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦の4種コンプリートのフラグを回収するのでしょうか？ガチャ運を見てみましょう！

☆☆☆

「令司様。工廠に着きました。檜野と工廠デートを楽しみましょう？それでは入りましようか」

「おっふ」

時代劇とかに出てくる蔵じやん。年季メチャメチャ入ってる。暗い。それがヴァカみたいに広い。まあ？大型船、戦艦クラスを基準にしなくちゃだもんね？こうなるよね？

令司の右手が、檜野の谷間に沈んだまま工廠デートを開始するのだった。他のみんな？自分達の仕事？をする為に船を降りて直ぐ解散

龍鳳は、自分の船に沢山お辞儀をして回収してお昼寝という仕事をする。その後、寝起きを狙って部屋に入ってきた青葉の取材に答える。青葉新聞に載ったのだった

「おっつ?!すっげ〜！楽だな」

「ええ。そうでしょう？行き先が書かれている矢印の看板に従えば良いんですよ。だから1つ右側に乗れば、建造エリアです」

令司がちよっと？興奮している理由は、床がベルトコンベアーになっていて歩かなくても良いから。そして檜野の指摘通りで、建造。メンテナンス。改修。などが矢印

看板に書かれている

ざっくり？説明すると、令司と樫野がいるのは移動エリア。そうして建造エリアに連れて？いかれるのだった

「……………。お熱いですにや〜っ!!!にやははは〜っ!!!」

「／／／／／／／／／／／／／／／／」

「ええ？明石よ？笑いすぎだろ〜！」

フェロモンに当てられちゃったんだからなっ！「おっぱい揉んで？揉んで？揉んで？揉んで？揉んで？揉んで？」って目で言ってくるんだもん。するでしょ？

それと、背中に引っ掻き傷をつけようかつかないか悩んでたけどね？つけられなかつたよ…。つけていいっていったのに…

「良いもん見せて貰ったにや！（青葉新聞が楽しみにや！）資材はちゃんと溜めてるにや？」

「ええ…。あつ、はい」

明石、見たんなら分かるじゃんか。ムラムラギンギンっすよ？船の上のデート中、たつたつたつたつたさん煽られてたんだからな？使用してないからね？精〇剤、飲んだし？べっしよりパンツは龍鳳が回収したぜ？青葉の取材入るよ？アレは？船の上のデート中の写真とか撮られてるのかな〜？

龍鳳ってばド変態（褒め言葉）だったよ…。遠慮しなくていいって言ったけどさ？あつ。やっべ！痛っ！令司君？もう少し静かにして?!

お熱い？それは建造エリアに到着して、明石に見つかるまでキスと両方の美爆乳を搾乳していたから。船の上でのスキンシップでも足りなかった様子！

用意が良いのか？榎野の両太ももに母乳瓶が沢山巻き着いていた。沢山搾られたんですね？リットリオに献上しましょうね？

「良かったにや！4回分の資材があるにや！連続モードがあるからそれに変更してパパッと土佐の建造にや！あつ、榎野母乳は冷蔵庫に入れてくるにや〜！」

「……テンション高め…。ありや、発情期に入ってるな〜？」

「うふふ。では、建造を終えたらパーティーを開いて下さいね？もう分かっていると違いますけど、準備出来てますから」

「もちろんですとも!!!!うおっ?!」

するに決まってるんだろおお?!明石の奴、尻尾で誤発射をさせようとしてきたし…。良く耐えた！で？なんで俵みたいに持たれてるん？

「移動し辛そうにしてたので、このまま担いで建造機の所へ行きますね？」

「そっか〜?〜?ありがとね〜？」

「うふふっ」

「はうっ！」

尻尾で顔をペチペチ叩かないで?! いや? ベシベシ? 結構強いんだけど!!

受け入れバツチリの榎野に俵持ちをされて、建造機の場所へ向かうのだった。到着するまで牛尻尾で左右をビンタされるのだった

土佐と出会う? というのに顔を腫らして良いのかよ?

☆☆☆

「お待たせにや。榎野母乳を冷蔵こ…つつつ?!?!」

「…ナゼ、シバラレテルンダ? ホドケナイシ…」

「分かっているくせに…。土佐を受け入れる為よ? 土佐の建造出来る筈だもの」

「ローンの言う通りだぞ? 愛しの妹のお迎えから逃げていたから縛った。まあ? 三笠を見てどんな反応をするか分からないけどね? センカは好きだぞ?」

「ウウウ…。トサジャアリマセンヨウニ」

「あはは…。あつ、榎野と指揮官が来ますよ!」

カプセルっぽいロッカーの前に、明石、全裸で縄で縛られている正座中で重石を五つ両太ももに乗つけている三笠、ローン、戦艦加賀（センカ）、夕張が居た

「はい。建造機の前に着きました。降ろしますね?」

「あつ、ああ……。ありがと……。ふう……」

ふう……。ずっとビンタされてたぜ。痛いから腫れてるよな?これから土佐?の建造するんですけど?!いや、土佐以外にも建造されると思うけどね?

「???そういうプレイをしていたのか?指揮官?腫れてるぞ?」

「……えつ?」「はいつ」「あつ。はい」

「ふう……?」

あつ、ローンとセンカの目。その内、顔にクツキリ、ハツキリ紅葉マークが付くね。腫れてるのか……。どうしようか?三笠には、触れないでおくよ……

「指揮官?これで顔を拭いてあげますね?」

「うん?おつ。ありがと。夕張いいつ?!」

すっげー冷たあああいつ!!!痛い!痛い!痛いですけど!……あれ?だんだん身体がポカポカする……。あた……ま……がポーっとする……

「……準備完了だな?では、指揮官?イカすね?」

「くくくくくくつっつっつ?!?!」

「はあい。回収回収くく」

「………はい。お疲れさまです。檜野の膝枕で回復してくださいね?」

夕張による冷たいタオルで顔を拭いていって腫れを直していく。で、副作用?でポツ

カポカに。センカにより沢山暴発させられたのだった

そしてローンが集めていく。完璧？な連携だった。溢れないように手でキャッチしたのは下の口に塗り込んでいくのだった

回復するまで樫野の膝枕をされるのだった。樫野以外は横一列に並んでビシつと気をつけをしていた

樫野以外、背中に大汗をかいていて顔が真っ青だった。どうした？冷房とかが効き過ぎか？設定温度は………20度をキープしてるんですけど？

三笠の顔が特に真っ青で歯をガチガチしている。いやいや、縛られていて令司に何も出来ないじゃん？一定数に大喜びされそうな行動をとってるんですけど？この茶髪美爆乳ギャル

資材は揃ったので4連ガチャが始まるぞ。……で？疑問。咲耶は自身でオ♡♡ニ―をしていたが、させられたぞ？そんな資材で良いのかな？反応する？まあ？答え合わせをするか

☆☆☆

「はあい！それでは……この……！ロッカーの建造モードを単発から連続に変更したのでえ……！土佐の建造、4連ガチャをしようと思いま……す！はいっ！」

「「「「ハイツ（あつ、スキ♡止まらないよぉ〜♡）」」」」

檜野の膝枕で無事回復。意識が戻って速攻押し倒して吸ったんですね。檜野は嬉しくて聖水と潮をバラ蒔いたんだよ？建造する前から大惨事

なんか？ハイテンションな司令を見てスキユンドキユンしてるんですけど？湖が広がってるんですけど？好感度とかダダ下がりする行動をとってると思うんですけど???

「ポチつとなー…ぎゃ〜っ!!」

「「「「うっ?!」」」」

ピカツツツツツツ！と光った瞬間に安心と信頼？の工廠専門の饅頭達が、大惨事な床をピッカピカにするのだった。すっごく〜い！それと湖作り、止まりました

さてさて？光と煙のモクモクがだんだん収まっていく4連ガチャの結果は？K A N—S E N達は、もう眩しいのに慣れたので、出て来る所を凝視していた

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされていなかっ…：たあ〜?! あっ？ちよつと！おい！押すな！」

おや？これは？当たりましたねえ？どの艦種でしょうか？顔が見えるように青い狐のお面をズラして被ってますね

「「「「???」」」」

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされていなっ…：わあ〜?! イテテ

…えつ?えつ?」

「おやおや?これは?これは?2人目?どの艦種かな?困惑してるね?目の前に土佐がいるからね?こちらにも青い狐のお面をズラして被っている」

「!!!?!」

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたものの、最後までされ…あつ?…えつ?ちよつ?」

「!!!つつつ?!?!」 「…ちよつと?…どいて?」 えつ?うん。…うん?」

「おつと??!あらあら?3人目!こちらにも青い狐のお面を…。…と?」「ちよつと?」
と言ったのも?もしかしたら?もしかする?」

「加賀型二番艦の土佐だ。起工されたもの…の?…あれ?なんか?…え?何?この記憶は?…へえ?」

青い狐のお面を…。と?いう訳で?

「4人の土佐の建造に成功しました」

「!!!ウソでしょ?!艦種は?」

それはそれはみんなビックリ。初建造で狙い撃ちに成功したのだから。思わず艦種を聞いたら

「!!!えつ?えつと…。戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦だけど?」

「!!!ウソでしょ?!」

パンパカパン!!! 4種コンプリートおおお! 夕張のフラグ回収に成功しました!
!!! 夕張の新しい? 夜のお相手が来ましたよ!

……で? 軍服上下をしつかり着こなしている令司の状態は? 光を思いつき見ちゃ
いましたけど? 大丈夫じゃないよね?

「目があああ〜っ! 目があああ〜っ!?! ああああああ〜っ?! イメージと違うよお
おおお?! う〜っ! う〜っ!」

うん。大丈夫じゃなかった。ゴロゴロしまくってるよ。軍服が汚れると思ったが汚
れていない。失明するなよ? 令司君より大事じゃんか

「……………??? ゴロゴロしてるのが指揮官。……であってるよね?」

「……………」

「……………一斉に無言で首を縦に振るからそうか……。あつ、三笠……) そうか……。そうなの
か……。ごくつ……。……この姿で着任した以上、失望はさせんぞ♡」

おやく? 令司を見て唾を飲み込んでメス声を出しているぞ? それにモジモジし
ちやつて……。ええ? そうなの? 見守っているみんなの心の声を覗いて見よう!

「……………(あつ。落ちてる・にや。沢山、気持ち良くなつてね?)」

2コマ落ちだね? ヤツタね! 令司! 妻が増えたよ! 土佐にサインを貰って咲耶に渡
しに行こうな?

☆☆☆

「ウソでしょ!?!」

落ち着いた令司が、明石に渡された飲み物を飲んで失明回避! 明石、スゲエ

土佐4人の左手薬指と顔を交互に見てこの発言をしたのである。本当にビックリ顔をしている

えっ? 何でかって? 初建造されたのに左手薬指に結婚指輪らしいのが嵌められていたから。プロポーズイベントが発生させた覚えがないからね?

バグってないかい? 初めての出来事じゃないかな? 他の基地の指揮官に連絡がいつたらどうなるのだろうか?

「「ウソじゃない。本物の結婚指輪だぞ? 戦艦、空母、兵装実験艦、標的艦だぞ? よろしくね? 指揮官?」」

何で分かるんですくく? うくん? 別の世界の俺? とそれ以外と愛し合っていた可能性があるのかな? …まあ? そんな事は何処かにポイして燃やそう。うん、そうしよう

本物の結婚指輪を嵌めている4人はメス声を出している。ムラムラしているようだ。令司のフェロモン。レイシニウムの所為かな?

ちなみに、土佐4人は結婚指輪を外して見せようとしたらしいがとれなかった

「ひゃい!!んむんっ」

うお〜う〜!美爆乳のカッコお美しい土佐4人に密着されてるよお〜!両耳、幸せ〜!ありがとうございます!ズボンの中でおつきしちゃった

……やっぱり、半端ねえ回復力だよなあ?まあ、飲み物の効果もあるけど……。ありがたい。空母の土佐にバレテラ。キスありがとうございます。:ファーストキスだよ
ね?

令司君に感謝している令司に、真正面で抱き付いてくる空母の土佐とキス。もちろん、ファーストキス。4人の布陣は、背中が戦艦、右手が兵装実験艦、左手が標的艦である

何故分かったか?ブレスレットに戦、空、兵、標と書いてあるし、チョーカーの色が違う。

それにチョーカーに土佐と入っているし、色は戦艦は赤。空母は青。兵装は緑。標的は黒となっている。呼び方はどうするのだろうか?

令司が初工廠へ来て、初建造をするイベントを青葉が見逃す訳が無いので。土佐の建造シーンや密着してラブラブしている所を撮り、新聞に載つけたのだった

後日、青葉にお仕置きという名の交尾をして仕込まれるb

「二二ねえ?ねえ?指揮官?ここに居る、明石、檜野、夕張、三笠、姉上、ローンと沢山、

沢山交尾したのよね?」「」

「おふつ。は、はい。そうです。後、このオープン基地に所属している全員と交尾済み。しかも子持ちだよ」

あつ。あつ…。あつ…。同じ声が四つで同時囁き♡エロい♡やばいやばいやばい! 頭の中が壊れちゃうYO☆(↑もう、壊れてますb)。新しい扉が開いちやう♡

「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」

「」「へえ? そうなの? 指揮官の指揮官って素敵なのね?」「」

「ハアハア…ハアハア…。うつつうつ…。あ、ありがとう…ごぎぎ…はあ…います…ひやいん?!」

!? あくく。昇ってくるうくく!!! アツ!!!

「?!?!」

「!?」空母の土佐くく? おめでとう♪感想を聞きたいけどキスしてるから聞けないわねくく?では、奉仕しますねくく?」「」

「ふう…。ようやく解かれたくく…。んっ?…ローン?」

「うふふつ。み・か・さ?」

「な、なんだ? どうした? 用事があるんだが?」

「用事なんてないじゃない。グチャグチャになってよね♡」

「……………えっ? うぐお?! 指揮官?! す、すまない!」

床から戦艦の土佐、司令、空母の土佐、三笠というサンドイッチである。刺激でフアイヤーした。ローンのフラインプレー? かな? 三笠? ドンマイ

「あら? 三笠くく? 突き合ってくれるのくく? 指揮官と交尾してる所を見て勉強しますねくく?」

「えっ? えっ? 指揮か…んむくくつ! んっ!」

「……………。 ねえねえ? 明石?」

「ん? 何にや? 夕張? こんな所でおつ始めちやつて大丈夫か? つて話なら大丈夫にや! ホラ。工廠長の饅頭がグツとポーズしてるにや!」

「あつ、大丈夫なんだ? ほんとだ。『美味っ!』つて法被を全員着てる…」

「それに過去にここで、エンタープライズとホーネットが百合をシてたにや!」

「そう…なんだ?」

「それに姉妹百合を影からヨークタウンが見てたにや! そのヨークタウンをモナークとサン・ルイが胸を揉んだにや! 声を我慢する姿、興奮したにや!」

なんつー話を笑顔でしてるんですか? 明石も工廠に居たのかな? それか盗聴かな?

「アツ、ハイツ。…………。 あつ。指揮官がなんか眩かれて思いつきり動揺してる感じがする…」

うん。土佐に眩かれましたね。そしてクスクスとなつて、その言葉を沢山囁いでいるで、かなり激しく愛し始めたぞ？どうした？土佐が令司の謝まる行為を覚えていた感じか？

「はあ…。ううん…。令司様。樫野、沢山搾られたというのにまた溜まつちやいました♡今度はたろつぷり、吸い尽くして下さいね♡」

「樫野つて羨ましいのを持つてるよね？…えっ？土佐も持つてる？そうなの？ありがと。それじゃあ…？もつと育てていつてね？指揮官、イッたね〜♪」

令司、催眠状態にかかつてるんじゃないか？目のハイライトさんが居ないぞ？おーい？ちゃんと仕事してる〜？居なくなるのが仕事ですか〜？

「…………。ローンは参加しないのか？センカは見守ってるよ。兵装の土佐が三笠を襲おうとしてるからやつぱり好きか…」

「しないわ。土佐4人がメインだし。三笠、これでスッキリするわね？指揮官も大はしやぎして良かったわ」

「ああ。そうだな…」

そんな？こんな？で？淫乱な空母の土佐とシたのを合図にしてパーティーが開催された。昼食の時間になるまで続いた

センカとローンは参加しなかった。アンアンボイスをBGMにして健全なオイル

マツサージをし合っていただけである。オイルは令司作

戦力が過剰になっちゃったね？元帥達の基地や大将以下の基地では土佐の建造に成功したのでしょうか？オフニヤ祭りかな？それかダブリ艦祭りかな？それ以外？

☆☆☆

◇ドエム基地の執務室◇

「咲耶〜〜？許可されてないけど入るよ〜〜？…つて？」

森咲と久場ユリが何度も扉をノックしたのに許可が降りなかったので入って来た

2人はお風呂上がりで、髪の毛が少し濡れている。格好はタオルブラとエロい貞操帯のみである。令司は押し倒すんだろうね？繋がれないですけど

「「シ〜〜〜っ」」

書類仕事をしていた高雄、愛宕、ヨークタウンに静かにポーズをされた

「「アツ、ハイ…。書類仕事手伝うね〜〜？」」

「「ありがとうございます」」

「「〜〜〜〜っ♪♪♪」」

5人が書類をしている時、咲耶は何をしているのかというと

「うんうん…、早希も土佐の建造、出来なかったのね？オフニヤ20匹と2人目の熊野

よ。えっ？会見通りよ？令司様との初夜のビデオを贈ったじゃない。ええ。ありがとう」
フタ基地の指揮官である妹の早希と電話中だった。電話しながら書類仕事してるよ。
服装は軍服から水着になっている

早希も土佐のお迎えは出来なかつたみたい。そして結婚した事のお祝いの言葉を貰ったようだ

「話、戻すわよ？土佐の建造出来なかつたのになんか嬉しそうじゃない？…えっ？戦艦の加賀の成功？で、付いてないんだ？へえ？そうなの？」

「！！！！（ウソでしょ！！）」

「（ユリ？凄いいね？初めてなんじゃない？）」

「（うん。初めてだね。フタ基地で建造されるKANISENって付くのが当たり前だったし。で…）」

「（初命令は決まってる、早希指揮官と秘書KAN達が見守ってる中でフタちゃんを連続♡♡して何度もファイヤーさせるんだもんね？）」

「（そう。空になるまで励んで貰った後に、精〇剤を飲ませて早希モデルと秘書KAN達のモデルを装着して貰って何度も強制ハッスルで何度もファイヤーだもんね？）」

「（凄い事してるよね〜？メスの方が濡れてようが、早希も秘書KAN達も何もしないし…。出張整備しに行った時、行為室？だったかな？臭い凄かったな〜）」

「(そうだったね〜)。でも、令司様の方が立派で優秀〜。良い匂いだった〜)」
「(そうだね〜)」

ユリと咲が手伝いながらコソコソと妹の早希が指揮しているフタ基地の下事情を話しているよ…。淫獄基地じゃないか? 令司がフタ基地に遊び? いや、訪問しに行ったらどうなるんだ?

「加賀の初めてをみんな狙ってるんじゃない? ……。えっ? 狙ってない? へえ? それじゃアハルは? 狙ってないんだ? 神々しくて無理なんだ? モデルを作らせて貰えるか聞くのね?」

「……? 何か、煩くない? 何かあるみたいだからもう切るね〜? なんかつたら、また電話してきてね? うんうん。じゃね〜? ……。ふう〜。あ〜。戦艦の加賀かあ。来てくれないかなあ?」

「飲み物をどうぞ。電話の最中に令司様から連絡がきています。帰って直ぐ建造をするとの事だったので、建造結果でしょうね」

「愛宕。ありがとう。ん〜と? ……。ぶふおっ!!」

「うわっ?! ちよつと?! 何?! 急に吹き出さないですよ?!」

書類には吹きかかっている。ナイス!

「ゲホツ……、ゲホゲホ……。あ〜あ……。ああ……。ごめんごめん。だって、土佐の建造に

「本当だね…。コレ、4人とシタ後じゃん。明石や夕張達ともシタね…。土佐4人とも見せつけてるよ。で、空母だけパツと見て分かるね?」

「ユリの言う通りね。狐耳と狐の尻尾があるからね」

ええ。空母だけ間違えないです。狐耳と9本の尻尾を持っていますからね?

「……ねえねえ? 咲耶?」

「どうしたの咲? 土佐4人を初建造したのに結婚指輪を嵌めてる事かしら? 全員、青い狐のお面を被っている事?」

「結婚指輪の方。あり得ないよね? 高雄、愛宕、ヨークタウン?」

「…あり得ないですね。練度? つぼい値は全て1で建造ですから」

「だよね〜? やっぱ〜」

「……。オープン基地の建造機だけバグってそうね? 凄いわ…。豪運なのね? ……あつ」

「土佐4人のサインを貰えるみたいだね? 欲しいって言ってたもんね? 良かったじゃん」

「咲、ありがとう。サイン16枚なのは家族分かしら?」

「そうじゃない? 4枚貰えるね〜? 元帥達がどんな反応をするかな?」

「ユリ。さあ? 口説くんじやないかしら? オープン基地に行けないから書類じやない

「？」

「そうかな？令司様の反応はどうなるかな〜？」

「どうだろ？令司様と拗れ処女達が集まって乱乱する映像を見たいね？」

「盛り上がりそ〜！」

観賞会終了。高雄達は書類仕事を再開するのだった

「何それ？見たいわ。…で？咲、ユリ？なんかあつて来たんでしょ？」

「そうそう。咲耶と一緒に今日、コスプレ店に行こうと誘いに来たの」

「ウチらもコスプレして令司様に喜んで貰いたいからね？」

「えっ？ありがとう。行きましょ。行きましょ。高雄？」

「はい。書類仕事はお任せください。行ってらっしゃい」

「ありがとう。助かるわ。明日、帰るわね？」

「ええ。はしゃいで来てくださいね？」

「それじゃ、コスプレ店に行こう。お〜！」

「お、お〜！」

咲耶がコスプレ店に向かうぞ？どんなコスプレをするのかな？サキユバスをして貰いたいのはバレバレなので見つけ次第買うでしょう。楽しみが増えたね？

うん。知ってたけど…。ねえ？

龍鳳が晒し出した船デートを楽しんだ令司達。オーブン基地に到着して船を降りたら、みんなとハグやキスをして解散。仕事をこなしに行くのだった

工廠の場所を知らないので檜野とデートをやる事に。建造部屋へ着くまでキスに母乳搾りを沢山した

船デートでもしたのに溜まるとはどういう構造をしているのだろうか？不思議？が
いっぱい詰まっているね？

建造機（カプセルっぽいロツカー）と初対面。見守る？のは明石、檜野、戦艦の加賀（センカ）、三笠、夕張、ローン。三笠は逃げられないようにされていた。土佐が苦手なのでしよう

4回建造する為、新鮮な資材をファイヤー。溜めた甲斐がありましたね？令司が再起動するのを待つのだった

ハイテンションな令司を見てみんなの下の口はジュンつとなった。相変わらず？お花畑のようです。ハッスル中に登場していたのかもしれない？

メチャメチャ眩しい光の演出で4回の建造が始まった。結果は、成功。戦艦、空母、兵

装実験艦、標的艦の4種コンプリート。建造され難い？とされているのにね？おめでとう

そして建造された土佐全員、一味？も二味？も違っていた。本物の結婚指輪を全員、左手薬指に嵌めていたのである。色々な数値がカンストしていたのでしようね？偽物つてあるんだね？

土佐全員、令司に一目惚れしていたようで積極的に美爆乳を押し付けてきた。そして、空母の土佐と繋がりパーティーが開催

4人の声により、令司は催眠状態に？凄いねえ？プレイの幅？が広がるね？令司君は幸せですね？ブラック？気味ですけど…

ローンとセンカ以外とパーティーした画像達を令司の携帯電話を青葉が使つてドエム基地に提供した。みんなの良いオハズになるでしょう

観賞会を終えた咲耶達はそれぞれ元気に仕事を再開。咲耶、咲、ユリはコスプレ店に向かうのだった。護衛が必要なんじゃ？と思うが大丈夫なようです

令司と再会した時はきつと盛り上がるでしょうね？仕込まれるでしょう

日帰りの令司は、土佐達と素敵なパーティーを終えたらどんな行動をとるのでしようか？令司君を寝かす事が出来るのでしようか？

☆☆☆

「はい。これが異常発生してるミミズよ。名前はアンアンミミズよ」

名前あるのか。変な名前してるね？

「うん。知ってたけど…。ねえ？…デカイね…。想像以上だったよ。よつと…。おお…。筋トレ出来る重さだな。ビックリ」

「うふふ」

こちら令司。夕方ですが、只今、異常発生した巨大なミミズがいる巨大な畑、ナスと枝豆のエリアにいます。農家であります。ありがとうございます！

広さの数値を聞かされてもピンと来ないです。どこかの市や区が束なってもオープン基地が勝つんじゃない？

なんでもかんでも巨大化され過ぎているよ…。本当にテーマパークだよ。で、一般人を見た事ないんだけど？引きこもってるからかな？

話を戻して、目の前にはタオルブラだけのモナークが。巨大化されたアンアンミミズが入った籠を見せられたよ

それと右手に1匹持つてる。暴れるんじゃない？と思ったけど、大人しいんだよねえ。

海の生物はほぼ巨大化されたから、ミミズも巨大化されてるんだろうなあ。50cm級かなあ？と思ったのに…。ねえ？

籠の中のミミズ、本当にどれもデカイ。デカすぎるよ。1m以上はあるんだって。モナークが持つてるのは2m。大物は3m以上するんだってさ……。あは、あはははは……。凄すぎるよ

それで、モナークはほぼ同じ場所を1人で掘り続けて狩りまくったんだって。それで籠が100以上あるの。どうしてそうなった？

あれか？土が栄養豊富過ぎるせいかな？よくここまで成長できたよね？凄いや……。モグラ達、頑張つて食事してくれてありがとうございます！

そうそう。1つの籠の中に、300匹以上いるんだってさ。ファンタジー世界が広がってたよ。明石パウワーカー饅頭パウワーカーかな？うん。どっちも凄いや

他のKANISEN達も別の場所でミミズ狩りや、ミミズが発生していない別の場所で、野菜（大根、南瓜）や果物（メロン、スイカ）の収穫してる

これらも巨大化されてるよ。凄いや。凄いや言えない病気にかったかも……。加工場を持つていつて調理し易いように小さくするんだってさ。有難いわ

…えっ？何で夕方になってるのに巨大な畑にいるかって？それは「ずっとハッスルしてるから健全な日を過ごしてみたいなあ」な眩きをしたらね？

オイルマツサージでツヤツツヤのモッチモチになったローンから「それなら畑で異常発生しているミミズ狩りね？モナークがひと狩りしてるわ。夕方ならチャンスよ？」と

言われたからさb

土佐4人はポカン顔をしていたけど、みんなは、うんうん。ってなつてたんだ。狩りの経験が一度はあるんだね？

明石は冷蔵庫から出したマタタビ茶？を飲んで、「にや〜。にや〜」と酔つてたよ。仲の良い不知火に連絡して来て貰った。引きずられて行つたよ

不知火、優しくしてやってよ…。夕張と頑張つて艀装メンテナンスをしてたんだから。不知火の艀装をしてたんだからね？

脱線したね…。ミミズを食べてくれるモグラ達とかが頑張つてるっぽいんだけど、超過供給なんだとさ？ええ…。？。どんだけえ？

それで、夕張と土佐4人と一緒に異常発生している畑に夕張をおんぶして来たわけよ。漏れてたねえ？

で、夕張と土佐4人はそれぞれ別の場所でミミズ狩りを早く始めたの。でね？土佐4人、慣れるの早くない？籠、30はいつてるんですけど？現場からは以上

現場の令司さん。ありがとうございます。健全ですね！農家の気分を沢山味わつて下さいね？

土佐達の行動が分かつた理由は、モナークから渡された端末を見ているからです。それで、様々な畑を監視してる感じですね？

話は変わって、令司はモナークを見ても我慢してるんだね？巨大ミミズに夢中だからかな？

モナークの方も発情している様子が無いですね？令司に会えない間に癒し刑の部屋を利用してたのかな？（↑してません）

「これ、異常に増えてるから間引かないといけないの。指揮官のお手伝い、有難いわ」
「どういたしまして」

「あつ、そうそう。土佐の4種コンプリートおめでどう。土佐4人、張り切ってるわね〜
〜？…で？セッセしたのでしょうか？」
「んっ？そうだよ？シたよ？」

もう知ってるんだ？いきなりですね!?!おお…。手に持つてるミミズが固結びされていくよ…。大人しいね？暴れると思っただけど

「そうよね。…：：：気持ち良かったでしょ？」
「もちろん。モナークのも気持ち良いよ？」

催眠状態に掛かったんだよな…。新しかった…。色々な所を沢山吸われたような…。失望はしなかったよ。最高だった。…先輩呼びはさう？やっぱり…。いや、思い出すのはやめとこう…

「そう…。ありがとう」

「そうだよ…」

「……………」

どうした？お二人さん？無言でお互いを熱く眺めちやつて？モナークが何かを察したような顔をしているような？で、モナークはジュンつと潤っている。何故だ？

土佐の1人？に何かありそうですね？艦種はどれだろう？

「……籠、いっばいだね？筋トレ兼ねて運んで来るよ？よいしよつと……。何処へ持つていけばいい？」

「あら。そうだったわね。饅頭達の所へ持つていかなくちや……。指揮官はミミズ狩り始めてて？よいしよつと……」

「あつ、はい。行つてらっしやい……。よし。始めるぞ〜」

再起動した2人。令司は若干、顔が引きつっているね？それは、令司から2つぶんどつてから、器用に100以上の籠全てを両手と頭の上に沢山乗つけて、揺らさないで早歩きで持つて行つてゐるからね？

饅頭達の様子を見ると、運ばれたミミズ達を油で次々と揚げていく。衣をつけていたり、つけずにだつたり。食べられるんですね？美味しいのかな？令司達は美味しく食べられるのかな？

生きたまま美味しく食べている饅頭達もいる。オヤツですかね？ミキサーにかけて

いるのもいる。ジューズにするのかな？ 饅頭達の料理教室？ が始まっているようだ
こうして、令司のミミズ狩りが始まりました。どの位、狩れるでしょうか？ 1つの籠
をいっぱい出来るかな？

☆☆☆

「よっしゃ〜っ!!!!これで55匹。大人しいからどんどん狩れるわ」

モナークが掘ってない別の場所へ移動して掘るとそれはそれは出るわ出るわ。フツ
カフカナ土だから掘り掘りするのが楽しくって落とし穴が出来ちゃってね？ 嵌ってお
りますよ〜

異常発生してる理由は、番ってるからっばい。ペアで沢山狩れたんだ。そういう季節
なんだろうね？ 元気…なんだね？ たまに、3♡をシてるっばいのもいたわ。なんだ
よ、それえ…。どうなってるのさ？

で？ これ、かなり深い所に3m以上の大物があるでしょ？ 狩りたいけど掘り過ぎたら
出られないんだよなあ。クレーンか何かで引っ張り出して貰おうかね？

「…どうすつかなく？」

ザクザク狩っていく令司。かなり深い所に大物が住んでいると踏んで狩ってみたい
と思ったようだ。ミミズの情事を知って？ しまったのだった

掘りを一旦中止して、汗を拭いてどうしようかと悩んでいたら上から声がしたのだった

「何がどうするの?」

「おわっ!」

おうっ!?! 粘ついたのが頭にドバツと! ありがとう! 少し冷えたぜ!

なんで、お礼を言ってるんですかねえ? 可笑しいだろ?

「沢山、狩れてますね。指揮官。飲み物をどうぞ」

「あ、ああ…。モナークとサン・ルイか…。ありがとう。ゴクゴクゴクゴク…。んはあく…。美味しいよ、コレ」

「それは良かったです。新作なんですよ♪ まだまだいっぱいあるので沢山飲んで下さいね?」

「そっか。飲む飲む。喉渴いてたんだ。ありがとう」

「うふふふ♪」

「それで? 何がどうするの?」

「んはく…。えっ? かなり深い所に住んでそうなの、大物な巨大ミミズを狩るにはどうしたらいいのかな? とね? 間引くべきなのはこっちの方でしょ?」

深い所だったら安心して番えるもんか? どん位、産み産みするか知らんけどさ? メ

チャメチャな数じゃねーの？

「言われてみれば、そうですね」

新しい籠をいっぱい持つてきたモナークと飲み物を持つてきたサン・ルイ。汗をかいているので丁度良いタイミングである

2人の森

飲み物には、異常発生しているアンアンミミズ達のエキスがタップリ含まれている。なんちゆう物を飲まずですか？美味しいんだ？味覚、可笑しいんじゃない？（↑正常である）

「そうなの？簡単に大物を狩れる方法があるわよ？」

よっしゃ！その方法で大物を狩つてやる！それでかなり間引けるでしょ？そうでないと困るわ

「おっ？あるんだ？ご教授お願いします。モナーク先生」

「ええ。それはね？指揮官が聖水を出すだけよ」

「…そう…んっ？…んんんっ？」

笑顔でナニ言つてんの？健全じゃないんだけど？サン・ルイがうんうんと縦に振つてるんだよな

「モナーク？聖水って言った？」

「言ったわ。それで効果が直ぐ出るわよ」

「…マジ？」

「はい。マジです♪実践しましょう？」

「お、おう…。笑顔でなんちゆう事を…。聖水を出して間引けるならするか」

確かに？ミミズ狩りを積極的にしてるリーダーっぽいみんなは、そっち系の性癖を
持つてるもんね？

モナークとサン・ルイだってそうだし…。沢山飲ん…。おっと、いかんいかん。健全
な日にするんだった

みんなして沢山、水分とってたから何だろうな？と思っただよな？理由はそれだっ
たか。……よし、いっけえ。大物、ゲットだぜ！

渡された飲み物の効果で聖水を沢山出した。2人は上から凝視してくるし、音を楽し
んでいる。2人とも森を見せつけてるね？

聖水を出してる時、頭に2人のネバネバが沢山降り注がれたのだった。マーキングで
のしてるのかな？久しぶりに会話が出来てはしゃいでるのでしようかね？

令司の聖水で、本当に深い所にいる大物の巨大ミミズを狩れるのでしょうか？何匹狩
れるのでしょうか？30匹位でしょうか？どんな結果になるかな？

☆☆☆

「ふう〜。これでよしと…」

すぐく出たわ〜。どうなるかなあ〜？ワクワクだな！アンアンミミズの3m以上、いらっしや〜い

「スツキリしましたね？穴から出してあげますね。えいつ」

「うん。ありがとう。サン・ルイ。2人のネバネバシャワー凄かったよ。落ち着いたかな？ふい〜」

クレーンじゃなかった。右手だけで頭を持たれて穴から出して貰ったよ。ヌルヌルしてるのによく持ってたな

重め？の艦装を使ってセイレーンと戦ってるから簡単に持ち上げられるよね〜。腕相撲したら全敗だろうな

うん。それで敗北後の…。ってのはしてないな…。言えばグチャグチャにしてくれそうだな。ずっと涙目だろうな…。声をずっと出すかもだが、キスですつと黙らされるかもね？

ネバネバシャワーを浴びたのとアイアンクローもどきで可笑しくなってますね？健全に過ごすんじゃないかったの？

良かったじゃん？新しい扉を開けられそうだね？ガンバってハッスルしてね♪クレーンは明石とヴェスタルだけが使える艦装だよ！

「どういたしまして。落ち着いたわ。ありがとう。（いっぱいかけちゃった♡掻きあげる仕草、しゆき♡）」

「落ち着…あつ、来ますよ！（ナンデ、ハグノジャマヲスルノ？ゴミメ）」

「……え、っ？効果出るのはっやつ!!」

うん。なんかゴゴゴツツツて感じだわ。移動スピード早〜い！あつ、かけた所に集まっついていく感じだわ

モナークの言う通りで効果が直ぐ出た。さてさて？何匹の大物が狩れるかな？ハグする時間を奪われて怒ってますね〜？落ち着いて？ね？ね？

巨大アンアンミミズの登場でえ〜っす！

「うおっ!!ちよ!!ウソでしょ!!デカすぎるよ!!?!?!おいおいおい！ドンドン出てくるんだけどー！」

ええ？3 m以上の大物と言ったけどさ〜？5 mはあるでしょ!!?登り龍？みたいな登場してるんだけど…。これ、暴れてるよね！

なんかファンタジー世界に突然転生か転移しちゃってるんですけどっ?!

「えっ?!はっ?ちよっ!!?おっ、おいしいい〜っ?!」

「わあ〜！シヨクミミズのメスがいっぱい！流石〜♪」

なんか危険な名前をしてるんだね？そんなメスが100匹以上釣れたようだ。口？

かな? から粘液がドバツと垂れ流している。なんか令司を狙っているね?

「そんな事、言ってる場合かあ?!! なんか令司君が狙われているんだけど?!! 危なっ! ぐぎぎぎぎつ!!!」

もしかしてアレですか? そのネバネバで感度3000倍の世界を体験しなくちゃいけないの?!! 誰得だよ! エロ妻達得だよ! こんの!

ヌーチスっていう巨大古代魚のヌルヌル成分は、ロー♡♡ンとスライムオ♡ホの材料。ロツクンギョダケという巨大魚はキス魔にさせる

危険魚という巨大魚は、男女両方を枯れるまでヌキヌキしてくる。コイツの油を調査すると全身が性感帯になるんだって。そんな油を調査してたよ! てへっ

成る程? みんな、発狂してたもんね? ガツクガクで潮、吹きまくりでしたもん。で、ビリビリダケは高級痺れ薬の材料。カンカンダケは媚薬の材料などを教えてもらっただけだよ?

どれもエロ特化過ぎるでしょ?! 生物みんな? 男性を襲うっぽいし!! 少ない理由の1つかもしいね!

うわっ! ? ちよっ?! なんかヌメヌメするうゝ! それ、スライムの仕事だつてばあゝ

!!!

「うふふふふふっ」

そうだよ（笑）この世界の生物は、ほぼエロ特化型だよ。男性の男性を狙ってるんだ♪異種姦の本が厚くなるね？需要高いんだよ？

令司は回避しまくっている。捕まってもなんとか引き剥がしていた。ヌメヌメにされたけど…

本ではサレていいが、現実ではさせないわ♪な雰囲気を纏ってるモナークとサン・ルイ。2人とも両目のハイライトが無い。仕事しだしたんですね？出勤、お疲れ様です

「指揮官。もう全部籠の中よ（ヤラセナイカラ。ホンノナカダケニシテ）」

「ハアハア…。ハアハア…。ありがとう。疲れた…」

あつという間に全てが籠の中へ。ハイライトは無事戻りました。良かったね？

「晩ご飯の時間になったので食堂へ行きましょうか。どの食堂へ行きますか？」

「もうそんな時間か…。第1だな。うおっ?!サン・ルイ?」

おいおい?いつの間にか全裸じゃん!服、溶かしてたんだな?だからあく、それはスライムの仕事なんだってば!何してくれてんだよ!シヨクミミズ達め!

夢中になってたからなく。で?今回はお姫様抱っこが流行ってる感じ?おうっ?!モナークにキスされたぜ!舌が吸われている!

「では、このまま第1食堂へ行きましょうか♪」

「んぷは〜。…あつ、はい。よろしく。モナークの料理を食べたいよ」

「ご馳走様。あら？そんなの？でも、残念。料理当番じゃないの。朝、第3食堂で待つてるわ」

「サン・ルイも当番じゃないです。昼で、第2ですよ？待ってますね？」

「了解。食べに行くわ」

なんか決まりがあるっぽい。食べに行くともうわっ！早い早い！さっむ!!

晩ご飯の時間になるまで間引いたのだった。後、格闘？をしたからね？お疲れ様でした。お疲れ気味なので、お姫様抱っこされて第1食堂へ向かったのだった

モナークはシヨクミミズでいっぱいになった3つの籠を第1食堂へ持っていくようだ。令司達でも食べられるようですね？

籠の中がちやぷちやぷしてるんですけど？籠、良く溶けないね？明石か饅頭達の技術スゲー

☆☆☆

第1食堂へ無事到着した令司は、ハーマイオニーの料理を食べ、お代わりにダイドールの料理。デザートで2人の下の口を頂く！つという展開にはならなかった

イベントを健全？にこなしましたね？後は、お風呂のイベントですね？

「むぎゅ〜。指揮官？どう？ポートランドのおっぱいを背中に当てられてる感触は？ふ

ふふ。アワアワだね?」

「さい…こうです! ありがとう。うんむっ?!」

「あはは! インデイ! 最高! あはは! インデイ、顔が真っ赤く! もうシてる仲なのに! きやく! 殴られちゃう! 逃げろ!」

「…元気ねえ? サン・ルイ?」

「そうね? モナーク。…で? 飲んでるのは何?」

「これ? ショク酒よ。ショクミミズのショクの部分を贅沢に使ってるの。どうぞ?」

「頂きます。んっ…。んっ…。んはく。美味しい。身体がポカポカする!」

「そうよねく! 我慢して我慢して一気に出せば気持ち良いわよ!」

「はい!」

「んく! ショクミミズの煎餅美味しい! ぐくぐくぐく。ふはあく。アンアンミミズとショクミミズのブレンド茶も美味しい!」

「ダイドーの言う通り美味しいですね。かなり間引けたので、後はモグラ達に頑張つて貰いましょう。で、今度は別の畑に異常発生しているイキリバッタを指揮官と一緒に狩りしましょうかね」

「そうだねく。健全したいって言ってたからね? 良いんじゃないかな? ハーマイオニーが話してきなよ?」

「もちろん。指揮官に準備して貰いたい物があるし」

インディアナポリス、ポートランド、モナーク、サン・ルイ。ハーマイオニー、ダイドーなどなどと仲良くお風呂に入るのだった

逆上せない程度にハグやキス、マッサージをただけで誰ともシていない。令司君は察していて？おつきしなかった。優秀？じゃないかな？それか料理に何か抑える薬でも入っていたのかな？

「ふう…。さっぱりした。この世界で初めての一人寝。お休みなさい。ZZZZZZ
……」

お風呂場でスキンシップを沢山とり、専用部屋に一人ポツンとなった。睡魔に襲われたのでさっさと寝たのだった。エロエロなエロ特化の生態の実態を知ったから気疲れでもしたのかな？

健全な日？を送れて良かったね？夢の中でセッセ！な事も無く、ニューカッスルがノックしに来るまでぐっすり寝たのだった。令司君、お寝んね出来てえらいえらい♪

ミミズの次はイキリバツタというバツタ？を狩りまくる予定が入ったよ？準備して貰う物は何でしょうかね？

次の日も令司は健全にイキリバツタ狩りをして送るのか、エロエロするのか？何処かにデートをしに行くのか？どうするのでしょうか？

☆☆☆

◇フタ基地の写真撮影会場◇

令司達がアンアンミミズとシヨクミミズを狩りまくっていた頃の会話である。咲耶の妹達が所属している基地ですね？早希と早紀だったかな？どんな性…生活を送っているのでしょうか？

「……………」

「良いね！良いね！凄く良いよ。加賀！あつ、その表情最高！ありがとう！」

「早希姉え…。はしやぎ過ぎだよ…。その服で9着目じゃない？」

「良いじゃん。良いじゃん。どれを着ても最高なんだよ！」

建造した戦艦の加賀が色々なコスプレをして早希に何枚も写真を撮られている。エロいポーズをしている。早希さん、グツジョブ

「……………早希指揮官に早紀整備長。初命令がこのコスプレでいいのか？執務室に籠って、かなり悩んでいたらしいが？指揮官が全裸土下座するとかないだろ？」

「うん。これで良いの！だってこれらの写真全て、オープン基地で指揮官をしている令司お兄様に送るからね！」

「はあ……………」

令司、なんかフタ基地の戦艦の加賀のコスプレ写真を送られて来るぞ？どんな反応をするかな？

「……はっ？令司お兄様？男…性？」

「あつ！その表情、1番最高！きやわいい！興奮しちゃうー！」

「……………好きにしてくれ（もつと撮れ）」

「はあ…。暴走し過ぎだよ…」

「うん。好きにするもん♪良いじゃん良いじゃん。最後はこれを着てね！」

「……………。了解…」

「令司お兄ちゃん。喜ぶのかな？ドスケベな咲耶お姉ちゃんを妻にしたから喜ぶ。…

よね？きつと…？」

「喜ぶって！サキ母さんともシタいつて言ってたし、咲耶お姉ちゃんのコスプレ姿見て

みたいつて思ったらしいよ！出来れば、早希。令司お兄様と繋がりたいな♡うえへへへ

へ♡」

最後はやっぱり？サキキュバスだった。令司、絶対喜ぶね？まあ、本物のサキキュバスを

妻にしますけど。多分、別腹

早希お嬢様指揮官は写真を撮りまくれて肌が潤っている。オーブン基地の青葉と仲

良くなれそうだね？

く撮影会場の外く

「はあ…。早希お嬢様…」

「うん？ベルファスト。深い溜め息をつけてどうしたの？顔、真つ赤よ？」

「あつ、エディンバラ姉さん。フタを触りながら聞かないで…」

1週間溜めさせられててどうにかかなりそうなの！姉さんを襲いたくなっちゃう…。それはダメなの…。今日の晩ご飯の時間まで我慢したら、早希お嬢様からご褒美が貰えるのよ！

フタ基地という名前通りで、エディンバラとベルファストに付いています。付いてます。挨拶代わり？で触り合っている。2人の服装はエロ特化の改造メイド服。おつきがバレバレになるね？

ベルファストのベルファスト、濡れ濡れですね？何かをして罰を喰らってる感じだね？ご褒美は何でしょうかね？

「えつ。うん…。で？どうしたの？」

「…早希お嬢様とシたいって思ってるのに相手にしてくれないの…。…アプローチが下手のかな？頑張ってるんだけど…。ご褒美は貰えるんだけど…」

「えつ？下手よ？エディもシたいけど、かわされるわ。というか、エディ達には興味なさ

そうよ？貞操帯をずっと穿いているし。ご褒美は多分、義務なんじゃない？まあ？嬉し
いんだけどね？」

「そ、そんな〜……」

ウソでしょ……。初命令の時の刺激が忘れられないのに……。あの時の視線、興奮したわ
……。あつ、思い出したらちよつと出ちやつた……。我慢我慢

「……ねえ？」

ほうほう？早希お嬢様指揮官のご褒美は凄く嬉しい物なんだね？……んで？ベルファ
ストのベルファストがエディンバラのエディンバラより大……。これは止みましょうか
……

「んっ？何？相手、シてくれるの？」

「シないわ。整備員達とグチヨグチヨしてるのが悪いのかな？見つかったし……」

「うん？悪くないでしょ？エディ達は、毎日何度も限界までハッスルしないといけない
んだから。整備員達には悪いと思ってるけどね？向こうも早希指揮官も早希整備長も
納得してる事だし……」

ア♡ル掘り、止められないわよ。で、5日間溜めさせられてるのよね……。辛いわ……。
早くスッキリしたい。ご褒美はどんななのだろう？

「で、整備員達のオ♡♡コでしようとするとか制裁を喰らうものね？」

「……アレはダメよ」

あらあら？お盛んだね？整備員達、毎日お疲れ様です。制裁の経験があるようだね？2人とも顔、真っ青じゃないか。KANSEN達のパワーを上回るのかな？

『はああああ?!?!』

「つつつつ?!えっ?何?何?」

(危ない!完全に出る所だった!戦艦の加賀の声は毒なのよ!!!)

戦艦の加賀が早希か早紀に何かを言われたようだ。2人はうっかり破りそうになった。加賀、凄いね?

『~~~~~!』

『~~~~~!』

「うわっ!」

(あつ、もう…ダ…メ…)

「待ってええええ!お願いしますううう!お願いしますううう!命令を出すのって何かやなのうう!ウツソ?!足、はっや?!うっわ…。なんか床が濡れてる!加賀あゝゝ!興奮してるんだねゝゝ!お願い!話合おう!ね!ね!」

「はあ…。追いかけてここが始まった…。姉さんの勝ちだね…。…んっ?」

無事撮影会が終了して、サキユバスのコスプレをしたまま追いかけてここが始まった。

早希は何かの書類を持ってるね？書類の話をしてこうなったのかな？？何が書いてあるんだろうか？

「あうううう……」

「あらら……。エディンバラとベルファスト。ふうふうん？最終日で後ちよつとだったのにね？残念ね？」

「早紀整備長……。これは……。その……（その視線と声は止めて！興奮しちゃう！）」

あら？2人とも直ぐに正座したね？ちよつと何、考えてるのか分かんない……

「ふふふ。延長ね？ご褒美は無し」

「……了解しました」

「では、整備長として新しい命令をします♪ 2日間また溜めてね？後で姉えに伝えておくわ。コツソリしてもバレルからね？これも破ったら制裁だから♪」

「了解しました！（それはヤダア……！）」

「良い返事。さて、姉えと加賀の様子を見てくるわね？饅頭達と一緒に綺麗にしてね？」

「了解！」

う〜ん？何かドロつとしてるね？キャラを作ってる可能性がある？

令司はハイテンション気味な早希と、冷徹？な早紀と出会ったら仲良くなれるのでしょうか？令司はフタ基地に訪問をするのかな？考えてなさそうだよね？

…

令司はもつともつと色々な女性達と出会った方が良いんじゃないかな？知らんけど
まあ？楽しく？生きていきましよう！

うお〜っ！ やっぱりかあ〜っ
!!!

健全な日を過ごしたいっ！と思つた令司。そうでしょうよ。何回も何回もハッスル
していてブラック過ぎるのですから

エロ妻達もやり過ぎ？と分かつていたようで、誘惑をしなかった。会つたらキスとハ
グはしている

夕方に巨大畑で異常発生している巨大ミミズ（アンアン・シヨク）を大量に間引くの
に参加した。この２種類以外に小型ミミズもいる

シヨクミミズのネバネバで、令司の服が溶かされるエロイベントが発生。ファンタ
ジー世界を初体験した。スライムの仕事だろ？と怒るのだった

スライムは存在するのでしょうか？存在したら令司はどんな行動をとるのでし
ょうか？

ハイライトオフになつたモナークとサン・ルイが、シヨクミミズを全て素早く調理し
易いサイズまで切り刻んで回収。それと、令司とシヨクミミズの絡みを脳内フォルダに
保存していた

令司×シヨクミミズか、シヨクミミズ×令司の話題になつて戦争が始まるんか？それ

でうつかりイベントが発生して令司にバレるんでしょ?

別の巨大畑でミミズ駆除や、収穫しているエロ妻達も令司の様子を見てハイライトオフ。間引く筈なのに、アンアンミミズとシヨクミミズが絶滅した。バッチリ、絡みを脳内フォルダに保存していた

令司は食事を終えた後でもハッスルはしなかった。お風呂でも令司君以外のマツサージをされただけだった。健全。続けてます

転移してきて初めて専用寝室で独り寝。疲れが溜まっていて直ぐに寝れた。それはそれはグツスリとね

巨大ミミズの間引きの次は、イキリバツタというバツタ?の間引き?絶滅?をさせる事が確定していたのだった

男性が巨大エロ生物に襲われるファンタジー世界の冒険がまた始まるうとしている?負けるなっ!負けていいのはエロ妻達だけにしろよっ!

健全、2日目。はっじまるよ〜っ!!!

☆☆☆

『『『『イキいいいいっ!!!』』』』

「うお〜っ！やっぱりかあ〜っ!!」

漫画の世界の様に、土埃が舞いそうな勢いで走る令司。それを追うバツタの図が出来る。なんという事でしょう！バツタの両目はハートマークが浮かんでいる！

ちよつとした回想をしようか？

指揮官専用の寝室でニューカッスルのノック音を聞くまでグツスリ。スヤスヤしてたです。息子は寝てたです起きてると思っただけどね？

ニューカッスルとおはようのキスとハグをしましたよ。ええ…。セーフ

無表情でも感じてたねえ…。見せつけたら何も言わずに舐めたよ…。腕を組んで第3食堂へ行ったぜ

約束通り、モナークの料理をニューカッスルのあ〜〜んで食べた！デザートとしてモナークの両胸を吸ったけどね！ハッスルはしてないからセーフ！セーフ！

そこで現在。田んぼに来てて、小型サイズのイキリバツタというバツタから走って逃げてるんだ〜！

イキってる息子をお持ちだったよ…。しかもずっと元気なんだってさ！無限なのかよ！凄すぎ！

一匹のメスに複数のオスなんだって。そうなんだね？それなのに何故、人間の男性をオス達は襲うんですかね〜？メスいるじゃんか！

そんなエロバツタ達を駆除をする為にお薬を調合して、田んぼ全体に散布して貰ったのさ。イキつてるのに更にイキつたのよ

そんなイキリ狂っちゃったオス達の獲物はオ・レ・の・カ・ラ・ダ♡捕まるわけには
いかなないよね〜〜!

数?多分、1000匹以上いる!スリルがあつて楽しいんだあ〜〜!

そつちの世界は大つつつ嫌いなんだからあ〜〜!ウス異本の中だけにしろよ〜〜!
あつ、そうそう。何冊か存在を確認してるぜ!中身を読んでね?俺似の主人公がバツ
チリ、犯されてた!需要が高い?多い?んだつてさ。拗れてるう〜

「指揮官〜!胸に飛び込んで来てえ〜〜っ!!!」

「引きつけ完了したぞ〜〜っ!標的の土佐と空母の土佐の美爆乳にダ〜〜イブっ!」

「あんっ…。驚掴みに…。気持ち良い…。ねえ?健全の日を過ごすんじゃないかったの
?」

到着!後は土佐達に任せる!無能だからねっ!仕方ないねっ!

「ゼエ…ハア…。そう…なんだけど…。ふう…。セーフだ。あ〜、両手が幸せ〜」

「ああん…。良い汗の匂い♡滾つちやう♡土佐も幸せよ〜〜!後は任せて?」

「任せた!連日、エロ特化生物の駆除でスマンの」

「良いの良いの。楽しいし♡」

「うっ!? すつつつごく寒い!」

「はい。これで任務達成♡ ミミズの方が楽かったわ」

「さむさむ…。…。えっ? 早くね? そんな…。あつ…。マジかよ…。うわくく…。うわくく。汚ねえ氷漬けじゃんか…」

誰得の光景? 飛んでる全てが氷漬けになってる。確かにさ? そうなるお薬を調合したけどさ? 効きすぎじゃね? 用意されてた材料に1つ材料を足したからか?

発車してるのもいるねえ? 周りの羽根にかかつてんじゃんか…。ええ? 名前通り? イキリ過ぎてない?

うん。俺氏。ファンタジー世界に冒険者と書いて遊び人と読む職業に転生か転移してんじゃねえかな?

令司のちよつとした? ファンタジー世界の妄想が流れます

〈妄想スタート〉

転生か転移した俺。冒険者のエロイン達と出会う。そして一目惚れ? をされて安全な場所へ行き、流されるまま初夜? イベントをこなす

そして、ますます好きになられる。お代わりをした。いや、された?

男性が少なく弱々、生物達もエロ特化で男性の男性を狙う世界と判明。色々な困? として活躍をする事にb

クエスト初日で巨大ミミズ2種類の依頼を受ける。俺、襲われそうになる。エロイン達がキレて? ハイライトオフになってミミズ全滅?

夜、エロイン達はバレないように自分でハッスルしたんだとか? いないんだとか?

2日目、そわそわしてチラチラと俺を見るエロイン達と、イキリバツタの討伐依頼を受ける

引きつけて全力でエロイン達の元へ走って胸にダイブするのが俺の仕事! バツタ達は氷漬けになる

〈妄想終了〉

…と、ストーリーはこんな感じかな? まっ、雑なんだけどさ? テンプレ盛り沢山だよ
ね〜

そんなテンプレを今、体験してんだよなあ。今更だけど貞操逆転世界に転移したのもファンタジー。エロ妻達とエロエロ出来るからありがと!

「あつ、褒美…。どうす…:グエー!」

「そんなの決まってるわ♡ハグよ。ハグ♡むぎゆ〜っ!」

「ツツツ?!?!」

うほっ! 気持ちええんじやく〜! 健全2日目を過ごしたいのに〜! 元気出ちゃうの〜!

「はあくく。満足したくく。指揮官?もう一ヶ所の田んぼへ向かったら?」

「お、おう…。ここより多いって言ってたなあくく。連絡とるね?あつ、ゆつくり休憩して?。」

司令、こつちの世界に対応した携帯電話を手に入れて使う

「了解」

「……あつ?もしもし?フォーミダブル?うん。全部氷漬けになったよ。えつ?知ってる?そつかくく」

待機中の土佐達は、伸びをして美爆乳をタユンタユンと揺らす

「ねえ?空母の土佐?知ってるってどういう事?」

「えつ?ああ…。これじゃない?」

「フォーミダブル達がいる田んぼに向かいたいんだけどさ?場所はどこ?うん?空を見ろお?おう…」

司令は、コソコソ話をしている所を見ながらフォーミダブルと会話をするのだった

「んつ?空?ああ…。フォーミダブルの艦載機か…。あつ、パイロットと目が会った。綺麗な敬礼されちゃった」

「そうね…。ロイヤルの艦載機が幾つかあるわ。で、土佐も艦載機を放ってるの」

「それで散布したんだよね。巨大な田んぼだからねえ?空母、大活躍ね?」

「(そうね?土佐の艦載機の中で寛いでるのもいるわね。流石、ロイヤル。お茶会が始まってるわ)」

「(仲イイね。エンタープライズのパイロットだけ参加してなさそうだよ?)」

「(そうね。謎のルールでも存在してるのでしょ?んっ:)」

「(そっか。ふふ:。見てるね?)」

「(ええ:。見てるわね?もつと見て貰うわよ?)」

「(了解)」

仲良いね!ハグしてお互いの美爆乳が沈んでいくね?令司はしっかり見てます

そんな所にサツサとこっちに來て!されるのだった

「うえっ!フォーミダブル?これは?うん。梯子、知ってる。エンタープライズの艦載機に乗れて?そっか。ありが:と。あ〜:切られちゃった:。慌てたなあ〜」

「指揮官。氷漬けになったバツタ達は饅頭達と一緒に処理すれば良いのかしら?」

「そうして。饅頭達が張り切ってるから従ってくればあつという間だと思おうよ!」

「了解。行つてらっしゃい」

「うん。行つてきますね〜?梯子、揺れるなあ:。あつ?ちよつ?急に縛つて?あ〜れ〜」

急に縛られちゃう令司。無事に艦載機の中にお邪魔した。令司の扱い、雑過ぎるん

じゃないかな？

「到着つと…。あらら？パイロット…君？…ちゃん？」

無口。ジェスチャーしてるからなんとかなる！

「……………」

うん。中性かな？そんな感じがする。綺麗な敬礼されちゃった。返しとこう

「エンタープライズはいないのか」

「……………」

首を縦にしたから肯定か

「そっか…。いないか。色々見るねえ？」

「……………」

おろろ、広いんだね？みんなこうなのかもなあ。いや、エンタープライズだけか

も？

「……………」

「あつ？お茶会？しよつか。喉渴いてたんだあ。…………うんうん。美味しい。潤つてくよ

…」

あはは。シリアスのクッキーが沢山あるわ。美味しそうに食べるねえ？…………えっ？

「うっ?!眩しっ！」

建造機よりはマシだな…。あ〜。チカチカする。はやく戻れ〜

「あ〜…。戻った…。大丈夫じゃないでしょ?パイロット…ちゃん?へえ〜?」

「……………」

すつご〜。中性からエンタープライズにそっくりになったよ。コードG…なのかな?

シリアスのクツキーは関係なさそう?ビックリさせたかったんだろうな〜。演出凝ってるね?エンタープライズ?サプライズ成功したよ?」

「……………」

「うん?ズボンとパンツを脱げと?その右手に持つてるタライに出せと?」

えっ?急ですね?イキリバツタ達のお薬の材料かな?それなら、納得だね?いつけえ〜

「……………」

「おふっ。掃除しなくていいんだよ?ごめんな?」

「……………」

最後まで見てたな〜。身体、ユラユラしてたけどさ?何だろうね?

「ハグしたいんだ?どうぞ?おいで?」

「……………」

「よしよし…。あつ…。エンジンが止まった？到着した感じだね？行ってくるよ？」
「……………」

無表情じゃないんだ？でね？エンタープライズ？色々と負けてるんだけど…？

さあさあ、お仕事お仕事お〜！イキリバツタ達い〜！エサが今から行きますからねえ〜？

ハイテンションでスカイダイビングをする。ファンタジー世界の冒険者の気分？をまた味わいたいんでしょうね？良いエサですなあ？

◇

令司がエンタープライズの艦載機に乗ってコードGとハグしている時のオープン基地内の演習場

「くしゅんつ…。あ〜…」

「ハアハア…あつ！由良つ！何で！」

「隙ありい〜つ！」

「…………えつ？きや〜つ！あうう…。あて、旗艦・由良。轟沈」

「轟沈確認。演習終了じゃ。セイレーン達の勝ちじゃ」

「お疲れ様〜。えつへへ〜。面白かった〜。長門〜？演習しようよ〜」

「オミツターの片方。燃費悪女だからの? 資源が満遍なく減るのじゃ」

「ドカ食い女なんだ〜? 令司と交尾した時は燃費良かつたんじやないっけ?」

「うぐっ…。か、関係ないじやろ?! そ、それと長門は、演習許可を指揮官から貰ってないのじゃー!」

「え〜? じゃあさ? じゃあさ? 資源を使わない戦い方をして? ねえ? それなら許可なしでもイケるでしょ? ねえ?」

「えっ? それなら許可出てるのじゃ…。でも…。でもじゃ…」

「戦いたくてうずうずしてるんでしょ〜?」

「……じゃ! やるのじゃあつ! いくぞ!」

「わあい! あつぶなあ〜い! あはは〜。あつ、おつきしちやつた〜! シないよ! これは…ちよっ?! やっぱ〜」

「ズビ〜! うん…。直った…?」

「由良? どうしたの? 逆転出来そうだったのに…。風邪なんかひかないのに?」

「江風…。なんか、誰かにあての噂をされた気がして…。ね? ね?」

「ああ…。その巫女服を脱いだら凄いつて事をか…」

「えっ? まあ…。うん。そうだけ…。指揮官、驚いてたし…。江風も凄いやん?」

「ありがとう。由良には負けてるんだけどね? それじゃ、長門が演習しちやつたから陸

奥に連絡入れるね」

「……。駆逐艦でそれは凄いいんだけどな……。……。さつ、みんな？ 工廠にいる夕張の所に行つて艤装を預けたら自由よ」

「了解」

くしやみが出たのが演習で良かったね？ 戦場ならお陀仏じゃない？

審判？ をしていた長門が煽られて？ オミッターの片方と戦つてい始めた。資源を使つてないつていうのに凄いい音が響いてますよ

江風はやれやれ。な顔をして長門たちの演習を見ながら陸奥に連絡を入れている。慣れているようだ

由良は、長門たちをチラツと見てから仲間達に指示を出して解散？ する事にした
司令？ 長門に演習許可を出してやれよ？ ガス抜き？ は大事でしょ？

長門は直談判すれば良いんじゃない？ 許可するでしょ？ 身体を使つちやえはいいさ。
あつ、もう使つてたか？

◇

☆☆☆

〈第2食堂〉

「指揮官。異常発生したイキリバツタの駆除。お疲れ様です。どうぞ、召し上がれ」

「ありがと。サン・ルイ。頂きます…。はむっ…。うん。美味しい…。ゴキユゴキユ…。ぷはあく…。飲み物も美味しい。ご馳走様でした」

「ふふ。お粗末様でした。フォーミダブル達が駆除する田んぼのイキリバツタ達の様子はどうでしたか？」

「ゴクゴクゴク…。…うん?どうつて?中型サイズで5000匹以上が繁殖期に入っていて交尾してたね。凄くオエってなった。あつ、これがその時の動画ね?」

「はい。見ますね?…。うっわ…。すっ…。メス、丈夫なんですな?あつ、フォーミダブル達が指揮官の調査したお薬を散布し出したら、指揮官がロックオンされましたね?」

「そうなんだよ。不思議過ぎるわ…」

やっばりロックオンされちった☆スリルあり過ぎたよ!

丈夫なんだよなく?イッてる様子が無いんだよね…。不思議過ぎる…。稲達が枯れていく瞬間見ちやっつた…。ヤベエっすわ…。卵もデカかったし…。処理したぜ?

まあ、巨大な田んぼだから一部が全滅してもあちこちにあるから大丈夫って言われた

な。備蓄が腐る程あるってみんな言ってたし…

で？サン・ルイ？ハイライトオフになってるぞ☆ハイライトさん、仕事熱心だね？アレだね？レイシニウムとやらを接種しないのかな？動画ストップ！

「アンっ…。指揮官？ありがとうございます…」

「よしよし。どういたしまして。そうそう。土佐達の所とは迫力が違ったよ。メチャメチャ走った。凄い良い運動になったよ。動画の続き見てみ？最高だと思うからさ？」

イキリバツタ達の息子のサイズ違ったんだよ。小型は小型、中型は中型。大型は大型なんだろうね？

大型は、逃げ切れるかな？大型よ。存在しないでくれよ？

「はい。…んっ？あははっ！最高ね？グロリアスったら最高の褒美を貰ってるじゃない。羨ましい」

「あははっ…。そうなんだよね？動画の通りでロイヤル空母隊はさ？優雅に駆除してないのよ。炎の壁の所為もあるかもだけど？」

みんなの両目、ハイライトオフ☆だった。優雅じゃない攻撃をしまくりでしたよ。炎の壁に突進してコンガリ焼けているっていうのにな？

エンタープライズとエセックスが特に凄かったな。笑い声をあげながらだったから

な〜。テンション高すぎでしたね

グロリアスのピ〜〜っ!にピーっ!だもんね?そんでね?俺も気にしてなかったなあ〜。キラ付けバツチリ。活躍したね

「指揮官。もつと強く抱きしめて?」

「了解」

あ〜。癒される〜。息子は健全って事を分かってますね〜。良い子良い子

そんでコンガリ焼けたイキリバツタ達を俺以外のみんなが後片付けしたなあ〜。饅頭達は作業しながら食ってたし。雑食かあ〜。ありがたいよ

エロ特化生物だからこいつらも強壮剤とか精〇剤とか媚薬とかになってんじゃね?知らない内に食べたり飲んでたりしてそうだよな〜

美味しく食べた、飲んだのがまさにそれだったり?ってね?聞く気ないけど。もう何度も盛ってるっぽいし…。今更だし…

シヨクミミズのシヨク酒っていうお酒をお風呂で美味しく飲んでいたらしいからねえ?お酒作り出来る環境が整ってるんですねえ?

「あつ、そうそう。指揮官?熊野から聞いている?ヌーチスが食べられるようになったという事を?」

「んっ?聞いてないな」

ヌーチス？ ああ……。バカデカイ古代魚ね？ 魚専門の饅頭達と熊野、鈴谷などが水槽の前で笑顔でピースしてたのは知ってる。食べられるんだ？

「そうなの？ んっ……。美味しいわよ？ 夜になったら第1食堂でヌーチスのフルコースよ。もうね？ 健全でいられなくなるんじゃないかしら？」

「マジか？ 食べた事があるんだ？ 夜が楽しみだ。久しぶりに盛り上がるな？」

健全は2日で終了のようだ。寝ててもさ？ 溜まつてる感じしてるからね？ 単純だよねえ

みんな、かなり溜まつてそうだよね？ あつ、でもニーねえや双子オミッターなどのセイレーン達の花つちゃんを使ったり、癒し刑部屋で百合ん百合んしてるからスッキリしてるか？

「……………指揮官？」

「んっ？ 何だい？」

なんか寂しいや怒るや悲しい？ みたいな色々なのが混ざった声で、指揮官？ って言われたんだけど？

「サン・ルイを含めてみんな、セイレーン達の花つちゃんを使ったり、癒し刑部屋で百合ん百合んしてスッキリとかしてないから。してないからっ！」

「お……おう……。そっか」

考えてる事が顔に出てたかな〜?背後から抱きついてるんだけどな〜?みんなも健全に過ごしてたのか。サキユバス並なのに?

「でもさ?自分の部屋で籠ってハツスルした事はあるんじゃないかな?」

「まあ、それなら…。サン・ルイはしてませんが」

「そうなんだ?夜。相手、お願いね?ふう〜」

「ひゃい♡よ、よろしくおねぎやいしまふ♡」

「ありがと。失礼するね?」

フアンタジーの冒険は一旦終わりかな?今度はどんな名前のエロ特化巨大生物が異常発生するんだろ?楽しみだな…

ふむ。ヌーチス料理かあ〜。楽しみですな〜?食後のデザートとしてしっかりエロ妻達を食べるよ?オイルも沢山あるし。とことんハツスル出来そうだ

あつ、そうだ。トレーニング室でへろへろにしてからパーティーに臨もうかな?みんなのマッサージ受たいからねえ?腕磨いてるでしょ?

令司はサン・ルイの右耳に息を吹きかけてトロトロにしてから食堂を去った

小型、中型のイキリバツタ達から逃げきってへろへろ気味な所に、トレーニング室で追い込みをかけようとするって、バカあ?

スキップをしてトレーニング室へ向かうのだった。マジでへろへろになる気のように

だ。料理に何かを盛りされている事を知っているのでしょうか？

☆☆☆

「~~~~~♪」

「えつと~~~~。あつ、良かった。いたいた！指揮官！」

「おつ？オーロラ？んちゅん……。どうしたんだい？トレーニング室に向かおうとしていた所だったんだが？」

「んっ……。佐久間サキさん。佐久間咲耶のお母さんですね。が、指揮官に会いたいそうです。基地に来てます」

「えっ？咲耶のお母さんが？急だね？オープン基地つて入れないんじゃないやなかったっけ？」

おつと？突然、咲耶のお母さんのサキさんとの会話イベントが発生したぞ？

顔写真なかったからなく？どんな女性でしょうか？ついてる可能性あるか？アイマスクはしてるでしょ？会えば分かるか

「そうですね？急ですね。オープン基地内に入れないのは、他の基地の指揮官や整備員達ですよ？一般女性達は入れます。結構出入りしてますよ？」

「えっ? そうなんだ?」

一般女性達と出会うイベントがあつたという事か。広過ぎるからイベントが発生しなかつたんだな? 土地がダダ余りしてるから住んでそうだな

「そうです。行為室で待つて貰つてます」

「行為室か…。健全に過ごすのは終わりなのか…」

ハグとキスだけの生活。結構楽しんだな。手で相手をしたのは健全じゃないかもだけど

サキさん…。そこヤリ部屋だったような…。ムラムラしてるのかな? 処女つて書いてあつたけどね? 数が少ない男性をゲットして卒業をしたは良いが満足出来なかつた?」

相手にするのが多いのですから、無茶言わんでください。制限あるんですし。頑張つた筈ですよ? うん。道具とは違うんだからね? うん

「はい。健全に過ごすのは終わりです。夜にはヌーチス料理を食べて元気になって素敵なおパーティーが開かれるんですから。楽しみです」

「こつちこそ楽しみだ。サキさんをそのヌーチス料理に招待しても良いんだろ?」

「指揮官が良いというのなら良いわ。みんな、受け入れるわよ」

「そうか…。行為室へ行くのか? 案内よろしく。お姫様」

受け入れないっていつでも受け入れさせる？言霊って口もあるからねえ？口を塞がれたら効果ないと思うけどさ？よしっ…。お姫様抱っこをするか

「ええ…。任せて」

令司は咲耶のお母さん。サキさんとの会話イベントが発生。どんな会話をするのでしょうか？

お姫様抱っこで、ポーっとしてキュンキュンするオーロラ。夜の素敵なパーティーが楽しみですねえ？

☆☆☆☆

「ここが行為室よ。オーロラも入るわ」

流石。行為室。ドアの下からピンクの霧がモクモクと漏れてるぜ。行為中だろう？百合ん百合んしてるでしょ？男性はここには来ない宣言されたし…

「了解。よし。入ろうか」

「ハア…ハア…。アアっ…。んっ…」

「感度、バッチリねえ？長女の咲耶が働いているドエム基地のヴェスタルに良いようにされてたのね？」

「こっちの明石みたいなものね…」

「そうねえ〜?」

「Oh〜。これはこれは…」

ヴェスタルとローンがおもてなししてたんだな? 全裸で拘束されてるのがサキさん。イツた所をお邪魔しますねえ

このドスケベ世界。間違えた。貞操逆転世界の女性達って拘束されるのがお好きかなようだな?

エロいアイマスクはテーブルの上に置いてあるのか。心の眩き、読まれちゃうね!

うん。サキさん。娘達がいるのに若あい!間違われるでしょ? フタっちゃんじやない。美爆乳! 男性をホイホイ滾らせるドスケベボディだ。パーフェクト。ありがとう

アレだ。美魔女ってやつだ。うむ。ムラムラしちゃった

魔法使えそう。拘束魔法が得意なんでしょ? 拘束されて力を奪われて、負けてずっと分からせられるコースだろうな〜…

枯れてホイイされて。「はい。次の男、男…」ってね? うん。男性が少なくなる理由になるな。納得納得。前世からサキユバスなんだな?

「ふふ。指揮官、ムラムラしちゃってますね?」

「オーロラ。3日……。3日間。健全に過ごそうと思つて溜めてたんだぞ？コレを見たらムラムラして吠えちゃうつて」

ようやく起きたか息子よ。寝坊助め…。おはようさん

「ふふつ…。もう我慢しなくて良いんですよ♡沢山吠えちやつて良いんです♡ふうつ♡」

「うぐつ…。ああ…そうだな…」

オーロラ…。ズボンの上から優しく触りながら、胸を押し付けてきて右耳に甘いエロい声で囁いて吹きかけて誘惑するなよお。痛くなつたじゃないか

「ええ…。そうよ…。ドエム基地のヴェスタルに何度も弄られたわ。感度バツチリで良かったわ…。あら？令司…様？初めてまして♪あつ…まあ！」

「指揮官。行為室に初めて来たわね。まあ、場所知らなかつたものね？あら、うふふつ…。咲耶のお母さん。サキさんの状態は最高でしょ？」

「そうだな。最高だよ。ローン。サキさん。初めまして。サキさんの長女の咲耶の夫の令司です。コレで、咲耶を美味しく頂きましたよ。美しく咲き乱れました。ご馳走様です」

「ええ。美味しく頂いたよう。ありがとうございます。お粗末様です。咲耶が幸せになつてくれて嬉しいわ。後、咲耶のお友達の久場ユリと森咲も美味しく頂いたよう

♡

「ええ。そうですよ。美味しかった。それでですね?いきなりですが、サキさん?」

「はい。何でしょうか?令司様?ハアハア…。アアっ…」

「ここは行為室。つまりヤリ部屋だ。まあ、交尾室と言っても良い」

「そうですね…。知ってます。サキは咲耶達と素敵に楽しく交尾する令司様に一目惚れしていました」

「それは嬉しい」

「おつと?一目惚れだと?美魔女が?イタタ…。大はしやぎしちゃうか…。まだ待てえい。脱ぐから〜!」

☆☆☆

「はうっ♡」

「「うふふっ」」

匂いでえ?それとエロ妻達からの熱い視線、最高。おつと。いかんいかん。サキさんの相手だったわ…。心、読んでそうだし…。おつ?もう準備出来るう〜

「ハア…ハアハア…はっはっ…。交尾したくてしたくて、積極的にこの行為室に通って

ました♡ドエム基地にもたまに行きますけど…」

「ふうく…。ほう…。?では、コレをサキさんのにキスしても良いと?」

「アンっ♡はいっ♡処女なので激しくして下さいね♡」

そこは優しく。って言う所だと思っただけど?逆転してるからこうなるんだよね。逆転してる所が変過ぎるでしょ?

「優しくって言う所?なんですか?逆転してる?どういう事ですか?」

「おっと…。心を読まないで下さいよ」

「あつ、つい。気分は大丈夫でしょうか?」

「そんな青くならなくても大丈夫ですよ?咲耶達にも沢山、読まれましたからね?」

「良かった…。アアン…。周りに…」

「では、楽しくやりましょうか?サキさん?いや。サキ」

「…ツツツ♡ンチュ…。ん、ん、ん、くっ!」

「うふふ…。夜にヌーチス料理を食べてからのパーティーがあるのにつまみ食いしちゃったわね♡」

「ローン。仕方ないわよ。2日間、健全に過ごせたのは凄いなだから♡」

「誘惑っぽいのをしたヴェスタル達が悪いのもあると思うけどね?」

ローン、オーロラ、ヴェスタルの3人は、行為を見ながら優雅にお茶会を開いている。

みんな、足を組んでいる。美脚ショーだな!

ヌーチス料理を食べ終わった後のパーティーを想像している様で、大洪水。受け入れの準備が出来ている。飲み物に何かが入っていたのでしょうか

「あつ…♡」

「???どうし…。つつつああんっ!アツアツアツ」

「ハア…ハア…。ローンっ!ローンっ!」

「幸せ感じてるわね? ローン♡おめでと♡サキさんのを横取りしたわよ?」

「フーツ♡フーツ♡ンンンツ?!ンフーツ♡」

「キスしてるから返事出来ないわね♡お熱いわね♡」

「ハア…ハア。んんっ…。ああ…。拘束されてるから令司様に会いに行けないこの状況。堪らないわあ♡」

令司の素敵な?暴走?が始まりました。トレーニング室でトレーニングするより最高のトレーニングでしょう???

「ああんっ♡お帰りなさい。サキの性癖を理解してくれて嬉しいわ♡愛してます♡ああつ♡オーロラに横取りされてイックうゝつつ!!」

ヌーチス料理の準備が整って呼びに来るまで行為に励む励む♡サキも食堂へ拘束したまま連れて行くのだった

料理を美味しく食べて令司君はご立派に。素敵なパーティーでトコトン乱れ合うのだった。パーティーはバツチリ撮影されている

令司達の身体はまぐぐたツヤツツヤのモッチモチになるのでしょうか。睨耶の反応がどうなるのかな？それと、そろそろ？子供がね？じゃないの？連絡貰った？

☆☆☆

〈深海の深海〉

「オロチちゃん。オロチちゃん」

「はい。何です？オリテスタ？もしかして、刺激が物足りなくなっちゃいました？」

「うん。物足りなくなっちゃった」

「そうですか。かなりのテスターが亡くなっているのに…。それらの色々なのを受け止めているの？」

「そうなんだけどさあゝ？足りないのゝゝ」

「何かしらの対策をしないとですね？このDM」

「……つつつ！はあうあつ！冷えっ冷えの低音ボイスをありがと！少し満たされた！超がつくと思っうよっ」

「へえ〜?そうですか?」

「そう。で、オロチちゃんのおっぱいは立派だね」

「えっ?ありがとうございます。背中に当てているのも相当なモノでは?」

「そうなの?デカイの?へえ?...あっ!オープン基地!オープン基地があつた!」

「オープン基地?エロく素敵な攻撃をしてくれる所ですか?それが?」

「いや?ここ最近さあ、気持ち悪い優しい攻撃だからね?過激に攻めて欲しいなあ...?と...。攻撃してくれる回数も極端に減ってる気がするし...」

「最近、涙目で叫びながら口から大量に資源をブチ撒けてたのはそれでしたか」

「うん。だいぶスツキリしたね」

「物足りない理由はそれですよ。パンフレット出さなくて良かったじゃないですか。探すの大変だったんですよ?」

「えっ?そうなの?ゴメンね?これが恋ってヤツ?きやはっ♡」

「.....」

「??ねえ?ねえ?オロチちゃん?何処かに行くの?」

「パンフレットに場所が書いてあるのでオープン基地へ行こうかと。エロく素敵な攻撃を受け止めたので」

「つつっ?!オロチちゃんが外出する気になった!ありがと!オープン基地のみんな!さ

さ、準備して行こ行こ！」

「はい。楽しみですね」

令司いゝゝ!!!大変だぞゝゝ!!!セイレーンの頂点?と2番目?つばいオリテスタとオロチちゃんがオーブン基地へ向かうぞゝゝつ!

こいつらが移動した途端に深海の深海付近に生息している巨大?エロ?生物達が死にかけてるぞゝゝ!死にかけてるから励んでるんだぜゝゝ?

エロ妻達の攻撃は甘美だったそうだ。これは令司達が責任を持ってお相手しなさいよねっ!

本気出されたら逆転世界が滅ぶと思うよっ!ファイト!

元帥会議い～～？

咲耶のお母さん。サキがオープン基地に出入りしていた事が判明。一般女性達もオープン基地に出入りしていた

風○な場所なのでしょう。咲耶の基地と同じ役目？がそこにはあった。行為室に到着した令司。サキはドストライクな容姿をしていた

食べちゃいたい位に。サキも令司に一目惚れ。食べられちゃいたい。と、お互いがWinWinだったという事でサクサク♡と、行為室で行為をドロっドロにした。おめでたになったよ！

行為室がそれなりにある事も分かった。令司の行動範囲が狭めだから仕方ないんだよな。行為室に大人な道具がいっぱい。だが、汚い風船は存在していなかった。数、増やしたいからねえ

令司が頑張つて健全に過ごす生活は終わったのだ。みんなもそれなりに我慢してたんだって。それで凄く濃いのを出したそうな？我慢は良くない事を体感したね

そして晩ご飯に巨大古代魚？の精○剤？のヌーチス料理を食べて息子を元気にし、ERKANISEN達とサキと大いに盛り上がりまくる。乱乱したんだ

令司達が盛り上がりまくっている裏では、セイレーンのボス?と副ボス?のオロチとオリテスタがオープン基地を目指して移動している。令司達は、素晴らしい危機が迫って?きている事がいつ分かるのでしょうか?

令司はボス級の2人と会ったらどんな行動を取るのでしょうか?愛し合うのでしょうか?それとも殺し合うのでしょうか?

☆☆☆

令司達が素晴らしいパーティーを開いて盛り上がりまくっている頃。どこかの海域でドンドンパチパチと戦闘が繰り広げられていた。んだけど…

「「「「そ…そんな…」」」」

「「「「ふ〜〜っ!ふ〜〜っ!ふ〜〜っ!アツ♡そこ…はっ♡」」」」

「うっ…。あうっ…。ひゃん!」

「…ふ〜〜ん?感度は良いっばいけど開発されてないね…。…処女なのね…。大丈夫。傷付けないわ。もう終わりにするから」

あつさりと勝負がついた。セイレーンの勝ち。セイレーンのエロ攻撃をみんな、喰らっているのだった。両目がトロンとしている。涎もいっぱい垂らしている。轟沈して

いないだけ優しい？のか？

「はあ…はあ…はあ…。つぐ♡」

「気持ち良くなれたのね？良かったね？んれろん…」

（はあ…。オープン基地じゃなかった…。残念…。見ただけで脚、プルプルさせてたからなく。やっぱり醜いんだろうなく。髪長いから？ボサボサじゃないんだけど…？）

「やつほくく♡オロチちゃん、オロチちゃん♡傷付けないで気持ち良くして無力化♡凄
いよくく♡」

「背後から両おっぱい揉みしだきながら言う事？オリテスタは？気持ち良くなれたの
？」

「なれない！つままない！みんな攻撃してくれないんだもん！脚、プルプルさせちゃっ
てさくく？コツチから攻撃したらご覧の通りだもん！」

「へえ？みんな、全裸で綺麗に横一列に並んで両手、両足を大の字で固定されてるのね？
オリテスタの艤装の粘液でヌルヌルじゃない…。：凄く臭いね？」

「オープン基地用に改造したからね？凄いい光景だよね♡鼻つままなくて良いのにく
く。良い匂いだよ？」

どこかの基地のみんながエロイイベントに遭った様だ。改造したのは良いが、オープン

基地のみんなは捕まりませんよ？

司令が拘束中のみんなを見たらごくと、唾を呑み込むでしょう。百合尊い！とか叫びそう

分身体？と感覚が共有されてるみたいだからね？オリテスタがしつかりサンドバツクになるんです。レイシニウムを充分に補給したみんなはギラギラするからさ♡

「拘束したままオープン基地へ向かいますか。…いつまで揉んでるんです？」
（気持ち良くなれないなあ…。揉み加減色々してくれてるけど…）

観賞と話をしている間ずっと揉んでいたオリテスタ。オロチの表情は清々しい程に無表情。オープン基地のニューカッスルと良い勝負が出来そうだな

「おっと…。ごめんごめん。揉み心地最高だったからつい…。むう…。濡れてない。不感症め…。まあ、いいや。オープン基地へゴーゴー！」

司令は不感症のオロチを攻略出来るのか？それとも司令が攻略されちゃうのか？オロチは、なんか黒いオーラを纏ってるね？

「では…、オープン基地へ案内お願いしますね？」

「は、はいいゝ!!!案内します！」

「あんっ♡」×12

「あゝゝ。早くオープン基地に到着したゝゝい！」

「あつ、そうそう。応援を要請したようだけど、応援組もこうなる所を見て下さいね？」

「あははっ♡なる所、見とけ見とけ♡」

オープン基地への案内艦をゲットしたので到着するのが早くなるか？

しばらく移動していると応援組が到着する。必死に攻撃をするが、2人はつまらない表情をして鮮やかに避けてみんなを宣言通りに拘束したのだった

応援組もじんわりと快感を与えられるのだった。必死に抵抗しても無駄なのだ

いつオープン基地へ到着するのかな？楽しみですね？ルンルンで移動していると

「あぐっ♡」

「えっ？！谷間を強調して何、変な声を出してんの？」

「キタキタキタキタ♡ア~~~~ツツツ♡濡れるつつ♡おうっ♡」

「あ~~~~。オープン基地のみんな？から攻撃されてるんですね？幸せで良いな……。クソが……。あつ？ううん。何も言っていないですよ~~~~？チツ……」

（何、気持ち良くなってるのよ！オロチもちゃんと気持ち良くなりたいわよ！良い男にドチャクソに攻め抜かれたいわよ！オープン基地の指揮官が男性そうだし。それっばいしー！）

「……………」

（背中がずつと寒いくっつ!!! オープン基地まで5日間も視線を浴びなきやいけないのく!!! みんな喘ぎ過ぎてどうにかなっちゃいそう…。タスケテ…。シキカン）

案内、お疲れ様でっす！

☆☆☆

オロチとオリテスタ達がオープン基地へ向かって来ている頃の令司達は、素敵な素敵なパーティーを終えて眠っていたり、復活してセイレーン退治をしていたりしたのだった。仕事熱心？ですわね？

「ふう〜。素晴らしく気持ち良くなれたわ〜。身体バキバキだ…」

サキ達と行為室で行為してからヌーチス料理を食べに食堂へ行ったら、みんなエチチなパーティードレスを着ていたんだ！すっかり観賞したぜ！

ノー○ラ・ノー○ンだったから眼福だったんだぜ！ありがと！分かってるじゃんか！点火しちやったからみんなを押し倒して食べまくっちゃったぜ♡抵抗すれば勝ち目は無いのにな？しないのよ…

ヌーチスってさ？超が幾つもつく高級な精が付く魚じゃんか！元気有り余り過ぎて2週間ぶつ通しで行為しちやった♡みんな、エロいゾンビみたいになつてたなあ♡

素晴らしい！令司は立派な種…、ゲフンゲフン。カッコ良いオスなんだね！お風呂は

した覚えはないけど楽が出来て良かったね？

「勿論よ♡カッチカチで拗れまくってるからチヨロいわよ♡サキのパパさん♡」

まじか？7人の美女な元帥達のストリップを観れると。カッチカチなんだ？まあ、みんな秘書KANがアイドル方面達だったからなく。KANーSEN達の目ハイライト無かつたけどさ？これ、サキ情報

「そっか…。おうっ…」

うんうん。サキが念願の男の子を持つ事が出来たもんね？5人もさ？おめでと！咲耶も3人の男の子を持ったって連絡来てたな

サキとの行為、バレバレだったけどさ。咲耶、泣いて喜んでたな。サキの締めり良くなってたよな♡

咲耶のお友達のおとこは男の子を1人と女の子2人って言ってたつけ。約束取り付けられちゃった♡あんな最高のサキユバスコスプレ姿をされたらね♡イキますとも！

でさ？でさ？子供達さ？成長スピード過ぎるんですけど？もう、小学生位になつてただけど…。ドエム基地のKANーSEN達は面倒見が良かったなあ。整備員達もね？

「うふふふふ♡スケベな所、好きよ♡」

「ああ…。エロ過ぎるローンを愛してるよ♡」

「ンチユ♡んっ♡んっ♡」

令司の令司君が素敵に吠えまくってパーティーが終了した後、女性元帥達とのエロイベントの開催を知らされた

ローンと愛し合ったドロドロのエチチボディを見てたら、ローンがハグをしてきて濃厚なキスを始める。マジでサキュバスとインキュバスですなく!!!?

「ふふふ♡お熱いわね♡♡サキも混ぜて♡」

(男の子を持って嬉しいわ♡会社のみんなに動画を見せてたらフタちゃん達が祝福の砲撃してくれたもの♡優しい部下達を持って嬉しい♡刺激されてア♡ルプレイおっ始めちゃったけど♡令司様、食い入る様に見てたわね♡♡)

起きてきたサキ。のけ者にしないでしっかり濃厚なキスをしてイかせたのだった。子供達？別の部屋で饅頭達やゆーちゃんと遊んでいる。ゆーちゃんは令司のを中に残したまま遊ぶのだった。だいたいイかれてる

「んっ…。キスご馳走様。で？元帥会議ってどこでやるの？」

「指揮艦に乗って海上でやるのよ。そろそろ現れる頃ね？」

指揮官？に乗って？ローンにぶっ刺したまんま移動すんのね？気持ち良いな…。溶けちゃう。いや…。船の方だよな。指揮官が乗る為の船かだろう…。そんなの無かつ

たような？アレえく???

セイレーンの脅威がありそうだけど、みんなの戦闘力は凄いから安心だよな？

「そうか…。ローン。海上まで案内頼むわ…」

「サキに任せた方が良いわね。抜くわ…。ふう…。サラトガ、ボルチモア、ブレマートンに連絡入れとくわね」

「任されたわ。ふふ。楽しく報道が出来るわ。今回は盛り上がるわく♡（7人全員はどんな声をあげるのかしら♡）」

「あつ、はい。よろしく」

うひょくく!!! やっぱやわらけくく!!! カップ数を聞いたら咲耶より上だったよ。咲耶、遺伝してんだな…。妹達も期待しちゃうぞ？

うん。乳首、クリクリすんの好きですねくく!!! 逆転してるからそうなんだろうけどさあくく。慣れないわ

「しばらくこう、密着させてね？あなた♡」

「もちろんだとも！サキ」

「ああん♡もつと醜いおっぱいを揉んで♡」

令司は出発の準備が完了してるからサラトガ、ボルチモア、ブレマートンが迎えに来るまでサキとお互いの身体を触りあつて楽しんでた。3人の周りに♡マークが飛び

散っているぞ

醜くないという事をエロいアイマスクを外して分からせるのだった。ずっと顔が赤いままのサキなのだった

☆☆☆

「はいは～～い！サラトガが指揮艦へ案内するよ～～！サキさんも一緒だつて話だったね～～。よろしく～～」

「2人とも熱い世界に入ってるから聞いてないわよ…。ちよつと～～？ボルチモア達も居る事を忘れないでよ～～？」

サキとイチヤイチヤ現場へ到着したサラトガ、ボルチモア、ブレマートン。サラトガはテンションが高め

ここのサラトガは美爆乳をお持ちだ。ロリ爆乳である。他の基地のサラトガ達はこんな立派に育つてはいない。クイーン・エリザベスと同じなのだ。サラトガの姉のレキシントンも立派な美爆乳を持っている

「ぶはっ…ああ…。たの…むっ!!？」

ブレマートンっ!!なんて素敵な格好をしてるんだ！それと汗をいっばいかいてるっ

！頂きます！

「あはは…。きやつ!?」

令司は汗をたっぷりかいているブレマートンへダイブしてセクハラ：もといコミュニケーションをとった。サラトガとボルチモアも汗をかいていたんですけどね？何か違ったのでしょうか。グツと来た様だ

ブレマートンは驚いたが直ぐにハグをもつとして！みたいになつて抱き締め返した。

あの？イチャイチャするのは良いですけど指揮艦へ早く行きませんか？女性元帥達が待ってるでしょ？

「おつ？ブレ。良かったじゃん。そのままにしとけよ？」

「あくくあ。サラトガ、賭けに負けちゃったくく♡んつ…」

勝負をしていたようだ。サラトガはボルチモアにお尻を揉まれる。溜まってんのかな？パーティーで沢山愛し合ったのに？成分補給出来たのに。2人ともキラキラ。ブレマートンもキラキラ

「負けちゃったな？まあ、ブレマートンに全て負けてるけど…」

「う…ひゃうつ?!指揮官、汗、舐め過ぎ！臭…いかアっ♡」

「良いもくくんだ！ここはザコじゃないもん。ボルチモアはザコだよね」

サラトガはぶるると揺らしてから下の口を指差してボルチモアに吠える

「んなっ!? そ、そうだよ…。でもパーチャミよりザコくない!」

「そうだったね。アレよりマシだったね。でさ? ボルチモアってばお腹をメチャメチャ触られてたね」

パーチャミはアレ呼ばわりされているようだ。アイドルがそんな事を言っちゃいけないと思うんだけどなあ

「う、うん…。ゾクゾクしちゃった♡あ、こら…。ニヤニヤすんなよ」

「みんな熱いわね。写真、数枚撮っても良いかしら?」

「んっ? どうぞ♪熱々な指揮官達をいっぱい撮ってね?」

「ありがと♪…うん♪良い写真が撮れたわ」

「それじゃ、熱々なお二人さんを縄で縛って指揮艦の所へ案内しま〜す! 失礼しますね〜! ほいっ」

「んぐっ!? (入れちゃった…。入れられちゃった♡ああ♡・ああ♡)」

サラトガが縄で縛った時、キスをしていた令司とブレマートン。で、勢いあまって行為をしてみました。令司君はさ? ぶっ通してシタというのに元気になったんだな? 回復力、凄くないかい?

「サラトガ達と久々に会える〜! レベルアップしてるかな〜?」

「よつと…。してないと思うな〜? いつも通りみんなの両目がハイライトオフになっ

てるだけだよ。あつ、やばつ。時間きてんじやん。急がないと！」

「うわつ。本当だ…。走ろつか♡失礼しますねっ」

「良い写真が撮れてるわ♪最高♪きやつ。んぐっ?!」

（えっ?ちよっ?!猿轡されたんだけど?!いつの間にか首にカメラをかけてるし…。きやつ!速い速い!!!）

動けない2人をひよいっとお姫様抱っこしたボルチモア。サラトガはずっと写真を撮っているサキをお姫様抱っこ。時間がギリギリのようで猛スピードで走るのであった

指揮艦に無事到着するのでしょうか?男性だから遅れても許される?世界ではあるけどさ…?

仲良くなれるエロイベントを逃しちや、元帥達は数の少ない他の男性に取られちゃうんじゃないかい?拗れてるっばいから大丈夫?だとは思っけどさ…

☆☆☆

指揮艦が現れる海上で、7人の拗れ女性元帥と、護衛艦やアイドル艦が数名が待つていた。海面がゴゴゴゴツツ!!となる

「あつ…。指揮艦が現れましたよ!○○元帥!」

「そうね…。デカイわね…。とと…。揺れが凄いわ…。ヨシつ。新作の水着を複数用意したし淑女としてアピールしなくちゃね！」

「あ～～！サラトガ様の神々しい水着姿が見れる！ありがたや～～！ありがたや～～！」

「ソウダネ…。アハハハ…。（これ、紐じやん…。刺つてたけどさ…。こんなのが良いんだ？）」

黒い巨大な指揮艦が現れてみんながギャ～ギャ～ワ～ワ～している。盛り上がってるね？

「……遅いのお～～。まだ、イチヤイチヤしてるのかな？」

「「そうでしょ？間に合うでしょ？サラトガ、ボルチモア、ブレマートンだし」」

オープン基地の長門が腕組みをして司令達を待っている。護衛艦？として来ているようだ。ローンに選ばれた3名は脚が速いんだね？島風？ちよつと何言ってるのからかい

戦艦を護衛艦に使うのはどうなのだろうか？江風とクリーブランドも護衛艦として来ている。3人とも素敵なパーティーに参加していた。そして中に残したままだ

「そっか…。んぶつ?!」

「サプラ～～イズ！ねね！長門、長門。指揮艦の底にこんなのが付いてたよ～？黒…。」

…長門? どうしたの? うぎや?!

アルバコアが長門をずぶ濡れにするサプライズをした。長門は海水を思いつきり飲んでしまった。スケスケしちやったぞ? で、アルバコア? 戦艦にサプライズしちやダメでしょ!!

「江風?…アルバコアってさ? 大鳳専門じゃなかったつけ? んつとと…。??? 何だろ? この黒い箱は?」

クリーブランドが両手で黒い箱をキャッチ。太陽に照らして表裏を見るのだった

「うん? そうだけど? ん、なんだろう? 貸して。ん? チクタクチクタクしてるね? 時計かな? あれ?…開け口が分からないな…」

江風に渡して箱に右耳をつける。チクタクするのを聞いて開けようとするが開け口が無い。艤装でグッバイしちやえば? と思うだろうが、こういった物に使用出来ない仕様だ

「まあ、いつか…。指揮官に見せれば分かるでしょ? はい…」

「返されても…。とりあえず明石が作った亜空間にポイしとこつと…。渡されたこのスイッチを押してと…。うわ…。穴が出来たよ…。すご…。で、そいやつ。これでヨシ…」

（うゝゝん。亜空間って何処に繋がってるんだろう? 別の世界かな? 考えても無駄だね

…)

クリーブランドの行動は正しいぞ。その黒い箱は爆弾だし♡威力高めだぞ♡明石、亜空間を作れたんだ？グツジョブ！爆弾は亜空間内で爆発したぜ！

「で、アルバコアはこうして誰にでもサプライズするよ？」

サプライズ好きなアルバコアは護衛艦をする前に大鳳にサプライズしていてアルバコアが気絶した。潜水艦のみんなが慣れた手付き回収して修理剤をぶっ掛けてここに来ていた。アルバコアも令司と行為をシたぞ。で、残っているぞ

「へえ？……んっ？サプライズされた事ないんだけど？」

「重桜だけだった…。だいたい、ああやって長門は愛情たっぷりのアイアンクローをするの」

「ふくん？ 娯楽つてとこかな？ …おっ？ この音は…。キタっ」

「来たね…。間に合ったな…」

アルバコアへ愛情たっぷりのアイアンクローをかましてグツタリしたアルバコアを見るクリーブランドと江風。クリーブランドが音を聞き取った。江風も聞き取った。2人は音がする方へ振り向く。KANSEN達は耳が良い

「ふっ。お待たせ。時間ギリギリ。サラトガ、良い汗かいた」

間に合ったようだ。5人目が乗り込む所だったぞ

「んむ、っ! (寒い寒い寒い寒い寒い…。っ、ぎゃくっ?!アツツくく!!!)」

「お待たせ。出来上がってるサキ、指揮官、ブレマートンを指揮艦の中に連れてくね?」
「よろしく。サラトガ、ボルチモア。護衛は任せて。…元帥達を喰うのにブレマートンとシちやつたんだ?サキさんに『アツいぞ☆』っていうポーシオンをぶつ掛けたわね…。原液のままだ」

(ブレ、涙目でトロンとしてる…。良いなあ…)

「こんぐらい、サキさんは平気よ。ドエム基地のヴェスタルに気に入られてたからさ。ね?」

「そっか。なら大丈夫だね」

「んっ?! (ええ…。まあ…。平気…。よ?)」

「大丈夫よ。元帥達のストリップ見てたら元気になるから♪あと、サラトガが応援するし♪」

「そうだね…」

「うん。それと一応、指揮官が元気になる薬を沢山用意したから♪成分は七色黄金マムシでしょ?ピリテングダケでしょ?ヌーチスの肝臓エキスが入ってるんだってさ♪」

ボルチモアの谷間から精♡剤を取り出して笑顔で振りながら成分を喋る。見た目が毒ポーシオンなんだよな。その成分、凄くヤバそうだぞ?」

「うわ～～…。ボルチモア、それが何なのか理解してないでしょ?」

「?????」

お姫様抱っこされて来た令司は入れたまま寝ている。図太いなあ～～。いや、これは気絶してるのかな? 猛スピードで来たから仕方ないのかもしれないが。令司は全裸だ。出すもんをブレマートンに出したようだ

成分を聞いて引き攣った顔をする江風。そしてボボボつと真つ赤になりモゾモゾする。色々と思いつ出したのだろう

「うわつ…。拗れ元帥達をやり殺す気マンマンじゃん♡サキさん、良い動画が撮れるよ♪良かったじゃん♡」

クリーブランドは両目を♡マークにしてジャンプして喜んでいる。頭を壊しちゃった?

「んっ?!?!」

(ウソっ?! 超危険生物のエキスしか使っていないじゃないっ?! 手に入れるの難しいのに!? で、毒性強いじゃない! それを使って元帥達を廃人にする気なのっ?! 羨ましいっ! 是非飲んでサキを沢山使って♡)

ヤバかったようだ。サキ? あなたも色々壊れちゃったのね? 聞いてて下の口がキュンキュンしてる気がするぞ? モジモジしてるし

「サラトガ！ボルチモア！最後の元帥達が乗り込んだのじゃ！サツサと乗れ！」

「ふうふう。長門のアイアンクロ―最高だった♪これだからサプライズは止められないよ♡」

くねくねしながら言う事です？

「はあ〜い♡」

「逝つてらっしや〜い♪」

長門とアルバコアが復帰したようだ。最後の元帥達が乗った事を知らせる。そして更に？援軍？が到着した

「間に合った〜♪」

「来たか…。間に合つて良かったのじゃ。戦闘お疲れ様じゃ」

「お疲れ様。吾妻と榎野…。乗る感じ？」

「ありがと。そうよ。乗るわよ？三笠の指示だもの」

「ありがと。榎野は明石からですけどね。ボルチモアに持たせた精♡剤を使う時が来た時用の穴ですよ♡素晴らしく気持ち良いとお褒めいただいたし♡では、逝つてきますね♡」

「アツ、ハイ」

令司が指揮艦へ会場入りを果たしました。令司の令司君を酷使？するエロイベント

が始まるぞ！身体、壊さないでね？行つてきますの字が違いそうだから令司は生還するんだらうけどさ？

吾妻と樫野は後ろに手を組んでルンルンな気分分で指揮艦に乗った。いつ襲われても良い様に大洪水にしていた。マンマンですなぁ？

女性元帥達やアイドル艦達とちゃんと仲良くなつてギシギシアンアンしような！令司の顔や令司君の事はみんな知つてるからさ？イケるイケる！

ボルチモアが理解していいない毒ポーシオンを飲む令司。吾妻と樫野の活躍により一人の元帥を廃人に、サキを廃人手前にする最小限の犠牲にする未来が待っているんだ♡
 アイドル艦に認定されているのは、サラトガ、伊吹、那珂、イントレピット、アクイラ、インディアナポリスぐらいである。水着着てストリップするぞ！

☆☆☆

オーブン基地へ向かうオロチ達。とある海域に入る。時系列は令司達が指揮艦に乗つて元帥会議という名の交流会を楽しんでシている所だ

「……………さつきからドコンボコンと爆発音がしてるんだけど？水柱、凄い数ね…」

「あつ、はい。ここは爆発物モリモリ海域ですからね。ずっと爆発してますよ？」

(ふえ〜〜…。オロチがシールド展開してるよ〜。で、なんか守られてるよ〜)
 海域名が変ですね？爆発して水柱があちこちに出来てるよ。同時だったり時間が少しズレてたり。色々と凄い事になってる

水柱に少し当たっただけで大破しちゃいそうな威力だ。そんなのがずっと爆発するってどんだけモリモリに埋まってるんだYO！

「ふ〜〜ん？近道…なんだよね？」

「そうです…」

(う〜〜！黒いオーラがまた濃くなってる気がする。頭、ポーつとしちやう…)

水柱を避けて案内をする。色々な近道を使つて頑張つてオーブン基地へ連れてくんだ！5日掛かる所を3日位まで短縮しろ！

「あ〜〜っ♡気持ち良い〜〜！オーブン基地のみんな、ありがと〜〜！最高♡うはっ♡水柱に当たった。気持ち良い〜〜♡」

「えっ？」

「?!?!」

「拘束されてるトロトロ顔を晒している20名以上がオリテスタを見てびっくりしてる。だって、大破しちゃうかもな水柱に艦装が当たったのに小破以下なんだから。頑丈すぎひん？どうなってるのさ？再生魔法でも使えるの？」

オリテスタの燃料補給？してる最中よ？肌がガサガサしてたのがモチモチのツヤツヤになってるんだよね。オープン基地の攻撃が燃料補給とかになってるんだな？

案内しているKAN—SENの補給？もう済んでるよ。拘束されてるみんなの艀装から貰ってね？

指揮艦に付いていた爆弾はこの海域のかもしれないね？付いた状態でよく爆発しなかつたな？

もしかしたら途中で令司達とばつたり遭遇するイベントがあるかも？令司？イベント同時攻略は楽に出来るよなあ？それに護衛艦がいるから何とかなるでしょ？

サツサと令司達と出会って！

☆☆☆

元帥会議に参加している頃のドエム基地の執務室

「この入力で…最後お…！終わ…！」

「咲耶指揮官、お疲れ様です。飲み物どうぞ」

「ありがと、高雄。ん…！美味しい…！ハア…。パソコン導入やつた…！だよ…！んもう！早い！ありがと！」

「そうですね。想像以上に早く終わりましたからね。令司様のお陰ですね？」

「うんうん。流石だよ♡ダーリンは♡お代わりお願い」

「流石と言えば咲耶のお母さんのサキさんと令司様がイチャイチャ行為をシて男の子を産んだんですよね？」

「んっ？愛宕？気付かなくてごめんね？そうだよ？素敵なパーティーに参加したから数、負けちゃった」

「十分おめでたですけどね？泣いて祝福してたね？」

「高雄、ハグしてもらって高揚しました♪加賀の言葉を借りると上々ね♪」

「あつ、うん…。んっ。美味しい」

「愛宕は愛宕ちゃんだけでしたもの。もうどこかでゴールインを果たしてるけどね？」

「お友達の咲、ユリと一緒にサキユバスのコスプレを見せて子供、予約したじゃない」

「愛宕の愛宕ちゃん。おめでと。ホーネット。そうだよ？あつちには本物のサキユバス達がいるんだけどさ？その本物達からお墨付き貰っちゃった♡イエー！」

「そうだったね？後はフタ基地の妹達だね？」

「愛宕、笑顔で何て事を…」

「んっ！家族全員が竿に？最高ね！ダーリン、大丈夫かな？フタ基地って強いんだけど…」

「そうみたいですネ？大丈夫でしょ？で、みんなに幕はちゃんとするよ？この明石とヴェスタルが全員を診察しましたし…」

「人間もKAN—SENもだよネ？報告されたから知ってるわよ。フタ基地へ出張しなくちゃか〜」

「もうずっと書類仕事は無いので休暇を使って行きましょう。たんまり溜まっていますからネ？」

「そうね。パソコンに疎いから勉強会開いてあげないと…。最悪はご褒美（意味深）で釣ってね」

「ご褒美（意味深）ですか…。簡単に釣れますね♪こっちのベルファストを連れて行きましょうよ」

「んっ？行くメンバーはジャンケン大会で決めるわ。行く数は20名よ。整備員達も含めてね？それ以外はこの基地の維持等をよろしくね？」

「了解致しました。直ぐにジャンケン大会を開催しますね♪放送室へ行って来ます」

「うん。あつ！」

「はい」

「エロ巨大生物達がなんかいきなり狂い出したから異常発生しちゃってるって報告が来

てるの。残ったみんな考えて駆除して。お願いね？」

「はっ!!!」

令司のお陰で全基地にパソコンが導入されたようだ。凄いで。令司。たんまり溜まっていた休暇を使うようだ

ジャンケン大会って。KANSEN達は身体能力が凄すぎんだから引き分けばかりになりそうだけど？整備員達は簡単に全滅するよ…。決まるのかな？

エロ巨大生物の話が出た途端にみんなの両目がハイライトオフに。3名は恨みでもありそうだ。他のみんなより狩りまくってたのかもね？みんな、勢い良く走っていった

「ふう〜。元帥会議の時間だね？新作水着にストリップ、ヌルヌル相撲とかを見ないと…。今回からダーリンが参加するし。…ごっつ!」

「ゲホゲホゲホツツツ…。情熱的なキスしてるっ。1人、廃人にされてる…。えっ？凄いやん？えっ？廃人寸前がお母さん?! 樫野と吾妻、ありがとう!」

パソコンをパソコン置き場って書いてある所へ置いて、テレビを付けて元帥会議を見てたら鼻と口から吹いちゃったよ…。ボルチモアの持っていた精♡剤を使用したようだ。人間を辞めちゃったね？ギラギラして見ている。息荒いぜ!

「はい。こちらドエム基地、咲耶でございます。あ〜。なんだ。咲希か…。どうした

の? うん。 見てるよ? 元帥会議。 そう。 お母さんが廃人寸前。 凄いやね? 興味出たの? そつか。 あげちやえ♪んんん? 怒んないよ。 お姉ちゃんに見せてね?」

あらら? 咲希が簡単に堕ちちゃったか? ギラギラしたまま妹と会話してるよ。 このエロ姉さんは…

「やつほくく? 早紀。 んつ? 息荒いね? 早紀チンで誰かをパコパコしたくなつたの? ダーリンとシたい? まあまあ♪えつ? KANSEN達も息荒いの? ふくくん?」

「戦艦の加賀は気絶して保健室か。 オープン基地への移動が決まつてるんだよね? 大丈夫じゃないじゃ…。 何とかなる? そうなんだ?」

「早紀はオープン基地へ行く? 移動するんだ? 咲希の許可が降りたの。 へえ? 出世したのね? おめでと。 おつ? 廃人になりたい? 咲希にじゃなくてダーリンに言つてよね?」
「あつ、そうそう。 休暇を取ったからフタ基地へお邪魔するわ。 パソコンを教えに行くわ。 KANSEN? 20名行くわよ? どう致しまして。 ええ? どうしようかな?」
「ちよつとくく? 泣かなくて良くない? もう電話切るわね? またね?」

「楽しくなりそうね♪フタ基地へ行く準備しなくちゃねくく♪帰る期限を言つてないけど、かなり使えそう♪ダーリン、許してくれるかな? 電話して聞いてみよつと♪」
令司が来てから表情が明るくなつたな? いやくく、妹達が令司の令司君を受け入れる準備が出来たようだ。 良かったな?

ついでに沢山、掘られるのが確定？したようだぜ？ファイト！令司も受け入れ体勢は整ってるんだろ？素敵なパーティーを始めよう！

マジかよ…

素敵な素敵な乱乱パーティーを2週間ぶつ通して楽しんで令司。終わって身体をバキバキ鳴らしている所にローンが来る。いっつもバキバキボキボキしてんね？

ローンから元帥会議と言うワードを聞く。これは会議と言う名のストリップショーが見れるエロイベントだった。言わば？交流会の様な奴である。元帥達の仕事ってこういうのなのかもしれない？

やれる許可がローンから出ちゃった。簡単に仲良くなれて墮とせると言われるのだった。その通りなんですよね…。令司は女性元帥達がどんな方達なのか見たかったので行く事に

令司とブレマートンは拘束されたまま愛し合っている所にボルチモアがお姫様抱っこ。サキも猿轡で舌を噛まない様にされてサラトガにお姫様抱っこをされてスピードを出しまくりに指揮艦を目指すのだった

寒くなり過ぎて気絶してしまった全裸の令司。扱いざつつ！ブレマートンは意識はあったがトロトロに蕩かされて喋れなかった。ブレマートンの扱いも雑だね？地位が低いのかな？

長門、江風、クリーブランド、アルバコアが指揮艦の護衛艦として仕事をする。早速、アルバコアは指揮艦の底に張り付いていた黒い箱（爆弾）を見事に見つける。グツジョブ

女性元帥達のKANISEN達も護衛艦として来ていた。潜水艦も居たがオーブン基地のアルバコアしか爆弾の存在に気付かなかった。ファインプレーだ！

みんな、長門の愛情たつぶりのアイアンクローをポカン顔で見届ける。何してんだよ？な顔をしているのもいたのだった

クリーブランドは明石作成の亜空間へ爆弾をポイ捨てして爆発処理をさせるファインプレーをした。別の世界線には被害が無いので安心安心

逆転世界と別の世界との狭間って感じ？明石の技術力ってスゲえ！ってなる

後日、爆弾の事を護衛をしていたみんなで令司に報告。すると、令司が素敵に襲い見事に宿す。そんな事をまだ知らないのだった。令司はしっかりと良い仕事をしますね！

で？廃人になっちゃった元帥をどうするのでしょうか？その基地に所属しているKANISEN達はどうなるのでしょうか？

廃人寸前のまで逝ったサキは？それと、令司の身体は大丈夫なのか？色々問題？がありますねえ？

エロイベントが起こり過ぎでは？これからエロイベントは起こりそうですね？令司は体調管理をして逝きましようね？オロチとオリテスタという最大の問題？が残ってるんですから

☆☆☆

「う……。あつ……。ぐふう……」

（こいつら……。なん……。なの……。よ……）

全裸でうつ伏せで下の口から滝を作っているブレマートン。うつすら目でボーと見ている光景とは？

「はあく〜い。ヨシヨシ。お寝んねしてね〜？ユリネ？うんうん♪お休み〜♪」

藤峰ユリネ。令司が廃人にしちやった金髪ポニーテール。もちろん、エロいアイマスクをしている。榎野に頭をナデナデされている。このユリネのアイドル艦、アクイラの初めても貰っている

ユリネを含めて元帥全員とアイドル艦達全員の初めてをペロリ。そんな光景を咲耶達はしつかりと見届けたんだな？

「榎野、お疲れ様。はい。飲み物よ」

ナデナデが終わった頃に飲み物を投げて渡す

「吾妻、ありがとう。……ふう。染みる。……んっ？」

「うっ……。Z z z z z ……」

(ブレ…達より撃…たれて…いた…のにピン…ピンし…す…ぎ…。サキユ…か…よ…。Z z z z z ……)

沢山撃ち込まれた榎野と吾妻が、ピンピンしていてみんなの介護をして回っていたのを見ていたようだ。サキユバスじゃないのにサキユバス並に旺盛のようだ。凄いや。何かに気付いた

サラトガとボルチモア?もう爆睡していた。ブレマートンもようやくお寝んねした。お休みなさい

「あらあら?」

「うごごっ?!くうくう。バキバキ鳴ってる。毎度毎度、凄いわ。…うわお…」

令司がグイグイと伸びをしてバキバキボキボキと身体を鳴らす。いつもの奴だ。辺りを見渡す。それはそれは大が幾つも付いちやう惨事が広がっていた

凄く臭うな!これ全部、出したんだよな?量、異常ですやん…。マジかよ?人外かよ…。精♡剤の効果だよな?スゲえな?!

超危険生物のエキスで作製した精♡剤の効果がバツチリと出ていたね?精♡剤の種

類は豊富の様だ。数が少ない男性達も愛用してるかもしれないな？

「…復活したのね？流石ね♪ふふっ♪吾妻、凄く沢山イケて良かったわ♪ありがと」
「ええ、そうね…。沢山イケたわね？ありがと」

そう言つて全裸で谷間に令司の両腕を組んで鎮める

「えっ？お、おう。こっちこそありがと」

うん。やわらけえくく。みんなの介護してたんだね？ありがと

「ふふ♡どういたしまして♡チュ♡」

うんうん♪最高なほっぺキスだぜ！

右頬が吾妻、左頬が榎野である。そして本命の口に2人ともちゃんとキスをした

うくくん…。『知らない間に身体が？インキュバスになつていた件について』つて小説が作れそう。…………誰か作つて？読むから。…売れるのかな？…んっ？

ユリネを見た令司はアレえ？と感じて首を傾げる

「ゴ馳走様♪どうしたの？」

「お粗末様。榎野。いや、ユリネになんか立派なツノ、綺麗な羽根、しゃぶり尽くしたい尻尾があるから。綺麗な淫紋まであるし…。サキュバスのコスプレ似合つてんなくく？つて思つてね？」

淫紋を光らせるつてさ？技術、発展してんねくく？本物じゃん？…おっ？羽根をパタ

パタしてる。寝てるのに器用だね？いや〜。幸せな顔をしてんな〜？おつ？ピクウ！つてなった。イッたか…。うむ。良い匂いするなあ〜！

「コスプレじゃなくて本物のサキュバスよ？」

「……はい？」

吾妻？冗談は言わないじゃない？真面目な顔でなんつ〜事…。えつと？本物お？嘘ん？

「そうね…。バッチリとサキュバス化してるわ。おっぱいのサイズも大きくなってる♪お尻も」

「えっ？そ、そうなの？」

榎野まで?!マジかよ…

そういえば、パーティー中にみんなして、「廃人になれておめでとう♡サキは残念ね♪」をしてユリネに沢山、なんかを飲ませてたな？サキの顔、悔しがってたな〜？そんなんが関係してたのか？

うん。ユリネのお胸様、超ドストライクに性長してるな…。揉みくちやにして愛したいわ。元帥達の中で一番素晴らしいのを持ってたのにね？

「そうよ？廃人にしちゃってサキュバスに生まれ変わったの♪本物よ♪本物♪これからずっとサキュバスとして生きてく事になるの♪」

「マジかよ…」

セツセして廃人になったらサキユバスに生まれ変わるの？スゲ〜な！素質でもあつたんかね？これから先、どう生活していくんだ？

「基地での仕事があるだろ？後、下事情の方も気になる。起こして聞くとするか…」

サキユバスだから数が少ない男性を襲つてくんだろうか？そして報告しながらセツセするの？とかとか？うん。息子がピクピクしてる…。どっちの反応か分からんね…。イケると判断しとくよ…。そっちもまあね？

「えっ？基地での仕事？もうしないわよ？下事情は…どうだろ？」

元帥になると部下達に丸投げするのが仕事だからね？とは、言わない吾妻達だった
「…えっ？もうしない？」

即答しちやつてんですけど？ユリネから聞いてないのに?!なんか目が泳いだな？夢の中で食事でもするんか？お〜。近いたら尻尾が右手にクルクルと巻きついてきたよ。つついてくるし…

令司とユリネのスキンシップを見てた樫野達。ユリネのフェロモンで急にウトウトし始める

「…なんか…眠くなつて来ちゃった」

「吾妻も…。お休みなさい」

「お休み。…うひよわっ!？」

「ご主人様〜♪素敵な素敵なご主人様〜♪あ〜〜ん♡良い匂い〜♡」
「うっ!？」

ただただ背中におぼーっ!を押し付けて左耳でご主人様呼びをされただけなのに!なんで!なんで…元気になるのかなあ〜?!令司君?!スツキリヌツキヌツキしたよねっ!?

あつ。良い匂いがする…。サキュバスのフェロモン…しゅごい♡乳首クリクリもしゆるんだ♡

サキュバスに生まれ変わったユリネ。元気になって起きたようだ。そして令司というご馳走を食べようとしている。いや?ご奉仕をしようとしている?エロい声でゾクゾクするのだった

エロイベントが終わったばかりなのにサキュバス襲来のエロイベントが来ちゃったね♪頑張れ♪

「おふっ?!んむっ?!」

グルンと体勢を変え跨られてキスをする。ユリネがサキュバスとして生まれ変わったの初めてのキス

「んぐつつ。…んフっ♡んつくんくんく♡」

(はう〜♡幸せ♡2回目、あげちゃった♡ふふふ♡気持ち良かったんだね♡唾液をもっと飲んで元気になって出して出して♡)

マジかよ…。キスだけで…。あ〜あ〜♡ひや〜♡!!!な、な、なっ?!あ〜♡あ〜♡

令司の頭が無事、壊されました♪令司君、壊れた蛇口になっちゃった♪ユリネにしっかりとしがみついてサキユバスのオマ〜ン♡に濃いのを沢山注ぎましょうね♪

頭を壊されちゃった令司も奉仕されっ放しはなんか嫌な様で?サキユバスのエロ妻達をメロメロにしたテクニクを使っつて過激に愛す事にした

「んん、っ?!んはっ…。あ〜♡お尻揉まれて気持ち良くなる♡あはっ♡もっともっ♡美味しいの頂戴♡残さず食べるから〜♡あん♡イクイク〜♡」

(ご主人様の顔、素敵♡それと女性達の夢の中も濃くて美味しい♡みんなド・ス・ケ・べなんだから♡ご主人様ったら愛されてる〜♡嬉しい♡あ♡イック〜♡)

(ふふ♡オープン基地つて愉快な所ね♡セイレーン達が居るんだ♡平和ね♡理想郷があるわね♡あつ、セイレーン達に生えてる♡ふふ♡みんなの食べちゃお♡ご主人様は二穴に興味あるのかな〜?)

「あ〜♡!!!くれ…て…やるっ!うおっ!く〜♡締めっ!すぎ…だ!がはっ!!!」
あ〜♡あ〜♡あ〜♡あ〜♡あ〜♡あ〜♡あ〜♡

ユリネったらイキイキしてる〜♡良かったね〜♡令司君との相性、バツチリじゃないか！令司達はみんなが寝ているのにお構い無しに音を立てまくる。気持ち良過ぎて止まらないもんな？

お互いが落ち着くまで体勢を変えてズツコンバツコン大騒ぎする。令司の大勝利に終わる。流石だけ。鍛え抜いてたからかな？行為後、ユリネの今後の生活について話し合う

みんなが起きてお掃除をして帰りの支度を始めた。みんなの肌はツヤツヤのモチモチだ。いつも通りの光景である。こうして素敵な元帥会議が終わったのだ

☆☆☆

「最高ののじゃ！指揮官を船に乗せるのは！晒し、気持ち良い〜！」

腕を組んで胸をぶるるんとしてドヤ顔で吐き捨てる。キラキラを通りこしてギリギリしている。テンションが可笑しくなってる狐巫女だ事

「そうなんだ？ずっとほったらかしにして汚かったのを掃除したんだもんね？良かったね？」

「江風〜。言わなくていいのじゃ！あんつ。ア、アルバコア！底にしがみつくだない

わ！そんなサプライズは入らん！大鳳にするのじゃ！あはははっ！くすぐったいのじゃ〜」

アルバコアにサプライズされてゴロンゴロンする。長門は涙目だ。峻る奴だな？



「へつくしゆっ?!…もしかして、指揮官様に噂されてますの?!漲ってきますわ〜っ!!!」

「うふふっ♪赤城も負けられないわ♪沈みなさい♪」

「お〜お〜！良いね良いね！気持ち良い〜！レイシニウムとやらの補給で力が漲る！大鳳と赤城より多く狩ってるぞ？あはははっ！」

「性能が違うからそうでしょ?!土佐!どりやく〜っ!!!あはははっ♪」

長門が叫んだ大鳳はセイレーンを狩りまくっている最中の様で?そして赤城と土佐と競争している。土佐が多く狩っている様だ

3人とも無傷。レイシニウムは凄いい燃料の様だ。愛のパワーって凄いいんだね?

「「ふふふん♪回収♪回収♪」」

潜水艦達が何かを楽しく回収している様だ。お疲れ様です♪オーブン基地へ帰った
らレイシニウムを補給しなさいね?



「あはは…。内装、凄いや…。流石、巫女だね?」

「お〜〜!沸いた沸いた…。茶葉はどこかな〜?」

グルグル目をしているクリーブランド姉貴。おい!しつかりしろ!頭から煙が出てんぞ!それで、江風!しれつと煙を利用してお湯を沸かすなっ!

指揮艦からそれぞれの基地へ戻る。令司達は長門の船で。令司はちゃんと上下とも着ている。全裸が正装では無かった様だ。数名の饅頭がちゃっかり付いてきたお陰だ
 「それじゃ、確認するぞ?ユリネは廃人しちゃったからサキユバスへ産まれ変わった」
 「うん♪廃人は全女性の憧れなんだ♡条件がいっぱいあるみたいなんだけどね♪そこで寝てるサキは残念だったね?混ぜたってみたい」

胡座してる所にちよこんと座らせて背後からユリネの乳揉みを堪能するの最高♡ツ
 ヤツヤのモツチモチ度が半端じゃね〜♡

「そつか…。で、これからずつとオーブン基地所属。食事は令司君や女性の夢の中のエッチい事。後はオ〇〇ーサポート。…なんだな?」

サキュバスだからそうなるよな〜？百合の花が咲き乱れるなあ〜！最高かよ！

「うん♪そうなの。よろしく♪こういうスキンシップだけでも食事になるよ♪秘書KANのアクイラはコッチの基地とオープン基地のパイプとして頑張つて貰うのも決めたね♪」

アクイラは護衛艦と一緒にユリネの基地の方へ帰っていつてる。その内にオープン基地へ遊びに来て行為するようになるぞ♪

「うんうん。それで、みんなとセッセするんだろ？よろしく♪」

お相手する基地が増えたぜ！ヤツタ♪それと外出する時はユリネを連れて行くのも決まったよな〜？？外出はあんまりしたくないんだけどね？？刺激欲しいでしょ？？って、言われたからなあ

「ブレ、夢の中で気持ち良くなつたよ？指揮官が沢山登場して乱乱したわ♪ユリネから指導されながらね♪起きたらスツキリしててビックリしたもん…♪」

ブレマートンは夢の中でのお出来事をハツキリ分かつてるようで笑顔で報告していくのだった。ちゃんと服は着ている。エロいのをな？

「マジかよ…」

夢の中で司令を増やして乱乱！捲るなあ〜♡夢の中でイチヤイチャされたみんな、キラキラしてるもんね♪♪馳走様♪

「帰り道を阻む海の生物達をぶっ飛ばしてくるね♪美味しい食材がいっぱい待ってる」

エロ生物達が暴れ回っている様で漁業を始めるようだ。樫野と吾妻は既に始めている

「行つてらっしゃい。で、その綺麗な淫紋は契約みたいなもんで、男性達をお断りする奴なんだろう？フタっちゃん達は受け入れられるようだけど…。何それ？最高かよ」

サキュバスはフタっちゃんが好物だったんだね？令司、良かったな？擬似ビッチの出来上がりだ

「いやん♡褒めてくれてありがと♡オープン基地に帰ったらセイレーン達を襲って食事してくるね♪」

「おう。すっかり躰けてこいよ！撮影をするのを忘れんな？」

経験人数が一気に増えるな！おめでと！二穴映像楽しみだぜ！セイレーンなんだからオツケーだろ？

変なテンションですね？サキュバスのフェロモンでやられちゃったか…？耐性付いてるんじゃないっけ？令司とユリネはどうやら割り切った？悟った？関係の様だ。お互いがWinWinの関係がそれかな？

「分かっているってば…♡あ…♡美味しい♡セイレーン達のフタっちゃん、楽しみ」

く
♡
」

オープン基地へ到着するまでユリネとイチヤイチャ。交尾はしなかったがキスとハグはした。ユリネに令司特製のオイルマツサージを施して更にメロメロになるのだった

マジもんのサキュバスをメロメロにするテクニクとは凄いっすね？いや？オイル方が優秀なのかも？

江風、クリーブランドは長門の船内探索をして過ごす。長門は帰るまでずくずくとアルバコアのくすぐりサプライズをされてゴロンゴロン。そしてそのままイカされる

長門達とも交尾はしなかった。令司君は休暇を頂いていた様だ。休むの大事。うん
うん

ドンパチ音を聴いて過ごす。ブレマートン達はクリーブランドが持って来た亜空間にエロ巨大魚達を突っ込こんでいく。江風が書類に魚名を書いていく。漁獲量でも決まってるのか？

令司達はこれでまた？豪華な魚料理が楽しめるね？令司はたっぷり精が付きますね
♪エロ妻達にしつかりと出しましょう♪

☆☆☆

「ただいまつと…。仕事、よろしく♪」

エロ妻達と恒例行事なっている？キスハグをみんなとしてから解散した。もちろん、令司の魔性のお尻は揉まれまくった。紅葉は出来ていない

いや〜、ユリネにオイルマツサージしたら更にメロメロになったぞ♪良いイキっぷりだった。我慢したけどね！

施した後、ずっと抱き付いてきて背中が幸せだった。両耳が気持ち良く犯されたな♪そのメロメロになったユリネは、オーブン基地に到着してすぐ飛んでフタっちゃんのをセイレーン達を狩りに行った。サキユバスの本能？が剥き出し？の様ですね？

サキは会社の方へ降ろしていた。会社員達と令司の顔合わせした。そこでは握手とキス、ハグをしただけで行為はしていない。フタっちゃん員達はおつききしていた。なので、令司が手伝ってあげただけ

「お、お帰りなさいませ。ご、ご、ご主人様ああ!!」

「お、おう…。ただいま？加賀…？だよな？戦艦の方の…」

アレエ？なんか違うぞ？グルグル目してるし…。建造した覚えはないぞ？咲耶は勝手に出来ないって言ってたよな？

うんうん。メイド服、似合ってるじゃん。こういう態度って珍しいなあ…

「ご主人様。お帰りなさいませ。フタ基地からこちらへ移動してきた戦艦の加賀でございます。書類をどうぞ」

お辞儀をしてお迎えしたベルファスト。フタ基地からの書類を渡して令司のお尻をウツトリ顔で触るのだった。麻薬かなんかか？

「うう…」

（凄い…。色んなエロKAN達の映像で勉強したけど積極的～～！無理無理！良いお尻をしてる…。ち、乳首も見え…見えてる…。破壊力凄い…）

「ベルファスト。ただいま。フタ基地から…ふむふむ」

咲耶の妹達の基地だよな？全員がフタつちゃんだつて話。薬無しなんだろう？凄いよね？

何々…？『神々しくて手を出したくない！だから令司元帥！手、出して下さい！そしてフタ基地との交流の検討を是非！おもてなし（意味深）します！』って…。ふうん？身体、大丈夫じゃなくなるかもなあ…。最高に気持ち良くなると思うけど…。良い運動しとかなくちゃ！

それと、付いてないと…。マジかよ…。例外の建造したのか。例外、起きすぎじゃないの？バランス崩壊してない？ねえ？

「よ、よろしくお願いします…こ、こ、こちらから手を出させて貰いましゅー！」

書類を読み終わって加賀を見ると？

「落ち着け？熱々過ぎるぞ?!」

頭から煙が出る現象はやっぱ慣れんわ。って、両手からも煙が！大丈夫じゃないじゃん?! 冷却しろって?! 火傷しちゃうYO!

「そうです。落ち着いて下さい? ご主人様はお疲れなんですから。お突き愛はマツサージ部屋でしましょう?」

「きやひんっ!」

「ええ…?」

頭にチヨップかよ…。涙目じゃん…。涼しい顔して何しとんねん…。力、バグってるんか…? レイシニウムを補給しまくってたからか? そんな事つてあるのかなあ…?

あるんです! 令司君パウワーでみんな生き生きしてるんよ? 無能じゃないよ! いつもキラ付けてるんじゃない。オリテスタも大満足する攻撃力なんだぜ! 誇れよ!

では、フタ基地から移動してきた戦艦の加賀を愛しましょうね? 褐色の戦艦の加賀を探して一緒に愛すのも良いんじゃないかね?

「……落ち着きました。はあ…。ずっと触ってられる…」

「ですよねっ!!!」

落ち着いた戦艦の加賀。令司のプリ尻を堪能。危ない薬を決めてる感じでウツトリ

顔をする。令司つてキラーを乗っつけすぎなんじゃないか？そういう体質になっちゃった？

「そりや良かった。このままマッサージ部屋でマッサージ（意味深）しようか？」

ベルファスト、鼻息荒いぜ……。メイド長の顔をしてないじゃん。もう仕事終わったんだな？

「は、はいっ！よろしくお願いします！」

「ふふふっ。良い返事。ご主人様？ベルファストも一緒に愛して下さいませ」

「もちろん。ベルファストのマッサージは最高だからな」

最高な顔をしてくれるからなあ……。虐め甲斐があるんだよね♪

「嬉しい♪では、愛の巣に籠って沢山遊びましょう♪」

愛の巣って……。沢山あるんだよね……。どこのマッサージ部屋だろうか？ま、お楽しみって事にしましょう。案内よろしく♪

令司達はマッサージ部屋へ向かう。加賀は素敵な素敵な初体験を味わう事になる。令司つたら仕事熱心だなぁ？

☆☆☆

元帥会議を終えて長門の船で帰る頃のオロチとオリテスタ達

「ふう〜。あつたまる〜！あはっ！まだ攻撃してる！気持ち良いのが2倍以上！ヤツタ〜！」

「あつたまるわね…。髪の毛、綺麗になったわ…。廃墟な基地なのに電気等が使えるって不思議ね〜？」

お風呂で温まっている。基地は廃墟になってしまったようだ。理由は不明だ。電気等がちゃんと使えるようで良かったね？

…で？2人が浸かっているお湯は真っ黒なんですけど？ジュージューって音してるんですけど？天井から落ちてくる板などあつという間に溶けていくんですけど？そんなんであつたまる発言？凄いね？

自立型？のオロチ？の艦装君ちゃん達も、別のお湯に浸かって燃料補給？をしていくるっぽい

「そうだね〜！あふんっ！ネチネチしてる〜！良いね良いね！もつともつと！」

オリテスタは大満足出来る攻撃を喰らって肌がツヤツヤ、モッチモチ、ツルツル。元気ですね〜？

「……………はあ…」

「はふ〜っ！みんな、お休み！イキ延びたみんなはエライエライ！」

攻撃が終わった様だ。祈りのポーズをし出した。意味不明である
「ねえねえ？オリテスタ？」

「…んっ？なあに？そのデカッパイを揉んで貰いたいのか？するするっ！とおっ！」
「えっ？…そうじゃないんだけど…」

質問しようとしたらしいオロチのおっぱいを背後から揉む。仲良しだな？

「うん。モッチモッチだあゝゝ。いつも思ってるんだけど、ほんと良いモノをお持ちですなあゝゝ！羨ましいっ！」

「ん。ありがと…。で？拘束を外したKANISEN達はどうしたの？」

「どうしたの？…って？…んっと？プルツプルの足で、…えっと？工場？…っていう所を目指してる？…っばい？」

揉むのを止めないで拘束していたみんなの事を聞くオロチ。オロチってもしかして優しいのか？案内艦をシールドで守ってたんだし？

「へえ？…そうなの？…ちよつと飛ばして工場の様子を見ようかしら」

工場の場所が分からないように艦載機を飛ばし始めるのだった

「うっわ…。エッグいわ…。その攻撃は気持ち良くないんだよね…」

艦載機を見た途端、引き攣った顔をするオリテスタ。揉むのを止めて凄く遠くへ離れた。気持ち良くないらしい。攻撃を喰らった事があるのかよ…。仲間なのに？…いった

い、ナニをシたんだろうか？何もしないでも喰らったのかな？

「えっ？そうなの？こうげ「ヤメテクダサイ。オネガイシマス」…はあい」

顔をお湯に浸けたぞ?!無意識かなんか知らんがオリテスタも臙装を構えた。プルプルしてるけど…。オロチの攻撃は気持ち悪くてエッグいのかな？

「あつ…。工廠っぽいの見つけた…」

オリテスタを放置したオロチ。沢山の映像から工廠っぽいを見つけだしその映像をタツプ。すると拡大画面が現れ、オロチツパイにタッチして弾んだ。そして見やすい？タブレットになった。どうなってんのさ？

「工廠で何してんの？補給か何か？お風呂に入れば補給は出来るんじゃないの？違う？」

気持ちを切り替えたようで近づく。顔は無事だ。セイレーン達の身体って便利？なのかな？

「うん？寝てるね？そこが工廠だったんだ？」

左肩に顎を乗せて映像を見るオリテスタ。揉んでない

「ええ…。寝てるわね？何かの箱が1つポツン。それと瓦礫の山々があるだけね？」

瓦礫の山々で重なって寝ている映像を見る2人。映像を拡大していくオロチ。みんなの下の口が大洪水になっているのが分かるくらいの画質だ。凄いね？

寝ているみんなは最低限の補給を済ませている。修復モードで必死に修理している。こちらでも便利な身体してるのね？修理してるのが分かった理由？頭の上に修理中！という輪っかがグルグルしてるから

「みんなが起きるまでここから動く事が出来ないね？修理中！つてなってるし？コッチもフルにするのに時間かかるし？？」

2人なら案内艦無しでもオープン基地を目指せそうなんだけどね？

「そうね。瓦礫は艦装達の食事にもなるから指示して行儀良く食べて貰おうかしら？」
「りようか？いい。そんじゃオリテスタはあ、セーブモードで海の生き物達を狩りまくってくる？？」

「はいはい。海、荒れてたもんね？行つてらっしゃい。瓦礫等はちゃんと残しときますね？？」

「ありがと！待ってる！それでバツタリ遭遇してグへへ展開キボンヌ！」

うゝゝん？百合夫婦っぽい会話してるね？どの位、廃墟基地に留まるんでしょうか？エロい拘束をされっ放しだったみんなは、ちゃんと修理出来るのかな？

トラブル？があつた？ようで？オープン基地へ到着するのが遅れたね？

オリテスタの安全を守る為か？オロチは艦載機を複数追跡させた。そして直ぐに瓦礫の撤去作業に取り掛かったのだつた。2人とも行動力？が凄いのね？

令司達や女性指揮官達は、この廃墟基地の存在を知ってるのかな？そこん所、どうな
んだらうか？色ボケし過ぎた未来がこの廃墟基地みたいになるのかな？分からないが
令司達？しっかりと防衛しましょうね？

オープン基地へ到着した2人とエロ妻達の戦闘するのは避けられないのかもしれないが
い？令司の指揮官棒で何とかありませんかね？2人はそれを目指してんでしょ？違う
？

ウエーい！

元帥會議に参加した令司は全員としっぽりして仲良くなった。ローンの言った通りで即コロでした

ボルチモアが持つて来た精[♡]剤の効果がすんばらし過ぎて元帥の1人、藤峰ユリネを廃人にしてサキュバスへ生まれ変わらせてしまった。この世界の女性つて凄いな？

ユリネはサキュバス生としてもう一回、初めてをあげた。飢えてた？からスンバラシイ行為をシタんだそうなの？

令司が勝利した様だが、今後は一方的にやられるんじゃないか？だって、サキュバスだし？そつちのプロフェッショナルじゃん？とりあえず令司、鍛えて頑張れ？

2人で色々と話し合った後、オイルマツサージでユリネを更にメロメロにした。流石ですね？

ユリネはオーブン基地に到着したらセイレーン達を襲う為、直ぐに羽根で飛んで行く。腹ペコなんですわねえ？大満足なんかしないと思うんだよなあ？加減を覚えて貰わないとね？令司達はしつかりと面倒を見ないとね？

フタ基地から強制？異動してきた戦艦の加賀。フタ基地で建造されて間もない？の

に改造メイド服を着て令司をお出迎えをした。顔等がガチガチになっていた

隣にはニコニコ顔のベルファスト。魔性のお尻を堪能するのだった。令司もする。3人仲良くマッサージ部屋にいつて加賀を気持ち良くマッサージ。そして意味深マッサージをして絆を深めるのだった。令司はたらしである。良い事なんだぜ

そんな事が起こっている裏では、近道していたオロチ一行が廃墟になっていた? しまった? 基地で補給等をしていた。燃料等がほぼ尽きかけていたらしいから丁度良かった様だ。オープン基地とどの位離れてるんでしょうかね? 2日って所でしようか? ?

エロい攻撃を喰らっていたKANISEN達は修理中のモードで修理。指揮官達はどう思ってるのかな? 連絡が取れてないんでしょ? もう、轟沈判定されて所属リストとかから消されてたり? 轟沈者は1人も居ない。オロチとオリテスタは優しいようだ
まあ? オープン基地に行ったら? KANISEN達をなんとかするでしょ? オロチとオリテスタは修理中のみんなが復活するまで廃墟基地に滞在するのだった。瓦礫等を楽しそうに綺麗綺麗にしていく。業者かな?

☆☆☆

「お〜！北方連合のお風呂場は氷達で出来てるんだな〜！綺麗だ」

北方連合のお風呂は初めてだぜ！広いなあ！全部氷で出来てるのに寒くない！扉の模様凝ってるねえ！凄い！氷達は溶ける気配ないし。う〜む。不思議パワーが広がってますね！

ああ…甘い匂いがするなあ。お香でも炊いてるのか…。鳳翔部屋で嗅いだのとは違うな…。おおう…。お酒の自販機があるし…。北方連合のみんなって酒豪だもんな？飲んでポカポカしたいんだね？露出プレイまたしような！

加賀達と意味深マツサージをし愛った後、令司は北方連合のお風呂場に来ていた。2人はマツサージ部屋でスヤスヤと寝ている

令司が出て行って数分後にニューカッスルとシェフィールドと饅頭達がニコニコしながら部屋と2人の身体の掃除をするのだった。饅頭達は加賀に群がって観察して何かのデータを取っていた。何のデータでしょうね？

「あ〜…。あつたまる〜」

身体中がツヤツヤのツルツルスベスベモチモチになったよ。こんな事、初めてですな！全身がビリビリしたけど大丈夫だろ？不思議なシャンプー、リンス、石鹸だったな〜

ふむふむ…。令司像が多いね？氷像祭りじゃんか！ふむ…。令司君から出してるん

だなくく? 飲める! つていうのもあるし…。そっかく! ふおくく!

ドドドドツツツ! って感じで元氣良くお湯を出している。令司! それで滝修行をするな! そういつた行動はバツチり撮られてるんだぞ!?

修行出来たぜ! おくくつと? 美化され過ぎてないかい? 腹筋、バツキバキじゃないよ? 腹筋フェチがおつたんかな…。? そういえば、ずっと触ってくるのが居たなあ。舐めなかつたけど…。うつとり顔をキメてたな。危ない薬かナニかかよ…

おふつ?! 女体化の令司像が幾つもある…。ほほう。むつちりドスケベボディしてるじゃんか…。綺麗系より可愛い小悪魔? おぱーいのサイズ色々あるな? どれも好みですぜ? うむ。女体化したらこうなのかな?

あつ、もしかしたら女体化出来る薬があるんじゃないやね? 明石に聞くか? そういうの知ってるの明石ぐらいだと思うし? フタっちゃんがいるから楽しくなりそうだ! そういえば、ユリネはセイレーン達と行儀良く行為してんのかな?

まあ、いつか。…で! 女体令司達の後ろには令司君像が! まさかの自分同士の行為を見るとはねえ? こういう薄い本が売られて広がってそうだから! 是非、見せて貰いたい! 販売されてる奴全部! …あつ、読む時間あつたかな?

令司は変な? テンションでお風呂場を観察するのだった。やっぱり、頭のネジがゆるゆるである。それがネジが幾つもとれていて無くなつてないかな? 新しいネジで締め

ない？

「はあ…。ここのお風呂はなんか別世界じゃなか。すつごく綺麗で空気が美味しい…」

観察に夢中になっていてお風呂場に入ってくる足音等に気付かないのだった。サブライズされちゃうのだ

「でつしよ〜！綺麗だよね！お風呂で1番のお気に入りの！」

「うん？熊野か？お仕事、お疲れ様」

「ありがと〜！資源回収捗ったよ〜！最近、燃料の資源が多くて助かってる〜！」

「そうか。燃料、大事だもんな？」

燃料がないと活動出来ないもんね？低燃費じゃないものもいるから。長門お…

おう…結構お酒を飲んでるねえ？うん。良い感じにエロく出来上がってるぜ！流石だぜ！熊野ママ

熊野と盛り上がって少しお喋りをしてからまたお風呂場の観察を始める。熊野は沢山用意したお酒をドンドン開けて飲んでいく。強い？様だ。プリンツ・オイゲンは見習い？ましよう？悪い酒癖直ったのかな？

みんなエロく小、中、大破してるわ。ほうほう…。北方連合のお風呂場って入渠施設でもあったんだな？

大破用の場所、大人数で入れるんだ? 1人だけしか入れないと思ったんだけど? 違ったわ。ゲームとは違ってるんだねえ。色々変わってるな?

みんな、洗い合いっこをしていたり、入渠時間が表示されているお風呂場に入っているのが何人も居た。入渠用だけお湯の色が緑色をしているから分かり易いし、ご丁寧に入渠用と書いてあった

お〜! 入渠時間が表示されてる。スゲ〜! ゲーム画面で見てたのと同じだよ! やっぱりダメージ量? で時間が変わるんだね?

大破すると時間が凄い事に。いや、まあ? 分かってたけどさ? なんなのさ? 2日間浸かりつ放して?! ふやふやになっちゃうじゃん! フッド達、お疲れ様です!

大破組を見る令司。入渠時間にビックリ。寝るのもいれば趣味なのだろう編み物を編み始めるのもいたり、お互いのおっぱいを揉みしだきあったりしていた。後、お酒をガバガバ飲んでいるのも。もちろん食事もとっている。饅頭達が用意しているのだ

「ウェーい!」

熊野? いきなり目の前に移動して来たと思ったら万歳しちやって…。おふ。ぶるんぶるん! ご馳走様です! ヨシっ! ノつとこうか

「ウェーい!」

令司も熊野と同じテンションになって万歳した。その時、勢いが良くて熊野の顔にお

湯をかけたのだった

あつ！やつべえ！

「あははつ。最高だよ〜！ヒック。あつ、そうそう。話が大幅変わるんだけど元帥会議見てたよ。元帥の一人のユリネをサキユバスにするなんて素敵だね！サキは残念だったけどね？」

「おつ…。おおう…。そうだな？」

ゲラゲラ笑ってる！なんか許されてる感じ！良かった！くねくねしてる…。誘ってませんか？

熊野達も仕事をしながら元帥会議を見ていた。同時進行する事なんか楽勝なのだ。令司の愛のパワーのおかげかもしれないが。エロ妻達は高性能である

やつぱり素敵なんだ…？みんなして沢山褒め倒すからなんか身体がムズムズしたんだよなあ…。で、ムキになったな

元帥達、凄く綺麗だったよ。ドストライクしかいなかったよ。年下だったけど。ピツクリしたわ。ユリネだけ上だったな

清楚系はやつぱりピツチだったよ。処女だったんだけどさ。みんな素晴らしいモノをお持ちで気持ち良かった。うっ…？!

「おっ？樫野と吾妻のイケイケなマンを想像したの？それか締まりが最高な腹筋パツキ

バキのボルチモア？うん？いっぱい繋がってるから分かんないな？あつ、もしかしてふわふわな熊野の事を考えてたりする？ねえ？だれを想像したのお？」

なんかバレバレであった。顔に出てそうでもないな？ニコニコして聞いてくるぜ？両目は♡マークだ。発情しているんだね？

右耳囁きが凄いいいです！とけちやいそう。あゝゝ！イケイケギャルママが胸板をクルクルしてくるとわ…。気持ち良過ぎる！上手に調教されたな！俺の身体は！

熊野つて見た目がギャルJKでママみを感じるんだから破壊力が凄いいんだよ！熊野と仲良しの鈴谷も清楚JKを丸出しだし！ああゝゝ！

訳のわからん事を吠える令司。ゾクゾクしてるんですね？

「はうっ…。ぜ…」

「ん？ぜ？だくれえ？ねえ？」

「全員です…。みみみんな違って最高だったよ」

最低だと思うんだけど事実だし！仕方ないよね！うん！悪くない！

開き直ってドンと構えるのだった。うん。バラ捲く事が仕事だから仕方ないよ！熊野の顔を見ると分かるだろ？幸せな顔してるんだよ？グッジョブなんだぜ！

「えへっ。そっか！それは良かった！でっ！久しぶりに繋がろうよ？良いでしょ！」

「もちろんですとも！」

もう回復してますから！加賀とベルファストと仲良くやったのにね！相棒は仕事熱心なんですよ！ずっと足りないって叫んでるようですから！ハッスルしましょうか！熊野ママ！

「きやつ！えへへ〜！やった〜！沢山、甘々しようね？…んっ！」

ハグをしてから素敵に行為に励み始める。お互い発情期入ってるんですね？

「…フツド。イチヤイチヤし始めたわよ？唆るわ〜♪」

「そうね？レキシントン。大破して良かったって思うわ…。お酒が進むもの」

大破組がギリギリした目付きで眺めていた。息荒いぜ！令司は色々な女性とよろしくするし中々会えない？からそうなるのでしょうか

「ずっと浸かりつ放しだからやる事があんまりないものねえ？」

大破したら入渠時間のタイマーが0になるまで浸っていけないといけないのだ。修理剤とか色んな成分を浸透させる為だろう。フツド達は船でもあるからね

「アンアンのBGMを聞いているから退屈しないわよ？後、短縮薬があるからそれを使えばすぐ上がれるじゃない？うん。熊野、良い感じにメスつてるわね…。良いなあ…」

指揮官達のイチヤイチヤを見ながら息を荒くしてレキシントンへ言うフツド

「ええ。そうだけど。短縮薬を使用すると副作用でムラムラしちゃうじゃない？浮気な

感じがして何か嫌なのよ……」

頭をボリボリして告白するレキシントン。レキシントンも指揮官達を見ている。短縮薬の成分はムラムラさせるのが多い? ようだ。体験してるようだ。良く大破するのかな?

「浮気? ああ……オ○○○ね? 指揮官はそれ、許してくれるわよ?」

何言ってるの? な顔をするフッド。令司は許すね! むしろガン見するでしょ!

「そうなの? あ、そっか。調教されてたわね? ……フッドはこの状況でお酒飲みながらハッスルしてるのね? ふう〜ん」

……でお互い、目線を合わせる。令司に調教されてる2人は仲良く笑いあっている。クチュ音を聴いたようだ

「ええ。してるわ。バッチリされたわ♡気持ち良いわよ♪聴いてるんでしょ?」

「良かったわね? ええ。聴いてるわ……。あつ、2人がこっちに来るわね?」

ゲラゲラ笑いあつた2人。令司の足音に気付いたようでパアーツとトロトロのメス顔をキメて準備を始めた。フッドはイッた。2人も令司とのイチャイチャ成分を補給したいようです。令司も注入したいようだからWinWinだね!

「そうね? 小破、中破組も着いて来てる。ふふっ。退屈しないわねえ!」

「ウェーイ!」

仲良くチャラチャラ登場。そういうプレイ中なのかな？熊野は笑顔でウィンクとピースをしてるよ

「ふふっ。ウエーい！指揮官？久しぶりに食べて下さいね？緑色をしますけど入れますよ？…あんっ♪」

フツドとレキシントンもノリ良く笑顔でウィンクとピースで応える。他の大破組もつられてノツた。こっちは顔が真っ赤だったが

令司達は大破様のお湯に浸かってお互いの不足成分を補給し愛う。そして素晴らしいエロい声がずっと響くのだった。良い夫ですね！もつともつとハッスルしなきゃ！逆上せるなよ！

☆☆☆

北方連合のお風呂場で欲情してパーティーを開催している裏側では「ふう〜ん？指揮官に報告してご褒美を貰わないとかな？」

複数のデカイ画面のパソコンを操作して3つほどピックアップして眺めているのがいた。氷の椅子に座ってるんですけど？平気なんだね？

「ロシア〜？なんか分かった〜？近づきたくない基地の事お〜??」

近づきたくない基地なんかあるんですね? 戦闘狂でもか? まあ? そうなるのかな? 沢山の渦潮の映像がありますからねえ? 巨大だし。なんか呪われています?」

「メルクーリア…。うん。廃墟になっちゃった基地にセイレーンが2人。それと遭遇して戦ったであろうKANISEN達が20名以上居る事が分かったわよ。修理中ってなってるわ。もしかしたら野良かもね?」

メルクーリアが背後から挨拶をするかのようにロシアに抱き付いて揉んでいた。ロシアは慣れっこのようで分かった事を伝えた。うん。揉みしだきたいわわっばいを持つてるから仕方ないね? 司令だつてロシアのを蹂躪したし

おっと? セイレーン達はオロチとオリテスタの事ではありませんか? 野良? そうなんでしょうか? 保護しないとじゃない? 直ぐそこまで来てたんだね? ちゃんと近道してたんだ? 良かったな?

北方連合達はまあ? 諜報員? みたいな活動がメインである。ロシアは2つの画面をチョイスして更に拡大した。画質良いですね! なんか楽しそうに活動してる2人が撮影されていますよ!

「ふう〜くん? 野良か〜。まだ居たんだ? …わわっ! 長い黒髪のおっぱいがポイントのセイレーンが艦装達を使って瓦礫達を綺麗に片付けてる! 8つ? 以上あるのっで凄いね!」

「凄いねえ？上半身が裸で、下半身は艀装で隠してる感じよね？見せろよ」

「あはは。それと、笑いながら危険な巨大魚達を綺麗に捌いてるセイレーンがいるね？亜空間が使えるんだ？こつちの方が強そう！これらをザコに報告しないと！」

「そうね？報告しないと。うん。良く見ると長い黒髪ボインのセイレーンは指揮官の超真ん中のタイプなんじゃない？黒いオーラを放ってるわ。あつ、気付かれて壊されちゃった♪」

「壊されちゃったね？艦載機凄いやつた」

ロシアの声が嬉しそうだった。指揮官に捧げる供物を見つけた！みたいな？感じた。そしてロシアは自身の唇を舐めていた。両目がどうなっているのかって？ハイライトオフであります！ハイライトさん、仕事お疲れ様です！

巨大魚達を綺麗に捌いてるセイレーン。オリテスタは気付いてないようで、海面に背中から大の字ダイブして舌を出し嬉しそうな顔をしてプカプカしている映像が流れていた。オープン基地の誰かが他のセイレーン達に攻撃してるのかもね？

オロチの方は気付いた際にボインボインのたわわっぱいを右手で隠して1つの艀装に命令を出して撮影機？盗撮機？を破壊させた。オロチの顔は真っ赤になっていたぞ！無表情キャラではなかった！

「うんと？？？廃墟の基地ってここから1日で行ける場所だったよね？危険な巨大魚達

を乱獲してるからこれどうやく近づけそうかな?」

揉みしだくのをやめたメルクーリア。ロシアの隣に座って地図の画像を出して見
いた

「本気のスピードを出せば半日で到着するわよ? 行くなら指揮官に話さないかね? 仕事
内容は廃墟基地の監視だけだし? 後は、エロい魚達の間引きもあつたつけ?」

「そうだつけ? 間引きは仕事ではなかつたような? 近づきたくないのに近づいちゃう方
達を守る。があつたような?」

「そつちがあつたわね…。ヴェスタルがキラキラした目をして癒してたわね〜?」

「そうだったね? 人気あるし…。はしやぎまくってる面白い姉ちゃんが危険な巨大魚達
を狩って貰ってるけど、まだいそうだから対策しないとだね! 材料はいっぱいあるから
! させてさて? ザコは何処にいるかな?... あつ、ここのお風呂場じゃん! 行つてきま〜
す!」

面白い姉ちゃんが狩りまくってもまだ居るようだ。令司の調合スキル? でもつと危
険な巨大魚達を乱獲するようです? 狩った危険な巨大魚達は美味しく食べられるのか
い?

ヌーチスみたいに超高級な夜の頼もしい味方の成分に使えるのかな? サキなどの一
般人がサキユバスへ生まれ変わるかな?

パソコンをガチャガチャして令司を見つけたメルクーリア。映像は行為中でエロい声が入っていた。こっちの画質も最高に良いですね！

「楽しんでるわね？ちよつ?!脱ぎ散らかさないですよ！片付けたらロシアも行くからね！」

パソコンを全部落としてメルクーリアの服を回収し始めるロシア。回収し終わったら脱ぎ始めて饅頭へ渡す。オロチとオリテスタのグラビアアイドル写真などを持ってお風呂へ向かうのだった

ロシアが走った氷床は濡れていた。そして湯気が出ていて溶けていた。凄く…ホカホカなんだね？令司とのイチヤイチャを期待してるのかも？

オロチ一行と令司との顔合わせする時が近いですね！メルクーリアとロシアの報告を聞いた令司はどうなるのでしょうか？

☆☆☆

「イヤツフ〜つっつ!!!未亡人タイプキタアあああつ!!!行こう！是非っ！この長い黒髪ボイン様と仲良くスツポリしたい！黒いオーラをプンプン放つなんて最高じゃないかっつっ!!!」

きたコレエええつつつ!! セイレーン達の中でいつつちばんタイプ! ドS! 壊してくれそう! ネットチネットチタイプ! 経験豊富だろっ! 男性を少なくした元凶なんだろおん?!

なんだよ! ダイナマイトなボディーは! 殺しに来てるじゃん! 男性が多い世界に居たらホイホイ釣れるぜ?! 毎日同時喰いを楽しんでるんだろ? 流石! サキュバス未亡人! ありつつつです!

「にっしし〜! 即答! だよね! だよね! はあはあ…。この幸薄未亡人な黒髪ロングポインって強そうだから戦闘するのが楽しくなりそう! はっ: はっ: はっ: 艦装8つ以上を同時使用ってヤバいんだよ! エンタープライズとエセックスは絶対我慢出来ないねっ!」
 (最近、戦闘成分が足りてないからなあ〜? 最高じゃん?! 超タイプ! 盗撮機に気付いて壊す時の表情をもっと見せてよね♡ あっちは未経験だね! 令司っちは経験豊富って思っそう…。そんな訳ないじゃ〜ん♡)

「あううう…♡ しゅごい〜♡ きもひいい♡」

「あははっ♡ 見せちやった見せちやった♡ 浮気、しゅごい良い♡ ハマリそう♡」
 「レキシントン。そうでしょ? 指揮官に完全に調教されきってなかったのね? 愛し合った回数が少ないから仕方ないけれど…」

朗報! 令司が壊れた! オロチよ。ロックオンされたぞ! 幕、予約されちゃったぞ! お

めでとう！良かったな！ドドロ口に愛されるね！勝手にサキュバス判定喰らってる。ぷぷぷ

ロシアとメルクーリアはちゃんと廃墟基地の現状を報告したようだ。そこん所は軍女なんですなえ？レキシントンがぼわんぼわんしている。フツドはうんうん頷いている。

報告後。令司の成分を過剰摂取したようだ。キリリとした顔はもう無い。饅頭達が2人の身体で戦？のような遊びをしていた。楽しんでますなえ？この饅頭達は北方連合所属。みんな厚着をしている。住み分けられてるんだね？

面白い姉ちゃんの方はなんとも思われてないようです？残念ですね？オリテスタ？興奮しそうだ：

面白い姉ちゃんはいキキキしてアへってますね〜？こつちもタイプだわ。で？見えない攻撃を沢山喰らってる感じがするんだけど？う〜くん？誰かと感覚共有でもしてるのかな？そんな事できるんだ？あつ！閃いた！ムフフ：

Oh…。こつちの写真は危険な魚達をキラキラ顔で狩ってるよ…。アへ顔で。凄い器用だねえ？

魚達は食えるのかな？夜の味方の方がメインな気がするけど？商品化、出来るくらい沢山作れるよね？きっと。男性諸君、元気になって数を増やそうぜ？

「ふう……。この面白い姉ちゃんの写真全部がさ？アへってるんだけど？これはど……。あれ？ロシア？聞いている？」

「んんん？ロシア？やり過ぎてダウンしてるよ？メルクーリアもね？面白いアヘア姉ちゃんも強いと思うな？」

「Mだろうな？掘れてるよね？色んな方法で攻めてあげる♡きつと喜ぶでしょ？うえつ……。艷装がベトベトしてるじゃん……。身体を自由に捏ねくり回していいのは令司つちだけなんだからねっ！」

オリテスタのベトベトな艷装の出番は無さそうだよ？フルボッコ確定ですね！期待していいと思いますよ！はい！

「あつ、本当だ。へえ？強いんだ？」

うんうん。面白い姉ちゃんは強く見えないんだけどね？騙されちゃったかな？小悪魔系ですかね？ニーねえの母つて感じがするわ……。若いんだよねえ？ニーねえの方が年上つて感じがする

うんうん。黒髪ボイン様と同じ位のお持ち？若干小さいような？うんうん。面白い姉ちゃんを沢山虐めたい気持ちになるのは何故だ？交尾したら沼にハマりそうなんだけど？令司君も訴えてきてるし……

んっ？熊野？ギラギラしてるね？キラ付けバッチリだぜ！涎垂れてるよ……。で、ハ

イライトオフ。ハイライトさん！お久しぶりですね！元気に仕事してますねえ！

「メルクーリアの言った通り、調合して魚駆除してお邪魔しようよ？渦潮は大丈夫。避けられるから♪」

「ん？そうか？熊野がそう言うならそうなんだろうね？でも、巨大な渦潮自体を無くせばいいと思うんだけど？」

多過ぎでしょ？1つで十分だと思うよ？こんな所に良く沢山の危険な魚達がいるなあ？どれも巨大だし…。どうなってるの？生態系は？見てきたの全部巨大じゃんか…

「んんん？自然現象だから無くすのは無理だね♪同じ事を考えた人がいたけどサクッとプチッと逝ったよ？何人もね？熊野達は巻き込まれてもピンピンしてたけど？くすぐったかったな～！」

「よし！その話はもうしない！早速危険な魚達を狩る為の薬を調合するか！準備をしつかりして廃墟基地へ行こう！逝く人数は12名で！」

背筋をピーンとして早口で一息で元気良く言った

老衰以外で死んでたまるか！さき、調合調合お！！

「だね～？選び方はどうするの？明石は確定で行かせないとだよ？」

(ジャンケンだと幸運値が高いのが有利だよ～!!!!低いんだよ～)

「そうか? 選び方は…そうだな。…みんなの名前が書いてある紙を箱へ入れて俺が11枚を取ろうか。不正が無いようにみんなの前でね?」

「そうだね。それなら不満は出ないね? 饅頭達の紙に細工なんか出来ないし。選ばれるか祈ってるねえ?」

(幸運値とか関係無い選び方だ〜。安心出来るう)

へえ? 紙って饅頭製だったんだ? 細工、出来ないんだ? 凄い技術だね? 饅頭達、ありがと!

饅頭の頭を撫でる令司。撫でられた饅頭はくねくねしだした。饅頭達がわらわらと撫でてと要求をするかと思つたがしなかつた。しなかつたかわりに刑事ドラマのワンシーンが出来上がつていた。みんな熱い演技をしている。楽しんでるね?

「選ばれなくてもオーブン基地へ連れてくるさ。演習場で暴れまくれる許可を出しとくよ。おわつ?! 目の前に突然、紙と万年筆が?! スツゴ…」

サインすれば良いのだろうか? うん。演習場で大暴れ出来る書類だわ…。許可に丸をして、名前を書き書き…。つと、あらら…? 無くなっちゃった…。みんな? 後はよろしく?

戦闘狂のみんなが満足出来るかもしれないからねえ? 熊野も戦闘狂の一員だし。長門よ。我慢しなくても良い相手が出るかもよ? テスターのニーねえで物足りない顔

をしてたようだし？ニーねえも満足してたし

資材は：大丈夫だろ？カnstスト？がどんぐらいかは分からないけど建造4回ガチャ出来たんだからね？豪遊したな〜？

「ほんとう!!? やった〜!!! 楽しみ〜!!! 調合手伝う!」

「調合手伝うわ。祈つとくわね?」

「フツドとレキシントンも食い付き良いねっ?! 手伝いよろしく!...の前にご飯を食べて寝よつか?」

「了解!」

返事、キリリってしてんの慣れない…。良い声してんだよねえ…。軍女って事が分かるわ〜! メリハリあつて最高だな!

廃墟基地へお邪魔する事を決めた令司。しっかりと準備してから臨むようだ。オロチ達、良かったですねえ! みんな令司と抱き合つて寝るのだった

☆☆☆

「~~~~つっつ?!?!んえっ?えっ?えっ?...あれっ?誰もいない?」

寝る所だったオロチが令司の真っピンクな思考をキャッチしたのでしよう。汗を沢

山かいていた。良い感じにエロく仕上がっている。黒いオーラは無かった。濃さ?が薄くなっているようだった

「ただいま〜!魚、大量だったよ〜!楽しかった〜!って…?どうしたの?オロチちゃん?キヨロキヨロしてさ?…ていつ」

ツヤツツヤのモツチモチになって帰ってきたオリテスタ。1匹の魚に右腕を噛まれてますけど平気なんだ?あつ、魚死んだ…

「あつ、オリテスタ…。お帰りなさい。えつと…誰かに見られててね…?」

シートでポインを隠して、髪の毛をかき上げてエロい声で見られた報告をした。浮気しちやっただ感が出ている

「うんうん」

「そのお…、それでなんか初めて気持ち良くなれたんだ?熱くなつたし…?」

「おおく〜?!オロチちゃんの顔が真っ赤に!良かったじゃん!?不感症じゃなかったんだ!」

「う、うん…。そうみたい…?でね?ドロドロに愛し合いたい気持ちになってきたの…下の口がね?ヌルヌルしでしたんだ?何コレ?」

「お〜!春が来たね!首傾ける仕草グツとくる!耳貸して〜」

「えっ?!そんなっ?!凄いのねっ?!」

「ね〜？一緒に卒業しようね？」

「うん！」

オロチはようやく？司令の指揮官棒を受け入れる準備が整ったようだ。危険な魚達の乱獲薬などを調合してメンバー選抜を終えたらすぐに廃墟基地へ逝くと思いますよ？2人とも愛し、愛されましょうね？

廃墟基地

効き過ぎじゃないかなあ？

「ふわ〜…。んん…。ふう。よく寝た〜。うぎぎ…っ」

毎度毎度、身体がバキバキ言ってる…。何でさ？エロエロマッサージしてくれてるのに…

あ〜…：饅頭達の出してくれる飲み物美味しい！染み渡るう…。今回は結構とろみあるのな…。？…：苦いの飲んだ記憶ないな〜？…：苦いの飲んでみたいなあ…。頼むか

「「「「ふへへ…。…：しきか〜ん♡しゅき〜♡」」」」

「苦い飲み物よろしくね♪…んっ？そうか。愛してるよ。熊野、レキシントン、フッド、ダイドー、ホーネット」

全裸の司令の両首筋と両乳首にはキスマークが沢山付いている。お楽しみでしたねえ？ダイドーとホーネットは食事後に誘惑してきて連れ込んだ

キラキラして幸せ顔をして寝ているみんなに熱いキスをした。もちろん、エロ妻達も全裸だ。みんなはもう全裸が正装なんじゃないかな？常にベトってるよ？

「あ〜、いたいた〜！おはよう〜！主人様〜♪」

「ユリネか…。おはよう」

うむ…。混じりつけ？のないサキュバスの正装？つてエチチだな！ずっと見てられる…。眼福眼福♪正装は持ってた薄い本と一緒にだね…。思考とか読まれて進んで着てるのかな？

ずくずくと浮いてる…。流石つすね。良い匂いだ。…。ユリネの全部…貰ったんだよなあ…。ごくつ…。と、着替えて着替え…

「……………、これから薬を作って危険魚達を乱獲するつもり？スンスン…。…へえ？楽しんでんだあ？」

令司達がいるのは調合部屋。ベットはもちろんキング。そうして質の良い？運動をして質の良い睡眠を摂った

「するつもり。あつ？ああ…。楽しんだぞ。そっちだつて楽しんだんlaro？」

背中が幸せだ…。けしからん爆乳だ！煽られちゃうぜ…。あららく？なんか声がエロくないぞ？暗いぞ？憧れのサキュバスになつて楽しくセイレーンを食事（意味深）してきたんだろ？ウキウキだったじゃんか？

「むう…。楽しんでない…。憧れのサキュバスの身体つて不便よ…。はふう…。ご主人様つて美味しい…」

「おつふ…。そりや良かった…。そつか？不便なんだ…。たたくんと食べよ？」

「……………うん。ありがとう」

うん？突然、ビデオカメラが現れたぞ？青葉のじゃん…。どうした？

おっ？おっ、セイレーン達の映像じゃん。ふむふむ、みんな付いてるねえ？二ねえ達が集まつてる。あらら…。おっ？ユリネの登場。…あっちゃやく…。マジかよお…。何で…？

着替え終わつた令司は、調査を始めないで観賞会を始めた。見入つてる令司をトロトロ顔で食すユリネだった

部屋へ入つてきた時は♡マークの尻尾がしょんぼりしていたのに、抱きついて食べたらピンと伸ばしてブンブン振り回す。元気になつて良かった

寝ているみんなが起きるまでずっと観ていた・食事していた。ユリネは令司を喜ばせるのを忘れなかつたようだ？

「ふうん？サキユバスの身体つて不便なんだねえ？ねっ？フツド？ゴクゴクゴクん…。美味しい」

饅頭達から飲み物を貰つて飲み終わつたホーネット。軽く10杯は入っている。ユリネとセイレーン達の映像を観てそう眩いたのだった

「そうねえ？ユリネは受け入れてないし泣いてる。セイレーン達はなんか知つた。つて顔をしてるし？変な状況よねえ？」

「セイレーン達が優しく接してる…。…どうしてこうなった？」

「淫紋のせいじゃないかしら？…だとすると天城達、サキュバスは相当悶々してたんでしようね？」

レキシントンの髪の毛を撫でながら答える膝枕をしているフード。レキシントンはフードのお尻を揉んでいる

「そつかく。天城達つてずくくとフェロモンプリンさせて誘惑して来てたし…。理性鍛えられたと思うなあ…。あれらで」

「…：…つつ。その話はもう止めて調査しましょ？指揮官が今、ユリネから沢山採取してるし、天城達も協力してくれたし？ほら」

グルグル目をして早口で言うフード。天城達による甘い誘惑に負けて思い出しちゃったのかな？

令司とユリネが発情したようで盛っている。そして、サキュバスの何かが材料のようだ。催淫でもさせるのかな？

令司達をポーツと見るフード。床、湿らせてるぞ？レキシントんにパチンパチンって叩かれてるぞ？レキシントンは起きれない感じだ

「うん。ローンが犠牲になつてくれたからねえ？天城達、積極的に凄かったなあ。ご馳走様。ダイドー、熊野お？調査手伝うよくく！」

くねくね、いやいやんするホーネット。パイがぶるんぶるんしてるぞ？カウガールの頭の中は真っピンクのようです？

「~~~~~♪んっ？ありがとう。よろしくねえ？フツドとレキシントンはイチヤイチャしてて良いよ？」

セツセと材料を用意してセツセと鍋に入れて錬金している熊野。ホーネットは背後から熊野パイを揉む。令司はこの百合をバッチリ観て興奮する。令司つてば単純だな~~~~？

「悪いわね…。調合、始めたばかりだけど良い匂いするわね…。…なんか…くすぐったいわ…」

「んっ…。そうだね…。オイルマツサージより優しいかも？」

匂いでくすぐりたい？フツドは何を言ってるんでしょ？薬の性能なのかな？魚達に効くのか？

「ありがとうございます。このダイドー。ホーネットを色々と搾らせて貰いますね？」

笑顔で両手をいやらしくわきわきするダイドー。メイド服は改造するのが当たり前なのかな？

「んえっ！ひやうっ！?!そ…そんな…いきなりい♡ホーネットはぎ、材料だったの…♡あんっ♡」

「にしし♪退屈しな〜い！ねえねえ？令司つち〜。薬を作り終えたら沢山遊ぼう？
時間、まだあるしい？」

「〜〜〜♡♡ご主人様ああああん♡」

「ふう…ふう…。ユリネの…最高。ハアハア…。熊野、もちろんだとも！早く薬を作るぞ！」

ユリネに火を付けられちゃったからねえ!?裸エプロン、ありがとうおおお!!!ふんふんつつつ!!!

誘い受け？に成功した熊野ママ。おめでとう！勉強？熱心なんだね？令司を何かの沼？に墮とそうぜ！

調査しながら遊ぶ令司達。危険なエロい巨大魚達に効く薬をちゃんと作れるのかな？鍋のお湯の色が真っピンクだぜ！湯気が♡マークになっている。湯気に意思？があるんだ〜？

危険なエロい巨大魚達？逃げ場がないかもね？全滅するんじゃない？きつとバランス？を壊してるって判断されちゃったんだよ…。料理してオープン基地のみんなの胃袋に収められましょう！

☆☆☆

「」「頂きますー！」「」

令司達は遊びと薬を作り終えて第1食堂でみんなと食事をしている。遠征や演習などに行っている物は誰もいない。全員集合しているのだ。広いからまだ席などに余裕がある

みんな、ソワソワしている。だつて演習場で大暴れが出来る許可が降りているし、最狂？なセイレーン2人、オロチとオリテスタと沢山戦闘が出来るのだから？戦闘狂には大歓喜イベントでしょ？

「ご馳走様でした。よし。さあさあ！みんな！お待たせしましたあ！！！！廃墟基地にいるオロチお嬢とオリテスタちゅわんをお迎えするメンバーの抽選はつじめるよ！！！」
「了解！！」

行為のし過ぎでまゝくた壊れちゃったようだ？ワイシャツの第2ボタンまで外してアピールしてる。エロ妻達は軍女らしく、綺麗な敬礼をする

「あはっ♪良い返事だ！顔もキリリっ！として最高！選ばれる11名は、だくくれだ！じゃくくん！…鳳翔でえくす！」

ハイテンションのまま饅頭製の箱から11名を抽選し始めた。どデカイテレビに鳳翔と書かれた紙が映し出された。ピング大会みたいな感じである。饅頭達はテレビ局

の真似をしている。楽しんでるねえ？

鳳翔かあ〜！ガタが来たって申請されて退いたんだったな…。それからずっと料理とか雑用系ばかりして貰ってたっけな…。ありがとね？

「……………えっ？ほ、鳳翔が？ですか？」

「……………えっ??」

「そうだ。前線復帰しちゃうがね？知ってるぞ？こつそり身体を鍛え直してた事を！」

重桜の空母の一部の顔が青白くなっているね？どうしたんでしょ？両手が震えてるものもあるねえ？抜き倒された過去をお持ちなのかな？軍だしスパルタ教育も必要でしよう？

既に決まっている明石はステージに居てピョンコピョンコしててこっちにや〜！
をしている。ポカン顔をしていた鳳翔は明石に気付いて表情を引き締めて早歩きでステージへ上がるのだった

全員集合という事は？仲良くなったセイレーン達もいるという訳でして…

「うわ〜…。オロチ様はともかく、オリテスタ様が大興奮になるの間違いなしじゃん…。ここみんな強いからねえ？すごい熱気で溶けちゃいそう…♪」

双子オミッターがお互い、頬をスリスリし合って興奮している。お互いの両目の中が☆マークだ。♡マークとの違いは何だろう？

「あはは…。オロチ様、黒いオーラを凄いい出しちゃってる。ふむふむ…。この写真、瓦礫を燃料にしてるし…。あつ、こつちのはとつきにエロいポーズ。可愛い♪ムラムラしちゃう♪」

「ピュリフアイヤー？その緊縛は誰にされたっ؟! されたいんだがつ?! 教えてくれ!」

艷装が器用にスプーンを使つて食べさせてるよ…。すつこくすい!

「んん? エディター? されたいんだ? 愛宕から習つたけど? …しよつか? …つて、もう愛宕の所にいるし…。あつ、高雄に気絶させられちゃつた…。…あれ? 縛らないんだ?」

ポンコツ? になつたのかな? エディターは。アークロイヤルと同じ匂いがしてそう。だ。そのアークロイヤルはクイーン・エリザベスの椅子になっている。ウォースパイトが羨ましい顔をアークロイヤルを見ている

「オロチ様の観察、楽しくなりそうね♪ それと演習場での大暴れ。オブザーバー達も参加出来るなんて最高♪ あんっ…。ダーリンの垂れてきちゃう…。塞がないと…」

テーブルの上におっぱいを置いて舌舐めずりしてみんなを観察するオブザーバー。オロチ嬢を見る目はハイライトオフだった。セイレーンの世界にもハイライトさんの仕事があるんですね! 過去に会つてて何かされたのでしょうか?」

「オリテスタママが楽しそうにしてて良かった♪ ニーねえ達も嬉しい♪ 幕、あげたら

ニーねえ達にも幕を頂戴♪しつかり遊ぼうねえ?」

(捉えてるKAN—SEN達はどうするんだろ?なんか雰囲気が違うなく?指揮官達はほったらかしかあゝ?別にどうでも良いんだけどね?遊び相手が増えたね。ラツキー♪身体弄り倒されたから面白いくらい弱点バレてるよゝゝ!きゃははっ)

北方連合は?

「あゝゝゝ」

みんな、おっぱいをテーブルに押し付けてダウンしている。環境に慣れてないのかも
しれない。諜報活動でお疲れなのかも?

「ほい!雪風だ!あはは。くすぐりたいぞ。ンチュ…。さき、ステージへお行き。では
では?これで最後だ!呼ばれるのは誰だあ?…この紙にする!じゃゝゝん!クイーン・
エリザベスだ!」

饅頭達がドウルルルとドラムを叩いたりして盛り上げて最後のデートメンバー入りの
発表。ノリが良いですね?咲耶の基地の饅頭達はこうはならないよ?

「!!ヤツた!やったわっ!デートお!げぼ…、指揮官とデートおおっ!!!」

「ぐふっお?!おっ、うおお…。へ、陛下あゝゝ…。き、効くう…」

「ぐっ…、う、羨ましいぞ!」

「!!!あはは…!!!」

凄いい勢いでステージに上がるエリザベス。アークロイヤルはお尻攻撃でぐぎや！と腰が鳴った

ウオースパイトがアークロイヤルを羨ましそうに見て、メイド達は呆れ気味。お転婆？なのかも？令司との素敵なパーティーの競争に負け続けてしまった反動かな？

オロチ嬢とオリテスタのお出迎えデートメンバーを発表し終えた令司。空の箱を饅頭達から渡され、デートする12名の紙を入れた

「?????」

負傷などをしていないみんなは、首を右側へ傾け、右手人差し指で頬をついた。タイミングは一致。なんか…シユール…？

選ばれた12名は、明石、鳳翔、イラストリアス、ジャベリン、プリンツ・ハインリヒ、ジャン・パール、サセックス、エセックス、鈴谷、ライプツィヒ、雪風、クイーン・エリザベスである

編成？のバランス？何それ美味しいの？な感じだ。みんな強いからオロチ嬢とオリテスタと楽しく？殺し？じゃれ合う？のではないだろうか？

「おほん。え〜。廃墟基地へのデートメンバー12名の紙を箱へ入れたのはな？船に乗せて貰うのを選ぶ為だ…って、アツツ?!ええ？なんか急に部屋の温度が高くなったんですけど?!」

サウナかよっ?!おくく?ボフンっとなってる。選ばれなかった組もなんか咄嗟にエロいポーズをする!?

あつ、そつかあ?船晒しつて最大級?のポーズなんだっけ...?こつちからだど逆ポーズ。もう、ここが貞操逆転世界に来たつて事を忘れるんだけどお?いいや。次、引くぞおくく?

令司は汗をかいて服をスケスケにするラッキースケベ状態の出来上がり。一斉にくくつと唾を飲み込んだ。目はギラギラしていない。理性がちゃんと機能しているようです?けれど、モジモジしている

今更だが逆転していない世界線で例えるなら。盛りたい男性部下達の前でフェロモンを無自覚か?故意か?プンプンさせまくつてチクチクチクと煽りまくつて誘い受けクソビッチ?の上司。の構図だろうか?分り辛い説明か...

「船を晒して貰うのは...。クイーン・エリザベスだ!よろしく!」

おくく!女王の船でデートとは!良いですねえ?楽しみだな

「.....えつ?...バっ?!えつ?!あつあつあつ♡あくくつ♡」

召喚中かな?うむ。腕組みして前かがみになつちやつて。美爆乳、素晴らしい!けしからん!グルグル目、最高だぜb

「よろしくね!陛下!」

選ばれたデート仲間は両手を後ろに組んで身体を前にして笑顔で言った。明石以外、選ばれなくてホツとしていた

「帰りはオロチ嬢かオリテスタの船で帰る事にする！晒してくればだけどな？晒してくれ無かつたら…、じゃん！ライプツイヒので帰る！」

「…ふえ?!ふえええええつ?!あ、ああありがつがとうございませゆ！」

「こつちこそ、ありがと。あつ、そうそう。調合した薬を使って危険な巨大魚達の乱獲メンバーも決めるぞ?こつちの人数は20。演習場で大暴れが出来なくなるぞ。済まないね?後日、演習場で大暴れしていいから」

「了解!!!」

「良い返事だ。選ぶぞ?乱獲メンバー入りするのは?」

デートに選ばれなかったみんなは乱獲メンバー入りを祈るのだった。こちらと呼ばれたらステージへ上がっていく

「よし…。選抜終了。これで準備は整ったな。ではでは、廃墟基地へ逝きましょ!!! 饅頭達?掃除などよろしくお願いしますね?」

饅頭達も綺麗な敬礼するな?頼もしいよ!ありがと!

こうしてそれぞれデートと漁業、演習場で大暴れをする為に移動するのだった。セイレーン達は全員演習場へ向かう。興奮している様だ

移動中のセイレーン全員がピカッと光ったら着てた服装が変わった。戦闘服なのかな？ 際どい服しか持っていないかい？

演習場で死闘が繰り広げられてお互い仲良くなる事をみんな知らない。戦闘後のセイレーン達はセイレーン同士でグチョグチョし愛うのもね？（幕は無事。セイレーン達の下半身は不思議だ）

☆☆☆

「あはっ♪獲れる獲れる〜！ヌーチスをまたゲット！大つきい！薬の効果、すご〜い！えいえい！みんな〜？絶滅させるくらい獲ろ〜！ほいと…、またヌーチスう？こつちも大つきい！」

ピチピチ、バシヤンバシヤンして津波ですか？って、位に波ってるんですけど？難破して遭難するシーンの出来上がりなんだけどお？夕立?!サーフィンしてる?!

食えない！材料にもならない！って判断されてるのを渦潮にポツチャンしていきコロコロするのだった。幾つもある渦潮は天然の巨大ゴミ処理場ですね♪みんな、明石製の亜空間に締めたのを放り込んでいく。

「効き過ぎじゃないかなあ？」

うん…。実は指揮官業より調合師やってた方が良いんじゃないかな？ いや？ 調教師がしつくりくるかな？

ええ？ レシピ通り作ってたんだけどお？ チョイ足しすれば？ ってみんなに言われて
チョイ足しした位だよ？ 愛情とナニを…

「えへへ♪ エンタープライズ先輩より先に最狂のオロチとオリテスタと戦闘が出来る♪
ゾクゾクしちゃう〜♡」

エセックスの事は無視しとこうつと…。う〜む…、魚達の名前、教えられたけど似
てるのが多いよ？ 違いが分からん！ モドキつてのが多いんだよなあ…

どれも男性達の下半身の味方になるんだよな？ みんなが渦潮という処理場に放り込
んでる以外はさ？ ありがと！ お世話になってます！ 使わない日もあるけど…

熊野が担当してるエリアってヌーチス養殖場じゃないの？ 獲れてるの全部、ヌーチス
じゃん。ほら〜、またヌーチスう…。どれも食べたのより大きいんですけど？ 産卵す
るぞ！ つてのが多いな？ 時期かな？

オスはどうした？ ポックリ？ うんうん。メス達、強そうだもんね〜？ と、どうでも
いい事を考えちゃうぜ♪

「うん。効き過ぎだよ。兄さん。ジャン・ボール達の下半身を元気にさせてくれちゃつ
てさ？ 兄さん成分を補給したら落ち着いたけど…。んんっ」

「落ちてきてくれて良かった。スッキリしたよ。ありがとう。情熱的だったよ」
 「えへへ……♪」

作り過ぎたから一人一本原液のまま飲んで貰ったらさ？全員発情したよ……。んで？
 マタタビは入れてないのに明石、酔っ払ったなあ。みんな可愛いがったよ♪

ジャン・パールの頭、撫で撫でするぞ？ん……良い匂い……。ふう……。……よし。全裸腕
 組みをしてるエリに近づいて揉むサプライズしてやろう。足音で気付くと思うがね

「!!危ないわね！みんな！シールド展開はずっとしてなさいよ！あん♡指揮官、もつと
 揉んで！」

はっ！揉むさあ！うん。みんな、固有スキルがある様で？エリザベスの船をシールド
 してくれてるから津波の被害は無かった。みんな、ありがとう！

あつ、そうそう。エリザベスの船って想像してた通りで真つ赤で豪華な内装してた。
 上品清楚って奴？一斉に『おくくっ!?』って言った。エリザベスは顔を真つ赤にしてた
 ね♪可愛いよ♪

「指揮官様。廃墟基地が見えて来ました。……鳳翔は戦いまくって良いのでしょうか？」
 渦潮達をしつかり避けて、乱獲された事によって廃墟基地に近づく事が出来た

「良いんだぞ。みんなと協力してスッキリしてきなさい。ウズウズしてるんだろ？ヤン
 キー。艦内でオロチ嬢とオリテスタの事を待つてるからな？」

「了解♪んもう…、空母達をほんの少しだけ。ほくくんの少しだけ可愛いがっただけですよおう♪んちゅん♪…火照ってしまいましたあ♡では、行って参りますう♪」

花魁、逝つてらっしやい。A H H A！ほんの少しで重桜のヤベー空母達がビクビクするかっつっく！…んっ？

「にや〜！オロチ嬢の艦装を早くバラバラに分解したいにや〜!!!にやにや？オロチ嬢とオリテスタがこつちに気づいたにや〜！凄い艦載機の数にや！」

鼻血出しまくりじゃん…。ステ〜い！

「んぎやにや〜っ!？」

うんうん♪トントんとすると面白い反応をするねえ？落ち着いたね…。ほら、饅頭達が用意したの飲んで？

「…：…どれどれ？うっわ…。あれがオロチ嬢の艦載機か？数スツゴっ!!おっ？お〜？鳳翔達、空母勢がイケイケしてるのか？」

初生戦闘シーン、迫力あるなあ〜？すっげ〜♡水柱に当たったらサクつと天国行きだな♪

オロチの艦載機つてマジかあ？そーいや、粉もん系つてこつちに来てから食べてないなあ？

粉もんはみんな苦手？毒だつたりするん？ええ？お好み焼き、もんじゃ焼きとかつて

美味しいのに…。作って振舞おうか!

「よっしや、戦闘じゃっく!!! 邪魔なシールドはこいつで破壊にやっく! そいやあゝ
っつっ!」

ははっ♪明石が猫の尻尾をぶんぶん振り回してて低音イケイケボイスしてる♪テン
ションが可笑しいんだが。最高! みんなの修理はバッチリかもしれないな♪

「そうか。みんな〜! 楽しんで来いよ〜! オロチ嬢とオリテスタをちゃんと捕獲す
るんだぞ〜? よろしく〜!」

うっわあ〜。凄い爆発音だこと…。ドクロマーク出てる…。大丈夫じゃないじゃ
ん…

ふ〜くん? シールドが何重にも展開されてたんだ〜? ドクロのお陰か? おうっ?!
みんな、スピードはつや〜い! エセックスがいつちば〜ん乗り♪

うむ。戦い始めた感じだねえ? オロチ嬢とオリテスタ? 満足して拘束されてね? そ
れで仲良くしつぽり愛し合いましょ? ねっ? ねっ? 平和に暮らそうぜ☆争い、良くない
! 戦争! ダメ! 絶対!

こいつ、欲望がダダ漏れである。ダダ漏れの男性がこの世界では好まれるのだ。本当
に歪な世界ですなあ?

「指揮官? 護衛の為に残ったクイーン・エリザベスと明石と鈴谷の身体を隅々を堪能し

て待ちませんか？掃除しないといけないけどまた汚…きやんっ?!」

「鈴谷！最高！そうしよう！あゝゝ！幸せ！よおし。用意したオイルを沢山使っちゃうぞ？気持ち良くなれよな？」

「はい♡気持ち良くなって下さいね♡んんっ…。…あゝっ?!」

「にや!?!そのオイルはダメにや!?!」「ほれほれ、明石も♪」に、いやゝゝゝっ?!」

「ズルいわ！下僕！エリザベスにゝっ?!ゝゝゝっ?!」

戦闘音をBGMにして新しいオイルでマッサージをしたり行為などを楽しむ令司達。攻撃をちゃんとシールドしてるよ…。即修理されていく。スリルを満喫してるねゝゝ？

漁業中のメンバー達が空砲でしょうか？撃ち墜としコンテストをし始めた。絶滅させたのでしょうか？餓頭達が楽しく採点をしている。優勝者は令司と交尾だったりするのかな？みんな精度が良いですねえ♪

令司はいよいよ、オロチ嬢とオリテスタ達が出会うようだ。令司の令司君？無理はするなよ？というか？オロチ嬢とオリテスタ様に溜めとかないのかよ…

☆☆☆

「おらああああんんんつつ!!逃げんなあ〜!ピュリファイヤーああ!!」

「きやははっ♪長門の攻撃おつもしろ〜い♡逃げるよ〜んだ♡燃料バカ重狐女〜♡えつとお?これだ、属性モリモリだよね〜♡」

「それは言うんじやんなあああいい!!ネチネチと攻撃をするなのじゃあ〜!」

「演習にainlessじゃ〜ん♡ほらほら!攻撃攻撃!」

「長門ねえつてば単純〜♪陸奥も行きま〜す!そおい!」

「……。江風は別の所に行つてきま〜す…。おつと…。危ない…。回避技術が無駄にあがるわ〜」

ドツゴオオオオン!!とあちこちで爆音などが響いてる。水柱は途切れない。これ絶対、耳が可笑しくなるよ。な状態のオープン基地の演習場である

「ハアハア…。んん…。ハア…ハア…」

「あらく〜?もつと観察したいのだけど〜?イケるでしょ〜?コードG?...大破姿つて最高にエロいわよね♡」

「エンタープライズだよ…。逝くぞ!強くて最高だああ。オブザーバー!」

艦装の椅子?に脚を組んでエロい美脚を披露するオブザーバー。両手を両頬についでハアハアしてて両目は♡マーク。小破である。頑丈?なんだね…

「あらく〜♪ありがと〜ん♡オブザーバー姉さんに欲情してくれても良いのよん♡

おっと…。良い攻撃ね？お返し♪それそれ♪」

両手を前へ広げておいでをする。艦装もおいでをしていた。すっごい光景ですね？

「誰があんななかに欲情をするかあ〜！オロチ嬢と戦いたかつたんだよ〜！エセックスに先を越されたのをぶつけるぞお！イツケえ〜！！」

「どうぞ〜♪う〜ん…。色々と荒いのよね〜？簡単に回避出来ちゃうわ…。ぷぷ。未熟ねえ〜♪優雅に攻撃しなさいよ〜♪」

「おっと…。それはどうもおおー！」

「ほらほら〜♪もつともつと火力上げてえ？ねえ？」

「えっ？…あつ、ちよ？んえっ？こ、これ以上は出ないっ！…んひっ！うっぐ…」

「そつか〜？艦装を改装した方がより火力が出ると思うよお〜？大暴れ出来る位、資材があるんだからさあ？改装なんて楽勝でしょ？」

「「「駆逐艦に火力を求めちゃダメよお〜？双子のオミッター？こつちの火力を試さなあい？」」」

「うんうん♪軽巡のヤンキーギャルや重巡姉さん達。よろしくう♪受け足りないんだあ♡♡どうぞ〜♡…つつ?!んはあ♡さいつこう♡」

「「「あははっ♪それは良かった〜♡もつと試させてね？」」」

「どうしたどうした？瑞鶴、翔鶴?!攻撃緩いぞお〜？剣の修行足りないんじゃないか

「？」

「うつつさいわね！エディター！くう……。かつた〜い……」

「そういう服だからな！おつと……。翔鶴の攻撃くすぐったいな!!!」

「はあ……。脳筋は嫌ねえ？奇襲したのに……。ほらほら！行っちゃって〜！」

「!!!そこなくつちや！みんなもさあさあ！攻撃してくれ！」

「緊縛姿で悦つてんじゃないわよお〜!!!」

「……瑞鶴……。若いつて良いわねえ？」

「愛宕……。愛宕が縛つてあげたら良かったんじゃないか？」

「高雄？イ・ヤ♡高雄縛りは最高なのよ♪」

「ど、どうも……。変態……。援助しに逝くぞ」

「りようか〜い♡くらいなさ〜い♡」

「えっ？何、この変態な戦闘集団は？令司は見てなくて良かったな？ちやんと演習として？成り立ってるのが凄いわ……。強い秘訣かなあ？」

「令司とデートしてる方が優雅？で清楚？で上品ですね？……資材どの位減るのかな？後始末しつかりしろよ？」

いよっしや〜っ!!!

「そろそろ上がって良いんじゃないの!?……あつ、げぼ……ううん。指揮官! オロチとオリテスタの拘束、成功したわよ!」

全裸で腕組みをして空をずっと見ていたエリザベス。指をさしてはしゃぐ。連絡待ちだったようだ。下僕と呼びたかつたんだね? 呼んじやえば良いじゃん? 笑顔で許して貰えるよ!

「いよっしや〜っ!!!」

ようやく決着がついたか! 綺麗な祝砲だなく〜! というか、花火だよ。花火。花火大会が開催されたよ。打ち上げ過ぎだけどね? 全部、デカイよ! ん? エリつてば下僕呼びしたかったのか? カモン! 愛称、カモン!

基地へ突撃する前に餛飩達が渡してたのはこれだったのか……。餛飩達つて万能だなあ? ありがとう。ここにきて初めて花火を見たよ。汚ねえ花火なら毎回打ち上げるけどね♪

「あふっ?! ちよちよっ?! う〜っ!」

到着して直ぐ決着すると思ったのにさ? 次の日の夜まで戦闘したんだよなあ。量が

エグかったからそうかもだけど…？

デート抽選で選ばれたみんなはさ？清楚戦闘狂なんだよ？凄く強いなのよ？なの…。オロチ嬢とオリテスタつて高火力&高耐久だったんだ？回避力もね？凄いぜ…

「綺麗。…ふうくん？鈴谷はこれを打ち上げて返信つと。よし」

そうそう。漁業をしてたみんなはノリノリで絶滅させたつて。到着した夜までに決着がついた。凄い

暇になったんで、エリの船に乗って貰ったんだ。お風呂に入ったり、スイートな部屋で寝てたり、獲った魚達を捌いてたりと自由にしてる。ゴロゴロしてるんじゃないかな？

もちろん、みんなとお帰りなさい。ただいまのキスとハグをしたよ♪鯖折り技術はローンが最高級。比べるなって言われちゃったけどね

ドンパチしまくつてて耳がおかしくなると思ったけど、無事だった！明石製の耳栓をずっとしてたからね。みんなのエロ声が聞こえる不思議な耳栓でございました。爆音は聞こえなかった。量産して売ろうぜ！売れるよ！

明石製の耳栓を本当に売り出して、ガツポリ儲ける事に成功する事になる事をまだ知らない。令司の直感？は凄いようですよ？毎日毎日どつかしらで砲撃とかが鳴りまくってるからか？

「にやは〜〜！沢山、修理出来て興奮したにや〜〜！新艦装の性能バツチりだったにや！やった〜〜！後は、オロチの艦装の解体。楽しみにや！にやふふ」

ねじり鉢巻きをしてみんなのブーツ壊れかけた艦装達を修理していった明石。落ち着いた今は、キラキラしていて新艦装に抱きついてウツトリ。尻尾を振り回しながら艦装を突いてる。良い音が鳴っている

「大活躍だったね…。これでお邪魔出来るわね…。んっ、KANISEN達の保護と治療も出来てる。…か」

「鈴谷、お疲れ様。全員無事かい？捕虜になつてた方々も無事かい？」

捕虜になつたKANISEN達の指揮官達つてさ？応援してくれ。って他の基地に言つてないのか？電話番号知つてるでしょ？咲耶達のKANISENや、ユリネの方も援軍なかつたし…

色々な仕事をしてるからそれぞれじゃねえ！って感じかな？…エリア違い？後は、KANISEN達がKANISENに要請する感じか？…？電波妨害されそうだけど？…まあ、考えても無駄だよなあ？

「信号弾を読んでるからちよつと待つてて…。…うん。みんな無事。どつちも轟沈者、無しよ。みんな大破してるけど」

「そうか。そうか。良かった」

花火じゃないのが連射されてたね。ソレ、信号弾だったんだ？綺麗だったよ。そりや？大破するでしょ？激しい戦闘してたんだからさ？お疲れ様です

…ごくりっ…。髪の毛をかきあげる仕草ってさ？なんかグツとくるよね？くるよね？…こ、こない？そ、そんなあ…

「ふしや〜！ふしや〜！！」

「…あつ。エリ、ありがとう。…よおし、みんなに会いに行こうか」

おつと… つい、エリを高い高いしてしまった。可愛いすぎるのがイケないんだぞ！女王様っ！

「……………っ」

「了解！！」

「んん？エリ？どうした？」

…またスルのか？結構、ハッスルしたんだけど？グチヨグチヨに愛したよね？燃えたじゃん？

「か、かた…ぐるま…ししなさい！」

「……………へえ？ヤルじゃない？」

Oh…、そうきたか〜！！戦艦のプライドとやらはゴミ箱か海に投げ捨てたか！イチャイチャ成分、足りてないんだね？くっ?!鈴谷、チラ見せはズルいっ！

「仰せのままに」

「ありがと！下僕！」

エリを肩車するなんて、想像してなかったよ…

令司の首筋は良い感じに湿っていくのだった。狙っていたのかな？この肩車は駆逐艦達のお気に入りである。令司にとっては良い筋トレになっていたりする。筋トレ、成分補給で Win Win である

父と娘の絵面の完成。母親はいっぱいいるぞ♪今は鈴谷が母親だ！小悪魔風な？母親ですけど。みんな、良い笑顔をしている

「ほら〜！早くするにや〜！！イチャイチャは充分だろうにや〜！」

門？だった？場所へ一番乗りしていた明石。両手をグルグル振り回すのと、猫の尻尾をぶんぶん振り回して待っていた

「行くから〜。待つてろよ〜？うっ…。あくもう！瓦礫、邪魔だなあ?!」

オロチ嬢が艀装達を使って綺麗にした写真を見たけどさ？それでも多くないかな?! 立地条件が最悪だから廃墟になって当然だと思っよ?! スリルのある別荘に来た！って感じがするな!?

「帰る前に、瓦礫共を全部片付けましょうか…？これら、資材になりますし♪」

「うん？そうなんだ？片付け、よろしくね？」

「了解よ」

資材回収のベテランの鈴谷が言うのなら間違いないな！熊野もいるから捗るな…。数の暴力で解決う！で？鈴谷？魔性のお尻成分、しっかりと補充できたかい？

片付けに参加するのはム・リ・D A ☆だつて、持てる重さじゃないし、防塵マスクがないもん♪腕力、無えもん♪敵わないってば♪

マスク、あるかもだけど、そこにいるだけで良い。つて、言われそうだし…。なんなら？掃除を見ながら…。キスしたままエツ！をする可能性があるな！外でシタがるメンバーが多いんだし？

瓦礫達が資源に変わるようだ。良かったじゃないか！建造ガチャが出来るくらい回復？するのか？貯まったら建造ガチャをまたするのかな？ボスの2人を拘束したのだから要らないと思うのだけど？

そういうのは置いときましようか。いよいよ、オロチ嬢とオリテスタと対面。どんな行動をとるのでしょうか？

オロチ達はチヨロインなのでしようか？遠い？深海から遠足？してきたのだからチヨロインだろう？この廃墟基地へ到着するまで激しい戦闘をしなかったよね？ステルス機能でも備わっていたのか？

☆☆☆

「……………」

「ハアハア♡すつつつつつごく気持ち良かった〜!!!破壊力抜群だよお〜!!!生。すご〜い♡あ〜くん♡思い出したら、濡れてきちやった〜くん♡いやん♡絞まるう♡」

「ひっ?!?うぐっ?!」

万歳姿で拘束されてるオロチとオリテスタ。と、案内していたKANSENが見張る。復活して直ぐ見張りに志願したそうだ。捕虜だったみんなは、エセックス達と一緒の部屋に居る。寛いでたり寝ていたりしている。エロな行動をとっていない

オリテスタは超興奮。間接攻撃より刺激が強かったようで満足してる顔だ。涎を垂らしてツヤツヤしている。オロチは黒いオーラを出してモジモジしている。エロいぞ?」

「指揮官様、こちらです。見張り、お疲れ様。ゆっくり休んでね?」

「は、はい!失礼します!」

「…………」。追って、慰めてきますね?」

「鳳翔、案内ありがとう。鈴谷、よろしく。優しく相手しておやり?…やっべ…。2人ともお美しい!!!」

鳳翔と合流した令司達。無事、オロチ達の元へ到着した。見張りの交代時間だったよ。うだ。鈴谷はため息をついて慰め宣言。令司は鈴谷の頭を撫でて送り出した。鈴谷はスキップして慰めに行く。夜の仕事が入ったようだ？

明石は、さつきから無言でオロチとオリテスタの壊れて？いる艀装達を涎を垂らして熱視している。嬉し？過ぎて全身を震わせている。早く解体したいのでしょうね？

ふむふむ？しつかり拘束されてるね。ここでも高雄の縛り技術が…。え〜つと？とりあえず。お仕事？お疲れ様です？で、いいん…だよな？大破姿、エロいなあ〜！

じつくりと2人を視姦する令司。エリザベスを肩車したままご対面するとか、印象、最悪なんじゃない？

う〜む。オリテスタを見ると、やつぱりメチャメチャ、虐めたい気持ちになるんだよなあ？何で？そういうフェロモンでも出してるんかい？どうなのよ？

オロチ嬢は…。サラツサラツ、フワツフワの長い黒い髪の毛で上手に！かあ〜！分かってんねえ！視線、ホイホイされちった♪手を出したら上手にコロコロされちゃうかも♪おつきつきしないようにスツキリしてきたのになあ？反応してきてるんだけど?!

これである。チャラチャラしすぎなんじゃないかなあ？オロチ達の反応はどんなだ？オロチの解説は早口だった

「だ、男性だあ…。ヤダ〜、美しいだなんて♪ムチュムチしてるからブスだよ。根暗だ

よお?」

いやんいやんしたいようだが、代わりにジャランジャランと鎖の音が鳴る。黒いオーラがピンク色に変わってきている。ムラムラし出した? チョロイン?

あつ、オロチ嬢の頭から湯気が出てる。ナニ? 可愛いんだけど。トウンク

心臓のある部分を掴む令司なのだった。行動、変ですな?

「わあ〜! イケイケの低音じゃん! メツチャタイプ! ねえねえ! オープン基地の指揮官だよな? 指揮官棒でヌルヌルのココを沢山虐めてっ! お願ひ! キャンキャンしてるの♡」

笑顔で早口でおねだりをする。ハアハアいつてる…。両目が♡マーク。発情期に入ってますねえ? いや? 万年発情期だったね? ポコポコにされ過ぎて頭、パツパラパツ〜に?」

「あらあら♪オリテスタつてば良さを分かってますねえ? 仲良く出来るわ♪」

「ふえっ?! いいきなり?! そそそれはデートをしてお互いを深く知ってからじゃないのぉ?! ステップ飛んでるう!!」

「ええ? デートだよ? お突き愛いするんだよ? いや? 尻合う? うん。他の滅ぼした世界達の男性達より凄くカッコ良いし! 身体の相性、絶対良いと思うんだよね♡ オロチも相性良いって♪」

「えっ? そ、そうかな? そそっか〜! えへへ♡」

おおく? 好印象じゃん? やったぜ♪さらっと世界達を滅ぼしたって言ったよ。マジかよ? オリテスタつてば、世界線とやらを渡れるのか? スゲえな?

そういうギャップでやられたのか〜。KANーSENが1人も居ない世界線だったんだろうね? 対抗出来るのってKANーSENだけだし?

男性達は何かでグチヨグチヨ、ヌツチヨヌツチヨにイカされ続けてコロコロされたのかも知れない? それか人類同士? でくつつつっだらない理由でサクつと。…とか? う〜ん? 考えるのは無駄だよな? 忘れようつと

そこの世界線で生きていたかもしれない俺よ? 幸せな生活をおくれてたかい? アイツに裏切られてなかった? 裏切られてそうだなあ…

「おっ? そうか…。っ! 痛い痛いっ?! エリ? 痛いってえ?!」

無言でこめかみをグリグリしないで?! ああつ?! 痛気持ち良いマッサージ最高! もつ…つて、急にどうした? 筋トレ始めてさ? おおう…。太ももの感触最高♪太ももフェチの方々の力説が理解出来たかもしれない

「……………指揮官様? 今更、思わなくてもいいじゃないですか…?」

「えっ? あつ? ハイっ」

ほ、鳳翔? 目付きが鋭いぞ? ドスイ声、出せたんだね? ……左足を蹴ってきてなんな

のさ？危ないな。怒ってるんだ？なんもしてないじゃん？いや、船の中で沢山シてたけどさ？えっ？今更？今更なの？

「んっしょ…」

（鳳翔も感じたようね。ほんつと今更！あんな奴、忘れなさいよ!!! エリ達をちゃんと味わいなさい！上書き！…んっ。これ、良い筋トレになるわね！駆逐艦達が入ってるの分かるわ！）

「オロチ、オロチ〜！」

「あつ？はい？…えつと？明石？で良いのよね？何？」

両目を☆マークにしてる明石。ワクワクしてる？ようで、艦装達とオロチの目を行ったり来たりしていた。もちろん尻尾を振り回している

「そうにや〜！明石にや。いきなりだけど、オロチの艦装達を解体して良いかにや？8つ以上も要らないでしょ？」

「解体？そうねー。要らないわねえ〜。あつ、3つは残して貰うわ。それ以外はどうぞご自由に」

要らない説明を。KANSEN達は艦装を2つまでしか扱えないよ。例外で3つイケるのかもしれませんが少数である。鳳翔は少数組だ。艦装を8つ以上同時使用が出来るオロチは化け物でございます

オロチ以外のセイレーンも5つまで同時使用がイケる。こちらも立派な化け物です。こんな奴らに人類側はよく勝てたな？数の暴力か？

「本当にや!?!ありがとなのにや!やった〜!お札にどうぞにや!ひやつふ〜!早速、解体作業じゃ〜!」

(よっしやおら〜〜つつ!!!!徹夜でハッスルじゃ〜!!!)

うおつ?!笑顔が眩しい!ジャンキースイッチが入っちゃった〜!いつてらっしやい。おつ?お〜?明石の船かあ?変わった外見してるんだな?中は工具でいっばいだろうね?工具使つて明石を汚して良いかい?ダメだろうね…

…今更だけど。…美爆乳持ちのみなさんはさ?谷間に亜空間でもあるん?何かしらを挟んでるよね?吸い寄せられるんだけど…。H A H A H A ☆俺つてば単純だ♪

「えっ?んぐつ?!んつくんつく…。けほけほ…。…ん。ん。ん。つつ?!?!」

お〜?エリの船で獲りたてのモドキ魚達の色んなエキスを混ぜた奴を飲んだね。効いてる効いてる。イツタねえ?盛大に潮、噴いちやつてるね?かかっちゃった♪…甘くて美味しい♪

「あ〜!オロチつたらエロくなれる薬を飲まされたんだねえ?良かったじゃん!お先どうぞ♪卒業しなよ!ささ、お突き愛い♡お突き愛い♡」

豊富じゃなかったんだ?裏アカウントを持ってズブズブしてたと思ってただけ

ど? ホイホイバディーしてるんだから。って、この世界って少なかつたね…。…他の世界線に行ってもないのか?

「ハアハア…。 んんっ♡…………っ」

なんか期待してる目だ。 よおし、しつかりさせて頂きますね?

「ここじゃない場所ではないよ! とっておきの部屋に案内するからそこで沢山、お突き愛いをしなさいよね!」

「んっ? ああ…そうだな。案内よろしく」

「任せなさい!」

寒過ぎるからね。みんながドンパチしまくったから瓦礫等の山々があるわ…。 これらも資材に…なるのか? えっ? 豊富過ぎない? 多分、1回分の建造ガチャが出来そうなんだけど? 回すのは要相談かな? ボス2人を拘束したのだからね?

「指揮官様。オロチとオリテスタの拘束具を外さないでお連れ致しますね? ……?? 指揮官様?」

「んお? お? おお、よろしく。 鳳翔」

「はう〜…♡」

「お願いしま〜す! あっ、そうそう。 鳳翔の攻撃、美味しかったよ! ご馳走様!」

鳳翔…。 引きづつてくのかよ…。 平気な顔してるよ…。 なんかカオス…

「あらあら？ありがとうございます♪こちらも久しぶりに大暴れが出来て満足ですう♪
また美味しく攻撃を食べて下さいね♪」

「本当？！やった♡えへへえ」

攻撃が美味しい？頭のネジが幾つも取れてる会話してるう…。理解、出来ちゃいけない世界だわあ…。そっとしておこう。鳳翔のハネっ毛がピコピコしてる。嬉しそうで良かったね？

さあ、色々切り替えてオリテスタを虐め抜いてあげましょうか！もちろん、オロチ嬢の卒業式もするよ？何処へ案内してくれるんだろうか？楽しみだ

肩車したままとっておきの部屋へ向かうのだった

父と全裸の娘、奴隷2人（購入後）と花魁の清楚妻。といった絵面でしょうか？なんか、犯罪臭が凄くしますね？幼妻達もいるから立派な犯罪者だったわ…。今更だったよ

☆☆☆

「(´▽｀)よ！好き勝手に使つて汚しなさい！」

(ややややったわあゝゝ！見、見せられた！掃除、しっかりしたから大丈夫よね！ね！変なのは全部捨てたしっ!?青葉が持つてなければいいけど！)

「うっわ…。ええ?」

「眩しい!眩しいよお〜!あうっ!肌が痛い!根暗にはキツイですう〜!!!ファンタジーな空間!ごごごめんなさあい!あんっ♡」

「流石、女王艦ですね」

「あ、あの? いいい、一泊、おやお幾ら?か、軽く億はイクでしょうっ?!」

マママママジかよよよ……っ?!?!眩し過ぎるんですけどお〜?!?!目がああ!!!

全裸で両手を大きく広げてドヤア!っっているエリザベス。顔は真っ赤でヤカンを沸かせそうだ。肩車はされていない。部屋へ近づいた時に降ろして貰ったのだ

顔を引き攣らせるオリテスタ。なんか良く分からない反応をするオロチ。拘束している縄が良い感じに絞まって感じたようだ。エロい声をあげた

そうだろうね?と、いう顔をして頷いている鳳翔。両足をガクガクさせて、お財布を開くジェスチャーをして値段を聞く令司。ご丁寧に、中身は空っぽなんだよ? なっ? なっ? という仕草をする。芸が細かいのね? という絵図が出来上がった

そう。案内されたのはVIPルームでございました。ありがとうございます。マジで女王様だった。柵には下半身をイラつかせる飲み物やオイル等が、使い切れない程ギツシリと置かれている

(…えっ?なに?その反応は?この部屋って普通でしょ?)

いやいや、普通じゃないですって。首を傾けて不思議がるのだった。？マークが頭の上に幾つもあるのが見えた気がした。想像していた反応ではなかったようだ

「お金は取らないわよ！タダよ！タダ！…そうね！指揮官棒で払って貰うわ！支払い先は……、オロチとオリテスタのアッチよ！良いわね！」

(まあいいわ！ヨシ！ビシつと、決まったわね！)

「え、っ?!」

「ははあゝっ！仰せのままに!!!」

ええ。ええ！しっかりと完済させて頂きますよ！オロチ嬢とオリテスタは受け入れ体勢が整ってるようだし！かなり溜め込んでるんでしょ？アハハっつ!!! イツキますよゝゝ??

忠誠を誓う騎士のポーズをとった令司。あんた？上司だろ？良いのかよ？簡単に頭を下げちやつて？で、支払い先にエリザベスと鳳翔は入ってないんだね？…あつ、既に沢山払っていたね♪

令司は変なスイツチが入ったようでササつと支払いをする為に2人へダイブするのだった。

「あつ？ちよ…っ?!んむんっ?!ゝゝっ?!?!」

(ヤダヤダツ!!! 優しくしないでっ!!! 優しくっ！しないでよゝお!!! 何で優しくスルの?!)

何で何で? ヤっ! ツラいつ!! あんっ♡口、美味しい!!! んあああああ〜っつっつ?!?!? ビリビ
 リするう〜?!?!? 沈む〜!!!)

令司の先制口撃を喰らって轟沈し出す2人。優しく優〜しくスルのだった。もつ
 ともつと轟沈しましょうね? 2人とも涙目。それ、煽ってるんだよ? ほら、みろお〜?
 グイグイし出したぞ?

「携帯が使えるようになったから、みんなに連絡を入れておくわ〜♪待ってるだろうか
 ら。楽しんでね?」

(その調子で沢山泣かせましょう? うふふ♪優し過ぎるわよ♡鬼畜♡さて、準備しない
 と♡お香お香…♪)

「棚にあるのは好き勝手に使つて! まあ? 全部使つてくれると嬉しいのよね! サポート
 は任せて! ……って、キスに夢中で聞いてないわね!」

(オロチとオリテスタは極上の口をしているのね! もつと虐めヌキなさいよ! オロチとオ
 リテスタの表情、最高ね!)

令司の行動を爽やか笑顔で見る鳳翔とエリザベス。全力全壊でサポートをするよう
 だ。サポートをする為に鳳翔は谷間に挟んでいたお香を取り出して次々と設置してい
 くのだった。そして脱いでいく

棚にある高級なオイルや飲み物を全部使用したら、令司がまた壊れてしまうゾ☆エリ

ザベスは、壊れちゃった状態の令司を愛したいのかもしれない？キラ付けではなくキラ付けで絶対好調だったようだからね？仕事が捗ったデータがあるんだ♪

「ハアハア…。つく、イライラが…。オロチ嬢！支払うぞ…。んっはあっ?!」

「…っは…。~~~~~っつっつっつ?!?!」

あぎやあああつっつ?!?!持つでがれる。う。ううう。っ?!?!ナ。二。ゴレ。ええ

~~~~~?!?!どんでもねえ~~~~~?!

相性が良いようで2人は絶叫する。良い感じに壊れてく♪ヤツタ~~~~♡

「オロチっ?!大丈夫じゃな…ん。ん。ん。っ?!?!」

「こ、これはあ?!?!?~~~~~?!?!…んぐんっ?!」

「はあい♡涙ぐんでる指揮官！飲んで元氣出しなさい！いっばいあるからね！…うんうん！その調子でドンドン支払いなさいよね！」

キラキラ光る飲み物を飲まされた。元氣いっばいになり、オロチへ支払い始めるの

だった。オリテスタの胸をしつかりと揉むのを忘れない令司だった

「やつほ~~~~!!ねえ？聞いてえ？鈴谷つたらねえ？…って、うつわ…。何？この部屋？

スツゴ?!眩しっ!」

「熊野？扉の前で止まらないで？早く入って？…ハインリヒ。来たよ~~~~!おっ?!始め

てるね。サポートってこれか？任せて！棚、漁ろつと。…これ、良さそう!」

「熊野？扉の前で止まらないで？早く入って？…ハインリヒ。来たよ~~~~!おっ?!始め

てるね。サポートってこれか？任せて！棚、漁ろつと。…これ、良さそう!」





「「そうだね? おお? すっごく〜♡ 出されてる…。不思議だね〜?」」

両頬をスリスリ合つて、ニーねえを見る双子オミッター。キラキラしている

「ハアハア…。んっ…。はう…」

「どうやってなったのかな?」

「う〜くん? 指揮官がオリテスタママに手え、出したんじゃない? 勝手に感覚を繋げられちやつたんでしょ〜? そういうの得意そうだし?」

「ふ〜くん? ソレしかないかもね?…ニーねえの分身達も悶えてるし…。ハッピーの押し売りかな? よおし、準備出来た。ゴクっ…。なんか唖る! 失礼する…よつと! ぐお〜♡ 指揮官のが♡…ちよつ?…うっ?!」

(あゝ…。 やっぱり負けるなあゝ…。 仕方ないよなあゝ〜♪ あゝ〜♡)

オリテスタママの不思議パワーで沢山イカされるニーねえ。幸せな? 顔をしている。双子オミッターの読み通りで令司の花火を受け止めたのだ。プレイの幅が広がった瞬間だね?

エディターはニーねえの雰囲気? に煽られたようで? 令司から奪い返し? を決意して手を出した。が、サクつとやられたようだ。双子オミッターのサポートがあつたからかもしれないけど…

「「はあい。エディター? 飲み物だよ〜? 飲んだら相手してよねえ〜?…待たない

よお？好きじゃん？フリ上手〜〜♪イックよ〜〜！」

楽しく？仲良く。発散していくのだった。悪さ？はセイレーン同士だけのようだ？  
令司は興奮するだろう

「ただいま〜〜。あつたまつた〜〜♪暴れてスッキリ！さっすが〜〜♪…おっ？ふ〜  
〜ん？」

「ただいま。あら？始めてるのね？しつかり観察するわね？」

お風呂から帰ってきたピュリファイヤーとオプザーバー。2人ともしつかり乾かしなさいよ。令司い〜〜？お世話してやって〜〜？良い感じのエロスですよ〜〜！

「観察がてらにお互いの胸。揉まない？」

「ええ。揉むわよ？」

セイレーン同士で素敵なパーティーが開催された。仲良しだね？

## 最終話

これはこれは…

「んっ…。もう…。優し過ぎて狂ったわよ?」

「悪い悪い。オロチ嬢。素晴らし過ぎたよ」

「うっ、うん。ありがと…。相性良くて良かった…。んんっ」

「イエエーイ!満足した〜!…!週間経ったね!」

「う、うん…。そうだな…。テンション高いね?」

オロチ嬢とオリテスタと相性抜群過ぎたわ…。みんなもサポートありがとね?

令司椅子の座り心地は逝かがです?あ〜、オロチ嬢のお胸様、ずつと触ってられる。もう黒いオーラが無いね?変わりにピンク色になったけど

オリテスタはホントに超が幾つもつくドMだったね?みんなもノリノリだったなあ…。溜まつてたのね?ごめんね?オリテスタ、眩し過ぎるよ!

令司達はエリザベスの船で1週間を過ごした。食料とかは問題ない。沢山ある。ハッスルやマッサージのし愛をして過ごす。いつも通りだ。部屋はぐちゃぐちゃだ。イチャイチャするのを辞めない



他のみんな？それぞれ好き勝手に過ごしていた。介護？されてるみんなと百合ったんじゃない？鈴谷のように

と、いうか？ユリネを連れて行く約束があったんじゃないの？連れて来てないじゃん？いいのか？

「令司つち〜！瓦礫撤去終わったよ〜！資材すんごい貯まった〜！建造を10回出来るくらいね！」

良い感じにエロい水着を着て瓦礫撤去をしていた熊野。報告書を谷間に挟んでいる。後ろに手を組んで近く

「熊野。撤去指示の長してくれてありがとね？」

あるええ？…マジ？建造ガチャ出来るの？この基地にそれっぽいのがあるとて鳳翔から聞いたけど？

「いいのいいの。エリザベスをコキ使うの楽かったし♪」

オリスタが令司の背中から退いて熊野が抱きついて成分摂取を始めた。報告書は投げ渡した。オロチの谷間に挟まったが。令司は何も言わずに受け入れた

エリに対してそういった態度とか取れるの凄いわ〜。もしかしたらみんなもコキ使ってるのかも？

ピンポンピンポン。大正解。みんな良い感じにコキ使ってるよ。エリザベスは嬉し

そうに受け入れてるよ！

「はい。貴方。報告書」

「そっか〜。オロチ嬢。ありがと…」

オロチから貴方発言！実に良い！本当に瓦礫が資材に変わったようだ。何周、周回すればいいのか分からん量を？どうなってるのさ？精鋭？の饅頭達が何かしたのかもしれないね？

「…んっ？どうした？熊野？」

「いやあ？建造ガチャするのか？ってね？」

「んあ？ああ、するよ。廃墟基地の護衛でもして貰おうかなってね？」

「了解。そうそう。廃墟とはもう呼べないよ？」

「?!?!?どういふことだい?!」

廃墟とはもう呼べないのか…。建築でもしたんか？明石が張り切ったのだろうか？

満足するまで成分摂取が出来て背伸びをする熊野。そしてドヤ顔をキメる。キラ付けがされた

「見た方が良く♪ほあら、行こう？オロチとオリテスタも！」

「は、はいっ!?!」

椅子のまま持ち上げるのか〜？オロチ嬢も一緒とか…。やっぱスゲえ力だわ…。加

減してくれて嬉しいね♪ありがと!

そうして、ドナドナされたのだった。オリテスタは頭に両手をつきながら廃墟だった基地へ向かう。1週間引きこもったからね? 良い運動になるね!

☆☆☆

「じゃ〜んっ! 明石が饅頭達と一緒に張り切って建築しました〜! 凄いよね〜!」

熊野が令司達を置いた後、腰に手をあてエツヘンする。手伝った事も伝えたが令司は聞こえてない。熊野も知ってた。という顔をした

「これはこれは…」

ラのおつくホテルになつてゐるであ〜りませんかっつ! テツカいなあ〜! あつ、オロチ嬢とオリテスタがモジモジしてる。何度もハッスルしたのを思い出したのか?

令司達の目の前にはピカピカの新築があつた。外見が完全にあつは〜ん! うつふ〜んっ! である。どエロい専門の建物は存在しないのだ。快挙である。扉が開いて中からゾロゾロと出て来るのであつた

「明石ったら凄いわ〜。これで満足するまでハッスル出来るわね♪ 危険な魚達は狩り

尽くしたから他のカップル達も来れるわね♪」

「…ちよつと？ 咲希に早紀？ くつつき過ぎよ？」

「サキユバスのコスプレをして誘つてるのが悪い〜！ 似合い過ぎ！ 抜いて貰ったのにおつきしちやつた〜」

「家族としてのスキンシップだよ〜！ ローン様から連絡を入れられた時の絶望した顔、凄いいそそつて、キュンキュンしちやつた♪」

「そうだね〜！ 久しぶりに見たけど、暴れっぷりは健在だったね♪ 嬉しかったな〜！」

「ね〜〜つ♪♪♪」

「ちよつと?! その話はもういいじゃない！ 早紀！ 仕舞いなさい！」

「樫野さんのお陰で来れた〜！ 忘れられるんだもん…。 ありがとう〜」

「いえいえ。 ユリネさん。 母乳搾りありがとうございませす♪ いつもより良質なのが出ました♪」

「良かった♪ 美味しく飲んだわ。 ありがとう」

「あつ、来たにや！」

「はあい。 来たよ〜？」

明石にローンに咲希にその姉妹の咲希と早紀？ と、連れて来るのを忘れたユリネ。 樫

野が連れて来たんだね？ごめんね？ユリネは宙に浮きながら器用に檜野のを搾ってる…。凄いい…

咲耶の妹達、綺麗じゃないか！どっちもたわわに実ってる…。サキ、流石だよ…。ふむ？ついてるのが早紀か…。美味しそうじゃないか。エロいアイマスクはやっぱり付けるのね？お揃いだね？

サキユバスのコスプレ、最高に似合ってる。襲いたい！ありがとうございます！眼福！

「饅頭達と一緒にあって建てたにや！中の道具等はオロチの艤装達にや！解体するの楽かった♪ありがとにや！」

「そ、そうなの？艤装達も産まれ変わって良かったね？」

「はいにや！」

フンスフンスしてるよ…。オロチの両手を握ってブンブン振り回してる。優しい反応されて戸惑ってるね？優しくされるの慣れてないもんな？明石の頭撫でちゃう。よしよし

「にや～～♡幸せにや～～」

猫の尻尾を嬉しくブンブン振り回す。オロチはオリテスタに拘束された

「指揮官～～♡はああん♡」

明石の頭を撫で回しているとローンが背中当てて抱きついてきた。いやらしい手付きで魔性の尻を揉む。ローンの顔はトロトロだ

チラリとオロチとオリテスタを見る令司。2人はハグをし愛っていた。1週間、令司の指揮でお互いの事を分かったのかも？

「セイレーンの上位種を完全性覇出来たね？おめでと♪」

「ありがと。……中の様子はどうよ？」

「良いエロさよ？お一人夜戦をしたわ。ユリネの講座を聞いてね？」

「そっか…」

右耳が犯されて幸せだ〜♡うんうん。……捗ったんだね？

「中に入ってさ〜？ハッスルしようよ〜？遊びつくそうよ？もうね？平和になったんだし〜！ねえ？みんな？」

「うっ…。熊野…。最高♪」

令司の両胸を触る熊野。退けられた明石はクネクネダンスを披露している。令司達の後ろを見る熊野。令司はローンをおんぶして振り返ると？

「はいっ！男性様に初めてを捧げた後、指揮官とここで全力でイチヤイチャしたいと思います！連絡は入れたんで来ると思います。お願いします！」

オロチとオリテスタを案内していたKANISENがそう言ってきた。他の拘束さ

れていたみんなもお辞儀をしてくる。首筋にキスマークが付いているのがいた。犯人は鈴谷か？

「あ、はい。よろしくお願ひします?」

みんなの左手を見ると指輪付けてるけどね? 燃えるのかな? 当然? 女性指揮官でしようけど? おゝゝ? 急いで中に入っていく感じ? ……んっ?

「初めまして。咲耶の妹の咲希・早紀だよ♪」

「初めまして。咲希。早紀。エロい挨拶をするんだね? 最高だよ♪」

お互いの指揮官棒を触る挨拶をしてるんだぜ? どエロい咲耶の妹達も、どエロいのか。グヘヘ

「やったゝゝ♪熊野さんの言う通り、中に入って遊ぼう♪初めてを貰ってね? 痛くしてよね♡」

痛くして? マジか? 逆転? してるからか? 初めて言われたぞ?

「そう? 遠慮なく行くね? 咲耶お姉さんもパクつと行くね?」

「どうぞどうぞ♪中で準備して待ってますね♪楽しんで下さい♪」

「あつ! ちよつ?! 令司様に挨拶をゝゝ。きゃゝゝつ?! 力、強い!」

「うふふ…。みんなキヤイキヤイして中に入っていくわね? 楽しくなるわね?」

「ふう…。そうだな。……………なあ? ローン?」

「んっ？何かしら？」

（お一人様夜戦の回数でも聞くのかしら？30回よ♡ユリネの食事になったわ。少ないけどね？報告書に書くように言おうかしら？）

「…ローン達を幸せに出来ているかい？色んな美女、美少女を引つ掛けまくってるクスだけだよ？」

「なんだ。そんな事。幸せよ♡（クスじゃないわよ。仕事じゃない）中でしつかり分かってよね？」

「そっか…。それなら良かった」

あゝ、痛気持ち良い…。声がなんとも言えない感じしてるね？

「フタ基地にもお邪魔して沢山成して貰わないとね♡元気ねえ？」

「…そうだね。熊野達が集めた資材を使って建造ガチャしてからハッスルするよ」

「あらそう？スタッフを呼ぶのね？了解。案内するわ」

令司はずつと前から聞いたかった事を聞いた。即答された。良かったじゃないか

そうして？建造ガチャをする為に建造機がある所へ手を繋いで行くのだった

令司はみんなから奉仕されて、幸せだよ♡という事を分からされる事を知らないのだった。令司が老衰するまでこうしたイチャイチャは続いたのだった

男女比の崩壊は、息子達や愛に飢えていた男性達のお陰で1：1に戻りつつあった



こここのラにつくホテルは性地として参考にされ、あちこちで似た建物が作られていったそうだ。めでたしめでたし